

SICAT ENDO バージョン 1.4

取扱説明書 | 日本語

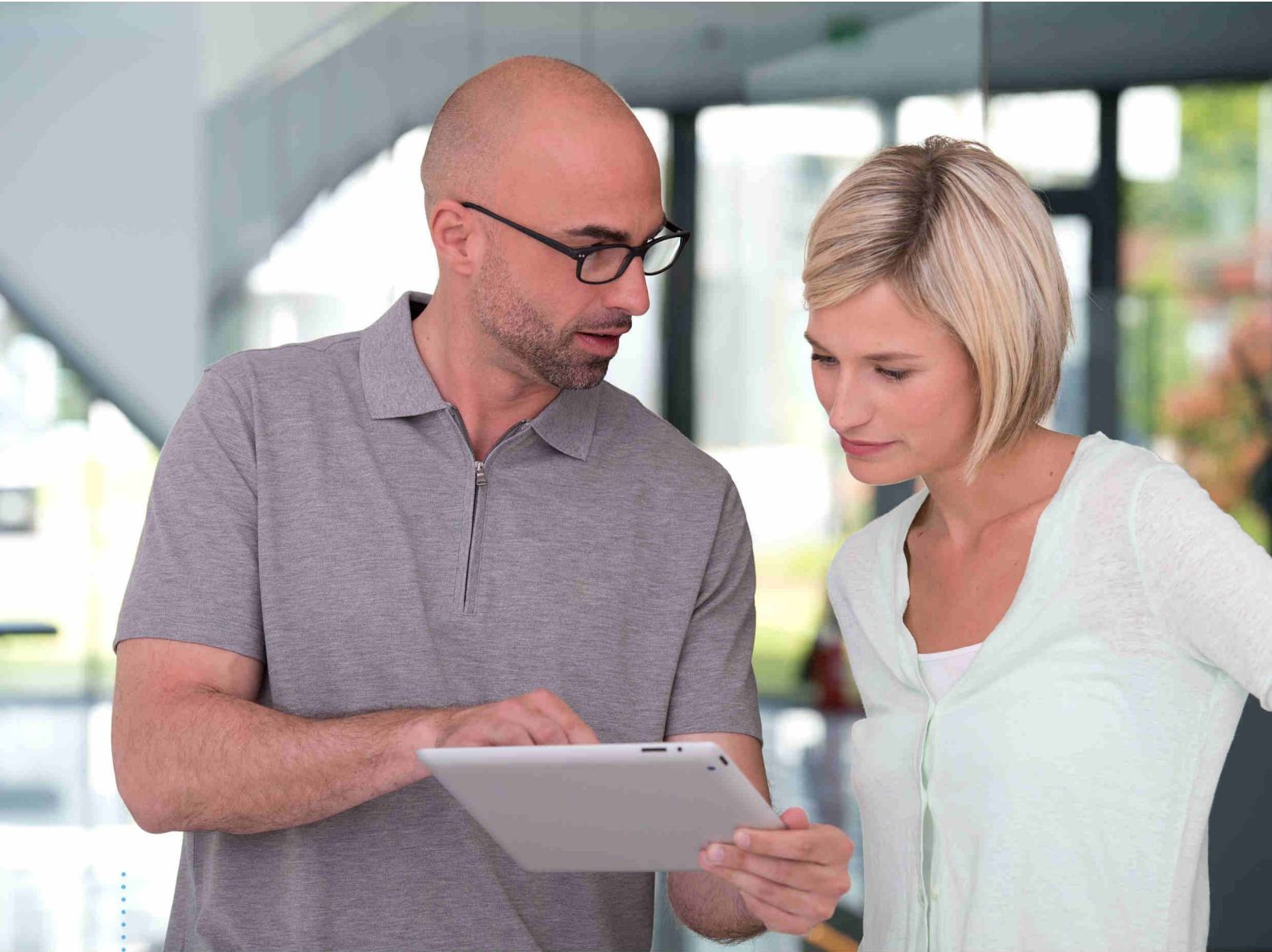
取扱説明書の構成

この取扱説明書にはSICAT Endoについて三種類の異なる種類の文書が含まれています。

- SIDEXIS 4-ModulとしてのSICAT Endo用
- SIDEXIS XGプラグインとしてのSICAT Endo用
- スタンドアロン版としてのSICAT Endo用

それぞれの取扱説明書には特定の種類用の情報が全て含まれています。例えば、SICAT EndoをSIDEXIS 4モジュールとしてのみ使用している場合は取扱説明書の該当部分のみ読む必要があります。

例外はマークの説明と最終ページのメーカーおよびサポートへの連絡先と取扱説明書の項目番号のみです。全文書の最後でこれらの情報を一覧することができます。



SICAT ENDO バージョン1.4

取扱説明書 | 日本語 | SIDEXIS 4

目次 - SIDEXIS 4

1 意図された用途および適応症.....	8
2 バージョン履歴	9
3 システム要件	10
4 安全に関する情報.....	13
4.1 危険レベルの定義	14
4.2 オペレーターの資格	15
5 使用するアイコンおよび強調.....	16
6 取扱説明書の概要.....	17
7 SICAT Suiteの概要	18
8 SICAT Suiteのインストール	20
9 オペレーティングシステムのアップデートのためのテスト手順を実行します	26
10 SICAT Suiteの更新、修復.....	28
11 このバージョンの特徴.....	29
12 SICAT Endoの標準ワークフロー	33
13 SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして登録する、削除する	37
14 SIDEXIS 4のSICAT Endoスタディ	39
15 SICAT Suite をスタートする	41
16 SICAT Suiteのユーザーインターフェース.....	43
17 SICATのアプリケーションを相互に切り替える	44
18 取扱説明書を開く	45
19 ライセンス.....	46
19.1 「ライセンス一覧」ウインドウを開く	48
19.2 インターネット接続を使用してライセンスを有効にする	49
19.3 ライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にする	51
19.4 ライセンスをライセンスプールへ返却する	53
19.5 バウチャーコードを使用する	55
20 SICAT Endoのユーザーインターフェース	56
20.1 ワークフローのツールバー	58
20.2 オブジェクトバー	61
20.3 オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理	62

20.4	オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理	64
20.5	SICAT Endoオブジェクト	66
21	ワークスペース	70
21.1	パノラマワークスペースの概要	71
21.2	口腔内撮影画像ワークスペースの概要	73
21.3	アクティブなワークスペースを切り替える	74
21.4	アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット	75
21.5	ワークスペースのスクリーンショットを作成する	76
22	ビュー	77
22.1	ビューの調整	78
22.2	アクティブなビューの切り替え	80
22.3	ビューの最大化および復元	81
22.4	2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット	82
22.5	ビューのズームおよび切り抜きの移動	84
22.6	レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール	85
22.7	十字線およびフレームの移動、非表示、表示	86
22.8	検査ウィンドウの移動、非表示、表示	87
22.9	ビューをリセットする	89
22.10	画像のスクリーンショットを作成する	90
23	3Dビューの調整	91
23.1	3Dビューの目線を変更する	92
23.2	3Dビューの表示タイプを切り替える	94
23.3	3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する	95
23.4	3Dビューの切り抜きモードの切り替え	97
24	ボリュームの配置およびパノラマエリア	98
24.1	ボリュームの配置を調整する	101
24.2	パノラマエリアを調整する	106
25	光学印象	110
25.1	光学印象をインポートし記録する	111
25.2	STLフォーマットの光学印象の場合の追加手順	117
25.3	他のSICATアプリケーションからの光学印象を再使用する	119
26	口腔内撮影画像	121
26.1	互換性のある口腔内撮影用センサー	123
26.2	口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます	124
27	登録ウィザード	128

27.1	口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う	129
27.2	口腔内撮影画像を登録する	131
27.3	横方向および軸方向のプリアライメントを調整する	134
27.4	エリアをマスキングする	137
28	EndoLineウィザード	139
28.1	EndoLineウィザードの中のビュー	140
28.1.1	EndoView	145
28.1.2	EndoViewを回転する	146
28.2	治療計画のための歯を選択する	148
28.3	歯の領域をプリアラインメントする	149
28.4	EndoLinesをセットする	151
28.5	色とテキストを調整する	154
28.6	確認箇所を追加、移動および削除する	155
28.7	3Dビューを回転する	158
28.8	光学印象を3Dビューで表示する	159
28.9	マウスボタンを使用する	160
28.10	ドリル穴を計画する	161
29	距離/角度測定	167
29.1	距離測定を追加する	168
29.2	角度測定を追加する	169
29.3	測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する	171
30	患者教化	173
30.1	画像とスクリーンショットの作成	174
30.2	ハンドアウトの準備	178
30.3	ハンドアウトを生成する	180
31	データエクスポート	181
32	注文プロセス	182
32.1	ドリルテンプレートをショッピングカートに入れる	183
32.2	カートを開く	187
32.3	カートをチェックして、注文プロセスを完了する	188
32.4	インターネット接続を使用した注文の終了	189
32.5	SICATポータルでの注文手順	190
32.6	SICAT WebConnector	191
32.7	インターネット接続を使用しない注文の終了	193
33	設定	197
33.1	一般設定の使用	198

33.2 SMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーション	200
33.3 歯科医院情報の使用	202
33.4 可視化設定の変更	203
34 サポート	205
34.1 サポート態勢のページを開く	206
34.2 連絡先情報およびサポートツール	207
34.3 インフォメーション	208
35 データを書き込み禁止で開く	209
36 SICAT Endoを閉じる	211
37 SICAT Suiteを閉じる	212
38 ショートカットキー	213
39 SICAT Suiteのアンインストール	214
40 安全に関する注意事項	217
41 精度	225
用語集	226
索引	227

1 意図された用途および適応症

SICAT Endo 口腔・顎顔面領域の画像情報をビジュアル化するためのソフトウェアです。画像情報は、医療スキャナ(CT/DVTスキャナなど)によるものです。また、SICAT Endoは、治療の選択肢と歯内治療のためのアクセスルートの計画、評価および比較において歯科医をサポートします。歯科医によって作成された計画データは、SICAT Endoからエクスポートして、治療の実施において使用することができます。

適応症

SICAT Endo 次の目的のためのソフトウェアです。

- 口腔・顎顔面領域診断のサポート
- さまざまな治療の選択肢を比較する際のサポート
- 歯内治療計画におけるサポート
- 歯内穿孔テンプレートをを用いた治療計画におけるサポート

2 バージョン履歴

VERSION 1.4

- 初版発行

3 システム要件



注意

お手元のシステムがシステム要件を満たしていない場合は、結果として、このソフトウェアが起動しなくなったり、または正常に機能しない可能性があります。

ソフトウェアをインストールする前に、ご使用のシステムが最小ソフトウェア/ハードウェア要件を満たしているか確認してください。

プロセッサ	クワッドコア：2.3 GHz
メインメモリ	8 GB
グラフィックカード	専用* DirectX 11以上 ビデオメモリ：2 GB 現行のドライバで、ウィンドウズ・ディスプレイ・ドライバ・メモリWDDM1.0以降のバージョンを使用できること。
ディスプレイ	画面解像度：画素密度が100%～125%のとき、1920×1080ドット以上** 画面解像度：画素密度が100%～200%のとき、3840×2160ドット以下**
ハードディスクの空き容量	20 GB、その他、データセット用の補助メモリ容量が必要
記憶媒体	インストールファイルが保存された外部記憶媒体へのアクセス
入力装置	キーボード、マウス
ネットワーク	Ethernetで、100 Mbpsまたは1000 Mbpsを推奨
患者教化用プリンター	300 dpi以上 紙形式はDIN A4またはUSレターサイズ
オペレーティングシステム	Windows 7 SP1 (64ビット版)、更新ファイルKB2670838を適用済みであること Windows 8 (64ビット版、デスクトップ) Windows 8.1 (64ビット版、デスクトップ) Windows 10 (64ビット版、デスクトップ)

ウェブブラウザ	Microsoft Internet Explorer 11以降のバージョン Mozilla Firefox 39以降のバージョン Google Chrome 44以降のバージョン JavaScriptが有効になっていること。 標準のブラウザに設定しておいてください。
PDFビューア	例えば、Adobe Reader DC以降のバージョン
SICAT Suiteをプラグインとして、SIDEXIS XGにインストール	バージョン2.6.1（64ビット版）
SICAT Suiteをモジュールとして、SIDEXIS 4にインストール	バージョン4.2 SiPlanAPI V4
SICAT Suiteをプラグインとして、SIDEXIS 4にインストール	バージョン4.1.2（64ビット版）



*SICAT Suiteでご使用いただけるグラフィックカードは、パフォーマンスレベルがNVIDIA GeForce 960 GTXと同等か、または、それを上回る専用のものに限りです。統合グラフィックカードには対応していません。

**画面を低解像度にして画素密度を大きくすると、それが原因で、ユーザーインターフェースのある一部で、ソフトウェアの表示が不完全になることがあります。

ディスプレイは、SMPTEテスト画像が正確に表示されるように調整する必要があります。この調整に関する内容は、*SMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーション* [▶ ページ 200 - SIDEXIS 4]をご覧ください。

前提ソフトウェア

SICAT Suiteは、以下のソフトウェア・コンポーネントを必要としますが、これらコンポーネントが未インストールのときは、SICAT Suiteがインストールを行います。

- Microsoft .NET Framework 4.5
- CodeMeterライセンス管理ソフト6.30d
- SQL Server Compact Edition 4.0
- SICAT WebConnector

SICAT WebConnectorはSICATサーバーとの通信用に特定のポートを必要とします。このポートはファイアウォール内でも有効にされている必要があります。

プロトコル	接続方向	ポート
HTTP	送信	80
HTTPS	送信	443
FTPS管理	送信	21
FTPSデータ転送	送信	49152~65534



SICAT WebConnectorがなくても注文を実行することができます。これに関する情報は注文プロセス [▶ ページ 182 - SIDEXIS 4]を参照してください。

4 安全に関する情報

安全関連の章節を以下に挙げますが、お読みいただくことが大切です。

- 危険レベルの定義 [▶ ページ 14 - SIDEXIS 4]
- オペレーターの資格 [▶ ページ 15 - SIDEXIS 4]
- 安全に関する注意事項 [▶ ページ 217 - SIDEXIS 4]

4.1 危険レベルの定義

この取扱説明書では、オペレータ要員の皆様や患者様が負傷しないようにすること、および、物的損害を予防することの両者を目的として、安全にかかわる識別表示として以下のものを使用しています。



この表示は、回避しなかった場合に、比較的、軽度の負傷を招く原因になりうる、危険な状況であることを示します。

注記

重要であるが、安全に関連していると思なされない情報を示しています。

4.2 オペレーターの資格



注意

資格のない者が本ソフトウェアを使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

ソフトウェアの使用は、必ず専門の知識のある有資格者が行ってください。

このソフトウェアを使用する要員の皆様は、スキルを有する熟練者の方か、または、正規の教育訓練を修了された方のいずれかに限定してください。

教育またはトレーニングを終了する、または本ソフトウェアを一般的なトレーニングの枠内で使用する場合、必ず有資格者が常時監視している状態で使用してください。

本ソフトウェアを使用するための前提条件：

- 本取扱説明書を読んでいること。
- ソフトウェアの基本構造および機能に習熟していること。
- ソフトウェアの故障を認識し、必要に応じて、適切な手順を実行することができること。

5 使用するアイコンおよび強調

アイコン

この取扱説明書では、以下の記号を使用しています。



この注意アイコンは、例えば代替手順のような追加情報を示しています。

強調

SICAT Suiteに表示される要素のテキストおよび記号は、**太字**で強調されています。これに含まれるユーザーインターフェースのオブジェクト：

- 範囲の記号
- ボタンの記号
- アイコンの記号
- 画面に表示される注意およびメッセージのテキスト

取扱説明

取扱説明は番号付きリストで記載されています。

☑ 前提条件にはこのアイコンが付けられています。

1. 手順には番号が付けられています。

▶ 中間結果はこのアイコンが付けられ、挿入されています。

2. 中間結果の後、それ以降の手順が続きます。

▶ 最終条件にはこのアイコンが付けられています。

- 一つの手順のみで構成される指示にはこのアイコンが付けられています。

6 取扱説明書の概要

SICAT Endo は、他の各種アプリケーションとともに、SICAT Suiteの一部を構成します。

SICAT Suiteは、SICATの各種アプリケーションを実行させる環境を提供します。したがって、各種アプリケーションのインストールは、SICAT Suiteにより行います。これに関する情報は*SICAT Suite*のインストール [▶ ページ 20 - *SIDEXIS 4*]を参照してください。

現在、SICAT Suiteとしてお使いいただけるバージョンは、3種類あります。バージョンによって、操作手順の異なるものがいくらかあります。そのため、この取扱説明書では、バージョンごとで以下のように独立させています。

- *SIDEXIS 4*のモジュールを追加
- *SIDEXIS XG*のプラグイン
- スタンドアロン版

SICAT Suiteをインストールするときは、いずれか1バージョンを選択する操作は不要です。

各種アプリケーションのアンインストールも同様に、SICAT Suiteにより行います。これに関する情報は*SICAT Suite*のアンインストール [▶ ページ 214 - *SIDEXIS 4*]を参照してください。

7 SICAT SUITEの概要

SICAT Suiteは、以下のコンポーネントより構成されています。

- SICAT Function - SICAT Functionの用途については、SICAT Functionの取扱説明書をご参照ください。
- SICAT Air - SICAT Airの用途については、SICAT Airの取扱説明書をご参照ください。
- SICAT Endo - SICAT Endoの用途については、SICAT Endoの取扱説明書をご参照ください。

言語

SICAT Suiteのユーザーインターフェースは以下の言語に対応しています。

- 英語
- ドイツ語
- フランス語
- 日本語
- スペイン語
- イタリア語
- オランダ語
- ポルトガル語
- ロシア語

ライセンス認証

SICATアプリケーションまたは各機能を有効にするには以下の手順が必要となります。

- その場で販売担当者にご連絡ください。
- バウチャーコードを受け取ることができます。
- SICATポータルでバウチャーコードからライセンスキーが生成されます (SICATホームページからアクセス可能)。
- SICATがお客様のアクティベーションキーにライセンスキーを追加します。
- アクティベーションキーでSICATアプリケーションまたはSICAT Suiteをインストールしたコンピュータ上の各機能を有効化します。

フルバージョンおよびビューアモード

SICAT Suiteは2種類のモードでスタートすることができます。

- 最低一つのSICATアプリケーションのビューアライセンスが有効な場合、SICAT Suiteがビューアモードで起動します。
- 少なくとも一つのSICATアプリケーションのフルバージョンライセンスを有効にしている場合、SICAT Suiteはフルバージョンで起動します。

原則として以下のルールを適用しています。

- 有効なフルバージョンライセンスのあるアプリケーションはフルバージョンでスタートします。
- 有効なビューアライセンスのあるアプリケーションはビューアモードでスタートします。
- 有効なライセンスのないアプリケーションはスタートしません。
- SICAT Suiteをインストールするときに、一つのモードに決定する必要はありません。

8 SICAT SUITEのインストール



ソフトウェアに改変を加えると、結果として、このソフトウェアが起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。

1. ソフトウェアのインストールに変更を加えないでください。
2. ソフトウェアのインストールディレクトリにあるコンポーネントを削除または変更しないでください。



インストールメディアが損傷すると、インストールに失敗する可能性があります。

インストールメディアは慎重に取り扱い、適切に保管してください。



お手元のシステムがシステム要件を満たしていない場合は、結果として、このソフトウェアが起動しなくなったり、または正常に機能しない可能性があります。

ソフトウェアをインストールする前に、ご使用のシステムが最小ソフトウェア/ハードウェア要件を満たしているか確認してください。



不十分な承認は、ソフトウェアインストールまたはソフトウェアアップデートが失敗する原因になる場合があります。

ソフトウェアをインストールまたはアップデートする場合、使用するシステムに十分な承認があることを確認してください。



お手元のコンピュータでは、Windowsの **オートスタート** 機能がオフに設定されていることがあります。この場合、光媒体をWindowsファイルエクスプローラーで開き、ファイル名にSICAT Suiteのバージョンが含まれる **SICATSuiteSetup.exe** ファイルを手動でスタートすることができます。

SICAT Suiteをインストールするには、次のように行います。

☑ お手元のコンピュータでは、システムの要件が満たされているようにしておいてください。これに関する情報はシステム要件 [▶ ページ 10 - SIDEXIS 4]を参照してください。

1. SICAT Suiteインストールメディアをコンピューターの光学ドライブに挿入します。

▶ オートスタートのウィンドウが開きます。



2. オートスタートのウィンドウで、**SICATSuiteSetup.exe** を実行する のオプションを選択します。このとき、ファイル名には、SICAT Suiteのバージョン番号が含まれています。

▶ ソフトウェアがコンピューター上で使用できない場合、前提ソフトウェアをインストールします。

- ▶ SICAT Suiteのインストールプログラムが起動し、はじめに のウィンドウが開きます。



3. SICAT Suiteのインストールプログラムで使用する言語は、お好みのものを、はじめに のウィンドウの右上隅から選択したら、次へ をクリックします。

- ▶ 使用許諾契約書のウィンドウが開きます。



4. エンドユーザー使用許諾契約書をもれなく通読し、使用許諾契約書に同意します。のチェックボックスにチェックマークを入れたら、次へをクリックします。

- ▶ オプションのウィンドウが開きます。



- SICAT Suiteのインストールプログラムにより、SICAT Suiteをインストールする先のフォルダが、ハードディスク上にありますが、このフォルダを変更するときは、**検索する**のボタンをクリックします。

- ▶ **フォルダを選択する** のウィンドウが開きます。

- SICAT Suiteインストールプログラムに「SICAT Suite」ディレクトリを作成させたいフォルダを参照し、**OK**をクリックしてください。

- ▶ フォルダを選択すると、SICAT Suiteのインストールプログラムが、そのフォルダへのパスを **ソフトウェアをどこにインストールしますか?** のボックス内に貼り付けます。

- お手元のコンピュータにSIDEXIS XGか、または、SIDEXIS 4がインストールしてある場合、**SIDEXIS 搭載の SICAT Suite を使用したい** のチェックボックスは、入力が可能です。SICAT Suiteの登録は、インストール中でも可能ですが、後ほど、SIDEXIS XGのプラグインか、または、SIDEXIS 4のモジュールとして、マニュアル操作によっても結構です。

- ▶ **SIDEXIS 搭載の SICAT Suite を使用したい** のチェックボックスにチェックマークを入れた場合、**デスクトップにショートカットを作成します** のチェックボックスは、グレーアウト表示で入力できません。

- 入力が可能な場合は、**デスクトップにショートカットを作成します** のチェックボックスにチェックマークを入れるか外すかのいずれかを行います。

- インストールする** のボタンをクリックします。

- ▶ **進捗状況** のウィンドウが開きます。



- ▶ SICAT Suiteと残りの前提ソフトウェアをインストールします。
- ▶ インストールが完了すると、**確認** のウィンドウが開きます。



10. **終了する**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteインストールプログラムが閉じます。

9 オペレーティングシステムのアップデートの ためのテスト手順を実行します



OSに改変を加えると、結果として、SICATアプリケーションが起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。

1. SICATアプリケーションを起動する前に、必ずお手元のコンピュータのオペレーションシステムが前回SICATアプリケーションを使用してからアップデートやセキュリティアップデートをインストールしたかを確認してください。
2. お手元のコンピュータのオペレーションシステムに更新プログラムまたは背級レティアップデートがインストールされている場合、取扱説明書に記載されている必要手順でSICATアプリケーションのチェックを実行してください。
3. SICATアプリケーションの動作が取扱説明書に記載されている動作と異なる場合、ソフトウェアをそれ以上使用せず、直ちにSICATサポートまでお問い合わせください。

お使いのコンピュータのオペレーションシステムに更新プログラムがインストールされている場合、SICAT Endoが正常に動作しているか確認します。以下の点検手順を実行してください。点検中に異常を発見した場合は影響を受けるコンピュータ上のSICAT Endoの使用を中止し、SICATサポートまでお問い合わせください。

準備

1. 意図しない変更が行われていないことを確認するために、患者「Patient Axx」を削除してください。
2. ファイル「SICASuite_ReferenceDataset_1.4.zip」から基準データセットをインポートしてください。データセットはSICATスイートのインストールメディアにあります。
3. 基準データセット「Patient Axx」をSICAT Endoで開いてください。

ENDOLINE

1. FDI-歯型図が有効になっていることを確認してください。これに関する情報は、[一般設定の使用 \[▶ ページ 198 - SIDEXIS 4\]](#)をご参照ください。
2. パノラマ-作業領域が有効になっていることを確認してください。
3. ビューを標準値に戻してください。
4. オブジェクトブラウザにおいて、グループ「歯 45」を開いてください。
5. オブジェクトブラウザで、エレメント「15.24mm歯45番」を選択し、それに焦点を合わせてください。

6. 縦ビューを次のスクリーンショットと比較してください。



7. オブジェクトブラウザにおいて、グループ「歯 25」を開いてください。
8. オブジェクトブラウザで、エレメント「13.63 mm歯25番」を選択し、それに焦点を合わせてください。
9. 横断ビューを次のスクリーンショットと比較してください。



10 SICAT SUITEの更新、修復

SICAT SUITEの更新

SICAT Suiteを更新するときは、SICAT Suiteのインストールプログラムを起動して、**更新する**のボタンをクリックしてください。更新にあたって、インストールプログラムは、最初にSICAT Suiteの旧バージョンをアンインストールします。データと設定内容は、いずれももれなく保持されます。



SICAT Suiteのスタンドアロン版では、バージョンの更新にあたって、患者カルテフォルダの更新が必要です。新規バージョンの初回起動時や、更新前の患者ファイリングを開いた場合、SICAT Suiteでは、患者カルテフォルダの更新を希望するかどうかを尋ねてきます。尋ねるメッセージを確認したら、SICAT Suiteは、患者ファイルの更新を自動で行います。**注意！更新後の患者ファイルは、SICAT Suiteの旧バージョンで使用することができなくなります。**



SIDEXIS XGをSIDEXIS 4.1.3以降のバージョンに更新し、その後、SICAT Suiteを更新すると、SICAT Suiteのインストールプログラムは、SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして登録します。3D X線撮影画像を開くと、SICAT Suiteでは、その3D X線撮影画像に関する3D治療計画スタディがSIDEXIS XG内に存在するかどうかをチェックし、存在すれば、そのスタディをSIDEXIS XGからSIDEXIS 4へ適用します。

SICAT SUITEの修復

SICAT Suiteを修復するときは、SICAT Suiteのインストールプログラムを起動して、**修理する**のボタンをクリックしてください。データと設定内容は、いずれももれなく保持されます。

SICAT Suiteでは、更新と修復の両方で、SICAT Suiteのインストールプログラムを使用します。これに関する情報はSICAT Suiteのインストール [▶ ページ 20 - SIDEXIS 4]を参照してください。

SIDEXIS 4でプラグインからモジュールへの更新を実行する

バージョン1.3以降のSICAT Suiteは、バージョン4.1.3以降のSIDEXIS 4を、プラグインとしてではなく、モジュールとしてサポートします。SICAT Suiteをバージョン1.3に更新して、SIDEXIS 4へインストールすると、SIDEXIS 4は、モジュールとして自動で登録されます。SICAT Suiteの更新を完了してから、SIDEXIS 4の更新を行うときは、モジュールとしての登録をマニュアル操作により行ってください。この更新に関する内容は、SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして登録する、削除する [▶ ページ 37 - SIDEXIS 4]の節をご覧ください。

11 このバージョンの特徴

SICAT Endo単独、または他のソフトウェアにリンクされた形で使用するかによって、特定の領域に違いがあります。

SIDEXIS 4 のモジュールとしてマニュアル操作により登録する

SICAT Suiteは、インストール中に自動で登録を行うことができますが、SIDEXIS 4のモジュールとしてマニュアル操作により登録や削除を行うことが可能です。これに関する情報はSICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして登録する、削除する [▶ ページ 37 - SIDEXIS 4]を参照してください。

プログラムの起動

SICAT SuiteがSIDEXIS 4のモジュールの場合、SICAT Suiteの起動は、SIDEXIS 4の内部で**治療計画立案、治療**の段階で行われます。SICAT SuiteがSIDEXIS 4のモジュールの場合に、SICAT Suiteを起動する手順は、SICAT Suite をスタートする [▶ ページ 41 - SIDEXIS 4]の節をご覧ください。

患者データ、立体画像のデータ

SIDEXISに結合したバージョンのSICAT Endoでは、SIDEXISの患者データとボリュームデータを利用します。したがって、データのバックアップは、SIDEXIS向けで設定されている手順に沿って行われます。



患者データに加えて、SICATの各種アプリケーションのユーザー設定内容についても、バックアップ保存を行っておくのがよいでしょう。ユーザー設定内容は、各ユーザー別に2つのディレクトリに分割して保存されています。これら2つのディレクトリを開くときは、Windowsのエクスプローラで、アドレスバーに %appdata%\SICAT GmbH & Co. KGと %localappdata%\SICAT GmbH & Co. KG を入力してください。

設定

SICAT Suiteの設定内容は、SIDEXIS 4の設定内容の中で、カテゴリとして保存されています。

SIDEXISに結合したバージョンでは、SICAT Suiteで表示されるパラメータが、いくつかの設定内容のもののみ限定されますが、その理由は、SICAT Suiteで適用されるのがSIDEXISの設定内容であるためです。

ライセンス

スタンドアロン版と、別のソフトウェアに結合した、SICAT Suiteのバージョンは、いずれも共通のライセンスで使用できます。SICAT Suiteをインストールするときに、一つのバージョンに決定する必要はありません。

SICAT ENDO と SIDEXIS 4 でデータを互いに同期させる

SICAT Endo と SIDEXIS 4 の間では、ボリュームの配置とパノラマエリアについて、互いの両方向で同期が行われます。この同期では、以下の制約があります。

- SICAT Endo ボリュームの配置で、回転が可能な角度は、最大30°までに限定されています。
- 診断や治療計画の各対象（以下、オブジェクト）で、別のボリュームの配置をベースとするものが、すでに追加されているときに、ボリュームの配置を同期させると、それらのオブジェクトに影響が及ぶ場合は、SICAT Endo のメッセージボックスが表示されます。このメッセージボックスでは、同期による影響の詳細をお知らせしますので、以下に挙げるオプションから、いずれかを選択します。
 - 同期する
 - 今ではない
 - 一度もない SIDEXIS 4 で、3D X線撮影画像やボリュームの配置について、いずれも現時点のものがあるときは、こちらを選択します
- 診断や治療計画の各対象（以下、オブジェクト）で、別の設定済みパノラマエリアをベースとするものが、すでに追加されているときに、パノラマエリアを同期させると、それらのオブジェクトに影響が及ぶ場合は、SICAT Endo のメッセージボックスが表示されます。メッセージウィンドウでは以下の二つのオプションを選択できます。
 - OK - SICAT Endo 同期を実行し、オブジェクトを削除します。
 - 中止する - SICAT Endo 同期を実行せず、オブジェクトを残します。
- SICAT Endo サポートするのは、SIDEXIS 4 の標準パノラマ歯列弓のみです。各点をそれぞれで移動させることはできません。
- SICAT Endo サポートするパノラマエリアは、幅が10 mm以上のものに限りです。
- SICAT Endo サポートするパノラマ歯列弓は、SIDEXIS 4 で回転させていないものに限りです。

上記の制約のうち、1項目でもサポート範囲外に該当するものがあれば、SICAT Endo と SIDEXIS 4 の両方で、ボリュームの配置とパノラマエリア、または、パノラマエリア単独のいずれかについては、同期を行いません。

さらに、SICAT Endo で3D X線撮影画像を初めて開くと、SICAT Endo では、3D画像の焦点と視線方向として、SIDEXIS 4 のものが適用されます。

データエクスポート

SICAT Suite を SIDEXIS 4 のモジュールとして実行させると、データのエクスポートは、その目的で用意されている、SIDEXIS 4 の各種機能を利用して行われます。このエクスポートに関する内容は、SIDEXIS 4 の取扱説明書を参照してください。

SIDEXIS 4 の出力ページヘスクリーンショットを追加する

画像や作業画面の各スクリーンショットは、SIDEXIS 4 の出力ページに追加することができます。追加したら、2D出力ページに用意されている、SIDEXIS 4 の各種機能が利用できるようになります。このエクスポートに関する内容は、SIDEXIS 4 の取扱説明書を参照してください。

カート

カートは、SICAT Suiteで用意されていますが、SIDEXIS 4では**出力**のフェーズで利用できます。

スタディで、書込権限のあるものとなないものを開く



SIDEXIS 4やSICAT Suiteを実行させるコンピュータがネットワークに接続する環境にあって、さらに、SIDEXIS 4とネットワークの構成設定によっては、複数のワークステーションに一括インストールできる場合、SIDEXIS 4は、その一括インストールに含まれる1台となることがあります。この一括インストールに含まれているときは、データセットを開いていても、結果として、他のワークステーションが原因で書込権限を失ってしまう可能性が大いにあります。こうしたケースが発生したときは、SIDEXIS 4がデータセットを直ちに閉じて終了しますので、SICAT Endoの3D治療計画スタディでは、変更内容を保存できなくなります。

SICAT Endoのスタディで変更を行って、変更内容を保存できるようにするためには、以下の条件を満たしておく必要があります。

- SICAT Endoのフルバージョンライセンスのアクティベーションを完了しておくこと。

以下の表には、ライセンスのアクティベーション状況に応じた、機能の利用可否を示します。

機能	フルバージョンライセンスがアクティベート済み	ビューアライセンスがアクティベート済み	ライセンスはアクティベーションが未完了
サポート領域	有	有	有
一般設定	有	有	有
変更を行う	有	無	無
変更内容を保存せず、データを確認する	無	有	無
ヘルプ	有	有	有

以下の場合にはビューアライセンスがなくてもSICAT Endoのスタディを参照することができます。

- SIDEXIS 4からSICAT Endoのスタディを外部にエクスポートし、他のコンピューター上のデータをSIDEXISにインポートします。SICAT Endo このコンピューター上にインストールされている必要があります。
- SIDEXIS 4から外部にSICAT Endoのスタディを含むWrap&Goパッケージを作成します。他のコンピューターにWrap&Goパッケージをインストールしてください。SICAT Endoの後にインストールしてください。

いずれの場合でも計画の変更も保存もできません。

アプリケーションのライセンスに対して、アクティベーションが完了していても、条件によっては、SICAT Endoのスタディで変更を行ったり、変更内容を保存したりが、いずれもできない場合があります。その原因として、例えば注文プロセス実行中の場合が考えられます。

詳細な情報は、[データを書き込み禁止で開く \[▶ ページ 209 - SIDEXIS 4\]](#)をご参照ください。

12 SICAT ENDOの標準ワークフロー



SICAT Suiteおよび付属のSICATアプリケーションを他の機器と一つのコンピューターネットワークまたはメモリーネットワーク内で併用すると、患者、ユーザー、その他の人に未知の危険が及ぶおそれがあります。

ネットワークに関連する危険を特定、分析、判断するため、各組織内で規則を作成してください。



SICATアプリケーションデータを信頼できないネットワークファイルシステムに保存すると、データの損失につながるおそれがあります。

ネットワーク管理者と共に、SICATアプリケーションデータを希望のネットワークファイルシステムに保存できるようにしてください。



ネットワーク環境を変更すると、新しい危険につながるおそれがあります。例えば、ネットワーク構成の変更、追加機器またはコンポーネントのネットワークへの接続、機器またはコンポーネントのネットワークからの分離、ネットワーク機器またはコンポーネントのアップデートまたはアップグレードなどです。

ネットワークを変更する度に、新たなネットワークリスク分析を実施してください。



サイバーセキュリティの問題は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

お手元のSICATアプリケーションにおいて、サイバーセキュリティにかかわるトラブルの疑いがあるときは、直ちにテクニカルサポートまで、ご連絡ください。



情報システムにあるセキュリティの脆弱性は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

1. 情報処理のシステム環境において、セキュリティ上の脅威を発見し、それらを回避するために、組織内部で指針を定めて周知するよう、徹底してください。
2. 最新のウィルススキャナをインストールし、ウィルススキャンを実行してください。
3. ウィルススキャナの定義ファイルを定期的に更新してください。



ワークステーションへの不正なアクセスは、患者データの秘密情報およびインテグリティに関するリスクにつながるおそれがあります。

ワークステーションへのアクセスは資格のある人に限定してください。



SICAT Suiteを使った作業を始める前に、本取扱説明書および、特にすべての安全上の注意事項をよくお読みください。後で情報を調べる時のため、本取扱説明書は手元に置いてください。

インストール

SICAT Suiteをインストールする手順は、*SICAT Suite*のインストール [▶ ページ 20 - *SIDEXIS 4*]をご参照ください。

SICAT SuiteがSIDEXIS 4のモジュールの場合に、SICAT Suiteを手動で起動する手順は、*SICAT Suite*をSIDEXIS 4のモジュールとして登録する、削除する [▶ ページ 37 - *SIDEXIS 4*]の節をご覧ください。

フルバージョンで使用可能にする

- SICAT Endoのライセンスが取得済みのときは、ライセンスのアクティベーションを行って、フルバージョンで使用できるようにします。これに関する情報はライセンス [▶ ページ 46 - *SIDEXIS 4*]を参照してください。



SICAT Endoのライセンスを取得していない場合は、3D X線撮影画像をビューアーモードで個別に開いてください。ビューアーモードに関する内容は、データを書き込み禁止で開く [▶ ページ 209 - *SIDEXIS 4*]の節をご覧ください。

設定

各種設定について、お好みの内容に変更するときは、**設定**のコーナーから行ってください。これに関する情報は、**設定** [▶ ページ 197 - *SIDEXIS 4*]をご参照ください。

データセット

SICAT Endo 3つの異なるファイルタイプを組み合わせます。

- 3D X線撮影画像。例として、Sirona GALILEOSによるものがあります。
- 例えば、Sirona XIOS XGによる口腔内撮影画像
- デジタル光学印象。例として、Sirona CERECによるものがあります。

データセットを収集する

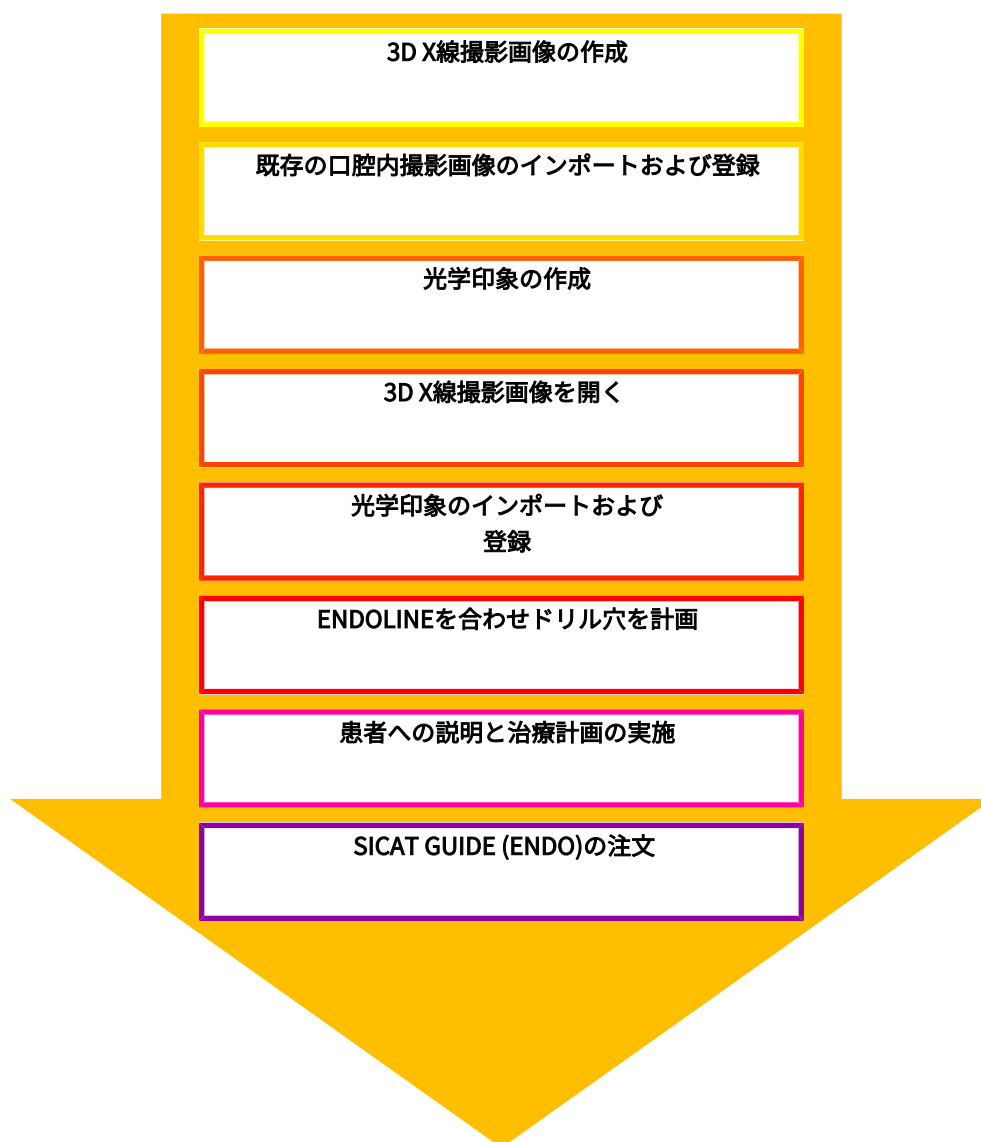
1. 必要に応じて、患者の口腔内撮影画像を作成してください。この手順に関する内容は、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

2. 患者の3D X線撮影画像を作成してください。この手順に関する内容は、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
3. 上顎骨または下顎骨のデジタル光学印象を作成します。この手順に関する内容は、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

データセットを開く

1. タイムラインに沿って並ぶ中から、3D X線撮影画像か、または、SICAT Endoのスタディを選択します。
2. SICAT Endoを起動します。これに関する情報はSICAT Suite をスタートする [▶ ページ 41 - SIDEXIS 4]を参照してください。

歯内治療における典型的なデジタルワークフロー



作業手順 SICAT ENDO

1. 必要に応じて、ボリュームの配置とパノラマエリアを調整してください。これに関する情報は、[ボリュームの配置およびパノラマエリア](#) [[▶ ページ 98 - SIDEXIS 4](#)]をご参照ください。
2. SICAT Endoで、既存の口腔内撮影画像をインポートして登録してください。これに関する情報は、[口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます](#) [[▶ ページ 124 - SIDEXIS 4](#)]および[口腔内撮影画像を登録する](#) [[▶ ページ 131 - SIDEXIS 4](#)]をご参照ください。
3. 3D X線撮影画像のデータとともに、光学印象をインポートして記録します。これに関する情報は、[光学印象をインポートし記録する](#) [[▶ ページ 111 - SIDEXIS 4](#)]をご参照ください。
4. EndoLinesを合わせ、ドリル穴を計画します。これに関する情報は、[歯の領域をプリアライメントする](#) [[▶ ページ 149 - SIDEXIS 4](#)]、[EndoLinesをセットする](#) [[▶ ページ 151 - SIDEXIS 4](#)]および[ドリル穴を計画する](#) [[▶ ページ 161 - SIDEXIS 4](#)]をご参照ください。
5. Endo計画オブジェクトを口腔内撮影画像ワークスペースで評価してください。これに関する情報は、[口腔内撮影画像ワークスペースの概要](#) [[▶ ページ 73 - SIDEXIS 4](#)]をご参照ください。
6. 患者教化を実行し、それに基づいて患者のハンドアウトを作成してください。これに関する情報は、[患者教化](#) [[▶ ページ 173 - SIDEXIS 4](#)]をご参照ください。
7. SICAT GUIDE (ENDO) 穿孔テンプレートをご注文ください。これに関する情報は、[注文プロセス](#) [[▶ ページ 182 - SIDEXIS 4](#)]をご参照ください。
8. 例えば、セカンドオピニオンを求める場合、データをエクスポートします。これに関する情報は、[データエクスポート](#) [[▶ ページ 181 - SIDEXIS 4](#)]をご参照ください。

データセットを使用する作業を終了する、中断する

- お手元の作業を終了したり中断したりするときは、SIDEXIS 4からSICAT Suiteを閉じて、その作業内容を保存します。これに関する情報は[SICAT Suiteを閉じる](#) [[▶ ページ 212 - SIDEXIS 4](#)]を参照してください。

取扱説明書、サポート

取扱説明書は、**SICAT Suite ヘルプ**のウィンドウからご覧ください。これに関する情報は、[取扱説明書を開く](#) [[▶ ページ 45 - SIDEXIS 4](#)]をご参照ください。

それ以降のサポートは、**サポート**のページをご覧ください。これに関する情報は、[サポート](#) [[▶ ページ 205 - SIDEXIS 4](#)]をご参照ください。

13 SICAT SUITEをSIDEXIS 4のモジュールとして登録する、削除する

SIDEXIS 4によるSICAT Suiteの使用に関して、一般的な内容は、このバージョンでの特徴の節をご覧ください。



SICAT SuiteをSIDEXIS 4へインストールすると、SICAT Suiteのインストールプログラムが、SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして、自動で登録を行います。このインストールに関する内容は、*SICAT Suiteのインストール* [▶ ページ 20 - SIDEXIS 4]の節をご覧ください。

「SIDEXIS 4」のウィンドウを開く

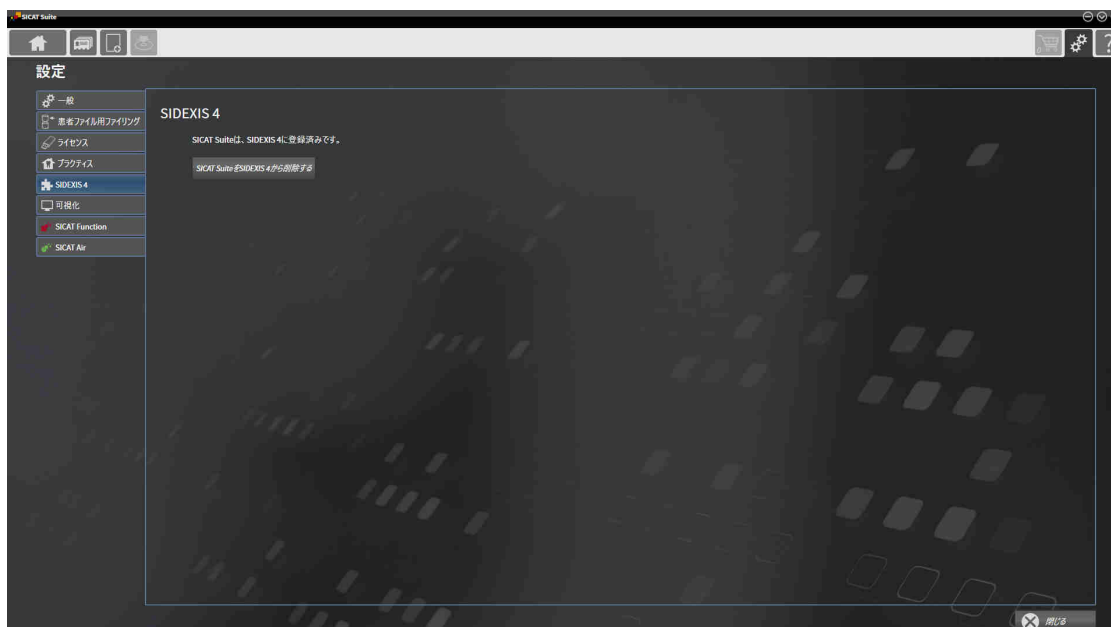
1. SICAT Suiteのスタンドアロン版を起動します。これに関する情報は*SICAT Suite をスタートする* [▶ ページ 41 - SIDEXIS 4]を参照してください。



2. **設定**のアイコンをクリックします。
▶ **設定**のウィンドウが開きます。



3. **SIDEXIS 4**のタブをクリックします。
▶ **SIDEXIS 4**のウィンドウが開きます。



SICAT SUITEをSIDEXIS 4のモジュールとして登録する

☑ SICAT Suiteを正常にインストールします。これに関する情報は*SICAT Suite*のインストール [▶ ページ 20 - *SIDEXIS 4*]を参照してください。

☑ SIDEXIS 4は、開かないでおきます。

☑ SICAT Suiteのスタンドアロン版を起動させておきます。

☑ **SIDEXIS 4**ウィンドウはすでに開いています：

1. **SICAT SuiteをSIDEXIS 4で登録する**のボタンをクリックします。

2. SIDEXIS 4を起動します。

▶ SICAT Suiteは、SIDEXIS 4のモジュールとして登録を完了しておきます。SIDEXIS 4への登録が支障なく完了したら、**治療計画立案、治療**のフェーズが見えるようになります。



SIDEXIS 4のモジュールとして登録したSICAT SUITEを削除する

☑ SICAT Suiteが、SIDEXIS 4のモジュールとして、すでに登録されていることが必要です。

☑ SIDEXIS 4は、開かないでおきます。

☑ SICAT Suiteのスタンドアロン版を起動させておきます。

☑ **SIDEXIS 4**ウィンドウはすでに開いています：

1. **SICAT SuiteをSIDEXIS 4から削除する**のボタンをクリックします。

2. SIDEXIS 4を起動します。

▶ 以上で、SICAT Suiteは、SIDEXIS 4のモジュールとして使用することは、できなくなります。

14 SIDEXIS 4のSICAT ENDOスタディ



注意

表示品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

SICATアプリケーションを使用する前に、表示品質が十分であるか確認してください（例えば、SMPTEテストビューで）。



注意

環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。



注意

DICOMに適合していないX線機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、DICOM規格に適合することが証明されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。



注意

不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。

3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。



注意

不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。

SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして実行させる場合、患者データの管理は、SIDEXIS 4で行ってください。

以下の条件が満たされていれば、SIDEXIS 4は、SICAT Endoスタディに関するプレビュー画像を表示します。

- SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして使用しています。
- 選択された患者には、SICAT Endoスタディが作成済みです。



- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 ドリル穴 | 4 口腔内撮影画像 |
| 2 EndoLines | 5 治療計画 |
| 3 光学印象 | 6 注文 |

プレビュービューでは、以下の情報をお知らせします。

- 利用可能な登録済み口腔内撮影画像
- 利用可能な光学印象
- 利用可能な根管治療計画
- 利用可能なステータスと日付を含む注文
- 利用可能なレポート

アイコンが明るく表示されていれば、それに該当するアイテムは、スタディの中に含まれています。

15 SICAT SUITE をスタートする



注意

患者名や3D X線撮影画像の突き合わせでミスがあると、結果として、患者を撮影した画像の取り違えを招くことになりかねません。

3D X線撮影ビューで、インポートしようとしているものや、すでにSICATのアプリケーションに読み込み済みのものがある場合は、突き合わせる先の患者名が正しいこと、突き合わせる撮影画像に関する情報が正しいことをいずれもチェックしてください。



注意

不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。



注意

不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。

3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。

SICAT Endoを開始するには、まずSICAT Suiteを起動する必要があります。

SICAT SuiteをSIDEXIS 4 モジュールとして起動させるには、以下の手順に従って操作を行ってください。

- ☑ SICAT Suiteを正常にインストールします。これに関する情報は、*SICAT Suite*のインストール [▶ ページ 20 - *SIDEXIS 4*]をご参照ください。
- ☑ SICAT SuiteがSIDEXIS 4のモジュールとして、すでに登録されている。これに関する情報は、*SICAT Suite*をSIDEXIS 4のモジュールとして登録する、削除する [▶ ページ 37 - *SIDEXIS 4*]をご参照ください。SICAT SuiteをSIDEXIS 4にインストールしたときに、登録が自動で行われることがあります。
- ☑ SIDEXIS 4で、3D X線撮影画像またはスタディがすでに選択されています。
- ☑ オプションとしてSIDEXIS 4でさらにデータセットを選択できます。口腔内画像を常に操作できます。さらに、3DX線撮影画像の場合でも対応するスタディを操作できます。



1. **3D検査**に表示のボタンの横に**表示**のアイコンがありますので、それをクリックします。



2. **表示**のウィンドウで、**SICAT Suite**のアイコンをクリックします。

▶ SIDEXIS 4のフェーズは、**治療計画立案**、**治療**に切り替わります。

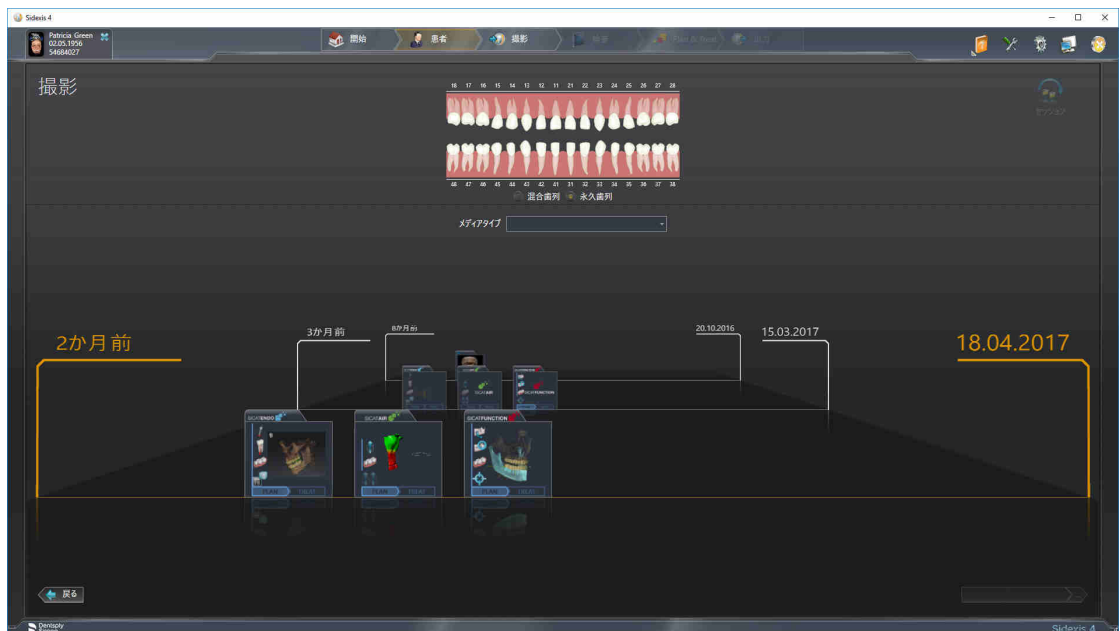
▶ SICAT Suiteでは、SICATのアプリケーションで、3D X線撮影画像が開きます。



3D X線撮影画像を、それが関係するスタディなしに開き、かつ、ライセンスのアクティベーションを完了している、SICATのアプリケーションが1つのみのときは、そのSICATのアプリケーションが起動します。3D X線撮影画像を、それが関係する、複数のスタディとともに開き、かつ、ライセンスのアクティベーションを完了している、SICATのアプリケーションが複数あるときは、前回、スタディに変更を加えたアプリケーションが起動します。

3D X線撮影画像を開いた後は、SICATの別アプリケーションへ切り替えることができます。これに関する情報は、*SICATのアプリケーションを相互に切り替える* [▶ ページ 44 - *SIDEXIS 4*]をご参照ください。

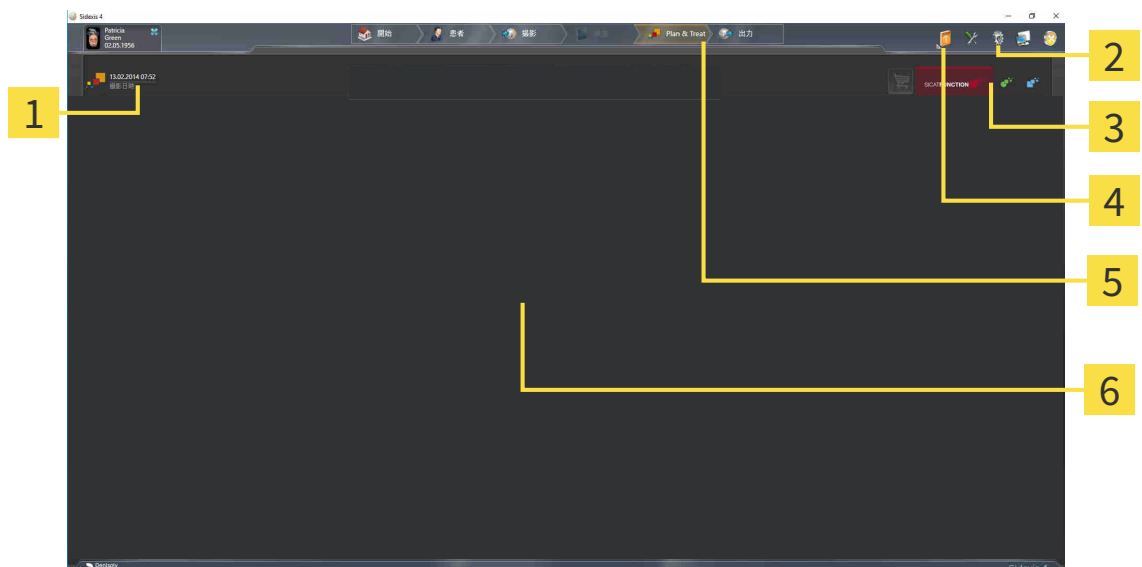
アプリケーション固有のスタディで保存済みのものがあるときは、このスタディを撮影図のウィンドウから直接選択して、そのスタディが関係する、SICATのアプリケーションで開くことができます。すでにショッピングカートに入れた商品で、このスタディをベースとするものがあるときは、ショッピングカートが開きます。



SIDEXIS 4でも同様に、最後の撮影図のエリアにある、患者の詳細のウィンドウでスタディを表示します。これに関する情報は、*SIDEXIS 4のSICAT Endoスタディ* [▶ ページ 39 - *SIDEXIS 4*]をご参照ください。

16 SICAT SUITEのユーザーインターフェース

SICAT Suiteのユーザーインターフェースは、以下のアイテムから構成されています。



1 現時点で開いているスタディ

4 ヘルプ

2 設定

5 SIDEXIS 4のフェーズバー

3 アプリケーション切替用のボタン、ボタン
カート

6 アプリケーション領域

- 現時点で開いているスタディ - 現時点で開いているスタディに関する内容とSICAT Suiteを閉じるボタンを表示します。
- 設定 - これに関する情報は設定 [▶ ページ 197 - SIDEXIS 4]を参照してください。
- アプリケーション切替用のボタン、カートのボタン - これらのボタンに関する内容は、SICATのアプリケーションを相互に切り替える [▶ ページ 44 - SIDEXIS 4]、注文プロセス [▶ ページ 182 - SIDEXIS 4]の各節をご覧ください。
- ヘルプ - これに関する情報は取扱説明書を開く [▶ ページ 45 - SIDEXIS 4]を参照してください。
- アプリケーション領域は、SICAT Suiteの上記以外の部分にあって、SICATのアプリケーションのうち、開いているもののユーザーインターフェースを表示します。

17 SICATのアプリケーションを相互に切り替える

SICATアプリケーションを相互に切り替えるには、次のように行います。



- SICATのアプリケーションで、切替をご希望のものが表示されているボタンをクリックします。
- ▶ SICAT Suiteは、選択したアプリケーションに切り替わります。

18 取扱説明書を開く

SIDEXIS 4では、ヘルプのメニューから、PDFファイルの形式で、SICATのアプリケーションの取扱説明書呼び出すことができます。SICATのアプリケーションの取扱説明書を開くときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. ヘルプのアイコンをクリックします。
 - ▶ 利用可能な取扱説明書のリストが開きます。



2. お好みの使用説明書をクリックします。
 - ▶ 選択した使用説明書が開きます。

SICATアプリケーションが開いている場合、対応するヘルプを開くには同様にF1ボタンを押します。

19 ライセンス

SICAT Suiteはライセンスがアクティベート済みのSICATアプリケーションのみ表示します。



SICAT SuiteのSIDEXISと接続されたバージョンではSICAT Endo治療計画も有効なSICAT Endoライセンスなしで表示することができます。

以下の種類のライセンスがあります。

- ビューアライセンスがあればアプリケーションをビューアモードで無期限使用することができます。
- デモライセンスでは一つまたは複数のSICATアプリケーションのフルバージョンに期間限定でアクセスすることができます。
- フルバージョンライセンスでは一つまたは複数のSICATアプリケーションのフルバージョンに無期限でアクセスすることができます。

SICATアプリケーションまたは各機能を有効にするには以下の手順が必要となります。

- その場で販売担当者にご連絡ください。
- バウチャーコードを受け取ることができます。
- SICATポータルでバウチャーコードからライセンスキーが生成されます (SICATホームページからアクセス可能)。
- SICATがお客様のアクティベーションキーにライセンスキーを追加します。
- アクティベーションキーでSICATアプリケーションまたはSICAT Suiteをインストールしたコンピュータ上の各機能を有効化します。

以下はライセンスの有効化および無効化に適用されます。

- お客様が受け取るSICATアプリケーションのライセンスキーはお使いの国で許可されているものだけです。
- コンピューター上でアクティベーションキーを有効化すると、含まれているSICATアプリケーションの各ライセンスまたは機能がコンピューターに結合されます。使用したライセンスは、もう別のコンピューターでのアクティベーションに使用することはできません。
- ライセンスは、各SICATアプリケーションまたは各機能用に無効化することができます。ライセンスを返却すると、そのライセンスをあらためてアクティベーションできるコンピュータは、同一または別の違いを問いません。
- SICATアプリケーションのフルバージョンライセンスを返却した場合、お使いの国で許可されている限り、自動的にビューアライセンスを受け取ります。
- フルバージョンライセンスを有効化すると、自動的にお使いの国で許可されている全てのアプリケーション用のビューアライセンスを受け取ります。

バウチャーコードをアクティベーションキーと交換する方法はバウチャーコードを使用する [▶ ページ 55 - SIDEXIS 4]をご覧ください。

お手元のコンピューターでアクティベーションが完了しているライセンスについては、**ライセンスの概要**のウィンドウで概要をご覧ください。デモライセンス使用時はSICAT Suiteは有効期限を表示します。これに関する情報は「**ライセンス一覧**」ウィンドウを開く [▶ ページ 48 - SIDEXIS 4]を参照してください。

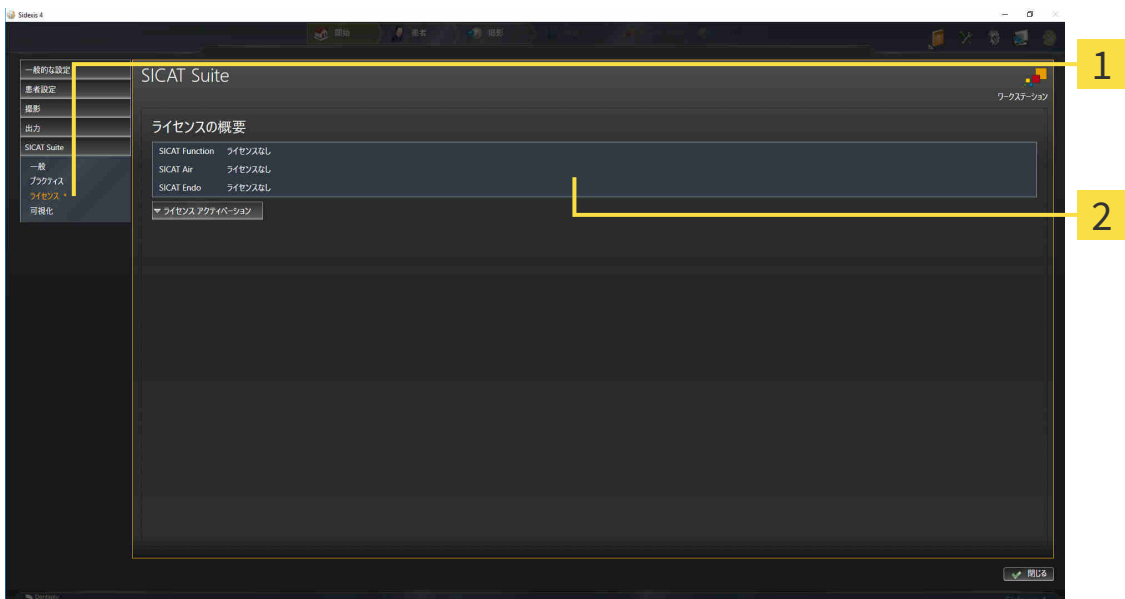
ライセンスは次の二通りの方法で有効にすることができます。

- SICAT Suiteが作動しているコンピューターがインターネットに接続されている場合、ライセンスのアクティベーションは自動で行うことができます。これに関する情報はインターネット接続を使用してライセンスを有効にする [▶ ページ 49 - SIDEXIS 4]を参照してください。
- 希望に応じて、またはSICAT Suiteが作動しているコンピューターがインターネットに接続されていない場合、ライセンス要求ファイルを使用することにより、ライセンスのアクティベーションを手動で行うことができます。ライセンス要求ファイルをSICATのインターネットページにアップロードする必要があります。これで、ライセンスアクティベーションファイルを取得でき、これをSICAT Suiteで有効にしてください。これに関する情報はライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にする [▶ ページ 51 - SIDEXIS 4]を参照してください。

各アプリケーションまたは機能のライセンスを個別に無効にすることができます。ライセンスを無効にした後、同じ、または別のアクティベーションキーを入力することができます。返却されたライセンスは、同一または別のコンピューターでのアクティベーションに使用することができます。これに関する情報はライセンスをライセンスプールへ返却する [▶ ページ 53 - SIDEXIS 4]を参照してください。

19.1 「ライセンス一覧」 ウィンドウを開く

1. SIDEXIS 4のタイトルバーで、**設定**のアイコンをクリックします。
▶ **設定**のウィンドウが開きます。
2. **SICAT Suite**のグループをクリックします。
▶ **SICAT Suite**のグループが開きます。
3. **ライセンス**のボタンをクリックします。
▶ **ライセンスの概要**のウィンドウが開きます。



1 タブ ライセンス

2 ウィンドウ ライセンスの概要

以下の操作を続行します：

- インターネット接続を使用してライセンスを有効にする [▶ ページ 49 - SIDEXIS 4]
- ライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にする [▶ ページ 51 - SIDEXIS 4]
- ライセンスをライセンスプールへ返却する [▶ ページ 53 - SIDEXIS 4]

19.2 インターネット接続を使用してライセンスを有効にする

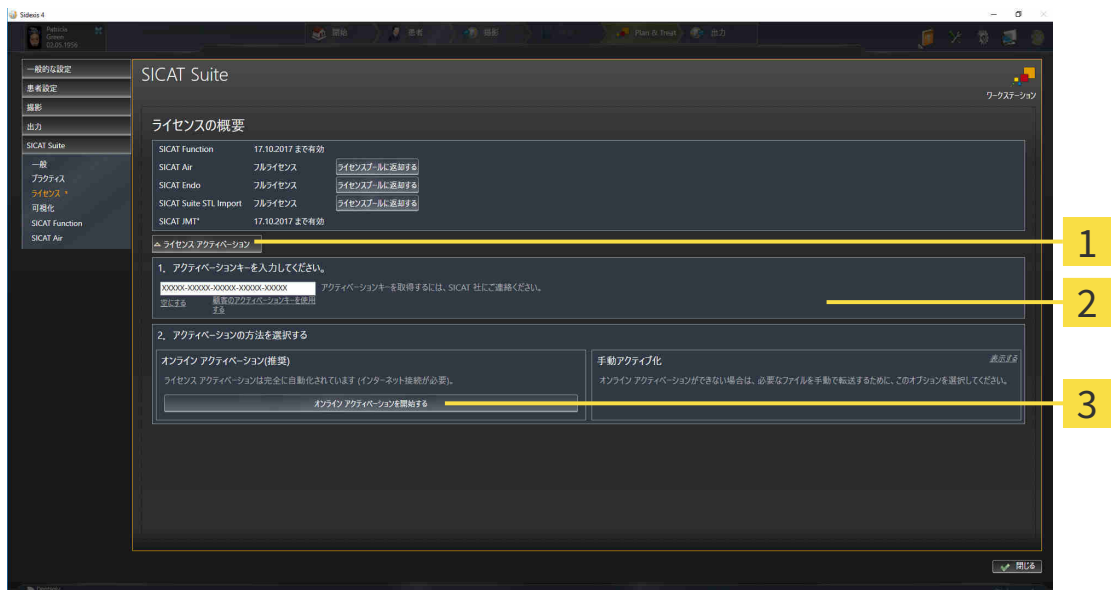
注記 患者ファイルが閉じている必要があります
ライセンスで変更を加えるときは、開いている患者ファイルを事前に閉じてください。

アクティベーションの手順を開始するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 少なくとも一つのSICATアプリケーションまたは個々の機能に有効なライセンスが欠けています。
- ☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。
- ☑ **ライセンスの概要** ウィンドウはすでに開いています：これに関する情報は「**ライセンス一覧**」ウィンドウを開く [▶ ページ 48 - SIDEXIS 4]を参照してください。

1. **ライセンスの概要** のウィンドウで、**ライセンス アクティベーション** のボタンをクリックします。

▶ **ライセンスの概要** エリアが開きます：



1 ボタン **ライセンス アクティベーション**

2 エリア

3 ボタン **オンライン アクティベーションを開始する**

2. 欄にアクティベーションキーを入力します。
3. **オンライン アクティベーションを開始する** のボタンをクリックします。

4. **Windows ファイヤーウォールの**ウィンドウが開いたら、SICAT Suiteをインターネットへ接続します。
- ▶ 取得されてインストールされているアプリケーションまたは個々の機能のためのライセンスは、ライセンスプールから取り除かれ、使用中のコンピューター上のSICAT Suiteで有効になります。
- ▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます。**ライセンスは正常に有効化されました。**

再起動が必要

注記

ライセンス変更後、SICATアプリケーションのSIDEXISと接続されたバージョンが再起動を要する場合、SICAT Suiteが対応するメッセージウィンドウを表示します。



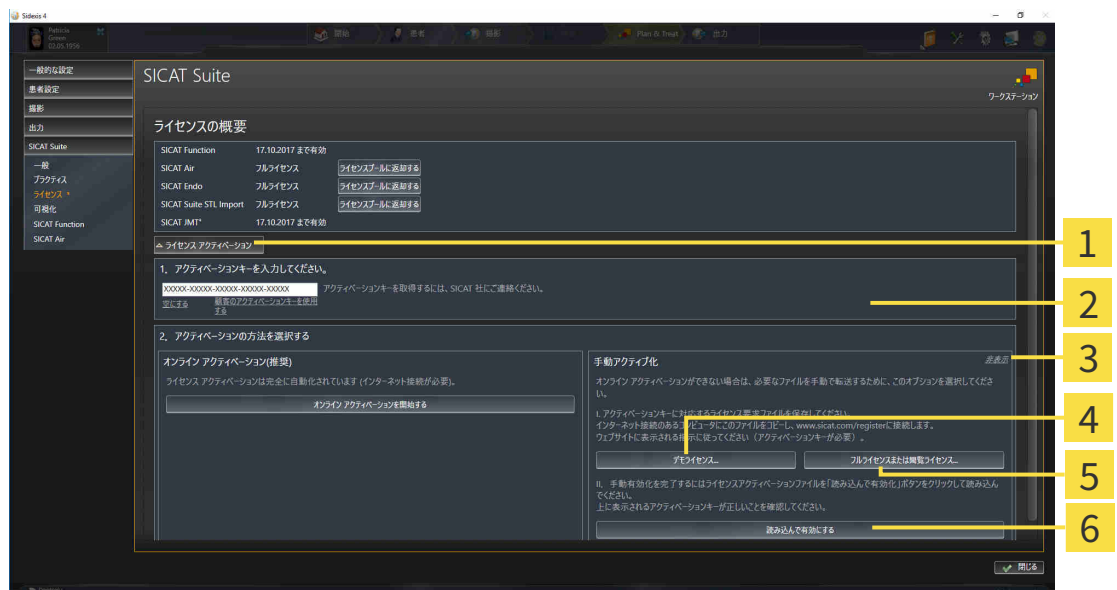
SICATアプリケーションのライセンスのアクティベーションをあらためて行うときは、エリアにあるボタン**顧客のアクティベーションキーを使用する**をクリックすると、アクティベーションキーが使用できるようになります。現時点のライセンスキーが入力されているボックスを空欄にするときは、ボタン**空にする**をクリックしてください。

19.3 ライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にする

注記 患者ファイルが閉じている必要があります
ライセンスで変更を加えるときは、開いている患者ファイルを事前に閉じてください。

ライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にするには、次のように行います。

- ☑ 少なくとも一つのSICATアプリケーションまたは個々の機能に有効なライセンスが欠けています。
 - ☑ **ライセンスの概要** ウィンドウはすでに開いています：これに関する情報は「**ライセンス一覧**」ウィンドウを開く [▶ ページ 48 - SIDEXIS 4]を参照してください。
1. **ライセンスの概要** ウィンドウの**ライセンス アクティベーション**をクリックします。
▶ **ライセンス アクティベーション**のコーナーがドロップダウンで展開します。
 2. **手動アクティブ化エリア**の**表示する**をクリックします。
▶ **手動アクティブ化エリア**が開きます：



1 ライセンス アクティベーション **4** ボタン デモライセンス

2 エリア

5 ボタン フルライセンスまたは閲覧ライセンス

3 表示する

6 ボタン 読み込んで有効にする

3. フルライセンスのアクティベーションをご希望のときは、**フルライセンスまたは閲覧ライセンス**のボタンをクリックします。

4. デモライセンスのアクティベーションをご希望のときは、**デモライセンス**のボタンをクリックします。
 - ▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。
5. ライセンス要求用のファイルを保存する目的で、お好みのフォルダを選択したら、**OK**をクリックします。
 - ▶ ファイル拡張子を**WibuCmRaC**として、ライセンス要求用のファイルが作成され、選択しておいたフォルダに保存されます。
6. USBスティックなどの補助ツールを使用して、インターネットに接続しているコンピューターにライセンス要求ファイルをコピーします。
7. インターネットに接続されたコンピューター上でウェブブラウザを開き、インターネットページ<http://www.sicat.com/register>を開きます。
8. インターネットのアクティベーションページに表示される指示に従ってください。
 - ▶ インストールしたアプリケーションや個別の機能のために取得してあるライセンスが、お持ちのライセンスプールからピックアップされます。
 - ▶ SICATのライセンスサーバーは、ファイル拡張子を**WibuCmRaU**として、ライセンスのアクティベーション用ファイルを作成しますので、このファイルをお手元のコンピューターへダウンロードしてください。
9. ダウンロードしたライセンスアクティベーションファイルをSICAT Suiteが作動しているコンピューターにコピーします。
10. アクティベーションキーが正確に入力されていることをチェックします。
11. **ライセンスの概要**のウィンドウで、**読み込んで有効にする**のボタンをクリックします。
 - ▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。
12. ライセンスのアクティベーション用ファイルを探して見つかったら、そのファイルをハイライト表示にして、**OK**をクリックします。
 - ▶ ライセンスアクティベーションファイルのライセンスは、SICAT Suiteでは現在のコンピューターにインストールされます。
 - ▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます。**ライセンスは正常に有効化されました。**

再起動が必要

注記

ライセンス変更後、SICATアプリケーションのSIDEXISと接続されたバージョンが再起動を要する場合、SICAT Suiteが対応するメッセージウィンドウを表示します。

19.4 ライセンスをライセンスプールへ返却する

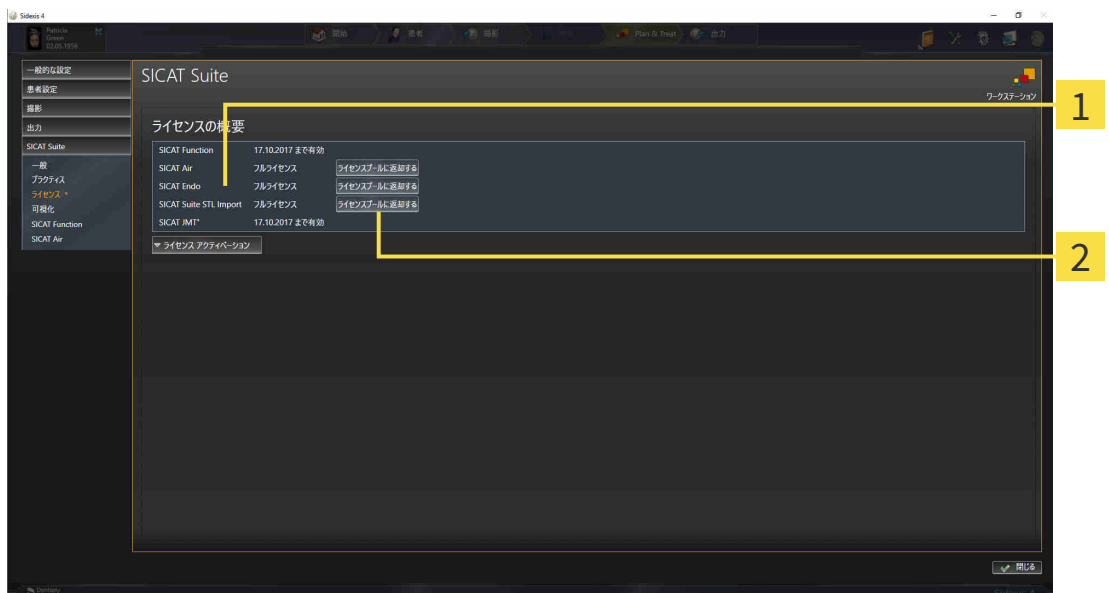
注記

患者ファイルが閉じている必要があります

ライセンスで変更を加えるときは、開いている患者ファイルを事前に閉じてください。

フルライセンスのアクティベーションを解除して、そのライセンスをライセンスプールへ返却するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ SICATアプリケーションのフルライセンスはすでに有効になっています。
- ☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。
- ☑ **ライセンスの概要**ウインドウはすでに開いています：これに関する情報は「**ライセンス一覧**」ウインドウを開く [▶ ページ 48 - SIDEXIS 4]を参照してください。



1 SICATアプリケーションおよび個々の機能のライセンスステータス

2 ボタン **ライセンスプールに返却する**

- **ライセンスの概要**のウインドウから、SICATのアプリケーションで返却をご希望のものか、または、個別の機能の列にある**ライセンスプールに返却する**のボタンをクリックします。
- ▶ 選択したライセンスはライセンスプールに返却され、再びアクティベーションのために使用できる状態になります。
- ▶ 通知ウインドウが開き、次のメッセージが表示されます。**ライセンスは正常にライセンスプールに返却されました。**
- ▶ ライセンスがない場合、アプリケーションはビューアモードでしか使用できません。全てのSICATアプリケーションのライセンスがライセンスプールに返却されると、SICAT Suiteは完全にビューアモードになります。

注記**再起動が必要**

ライセンス変更後、SICATアプリケーションのSIDEXISと接続されたバージョンが再起動を要する場合、SICAT Suiteが対応するメッセージウィンドウを表示します。



インターネット接続のないコンピュータでライセンスを無効化したい場合はSICATサポートまでお問い合わせください。

19.5 バウチャーコードを使用する

1. インターネットに接続されたコンピューター上でウェブブラウザを開き、インターネットページ<http://www.sicat.com>を開きます。
2. SICATポータルへのリンクをクリックします。
▶ SICATポータルが開きます。
3. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。
4. アカウントマネジャーに、ご自分のライセンスを管理するためのアイテムがありますので、それをクリックします。
5. ご自分のバウチャーコードを入力し、コードを確認します。
▶ SICATポータルがライセンスキーを生成し、ライセンスキーをお客様のアクティベーションキーに追加します。
6. SICAT Suiteを起動して、ライセンスのアクティベーションを行います。

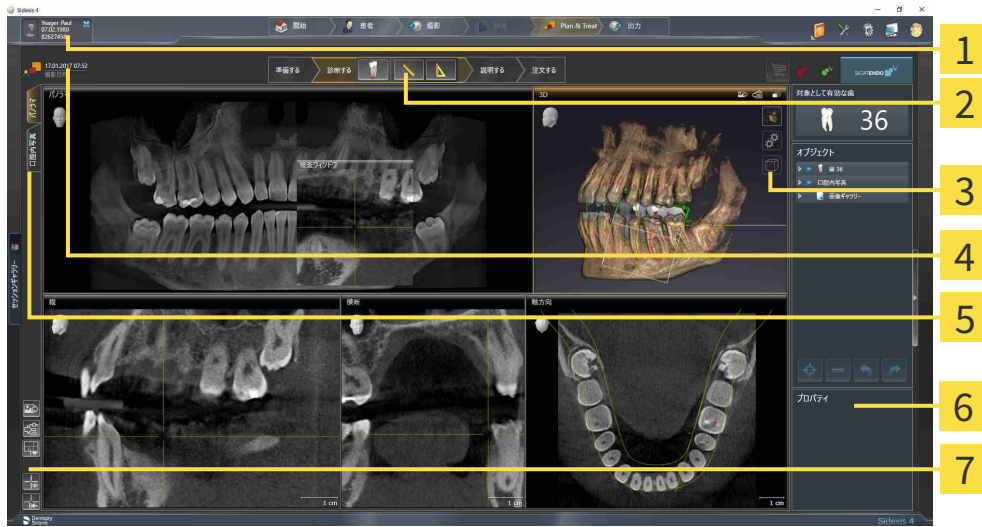
これに関する情報はインターネット接続を使用してライセンスを有効にする [▶ ページ 49 - *SIDEXIS 4*]と ライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にする [▶ ページ 51 - *SIDEXIS 4*]を参照してください。



詳細なヘルプは、SICATのポータルページにFAQ（よくあるご質問）がありますので、そちらをご覧ください。

20 SICAT ENDOのユーザーインターフェース

SICAT Endoのユーザーインターフェースは、以下のアイテムで構成されています。



- | | |
|-------------------------------|-------------------------|
| 1 タブ アクティブな患者ファイル | 5 ワークスペースの切替用ボタン |
| 2 ワークフローのツールバー | 6 オブジェクトバー |
| 3 画像のツールバー | 7 ワークスペースのツールバー |
| 4 開いている3D X線撮影画像に関する情報 | |

- **有効な患者ファイル** のタブには、開いている患者ファイルの属性を表示します。
- **ワークフローのツールバー** は、複数のワークフロー・ステップから構成されますが、その中には、アプリケーションのワークフローで使用する主要ツールが用意されています。これには、診断オブジェクトおよび計画オブジェクトを追加およびインポートすることのできるツールが含まれます。これに関する情報は、**ワークフローのツールバー** [▶ ページ 58 - *SIDEXIS 4*]をご参照ください。
- **ワークスペースエリア** は、**ワークフローのツールバー** の下側にあって、ユーザーインターフェースの一部を構成します。この部分には、SICAT Endoで開いているワークスペースを表示します。各ワークスペースに特定のビュー構造が含まれています。これに関する情報は、**ワークスペース** [▶ ページ 70 - *SIDEXIS 4*]をご参照ください。
- 有効なビューにのみ**画像のツールバー**が表示されます。付属のビューの表示を調整するツールがあります。これに関する情報は、**ビューの調整** [▶ ページ 78 - *SIDEXIS 4*]および**3Dビューの調整** [▶ ページ 91 - *SIDEXIS 4*]をご参照ください。
- **オブジェクトバー**には、診断や治療計画のそれぞれで対象とするもの(オブジェクト)を管理するための各種ツールが用意されています。これに関する情報は、**オブジェクトバー** [▶ ページ 61 - *SIDEXIS 4*]および**SICAT Endoオブジェクト** [▶ ページ 66 - *SIDEXIS 4*]をご参照ください。

- **ワークスペースのツールバー**には、各種ツールが用意されていますが、これらのツールで、ワークスペースの一般的な各種設定や、含まれる画像のすべてに対して変更を加えたり、ワークスペースの内容を記録したりすることができます。これに関する情報は、**十字線およびフレームの移動、非表示、表示** [▶ ページ 86 - *SIDEXIS 4*]、**ビューをリセットする** [▶ ページ 89 - *SIDEXIS 4*]、**アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット** [▶ ページ 75 - *SIDEXIS 4*]および **ワークスペースのスクリーンショットを作成する** [▶ ページ 76 - *SIDEXIS 4*]をご参照ください。

20.1 ワークフローのツールバー

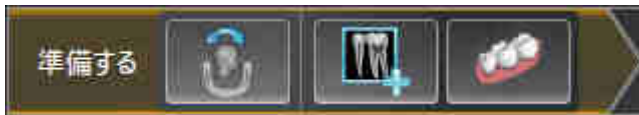
SICAT Endoでは、ワークフローのツールバーは4つのワークフローステップで構成されています：

1. 準備
2. 診断する
3. 説明する
4. 注文する

ワークフローステップの開閉

以下の各アイコンをクリックすると、ワークフロー・ステップを展開させたり畳み込んだりすることができます。

1. ワークフローステップ「準備」



ワークフロー・ステップ「準備」では、以下のツールが使用できます。



- **ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整します** - これに関する情報は、[ボリュームの配置を調整する \[▶ ページ 101 - SIDEXIS 4\]](#)および[パノラマエリアを調整する \[▶ ページ 106 - SIDEXIS 4\]](#)をご参照ください。



- **口腔内撮影画像の管理・登録中** - これに関する情報は、[口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます \[▶ ページ 124 - SIDEXIS 4\]](#)、[口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う \[▶ ページ 129 - SIDEXIS 4\]](#)および[口腔内撮影画像を登録する \[▶ ページ 131 - SIDEXIS 4\]](#)をご参照ください。



- **光学印象をインポートし記録する** - これに関する情報は、[光学印象をインポートし記録する \[▶ ページ 111 - SIDEXIS 4\]](#)をご参照ください。

2. ワークフローステップ「診断」



ワークフロー・ステップ「診断する」では、以下のツールが使用できます。



- EndoLineおよびドリル穴を利用して歯根治療を計画する - これに関する情報は、*歯の領域をプリアライメントする* [▶ ページ 149 - SIDEXIS 4]、*EndoLinesをセットする* [▶ ページ 151 - SIDEXIS 4]および*ドリル穴を計画する* [▶ ページ 161 - SIDEXIS 4]をご参照ください。



- 距離測定を追加する(D) - これに関する情報は、*距離測定を追加する* [▶ ページ 168 - SIDEXIS 4]をご参照ください。



- 角度測定を追加する(A) - これに関する情報は、*角度測定を追加する* [▶ ページ 169 - SIDEXIS 4]をご参照ください。

3. ワークフローステップ「患者への説明」



ワークフロー・ステップ「説明する」では、以下のツールが使用できます。



- 矢印を描く - これに関する情報は、*画像とスクリーンショットの作成* [▶ ページ 174 - SIDEXIS 4]をご参照ください。



- 円を描く - これに関する情報は、*画像とスクリーンショットの作成* [▶ ページ 174 - SIDEXIS 4]をご参照ください。



- レポートを作成する - これに関する情報は、*ハンドアウトの準備* [▶ ページ 178 - SIDEXIS 4]をご参照ください。

4. ワークフロー・ステップ「注文する」



ワークフロー・ステップ「注文する」では、以下のツールが使用できます。



- **SICAT GUIDE (ENDO)を注文する** - これに関する情報は、ドリルテンプレートをショッピングカートに入れる [▶ ページ 183 - SIDEXIS 4]をご参照ください。

20.2 オブジェクトバー



1 オブジェクトブラウザ

2 ボタンオブジェクトバーを非表示にするまたはボタンオブジェクトバーを表示する

3 オブジェクトツールバー

4 エリア プロパティ

オブジェクトバーには、以下のアイテムが用意されています。

- **オブジェクトブラウザ**には、診断や治療計画の対象（オブジェクト）として、現時点のステディに追加したりインポートしたりしたものをもれなく、カテゴリ分類して列挙したリストを表示します。**オブジェクトブラウザ**は、複数のオブジェクトを自動でグループ分けします。例えば、**測定**のグループには、測定対象のオブジェクトがもれなく含まれています。オブジェクトグループを開閉する、オブジェクトおよびオブジェクトグループをアクティブにする、オブジェクトおよびオブジェクトグループを非表示または表示にすることができます。これに関する情報は以下を参照してください **オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理** [▶ ページ 62 - *SIDEXIS 4*]。
- **オブジェクトツールバー**には、各種のツールが用意されていますが、これらのツールにより、オブジェクトに合焦すること、オブジェクトやオブジェクトグループを削除すること、オブジェクトまたはオブジェクトグループに対して行った操作を取り消して元に戻したり、再度、実行したりすることができます。これに関する情報は**オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理** [▶ ページ 64 - *SIDEXIS 4*]を参照してください。
- **プロパティ**のコーナーには、作業対象として選択しているオブジェクトについて、その詳細を表示します。

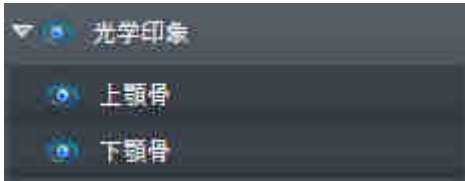
オブジェクトバーの視点をオブジェクトバーの右側の二つのボタンで変更することができます。**オブジェクトバーを非表示にする** および **オブジェクトバーを表示する**

SICAT Endoで作業対象として選択可能なオブジェクトは、*SICAT Endo*オブジェクト [▶ ページ 66 - *SIDEXIS 4*]の節をご覧ください。

20.3 オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理

オブジェクトグループの開閉

オブジェクトグループを展開したり畳み込んだりするときは、以下の手順に沿って操作を行ってください。



☑ 現在、希望のオブジェクトグループが開いています。



1. 畳み込みたいオブジェクトグループの横にある **閉じる**のアイコンをクリックします。
▶ オブジェクトグループの畳み込みが行われます。



2. 畳み込みたいオブジェクトグループの横にある **開く**のアイコンをクリックします。
▶ オブジェクトグループが展開します。

オブジェクトおよびオブジェクトグループをアクティブにする

ツールによっては、作業対象として選択しているオブジェクトやオブジェクトグループ以外では、利用できないものが、いくらかあります。

オブジェクトまたはオブジェクトグループを有効にするには、次のように行います。

☑ 現在、希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループが無効になっています。

- 希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo は、それまで有効であったオブジェクトまたはオブジェクトグループを無効にします。
 - ▶ SICAT Endo は希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループを有効にします。
 - ▶ SICAT Endo は、**オブジェクトブラウザ**と画像のそれぞれで、オブジェクトやオブジェクトグループに色を付けてハイライト表示します。



オブジェクトをクリックすることによって、2Dビューで特定のオブジェクトも有効にすることができます。

オブジェクトおよびオブジェクトグループの表示/非表示



この機能は、特定のオブジェクトタイプを除いて利用できません。

オブジェクトやオブジェクトグループを非表示/表示にするには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

現在、希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループは表示されています。



1. お好みのオブジェクトまたはオブジェクトグループの横にある **表示** のアイコンか、または、**一部表示** のアイコンをクリックします。



- ▶ SICAT Endo はオブジェクトまたはオブジェクトグループを非表示にします。
- ▶ SICAT Endo では、オブジェクトまたはオブジェクトグループの横に **アイコン非表示** が表示されます。



2. お好みのオブジェクトまたはオブジェクトグループの横にある **非表示** のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo はオブジェクトまたはオブジェクトグループを表示します。
 - ▶ SICAT Endo では、オブジェクトまたはオブジェクトグループの横に **アイコン表示** が表示されます。

20.4 オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理



この機能は、特定のオブジェクトタイプを除いて利用できません。

オブジェクトに焦点を合わせる

この機能は、画像内でオブジェクトを探す目的で使用してください。

あるオブジェクトに焦点を合わせるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望のオブジェクトはすでにアクティブになっています。これに関する情報は以下を参照してください [オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理](#) [▶ ページ 62 - SIDEXIS 4]。



- **アクティブ オブジェクトを合わせる(F)**のアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Endo は、ビューの焦点をアクティブなオブジェクトに移動させます。
- ▶ SICAT Endo には、ビュー内でアクティブなオブジェクトが表示されます。



オブジェクトへの合焦は、**オブジェクトブラウザ**からか、または、ビューで、オブジェクトをダブルクリックしても同様に可能です。ただし、**3D**画像を除きます。

オブジェクトおよびオブジェクトグループの除去

オブジェクトまたはオブジェクトグループを削除するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループは既にアクティブにしています。これに関する情報は以下を参照してください [オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理](#) [▶ ページ 62 - SIDEXIS 4]。



- **アクティブ オブジェクト/アクティブグループを削除する(Del)**のアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Endo はオブジェクトまたはオブジェクトグループを除去します。

オブジェクトアクションを元に戻し、もう一度実行する

オブジェクトまたはオブジェクトグループに対して直前に行った操作を取り消して元に戻したり、再度、実行したりするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



1. **前回のオブジェクトアクションを元に戻す (Ctrl+Z)** のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo は、最後のオブジェクトアクションまたはグループアクションを元に戻します。



2. オブジェクト/グループアクションを再実行する (Ctrl+Y) のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Endo は、前回戻したオブジェクトアクションまたはグループアクションをもう一度実行します。



SICATアプリケーションで撮影結果を開いている間のみ、元に戻してもう一度実行することができます。

20.5 SICAT ENDOオブジェクト

SICAT Endoでは、**オブジェクトブラウザ**が、アプリケーション固有のオブジェクトグループとオブジェクトを次のようにグループに分類します。

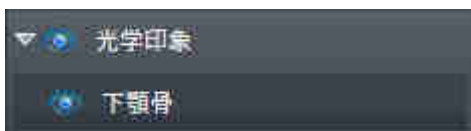
- 口腔内撮影画像
- 光学印象
- Endo計画オブジェクト
 - EndoLine
 - ドリル穴
- 画像ギャラリー
 - 画像
 - スクリーンショット

口腔内撮影画像オブジェクトグループ



口腔内撮影画像のインポートおよび登録を完了させた後、SICAT Endoは、**オブジェクトブラウザ**に、**口腔内撮影画像**オブジェクトグループを表示します。**口腔内撮影画像**オブジェクトグループには、常に少なくとも1つの口腔内撮影画像が含まれています。SICAT Endo 各口腔内撮影画像の撮影日と撮影時刻を表示します。

光学印象オブジェクトグループ



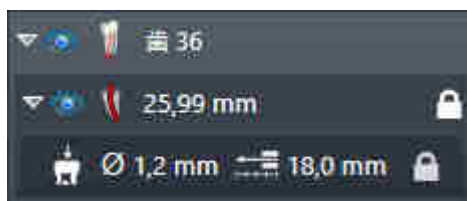
少なくとも1つの光学印象をインポート・登録した後、SICAT Endoは、**光学印象**オブジェクトグループを**オブジェクトブラウザ**に表示します。**光学印象**オブジェクトグループには、次のオブジェクトが含まれている可能性があります。

- 上顎骨
- 下顎骨

1つのオブジェクトに焦点を当てると、SICAT Endoは、選択されたオブジェクトのすべての2Dビューに焦点を合わせます。

上顎骨のオブジェクトや**下顎骨**のオブジェクトを削除すると、SICAT Endoは、既存の光学印象をすべてスタディから削除します。

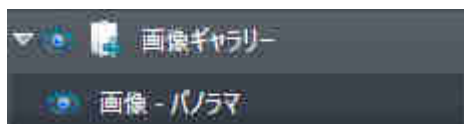
ENDO計画オブジェクトグループ



EndoLineとドリル穴の計画が完了した後、SICAT Endoは**Endo計画対象グループ**を**オブジェクトブラウザ**に表示します。**Endo計画オブジェクト**は、常に歯と結びつけられており、EndoLineとドリル穴の形としてのEndoLineウィザードの結果です。**Endo計画オブジェクトグループ**には、EndoLineオブジェクトおよびサブオブジェクトとしてのドリル穴が含まれています。ドリル穴は、常にEndoLineと結びつけられています。ドリル穴のおかげで、歯内治療計画を立てることができます。

オブジェクトの1つまたはサブオブジェクトのいずれか1つにピントを合わせると、SICAT Endoでは、いずれの2Dビューでも、選択しているオブジェクトにピントが合います。

ギャラリーオブジェクトグループ

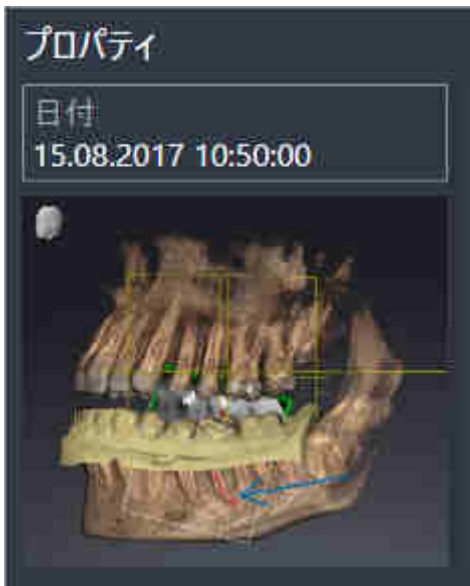


次の内容は、**画像ギャラリーオブジェクトグループ**に適用されます。



- マウスポインタを**画像ギャラリーオブジェクトグループ**の上に合わせると、SICAT Endoが歯車のアイコンを表示します。歯車のアイコンをクリックすると、SICAT Endoは**レポート作成**ウィンドウを開きます。
- 機能**アクティブ オブジェクト/アクティブ グループを削除する(Del)**を使用し、**画像ギャラリーオブジェクトグループ**を削除することができます。SICAT Endo すべての関連する**画像オブジェクト**および**スクリーンショットオブジェクト**を削除します。

画像オブジェクト



次は、**画像オブジェクト**に適用されます：

- **画像**-オブジェクトは、**画像ギャラリー**オブジェクトグループの下部にあります。
- SICAT Endo 各2Dビュー用ワークスペースで1つの層のすべての描画オブジェクトをまとめ、**画像オブジェクト**を作成します。
- SICAT Endo 3Dビューのワークスペースで特定の目線と特定のズーム比のすべての描画オブジェクトをまとめ、**画像オブジェクト**を作成します。
- **画像オブジェクト**を作成および有効にした後、**オブジェクトブラウザ**は**プロパティ**エリアに次のことを表示します：
 - オブジェクトの作成時点
 - オブジェクトのプレビュー
- 機能**前回のオブジェクトアクションを元に戻す (Ctrl+Z)** と**オブジェクト/グループアクションを再実行する (Ctrl+Y)** は、個々の注釈に使用することができます。
- 機能**アクティブ オブジェクト/アクティブ グループを削除する (Del)**を使用すれば、**画像オブジェクト**および含まれるすべての注釈を一度に削除できます。SICAT Endo **画像オブジェクト**を、**オブジェクトブラウザ**から、そして**レポート作成**ウィンドウの両方から削除します。
- **画像オブジェクト**に焦点を合わせた場合、SICAT Endoは、含まれる最後の注釈が作成された時点に該当するビューを復元します。

スクリーンショットオブジェクト



次は、スクリーンショットオブジェクトに適用されます：

- スクリーンショット-オブジェクトは、**画像ギャラリー**オブジェクトグループの下部にあります。
- SICAT Endo スクリーンショットオブジェクトをスクリーンショットごとに作成します。
- スクリーンショットオブジェクトを作成および有効にした後、**オブジェクトブラウザ**は**プロパティ**エリアに次のことを表示します：
 - オブジェクトの作成時点
 - オブジェクトのプレビュー
- 機能**アクティブ オブジェクト/アクティブ グループを削除する(Del)**を使用し、スクリーンショットオブジェクトを削除することができます。SICAT Endo スクリーンショットオブジェクトを、**オブジェクトブラウザ**から、そして**レポート作成**ウィンドウの両方から削除します。
- スクリーンショットオブジェクトに焦点を合わせた場合、SICAT Endoはオブジェクトを作成した時点に該当するビューを復元します。
- 表示および非表示機能は使用できません。

21 ワークスペース

SICATのアプリケーションでは、スタディを複数のビューで表示し、ワークスペースに画像をまとめて配置します。

SICAT Endoには、異なる2種類のワークスペースが用意されています。

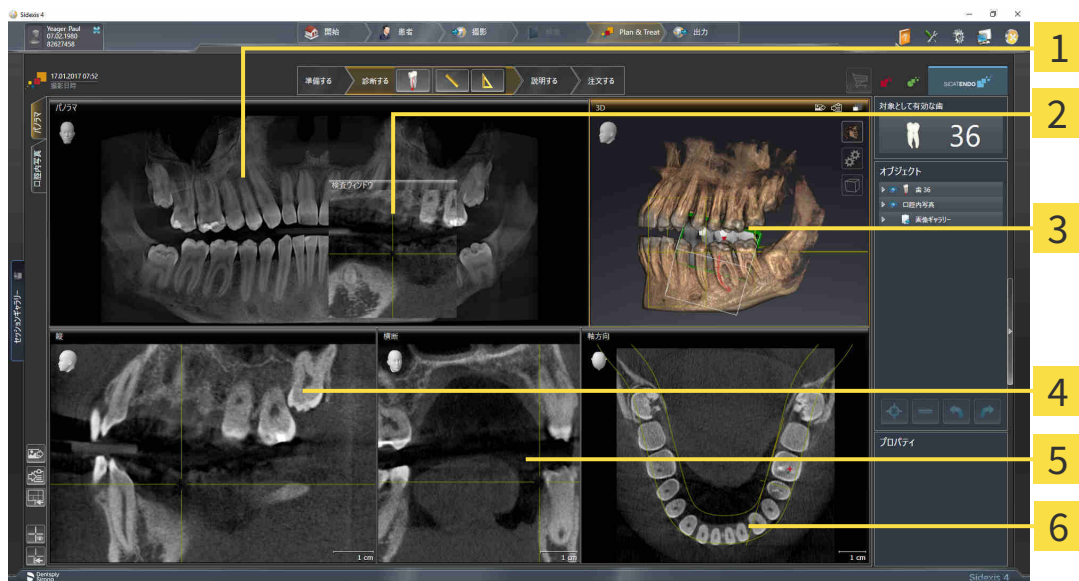


- **パノラマ-ワークステーション**- に関する情報は、**パノラマワークスペースの概要** [▶ ページ 71 - *SIDEXIS 4*]の節をご覧ください。
- **口腔内画像ワークスペース**- に関する情報は、**口腔内撮影画像ワークスペースの概要** [▶ ページ 73 - *SIDEXIS 4*]の節をご覧ください。

ワークスペースおよびそれに含まれるビュー用として、以下の操作を行うことができます。

- アクティブなワークスペースを切り替える。 [▶ ページ 74 - *SIDEXIS 4*].
- アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット [▶ ページ 75 - *SIDEXIS 4*].
- ビューの調整 [▶ ページ 78 - *SIDEXIS 4*].
- 3Dビューを調整することもできます。 に関する情報は**3Dビューの調整** [▶ ページ 91 - *SIDEXIS 4*]を参照してください。
- アクティブなワークスペースは、その内容を記録することができます。 に関する情報は**ワークスペースのスクリーンショットを作成する** [▶ ページ 76 - *SIDEXIS 4*]を参照してください。

21.1 パノラマワークスペースの概要



1 パノラマ-ビュー

2 検査ウィンドウ

3 3D-ビュー

4 縦-ビュー

5 横断-ビュー

6 軸方向-ビュー

パノラマビュー

パノラマビューは、仮想的なオルソパントモグラフィ（OPG）に相当します。これは、正射影を特定の太さのパノラマ曲線上に表示します。パノラマ曲線および太さを両顎に調整することができます。この調整に関する内容は、[パノラマエリアを調整する](#) [▶ ページ 106 - SIDEXIS 4]の節をご覧ください。

検査ウィンドウ

検査ウィンドウは、パノラマビューに埋め込まれています。レイヤーをパノラマ曲線に対して平行にすることによって、パノラマビューに、3次元の画像が追加されることになります。検査ウィンドウは、表示/非表示することができます。この切替に関する内容は、[検査ウィンドウの移動、非表示、表示](#) [▶ ページ 87 - SIDEXIS 4]の節をご覧ください。

3Dビュー

3Dビューには、開いている3D治療計画スタディの3Dビューを表示します。

縦ビュー

縦ビューには、パノラマ歯列弓に対して接線をなすレイヤーを表示します。

横断ビュー

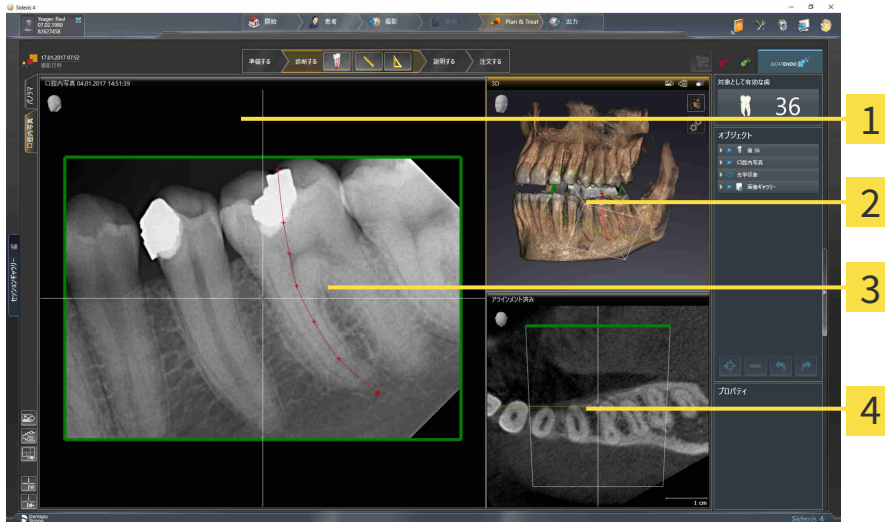
横断ビューには、パノラマ歯列弓に対して矢状断のレイヤーを表示します。

軸方向ビュー

デフォルトの軸方向ビューでは、上方からみたレイヤーを表示します。軸方向ビューでは、視線方向の切替が可能です。この切替に関する内容は、[可視化設定の変更 \[▶ ページ 203 - SIDEXIS 4\]](#)の節をご覧ください。

ビューの機能に関しては、[ビューの調整 \[▶ ページ 78 - SIDEXIS 4\]](#)および[3Dビューの調整 \[▶ ページ 91 - SIDEXIS 4\]](#)をご参照ください。

21.2 口腔内撮影画像ワークスペースの概要



1 口腔内撮影画像-ビュー

3 検査ウィンドウ

2 3D-ビュー

4 アラインメント済み-ビュー

口腔内撮影画像-ビュー

口腔内撮影画像ビューは、オブジェクトブラウザで選択された口腔内撮影画像を示します。

検査ウィンドウ

検査ウィンドウは、口腔内撮影画像ビューに埋め込まれています。レイヤーを口腔内撮影画像に対して平行にすることによって、口腔内撮影画像ビューに、3Dの画像が追加されることとなります。検査ウィンドウは非表示にしたり、表示して登録の確認や根管の評価のために使用することができます。

3D-ビュー

3Dビューには、開いているスタディの3Dビューを表示します。

アラインメント済み-ビュー

デフォルトでは、アラインメント済みビューは、口腔内撮影画像の断面を表示しますが、これは、口腔内撮影画像ビューにおける十字線の位置によって定義されます。

21.3 アクティブなワークスペースを切り替える.

アクティブなワークスペースを切り替えるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



- ワークスペースエリアの左上の隅にある任意のワークスペースタブをクリックします。
- ▶ 選択したワークスペースが開きます。

21.4 アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット

アクティブなワークスペースのレイアウトを調整する

アクティブなワークスペースのレイアウトのレイアウトを調整するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを二つ以上のビューの間を境界線上に移動させます。
 - ▶ マウスポインタの形状が切り替わります。



2. マウスの左ボタンをクリックしたら、その左ボタンを押したままにします。
3. マウスを動かします。
 - ▶ 境界線の位置が変わります。
 - ▶ 境界線の全側面でビューの大きさが変わります。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Endo では、境界線の現在位置、および、ビューの現在のサイズが、境界線のすべての側で維持されます。

アクティブなワークスペースのレイアウトをリセットする

アクティブなワークスペースのレイアウトをデフォルトに復元するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



- ワークスペースのツールバーで、アクティブなワークスペースのレイアウトをリセットするのアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Endo は、アクティブなワークスペースを標準のレイアウトにリセットします。これは、ソフトウェアがすべてのビューを標準サイズに表示することを意味しています。

21.5 ワークスペースのスクリーンショットを作成する

ワークスペースのスクリーンショットは、Windowsのクリップボードにコピーして、文書を作成する目的で使用することができます。

ワークスペースのスクリーンショットをSIDEXIS 4の出力ページに追加する

ワークスペースのスクリーンショットをSIDEXIS 4の出力ページに追加するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ ご希望のワークスペースはすでにアクティブです。これに関する情報はアクティブなワークスペースを切り替える。[▶ ページ 74 - SIDEXIS 4]を参照してください。



- ワークスペースのツールバーから、**アクティブなワークスペースのスクリーンショットをSIDEXIS 4出力に追加する**のアイコンをクリックします。

- ▶ SICAT Endo では、ワークスペースのスクリーンショットがSIDEXIS 4の出力ページに追加されます。

ワークスペースのスクリーンショットをWINDOWSのクリップボードにコピーする

ワークスペースのスクリーンショットをWindowsのクリップボードに追加するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ ご希望のワークスペースはすでにアクティブです。これに関する情報はアクティブなワークスペースを切り替える。[▶ ページ 74 - SIDEXIS 4]を参照してください。



- ワークスペースのツールバーから、**アクティブなワークスペースのスクリーンショットをクリップボードにコピーする**のアイコンをクリックします。

- ▶ SICAT Endo では、ワークスペースのスクリーンショットがWindowsのクリップボードにコピーされます。



クリップボードからスクリーンショットを貼り付けることができるアプリケーションは、例えば、画像処理やワープロのソフトウェアなど多数あります。貼り付けのショートカットキーは、大半のアプリケーションで「Ctrl + V」を使用します。

22 ビュー

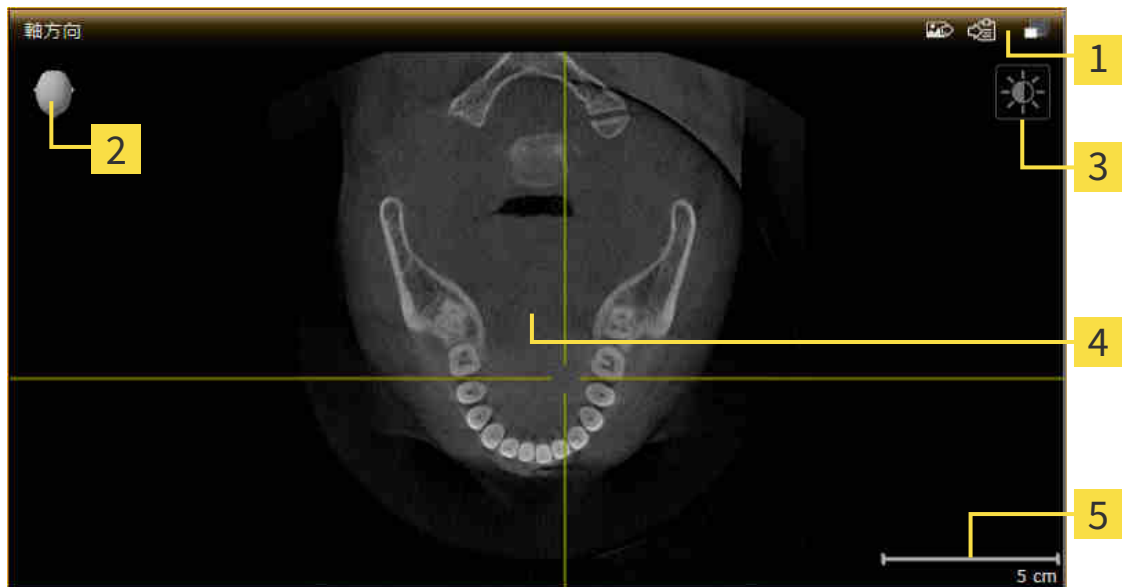
ビューはワークスペースに含まれています。ワークスペースとビューは、各種ありますが、その詳細は以下の節をご覧ください。 [ワークスペース](#) [[▶ ページ 70 - SIDEXIS 4](#)].

ビューを調整することができます。これに関する情報は[ビューの調整](#) [[▶ ページ 78 - SIDEXIS 4](#)]と[3Dビューの調整](#) [[▶ ページ 91 - SIDEXIS 4](#)]を参照してください。

22.1 ビューの調整

ビューの調整に用いるツールの中には、アクティブなビュー以外では使用できないものもあります。ビューを有効にする手順は、次をご参照ください。 [アクティブなビューの切り替え](#) [▶ ページ 80 - SIDEXIS 4]。

アクティブなビューに含まれる要素：



- 1 タイトルバー
- 2 オリエンテーションヘッド
- 3 画像のツールバー
- 4 十字線
- 5 尺度

2Dレイヤービューには十字線が表示されます。十字線は別のレイヤービューとの交差線です。SICAT Endo すべてのレイヤービューを同期させます。これは、全ての十字線が3D X線データ内で同じ位置に表示されることを意味します。これにより、円弧構造をビュー超しに割り当てることができます。

3Dビューでは、フレームを表示して、2Dレイヤービューの現在位置を表示します。

ビューの調整には、次の操作が使用できます：

- アクティブなビューの切り替え [▶ ページ 80 - SIDEXIS 4]
- ビューの最大化および復元 [▶ ページ 81 - SIDEXIS 4]
- 2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット [▶ ページ 82 - SIDEXIS 4]
- ビューのズームおよび切り抜きの移動 [▶ ページ 84 - SIDEXIS 4]
- レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール [▶ ページ 85 - SIDEXIS 4]
- 十字線およびフレームの移動、非表示、表示 [▶ ページ 86 - SIDEXIS 4]
- 検査ウィンドウの移動、非表示、表示 [▶ ページ 87 - SIDEXIS 4]
- ビューをリセットする [▶ ページ 89 - SIDEXIS 4]

3Dビューを調整することもできます。これに関する情報は、**3Dビューの調整** [▶ ページ 91 - SIDEXIS 4]をご参照ください。

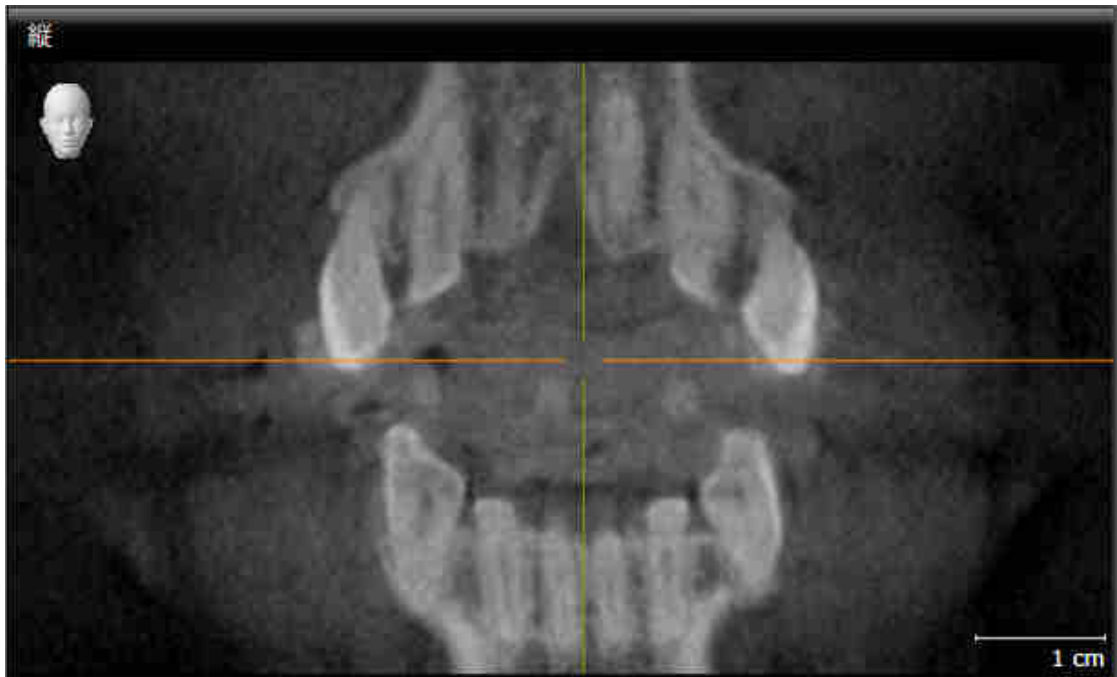
アクティブなビューの内容を記録することができます。これに関する情報は、**画像のスクリーンショットを作成する** [▶ ページ 90 - SIDEXIS 4]をご参照ください。

22.2 アクティブなビューの切り替え

画像のツールバーとタイトルバーが表示されるのは、アクティブなビューに限ります。

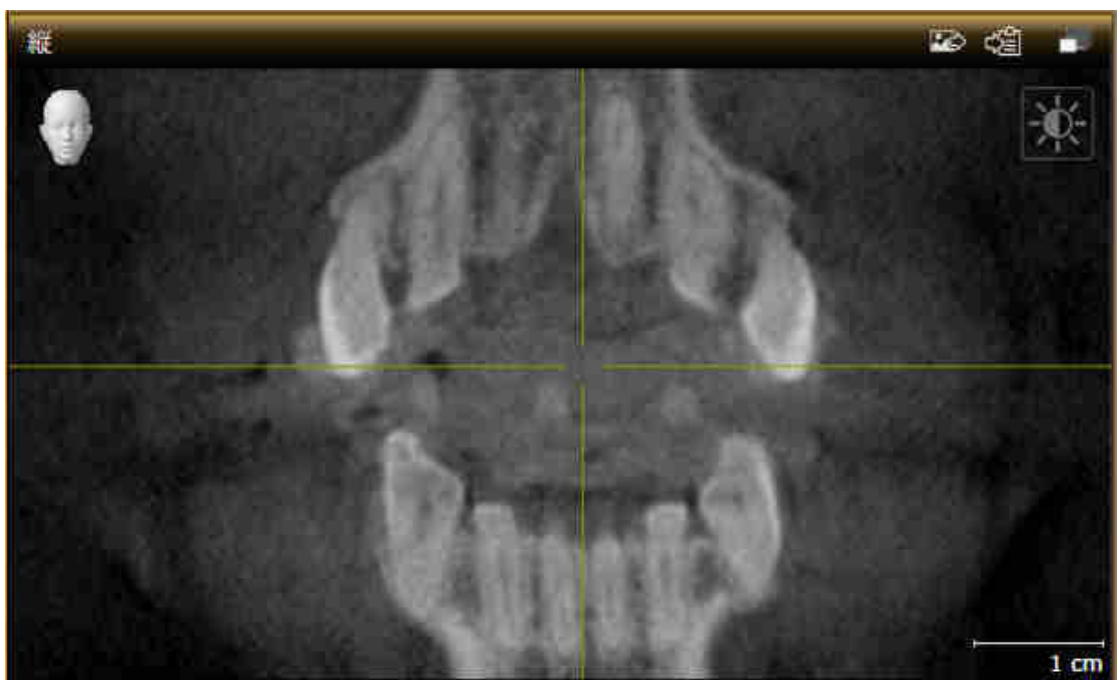
ビューをアクティブにするには、次のように行います。

1. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。



2. 希望のビューをクリックします。

▶ SICAT Endo がビューをアクティブにします。



アクティブなビューは、タイトルバーがオレンジ色になりますので、それとわかります。

22.3 ビューの最大化および復元

ビューの最大化および前回のサイズの復元は、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望のビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は以下を参照してください [アクティブなビューの切り替え](#) [▶ ページ 80 - SIDEXIS 4]。
- ☑ 希望のビューは最大化していません。



1. 希望のビューのタイトルバーにある**最大化する**のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo がビューを最大化します。



2. 最大化したビューのタイトルバーにある、**戻す**のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo では、ビューが元のサイズに戻ります。



ビューの最大化および前回のサイズの復元のために、次の代替操作を使用できます。

- ビューを最大化するために、希望のビューのタイトルバーをダブルクリックすることができます。
- ビューの前回のサイズを復元するために、最大化したビューのタイトルバーをダブルクリックすることができます。

22.4 2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット

2Dビューで、明るさとコントラストを調整するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望の2Dビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報はアクティブなビューの切り替え [▶ ページ 80 - SIDEXIS 4] を参照してください。



1. 2Dビューの画像のツールバーに**輝度およびコントラストの調整**のアイコンがありますので、それにマウスポインタを重ねます。

▶ **輝度およびコントラストの調整**の透明なウィンドウが開きます。



2. マウスポインタを**輝度**のスライダーに重ねます。
3. 左マウスボタンをクリックしたら、押したままにして、マウスポインタを上下方向に移動させます。

▶ SICAT Endo では、2Dビューを**輝度**のスライダー位置に応じた明るさに調整します。

4. マウスの左ボタンを放します。
▶ SICAT Endo は2Dビューの現在の輝度を保持します。



5. マウスポインタを**コントラスト**のスライダーに重ねます。
6. 左マウスボタンをクリックしたら、左マウスボタンを押したままにして、マウスポインタを上下方向に移動させます。

▶ SICAT Endo では、2Dビューを**コントラスト**のスライダー位置に応じたコントラストに調整します。

7. マウスの左ボタンを放します。
▶ SICAT Endo は2Dビューの現在のコントラストを保持します。

8. マウスポインタを、**輝度およびコントラストの調整**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **輝度およびコントラストの調整**の透明なウィンドウが閉じます。



2Dビューの明るさとコントラストをデフォルトに復元するときは、**明るさとコントラストをリセットする**のアイコンをクリックしてください。



全2Dレイヤービューの輝度とコントラストは相互に関連しています。

22.5 ビューのズームおよび切り抜きの移動

ビューのズーム

ズーム機能は、ビューの内容を拡大または縮小します。

ビューをズームするときには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
2. マウスホイールを前に回します。
▶ ビューがズームインします。
3. マウスホイールを後ろに回します。
▶ ビューがズームアウトします。



上記の手順に代えて、マウスホイールをクリックして、マウスを上下方向に移動させても、ズームインやズームアウトができます。

ビューの切り抜きを移動する

トリミング部分を移動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
2. マウスの右ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
▶ マウスポインタの形が切り替わります。
3. マウスを動かします。
▶ ビューの切り抜きは、マウスポインタの動きに応じて移動します。
4. マウスの右ボタンを放します。
▶ SICAT Endo では、移動後のトリミング部分がそのまま維持されます。

22.6 レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール

2Dレイヤービューで、レイヤーをスクロールするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを希望の2Dレイヤービュー上に動かします。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
 - ▶ マウスポインタは双方向の矢印になります。
3. マウスを上下方向に移動させます。
 - ▶ **横断**のレイヤーを除き、レイヤーは、平行に移動します。
 - ▶ **横断**のレイヤーは、パノラマ歯列弓に沿って移動した状態が表示されます。
 - ▶ SICAT Endo は別のビューのレイヤーおよび十字線を現在の焦点に応じて調整します。
 - ▶ SICAT Endo では、**3D**ビューで、その時点の焦点でピントが合うようにフレームの調整が行われます。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Endo では、スクロールしてからのレイヤーが維持されます。

22.7 十字線およびフレームの移動、非表示、表示

十字線の移動

2Dレイヤービューで、十字線を移動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 現在、すべての字線とフレームが表示されています。
- 1. マウスポインタを希望のビューで十字線の中心に動かします。
 - ▶ マウスポインタが下記の十字線に切り替わります。



- 2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
- 3. マウスを動かします。
 - ▶ ビューの十字線は、マウスポインタの動きに従います。
 - ▶ SICAT Endo は別のビューのレイヤーおよび十字線を現在の焦点に応じて調整します。
 - ▶ SICAT Endo では、3Dビューで、その時点の焦点でピントが合うようにフレームの調整が行われます。
- 4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Endo では、十字線が移動後の位置を維持します。



十字線をすぐにマウスポインタの位置へ移動させる場合、2Dビューでダブルクリックすることができます。

十字線およびフレームの非表示/表示

十字線およびフレームを非表示/表示にするには、次のように行います。

- ☑ 現在、すべての字線とフレームが表示されています。



- 1. ワークスペースのツールバーで、**十字線とフレームを非表示にする**のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo では、すべての2Dレイヤービューで十字線が隠れます。
 - ▶ SICAT Endo では、3Dビューでフレームが隠れます。



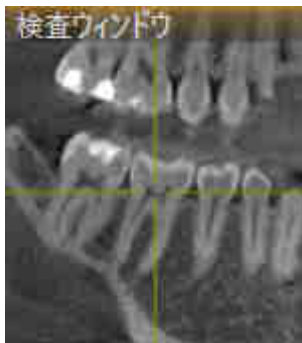
- 2. **十字線とフレームを表示する**のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo では、すべての2Dレイヤービューで十字線が表示されます。
 - ▶ SICAT Endo では、3Dビューでフレームが表示されます。

22.8 検査ウィンドウの移動、非表示、表示

検査ウィンドウの移動

検査ウィンドウを移動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ ワークスペースパノラマまたはワークスペース口腔内撮影画像はすでに開いています。これに関する情報は次を参照してください アクティブなワークスペースを切り替える。[▶ ページ 74 - SIDEXIS 4]。
- ☑ 検査ウィンドウは、隠さずに表示しておきます。



1. パノラマビュー、または口腔内撮影画像ビューでマウスポインタを検査ウィンドウのタイトルバーに合わせてください。
 - ▶ マウスポインタは手のマークになります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
3. マウスを動かします。
 - ▶ 検査ウィンドウは、マウスポインタの動きに追随します。
 - ▶ SICAT Endo 別のビューのレイヤーおよび十字線を現在の焦点に応じて調整します。
 - ▶ SICAT Endo 3Dビューで、その時点の焦点でピントが合うようにフレームの調整します。
4. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo 検査ウィンドウが移動後の位置を維持します。

検査ウィンドウの非表示/表示



検査ウィンドウの表示と隠すの別を表示するアイコンは、ステータス表示と切替用のアイコンとを同時に兼ねています。

検査ウィンドウを非表示にしたり、表示したりするためには、以下の手順に従って操作を行ってください。

- ☑ ワークスペースパノラマまたはワークスペース口腔内撮影画像はすでに開いています。これに関する情報は、[アクティブなワークスペースを切り替える](#)。[▶ ページ 74 - SIDEXIS 4]をご参照ください。
- ☑ 検査ウィンドウは、すでに表示されています。



1. 画像のツールバーのパノラマビューにおいてまたは口腔内撮影画像ビューにおいて、検査ウィンドウを非表示にするシンボルをクリックしてください。

▶ SICAT Endo 検査ウィンドウを非表示にします。



2. 画像のツールバーのパノラマビューにおいてまたは口腔内撮影画像ビューにおいて、検査ウィンドウを表示するシンボルをクリックしてください。

▶ SICAT Endo 検査ウィンドウを表示します。

22.9 ビューをリセットする

すべてのビューをリセットするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



- ワークスペースのツールバーで、**ビューをリセットする**のアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Endo では、すべてのビューで、**ズーム**、**トリミング部分の移動**、**スクロール**、**十字線の移動**、**検査ウィンドウの移動**のそれぞれがデフォルト値に復元されます。
- ▶ SICAT Endo では、**3Dビュー**で視線方向がデフォルト値に復元されます。

22.10 画像のスクリーンショットを作成する

画像のスクリーンショットを作成し、以下の手順で出力すると、文書作成を目的として使用することができます。

- SIDEXIS 4の出力ページに追加する
- Windowsのクリップボードにコピーする

画像のスクリーンショットをSIDEXIS 4の出力ページに追加する

- ☑ SICAT Endoは、SIDEXIS 4から起動させておきます。
- ☑ 希望のビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報はアクティブなビューの切り替え [▶ ページ 80 - SIDEXIS 4]を参照してください。



- ビューのタイトルバーから、スクリーンショットをSIDEXIS 4の出力ページに追加するのアイコンをクリックします。

▶ SICAT Endo では、画像のスクリーンショットがSIDEXIS 4の出力ページに追加されます。

画像のスクリーンショットをWINDOWSのクリップボードにコピーする

画像のスクリーンショットをWindowsのクリップボードに追加するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望のビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報はアクティブなビューの切り替え [▶ ページ 80 - SIDEXIS 4]を参照してください。



- ビューのタイトルバーから、スクリーンショットをクリップボードにコピーする (Ctrl+C) のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Endo では、画像のスクリーンショットがWindowsのクリップボードにコピーされません。



クリップボードからスクリーンショットを貼り付けることができるアプリケーションは、例えば、画像処理やワープロのソフトウェアなど多数あります。貼り付けのショートカットキーは、大半のアプリケーションで「Ctrl+V」を使用します。

23 3Dビューの調整

3Dビューでは、随時、視線方向を変更することが可能です。これに関する情報は以下を参照してください [3Dビューの目線を変更する \[▶ ページ 92 - SIDEXIS 4\]](#)。

3D画像の構成設定を行うときは、以下の操作を行うことができます。

- [3Dビューの表示タイプを切り替える \[▶ ページ 94 - SIDEXIS 4\]](#)
- [3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する \[▶ ページ 95 - SIDEXIS 4\]](#)
- [3Dビューを回転させる \[▶ ページ 158 - SIDEXIS 4\]](#)

23.1 3Dビューの目線を変更する

3Dビューで視線方向を変更する手段は、2種類あります。

- インタラクティブ方式により変更を行う
- 標準目線を選択する

インタラクティブ方式により3Dビューの目線を変更する

3Dビューでインタラクティブ方式により視線方向を変更するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを **3D** 画像に重ねます。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
 - ▶ マウスポインタは手のマークになります。
3. マウスを動かします。
 - ▶ 目線はマウスの動きに合わせて変化します。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Endo では、**3D**ビューで変更後の視線方向をそのまま維持します。

標準目線を選択する

3Dビューで、デフォルトの視線方向を選択するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



1. **3D**ビューで左上隅にある、オリエンテーションヘッドのアイコンにマウスポインタを重ねます。
 - ▶ **目線**の透明なウィンドウが開きます。



- ▶ **目線**の透明なウィンドウ中央部で、オリエンテーションヘッドのハイライト表示されているものがありますが、それが現時点の視線方向です。
2. オリエンテーションヘッドのアイコンのうち、デフォルトにしたい視線方向を示しているものをクリックします。

- ▶ 3D画像の視線方向が、選択した視線方向に切り替わります。
3. マウスポインタを、**目線**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。
- ▶ **目線**の透明なウィンドウが閉じます。

23.2 3Dビューの表示タイプを切り替える



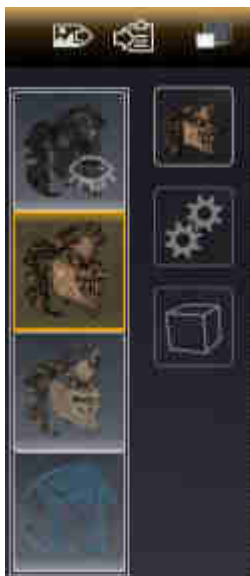
いずれの表示タイプも、すべてのワークスペースで使用できます。

3D画像の表示タイプを切り替えるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 3D画像を作業対象として選択しておきます。これに関する情報は以下を参照してください [アクティブなビューの切り替え](#) [▶ ページ 80 - SIDEXIS 4]。

1. 3Dビューの画像のツールバーで、**表示モードを切り替える**のアイコンにマウスポインタを重ねます。

▶ **表示モードを切り替える**の透明なウィンドウが開きます。



2. 任意の表示タイプのアイコンをクリックします。

▶ SICAT Endo は希望の表示タイプをアクティブにします。

3. マウスポインタを、**表示モードを切り替える**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **表示モードを切り替える**の透明なウィンドウが閉じます。

23.3 3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する



アクティブな表示モードを設定するのアイコンを表示する表示タイプは、構成設定が可能なものに限られています。アクティブな表示モードを設定するの透明なウィンドウで表示される設定内容は、選択した表示タイプに適用されるものに限られています。

3Dビューで選択している表示タイプについて、構成設定を行うときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 3D画像を作業対象として選択しておきます。これに関する情報はアクティブなビューの切り替え [▶ ページ 80 - SIDEXIS 4] を参照してください。
- ☑ 希望の表示タイプはすでにアクティブになっています。これに関する情報は3Dビューの表示タイプを切り替える [▶ ページ 94 - SIDEXIS 4] を参照してください。
- ☑ アクティブな表示タイプは設定可能です。



1. 3Dビューの画像のツールバーで、アクティブな表示モードを設定するのアイコンにマウスポインタを重ねます。

▶ アクティブな表示モードを設定するの透明なウィンドウが開きます。



2. 希望のスライダーを動かします。
 - ▶ SICAT Endo では、3D画像に対して、スライダーの位置に応じた調整が行われます。
3. 表示があれば、詳細設定の横にある矢印アイコンをクリックします。
 - ▶ 詳細設定のコーナーがドロップダウンで展開します。
4. 使用できるチェックボックスをアクティブまたは無効にします。
 - ▶ SICAT Endo では、3D画像に対して、チェックボックス内のチェックマーク有無に応じた調整が行われます。
5. 希望のスライダーを動かします。
 - ▶ SICAT Endo では、3D画像に対して、スライダーの位置に応じた調整が行われます。

6. マウスポインタを、**アクティブな表示モードを設定する**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **アクティブな表示モードを設定する** の透明なウィンドウが閉じます。



現在の設定内容は、**現在の表示タイプの設定をデフォルト設定にリセットする**のボタンをクリックすると、変更前にプリセットしていた設定内容へ戻して復元することができます。



現在の設定内容は、**現在の表示タイプの設定をデフォルト設定として保存する**のボタンをクリックすると、プリセットの設定内容として保存できます。

23.4 3Dビューの切り抜きモードの切り替え

3Dビューの表示タイプを切り替えるには、次のように行います。

- ☑ 3D画像を作業対象として選択しておきます。これに関する情報は[アクティブなビューの切り替え](#) [▶ ページ 80 - SIDEXIS 4]を参照してください。

1. 3Dビューの画像のツールバーで、**切り抜きモードを切り替える**のアイコンにマウスポインタを重ねます。

▶ **切り抜きモードを切り替える**の透明なウィンドウが開きます。



2. 任意の切り抜きモードのアイコンをクリックします。

▶ SICAT Endo は任意の切り抜きモードを有効にします。

3. マウスポインタを、**切り抜きモードを切り替える**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **切り抜きモードを切り替える**の透明なウィンドウが閉じます。

24 ボリュームの配置およびパノラマエリア



ボリュームの配置の調整が必要な場合は、作業開始に3D X線ビューでこれを実行してください。ボリュームの配置を後で調整する場合は、診断または計画の一部の場合によっては繰り返す必要があります。

ボリュームの配置

すべてのビューのボリューム配置は、3本の主軸にボリュームを回して調整できます。これは、次のような場合に必要になることがあります。

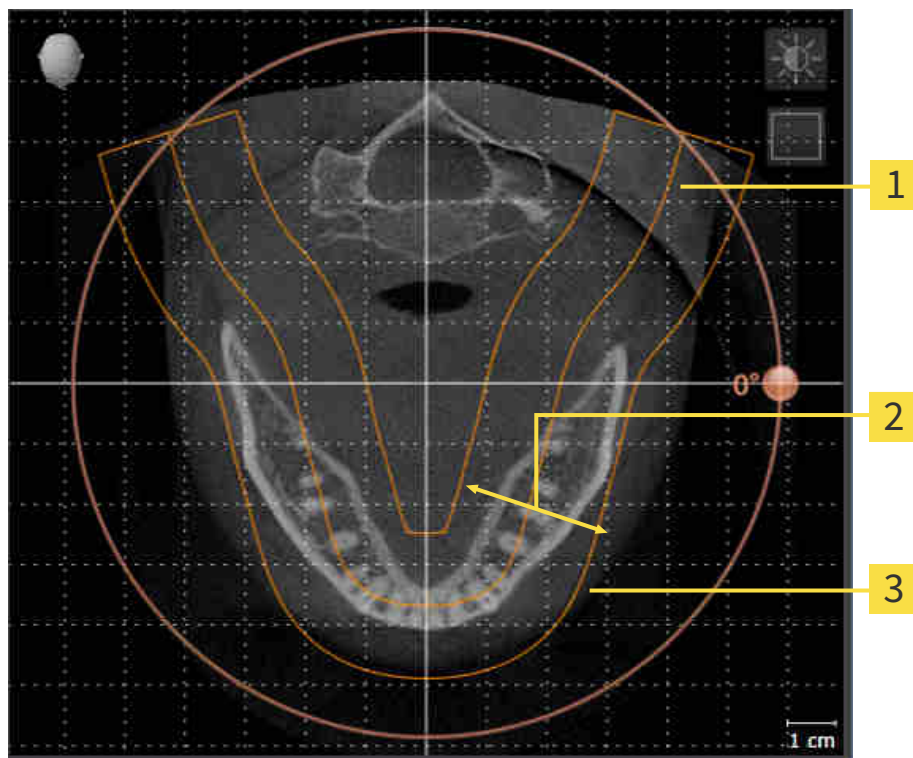
- 3D X線撮影の際に、患者の位置決めが最適ではなかった
- 軸方向レイヤーの配置がフランクフルト水平に平行または咬合平面に平行などの用途後の配置
- パノラマビューの最適化

SICAT Endoで、ボリュームの配置を調整すると、この調整した内容は、SICATの別アプリケーションすべてに適用されます。

ボリュームの配置を調整する手順は、[ボリュームの配置を調整する](#) [▶ ページ 101 - SIDEXIS 4]の節をご覧ください。

パノラマ エリア

SICAT Endo では、ボリュームとパノラマ エリアをベースとして計算を行い、パノラマ画像を出力します。パノラマビューを最適化するには、パノラマ エリアが患者の両顎と合致するように調整を行うとよいでしょう。これは、効果的かつ効率的な診断および治療計画のために重要となります。



1 パノラマ曲線

2 厚さ

3 パノラマエリア

パノラマ エリアは次の二つの要素によって確定されています。

- パノラマ歯列弓の形状と位置
- パノラマエリアの幅

最適な調整結果を得るために、パノラマ エリアは、以下の2項目の条件をいずれも満たしておいてください。

- パノラマ エリアは、全ての歯と両顎が完全に含まれていなくてはなりません。
- パノラマ エリアは、できるだけ薄くしてください。

SICAT Endo で、パノラマ エリアを調整すると、この調整した内容は、SICATの別アプリケーションのすべてに適用されます。

パノラマ エリアを調整する手順は、以下の節をご覧ください。パノラマ エリアを調整する [▶ ページ 106 - *SIDEXIS 4*]。

SICAT ENDO とSIDEXIS 4でデータを互いに同期させる

SICAT Endo とSIDEXIS 4の間では、ボリュームの配置とパノラマエリアについて、互いの両方向で同期が行われます。この同期では、以下の制約があります。

- SICAT Endo ボリュームの配置で、回転が可能な角度は、最大30°までに限定されています。
- 診断や治療計画の各対象（以下、オブジェクト）で、別のボリュームの配置をベースとするものが、すでに追加されているときに、ボリュームの配置を同期させると、それらのオブジェクトに影響が及ぶ場合は、SICAT Endo のメッセージボックスが表示されます。このメッセージボックスでは、同期による影響の詳細をお知らせしますので、以下に挙げるオプションから、いずれかを選択します。
 - 同期する
 - 今ではない
 - 一度もない SIDEXIS 4で、3D X線撮影画像やボリュームの配置について、いずれも現時点のものがあるときは、こちらを選択します
- 診断や治療計画の各対象（以下、オブジェクト）で、別の設定済みパノラマエリアをベースとするものが、すでに追加されているときに、パノラマエリアを同期させると、それらのオブジェクトに影響が及ぶ場合は、SICAT Endo のメッセージボックスが表示されます。メッセージウィンドウでは以下の二つのオプションを選択できます。
 - OK - SICAT Endo 同期を実行し、オブジェクトを削除します。
 - 中止する - SICAT Endo 同期を実行せず、オブジェクトを残します。
- SICAT Endo サポートするのは、SIDEXIS 4の標準パノラマ歯列弓のみです。各点をそれぞれで移動させることはできません。
- SICAT Endo サポートするパノラマエリアは、幅が10 mm以上のものに限りま
- SICAT Endo サポートするパノラマ歯列弓は、SIDEXIS 4で回転させていないものに限りま

上記の制約のうち、1項目でもサポート範囲外に該当するものがあれば、SICAT EndoとSIDEXIS 4の両方で、ボリュームの配置とパノラマエリア、または、パノラマエリア単独のいずれかについては、同期を行いません。



SICAT Endo では、この場合に、その時点の3D X線撮影画像に関する情報の横に、お知らせアイコンを表示します。このお知らせアイコンにマウスポインタを重ねると、同期しなくなっているデータの情報と、そのデータを再度、同期させるようにするための操作手順をお知らせします。

24.1 ボリウムの配置を調整する

ボリウムの配置に関する一般的な情報はボリウムの配置およびパノラマエリア [▶ ページ 98 - SIDEXIS 4]に記載されています。

ボリウムの配置は、以下の手順で調整を行います。

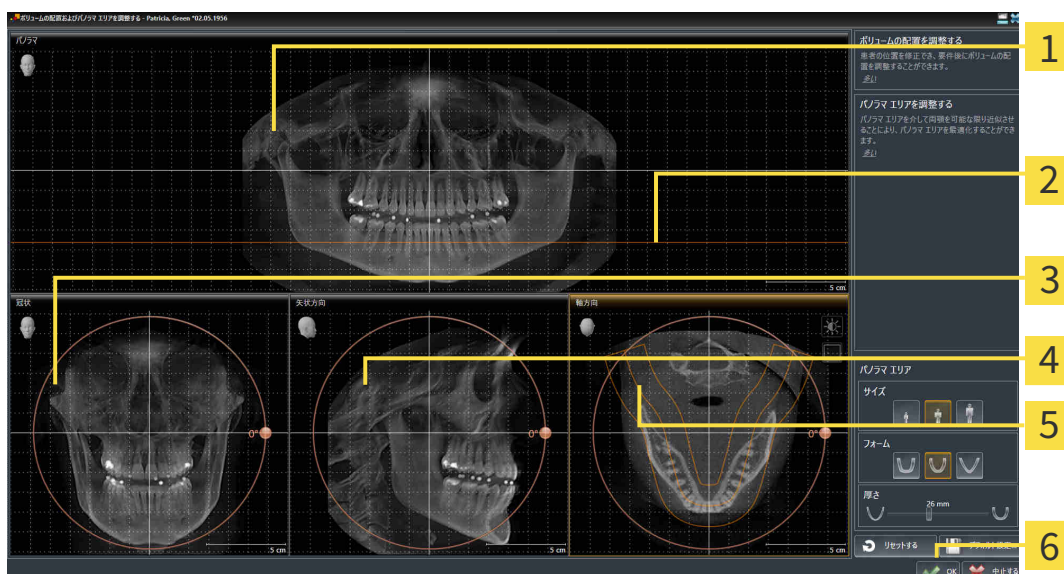
- ボリウムの配置およびパノラマエリアを調整するのウィンドウを開く
- 冠状ビューでボリウムを回す
- 矢状方向ビューでボリウムを回す
- 軸方向ビューでボリウムを回す

「ボリウムの配置およびパノラマエリアを調整する」のウィンドウを開く

ワークフロー・ステップの準備するは、展開させておきます。



- ボリウムの配置およびパノラマエリアを調整しますのアイコンをクリックします。
- ▶ ボリウムの配置およびパノラマエリアを調整するのウィンドウが開きます。



1 パノラマ-ビュー

2 軸方向基準線

3 冠状ビューと回転スライダー

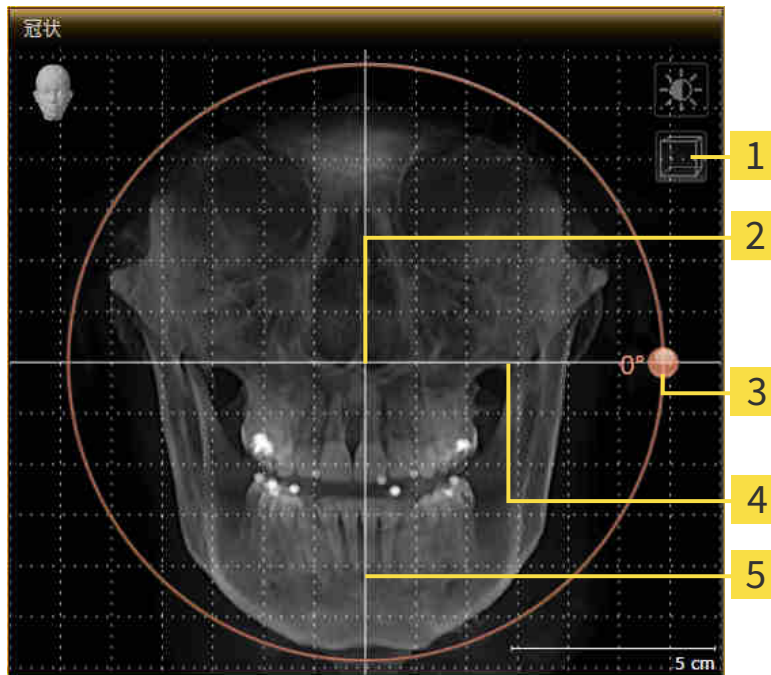
4 矢状方向ビューと回転スライダー

5 軸方向ビューと回転スライダー

6 ボタン OK

冠状ビューでボリウムを回す

1. 冠状ビューをアクティブにします。

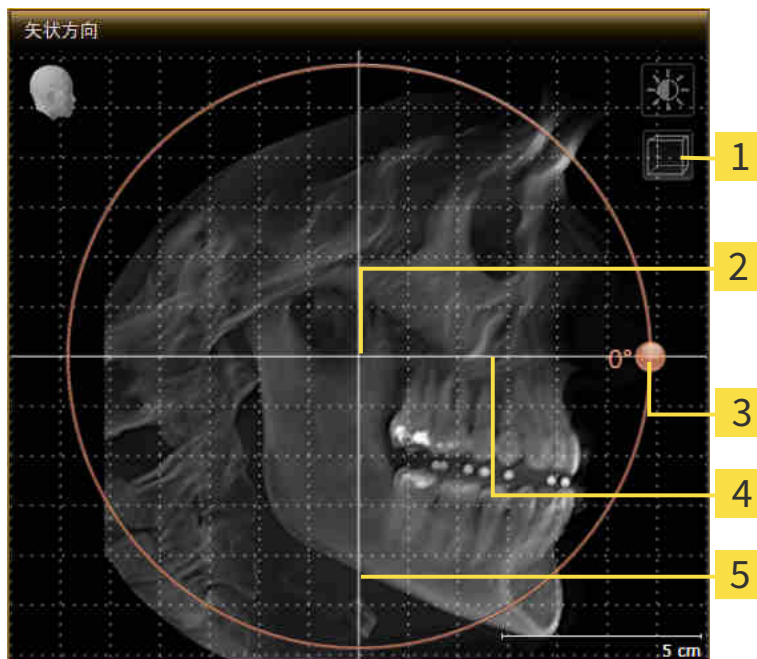


- アイコンレイヤーモードをアクティブにするまたはアイコン 投影モードをアクティブにする
- 1 アイコンレイヤーモードをアクティブにするまたはアイコン 投影モードをアクティブにする
- 2 回転中心
- 3 回転調整つまみ
- 4 水平基準線
- 5 垂直基準線

2. 投影モードがアクティブであることを確認してください。必要に応じて、**投影モードをアクティブにする**のアイコンをクリックします。
3. マウスポインタを**回転調整つまみ**に重ねます。
4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
5. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転調整つまみ**を移動させます。
 - ▶ SICAT Endo では、**冠状ビュー**で立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。
6. 希望するボリウムの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。水平基準線、垂直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。

矢状方向ビューでボリユームを回す

1. 矢状方向ビューをアクティブにします。

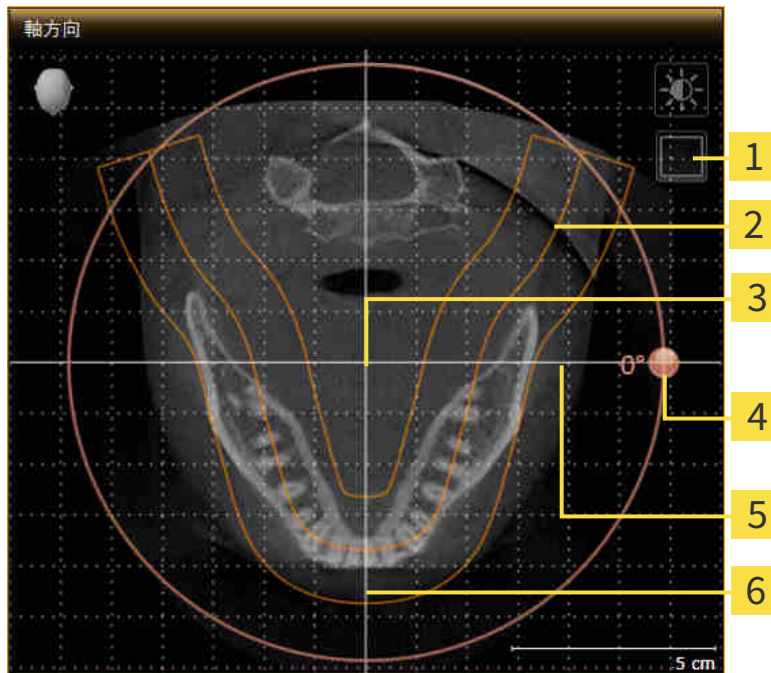


- アイコンレイヤーモードをアクティブにするまたはアイコン 投影モードをアクティブにする
- 1 アイコンレイヤーモードをアクティブにするまたはアイコン 投影モードをアクティブにする
- 2 回転中心
- 3 回転調整つまみ
- 4 水平基準線
- 5 垂直基準線

2. 投影モードがアクティブであることを確認してください。必要に応じて、**投影モードをアクティブにする**のアイコンをクリックします。
3. マウスポインタを**回転調整つまみ**に重ねます。
4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
5. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転調整つまみ**を移動させます。
 - ▶ SICAT Endo では、**矢状方向ビュー**で立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。
6. 希望するボリユームの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。水平基準線、垂直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。

軸方向ビューでボリウムを回す

1. 軸方向ビューをアクティブにします。



アイコン投影モードをアクティブにする

- | | |
|----------------------------------|------------------|
| 1 またはアイコンレイヤーモードをアクティブにする | 4 回転調整つまみ |
| 2 パノラマエリア | 5 水平基準線 |
| 3 回転中心 | 6 垂直基準線 |

2. レイヤーモードがアクティブであることを確認してください。必要に応じて、**レイヤーモードをアクティブにする**のアイコンをクリックします。
3. 例えば、パノラマビューで軸方向基準線をマウスの左ボタンをクリックし、左ボタンを押したままマウスを上下に動かして下顎骨/歯の根のレイヤーをスクロールします。
4. その必要があれば、パノラマエリアの移動は、**軸方向ビュー**で行います。このときは、パノラマエリア上で左マウスボタンをクリックしたら、左マウスボタンを押したまま、マウスを移動させます。SICAT Endo では、パノラマエリアが移動すれば、それに応じて、回転中心、水平基準線、垂直基準線がいずれも移動します。
5. マウスポインタを**回転調整つまみ**に重ねます。
6. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
7. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転調整つまみ**を移動させます。
 - ▶ SICAT Endo では、**軸方向ビュー**で立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。

8. 希望するボリユームの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。パノラマエリア、水平基準線、垂直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。
9. 調整した後の内容を保存するときは、**OK**をクリックします。
 - ▶ ボリユームの配置を調整すると、それがSICATのアプリケーションに現在あるオブジェクトに影響する場合は、SICAT Endoで、通知ウィンドウが開き、影響の詳細に関してお知らせします。
10. それでもなお、ボリユームの配置の調整を行いたいときは、通知ウィンドウに**調整する**のボタンがありますので、それをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo は調整されたボリユームの配置を保存し、配置に応じてボリユームをすべてのビューで表示します。

説明のある手順に加えて、**ボリユームの配置およびパノラマエリアを調整する**のウィンドウでは、以下の各操作が可能です。



- 2Dビューでは、明るさやコントラストを調整できます。このときは、希望のビューをアクティブにし、**輝度およびコントラストの調整**のアイコンをクリックしてください。これに関する情報は**2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット** [▶ ページ 82 - SIDEXIS 4]を参照してください。
- ビューでズームすることができます。SICAT Endo **軸方向**ビューの画像付のビュー間のズームを同期します。
- **リセットする**のボタンをクリックすると、ボリユームの配置やパノラマエリアをデフォルトに復元できます。
- **デフォルト設定を保存する**のボタンをクリックすると、立体画像の現時点の方向や現時点のパノラマエリアを、プリセットの設定内容として保存できます。
- 調整した後の内容を保存する必要がないときは、**中止する**をクリックしてください。

24.2 パノラマエリアを調整する

パノラマエリアに関する一般的な情報は、*ボリユームの配置およびパノラマエリア* [▶ ページ 98 - *SIDEXIS 4*]の節をご覧ください。

パノラマエリアの調整は、以下の手順で調整を行います。

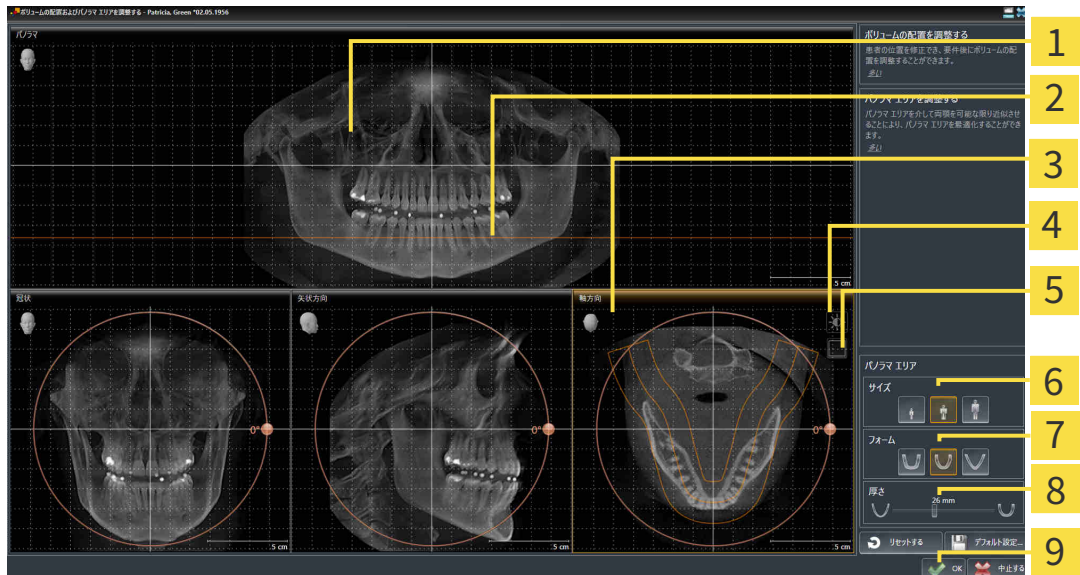
- **ボリユームの配置およびパノラマエリアを調整する**のウィンドウを開く
- 軸方向ビューのレイヤー位置を調整する
- パノラマエリアを移動する
- 軸方向ビューでボリユームを回す
- サイズ、フォーム、厚さのそれぞれのパノラマエリアを調整する

「ボリユームの配置およびパノラマエリアを調整する」のウィンドウを開く

ワークフロー・ステップの**準備する**は、展開させておきます。



- ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整しますのアイコンをクリックします。
- ▶ ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する のウィンドウが開きます。



- | | |
|--|-------------------|
| 1 パノラマ-ビュー | 6 サイズ-ボタン |
| 2 軸方向基準線 | 7 フォーム-ボタン |
| 3 軸方向ビューと回転スライダー | 8 厚さ-スライダー |
| 4 アイコン 輝度およびコントラストの調整 | 9 ボタン OK |
| 5 アイコン 投影モードをアクティブにする
またはアイコン レイヤーモードをアクティブにする | |

軸方向ビューのレイヤー位置を調整する



1. 軸方向ビューで、レイヤーモードが選択されていることを確認します。必要に応じて、レイヤーモードをアクティブにするのアイコンをクリックします。
2. パノラマビューで、軸方向基準線にマウスポインタを重ねます。軸方向基準線は、軸方向ビューの現在のレイヤー位置を示しています。
3. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
4. マウスを上下方向に移動させます。
 - ▶ 軸方向画像のレイヤーは、パノラマビューで、水平断面の基準線がある位置に合わせて、調整が行われます。
5. 軸方向基準線が下顎骨/歯の根に来たら、マウスの左ボタンから指を放します。
 - ▶ 軸方向ビューでは、調整後のレイヤーが表示されて維持されます。

パノラマエリアを移動する

1. **軸方向**ビューで、マウスポインタをパノラマエリアに重ねます。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
 - ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
3. マウスを動かします。
 - ▶ SICAT Endo では、マウスポインタの位置に合わせて、パノラマエリアの調整が行われません。
4. パノラマエリアの中央の曲線が下顎骨/歯の根に来たら、マウスの左ボタンから指を放しません。
 - ▶ パノラマエリアは現在位置を保持します。

軸方向ビューでボリウムを回す

1. **軸方向**ビューで、マウスポインタを**回転調整つまみ**に重ねます。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転調整つまみ**を移動させます。
 - ▶ SICAT Endo では、**軸方向**ビューで、回転調整つまみに合わせて、立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。
4. 下顎骨/歯の根がパノラマエリアの中央の曲線に来たら、マウスの左ボタンから指を放しません。

パノラマエリアのサイズ、フォームおよび厚さを調整する



1. パノラマエリアの**サイズ**は、患者の下顎骨と合致が最も良好なものを選択します。このときは、そのサイズに該当する、**サイズ**のボタンをクリックします。



2. パノラマエリアの**フォーム**は、患者の下顎骨と合致が最も良好なものを選択します。このときは、そのサイズに該当する、**フォーム**のボタンをクリックします。



3. **軸方向**ビューで、投影モードが選択してあることを確認します。必要に応じて、**投影モードをアクティブにする**のアイコンをクリックします。



4. **厚さ**のスライダー位置を移動させて、パノラマエリアの**厚さ**を選択します。パノラマエリアに全ての歯と両顎が完全に含まれていることを確認します。厚さは、できるだけ薄くしてください。

5. 調整した後の内容を保存するときは、**OK**をクリックします。

▶ SICAT Endo では、ボリウム配置とパノラマエリアについて、いずれも調整した後のものが保存され、パノラマ画像は、その調整後のデータにより表示されます。

説明のある手順に加えて、**ボリウム配置およびパノラマエリアを調整する**のウィンドウでは、以下の各操作が可能です。



- 2Dビューでは、明るさやコントラストを調整できます。このときは、希望のビューをアクティブにし、**輝度およびコントラストの調整**のアイコンをクリックしてください。これに関する情報は**2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット** [▶ ページ 82 - SIDEXIS 4]を参照してください。
- ビューでズームingすることができます。SICAT Endo **軸方向**ビューの画像付のビュー間のズームingを同期します。
- **リセットする**のボタンをクリックすると、ボリウム配置やパノラマエリアをデフォルトに復元できます。
- **デフォルト設定を保存する**のボタンをクリックすると、立体画像の現時点の方向や現時点のパノラマエリアを、プリセットの設定内容として保存できます。
- 調整した後の内容を保存する必要がないときは、**中止する**をクリックしてください。

25 光学印象



光学印象は、Sirona 3D X線機器で作成したX線データにのみインポートおよび記録することができます。

SICAT Endo 同じ患者1名について、X線撮影画像と光学印象の対応が相互にとれていれば、その両者を同時に表示できます。表示の組み合わせは、分析および診断のための追加情報を提供します。さらに、治療の実施は光学印象をベースにしています。

光学印象を含むデータを SICAT Endo で使用するには、次の操作が必要となります。

- X線データへの光学印象の記録

SICAT Endo は、次の光学印象用ファイルフォーマットに対応しています。

- SIXDファイル（上顎骨の光学印象と下顎骨の光学印象が含まれます）
- SSIファイル（上顎骨の光学印象と下顎骨の光学印象が含まれます）
- 上顎または下顎の光学印象を含むSTLファイル (SICAT Suite STL インポートライセンスが必要です)

次のツールは光学印象に使用することができます。

- 光学印象をインポートし記録する [▶ ページ 111 - SIDEXIS 4]
- 他のSICATアプリケーションからの光学印象を再使用する [▶ ページ 119 - SIDEXIS 4]
- 光学印象のアクティベーション、非表示および表示に関する情報はオブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ ページ 62 - SIDEXIS 4]をご覧ください。
- 光学印象に焦点を当てること、および光学印象を削除することに関する情報は、オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ ページ 64 - SIDEXIS 4]の節をご覧ください。

STL形式の光学印象はインポートの際に追加の操作が必要です。これに関する情報はSTLフォーマットの光学印象の場合の追加手順 [▶ ページ 117 - SIDEXIS 4]を参照してください。

25.1 光学印象をインポートし記録する



注意

3D X線撮影画像以外のデータを唯一の情報源として使用すると、結果として、診断や治療を誤ることになりかねません。

1. 診断や治療計画の立案にあたって利用する情報源としては、3D X線撮影画像を優先させてください。
2. 光学印象データなどの他のデータは、補助的な情報源としてのみ利用してください。



注意

不適切な光学印象用機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず医療機器として承認されている機器の光学印象データを使用してください。



注意

3D X線撮影画像の患者と日付が一致しない光学印象データを使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

患者データの患者と日付が、表示された3D X線撮影画像の患者および日付と一致していることを確認してください。



注意

光学印象データのインテグリティまたは品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

インポートした光学印象データのインテグリティと品質を確認してください。



注意

光学印象データの品質および正確性が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および正確性の光学印象データを利用してください。



注意

過度なアーチファクト、不十分な解像度、または記録のための点の欠如は、光学印象の記録に失敗する原因になるおそれがあります。
例：3D X線撮影画像の過度なアーチファクトは、モーション/メタルアーチファクトです。

必ず精確な記録を可能にする光学印象と3D X線撮影画像のみを使用してください。



注意

互いに一致しない光学印象の記録プロセスでマークを選択すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

光学印象データを記録する場合、3D X線撮影画像と光学印象に一致するマーキングで慎重に選択します。

**注意**

間違って記録された光学印象データおよび3D X線撮影画像を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

記録された光学印象が3D X線撮影画像に対して正確に配置されているか確認してください。



これにより、3DX線撮影画像と光学印象が互いに適合しているかどうか確認することができ、アシスタント**光学印象をインポートし記録する**が患者データを常時表示し、設定**匿名にする**を無視します。



光学印象がX線データに正確に配置されているか検査するには、**検査ウィンドウ**を使用することができます。**検査ウィンドウ**を移動し、**検査ウィンドウ**でレイヤーをスクロールすることができます。

光学印象に関する一般的な情報は、**光学印象** [▶ ページ 110 - SIDEXIS 4]をご参照ください。

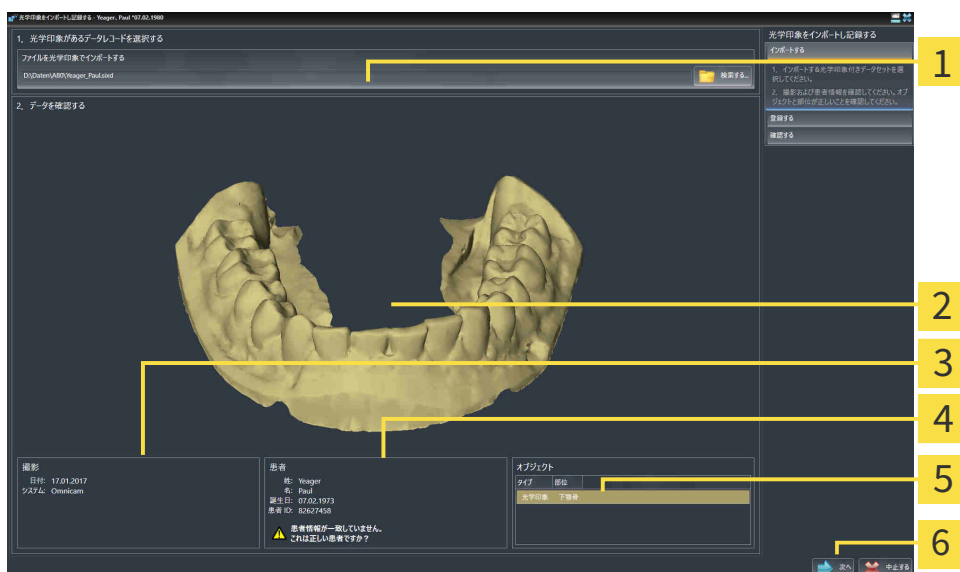
光学印象のインポートおよび登録は、次のように行います。

☑ ワークフロー・ステップの**準備する**は、展開させておきます。



1. **光学印象をインポートし記録する**のアイコンをクリックしてください。
 - ▶ **インポートする**のステップで、**光学印象をインポートし記録する**ウィザードが開いています。
2. **検索する**のボタンをクリックしてください。
 - ▶ **ファイルを光学印象で開く**のウィンドウが開きます。
3. **ファイルを光学印象で開く** ウィンドウで、光学印象を含む任意のファイルに切り替え、ファイルを選択し、**開く**をクリックします。
 - ▶ **ファイルを光学印象で開く**ウインドウが閉じます。

▶ SICAT Endo 光学印象を含む選択されたファイルを開きます。



1 エリア ファイルを光学印象でインポートする

4 患者情報

2 3D-光学印象のビュー

5 オブジェクトリスト

3 撮影図情報

6 ボタン 次へ

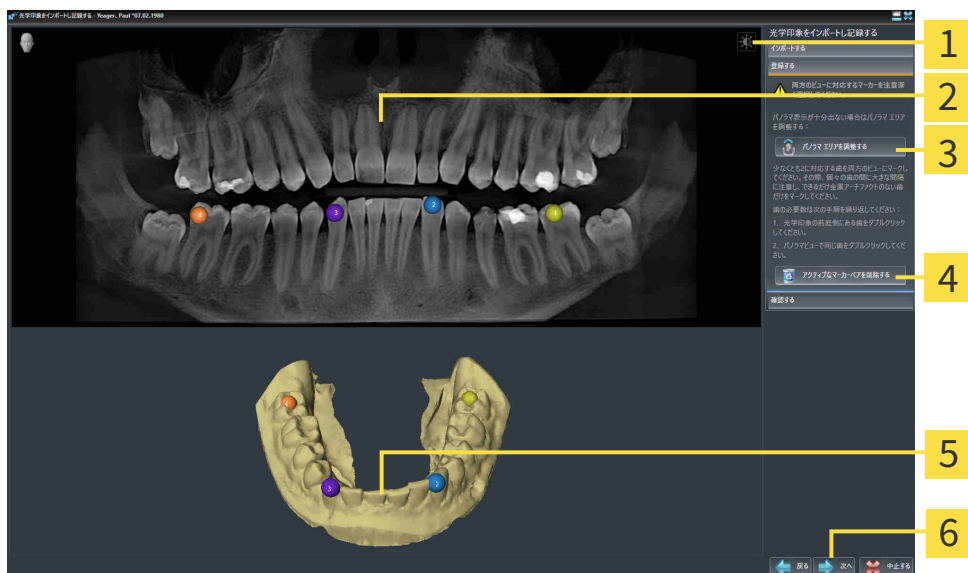
4. 撮影図情報と患者情報を確認してください。
5. オブジェクトと部位が正しいことを確認してください。オブジェクトリストの背景色は3Dビューでのオブジェクトの色に相当します。
6. 次へをクリックします。

- ▶ 3D X線撮影画像の患者データと光学印象のそれが異なる場合、SICAT Endoは、異なる患者情報ウィンドウを開きます。



- 7. 患者情報を比較してください。光学印象が現在の患者と一致していることを確認できる場合は、はいボタンをクリックしてください。

- ▶ 登録するのステップが開きます。



- 1 シンボル 輝度およびコントラストの調整
- 2 パノラマビュー
- 3 ボタンパノラマエリアを調整する
- 4 ボタン アクティブなマーカーパーアを削除する
- 5 3Dビュー(光学印象が表示されます)
- 6 ボタン 次へ

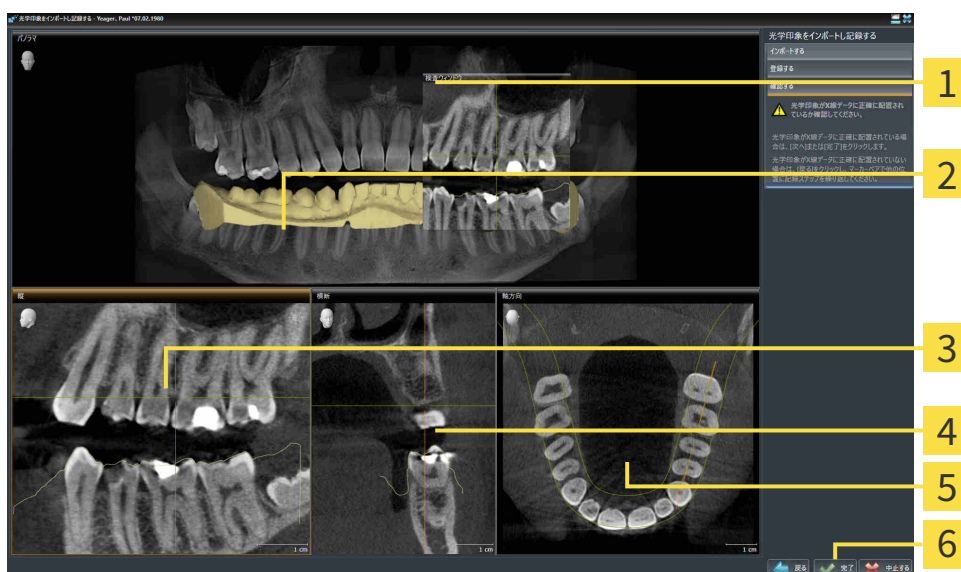
8. パノラマビューの光学印象および3Dビューの光学印象の前庭側の両方で、同じ歯をマウスの左ボタンでダブルクリックします。その際、個々の歯の間に大きな間隔に注意し、金属アーチファクトのない歯だけをマークしてください。両方のビューで一致する歯が2個以上識別表示されるまで、この手順を繰り返します。

- ▶ 両方のビューにある様々な色と番号のマークは、光学印象の割り当てられた歯を示しています。

9. 次へをクリックします。

- ▶ SICAT Endo X線データによる光学印象の記録を計算します。

- ▶ 確認するのステップが開きます。



- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 パノラマ-ビュー 2 検査ウィンドウ 3 縦-ビュー | <ol style="list-style-type: none"> 4 横断-ビュー 5 軸方向-ビュー 6 ボタン 完了 |
|--|---|

10. 光学印象がX線データに正確に配置されているか2Dレイヤービューを確認してください。レイヤーをスクロールし、表示されている輪郭をチェックしてください。

11. 光学印象がX線データに正確に配置されていない場合、戻る ボタンをクリックし、別の位置にあるマーカーのペアで登録するのステップを繰り返してください。

12. 光学印象がX線データに正確に配置されている場合は、完了ボタンをクリックします。

- ▶ 光学印象をインポートし記録するウィザードが閉じます。

- ▶ SICAT Endo 選択した光学印象をオブジェクトブラウザに追加する

- ▶ SICAT Endo 記録されている光学印象を表示します。



記載されている手順に加え、以下の操作が**光学印象をインポートし記録する**で使用できます。

- アイコン**輝度およびコントラストの調整**をクリックして、2Dビューの輝度およびコントラストを調整することができます。これに関する情報は**2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット** [▶ ページ 82 - *SIDEXIS 4*]を参照してください。
- パノラマエリアは、**パノラマエリアを調整する**アイコンをクリックして調整することができます。これに関する情報は**パノラマエリアを調整する** [▶ ページ 106 - *SIDEXIS 4*]を参照してください。
- **登録する** で特定のマーカーペアを削除する場合、ペアのマーカーを選択し、**アクティブなマーカーペアを削除する**ボタンをクリックします。
- 光学印象のインポートおよび記録を中断する場合、**中止する**をクリックします。

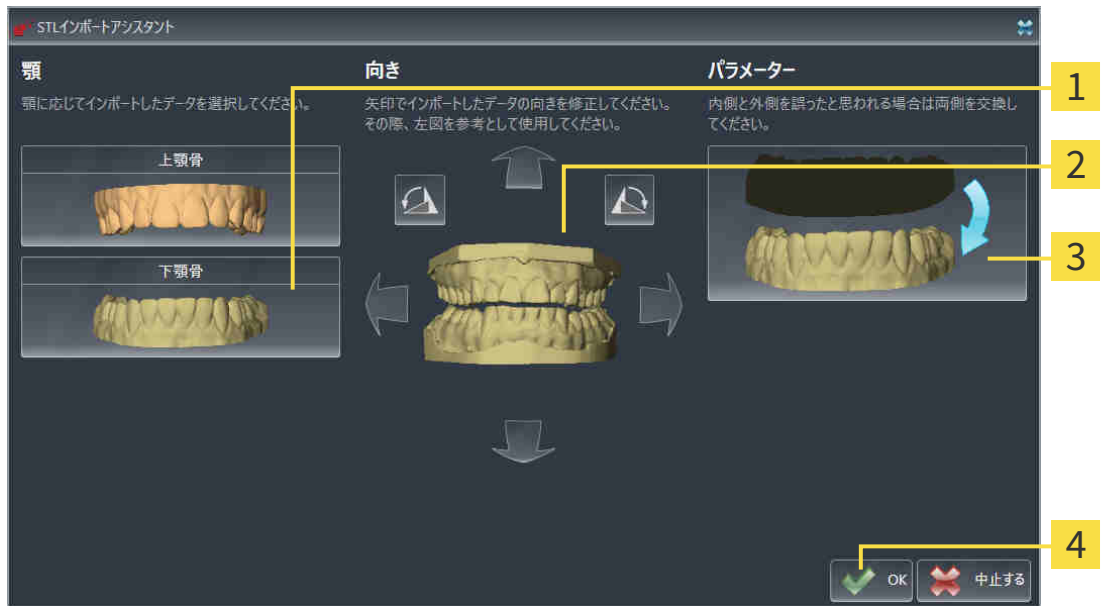
25.2 STLフォーマットの光学印象の場合の追加手順

STLファイルに光学印象の位置と向きに関する情報は含まれていません。そのため、位置と向きを必要に応じて調整する必要があります。

☑ SICAT Suite STL Importライセンスは既に有効化済みです。

1. STL形式のファイルから光学印象を開きます。これに関する情報は光学印象をインポートし記録するを参照してください。

▶ ウィンドウSTLインポートアシスタントが開きます。



- | | |
|----------------|-------------------|
| 1 顎の選択 | 3 内側と外側の交換 |
| 2 向きの変更 | 4 ボタン OK |

2. 顎エリアで光学印象が上顎骨か下顎骨のいずれを含んでいるか、対応するアイコンをクリックして選択してください。



3. 大まかな事前配置のために、向きエリアで矢印アイコンまたは回転アイコンをクリックすることで、必要に応じて光学印象の向きを変更してください。

4. パラメータエリアで光学印象表示をクリックすることで、光学印象の内側と外側を必要に応じて交換してください。

5. OKのボタンをクリックします。

6. 必要に応じて二つ目のSTLファイルに同様の手順を行ってください。SICAT Endo 二つ目のSTFファイルをそれぞれ異なる顎に割り当てます。

▶ SICAT Endo にインポートした光学印象が光学印象をインポートし記録するがアシスタントに表示されます。

7. 光学印象の登録に進みます。これに関する情報は光学印象をインポートし記録するを参照してください。

25.3 他のSICATアプリケーションからの光学印象を再使用する



注意

3D X線撮影画像以外のデータを唯一の情報源として使用すると、結果として、診断や治療を誤ることになりかねません。

1. 診断や治療計画の立案にあたって利用する情報源としては、3D X線撮影画像を優先させてください。
2. 光学印象データなどの他のデータは、補助的な情報源としてのみ利用してください。



注意

不適切な光学印象用機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず医療機器として承認されている機器の光学印象データを使用してください。



注意

3D X線撮影画像の患者と日付が一致しない光学印象データを使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

患者データの患者と日付が、表示された3D X線撮影画像の患者および日付と一致していることを確認してください。



注意

光学印象データのインテグリティまたは品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

インポートした光学印象データのインテグリティと品質を確認してください。



注意

光学印象データの品質および正確性が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および正確性の光学印象データを利用してください。



注意

間違って記録された光学印象データおよび3D X線撮影画像を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

記録された光学印象が3D X線撮影画像に対して正確に配置されているか確認してください。



これにより、3DX線撮影画像と光学印象が互いに適合しているかどうかを確認することができ、アシスタント光学印象をインポートし記録するが患者データを常時表示し、設定匿名にするを無視します。

光学印象に関する一般的な情報は、以下の節をご覧ください。 [光学印象 \[▶ ページ 110 - SIDEXIS 4\]](#)。

他のSICATアプリケーションからの光学印象を再使用するには、次のように行います：

- ☑ ワークフロー・ステップの**準備する**は、展開させておきます。
- ☑ 開いているスタディのために、光学印象を他のSICATアプリケーションにすでにインポートしましたが、SICAT Endoでまだ使用していません。



1. **光学印象をインポートし記録する**のアイコンをクリックします。
 - ▶ **インポートする**のステップで、アシスタント機能**光学印象をインポートし記録する**が開いています。
2. **他のSICATアプリケーションからの光学印象を再使用する**エリアで希望の光学印象のある行をクリックします。
3. SICAT Endo に選択した光学印象が表示されます。
4. 撮影図情報と患者情報を確認してください。オブジェクトと部位が正しいことを確認してください。オブジェクトリストの背景色は3Dビューでのオブジェクトの色に相当します。
5. **完了**のボタンをクリックします。
 - ▶ アシスタント機能の **光学印象をインポートし記録する** が閉じます。
 - ▶ SICAT Endo 選択した光学印象を**オブジェクトブラウザ**に追加する
 - ▶ SICAT Endo に選択した光学印象が表示されます。

他のSICATアプリケーションからの光学印象の引き継ぎを中断する場合は、**中止する**をクリックします。

26 口腔内撮影画像



注意

医療用製品として承認されていない口腔内撮影用デバイスは、間違った診断と治療結果につながるおそれがあります。

医療用製品として承認されている口腔内撮影用デバイスのみを使用するようにしてください。



注意

口腔内撮影画像の完全性または品質が十分でない場合、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

インポートされた口腔内撮影画像の完全性と品質を確認してください。



注意

3D X線撮影画像と一致しない口腔内撮影画像を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

口腔内撮影画像が3D X線撮影画像が正しく登録されていることを確認してください。



注意

患者および3D X線撮影画像が一致しない、または撮影時期が3D X線撮影画像の撮影時期が離れている口腔内撮影画像を使用した場合、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

口腔内撮影画像の患者と3D X線画像の患者が一致しており、その撮影時期が3D X線撮影時期と離れていないことを確認してください。



注意

口腔内撮影画像や3D X線撮影画像の品質が不十分な場合は、口腔内撮影画像の登録のためのメカニズムが失敗する可能性があります。

必ず正しい登録が可能な口腔内撮影画像と3D X線撮影画像のみを使用してください。



注意

口腔内撮影画像の品質および精度が十分でない場合、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および精度の口腔内撮影画像を使用してください。



注意

口腔内撮影画像の位置または向きが間違っていると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

登録後に、3D X線撮影画像の歯に対して口腔内撮影画像の位置と向きが正しくなっていることを確認してください。



注意

3D X線撮影画像に対して向きが間違っただ口腔内撮影画像を使用すると、間違っただ診断および治療につながるおそれがあります。

1. 登録された口腔内撮影画像が3D X線撮影画像に対して正しく配置されているか確認してください。
2. 必要に応じて、口腔内撮影画像を回し、正しく配置させてください。



注意

歯の番号の割り当てが間違っていると、間違っただ診断および治療につながるおそれがあります。

選択された歯の番号と実際の歯の番号が一致していることを確認してください。

SICAT Endoを診断の準備および治療計画に口腔内撮影画像を使用することができます。口腔内撮影画像は、**X線撮影マネージャ**ウィンドウにおいてインポートおよび管理を行うことができます。

口腔内撮影画像を SICAT Endoで使用するには、次の操作が必要となります。

- 口腔内撮影画像を含むDICOMファイルのインポート
- 歯の番号の口腔内撮影画像への割り当て
- 口腔内撮影画像の登録

SICAT Endo 口腔内撮影画像の次のファイル形式をサポートします。

- シングルフレームファイルであるDICOMデータ

互換性のある撮影システムの一覧は、*互換性のある口腔内撮影用センサー* [▶ ページ 123 - *SIDEXIS 4*]をご参照ください。

口腔内撮影には次の操作が利用できます。

- *口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます* [▶ ページ 124 - *SIDEXIS 4*]
- *口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う* [▶ ページ 129 - *SIDEXIS 4*]
- *口腔内撮影画像を登録する* [▶ ページ 131 - *SIDEXIS 4*]

26.1 互換性のある口腔内撮影用センサー

SICAT Endo 以下の口腔内撮影用センサーをサポートしています。

- XIOS XG Supreme、製造元:Sirona Dental Systems GmbH、ドイツ
- XIOS XG Select、製造元:Sirona Dental Systems GmbH、ドイツ
- XIOS Plus、製造元:Sirona Dental Systems GmbH、ドイツ
- Schick 33、製造元:Sirona Dental Inc.、米国
- Schick Elite、製造元:Sirona Dental Inc.、米国

26.2 口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます

口腔内撮影画像に関する一般的な情報は、[口腔内撮影画像](#) [[▶ ページ 121 - SIDEXIS 4](#)]をご参照ください。

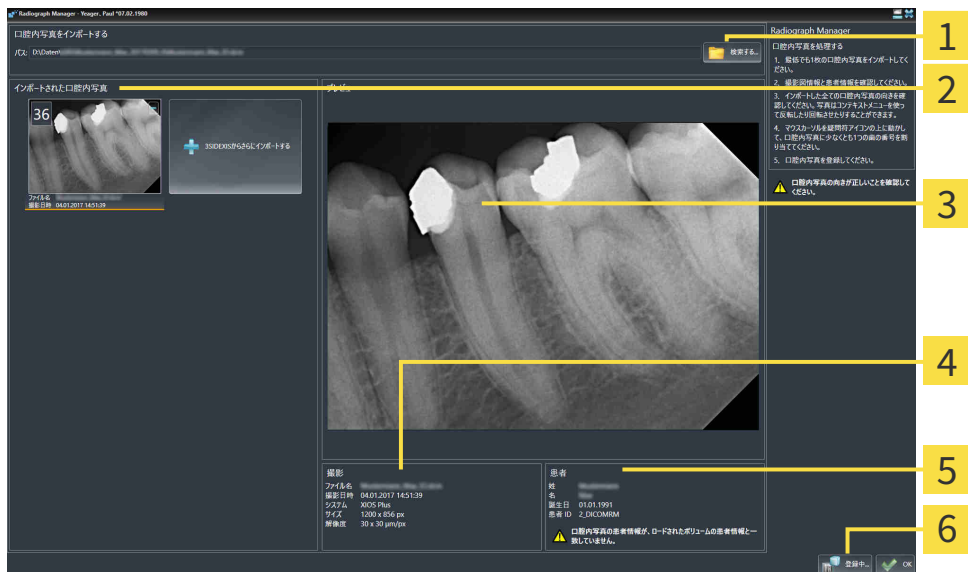
以下の手順で、口腔内撮影画像をインポートし、1本または複数の歯を割り当てます。

- ☑ ワークフロー・ステップの準備は、展開させておきます。これに関する情報は、[ワークフローのツールバー](#) [[▶ ページ 58 - SIDEXIS 4](#)]をご参照ください。
- ☑ 口腔内撮影画像は、SICAT Endoにまだありません。口腔内撮影画像は1回のみインポートすることができます。
- ☑ 口腔内撮影画像は、シングルフレームフォーマットのDICOMファイルとして利用できます。
- ☑ 口腔内撮影画像は、互換性のある口腔内撮影装置を使用して作成されました。これに関する情報は、[互換性のある口腔内撮影用センサー](#) [[▶ ページ 123 - SIDEXIS 4](#)]をご参照ください。



1. **口腔内撮影画像の管理・登録中のアイコンをクリックしてください。**
 - ▶ **X線撮影マネージャ** のウィンドウが開きます。
2. **検索する** のボタンをクリックしてください。
 - ▶ **口腔内撮影画像を開く** のウィンドウが開きます。
3. **口腔内撮影画像を開く** ウィンドウの希望する口腔内撮影画像に移動し、ファイルを1つ以上選択してください。**Ctrl**キーを押しながら複数のファイルを続けて選択することで、複数のファイルを同時にインポートすることができます。
4. **開く** をクリックします。
 - ▶ **口腔内撮影画像を開く** ウィンドウが閉じます。

▶ SICAT Endo はインポートされた口腔内撮影画像を示します。



- | | |
|------------------------------|------------------|
| 1 ボタン 検索する | 4 患者情報 |
| 2 エリア インポートされた口腔内撮影画像 | 5 撮影図情報 |
| 3 エリア プレビュー | 6 ボタン 登録中 |

5. インポートされた口腔内撮影画像を選択するには、画像のインポートされた口腔内撮影画像のエリアをクリックしてください。

▶ SICAT Endo はプレビューのエリアに選択された画像を表示します。

6. 患者に関する情報と、撮影画像に関する情報を確認してください。撮影画像と患者が一致しており、3D X線撮影画像と口腔内撮影画像の撮影日が90日以上離れていないことを確認してください。

7. 口腔内撮影画像が実際の歯の配置に対し正しい向きになっていることを確認してください。

8. インポートされた口腔内撮影画像が、実際の歯の配置に対し正しくアラインメントされていない場合は、撮影画像のインポートされた口腔内撮影画像エリアを右クリックし、コンテキストメニューから**左右反転**、**垂直に反転させる**、**反時計回りに回転する**もしくは**時計回りに回転する**のうちいずれかの項目を選択してください。

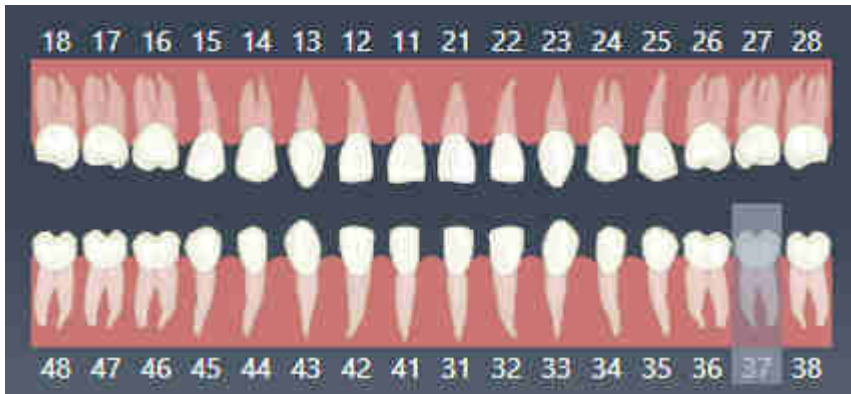
▶ SICAT Endo は撮影画像を水平または垂直方向に反転します。

▶ SICAT Endo は撮影画像を左または右に90度のステップで回転します。



9. 撮影画像のクエスチョンマークにマウスポインタを重ねます。

▶ **歯の番号** のウィンドウが開きます。



10. 実際の歯の配置に対し正しい歯の番号に続けてクリックすることにより、撮影画像を最大4つの歯の番号に割り当ててください。

11. **歯の番号** ウィンドウを閉じるには、ウィンドウの外側にマウスポインタを合わせてください。

- ▶ SICAT Endo は**歯の番号** ウィンドウを閉じます。
- ▶ SICAT Endo は口腔内撮影画像に関連した歯の番号を表示します。
- ▶ SICAT Endo X線撮影マネージャを閉じるときに変更内容を保存します。



口腔内撮影画像をSIDEXIS 4にインポートするには、**インポートされた口腔内撮影画像** エリアで、さらに**SIDEXISからインポートする** ボタンをクリックしてください。ボタンさらに**SIDEXISからインポートする** は、SIDEXIS 4からどれだけの口腔内撮影画像をインポートできるかを示します。



コンテキストメニュー上の**インポートされた口腔内撮影画像** のエリアでは、次の機能を呼び出すことができます。

- 左右反転
- 垂直に反転させる
- 反時計回りに回転する
- 時計回りに回転する
- 歯の番号
- 登録中
- 削除する

インポートされた口腔内撮影画像をインポートされた口腔内撮影画像エリアから削除するには、次の方法があります。



- 撮影画像で計画プロジェクトから口腔内撮影画像を削除するのアイコンをクリックしてください。
- 撮影画像上でマウスの右ボタンをクリックし、コンテキストメニューで削除するの項目を選択してください。
- インポートされた口腔内撮影画像エリア内で撮影画像をマーキングし、Delボタンを押してください。

インポートされた口腔内撮影画像を登録するには、次のセクションの手順に従ってください。

- 登録ウィザード [▶ ページ 128 - SIDEXIS 4]

27 登録ウィザード

登録ウィザードは、口腔内撮影画像の登録に必要な機能を提供します。

登録ウィザードを使用するには、口腔内撮影画像がすでにインポートされており、歯の番号が割り当てられている必要があります。これに関する情報は、**口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます** [▶ ページ 124 - SIDEXIS 4]をご参照ください。

登録ウィザードでの作業を開始する前に、登録したい口腔内撮影画像を選択する必要があります。

登録ウィザードでは、口腔内撮影画像をパノラマ曲線上にプリアラインメントできます。**3D投影ビュー**では、SICAT Endoが口腔内撮影画像を自動的に登録する前に、アラインメントの微調整を行えます。

登録ウィザードは、次のステップで構成されます。

- **口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う** [▶ ページ 129 - SIDEXIS 4]
- **口腔内撮影画像を登録する** [▶ ページ 131 - SIDEXIS 4]

パノラマビューにおけるプリポジショニングだけでは不十分な場合は、**ステップ口腔内撮影画像を登録する**において、アラインメントを**横断ビュー**または**軸方向ビュー**でも調整することができます。これに関する情報は、**横方向および軸方向のプリアラインメントを調整する** [▶ ページ 134 - SIDEXIS 4]をご参照ください。

口腔内撮影画像内に、登録の際に問題が発生する可能性があるエリアが含まれている場合には、**ステップ口腔内撮影画像を登録する**において、これらのエリアをマスクで着色することにより、登録の対象から除外することができます。これに関する情報は、**エリアをマスクングする** [▶ ページ 137 - SIDEXIS 4]をご参照ください。

27.1 口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う

登録ウィザードに関する一般的な情報は、登録ウィザード [▶ ページ 128 - SIDEXIS 4] をご参照ください。

ステップ口腔内撮影画像のプリポジショニングを行うにおいては、口腔内撮影画像をパノラマ曲線上にアラインメントして、3D X線撮影画像と口腔内撮影画像の間に可能な限り最適なオーバーレイを実現します。

- ☑ ワークフロー・ステップの準備は、展開させておきます。これに関する情報は、ワークフローのツールバー [▶ ページ 58 - SIDEXIS 4] をご参照ください。
- ☑ 少なくとも1つの口腔内撮影画像をインポートされ、少なくとも1つの歯の番号が割り当てられています。これに関する情報は、口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます [▶ ページ 124 - SIDEXIS 4] をご参照ください。

1. 口腔内撮影画像の管理・登録中のアイコンをクリックしてください。

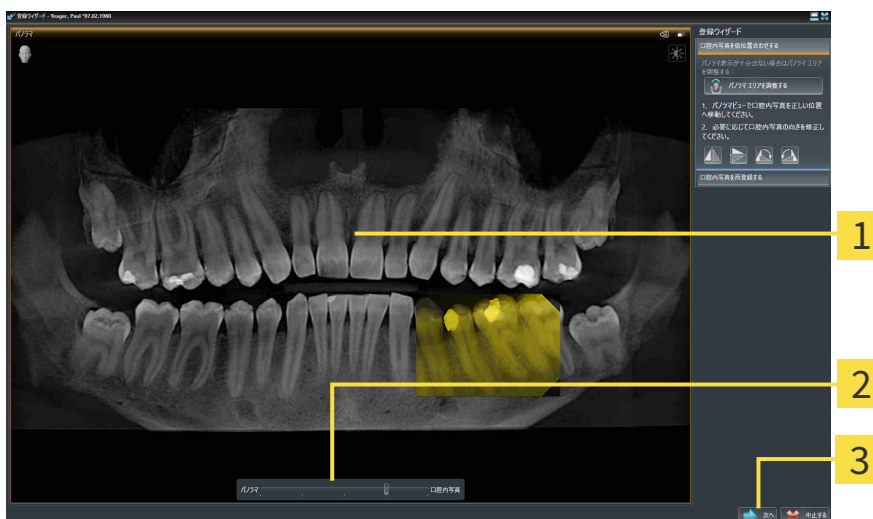
▶ X線撮影マネージャのウィンドウが開きます。

2. 口腔内撮影画像を登録のために選択するには、撮影画像の上に左マウスボタンをクリックしてください。

▶ SICAT Endo は撮影画像をマークします。

3. 登録中のボタンをクリックしてください。

▶ 口腔内撮影画像のプリポジショニングを行うのステップが開きます。



1 ウィンドウ パノラマ

3 ボタン 次へ

2 透明度スライダー

▶ SICAT Endo パノラマウィンドウにおいて、口腔内撮影画像をパノラマ曲線上に表示します。

4. 口腔内撮影画像を移動させるには、撮影画像にマウスポインタを合わせてください。

5. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。

6. 希望する位置に口腔内撮影画像を移動します。
7. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo 撮影画像の現在の位置を維持します。
8. 必要に応じて、口腔内撮影画像の向きを**口腔内撮影画像のプリポジショニングを行うエリア**において、**左右反転ボタン**、**垂直に反転させるボタン**、**時計回りに回転するボタン**、もしくは**反時計回りに回転するボタン**で調整することができます。
9. 登録の次のステップに移動するには、**次へボタン**をクリックしてください。
 - ▶ **口腔内撮影画像を登録する**のステップが開きます。

口腔内撮影画像の登録を開始するための他の方法としては、次の手順に従うことができます。



- 口腔内撮影画像の**インポートされた口腔内撮影画像**のエリアをダブルクリックしてください。
- 口腔内撮影画像の**インポートされた口腔内撮影画像**のエリアをマーキングし、**Enter**キーを押してください。
- **インポートされた口腔内撮影画像**のエリアで口腔内撮影画像をマウスの右ボタンでクリックし、コンテキストメニューから**登録中**の項目を選択してください。



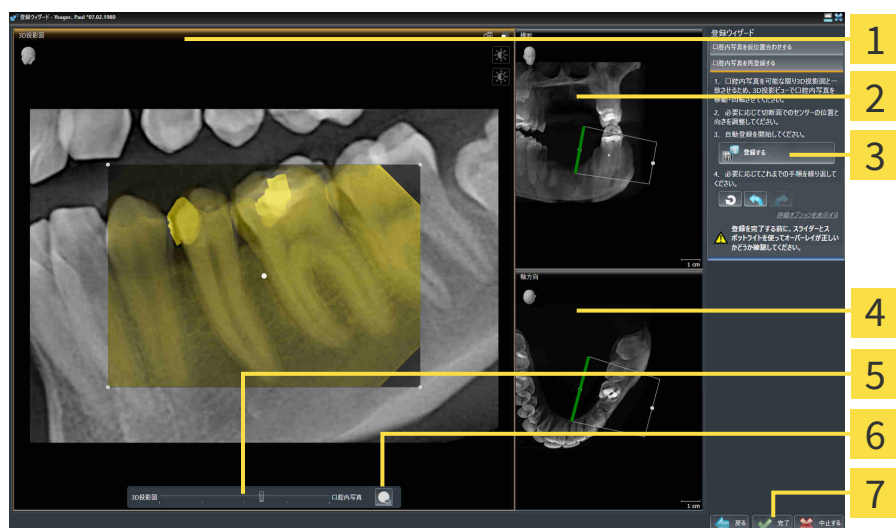
口腔内撮影画像とパノラマの正しいオーバーレイを確認するためには、**透明度**スライダーで画像の透明度を調整することができます。

口腔内撮影画像を登録する [▶ ページ 131 - SIDEXIS 4]を継続してください。

27.2 口腔内撮影画像を登録する

登録ウィザードに関する一般的な情報は、登録ウィザード【▶ ページ 128 - SIDEXIS 4】をご参照ください。

口腔内撮影画像を登録するステップにおいては、自動登録を実行する前に、口腔内撮影画像の初期位置の微調整を行うことができます。



1 3D投影-ビュー

2 横断-ビュー

3 ボタン 登録する

4 軸方向-ビュー

5 透明度スライダー

6 ボタン スポットライト

7 ボタン 完了

口腔内撮影画像のオーバーレイを**3D投影**ビューで調整するには、以下の手順に従って操作を行ってください。



1. **3D投影**ビューにおいて、マウスポインタを口腔内撮影画像に合わせてください。
▶ マウスポインタの形が切り替わります。

2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。

3. 希望する位置に口腔内撮影画像を移動します。

4. マウスの左ボタンを放してください。

- ▶ SICAT Endo は口腔内撮影画像の現在の回転位置を維持します。
- ▶ SICAT Endo **横断**ビューおよび**軸方向**を必要に応じて調整します。



5. 口腔内撮影画像を回転させるには、**3D投影**ビューにおいて、マウスポインタを撮影画像の角の確認箇所のいずれかに合わせてください。
▶ マウスポインタの形が切り替わります。

6. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
7. 口腔内撮影画像を希望する方向に回してください。
8. マウスの左ボタンを放してください。

▶ SICAT Endo 撮影画像の現在の位置を維持します。

▶ SICAT Endo **横断ビュー**および**軸方向**を必要に応じて調整します。

スポットライトをオンそしてオフにする

口腔内撮影画像と3D投影との正しいオーバーレイを確認するには、**3D投影ビュー**において、スポットライトを表示させることができます。



1. **スポットライト**ボタンをクリックしてください。
2. マウスポインタをの口腔内撮影画像に合わせてください。
▶ SICAT Endo はスポットライトを示します。
3. 口腔内撮影画像の確認したい箇所にマウスポインタを移動してください。
4. 確認したいすべての箇所でこの手順を繰り返してください。



5. スポットライトを非表示にするには、再度**スポットライト**ボタンをクリックしてください。
▶ SICAT Endo はスポットライトを非表示にします。

横方向または軸方向のアライメントを調整する

もし**3D投影ビュー**における口腔内撮影画像のアラインメントだけでは不十分な場合は、さらに**横断ビュー**、または**軸方向ビュー**においてアラインメントを行うことができます。これに関する情報は、**横方向および軸方向のプリアライメントを調整する** [▶ ページ 134 - SIDEXIS 4]をご参照ください。

口腔内撮影画像のエリアをマスクします

もし口腔内撮影画像の特定のエリアを自動登録から除外したい場合は、そのエリアを着色によりマスクをかけることができます。SICAT Endo 自動登録の際にこれらのマスク領域を考慮に入れません。これに関する情報は、**エリアをマスクする** [▶ ページ 137 - SIDEXIS 4]をご参照ください。

自動登録を行う

- 自動登録を実行するには、**口腔内撮影画像を登録する**エリアで、**登録する**ボタンをクリックしてください。
- ▶ SICAT Endo 口腔内撮影画像の3D X線撮影画像との登録を行います。
- ▶ SICAT Endo は登録ウィザードを閉じます。
- ▶ SICAT Endo は登録の結果を**X線撮影マネージャ**ウィンドウに表示します。

登録を確認します

1. **3D投影ビュー**、**横断ビュー**および**軸方向ビュー**を使用して登録結果を確認してください。
2. 結果に満足できない場合は、マウスで口腔内撮影画像をドラッグアンドドロップで移動することで、口腔内撮影画像の位置を調整することができます。
3. 登録を完了するには、**完了**ボタンをクリックしてください。

▶ **登録ウィザード**が閉じます。

▶ **X線撮影マネージャ**のウィンドウが開きます。



▶ SICAT Endo 口腔内撮影画像を登録済みとして、**インポートされた口腔内撮影画像(X線撮影マネージャ内)**エリアに表示します。



口腔内撮影画像とパノラマの正しいオーバーレイを確認するためには、**透明度**スライダーで画像の透明度を調整することができます。



直前に行われた調整を取り消すには、**最後のステップを取り消す**ボタンをクリックしてください。実施されたすべての調整をリセットするには、**すべてのステップを取り消す**ボタンをクリックしてください。

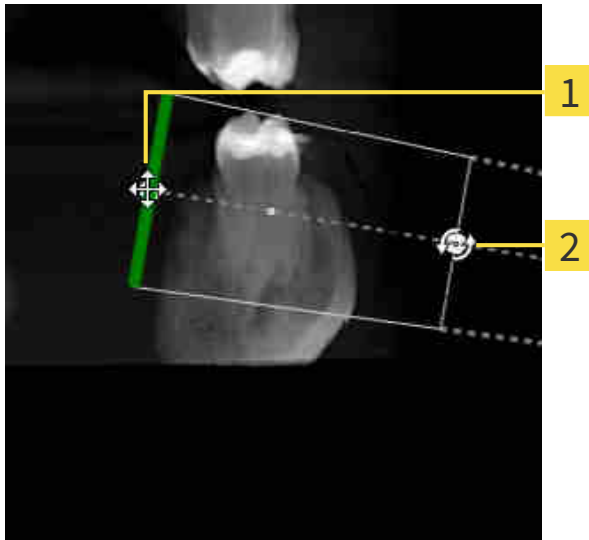
27.3 横方向および軸方向のプリアライメントを調整する

口腔内撮影画像の3D投影とのオーバーレイの調整に関する一般的な情報は、[口腔内撮影画像を登録する](#) [▶ ページ 131 - *SIDEXIS 4*]をご参照ください。

たとえ**3D投影**ビューにおいて口腔内撮影画像を実際の歯の配置に対して正しくアライメントできる場合でも、特定の撮影画像においては、SICAT Endoは、口腔内撮影画像を3D放射線撮影画像と自動登録できない可能性があります。

この場合には、口腔内撮影画像の位置を**横断**ビューまたは**軸方向**ビューで調整してください。

アライメントを横方向ビューで移動させる



1 確認箇所 1

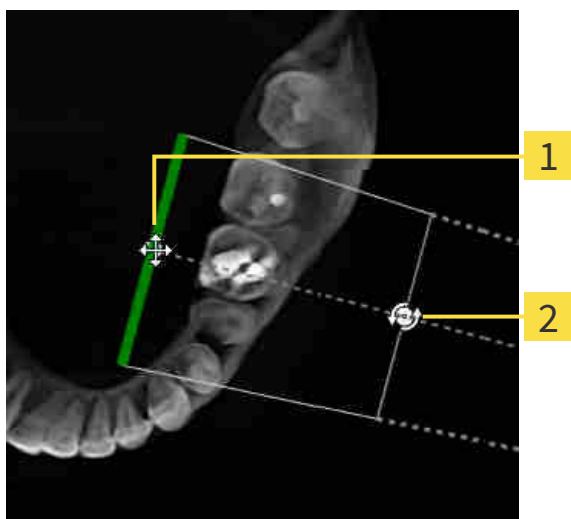
2 確認箇所 2

1. 撮影装置および3D X線撮影のセンサを移動させるのは、マウスポインタを**横断**ビューで確認箇所 1に合わせてください。
 - ▶ マウスポインタは4つの矢印が付いた十字に変わります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
3. アライメントを希望する方向に移動させてください。
4. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo 現在のアライメントを維持します。
 - ▶ SICAT Endo **3D投影**ビューおよび**軸方向**を必要に応じて調整します。

アライメントを横方向ビューで回転させる

1. 撮影装置および3D X線撮影のセンサを回転させるには、マウスポインタを**横断ビュー**で確認箇所2に合わせてください。
 - ▶ マウスポインタは、回転する2つの矢印を持つ円に変わります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
3. アライメントを希望する方向に回転させてください。
4. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo 現在のアライメントを維持します。
 - ▶ SICAT Endo **3D投影ビュー**および**軸方向**を必要に応じて調整します。

アライメントを軸方向ビューで移動させる



1 確認箇所 1

2 確認箇所 2

1. 撮影装置および3D X線撮影のセンサを移動させるのは、マウスポインタを**横断ビュー**で確認箇所1に合わせてください。
 - ▶ マウスポインタは4つの矢印が付いた十字に変わります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
3. アライメントを希望する方向に移動させてください。
4. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo 現在のアライメントを維持します。
 - ▶ SICAT Endo **3D投影ビュー**および**横断**を必要に応じて調整します。

アライメントを軸方向ビューで回転させる

1. 撮影装置および3D X線撮影のセンサを回転させるには、マウスポインタを**軸方向ビュー**で確認箇所 2 に合わせてください。
 - ▶ マウスポインタは、回転する2つの矢印を持つ円に変わります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
3. アライメントを希望する方向に回転させてください。
4. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo 現在のアライメントを維持します。
 - ▶ SICAT Endo **3D投影**ビューおよび**横断**を必要に応じて調整します。

27.4 エリアをマスキングする

口腔内撮影画像には、自動登録の際に問題を引き起こす可能性のあるエリアが含まれていることがあります。例えば、

- 金属物体
- 反対側の顎の歯
- 撮影画像の一部でない口腔内撮影画像の周辺部

自動登録の際の問題を回避するために、それらのエリアにマスクをかけることができます。SICAT Endo マスキングされたすべてのエリアを自動登録の際に除外します。

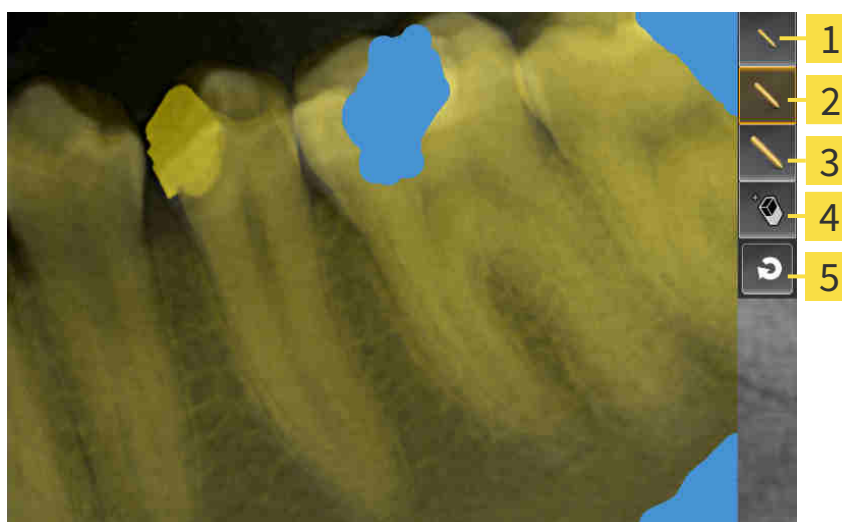
口腔内撮影画像の個々のエリアにマスキングをするには、以下の手順に従って操作を行ってください。

1. 口腔内撮影画像を登録するのエリアで、**詳細オプションを表示する**のボタンをクリックしてください。

▶ SICAT Endo マスクを編集するボタンを表示します。

2. **マスクを編集する**のボタンをクリックしてください。

▶ SICAT Endo 口腔内撮影画像の右端にマスクツールバーを表示します。



1 ボタン 小サイズのブラシを使用する

4 ボタン 消しゴムを使います

2 ボタン 中サイズのブラシを使用する

5 ボタン マスクをリセットする

3 ボタン 大サイズのブラシを使用する

3. エリアを着色するには、**小サイズのブラシを使用する**ボタン、**中サイズのブラシを使用する**ボタン、または**大サイズのブラシを使用する**ボタンをクリックしてください。

▶ マウスポインタは円形に変わります。

4. 口腔内撮影画像の着色したいエリアにマウスポインタを合わせてください。

5. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
6. 着色したいエリアにマウスポインタを移動してください。
7. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo マーキングされたエリアを青で表示します。
8. 必要に応じて、口腔内撮影画像の他の領域にマスクをかけるために、この手順を繰り返します。
9. 青でマーキングされたエリアを削除するには、**消しゴムを使います**ボタンをクリックしてください。
 - ▶ マウスポインタは消しゴムに変わります。
10. 削除したい、青でマーキングされたエリアをマウスの左ボタンでクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo 口腔内撮影画像からマーキングされたエリアを削除します。
11. 行われたすべてのマーキングを削除するには、**マスクをリセットする**ボタンをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo 口腔内撮影画像から青でマーキングされたエリアを削除します。
12. 行われた変更を適用するには、**口腔内撮影画像を登録する**エリアで、**編集を完了する**ボタンをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo **3D投影**ビューのマスクされたエリアを表示します。
 - ▶ SICAT Endo マスキングされたエリアを自動登録の際に除外します。



マスクを編集するボタンを再び非表示にするには、**口腔内撮影画像を登録する**エリアの**詳細オプション**を非表示にするボタンをクリックしてください。

28 ENDOLINEウィザード

EndoLineウィザードは、診断と治療計画のための機能を提供します。

EndoLineウィザードを使用する前に、次の作業をオプションとして実行できます。

- 口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます [▶ ページ 124 - SIDEXIS 4]。
- 口腔内撮影画像を登録する [▶ ページ 131 - SIDEXIS 4]
- 治療計画のための歯を選択する [▶ ページ 148 - SIDEXIS 4]

EndoLineウィザードでは、交差線を用いて治療を行いたいエリアを指定することができます。このエリアには、EndoLinesを根管に配置することができます。

EndoLinesは、治療する根管のマーキングおよび歯根尖部を見つけるために使用できる測定線です。EndoLinesは、ドリル穴の計画と配置のための基礎として役立ちます。

EndoLinesを表示するために、SICAT Endoは様々なビューを使用します。これに関する情報は、*EndoLineウィザードの中のビュー* [▶ ページ 140 - SIDEXIS 4]をご参照ください。

SICAT Endo 計画の際に作成されるすべてのオブジェクトを選択された歯に割り当てます。これらのオブジェクトは、EndoLineまたはドリル穴である場合があります。これらのオブジェクトは、**パノラマワークスペース**と**口腔内撮影画像ワークスペース**に表示し、**オブジェクトブラウザ**で管理・加工することができます。

作成されたオブジェクトを表示するには、SICAT Endoにおいて、ワークスペースにおいて様々なビューおよびビューのコンパイルが利用できます。これに関する情報は、*ワークスペース* [▶ ページ 70 - SIDEXIS 4]をご参照ください。

EndoLineウィザードは、次のステップで構成されます。

- 歯の領域をブリアラインメントする [▶ ページ 149 - SIDEXIS 4]
- EndoLinesをセットする [▶ ページ 151 - SIDEXIS 4]
- ドリル穴を計画する [▶ ページ 161 - SIDEXIS 4]

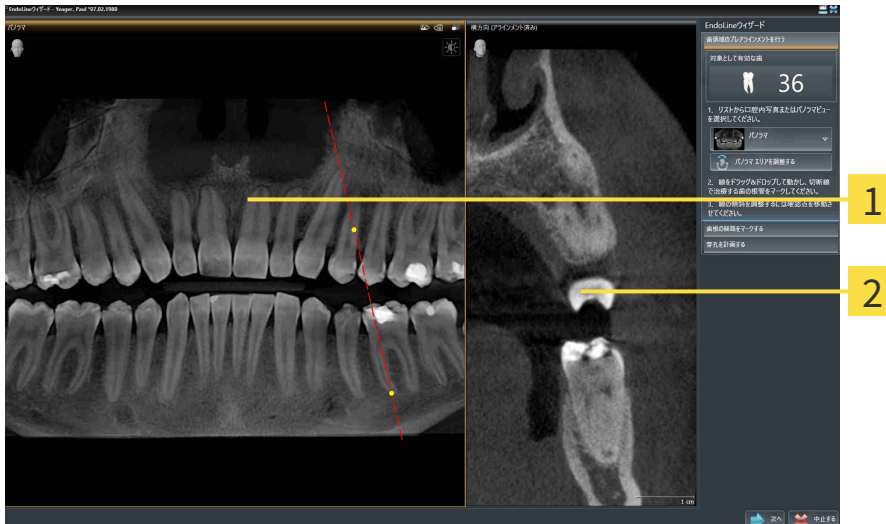
28.1 ENDOLINEウィザードの中のビュー

EndoLineウィザードには、ステップごとに様々なビューをご利用いただけます。

ビューのカスタマイズに関する一般的な情報は、[ビューの調整](#) [▶ ページ 78 - SIDEXIS 4]および[3Dビューの調整](#) [▶ ページ 91 - SIDEXIS 4]をご参照ください。

ステップ「歯の領域のプリアラインメント」

ステップ歯の領域をプリアラインメントするには、次のビューが用意されています。



1 パノラマ-ビューまたは口腔内撮影画像ビュー

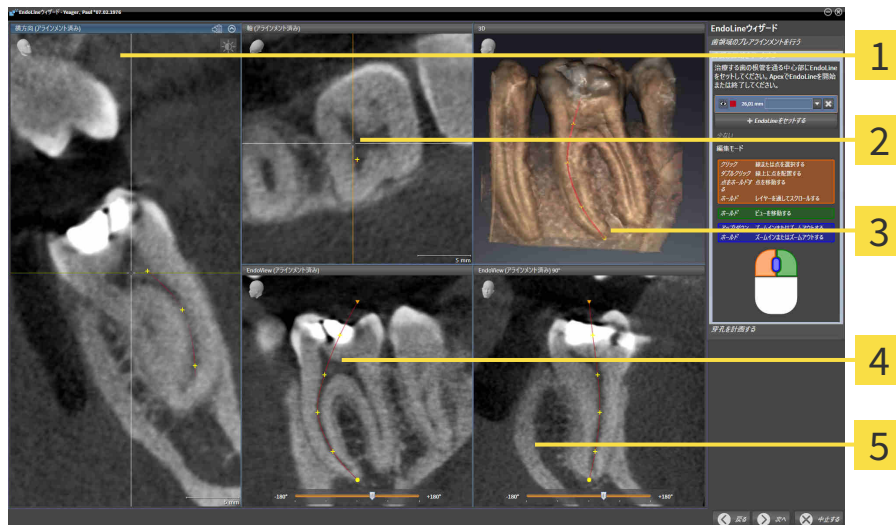
2 ビュー 横断(アラインメント済み)

パノラマビューまたは口腔内撮影画像ビューでは、交差線を用いて治療を行う根管のビューをプリアラインメントすることができます。口腔内撮影画像ビューは、有効にされた歯に少なくとも1つの口腔内撮影画像を登録している場合にのみ使用可能です。有効にされた歯の選択に関する一般的な情報は、[治療計画のための歯を選択する](#) [▶ ページ 148 - SIDEXIS 4]をご参照ください。

横断(アラインメント済み)ビューでは、パノラマビューまたは口腔内撮影画像ビューでマーキングされた歯が側面から、および設定された交差線にアラインメントされる形で表示されます。

ENDOLINESをセットする

ステップEndoLinesをセットするには、次のビューが用意されています。



1 ビュー 横断 (アラインメント済み)

4 ビュー EndoView (アラインメント済み)

2 ビュー 軸方向 (アラインメント済み)

5 ビュー EndoView (アラインメント済み)
90°

3 3D-ビュー

ステップEndoLinesをセットするの横断 (アラインメント済み)ビューは、ステップ歯の領域をブリアラインメントするの横断 (アラインメント済み)ビューに相当します。ここでは、ステップ歯の領域をブリアラインメントするでマーキングされた歯が対角に外側から内側に向けて、そして交差線とアラインメントされた形で表示されます。

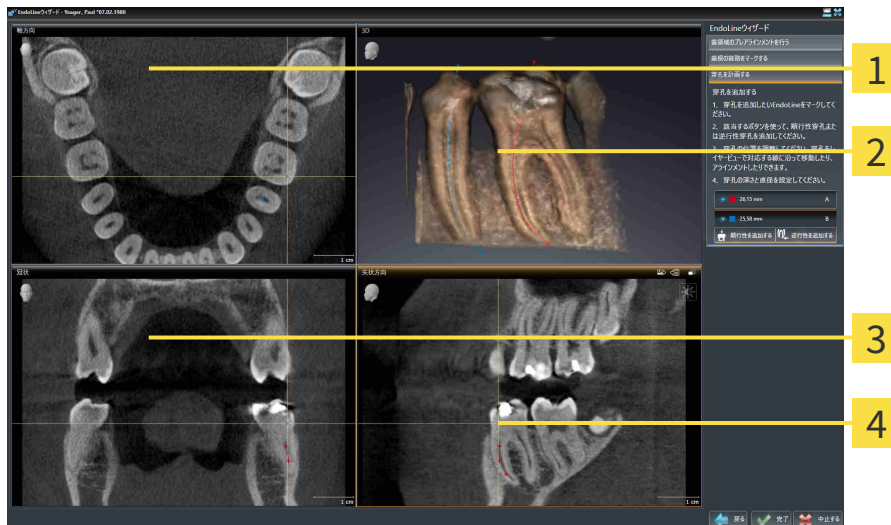
軸方向 (アラインメント済み)ビューは、ステップ歯の領域をブリアラインメントするにおいてマーキングされ、設定した交差線に対してアラインメントされた歯を上から見たところを表示します。

3Dビューは、3D X線撮影画像のEndoLineを表示します。3Dビューの調整に関する情報は、[3Dビューの調整](#) [▶ ページ 91 - SIDEXIS 4]をご参照ください。

EndoView (アラインメント済み)は、EndoLineに対してアラインメントされたビューで、選択されたEndoLineを2D面に投影して表示します。EndoView (アラインメント済み) 90°とは、90度回転されたEndoView (アラインメント済み)のことです。2つのビューは、すでにEndoLineが設定されている場合のみ表示されます。EndoViewに関する情報は、[EndoView](#) [▶ ページ 145 - SIDEXIS 4]をご参照ください。

ステップ「ドリル穴の計画」

ステップドリル穴を計画するには、次のビューが用意されています。



1 軸方向-ビュー

3 冠状-ビュー

2 3D-ビュー

4 矢状方向-ビュー

軸方向ビューは、上からのEndoLine表示します。

3Dビューは、3D X線撮影画像のEndoLineを表示します。3Dビューの調整に関する情報は、[3Dビューの調整](#) [▶ ページ 91 - SIDEXIS 4]をご参照ください。

冠状ビューは、前からのEndoLineを表示します。

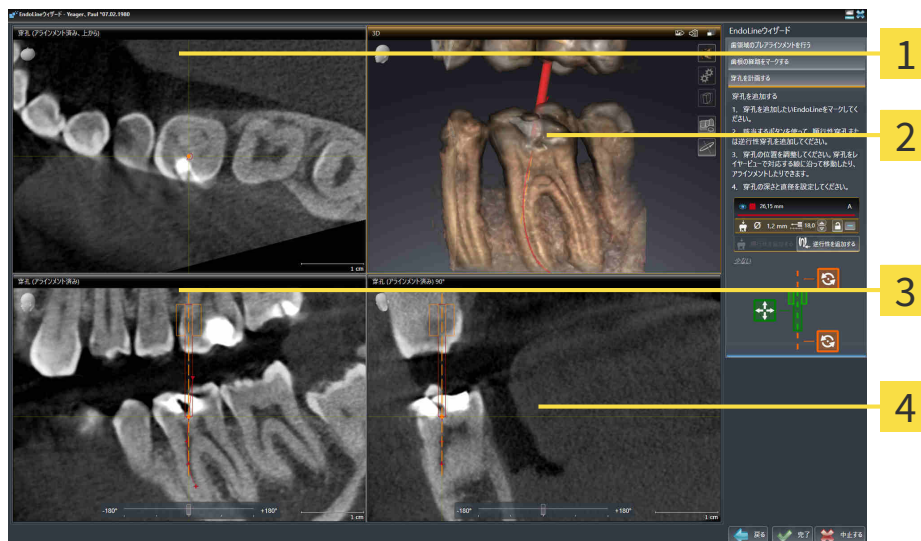
矢状方向ビューは、右からのEndoLineを表示します。



まだドリル穴が計画されていない場合、SICAT Endoは、ステップドリル穴を計画するが開かれる際、EndoLineウィザードにおいて、**軸方向ビュー**、**3Dビュー**、**冠状ビュー**および**矢状方向ビュー**を表示します。

オーソグレートドリル穴の計画におけるビュー

オーソグレートドリル穴を計画する際には、次のビューが用意されています。



1 ビュー ドリル穴 (アラインメント済み、上から)

2 3D-ビュー

3 ビュー ドリル穴 (アラインメント済み)

4 ビュー ドリル穴 (アラインメント済み) 90°

ドリル穴 (アラインメント済み、上から)ビューは、EndoLineにアラインメントされたドリル穴を上から表示します。

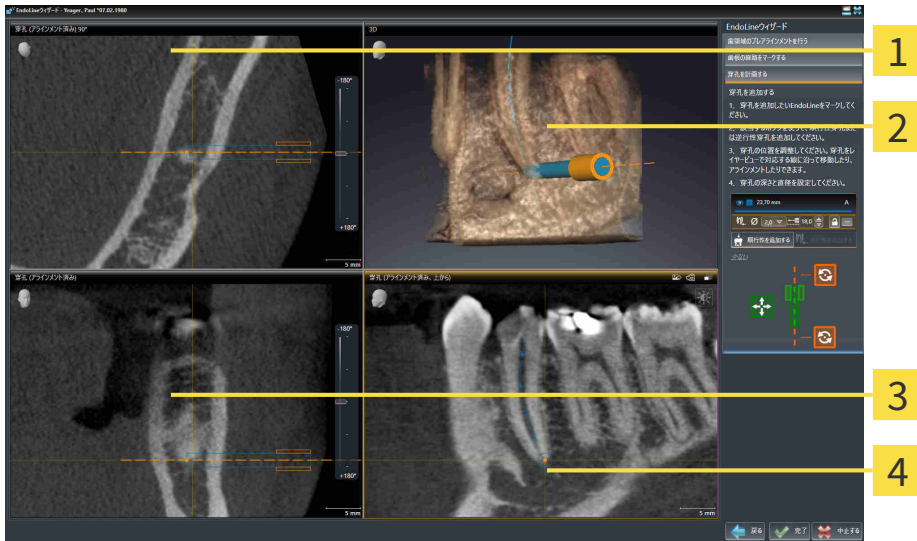
3Dビューは、3D X線撮影画像で設定されたドリル穴を表示します。3Dビューの調整に関する情報は、[3Dビューの調整](#) [▶ ページ 91 - SIDEXIS 4]をご参照ください。

ドリル穴 (アラインメント済み)ビューは、EndoLineにアラインメントされたドリル穴を前から表示します。

ドリル穴 (アラインメント済み) 90°ビューは、EndoLineにアラインメントされたドリル穴を側面から表示します。

レトログレードドリル穴の計画におけるビュー

レトログレードドリル穴を計画する際には、次のビューが用意されています。



1 ビュー ドリル穴 (アラインメント済み) 90° **3** ビュー ドリル穴 (アラインメント済み)

2 3D-ビュー

4 ビュー ドリル穴 (アラインメント済み、上から)

ドリル穴 (アラインメント済み) 90°ビューは、EndoLineにアラインメントされたドリル穴を側面から表示します。

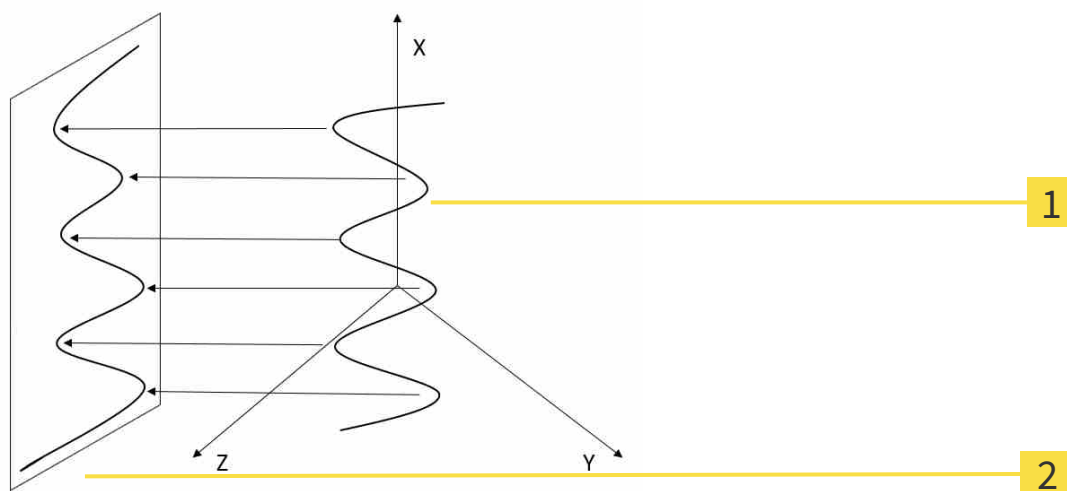
3Dビューは、3D X線撮影画像で設定されたドリル穴を表示します。**3Dビュー**の調整に関する情報は、**3Dビューの調整** [▶ ページ 91 - *SIDEXIS 4*]をご参照ください。

ドリル穴 (アラインメント済み)ビューは、EndoLineにアラインメントされたドリル穴を前から表示します。

ドリル穴 (アラインメント済み、上から)ビューは、EndoLineにアラインメントされたドリル穴を上から表示します。

28.1.1 ENDOVIEW

SICAT EndoのEndoViewは、ソフトウェアが3D撮影の湾曲したEndoLineを2D面に投影して表示することで、患者における歯の複雑な構造をビジュアル化します。この技術は、Curved Planar Reformation(曲面多断面再構成、CPR)と呼ばれています。これにより、湾曲した構造を展開して表示することが可能となります。



1 3D撮影画像

2 2D面

EndoLineを2D面に表示することで、実際の歯の構造を詳細に確認することができ、異常を容易に識別することができます。同時に、EndoViewは、診断の精度を向上し、患者固有の治療計画の作成を容易にします。

28.1.2 ENDOVIEWを回転する

EndoViewに関する一般的な情報は、*EndoView* [▶ ページ 145 - *SIDEXIS 4*]をご参照ください。

EndoView (アラインメント済み)ビューおよび**EndoView (アラインメント済み) 90°**ビューでは、画像の一部を回転させるためにスライダを使用することができます。

- ☑ **EndoLines**をセットする手順はすでに開いています。これに関する情報は、*EndoLines*をセットする [▶ ページ 151 - *SIDEXIS 4*]をご参照ください。
- ☑ 少なくとも1つのEndoLineが設定されています。
- ☑ EndoLineが選択されました。

1. 希望するビューをクリックして、**EndoView (アラインメント済み)**ビュー**EndoView (アラインメント済み) 90°**ビューを有効にしてください。

▶ SICAT Endo はビューを有効にします。



2. マウスポインタをのスライダーに合わせてください。
3. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
4. 希望する位置にスライダーを移動させます。
5. マウスのボタンを放してください。

▶ SICAT Endo は画像の一部を回転させます。

▶ SICAT Endo **EndoView (アラインメント済み)**ビューおよび**EndoView (アラインメント済み) 90°**ビューを調整します。



それに代わる方法として、**EndoView (アラインメント済み)**または**EndoView (アラインメント済み) 90°**の任意の箇所をクリックすることで画像の一部を回転させることができます。マウスの左ボタン押し続け、画像の一部を希望する方向へ回転させます。



スライダーの範囲は、-180度から+180度の範囲で、90度ステップに分割されています。スライダーを使用して、ビューの回転角度を調整することができます。

28.2 治療計画のための歯を選択する

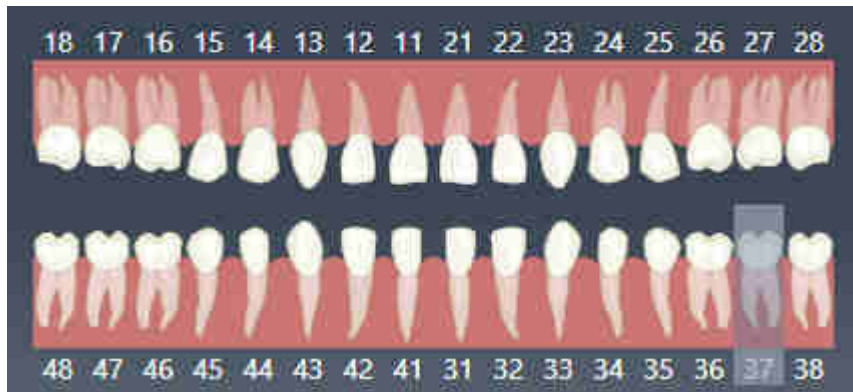
EndoLinesおよびドリル穴を計画するためには、治療を行う歯を選択する必要があります。

- ☑ 口腔内撮影画像ワークスペースまたはパノラマワークスペースを開きました。これに関する情報は、ワークスペース [▶ ページ 70 - SIDEXIS 4] をご参照ください。



1. オブジェクトバーにおいて**有効な歯**のエリアにマウスポインタを合わせてください。

▶ **歯の番号** のウィンドウが開きます。



2. 治療したい歯にマウスポインタを移動してください。

▶ SICAT Endo 歯の番号を強調表示します。

3. ハイライトされた歯を選択するには、マウスの左ボタンで歯をクリックしてください。

▶ SICAT Endo 歯を青でマーキングします。

▶ SICAT Endo **オブジェクトバーの有効な歯**において歯の番号を表示します。

4. **歯の番号**ウィンドウを閉じるには、マウスポインタを**有効な歯**のエリアの外へ移動させてください。

▶ SICAT Endo は**歯の番号**ウインドウを閉じます。

28.3 歯の領域をプリアラインメントする

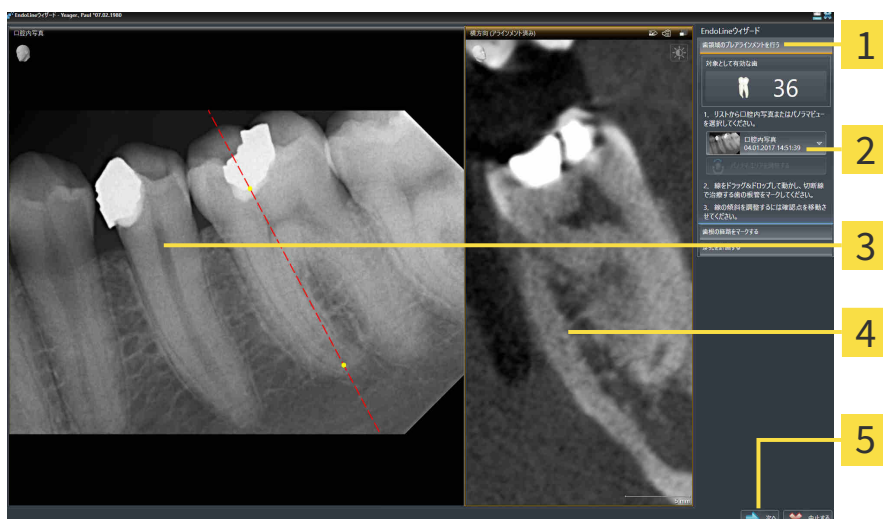
EndoLineウィザードに関する一般的な情報は、*EndoLineウィザード* [▶ ページ 139 - SIDEXIS 4] をご参照ください。

ステップ**歯の領域をプリアラインメントする**では、交差線を用いて、治療を行う歯と歯根が良く見えるようにビューを調整できます。

- ☑ 口腔内撮影画像ワークスペースまたはパノラマワークスペースにおいて、**歯の番号スキーム**で、**オブジェクトバー**の治療する歯を選択済みです。これに関する情報は、*治療計画のための歯を選択する* [▶ ページ 148 - SIDEXIS 4]をご参照ください。
- ☑ ワークフロー・ステップの**診断する**は、展開させておきます。これに関する情報は、*ワークフローのツールバー* [▶ ページ 58 - SIDEXIS 4]をご参照ください。



1. EndoLineおよびドリル穴を利用して歯根治療を計画するのアイコンをクリックしてください。
 - ▶ **歯の領域をプリアラインメントする**のステップが開きます。



- | | |
|--|---|
| <p>1 エリア 歯の領域をプリアラインメントする</p> <p>2 パノラマビューおよび口腔内撮影画像の一覧</p> <p>3 パノラマ-ビューまたは口腔内撮影画像ビュー</p> | <p>4 ビュー 横断 (アラインメント済み)</p> <p>5 ボタン 次へ</p> |
|--|---|

2. **歯の領域をプリアラインメントする**エリアにおいて、一覧から口腔内撮影画像またはパノラマを選択してください。
 - ▶ SICAT Endo 口腔内撮影画像ビューまたはパノラマビューにおいて交差線を2つの黄色の確認箇所を表示します。



3. 交差線を移動させるには、交差線にマウスポインタを合わせてください。
 - ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。

5. 希望する位置に交差線を移動します。
6. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo は交差線の現在の位置を維持します。
 - ▶ SICAT Endo 交差線の変更された位置の**横断 (アラインメント済み)**ビューを表示します。
7. 交差線を回転させるには、2つの黄色の確認箇所の1つにカーソルを合わせてください。
 - ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
8. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
9. 交差線を希望する方向に回してください。
10. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo 交差線の現在の回転位置を維持します。
 - ▶ SICAT Endo 交差線の変更された位置の**横断 (アラインメント済み)**ビューを表示します。
11. **次へ**をクリックします。
 - ▶ SICAT Endo はビューの調整を適用します。
 - ▶ ステップ**EndoLinesをセットする**が開きます。

*EndoLines*をセットする [▶ ページ 151 - *SIDEXIS 4*]を継続してください。



プリアライメントのために、口腔内撮影画像とパノラマビューの間から選択するためには、選択された歯に少なくとも1つの口腔内撮影画像を登録されている必要があります。



パノラマエリアは、**パノラマエリアを調整する**アイコンをクリックして調整することができます。これに関する情報は、**パノラマエリアを調整する** [▶ ページ 106 - *SIDEXIS 4*]をご参照ください。

28.4 ENDOLINESをセットする



注意

測定と計画オブジェクトの表示に3Dビューを使用すると、間違っただ診断と治療につながるおそれがあります。

3Dビューは方向合わせおよび追加の情報源としてのみ使用してください。

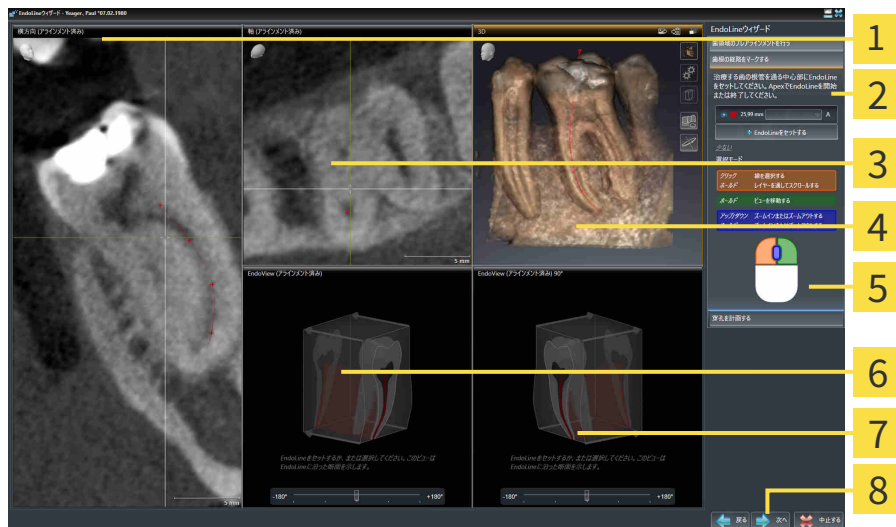
EndoLineウィザードに関する一般情報は、*EndoLine*ウィザード [▶ ページ 139 - *SIDEXIS 4*]をご参照ください。

ステップ**EndoLinesをセットする**では、アラインメントされたビューにおいてEndoLineを用いて根管をマーキングすることができます。

SICAT Endo EndoLineを挿入する際に、始点と終点をマーキングし、始点は三角形で、終点は丸でそれぞれ表示します。

点の順序は、事前に選択された歯の番号と患者の顎における歯の位置に依存します。上顎では、始点は終点の下方に位置し、下顎では始点が終点の上に位置します。

- ☑ ステップ**歯の領域をプリアラインメントする**が完了しました。これに関する情報は、**歯の領域をプリアラインメントする** [▶ ページ 149 - *SIDEXIS 4*]をご参照ください。
- ☑ ステップ**EndoLinesをセットする**はすでに開いています。



1 ビュー 横断(アラインメント済み)

5 インフォグラフィック

2 エリア EndoLinesをセットする

6 EndoView (アラインメント済み)

3 ビュー 軸方向(アラインメント済み)

7 EndoView (アラインメント済み) 90°

4 3D-ビュー

8 ボタン 次へ



1. **EndoLinesをセットする**のエリアで、**EndoLineをセットする**のボタンをクリックしてください。

- ▶ SICAT Endo **横断(アラインメント済み)**ビューおよび**軸方向(アラインメント済み)**ビューを強調表示します。

- ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
- 2. **横断(アラインメント済み)**ビューまたは**軸方向(アラインメント済み)**ビューにマウスポインタを合わせます。
- 3. 歯尖部または始点を、マウスの左ボタンでクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo 確認箇所を設定します。
- 4. 歯根の経路をマーキングするためにさらなる確認箇所を追加してください。これには、根管に沿ってさらなる箇所をマウスの左ボタンでクリックしてください。
- 5. 根管のマーキングを完了するためには、歯尖部または始点をダブルクリックします。
 - ▶ SICAT Endo 確認箇所を設定します。
 - ▶ SICAT Endo すべての確認箇所ならびにそれらをつなぐ線をEndoLineとして表示します。
 - ▶ SICAT Endo EndoView (アラインメント済み)ビューおよびEndoView (アラインメント済み) 90°をEndoLineに合わせてアラインメントします。
- 6. 必要に応じて、これらの手順を繰り返し、さらに根管をマーキングしてください。
- 7. 設定されたEndoLinesを**EndoView (アラインメント済み)**ビューまたは**EndoView (アラインメント済み) 90°**ビューで確認してください。
- 8. 次へをクリックします。

- ▶ **ドリル穴を計画する**のステップが開きます。

ドリル穴を計画する [▶ ページ 161 - SIDEXIS 4]を継続してください。

EndoLineの説明や位置の色やテキストは編集することができます。これに関する情報は、色とテキストを調整する [▶ ページ 154 - SIDEXIS 4]をご参照ください。

確認箇所を移動、追加または削除することで、EndoLineを編集することができます。これに関する情報は、確認箇所を追加、移動および削除する [▶ ページ 155 - SIDEXIS 4]をご参照ください。

3Dビューでは、回転モードを使用することができます。これに関する情報は、3Dビューを回転する [▶ ページ 158 - SIDEXIS 4]をご参照ください。

3Dビューでは、光学印象のインポートおよび登録が行えます。これに関する情報は、光学印象を3Dビューで表示する [▶ ページ 159 - SIDEXIS 4]をご参照ください。

EndoLineを挿入する際、マウスボタンを用いて様々な機能を使用することができます。これに関する情報は、マウスボタンを使用する [▶ ページ 160 - SIDEXIS 4]をご参照ください。



EndoLineを選択するには、アラインメントされたビューにおいてマウスの左ボタンでラインをクリックするか、または**EndoLinesをセットする**のエリアでの選択を行います。



EndoLineを削除するには、**EndoLinesをセットする**エリアでEndoLineをマーキングし、選択されたEndoLineの行の端にある**EndoLineを削除する**ボタンをクリックしてください。



EndoView (アラインメント済み)または**EndoView (アラインメント済み) 90°**の表示を調整するには、これらのビューのスライダーを使用してください。スライダーを用いて、ビューを左または右に任意の角度で回転することができます。

28.5 色とテキストを調整する

色を調整する

EndoLineの色を変更するには、次の手順に従って行ってください。

1. EndoLineの行にある**色を変更する**ボタンをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo EndoLineの色を変更します。
2. 色が希望の色と一致しない場合は、SICAT Endoが希望の色になるまで、**色を変更する**ボタンを引き続きクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo EndoLineの新しい色を表示します。

説明または位置情報のテキストを調整する

EndoLineの説明または位置情報のテキストを変更するには、次の手順に従って行ってください。

1. EndoLineの説明を入力するには、Endolineの行の**説明/位置**フィールドをクリックしてください。
 - ▶ マウスポインタは、入力位置で点滅します。
2. 希望するEndoLineの説明を入力してください。
 - ▶ SICAT Endo 説明を表示します。
3. EndoLineの位置情報テキストを選択するには、Endolineの行において**説明/位置**フィールドの矢印アイコンをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo 位置情報の一覧を表示します。
4. リストの中で希望する位置情報をクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo **説明/位置**フィールドに位置情報を表示します。
5. 変更を適用し、**説明/位置**フィールドを閉じるには、**説明/位置**フィールドの外側をマウスの左ボタンでクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo 新しい説明または位置情報を表示します。

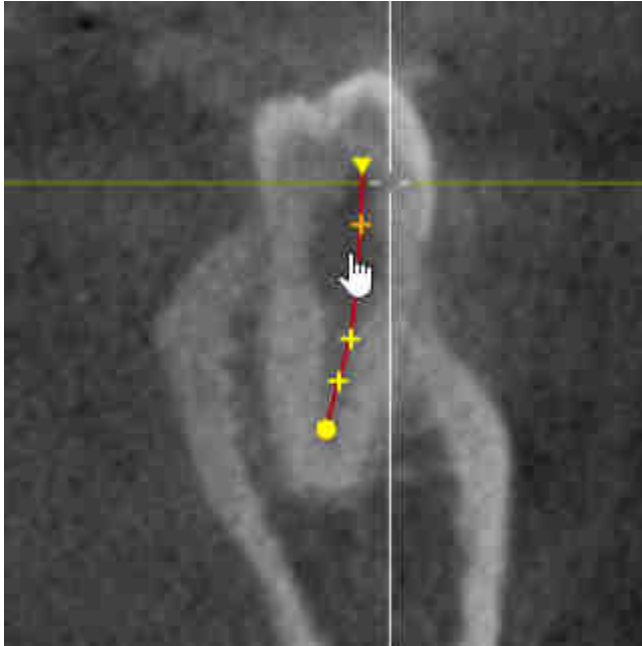


28.6 確認箇所を追加、移動および削除する

ENDOLINEに確認箇所を追加する

EndoLineに確認箇所を追加するには、次の手順に従って行ってください。

1. 確認箇所を追加したいEndoLineの位置にマウスポインタを合わせてください。



▶ マウスポインタの形が切り替わります。

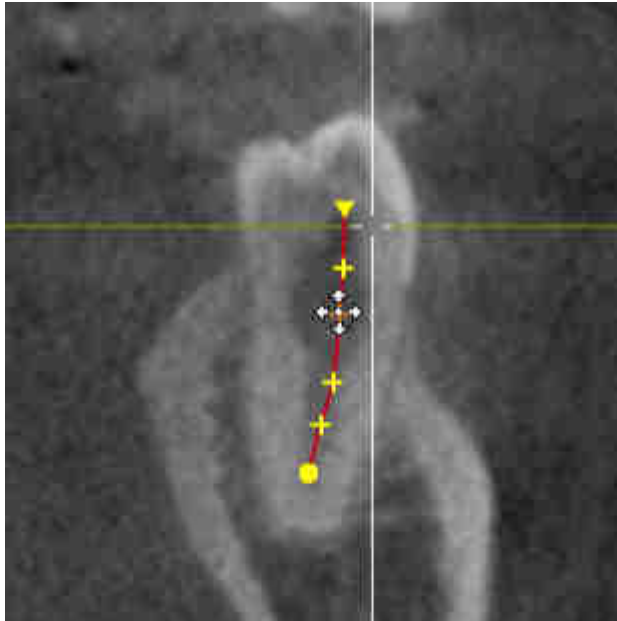
2. そこ位置をダブルクリックしてください。

▶ SICAT Endo 十字の形で確認箇所を追加します。

ENDOLINEを確認箇所を移動する

EndoLineの確認箇所を移動するには、次の手順に従って行ってください。

1. 移動したいEndoLineの確認箇所にマウスポインタを合わせてください。

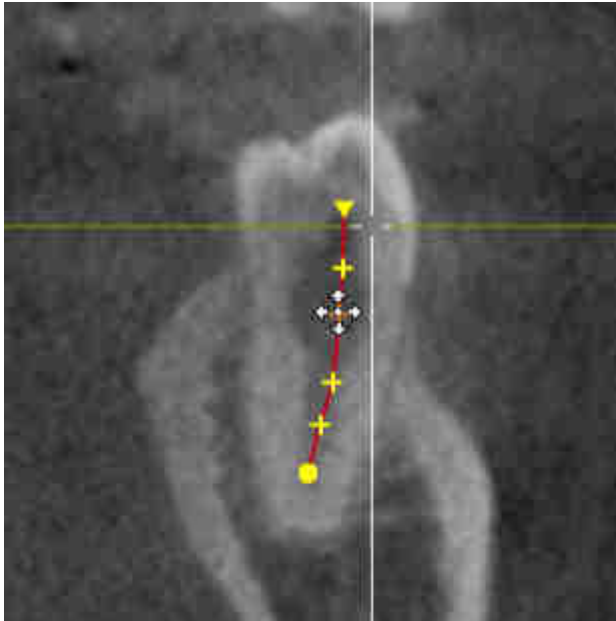


- ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
3. マウスを動かします。
 - ▶ 確認箇所はマウスポインタの動きを追従します。
 - ▶ SICAT Endo 確認箇所の新しい位置に応じてEndoLineを調整します。
4. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo 確認箇所の現在位置を維持します。
 - ▶ SICAT Endo EndoLineの新しい経路を表示します。

ENDOLINEから確認箇所を削除する

EndoLineから確認箇所を削除するには、次の手順に従って行ってください。

1. 削除したいEndoLineの確認箇所にマウスポインタを合わせてください。



- ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
2. マウスの左ボタンで確認箇所をクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo 確認箇所をマーキングします。
3. **Del**ボタンを押します。
 - ▶ SICAT Endo 確認箇所を削除します。
 - ▶ SICAT Endo EndoLineを必要に応じて調整します。



最後から2番目の確認箇所を削除すると、EndoLineが完全に削除されますのでご注意ください。

28.7 3Dビューを回転する

3Dビューに関する一般的な情報は、*3Dビューの調整* [▶ ページ 91 - SIDEXIS 4]をご参照ください。

3Dビューを回転する機能によって、EndoLineウィザードにおいて3D X線撮影画像の回転モードをオンまたはオフにすることができます。回転モードがオンになっている場合は、SICAT Endoは、3D X線撮影画像を時計回りに回転します。

回転モードを使用するには、次の手順に従って操作を行ってください。

☑ **3Dビュー**はすでに有効になっています。これに関する情報は、*ビュー* [▶ ページ 77 - SIDEXIS 4]をご参照ください。

1. 希望する画像部分が表示されるように、3D X線撮影画像の表示を調整してください。
2. 希望する表示タイプが選択されていることを確認してください。これに関する情報は、*3Dビューの表示タイプを切り替える* [▶ ページ 94 - SIDEXIS 4]をご参照ください。
3. 希望する切り取りモードが選択されていることを確認してください。これに関する情報は、*3Dビューの切り抜きモードの切り替え* [▶ ページ 97 - SIDEXIS 4]をご参照ください。



4. **3Dビューを回転する**のボタンをクリックしてください。
▶ SICAT Endo 選択された画像部分の縦軸において3D X線撮影画像を反転させます。
5. 回転モードを終了するには、**3Dビューを回転する**ボタンを再度クリックしてください。
▶ SICAT Endo 3D X線撮影画像の回転を終了します。



3Dビューの任意の箇所をクリックして、回転モードを終了させることもできます。

28.8 光学印象を3Dビューで表示する

3Dビューに関する一般的な情報は、*3Dビューの調整* [▶ ページ 91 - SIDEXIS 4]をご参照ください。

既に光学印象をインポートおよび登録している場合には、3DビューのEndoLineウィザードで、光学印象の非表示・表示を切り替えられます。

光学印象の表示・非表示を切り替えるには、次の手順に従って行ってください。

- ☑ 3Dビューはすでに有効になっています。これに関する情報は、*ビュー* [▶ ページ 77 - SIDEXIS 4]をご参照ください。
- ☑ 少なくとも1つの光学印象をすでにインポート・登録済みです。これに関する情報は、*光学印象をインポートし記録する* [▶ ページ 111 - SIDEXIS 4]をご参照ください。



1. 光学印象を表示するには、**オブジェクトを表示する**ボタンをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo 光学印象を表示します。
 - ▶ SICAT Endo 3D X線撮影画像の表示を更新します。



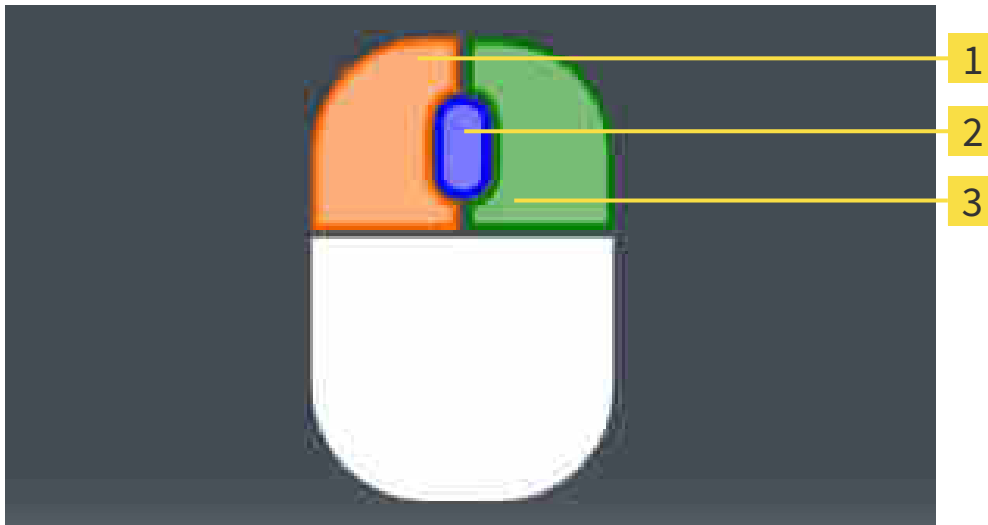
2. 光学印象を非表示にするには、**オブジェクトを非表示にする**ボタンをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo 光学印象を非表示にします。
 - ▶ SICAT Endo 3D X線撮影画像の表示を更新します。



光学印象をまだインポート・登録していない場合は、SICAT Endoは、**オブジェクトを表示する**ボタンを3Dビューに表示しません。

28.9 マウスボタンを使用する

SICAT Endo EndoLine設定時のマウスボタンの使用方法を説明する画像を表示します。



1 マウスの左ボタン

3 マウスの右ボタン

2 マウスホイール

マウスボタンを有効にすると、SICAT Endoがグラフィック内のマウスボタンを強調表示します。マウスボタンにリンクされている操作は、操作モードによって異なります。

SICAT Endo 次の操作モードがあります。

- 作成
- 編集
- 選択

操作モードによって、様々な操作が利用できます。利用可能な操作は、グラフィック上部にテーブルとして表示され、それぞれ対応するマウスボタンの色が付けられています。

グラフィックは、必要に応じて表示・非表示することができます。

28.10 ドリル穴を計画する



ドリル深さが間違っていると、間違った治療につながるおそれがあります。

計画されたドリル深さと、選択されたドリルが対応していることを確認してください。

EndoLineウィザードに関する一般情報は、*EndoLineウィザード* [▶ ページ 139 - SIDEXIS 4]をご参照ください。

ステップドリル穴を計画するでは、オーソグレートおよびレトログレートドリル穴をEndoLineに追加・編集することができます。Pro EndoLineには、オーソグレートおよびレトログレートドリル穴をそれぞれ追加することができます。ドリル穴には、常にそれに対応するEndoLineと同じ色が付けられています。

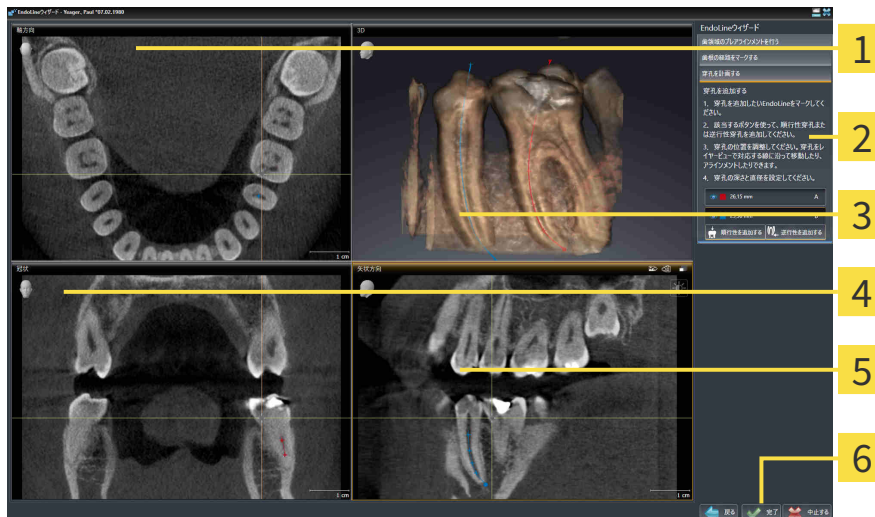
ステップ「ドリル穴を計画する」を開く

ステップEndoLinesをセットするが完了しました。これに関する情報は、*EndoLinesをセットする* [▶ ページ 151 - SIDEXIS 4]をご参照ください。

ステップEndoLinesをセットするは開いています。

- ステップ **EndoLinesをセットする** で、次へボタンをクリックしてください。

▶ **ドリル穴を計画する**のステップが開きます。



1 軸方向-ビュー

4 冠状-ビュー

2 エリアドリル穴を追加する

5 矢状方向-ビュー

3 3D-ビュー

6 ボタン 完了

オーソグレードドリル穴を計画する

1. **ドリル穴を追加するエリア**において、オーソグレードドリル穴を追加したいEndoLineを選択してください。

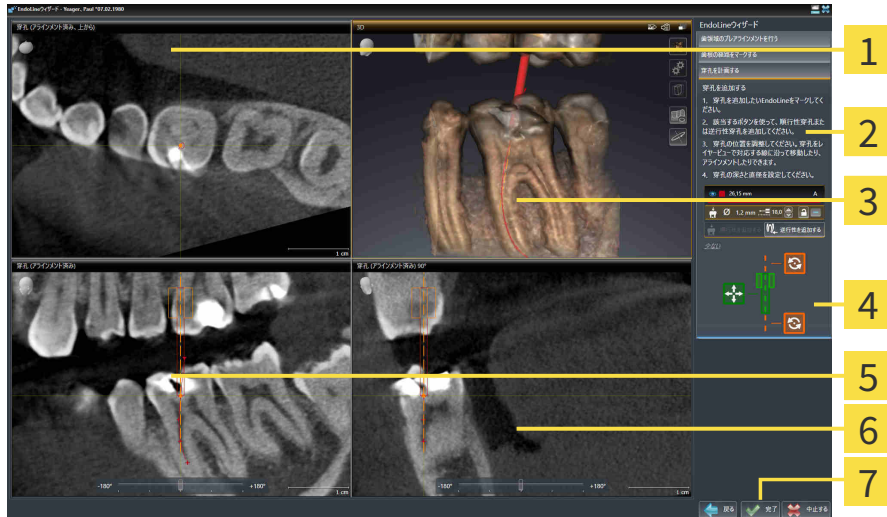
▶ SICAT Endo EndoLineをマーキングします。



2. **オーソグレードを追加する**のボタンをクリックしてください。

▶ SICAT Endo マーキングされたEndoLineにオーソグレードドリル穴を追加します。

▶ SICAT Endo 次のようにビューを調整します。



1 ビュー ドリル穴 (アラインメント済み、上から)

5 ビュー ドリル穴 (アラインメント済み)

2 エリア ドリル穴を追加する

6 ビュー ドリル穴 (アラインメント済み) 90°

3 3D-ビュー

7 ボタン 完了

4 インフォグラフィック



3. EndLineに沿ったドリル穴の位置を調整するには、**ドリル穴 (アラインメント済み)**ビューまたは**ドリル穴 (アラインメント済み) 90°**ビューにおいて、マウスポインタをドリル穴に合わせてください。

▶ マウスポインタの形が切り替わります。

4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。

5. 希望する位置にドリル穴を移動させてください。

6. マウスの左ボタンを放してください。

▶ SICAT Endo ドリル穴の現在位置を維持します。

▶ SICAT Endo ドリルチャンネルの変更された位置の他のビューを調整します。



7. ドリル穴の回転を調整するには、**ドリル穴 (アラインメント済み)**ビューまたは**ドリル穴 (アラインメント済み) 90°**ビューにおいて、マウスポインタをドリル穴以外で EndoLine に合わせてください。

- ▶ マウスポインタの形が切り替わります。

8. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。

9. EndoLine とドリル穴を希望する方向に回してください。

10. マウスの左ボタンを放してください。

- ▶ SICAT Endo EndoLine とドリル穴の現在の回転位置を維持します。

- ▶ SICAT Endo ドリルチャンネルの変更された位置の他のビューを調整します。



11. 必要に応じて、フィールド**深さ [mm]**の後ろの矢印キーをクリックし、ドリルスリーブの位置を調整することができます。

- ▶ SICAT Endo ドリルスリーブの新しい深さを示します。

12. ドリル穴の計画を完了するには、**完了**ボタンをクリックしてください。

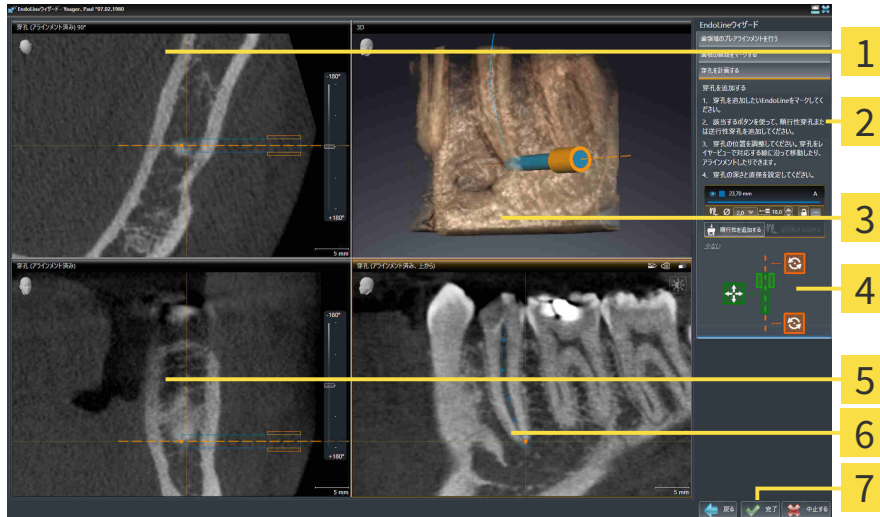
- ▶ EndoLine ウィザードが閉じます。

- ▶ **口腔内撮影画像**ワークスペースが開きます。

- ▶ SICAT Endo 計画されたドリル穴を表示します。

レトログレードドリル穴を計画する

1. **ドリル穴を追加するエリア**において、レトログレードドリル穴を追加したいEndoLineを選択してください。
 - ▶ SICAT Endo EndoLineをマーキングします。
2. **レトログレードを追加する**のボタンをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo マーキングされたEndoLineにレトログレードドリル穴を追加します。
 - ▶ SICAT Endo 次のようにビューを調整します。



- | | |
|--|--|
| <p>1 ビュー ドリル穴 (アラインメント済み) 90°</p> <p>2 エリア ドリル穴を追加する</p> <p>3 3D-ビュー</p> <p>4 インフォグラフィック</p> | <p>5 ビュー ドリル穴 (アラインメント済み)</p> <p>6 ビュー ドリル穴 (アラインメント済み、上から)</p> <p>7 ボタン 完了</p> |
|--|--|



3. EndLineに沿ったドリル穴の位置を調整するには、**ドリル穴 (アラインメント済み)**ビューまたは**ドリル穴 (アラインメント済み) 90°**ビューにおいて、マウスポインタをドリル穴に合わせてください。
 - ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
5. 希望する位置にドリル穴を移動させてください。
6. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo ドリル穴の現在位置を維持します。
 - ▶ SICAT Endo ドリルチャンネルの変更された位置の他のビューを調整します。



7. ドリル穴の回転を調整するには、**ドリル穴 (アラインメント済み)**ビューまたは**ドリル穴 (アラインメント済み) 90°**ビューにおいて、マウスポインタをドリル穴以外で EndoLine に合わせてください。

▶ マウスポインタの形が切り替わります。

8. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。

9. EndoLine とドリル穴を希望する方向に回してください。

10. マウスの左ボタンを放してください。

▶ SICAT Endo EndoLine とドリル穴の現在の回転位置を維持します。

▶ SICAT Endo ドリルチャンネルの変更された位置の他のビューを調整します。



11. 必要に応じて、フィールド **深さ [mm]** の後ろの矢印キーをクリックし、ドリルスリーブの位置を調整することができます。

▶ SICAT Endo ドリルスリーブの新しい深さを示します。



12. 必要に応じて、**直径 [mm]** フィールドの後ろの矢印アイコンをクリックし、レトログレードドリル穴の直径を調整することができます。

▶ SICAT Endo 利用可能な直径の一覧を表示します。

13. 希望する直径をクリックしてください。

▶ SICAT Endo ドリル穴の新しい直径を表示します。

14. ドリル穴の計画を完了するには、**完了**ボタンをクリックしてください。

▶ EndoLine ウィザードが閉じます。

▶ **口腔内撮影画像**ワークスペースが開きます。

▶ SICAT Endo 計画されたドリル穴を表示します。

ドリル穴をロックする

ドリル穴を変更から保護するために、この機能を使用してください。

ドリル穴をロックするには、次の手順に従って行ってください。

ドリル穴はすでにマーキングされています。



▪ **オブジェクトをロックする**のアイコンをクリックしてください。

▶ SICAT Endo 加工のためにドリル穴をロックします。

▶ SICAT Endo 対応する EndoLine をロックします。

ドリル穴のロックを解除する

ドリル穴のロックを解除するには、次の手順に従って行ってください。

- ☑ ドリル穴はロックされています。
- ☑ ドリル穴はすでに有効になっています。



- **オブジェクトのロックを解除するのアイコンをクリックしてください。**
- ▶ SICAT Endo ドリル穴のロックを解除します。
- ▶ SICAT Endo 対応するEndoLineのロックを解除します。

ドリル穴を削除する

ドリル穴を削除するには、次の手順に従って行ってください。

1. **ドリル穴を追加する**エリアで、削除したいドリル穴を含むEndo計画オブジェクトをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo Endo計画オブジェクトをマーキングします。
2. Endo計画オブジェクトにおいて削除したいドリル穴をクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo ドリル穴をマーキングします。
3. **ドリル穴を削除する**ボタンの行の端部をクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo ドリル穴を削除します。



ドリル穴の編集がロックされている場合には、対応するEndoLineの編集もできません。EndoLineを編集するためには、対応するドリル穴のロックを解除する必要があります。

29 距離/角度測定

SICAT Endoには2種類の測定タイプがあります：



- 距離測定



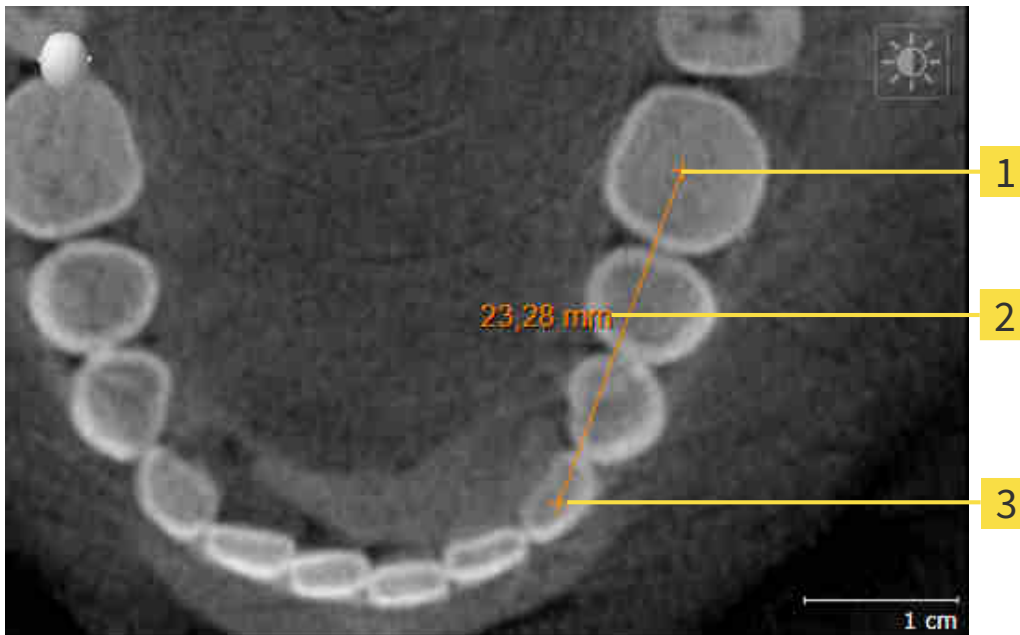
- 角度測定

測定を追加するツールは、ワークフローのツールバーの**診断する**に記載されています。すべての2Dレイヤービューに測定を追加することができます。測定を追加する度に、SICAT Endoはその測定を**測定**のグループオブジェクトブラウザにも追加します。

測定に使用できる操作：

- *距離測定を追加する* [▶ ページ 168 - SIDEXIS 4]
- *角度測定を追加する* [▶ ページ 169 - SIDEXIS 4]
- *測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する* [▶ ページ 171 - SIDEXIS 4]
- 測定のアクティベーション、非表示および表示に関する情報は**オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理** [▶ ページ 62 - SIDEXIS 4]をご覧ください。
- 測定に焦点を当てる、測定を削除する、測定操作を元に戻して再度実行する手順に関する情報は、**オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理** [▶ ページ 64 - SIDEXIS 4]の節をご覧ください。

29.1 距離測定を追加する



1 始点

2 測定値

3 終点

距離測定を追加するには、次の手順で行います。

☑ ワークフロー・ステップの**診断する**は、展開させておきます。



1. ワークフローステップ **診断する** で **距離測定を追加する(D)** アイコンをクリックします。

▶ SICAT Endo 新しい距離測定を**オブジェクトブラウザ**に追加します。

2. マウスポインタを希望の2Dレイヤビュー上に動かします。

▶ マウスポインタは十字になります。

3. 距離測定の始点をクリックします。

▶ SICAT Endo は小さい十字で始点を表します。

▶ SICAT Endo は始点とマウスポインタ間に距離線を表示します。

▶ SICAT Endo 距離線の中央および **オブジェクトブラウザ**に始点とマウスポインタ間の現在の距離を表示します。

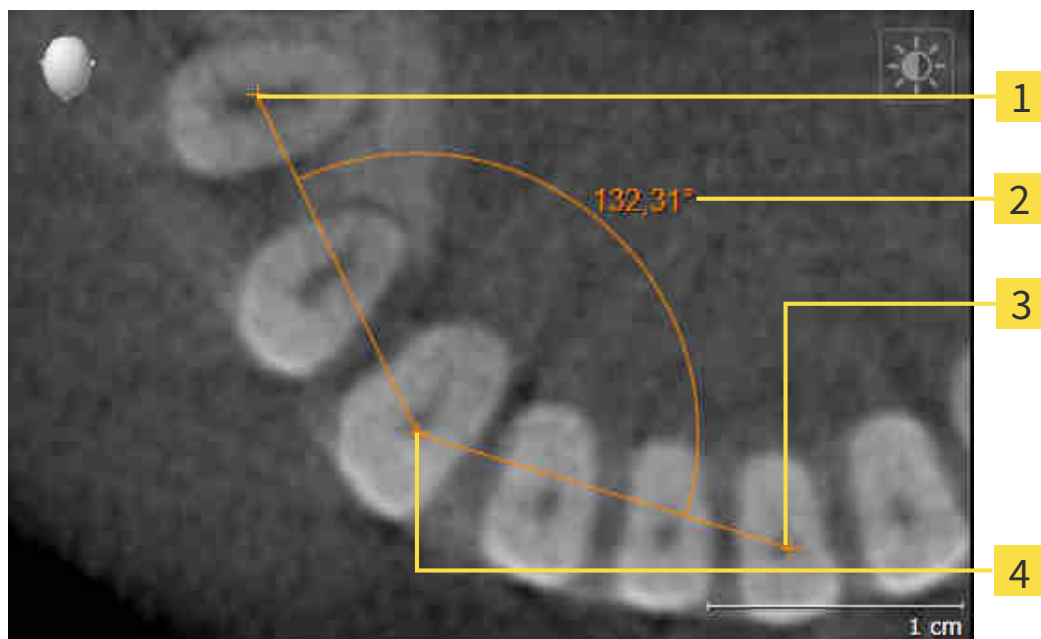
4. マウスポインタを距離測定の終点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。

▶ SICAT Endo は小さい十字で終点を表します。



測定の追加は、**ESC**を押すことによっていつでも中断することができます。

29.2 角度測定を追加する



1 始点

2 測定値

3 終点

4 頂点

角度測定を追加するには、次の手順で行います。

☑ ワークフロー・ステップの**診断する**は、展開させておきます。



1. ワークフローステップ **診断する** で **角度測定を追加する(A)** アイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo 新しい角度測定を**オブジェクトブラウザ**に追加します。
2. マウスポインタを希望の2Dレイヤビュー上に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字になります。
3. 角度測定の始点をクリックします。
 - ▶ SICAT Endo は小さい十字で始点を表します。
 - ▶ SICAT Endo は、角度測定の1本目の辺を始点からマウスポインタまでの線で表します。
4. マウスポインタを角度測定の頂点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo は小さい十字で頂点を表します。
 - ▶ SICAT Endo は、角度測定の2本目の辺を頂点からマウスポインタまでの線で表します。
 - ▶ SICAT Endo 角度測定の2つの頂点の間および**オブジェクトブラウザ**に現在の角度を表示します。

5. マウスポインタを2本目の辺の終点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。

▶ SICAT Endo は小さい十字で終点を表します。



測定の追加は、**ESC**を押すことによっていつでも中断することができます。

29.3 測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する

測定を移動する

測定を移動させるには、次の手順で行います。

- ☑ SICAT Endo はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。これに関する情報はオブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ ページ 62 - SIDEXIS 4] と オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ ページ 64 - SIDEXIS 4]を参照してください。

1. マウスポインタを測定の線上に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字になります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインタを任意の測定位置に動かします。
 - ▶ 測定はマウスポインタの動きに従います。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Endo は現在の測定ポイントを保持します。

個々の測定ポイントを移動する

個々の測定ポイントを移動するには、次の手順で行います。

- ☑ SICAT Endo はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。これに関する情報はオブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ ページ 62 - SIDEXIS 4] と オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ ページ 64 - SIDEXIS 4]を参照してください。

1. マウスポインタを希望の測定ポイント上に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字になります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインタをご希望の測定ポイントの位置に動かします。
 - ▶ 測定ポイントはマウスポインタの動きに従います。
 - ▶ マウスを動かすと、測定値は変化します。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Endo は現在の測定ポイントの位置を保持します。

測定値を移動する

測定値を移動するには、次の手順で行います。

☑ SICAT Endo はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。これに関する情報は[オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 62 - SIDEXIS 4\]](#)と[オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 64 - SIDEXIS 4\]](#)を参照してください。

1. マウスポインタを希望の測定値上に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字になります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインタをご希望の測定値の位置に動かします。
 - ▶ 測定値はマウスポインタの動きに従います。
 - ▶ SICAT Endo は、測定値と付属の測定間に点線を表示します。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Endo は現在の測定値の位置を保持します。



1回の測定の値を移動すると、SICAT Endoはその値を1つの絶対位置に設定します。その数値の位置を、そのときの測定ツールに対する相対位置に戻すときは、その数値をダブルクリックします。

30 患者教化



注意

診断目的のためのハンドアウトの使用は、間違った診断および治療になるおそれがあります。

医療画像の認証と治療計画のためのソフトウェア ユーザーインターフェイスの医療画像には、表示機能のみ使用してください。

患者対応の表示で患者に診断について教化し、治療の効果を明確にすることができます。患者教化は二つのステップで実行されます。

1. 内での練習中に SICAT Endo
2. ハンドアウトによる患者情報を通じて

ハンドアウトの内容は説明の間にディスプレイでまとめることができます。

患者はハンドアウトで論じた結果をよく理解することができ、他の人員にも伝えることができます。

ハンドアウトの作成は次のステップで構成されています。

- 画像とスクリーンショットの作成 [[▶ ページ 174 - SIDEXIS 4](#)]
- ハンドアウトの準備 [[▶ ページ 178 - SIDEXIS 4](#)]
- ハンドアウトを生成する [[▶ ページ 180 - SIDEXIS 4](#)]

30.1 画像とスクリーンショットの作成

患者教化に関する一般的な情報は患者教化 [▶ ページ 173 - SIDEXIS 4]に記載されています。

画像とスクリーンショットの管理に関する一般的な情報はSICAT Endoオブジェクト [▶ ページ 66 - SIDEXIS 4]に記載されています。

描画ツールは2種類あります。

- 矢印を描く
- 円を描く

矢印を描く

矢印を描くには、次のように行います。

- ☑ すでにボリュームを要件に応じて調整済みです。これに関する情報はボリュームの配置を調整する [▶ ページ 101 - SIDEXIS 4]を参照してください。
- ☑ ワークフロー・ステップの**説明する**は、展開させておきます。これに関する情報はワークフローのツールバーを参照してください。



1. ワークフローステップ **説明する** で **矢印を描く** アイコンをクリックします。
2. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
 - ▶ マウスポインタはペンになります。
3. 矢印の先端の希望する位置をクリックし、マウスの左ボタンをそのまま押し続けます。
4. マウスを動かします。
 - ▶ SICAT Endo はビューに矢印を表示します。
 - ▶ これ以後、矢印終点はマウスポインタの位置に一致します。
5. マウスポインタを希望する矢印終点位置に移動し、マウスの左ボタンから指を放します。
 - ▶ SICAT Endo はビューに完成した矢印を表示します。
 - ▶ まだ存在しない場合は、SICAT Endoは**画像**オブジェクトに必要な構造を**オブジェクトブラウザ**に作成します。
 - ▶ 画像は**レポート作成**ウインドウにあります。
6. **矢印を描く**のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo は矢印の描画モードを終了します。

円を描く

円を描くには、次のように行います。

- ☑ すでにボリュームをフランクフルト水平などの要件に応じて調整済みです。これに関する情報は**ボリュームの配置を調整する** [▶ ページ 101 - SIDEXIS 4]を参照してください。
- ☑ ワークフロー・ステップの**説明する**は、展開させておきます。これに関する情報はワークフローのツールバーを参照してください。



1. ワークフローステップ **説明する** で **円を描く** アイコンをクリックします。
2. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
 - ▶ マウスポインタはペンになります。
3. 円の中心の希望する位置をクリックし、マウスの左ボタンをそのまま押し続けます。
4. マウスを動かします。
 - ▶ SICAT Endo はビューに円を表示します。
 - ▶ これ以後、円の半径は中心とマウスポインタの位置間の距離に一致します。
5. マウスポインタを希望する半径に到達するまで移動し、マウスの左ボタンから指を放します。
 - ▶ SICAT Endo はビューに完成した円を表示します。
 - ▶ まだ存在しない場合は、SICAT Endoは**画像オブジェクト**に必要な構造を**オブジェクトブラウザ**に作成します。
 - ▶ 画像は**レポート作成**ウインドウにあります。
6. **円を描く**のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo は円の描画モードを終了します。



描画ツール**矢印を描く**または描画ツール**円を描く**が有効な間は、複数の描画オブジェクトを続けて作成することができます。描画ツールの使用を中断するには、希望のビューの外位置をクリックまたはESCボタンを押します。

描画ツールの設定

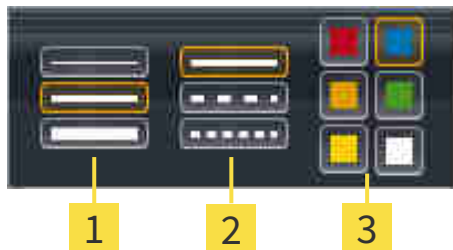
描画ツール**矢印を描く**または描画ツール**円を描く**を個別に設定することができます。設定の変更は、その後作成した描画オブジェクトにのみ該当します。

描画ツールを設定するには、次のように行います。

- ☑ ワークフロー・ステップの**説明する**は、展開させておきます。これに関する情報はワークフローのツールバーを参照してください。

1. ワークフローステップ**説明する**で**矢印を描く**アイコンまたは**円を描く**アイコンの隣にある**描画ツールの設定**アイコンをクリックします。

- ▶ **描画ツールの設定**の透明なウィンドウが開きます。



1 のアイコン **線の太さ**

2 のアイコン **線の種類**

3 のアイコン **線の色**

2. **線の太さ**、**線の種類**および描画ツールの**線の色**を作成するには、希望するアイコンをクリックしてください。

3. **描画ツールの設定**の透明なウィンドウ外側の任意のポイントをクリックします。

- ▶ SICAT Endo は**描画ツールの設定**の透明なウィンドウを閉じます。

- ▶ SICAT Endo は設定をユーザープロファイルに保存します。

- ▶ SICAT Endo は、新規設定を今作成した描画オブジェクトに適用します。

スクリーンショットを「ハンドアウトを作成する」ウィンドウに追加する

それぞれのビューにスクリーンショットをクリップボードにコピーする (Ctrl+C) アイコンが含まれている場合、各ビューのスクリーンショットを各ワークスペースやウィンドウに作成することができます。

スクリーンショットをハンドアウトに追加するには、次のように行います。

1. ビューのスクリーンショットを作成するには希望するビューの**画像のツールバー**内で**スクリーンショットをクリップボードにコピーする (Ctrl+C)** アイコンをクリックしてください。
 2. ワークスペース全体のスクリーンショットを作成するには**ワークスペースのツールバー**内で**スクリーンショットをクリップボードにコピーする (Ctrl+C)** アイコンをクリックしてください。
- ▶ SICAT Endo はスクリーンショットオブジェクトに必要な構造を**オブジェクトブラウザ**に作成し、オブジェクトを有効にします。
 - ▶ スクリーンショットは**レポート作成**ウィンドウにあります。
 - ▶ SICAT Endo はスクリーンショットをクリップボードにコピーします。

ハンドアウトの準備 [▶ ページ 178 - SIDEXIS 4]で先に進みます。

30.2 ハンドアウトの準備

患者教化に関する一般的な情報は患者教化 [▶ ページ 173 - SIDEXIS 4]に記載されています。

ハンドアウトの準備するために使用できる操作は以下の通りです。

- レポート作成のウィンドウを開く
- ハンドアウト設定の変更
- 要素を準備する

「レポート作成」のウィンドウを開く

- ☑ 少なくとも、**画像オブジェクト**または**スクリーンショットオブジェクト**を作成しました。
- ☑ ワークフロー・ステップの**説明する**は、展開させておきます。これに関する情報はワークフローのツールバーを参照してください。



- **Create Patient Information Report**アイコンをクリックしてください。
- ▶ **レポート作成**のウィンドウが開きます。

ハンドアウト設定の変更

- ☑ **レポート作成**ウィンドウはすでに開いています。
1. **画像ギャラリー用設定**エリアで希望する画像配置用のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo が選択した設定に対応する画像を表示します。
 2. **グローバル設定**エリアで希望の用紙サイズのボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo が選択した設定に対応して用紙サイズを変更します。
 3. **患者情報の匿名化**のチェックボックスを有効または無効にします。
 - ▶ SICAT Endo が、選択した設定に応じて実際の患者情報または匿名化された患者情報をハンドアウト上に表示します。

ハンドアウトのための要素を準備する

レポート作成ウィンドウは**画像オブジェクト**からスクリーンショット、**スクリーンショットオブジェクト**からスクリーンショットを表示します。これに関する情報は**画像とスクリーンショットの作成** [▶ ページ 174 - SIDEXIS 4]を参照してください。

ハンドアウト用の要素の準備は以下のように行います。

- ☑ **レポート作成**ウィンドウはすでに開いています。



1. ハンドアウト内の要素を非表示にしたい場合は、要素のチェックボックスを無効にします。
 - ▶ SICAT Endo がハンドアウト内の要素を非表示にします。



- SICAT Endoで画像を個別に片側に表示したい場合は**それぞれのページに画像を表示アイコン**をクリックしてください。



- 要素に説明を追加したい場合は、要素の**画像記述を編集する**アイコンをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo は要素の拡大バージョンとテキスト入力欄を表示します。
- テキスト入力欄にテキストを入力してください。
 - ▶ 既存のテキストブロックテキストの一部を入力した場合、SICAT Endoはテキストブロックのリストを表示します。
- 希望のテキストブロックをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo がテキストブロックをテキスト入力欄に追加します。
- 希望したテキストがテキストブロックとして存在しない場合は、新しいテキストを入力してください。
- OKのボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo がテキストをスクリーンショットの説明として保存します。
 - ▶ 入力したテキストがテキストブロックとして存在しない場合は、SICAT Endoが説明を新しいテキストブロックとしてユーザープロファイルに保存します。
- ハンドアウトの要素の順序を変更したい場合は、ドラッグ&ドロップで調整してください。



マウスポインタをテキストブロック上に動かすと、SICAT Endoが**テキストブロックをリストから削除する**アイコンを表示します。**テキストブロックをリストから削除する**アイコンをクリックすると、SICAT Endoがテキストブロックをユーザープロファイルから削除します。



次の**アイテム**ボタンと直前の**アイテム**ボタンをクリックすることにより、要素の拡大バージョンを示しているウインドウで要素間の切り替えができます。

オブジェクトブラウザで要素をハンドアウトから完全に削除することができます。これに関する情報はオブジェクトツールバーを使用した**オブジェクトの管理** [▶ ページ 64 - SIDEXIS 4]を参照してください。

ハンドアウトを生成する [▶ ページ 180 - SIDEXIS 4]で先に進みます。



SICAT Endo は医療所ロゴおよび情報テキストを一般設定から引き継ぎます。この表示に関する内容は、**歯科医院情報の使用** [▶ ページ 202 - SIDEXIS 4]の節をご覧ください。

30.3 ハンドアウトを生成する

ハンドアウトを作成するために使用できる操作は以下の通りです。

- ハンドアウトをPDFファイルで保存する
- ハンドアウトをプリントする

ハンドアウトをPDFファイルで保存する

☑ レポート作成ウインドウはすでに開いています。



1. 出力のコーナーで、**PDFエクスポート**のボタンをクリックします。
 - ▶ Windowsエクスプローラのウインドウが開きます。
2. ハンドアウトを保存するディレクトリを変更してください。
3. **ファイル名欄**に名前を入力し、**保存**をクリックします。
 - ▶ Windowsファイルエクスプローラーウインドウが閉じます。
 - ▶ SICAT Endo はハンドアウトをPDFファイルで保存します。

ハンドアウトをプリントする



適切な品質のハンドアウトには特定の要件を満たしたプリンターが必要です。システムの要件に関する内容は、[システム要件 \[▶ ページ 10 - SIDEXIS 4\]](#)の節をご覧ください。



- ☑ レポート作成ウインドウはすでに開いています。
1. **印刷する**のボタンをクリックします。
 - ▶ **印刷する**のウインドウが開きます。
 2. 希望するプリンターを選択し、必要とあればプリンター設定を調整してください。
 3. **印刷する**をクリックします。
 - ▶ SICAT Endo はプリンターにハンドアウトを送信します。

31 データエクスポート

データをエクスポートすることができます。

SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして実行させると、データのエクスポートは、その目的で用意されている、SIDEXIS 4の機能を利用してください。このエクスポートに関する内容は、SIDEXIS 4の取扱説明書を参照してください。

32 注文プロセス

希望の製品を注文するには、次の手順で行います。

- SICAT Endoで、サージカルガイドのための希望する計画データをショッピングカートに入れます。これに関する情報はドリルテンプレートをショッピングカートに入れる [▶ ページ 183 - SIDEXIS 4]を参照してください。
- ショッピングカートを確認し、注文を開始します。これに関する情報はカートをチェックして、注文プロセスを完了する [▶ ページ 188 - SIDEXIS 4]を参照してください。
- 注文は、SICAT Suiteが作動しているコンピューターで直接終了するか、インターネットに接続されている別のコンピューターで終了します。これに関する情報はインターネット接続を使用した注文の終了 [▶ ページ 189 - SIDEXIS 4]またはインターネット接続を使用しない注文の終了 [▶ ページ 193 - SIDEXIS 4]を参照してください。



同一の3D X線撮影画像に関する注文であれば、複数の注文内容をカートに追加できます。

32.1 ドリルテンプレートをショッピングカートに入れる



注意

注文に誤ったデータがあると、誤った注文となる可能性があります。

注文をするときには、注文のための正しいデータの選択と転送を確認してください。



注意

注文を誤ると誤った治療の原因となるおそれがあります。

1. 注文を送信する前にご注文内容をご確認ください。
2. 注文の適切な治療計画を確認してください。

注文プロセスに関する一般的な情報は、[注文プロセス](#) [▶ ページ 182 - SIDEXIS 4]をご参照ください。

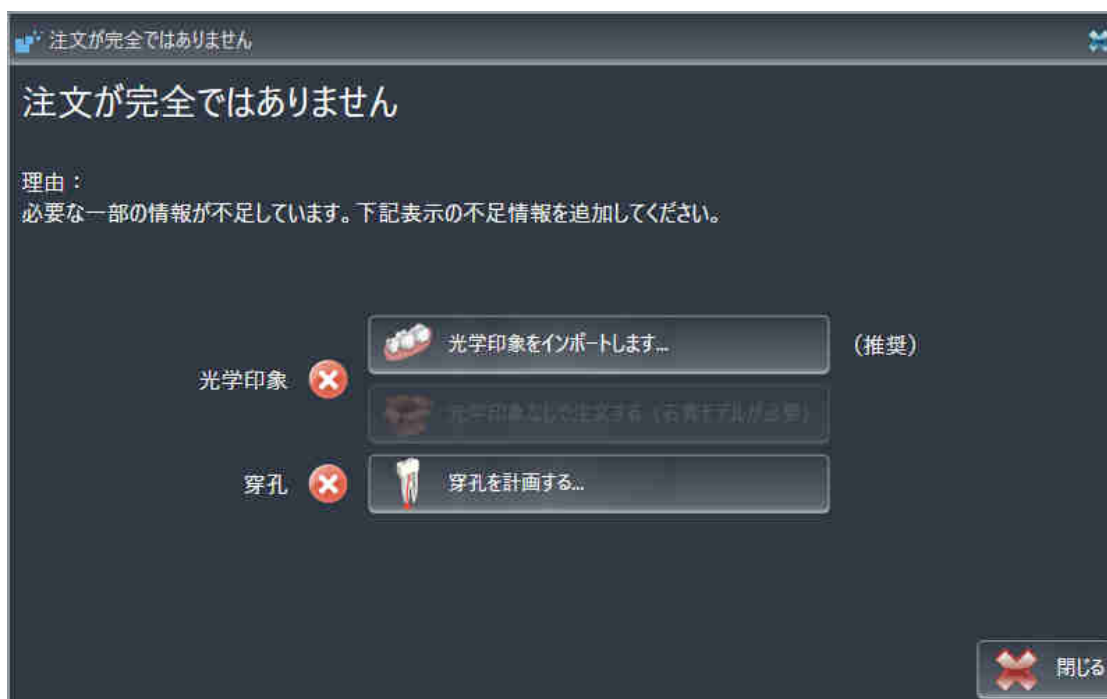
SICAT Endoで注文プロセスの最初のステップとして、**SICAT GUIDE (ENDO)**ドリルテンプレートをショッピングカートに入れてください。**SICAT GUIDE (ENDO)**をショッピングカートに入れるためには、特定の条件を満たす必要があります。すべての条件をまだ満たしていない場合は、SICAT Endoを参照してください。

充足されていない前提条件があるとき

- ☑ ワークフロー・ステップ**注文する**は、展開させておきます。これに関する情報は、ワークフローのツールバー [▶ ページ 58 - SIDEXIS 4]をご参照ください。



1. **SICAT GUIDE (ENDO)**を注文するのアイコンをクリックしてください。
 - ▶ **注文が完全ではありません**のウィンドウが開きます。





2. 光学印象をまだ登録していない場合は、**光学印象をインポートします**ボタンをクリックし、3D X線撮影画像に合う適切な光学印象をインポートしてください。これに関する情報は、**光学印象** [▶ ページ 110 - SIDEXIS 4]をご参照ください。
3. ドリル穴をまだ計画していない場合は、**ドリル穴を計画する**ボタンをクリックし、ドリル穴を設定してください。これに関する情報は、**ドリル穴を計画する** [▶ ページ 161 - SIDEXIS 4]をご参照ください。



場合によっては、光学印象をインポートする前にボリュームの配置およびパノラマ曲線を調整する必要があります。**ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する**ウィンドウを**光学印象をインポートし記録する**ウィンドウからステップ **登録する**で直接呼び出すことができます。直接呼び出すにはボタン**パノラマエリアを調整する**をクリックします。これに関する情報は**パノラマエリアを調整する** [▶ ページ 106 - SIDEXIS 4]を参照してください。



光学印象の代わりにギブスをSICATに送信したい場合は、**注文が完全ではありません**ウィンドウの**光学印象なしで注文する (石膏モデルが必要)**ボタンをクリックし、ドリルテンプレートを光学印象なしでショッピングカートに入れることができます。その後、ステップ**ドリルテンプレートを注文する**は情報この注文には**光学印象は含まれていません**。該当する石膏モデルをSICATまでお送りください。のを示します。

前提条件がすべて充足されているとき

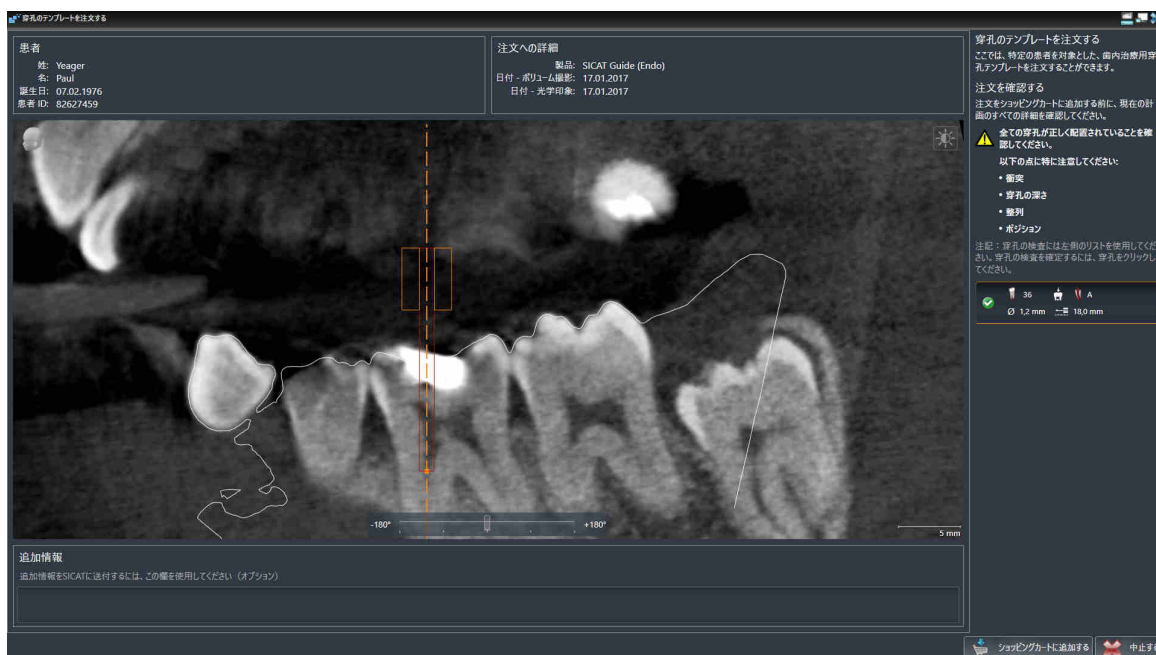
- ☑ 少なくとも1つの光学印象をすでにインポート済みです。
- ☑ EndoLinesをすでに設定済みです。
- ☑ ドリル穴をすでに設定済みです。
- ☑ ワークフロー・ステップの**注文する**は、展開させておきます。これに関する情報は、ワークフローのツールバー [▶ ページ 58 - SIDEXIS 4]をご参照ください。



- **SICAT GUIDE (ENDO)を注文する**のアイコンをクリックしてください。
- ▶ **ドリルテンプレートを注文する**のウィンドウが開きます。

ウィンドウで注文を確認してください ドリルテンプレートを注文する

- ドリルテンプレートを注文するウィンドウはすでに開いています：



1. 患者情報と撮影図情報が正しいかどうか**患者エリア**と**注文への詳細エリア**を確認してください。
2. すべてのドリル穴が正しく配置されていることを確認してください。
3. ドリル穴のテストを確認するには、**注文を確認する**エリアで対応するEndo計画オブジェクトをマーキングしてください。
 - ▶ SICAT Endo Endo計画オブジェクトをマーキングします。
4. チェックマークを入れてください。
 - ▶ SICAT Endo 緑色のチェックマークを表示します。
5. 注文に含まれているすべてのドリル穴で手順を繰り返してください。
6. 希望する場合、**追加情報欄**にSICATの追加情報を入力します。
7. **ショッピングカートに追加する**のボタンをクリックしてください。



- ▶ SICAT Endo **SICAT GUIDE (ENDO)**のための希望する治療計画データをSICAT Suiteのショッピングカートに入れます。
- ▶ **ドリルテンプレートを注文する**ウィンドウが閉じます。
- ▶ SICAT Endo SICAT Suiteのショッピングカートを開きます。



すべての計画されたドリル穴を点検し、各ドリル穴の点検を確認した場合、注文品をショッピングカートに入れることができます。



ドリル穴の点検においてエラーが見つかったにもかかわらず、既にチェックマークで点検を確認してしまった場合には、**中止する**ボタンをクリックし、その後、再び注文品点検のためのステップを実行してください。



注文がショッピングカート内にある間は、計画の光学印象、EndoLineおよびドリル穴を上書きすることはできません。これは、注文を終了するか削除した場合において初めて可能です。計画の光学印象、EndoLineおよびドリル穴を上書きまたは削除した場合は、同じドリルテンプレートを再度注文することはできません。



中止するをクリックすると、注文をキャンセルできます。

カートをチェックして、注文プロセスを完了する [▶ ページ 188 - SIDEXIS 4]を継続してください。

32.2 カートを開く

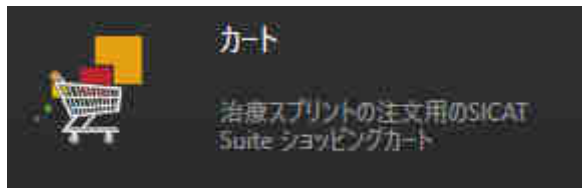
- ☑ カートには、製品を1個以上、入れておきます。
- ☑ **出力**のフェーズで、カートの表示を開いておきます。この操作に関する内容は、SIDEXIS 4の取扱説明書をご覧ください。



- ショッピングカートはまだ開いていない場合、ナビゲーションバーの**カート**ボタンをクリックします。

▶ カートのウィンドウが開きます。

上記に代えて、**出力**のフェーズで、**カート**ボタンをクリックしても結構です。



以下の操作で、処理を続けてください。

- カートをチェックして、注文プロセスを完了する [▶ ページ 188 - SIDEXIS 4]

32.3 カートをチェックして、注文プロセスを完了する

☑ カートウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は[カートを開く \[▶ ページ 187 - SIDEXIS 4\]](#)を参照してください。

1. カートウィンドウで、希望の製品が含まれてるか確認します。

2. **オーダーを完了する**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteは注文ステータスを**準備中**にし、さらに、SICAT WebConnector経由で、SICAT サーバーに接続します。

▶ インターネットに接続して注文した場合、注文の変更はSICATポータルでのみ可能です。

以下の操作を続行します：

- インターネット接続を使用した注文の終了 [[▶ ページ 189 - SIDEXIS 4](#)]
- インターネット接続を使用しない注文の終了 [[▶ ページ 193 - SIDEXIS 4](#)]

32.4 インターネット接続を使用した注文の終了



Windowsのバージョンによっては、注文プロセスを行うために、標準的なWebブラウザに設定しなければならない場合があります。

- ☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。
 - ☑ SICATポータルは自動的にブラウザで開かれました。
1. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。
 - ▶ 注文一覧が開き、含まれている製品および価格が患者毎にグループ分けして表示されません。
 2. SICATポータルでの注文手順 [▶ ページ 190 - SIDEXIS 4]以下の手順に従ってください。
 - ▶ SICAT Suiteはアップロード用の注文データを準備します。
 - ▶ 準備が完了すると、SICAT WebConnectorは注文データを暗号化された接続経由でSICATサーバーに転送します。
 - ▶ ショッピングカートの注文ステータスが**アップロードする**に変わります。

また、トリート項目が強調されるよう、SIDEXIS 4のタイムラインでスタディのアイコンが変わります。



SICAT Suiteでは、アップロードが完了するまで、注文内容の表示を続けます。複数のコンピューターで現在のSIDEXISサーバーを利用している場合は、他のコンピューターでアップロードされる注文にもこれは適応されます。注文内容のアップロードを開始したコンピューターであれば、そのコンピューターで、注文プロセスを一時停止する、再開する、キャンセルするの各操作を行うことができます。



アップロード中にWindowsをログオフすると、SICAT WebConnectorはアップロードを一時停止します。ソフトウェアは再度ログオン後に、自動的にアップロードを続行します。

32.5 SICATポータルでの注文手順

SICAT Suiteで注文プロセスを実行して完了したら、お手元の標準ブラウザでSICAT Portalのページが開きます。SICAT Portalでは、ご自分の注文内容をカスタマイズして、製作依頼先にする、有資格の歯科技工所を選択し、製品の価格を確認できます。

SICAT Portalで注文プロセスを実行するには、次の手順で行います。

1. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。
2. 希望の製品が含まれてるか確認します。
3. 必要に応じて、患者および付属の全製品を注文一覧から除去してください。注文を完了すると、SICAT Suiteでは、SICAT Portalで実施した変更内容が適用されます。
4. 請求書送付先と配送先住所が正しいか確認してください。正しくない場合修正してください。
5. 希望の配達方法を選択してください。
6. 一般条件を承認し、注文を提出してください。



患者を選択し、患者の削除のボタンをクリックすることにより、患者および全ての付属スプリントをSICATポータルから除去することができます。その後、ショッピングカートでは再び製品の構成にフルアクセスすることができます。

32.6 SICAT WEBCONNECTOR



SICAT WebConnectorはSICATサーバーとの通信用に特定のポートを必要とします。これに関する情報はシステム要件 [▶ ページ 10 - SIDEXIS 4] を参照してください。



Windowsのバージョンによっては、注文プロセスを行うために、標準的なWebブラウザに設定しなければならない場合があります。

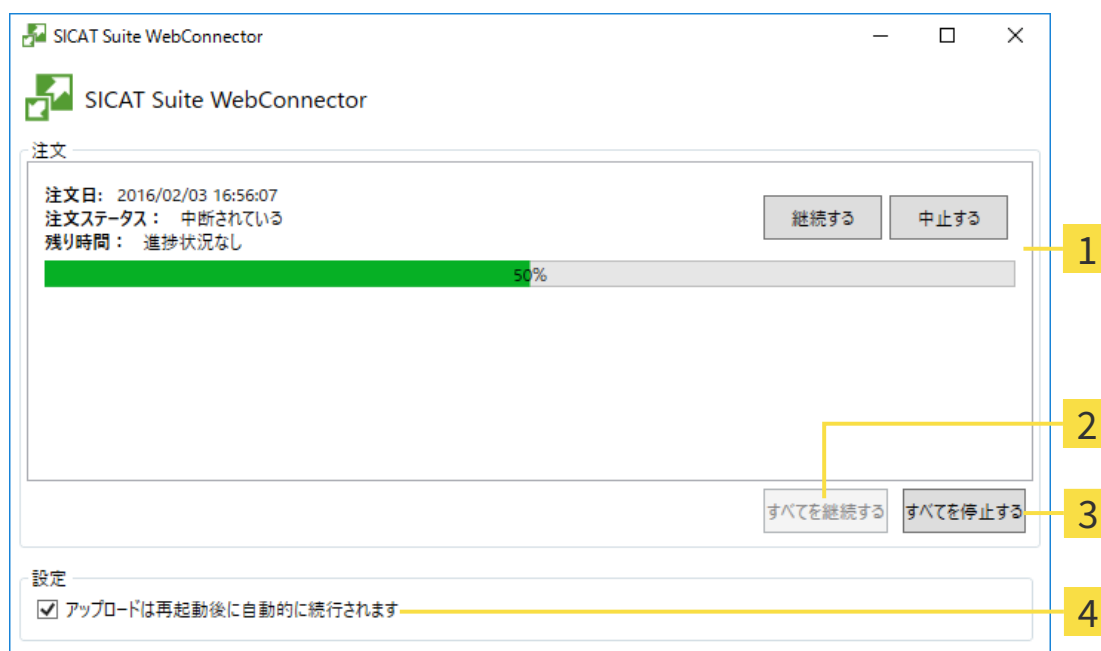
SICAT Suiteを実行させているコンピュータがインターネットに接続できるときは、SICAT Suiteで、ご自分の注文内容がバックグラウンドで暗号化され、WebConnector経由で送信されます。SICAT Endo 直接、カートから送信のステータスを表示しますので、SICAT WebConnectorを一時停止させることがあります。SICAT WebConnectorが送信を再開するのは、SICAT Suiteを閉じて終了させた後になります。ご希望に沿ってアップロードが行われませんが、そのときは、SICAT WebConnectorのユーザーインターフェースを開いてください。

「SICAT SUITE WEBCONNECTOR」のウィンドウを開く



- タスクバーの通知ウィンドウで、**SICAT Suite WebConnector**アイコンをクリックします。

▶ **SICAT Suite WebConnector** のウィンドウが開きます。



1 リスト 注文

3 ボタン すべて停止する

2 ボタン すべて再開する

4 チェックボックス 再起動後にアップロードを自動で再開する

注文 のリストには、処理待機中の注文内容が表示されます。

アップロードの中断および続行

アップロードの処理は、中断させることができます。この操作は、例えば、お使いのインターネット接続で負荷が過大なときに役立ちます。設定内容で制御する対象は、SICAT WebConnectorでのアップロード処理に限定されています。Webブラウザを利用するアップロード処理は、この操作の影響を受けません。

SICAT Suite WebConnectorウインドウはすでに開いています：

1. **すべて停止する**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT WebConnectorでは、すべての注文について、アップロードを中断します。
2. **すべて再開する**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT WebConnectorでは、すべての注文について、アップロードを再開します。

再起動後の自動アップロード再開をオフにする

Windowsを再起動しても、SICAT WebConnectorでアップロードが自動で再開することがないようにすることができます。

SICAT Suite WebConnectorウインドウはすでに開いています：

- **再起動後にアップロードを自動で再開する**のチェックボックスで、チェックマークを外します。
- ▶ お手元のコンピュータを再起動させても、SICAT WebConnectorでは、ご自分の注文のアップロードが自動で再開することは、なくなります。

32.7 インターネット接続を使用しない注文の終了

SICAT Suiteを起動しているコンピューターにSICATサーバーとの接続が確立できない場合、SICAT SuiteがウィンドウSICAT サーバーへの接続エラーを開きます。ウィンドウは問題に対する以下の原因を表示します。

- インターネット接続が利用できません。SICAT WebConnectorはSICATサーバーへの接続を確立できません。
- SICATポータルにアクセスできません。
- 「SICATWebConnector」 サービスがインストールされていません。
- 「SICATWebConnector」 サービスが起動していません。
- 未知のエラーが発生しました。SICAT WebConnectorはSICATサーバーへの接続を確立できません。

この章ではインターネット接続が使用できない場合のみを対象にスクリーンショットを示しています。

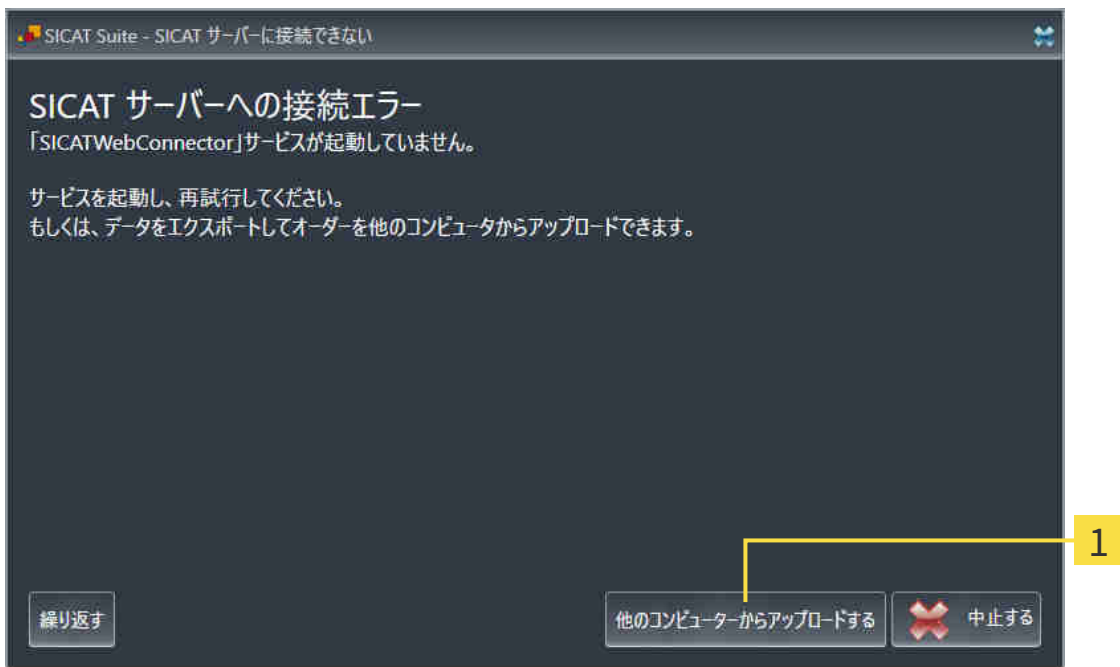
その原因の下で可能な問題を解決できる手順を発見します。

トラブルシューティングの代替手段として、注文をインターネット接続が有効な他のコンピューターのウェブブラウザからアップロードする方法があります。ウェブブラウザによる注文に対して、SICAT Suiteは一度に全ての製品をショッピングカートにエクスポートし、患者毎に一つのサブフォルダを作成します。各サブフォルダには注文情報付のXMLファイルと製造に必要なデータが付いているZIPアーカイブがあります。SICATポータルではXMLファイルとZIPアーカイブを連続してアップロードすることができます。この送信は、暗号化して行われます。

インターネット接続を利用しない注文プロセスを完了するには、次の手順で行います。

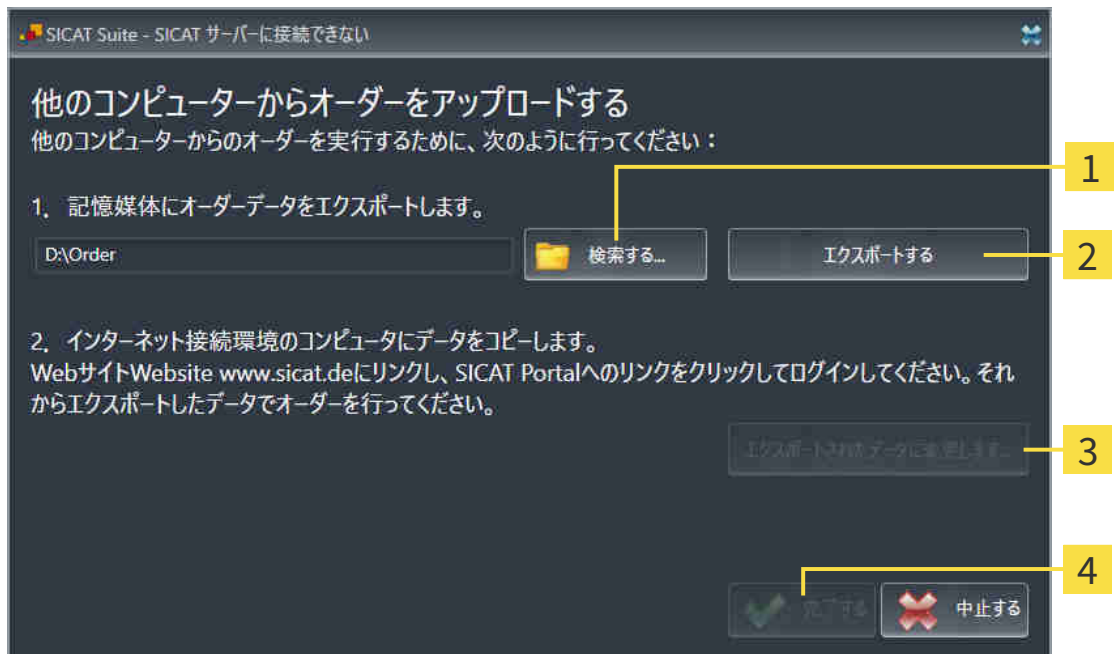
- SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されていません。

☑ ウィンドウに表示されるメッセージ： SICAT サーバーへの接続エラー

**1** ボタン 他のコンピューターからアップロードする

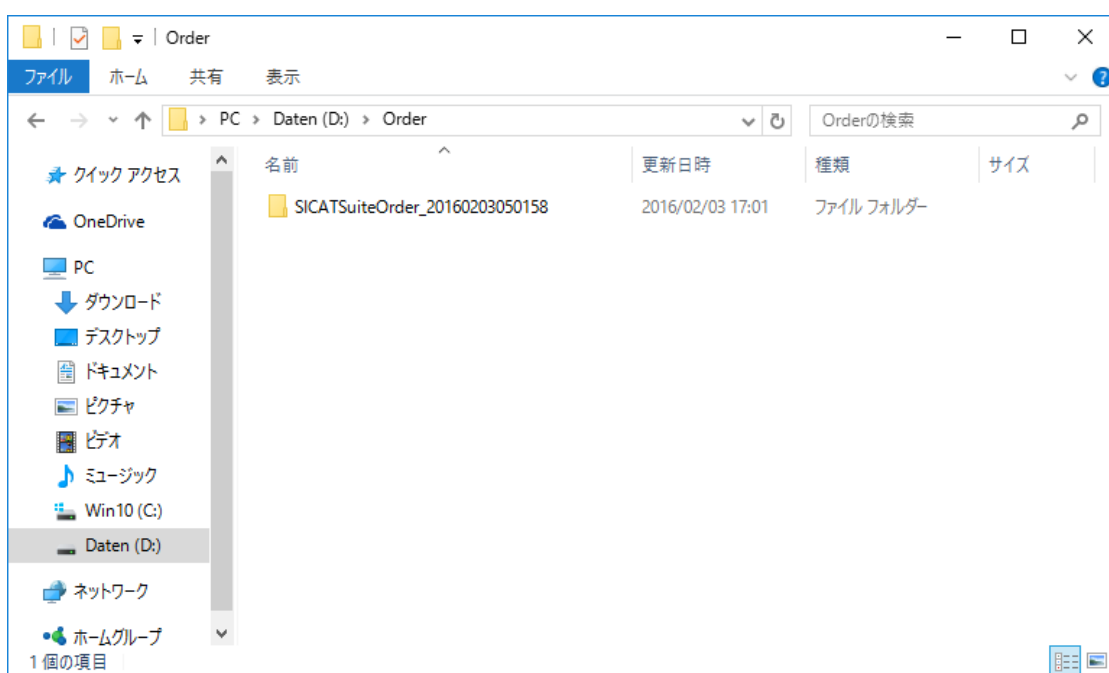
1. 他のコンピューターからアップロードするのボタンをクリックします。

▶ 他のコンピューターからオーダーをアップロードするのウィンドウが開きます。

**1** ボタン 検索する**2** ボタン エクスポートする**3** ボタン エクスポートされたデータに変更します**4** ボタン 完了する

2. 検索するのボタンをクリックします。

- ▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。
3. 既存のディレクトリを選択するか、新しいディレクトリを作成して、**OK**をクリックします。ディレクトリのパス名は、字数を160字以下にしておく必要がありますので、ご注意ください。
 4. **エクスポートする**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteは、ショッピングカートの内容の注文に必要な全データを指定のフォルダにエクスポートします。この時、SICAT Suiteは患者毎に一つのサブフォルダを作成します。
 5. **エクスポートされたデータに変更します**のボタンをクリックします。
 - ▶ Windowsファイルエクスプローラーウィンドウが開き、エクスポートしたデータのあるディレクトリが表示されます：



6. USBスティックなどの補助ツールを使用して、インターネットに接続しているコンピューターに希望のスプリントのデータが含まれるフォルダをコピーします。
7. **他のコンピューターからオーダーをアップロードする**ウィンドウの**完了する**をクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteは**他のコンピューターからオーダーをアップロードする**ウィンドウを閉じます。
 - ▶ SICAT Suiteは、注文に含まれる全ての製品をショッピングカートから除去します。
8. インターネットに接続されたコンピューター上でウェブブラウザを開き、インターネットページ<http://www.sicat.de>を開きます。
9. SICATポータルへのリンクをクリックします。
 - ▶ SICATポータルが開きます。

10. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。
11. 注文をアップロードするためのリンクをクリックします。
12. インターネットに接続したコンピューターで希望の注文を選択します。これは、ファイル名が**SICATSuiteOrder**で始まるXMLファイルです。
 - ▶ 注文一覧が開き、含まれている患者、付属の製品および価格が表示されます。
13. SICATポータルでの注文手順 [▶ ページ 190 - SIDEXIS 4]以下の手順に従ってください。
14. 製品の治療計画データをアップロードするためのリンクがありますので、それをクリックします。
15. インターネットに接続したコンピューターで適切な製品データを選択します。これは、以前アップロードしてXMLファイルと同じフォルダ内にあり、ファイル名が**SICATSuiteExport**で始まるZipアーカイブです。
 - ▶ 注文を実行した場合、ブラウザは製品データが含まれるアーカイブを暗号化された接続経路でSICATサーバーに転送します。



SICAT Suiteは、エクスポートしたデータを自動的に削除しません。注文プロセスが完了したら、セキュリティ上の理由により、エクスポートしたデータを手動で削除する必要があります。

33 設定



SICAT Suiteのバージョンのうち、SIDEXISと結合して、SIDEXISの設定内容の多くが適用されるものは、複数あります。こうして適用された設定内容のデータは、SICAT Endoで確認できますが、変更を加えることができるのは、SIDEXISの各種設定においてのみに限定されています。

設定ウィンドウで一般設定を変更または閲覧することができます。設定のグループをクリックすると、メニューで左側に以下のボタンが表示されます。

- **一般** - これに関する情報は**一般設定の使用** [▶ ページ 198 - SIDEXIS 4]を参照してください。
- **ライセンス** - これに関する情報は**ライセンス** [▶ ページ 46 - SIDEXIS 4]を参照してください。
- **プラクティス** - 施設のロゴおよび情報テキストを表示または変更します（例えば、プリントアウトして使用するため）。これに関する情報は**歯科医院情報の使用** [▶ ページ 202 - SIDEXIS 4]を参照してください。
- **可視化** - ビジュアル化に関連する、一般的な設定内容を変更します。これに関する情報は**可視化設定の変更** [▶ ページ 203 - SIDEXIS 4]を参照してください。

設定を変更した場合、SICAT Endoが変更をすぐに反映し、お客様のユーザープロフィールに設定を保存します。



SICAT Suiteの設定は現在のワークステーションのアクティブなユーザーに適用されます。SICAT Suiteには設定で変更した事項がすぐに反映されます。SICAT Suiteでは、各種設定で別の種類へ切り替えても、変更後の設定内容を継続的に保存して、同様に維持します。

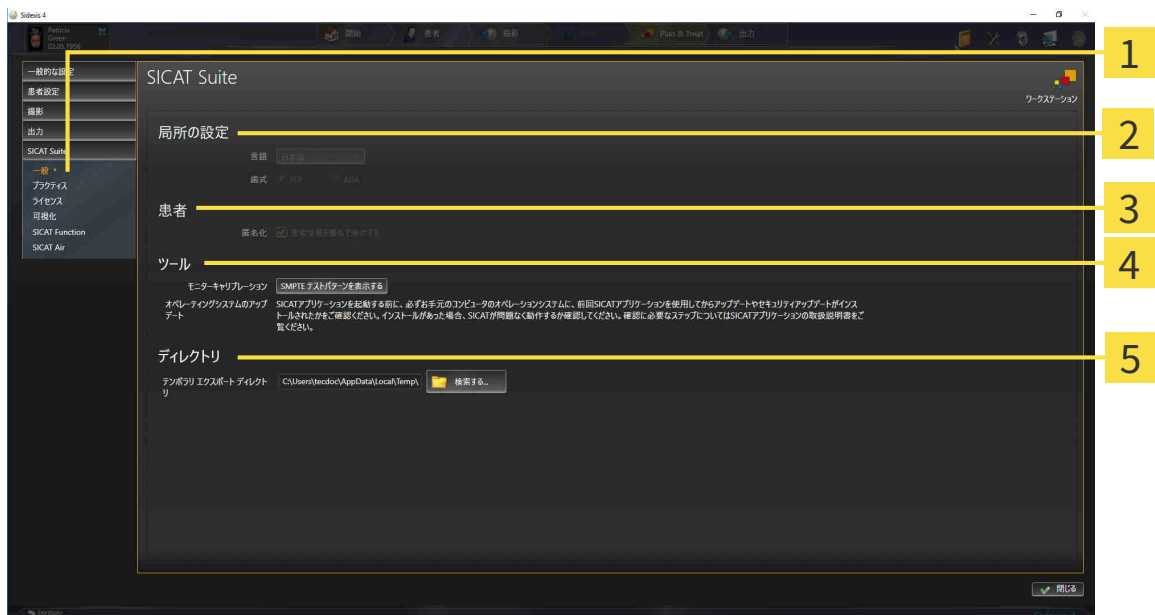
33.1 一般設定の使用



SICAT Suiteのバージョンのうち、SIDEXISと結合して、SIDEXISの設定内容の多くが適用されるものは、複数あります。こうして適用された設定内容のデータは、SICAT Endoで確認できますが、変更を加えることができるのは、SIDEXISの各種設定においてのみに限定されています。

一般的な設定内容を開くには、次の手順で行います。

1. SIDEXIS 4のタイトルバーで、**設定**のアイコンをクリックします。
 - ▶ **設定**のウィンドウが開きます。
2. **SICAT Suite**のグループをクリックします。
 - ▶ **SICAT Suite**のグループが開きます。
3. **一般**のボタンをクリックします。
 - ▶ **一般**のウィンドウが開きます。



1 タブ 一般

4 エリア ツール

2 エリア 局所の設定

5 エリア ディレクトリ

3 エリア 患者

SICAT Endo では、SIDEXISの各種設定のうち、以下に挙げる内容が適用されますが、これらは、このページで確認できます。

- **局所の設定**エリアでは、**言語**リストからユーザーインターフェースの言語を閲覧することができます。
- **局所の設定**エリアでは、**歯式**で現在の歯型図を閲覧できます。
- **患者**エリアでは、**患者情報を匿名で表示する**のチェックボックスのステータスを閲覧できます。このチェックボックスにチェックマークがあれば、SICAT Endoでは、SIDEXISで匿名化した患者データを引き継ぎます。

変更が可能な設定内容は、以下のとおりです。

- **ディレクトリ**エリアでは、**テンポラリー エクスポート ディレクトリ**欄にSICAT Suiteが注文データを保存するフォルダを指定することができます。このフォルダには、フルアクセスでなくてはなりません。

一般設定の表示または変更の他に、SMPTEテスト画像を開いて、モニターをキャリブレーションすることもできます。

- **ツール、モニターキャリブレーション**で**SMPTE テストパターンを表示する**ボタンをクリックして、モニターをキャリブレーションします。これに関する情報は**SMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーション** [▶ ページ 200 - SIDEXIS 4]を参照してください。



SICAT Endoがサポートしていない言語を、SIDEXISで選択すると、SICAT Endoでは、ユーザーインターフェースのテキストを英語で表示します。



対応している歯型図はFDIとADAです。

33.2 SMPTEテスト画像によるモニターのカリブレーション



注意

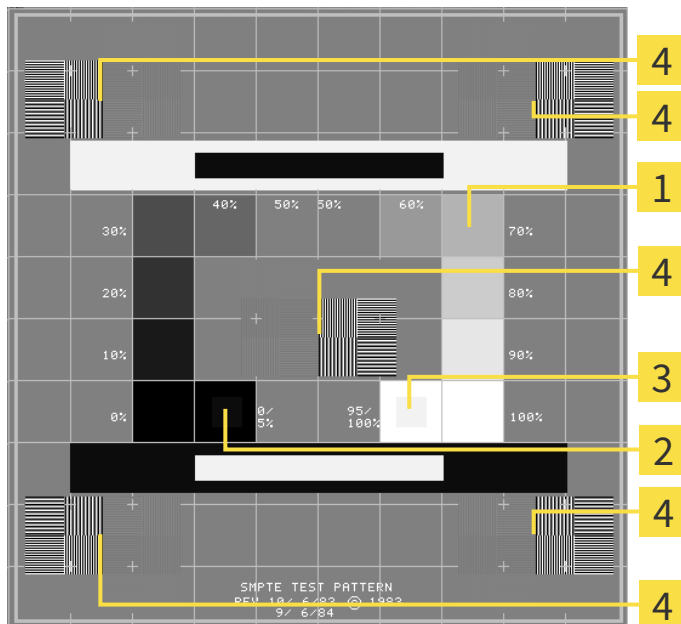
環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

4つのメインプロパティが、SICATアプリケーションのデータを表示させるモニターの特性を決定します。

- 輝度
- コントラスト
- 空間分解能（直線性）
- ひずみ（エイリアシング）

SMPTEテスト画像は参照画像であり、モニターのプロパティをチェックする際に使用します。



1 グレースケールスクエア

3 100%スクエア

2 0%スクエア

4 高コントラストのバーパターンが含まれるスクエア

輝度およびコントラストの点検

SMPTEテスト画像の中央では、一連のスクエアが黒（輝度0%）～白（輝度100%）のグレースケールを示しています。

- 0%スクエアには、0%～5%間の輝度の違いを示す小さ方のスクエアが含まれます。
- 100%スクエアには、95%～100%間の輝度の違いを示す小さ方のスクエアが含まれます。

モニターを点検または設定するには、次のように行います。

- SMPTEテスト画像はすでに開いています。
- 0%スクエアおよび100%スクエアで、内側のスクエアと外側のスクエア間に視覚的違いが見えるか点検してください。必要に応じて、モニターの設定を変更してください。



多くのモニターは、100%スクエア内の輝度の相違のみ表示され、0%スクエア内には表示されません。0%スクエア内の様々な輝度レベルの相違を改善するために、アンビエントライトを減らすことができます。

空間分解能およびひずみの点検

SMPTEテスト画像の角および中央では、6個のスクエアに高コントラストのバーパターンが表示されます。空間分解能およびひずみについては、様々な幅の、黒と白で切り替わる、垂直の線で区別できる必要があります。

- 幅が広い～狭い（6ピクセル、4ピクセル、2ピクセル）
- 水平および垂直

モニターを点検または設定するには、次のように行います。

- 高コントラストのバーパターンが表示される6個のスクエアで、全ての線が区別できるかどうか点検します。必要に応じて、モニターの設定を変更してください。

SMPTEテスト画像を閉じる

SMPTEテスト画像を閉じるには、次の手順で行います。

- ESCボタンを押します。
- ▶ SMPTEテスト画像が閉じます。

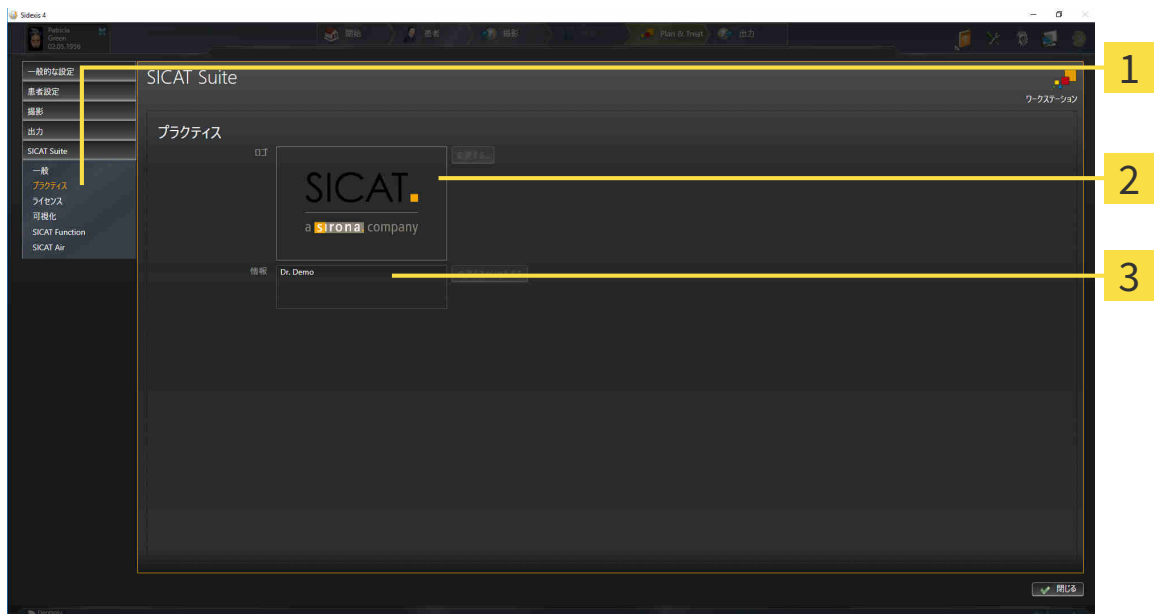
33.3 歯科医院情報の使用

SIDEXISと結合しているSICAT Suiteのバージョンには施設ロゴとSIDEXISの情報テキストが適用されています。そのため、SICAT Suiteの設定でこれらの設定の値しか閲覧できません。これらの設定内容は、SIDEXISからご希望の変更を加えるようにしてください。

SICAT Suiteの各種アプリケーションでは、このページで表示する説明文を利用して、印刷物やPDFファイルをカスタマイズします。

歯科クリニックの説明文を開くには、次の手順で行います。

1. SIDEXIS 4のタイトルバーで、**設定**のアイコンをクリックします。
▶ **設定**のウィンドウが開きます。
2. **SICAT Suite**のグループをクリックします。
▶ **SICAT Suite**のグループが開きます。
3. **プラクティス**のボタンをクリックします。
▶ **プラクティス**のウィンドウが開きます。



1 タブ **プラクティス**

2 エリア **ロゴ**

3 エリア **情報**

以下の設定を閲覧することができます。

- **ロゴ**エリアでは、施設ロゴを閲覧することができます。
- **情報**エリアでは、施設を識別するテキスト（名前、住所など）を閲覧することができます。

33.4 可視化設定の変更



注意

表示品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

SICATアプリケーションを使用する前に、表示品質が十分であるか確認してください（例えば、SMPTEテストビューで）。



注意

環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

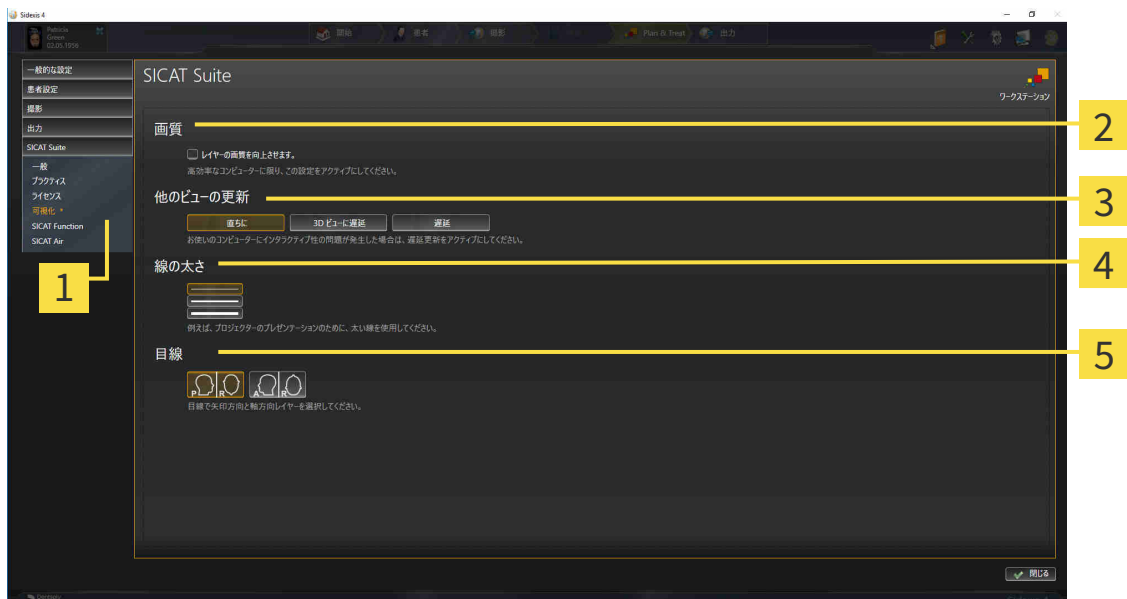
1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

可視化設定は、すべてのSICATアプリケーションのボリューム、診断オブジェクト、計画オブジェクトの可視化を決定します。

可視化 ウィンドウを開くには、次の手順で行います。

1. SIDEXIS 4のタイトルバーで、**設定**のアイコンをクリックします。
 - ▶ **設定**のウィンドウが開きます。
2. SICAT Suiteのグループをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteのグループが開きます。
3. **可視化**のボタンをクリックします。

▶ 可視化のウィンドウが開きます。



1 タブ 可視化

4 エリア 線の太さ

2 エリア 画質

5 エリア 目線

3 エリア 他のビューの更新

設定：

- **レイヤーの画質を向上させます。** - ソフトウェアが隣接するレイヤーを検知することにより、レイヤーの表示品質を改善します。高効率なコンピューターに限り、この設定をアクティブにしてください。
- **他のビューの更新** - 遅延更新は、別のレイヤーの遅延更新を犠牲にして作業に使用しているビューのインタラクティブ性を向上させます。遅延更新は、コンピューターにインタラクティブ性の不具合が確認された場合のみアクティブにします。
- **線の太さ** - 線の太さを変更します。太めの線は、プロジェクターでのプレゼンテーションに使用します。
- **目線** - 軸方向レイヤービューと矢状方向レイヤービューの目線を切り替えます。

34 サポート

SICATでご利用いただけるサポート態勢を以下に挙げます。

- PDFドキュメント
- 連絡先情報
- SICAT SuiteやSICATの各種アプリケーションで、インストール済みのものに関するご案内
以下の操作で、処理を続けてください。
- サポート態勢のページを開く [▶ ページ 206 - SIDEXIS 4]



34.1 サポート態勢のページを開く

SICAT Suite の情報 ウィンドウを開くには、次の手順で行います。

1. ヘルプのアイコンをクリックします。
2. SICAT Suite の情報項目をクリックします。

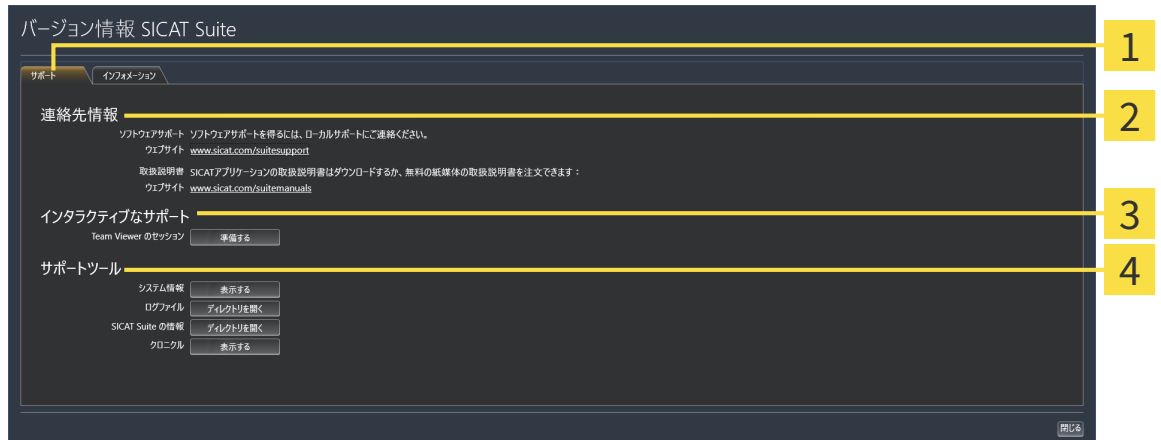
▶ SICAT Suite の情報のウィンドウが開きます。

SICAT Suite の情報ウィンドウは次のタブで構成されています：

- サポート - これに関する情報はサポート [▶ ページ 205 - SIDEXIS 4]を参照してください。
- インフォメーション - これに関する情報はインフォメーション [▶ ページ 208 - SIDEXIS 4]を参照してください。

34.2 連絡先情報およびサポートツール

サポートウィンドウには、SICATサポートの補助をうけられるように、関連する全ての情報およびツールが含まれています。



1 タブ サポート

3 エリア インタラクティブなサポート

2 エリア 連絡先情報

4 エリア サポートツール

各種の取扱説明書を入手するときのお問い合わせ先は、**連絡先情報**エリアをご覧ください。

次のツールは**インタラクティブなサポート**エリアで使用することができます。

- SICAT Endo では、**Team Viewer のセッション**エリアで、**準備する**のボタンをクリックすると、TeamViewerセッションが開きます。

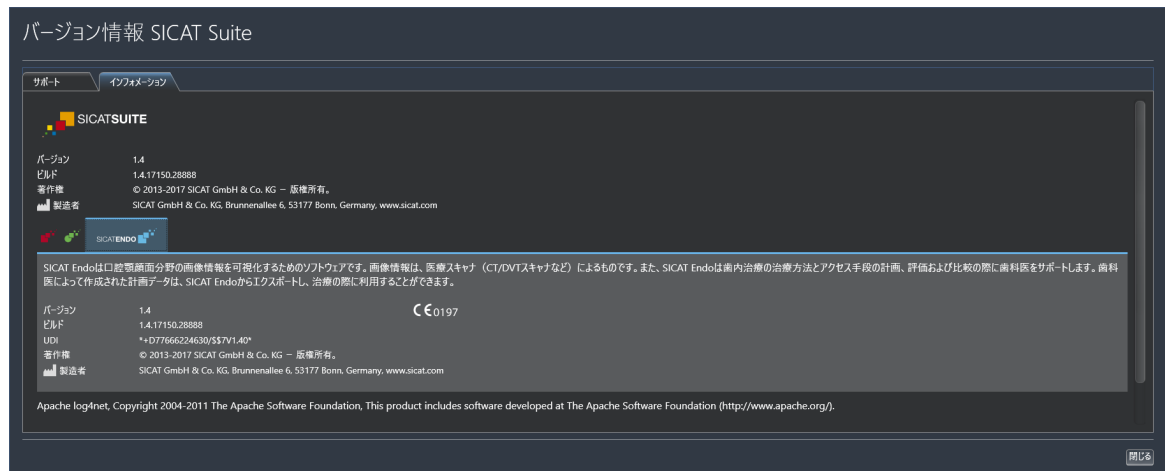
TeamViewerは、マウス/キーボードのコマンドを遠隔操作し、コンピューターの画面に表示されている内容をインターネット接続経由で転送することのできるソフトウェアです。TeamViewerは、明確な承認がある場合のみ接続を確立します。その際、SICATサポートにTeamViewer IDとパスワードを通知します。これにより、SICATサポートは現地で直接補助できるようになります。

次のツールは**サポートツール**エリアで使用することができます。

- SICAT Endo では、**システム情報**エリアで、**表示する**ボタンをクリックすると、OSのシステムに関する情報が開きます。
- SICAT Endoでは、**ログファイル**エリアで、**ディレクトリを開く**ボタンをクリックすると、Windowsエクスプローラのウィンドウで、SICAT Suiteのログディレクトリが開きます。
- SICAT Endo では、**SICAT Suite の情報**エリアで、**ディレクトリを開く**ボタンをクリックすると、現時点でのインストール状況に関する情報をテキストファイルとしてエクスポートします。
- **SICAT Suite の情報**エリアでボタン**通知を表示する**をクリックするとSICAT Endoが通知ウィンドウを表示します。

34.3 インフォメーション

インフォメーションウィンドウでは、複数のタブにSICAT Suiteおよびインストールされている全SICATアプリケーション経由で情報が表示されます。



35 データを書き込み禁止で開く

データを書き込み禁止で開くことができます。

SIDEXIS 4モジュールとしてインストールしたSICAT Endoでは、データとして変更や保存はできませんが、確認が可能なものがありますが、いずれのデータがそれに該当するのかは、ライセンスのステータスに応じて異なります。

SICAT ENDOライセンスの種類	変更せずに参照することはできますか？
なし	無
ビューア	有
フルバージョン	無

以下の場合にはビューアライセンスがなくてもSICAT Endo のスタディを参照することができます。

- SIDEXIS 4からSICAT Endoのスタディを外部にエクスポートし、他のコンピューター上のデータをSIDEXISにインポートします。SICAT Endo このコンピューター上にインストールされている必要があります。
- SIDEXIS 4から外部に SICAT Endoのスタディを含むWrap&Goパッケージを作成します。他のコンピューターにWrap&Goパッケージをインストールしてください。SICAT Endoの後にインストールしてください。

いずれの場合でも計画の変更も保存もできません。



SIDEXIS 4やSICAT Suiteを実行させるコンピューターがネットワークに接続する環境にあって、さらに、SIDEXIS 4とネットワークの構成設定によっては、複数のワークステーションに一括インストールできる場合、SIDEXIS 4は、その一括インストールに含まれる1台となることがあります。この一括インストールに含まれているときは、データセットを開いていても、結果として、他のワークステーションが原因で書込権限を失ってしまう可能性が大いにあります。こうしたケースが発生したときは、SIDEXIS 4がデータセットを直ちに閉じて終了しますので、SICAT Endoの3D治療計画スタディでは、変更内容を保存できなくなります。

変更や保存が不可能な状態でデータを開くには、次の手順で行います。

- SICAT Suiteを3D X線撮影画像と一緒にSirona SIDEXIS 4から起動します。これに関する情報はSICAT Suite をスタートする [▶ ページ 41 - SIDEXIS 4]を参照してください。
- ▶ SICAT Suiteは3D X線撮影画像および計画プロジェクトを現在のSIDEXIS 4検査からビューアモードで開きます。
- ▶ 特に問題ない場合はSICAT EndoはSIDEXIS 4のボリュームの配置とパノラマ曲線を採用します。これに関する情報はボリュームの配置およびパノラマエリア [▶ ページ 98 - SIDEXIS 4]を参照してください。



ボリュームの配置とパノラマ曲線を調整するには以下の条件を満たしている必要があります。

- 3DX線撮影画像またはSICAT Endoスタディを開くことができるライセンスを有効化済みです。これに関する情報は [ライセンス \[▶ ページ 46 - SIDEXIS 4\]](#)を参照してください。
- SICAT機能による、または他のSICATアプリケーションに関する3DX線撮影画像用の読み取り専用スタディ内にも、ボリュームの配置またはパノラマ曲線の変更による影響を受けるオブジェクトはありません。

条件が満たされていない場合、SICAT Endoがウィンドウ**ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する**内でボリュームの配置やパノラマ曲線の変更に使用できるボタンと制御素子を無効化します。

36 SICAT ENDOを閉じる

SICAT Endoを閉じるには、次の手順に従って行ってください。



- アクティブな患者ファイルのエリアで**閉じる**ボタンをクリックします。
- ▶ SICAT Suiteはアクティブな患者ファイルを保存します。
- ▶ SICAT SuiteはすべてのSICATアプリケーションを閉じます。
- ▶ SICAT Suiteはアクティブな患者ファイルを閉じます。

37 SICAT SUITEを閉じる



- 現時点で開いているスタディの左上隅にある**閉じる**ボタンをクリックします。
- ▶ SICAT Suiteが閉じます。
- ▶ SICAT Suiteでは、SICATの各種アプリケーションのうち、フルバージョンで実行させているものすべてで、変更後の治療計画プロジェクトがSIDEXIS 4に保存されます。

38 ショートカットキー



マウスポインタを特定の機能上に動かすと、SICAT Endoは機能の名称に加えて括弧内にショートカットキーを表示します。

次のショートカットキーはすべてのSICATアプリケーションで使用できます。

ショートカットキー	説明
A	角度測定を追加する
D	距離測定を追加する
F	アクティブなオブジェクトに焦点を合わせる
Ctrl + C	アクティブなビューの内容をクリップボードにコピーする
Ctrl + Z	前回のオブジェクト アクションを元に戻す
Ctrl + Y	前回戻したオブジェクト アクションをもう一度実行する
Del	アクティブなオブジェクトまたはオブジェクトグループを削除する
ESC	現在の操作を中断する（測定の追加など）
F1	有効なSICATアプリケーションで取扱説明書が開いている場合、ウィンドウ サポート が開きます。

39 SICAT SUITEのアンインストール



SICAT Suiteアンインストールプログラムは、コンピューターに有効なライセンスを保持します。そのため、SICAT Suiteインストールプログラムはアンインストール前に、ライセンスを自動的に削除しないように警告します。SICAT Suiteを特定のコンピューターで使用するのをやめる場合、アンインストールする前にライセンスを無効にしてください。これに関する情報はライセンスをライセンスプールへ返却する [▶ ページ 53 - SIDEXIS 4]に記載されています。



アンインストールプログラムは、SICAT WebConnectorを自動的に閉じてしまうため、SICAT Suiteをアンインストールする前に、SICAT WebConnectorがすべての注文を完全にアップロードしているかを確認してください。SICAT WebConnectorに関する内容は、*SICAT WebConnector* [▶ ページ 191 - SIDEXIS 4]の節をご覧ください。

SICAT Suiteをアンインストールするには、次のように行います。

- ☑ SICAT WebConnector はすべての注文を正常にアップロードしました。
- 1. Windowsコントロールパネルで**プログラムおよび機能**をクリックします。
 - ▶ **プログラムおよび機能**のウィンドウが開きます。
- 2. リストから、SICAT Suiteのバージョンが含まれる**SICAT Suite**を選択します。
- 3. **アンインストール**のボタンをクリックします。

- ▶ アンインストールプログラムが起動し、**進捗状況**ウィンドウが開きます。



- ▶ アンインストールが終了すると、**確認**ウィンドウが開きます。



4. **終了する**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteアンインストールプログラムが閉じます。



SICAT Suiteアンインストールプログラムを開くために、SICAT-SuiteインストールプログラムをSICAT Suiteがすでにインストールされているコンピューター上で起動することができます。



SICAT Suiteアンインストールプログラムは、SICAT Suiteと一緒にインストールされたいくつかの前提ソフトウェアのアンインストールプログラムを呼び出します。別のアプリケーションが引き続き前提ソフトウェアを必要としている場合、これらは保持されます。

40 安全に関する注意事項

3D X線撮影画像



注意

不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。



注意

不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。

3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。



注意

DICOMに適合していないX線機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、DICOM規格に適合することが証明されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。



注意

3D X線撮影画像以外のデータを、測定に基づく治療計画のための情報源として使用すると、誤った診断および治療結果につながるおそれがあります。

測定機能を使用する場合には、診断と計画には3D X線撮影画像を使用してください。

口腔内撮影画像



注意

口腔内撮影画像の登録に不適切な3D X線撮影画像を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

1. アーチファクトをほんの少しまたは全く含まない3D X線撮影画像のみを使用してください。
2. 解像度が十分に高い3D X線撮影画像のみを使用してください。



注意

患者および3D X線撮影画像が一致しない、または撮影時期が3D X線撮影画像の撮影時期が離れている口腔内撮影画像を使用した場合には、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

口腔内撮影画像の患者と3D X線画像の患者が一致しており、その撮影時期が3D X線撮影時期と離れていないことを確認してください。



3D X線撮影画像に対して向きが間違っ口腔内撮影画像を使用すると、間違っ診断および治療につながるおそれがあります。

1. 登録された口腔内撮影画像が3D X線撮影画像に対して正しく配置されているか確認してください。
2. 必要に応じて、口腔内撮影画像を回し、正しく配置させてください。



3D X線撮影画像と一致しない口腔内撮影画像を使用すると、間違っ診断および治療につながるおそれがあります。

口腔内撮影画像が3D X線撮影画像が正しく登録されていることを確認してください。



医療用製品として承認されていない口腔内撮影用デバイスは、間違っ診断と治療結果につながるおそれがあります。

医療用製品として承認されている口腔内撮影用デバイスのみを使用するようにしてください。



口腔内撮影画像の完全性または品質が十分でない場合、間違っ診断および治療につながるおそれがあります。

インポートされた口腔内撮影画像の完全性と品質を確認してください。



口腔内撮影画像や3D X線撮影画像の品質が不十分な場合は、口腔内撮影画像の登録のためのメカニズムが失敗する可能性があります。

必ず正しい登録が可能な口腔内撮影画像と3D X線撮影画像のみを使用してください。



口腔内撮影画像の品質および精度が十分でない場合、間違っ診断および治療につながるおそれがあります。

必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および精度の口腔内撮影画像を使用してください。



口腔内撮影画像の位置または向きが間違っていると、間違っ診断および治療につながるおそれがあります。

登録後に、3D X線撮影画像の歯に対して口腔内撮影画像の位置と向きが正しくなっていることを確認してください。

表示条件



注意

表示品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

SICATアプリケーションを使用する前に、表示品質が十分であるか確認してください（例えば、SMPTEテストビューで）。



注意

環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

データ管理



注意

患者名や3D X線撮影画像の突き合わせでミスがあると、結果として、患者を撮影した画像の取り違えを招くことになりかねません。

3D X線撮影ビューで、インポートしようとしているものや、すでにSICATのアプリケーションに読み込み済みのものがあれば、突き合わせる先の患者名が正しいこと、突き合わせる撮影画像に関する情報が正しいことをいずれもチェックしてください。



注意

オリジナルデータを削除すると、データを消失するおそれがあります。

インポートした後にオリジナルデータを削除しないでください。



注意

患者ファイリングのデータバックアップシステムが故障すると、患者データが完全に消失するおそれがあります。

定期的に全ての患者ファイリングのデータバックアップを取ってください。



注意

患者ファイルを削除すると、それに含まれる3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルも全て削除されます。

患者ファイルの削除は、それに含まれる3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルが全て再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。



削除した患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトは元に戻すことができません。

患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトの削除は、これらのデータが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。



3D X線撮影画像を削除すると、それに依存する計画プロジェクトも全て削除されます。

3D X線撮影画像の削除は、それに依存する全計画プロジェクトが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

オペレーターの資格



資格のない者が本ソフトウェアを使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

ソフトウェアの使用は、必ず専門の知識のある有資格者が行ってください。

安全性



情報システムにあるセキュリティの脆弱性は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

1. 情報処理のシステム環境において、セキュリティ上の脅威を発見し、それらを回避するために、組織内部で指針を定めて周知するよう、徹底してください。
2. 最新のウィルススキャナをインストールし、ウィルススキャンを実行してください。
3. ウィルススキャナの定義ファイルを定期的に更新してください。



ワークステーションへの不正なアクセスは、患者データの秘密情報およびインテグリティに関するリスクにつながるおそれがあります。

ワークステーションへのアクセスは資格のある人に限定してください。



注意

サイバーセキュリティの問題は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

お手元のSICATアプリケーションにおいて、サイバーセキュリティにかかわるトラブルの疑いがあるときは、直ちにテクニカルサポートまで、ご連絡ください。

ソフトウェアインストール



注意

ソフトウェアに改変を加えると、結果として、このソフトウェアが起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。

1. ソフトウェアのインストールに変更を加えないでください。
2. ソフトウェアのインストールディレクトリにあるコンポーネントを削除または変更しないでください。



注意

インストールメディアが損傷すると、インストールに失敗する可能性があります。

インストールメディアは慎重に取り扱い、適切に保管してください。



注意

お手元のシステムがシステム要件を満たしていない場合は、結果として、このソフトウェアが起動しなくなったり、または正常に機能しない可能性があります。

ソフトウェアをインストールする前に、ご使用のシステムが最小ソフトウェア/ハードウェア要件を満たしているか確認してください。



注意

不十分な承認は、ソフトウェアインストールまたはソフトウェアアップデートが失敗する原因になる場合があります。

ソフトウェアをインストールまたはアップデートする場合、使用するシステムに十分な承認があることを確認してください。



OSに改変を加えると、結果として、SICATアプリケーションが起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。

1. SICATアプリケーションを起動する前に、必ずお手元のコンピュータのオペレーションシステムが前回SICATアプリケーションを使用してからアップデートやセキュリティアップデートをインストールしたかを確認してください。
2. お手元のコンピュータのオペレーションシステムに更新プログラムまたは背級レティアアップデートがインストールされている場合、取扱説明書に記載されている必要手順でSICATアプリケーションのチェックを実行してください。
3. SICATアプリケーションの動作が取扱説明書に記載されている動作と異なる場合、ソフトウェアをそれ以上使用せず、直ちにSICATサポートまでお問い合わせください。

注文



注文に誤ったデータがあると、誤った注文となる可能性があります。

注文をするときには、注文のための正しいデータの選択と転送を確認してください。



注文を誤ると誤った治療の原因となるおそれがあります。

1. 注文を送信する前にご注文内容をご確認ください。
2. 注文の適切な治療計画を確認してください。

光学印象



3DX線撮影画像以外のデータを唯一の情報源として使用すると、結果として、診断や治療を誤ることになりかねません。

1. 診断や治療計画の立案にあたって利用する情報源としては、3DX線撮影画像を優先させてください。
2. 光学印象データなどの他のデータは、補助的な情報源としてのみ利用してください。



不適切な光学印象用機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず医療機器として承認されている機器の光学印象データを使用してください。



3D X線撮影画像の患者と日付が一致しない光学印象データを使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

患者データの患者と日付が、表示された3D X線撮影画像の患者および日付と一致していることを確認してください。



光学印象データのインテグリティまたは品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

インポートした光学印象データのインテグリティと品質を確認してください。



光学印象データの品質および正確性が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および正確性の光学印象データを利用してください。



過度なアーチファクト、不十分な解像度、または記録のための点の欠如は、光学印象の記録に失敗する原因になるおそれがあります。
例：3D X線撮影画像の過度なアーチファクトは、モーション/メタルアーチファクトです。

必ず正確な記録を可能にする光学印象と3D X線撮影画像のみを使用してください。



互いに一致しない光学印象の記録プロセスでマークを選択すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

光学印象データを記録する場合、3D X線撮影画像と光学印象に一致するマーキングで慎重に選択します。



間違って記録された光学印象データおよび3D X線撮影画像を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

記録された光学印象が3D X線撮影画像に対して正確に配置されているか確認してください。

ネットワーク



SICATアプリケーションデータを信頼できないネットワークファイルシステムに保存すると、データの損失につながるおそれがあります。

ネットワーク管理者と共に、SICATアプリケーションデータを希望のネットワークファイルシステムに保存できるようにしてください。



SICAT Suiteおよび付属のSICATアプリケーションを他の機器と一つのコンピューターネットワークまたはメモリーネットワーク内で供用すると、患者、ユーザー、その他の人に未知の危険が及ぶおそれがあります。

ネットワークに関連する危険を特定、分析、判断するため、各組織内で規則を作成してください。



ネットワーク環境を変更すると、新しい危険につながるおそれがあります。例えば、ネットワーク構成の変更、追加機器またはコンポーネントのネットワークへの接続、機器またはコンポーネントのネットワークからの分離、ネットワーク機器またはコンポーネントのアップデートまたはアップグレードなどです。

ネットワークを変更する度に、新たなネットワークリスク分析を実施してください。

歯式



歯の番号の割り当てが間違っていると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

選択された歯の番号と実際の歯の番号が一致していることを確認してください。

ドリル深さ



ドリル深さが間違っていると、間違った治療につながるおそれがあります。

計画されたドリル深さと、選択されたドリルが対応していることを確認してください。

計画オブジェクト



測定と計画オブジェクトの表示に3Dビューを使用すると、間違った診断と治療につながるおそれがあります。

3Dビューは方向合わせおよび追加の情報源としてのみ使用してください。

41 精度

次の表はすべてのSICATアプリケーションの精度を示しています。

距離測定の精度	< 100 μm
角度測定の精度	< 1度
表示精度	< 20 μm

用語集

ADA

American Dental Association (米国歯科医師会)

CPR

3D X線撮影画像からの2D画像再構成を行う Curved Planar Reformation (曲面多断面再構成) は、複雑な構造を簡略化して表示する際に使用されます。

EndoLine

EndoLineは、治療を行う根管のマーキング、そして根尖位置の特定に利用される多機能測定線です。

FDI

Fédération Dentaire Internationale (国際歯科連盟)

SICATポータル

SICATポータルは、SICATにプリントを注文することのできるインターネットページです。

SIXD

光学印象を交換するためのファイルフォーマット。

SMPTE

Society of Motion Picture and Television Engineers (映画テレビ技術者協会)

SSI

光学印象を交換するためのファイルフォーマット。

STL

Surface Tessellation Language、メッシュデータを交換するための標準ファイルフォーマット (例えば、光学印象を含む)。

アプリケーション

SICATの各種アプリケーションは、いずれも SICAT Suiteに付属するプログラムです。

スポットライト

口腔内撮影画像の登録における、円形の口腔内撮影画像の登録に口腔内撮影画像および3D投影のオーバーレイを検証するための円形に強調された画像の一部。

ドリル穴

ソフトウェアでビジュアルに表現され、編集することができる、EndoLineをの基礎として計画されたドリル経路。

フレーム

3Dビューでは、フレームに2Dレイヤービューの位置が表示されます。

記録

空間配置

光学印象

光学印象は、歯、印象材または石膏モデルの3D表面撮影の結果です。

口腔内撮影画像

口腔内撮影画像は、個々の歯の2D X線撮影画像で、口の外側にあるX線源の歯の背後にある歯科用フィルムによって撮影され、詳細の高い正確性がその特徴です。

十字線

十字線は別のレイヤービューとの交差線です。

通知ウィンドウ

通知ウィンドウとは、完了した手順に関するメッセージを、モニター画面の右下端に表示するものをいいます。

索引

アイコン

ビュー	77	矢印を描く	174
画像のツールバー	78	スクリーンショットの作成	177
トリミング部分を移動させる	84	描画ツールの設定	176
EndoLineウィザード	140	ドリル穴を計画する	161
EndoView	145	ドリル穴	
十字線、フレーム	86	ロックを解除する	161
輝度およびコントラスト	82	削除	161
最大化と復元	81	ロックする	161
スクリーンショットの作成	90	データを書き込み禁止で開く	209
スクロール	85	データエクスポート	181
切替	80	アンインストール	214
検査ウィンドウの非表示/表示	88	設定	197
検査ウィンドウの移動	87	一般的な設定内容を確認する、変更する	198
ズーム	84	Praxis情報を表示または変更する	202
リセットする	89	可視化設定の変更	203
アプリケーションを切り替える	44	EndoLine	
ワークスペース	70	編集する	151
調整する	75	色とテキストを調整する	154
口腔内撮影画像	73	確認箇所を追加する	155
パノラマ	72	確認箇所を削除する	155
スクリーンショットの作成	76	確認箇所を移動する	155
SIDEXIS 4の出力ページヘスクリーンショットを		EndoLineウィザード	139
追加する	76	ビュー	140
切り替える	74	ドリル穴を計画する	161
リセットする	75	ドリル穴	139
ユーザーインターフェース		EndoLine	139
SICAT Endo	56	EndoLinesをセットする	151
SICAT Suite	43	EndoView	145
エリアをマスキングする	137	歯を選択する	148
このバージョンの特徴	29	歯の領域をプリアラインメントする	149
注文	182	EndoLinesをセットする	151
再起動後の自動アップロード	192	マウスボタンを使用する	151
ドリルテンプレートをショッピングカートに入		EndoView	145
れる	183	調整する	151
データを別のコンピュータから送信する	193	回転	146
バックグラウンドでのデータ送信	189	最初のステップ	34
アップロードの中断および続行	192	取扱説明書	
SICATポータル	190	オンラインヘルプとして開く	45
カートをチェックする	188	記号、スタイル	16
用途	8	概要	17
ハンドアウト用の画像やスクリーンショット		ハンドアウト	
円を描く	175	作成する	180
		スクリーンショットの作成	177
		準備する	178

インポートする		元に戻し、もう一度実行する	64
口腔内撮影画像	124	SICAT Endoオブジェクト	66
適応症	8	光学印象	110
インストール	20	他のSICATアプリケーションから再使用する	120
アンインストール	214	インポートおよび登録	112
口腔内撮影画像を登録する	131	STLインポート	117
エリアをマスキングする	137	パノラマエリア	99
プリアライメントを調整する	134	調整する	106
口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う	129	患者教化	173
口腔内撮影画像ワークスペース		登録ウィザード	128
一般的なお知らせ	73	エリアをマスキングする	137
口腔内撮影画像	122	口腔内撮影画像を登録する	131
インポートする	124	口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う	129
互換性のある口腔内撮影用センサー	123	閉じる	212
歯を割り当てる	124	スクリーンショット	
歯の番号	124	ハンドアウト用に作成する	177
口腔内撮影画像		ビューで作成する	90
登録する	131	ワークスペースを使って作成する	76
登録ウィザード	128	SICAT Endo	
プリポジショニング	129	ユーザーインターフェース	56
互換性のある口腔内撮影用センサー	123	SICAT Endoを閉じる	211
ライセンス	46	SICAT Endoスタディ	
表示する	48	SIDEXIS4で	39
自動アクティベート	49	SICATポータル	190
ライセンスプールに返却する	53	SICAT Suite	
手動でアクティブ化する	51	ユーザーインターフェース	43
バウチャーコードを使用する	55	閉じる	212
測定		開始する	41
距離測定を追加する	168	SICAT WebConnector	191
測定点を移動する	171	安全に関する情報	13
測定値を移動する	172	危険レベル	14
概要	167	オペレーターの資格	15
移動	171	SIDEXIS 4	
角度測定を追加する	169	モジュールを登録する	37
モジュールを登録する		フェーズバー	38
SIDEXIS 4	37	ビューのスクリーンショットを追加する	90
モニターキャリブレーション	200	ワークスペースのスクリーンショットを追加す る	76
オブジェクト		タイムライン	42
削除する	64	SIDEXIS4	
焦点を合わせる	64	SICAT Endoスタディ	39
オブジェクトおよびオブジェクトグループをア クティブにする	62	SMPTEテストパターン	200
オブジェクトおよびオブジェクトグループの表 示/非表示	63	言語	18
オブジェクトグループの開閉	62	STLインポート	117
オブジェクトバー	61	サポート	205
オブジェクトツールバー	64	ヘルプを開く	45
		連絡先情報	207

サポートウィンドウを開く	206
製品情報	208
ツール	207
システム要件	10
ショートカットキー	213
SICAT Suiteの概要	18
切替	
アプリケーション	44
検査ウィンドウ	71
バージョン	
相違点	29
ボリュームの配置	98
調整する	101
バウチャーコードを使用する	55
カート	
開く	187
ワークフローのツールバー	58
ワークフロー	34
歯を選択する	148
歯の領域をプリアラインメントする	149

数字

3Dビュー	91
切り抜きモードを切り替える	97
視線方向を変更する	92
表示モードを切り替える	94
構成設定を行う	95



SICAT ENDO バージョン1.4

取扱説明書 | 日本語 | SIDEXIS XG

目次 - SIDEXIS XG

1 意図された用途および適応症.....	6
2 バージョン履歴	7
3 システム要件	8
4 安全に関する情報.....	11
4.1 危険レベルの定義	12
4.2 オペレーターの資格	13
5 使用するアイコンおよび強調.....	14
6 取扱説明書の概要.....	15
7 SICAT Suiteの概要	16
8 SICAT Suiteのインストール	18
9 オペレーティングシステムのアップデートのためのテスト手順を実行します	24
10 SICAT Suiteの更新、修復.....	26
11 このバージョンの特徴.....	27
12 SICAT Endoの標準ワークフロー	30
13 SIDEXIS XGのプラグインとしてSICAT Suiteを登録、削除する	34
14 SICAT Suite をスタートする	36
15 SICAT Suiteのユーザーインターフェース.....	38
16 SICATのアプリケーションを相互に切り替える	40
17 取扱説明書を開く	41
18 ライセンス.....	42
18.1 「ライセンス一覧」ウインドウを開く	44
18.2 インターネット接続を使用してライセンスを有効にする	45
18.3 ライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にする	47
18.4 ライセンスをライセンスプールへ返却する	49
18.5 バウチャーコードを使用する	51
19 SICAT Endoのユーザーインターフェース	52
19.1 ワークフローのツールバー	54
19.2 オブジェクトバー	57
19.3 オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理	59
19.4 オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理.....	61
19.5 SICAT Endoオブジェクト	63

20 ワークスペース	67
20.1 パノラマワークスペースの概要	68
20.2 口腔内撮影画像ワークスペースの概要	70
20.3 アクティブなワークスペースを切り替える	71
20.4 アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット	72
20.5 ワークスペースのスクリーンショットを作成する	73
21 ビュー	74
21.1 ビューの調整	75
21.2 アクティブなビューの切り替え	77
21.3 ビューの最大化および復元	79
21.4 2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット	80
21.5 ビューのズームおよび切り抜きの移動	82
21.6 レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール	83
21.7 十字線およびフレームの移動、非表示、表示	84
21.8 検査ウィンドウの移動、非表示、表示	85
21.9 ビューをリセットする	87
21.10 画像のスクリーンショットを作成する	88
22 3Dビューの調整	89
22.1 3Dビューの目線を変更する	90
22.2 3Dビューの表示タイプを切り替える	92
22.3 3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する	93
22.4 3Dビューの切り抜きモードの切り替え	95
23 ボリュームの配置およびパノラマエリア	96
23.1 ボリュームの配置を調整する	98
23.2 パノラマエリアを調整する	103
24 光学印象	107
24.1 光学印象をインポートし記録する	108
24.2 STLフォーマットの光学印象の場合の追加手順	114
24.3 他のSICATアプリケーションからの光学印象を再使用する	116
25 口腔内撮影画像	118
25.1 互換性のある口腔内撮影用センサー	120
25.2 口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます	121
26 登録ウィザード	125
26.1 口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う	126
26.2 口腔内撮影画像を登録する	128

26.3	横方向および軸方向のプリアライメントを調整する	131
26.4	エリアをマスキングする	134
27	EndoLineウィザード	136
27.1	EndoLineウィザードの中のビュー	137
27.1.1	EndoView	142
27.1.2	EndoViewを回転する	143
27.2	治療計画のための歯を選択する	145
27.3	歯の領域をプリアラインメントする	146
27.4	EndoLinesをセットする	148
27.5	色とテキストを調整する	151
27.6	確認箇所を追加、移動および削除する	152
27.7	3Dビューを回転する	155
27.8	光学印象を3Dビューで表示する	156
27.9	マウスボタンを使用する	157
27.10	ドリル穴を計画する	158
28	距離/角度測定	164
28.1	距離測定を追加する	165
28.2	角度測定を追加する	166
28.3	測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する	168
29	患者教化	170
29.1	画像とスクリーンショットの作成	171
29.2	ハンドアウトの準備	175
29.3	ハンドアウトを生成する	177
30	データエクスポート	178
30.1	「データの転送」ウィンドウを開く	179
30.2	データのエクスポート	180
31	注文プロセス	182
31.1	ドリルテンプレートをショッピングカートに入れる	183
31.2	カートを開く	187
31.3	カートをチェックして、注文プロセスを完了する	188
31.4	インターネット接続を使用した注文の終了	189
31.5	SICATポータルでの注文手順	190
31.6	SICAT WebConnector	191
31.7	インターネット接続を使用しない注文の終了	193
32	設定	197
32.1	一般設定の使用	198

32.2 SMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーション	200
32.3 歯科医院情報の使用	202
32.4 可視化設定の変更	203
33 サポート	205
33.1 サポート態勢のページを開く	206
33.2 連絡先情報およびサポートツール	207
33.3 インフォメーション	209
34 データを書き込み禁止で開く	210
35 SICAT Endoを閉じる	212
36 SICAT Suiteを閉じる	213
37 ショートカットキー	214
38 SICAT Suiteのアンインストール	215
39 安全に関する注意事項	218
40 精度	226
用語集	227
索引	228

1 意図された用途および適応症

SICAT Endo 口腔・顎顔面領域の画像情報をビジュアル化するためのソフトウェアです。画像情報は、医療スキャナ(CT/DVTスキャナなど)によるものです。また、SICAT Endoは、治療の選択肢と歯内治療のためのアクセスルートの計画、評価および比較において歯科医をサポートします。歯科医によって作成された計画データは、SICAT Endoからエクスポートして、治療の実施において使用することができます。

適応症

SICAT Endo 次の目的のためのソフトウェアです。

- 口腔・顎顔面領域診断のサポート
- さまざまな治療の選択肢を比較する際のサポート
- 歯内治療計画におけるサポート
- 歯内穿孔テンプレートをを用いた治療計画におけるサポート

2 バージョン履歴

VERSION 1.4

- 初版発行

3 システム要件



注意

お手元のシステムがシステム要件を満たしていない場合は、結果として、このソフトウェアが起動しなくなったり、または正常に機能しない可能性があります。

ソフトウェアをインストールする前に、ご使用のシステムが最小ソフトウェア/ハードウェア要件を満たしているか確認してください。

プロセッサ	クワッドコア：2.3 GHz
メインメモリ	8 GB
グラフィックカード	専用* DirectX 11以上 ビデオメモリ：2 GB 現行のドライバで、ウィンドウズ・ディスプレイ・ドライバ・メモリWDDM1.0以降のバージョンを使用できること。
ディスプレイ	画面解像度：画素密度が100%～125%のとき、1920×1080ドット以上** 画面解像度：画素密度が100%～200%のとき、3840×2160ドット以下**
ハードディスクの空き容量	20 GB、その他、データセット用の補助メモリ容量が必要
記憶媒体	インストールファイルが保存された外部記憶媒体へのアクセス
入力装置	キーボード、マウス
ネットワーク	Ethernetで、100 Mbpsまたは1000 Mbpsを推奨
患者教化用プリンター	300 dpi以上 紙形式はDIN A4またはUSレターサイズ
オペレーティングシステム	Windows 7 SP1 (64ビット版)、更新ファイルKB2670838を適用済みであること Windows 8 (64ビット版、デスクトップ) Windows 8.1 (64ビット版、デスクトップ) Windows 10 (64ビット版、デスクトップ)

ウェブブラウザ	Microsoft Internet Explorer 11以降のバージョン Mozilla Firefox 39以降のバージョン Google Chrome 44以降のバージョン JavaScriptが有効になっていること。 標準のブラウザに設定しておいてください。
PDFビューア	例えば、Adobe Reader DC以降のバージョン
SICAT Suiteをプラグインとして、SIDEXIS XGにインストール	バージョン2.6.1（64ビット版）
SICAT Suiteをモジュールとして、SIDEXIS 4にインストール	バージョン4.2 SiPlanAPI V4
SICAT Suiteをプラグインとして、SIDEXIS 4にインストール	バージョン4.1.2（64ビット版）



*SICAT Suiteでご使用いただけるグラフィックカードは、パフォーマンスレベルがNVIDIA GeForce 960 GTXと同等か、または、それを上回る専用のものに限りです。統合グラフィックカードには対応していません。

**画面を低解像度にして画素密度を大きくすると、それが原因で、ユーザーインターフェースのある一部で、ソフトウェアの表示が不完全になることがあります。

ディスプレイは、SMPTEテスト画像が正確に表示されるように調整する必要があります。この調整に関する内容は、*SMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーション* [▶ ページ 200 - SIDEXIS XG](#)をご覧ください。

前提ソフトウェア

SICAT Suiteは、以下のソフトウェア・コンポーネントを必要としますが、これらコンポーネントが未インストールのときは、SICAT Suiteがインストールを行います。

- Microsoft .NET Framework 4.5
- CodeMeterライセンス管理ソフト6.30d
- SQL Server Compact Edition 4.0
- SICAT WebConnector

SICAT WebConnectorはSICATサーバーとの通信用に特定のポートを必要とします。このポートはファイアウォール内でも有効にされている必要があります。

プロトコル	接続方向	ポート
HTTP	送信	80
HTTPS	送信	443
FTPS管理	送信	21
FTPSデータ転送	送信	49152~65534



SICAT WebConnectorがなくても注文を実行することができます。これに関する情報は注文プロセス [▶ ページ 182 - SIDEXIS XG]を参照してください。


4 安全に関する情報

安全関連の章節を以下に挙げますが、お読みいただくことが大切です。

- 危険レベルの定義 [▶ ページ 12 - SIDEXIS XG]
- オペレーターの資格 [▶ ページ 13 - SIDEXIS XG]
- 安全に関する注意事項 [▶ ページ 218 - SIDEXIS XG]

4.1 危険レベルの定義

この取扱説明書では、オペレータ要員の皆様や患者様が負傷しないようにすること、および、物的損害を予防することの両者を目的として、安全にかかわる識別表示として以下のものを使用しています。

 注意	この表示は、回避しなかった場合に、比較的、軽度の負傷を招く原因になりうる、危険な状況であることを示します。
---	---

注記	重要であるが、安全に関連していると思なされない情報を示しています。
----	-----------------------------------

4.2 オペレーターの資格



注意

資格のない者が本ソフトウェアを使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

ソフトウェアの使用は、必ず専門の知識のある有資格者が行ってください。

このソフトウェアを使用する要員の皆様は、スキルを有する熟練者の方か、または、正規の教育訓練を修了された方のいずれかに限定してください。

教育またはトレーニングを終了する、または本ソフトウェアを一般的なトレーニングの枠内で使用する場合、必ず有資格者が常時監視している状態で使用してください。

本ソフトウェアを使用するための前提条件：

- 本取扱説明書を読んでいること。
- ソフトウェアの基本構造および機能に習熟していること。
- ソフトウェアの故障を認識し、必要に応じて、適切な手順を実行することができること。

5 使用するアイコンおよび強調

アイコン

この取扱説明書では、以下の記号を使用しています。



この注意アイコンは、例えば代替手順のような追加情報を示しています。

強調

SICAT Suiteに表示される要素のテキストおよび記号は、**太字**で強調されています。これに含まれるユーザーインターフェースのオブジェクト：

- 範囲の記号
- ボタンの記号
- アイコンの記号
- 画面に表示される注意およびメッセージのテキスト

取扱説明

取扱説明は番号付きリストで記載されています。

☑ 前提条件にはこのアイコンが付けられています。

1. 手順には番号が付けられています。

▶ 中間結果はこのアイコンが付けられ、挿入されています。

2. 中間結果の後、それ以降の手順が続きます。

▶ 最終条件にはこのアイコンが付けられています。

- 一つの手順のみで構成される指示にはこのアイコンが付けられています。

6 取扱説明書の概要

SICAT Endo は、他の各種アプリケーションとともに、SICAT Suiteの一部を構成します。

SICAT Suiteは、SICATの各種アプリケーションを実行させる環境を提供します。したがって、各種アプリケーションのインストールは、SICAT Suiteにより行います。これに関する情報は*SICAT Suite*のインストール [▶ ページ 18 - *SIDEXIS XG*]を参照してください。

現在、SICAT Suiteとしてお使いいただけるバージョンは、3種類あります。バージョンによって、操作手順の異なるものがいくらかあります。そのため、この取扱説明書では、バージョンごとで以下のように独立させています。

- *SIDEXIS 4*のモジュールを追加
- *SIDEXIS XG*のプラグイン
- スタンドアロン版

SICAT Suiteをインストールするときは、いずれか1バージョンを選択する操作は不要です。

各種アプリケーションのアンインストールも同様に、SICAT Suiteにより行います。これに関する情報は*SICAT Suite*のアンインストール [▶ ページ 215 - *SIDEXIS XG*]を参照してください。

7 SICAT SUITEの概要

SICAT Suiteは、以下のコンポーネントより構成されています。

- SICAT Function - SICAT Functionの用途については、SICAT Functionの取扱説明書をご参照ください。
- SICAT Air - SICAT Airの用途については、SICAT Airの取扱説明書をご参照ください。
- SICAT Endo - SICAT Endoの用途については、SICAT Endoの取扱説明書をご参照ください。

言語

SICAT Suiteのユーザーインターフェースは以下の言語に対応しています。

- 英語
- ドイツ語
- フランス語
- 日本語
- スペイン語
- イタリア語
- オランダ語
- ポルトガル語
- ロシア語

ライセンス認証

SICATアプリケーションまたは各機能を有効にするには以下の手順が必要となります。

- その場で販売担当者にご連絡ください。
- バウチャーコードを受け取ることができます。
- SICATポータルでバウチャーコードからライセンスキーが生成されます (SICATホームページからアクセス可能)。
- SICATがお客様のアクティベーションキーにライセンスキーを追加します。
- アクティベーションキーでSICATアプリケーションまたはSICAT Suiteをインストールしたコンピュータ上の各機能を有効化します。

フルバージョンおよびビューアモード

SICAT Suiteは2種類のモードでスタートすることができます。

- 最低一つのSICATアプリケーションのビューアライセンスが有効な場合、SICAT Suiteがビューアモードで起動します。
- 少なくとも一つのSICATアプリケーションのフルバージョンライセンスを有効にしている場合、SICAT Suiteはフルバージョンで起動します。

原則として以下のルールを適用しています。

- 有効なフルバージョンライセンスのあるアプリケーションはフルバージョンでスタートします。
- 有効なビューアライセンスのあるアプリケーションはビューアモードでスタートします。
- 有効なライセンスのないアプリケーションはスタートしません。
- SICAT Suiteをインストールするときに、一つのモードに決定する必要はありません。

8 SICAT SUITEのインストール



ソフトウェアに改変を加えると、結果として、このソフトウェアが起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。

1. ソフトウェアのインストールに変更を加えないでください。
2. ソフトウェアのインストールディレクトリにあるコンポーネントを削除または変更しないでください。



インストールメディアが損傷すると、インストールに失敗する可能性があります。

インストールメディアは慎重に取り扱い、適切に保管してください。



お手元のシステムがシステム要件を満たしていない場合は、結果として、このソフトウェアが起動しなくなったり、または正常に機能しない可能性があります。

ソフトウェアをインストールする前に、ご使用のシステムが最小ソフトウェア/ハードウェア要件を満たしているか確認してください。



不十分な承認は、ソフトウェアインストールまたはソフトウェアアップデートが失敗する原因になる場合があります。

ソフトウェアをインストールまたはアップデートする場合、使用するシステムに十分な承認があることを確認してください。



お手元のコンピュータでは、Windowsの **オートスタート** 機能がオフに設定されていることがあります。この場合、光媒体をWindowsファイルエクスプローラーで開き、ファイル名にSICAT Suiteのバージョンが含まれる **SICATSuiteSetup.exe** ファイルを手動でスタートすることができます。

SICAT Suiteをインストールするには、次のように行います。

☑ お手元のコンピュータでは、システムの要件が満たされているようにしておいてください。これに関する情報はシステム要件 [▶ ページ 8 - SIDEXIS XG]を参照してください。

1. SICAT Suiteインストールメディアをコンピューターの光学ドライブに挿入します。

▶ オートスタートのウィンドウが開きます。



2. オートスタートのウィンドウで、**SICATSuiteSetup.exe** を実行する のオプションを選択します。このとき、ファイル名には、SICAT Suiteのバージョン番号が含まれています。

▶ ソフトウェアがコンピューター上で使用できない場合、前提ソフトウェアをインストールします。

- ▶ SICAT Suiteのインストールプログラムが起動し、はじめに のウィンドウが開きます。



3. SICAT Suiteのインストールプログラムで使用する言語は、お好みのものを、はじめに のウィンドウの右上隅から選択したら、次へ をクリックします。

- ▶ 使用許諾契約書のウィンドウが開きます。



4. エンドユーザー使用許諾契約書をもれなく通読し、使用許諾契約書に同意します。のチェックボックスにチェックマークを入れたら、次へをクリックします。

- ▶ オプションのウィンドウが開きます。



5. SICAT Suiteのインストールプログラムにより、SICAT Suiteをインストールする先のフォルダが、ハードディスク上にありますが、このフォルダを変更するときは、**検索する**のボタンをクリックします。

- ▶ **フォルダを選択する**のウィンドウが開きます。

6. SICAT Suiteインストールプログラムに「SICAT Suite」ディレクトリを作成させたいフォルダを参照し、**OK**をクリックしてください。

- ▶ フォルダを選択すると、SICAT Suiteのインストールプログラムが、そのフォルダへのパスを**ソフトウェアをどこにインストールしますか?**のボックス内に貼り付けます。

7. お手元のコンピュータにSIDEXIS XGか、または、SIDEXIS 4がインストールしてある場合、**SIDEXIS 搭載の SICAT Suite を使用したい**のチェックボックスは、入力が可能です。SICAT Suiteの登録は、インストール中でも可能ですが、後ほど、SIDEXIS XGのプラグインか、または、SIDEXIS 4のモジュールとして、マニュアル操作によっても結構です。

- ▶ **SIDEXIS 搭載の SICAT Suite を使用したい**のチェックボックスにチェックマークを入れた場合、**デスクトップにショートカットを作成します**のチェックボックスは、グレーアウト表示で入力できません。

8. 入力が可能な場合は、**デスクトップにショートカットを作成します**のチェックボックスにチェックマークを入れるか外すかのいずれかを行います。

9. **インストールする**のボタンをクリックします。

- ▶ 進捗状況のウィンドウが開きます。



- ▶ SICAT Suiteと残りの前提ソフトウェアをインストールします。
- ▶ インストールが完了すると、確認のウィンドウが開きます。



10. **終了する**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteインストールプログラムが閉じます。

9 オペレーティングシステムのアップデートの ためのテスト手順を実行します



OSに改変を加えると、結果として、SICATアプリケーションが起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。

1. SICATアプリケーションを起動する前に、必ずお手元のコンピュータのオペレーションシステムが前回SICATアプリケーションを使用してからアップデートやセキュリティアップデートをインストールしたかを確認してください。
2. お手元のコンピュータのオペレーションシステムに更新プログラムまたは背級レティアップデートがインストールされている場合、取扱説明書に記載されている必要手順でSICATアプリケーションのチェックを実行してください。
3. SICATアプリケーションの動作が取扱説明書に記載されている動作と異なる場合、ソフトウェアをそれ以上使用せず、直ちにSICATサポートまでお問い合わせください。

お使いのコンピュータのオペレーションシステムに更新プログラムがインストールされている場合、SICAT Endoが正常に動作しているか確認します。以下の点検手順を実行してください。点検中に異常を発見した場合は影響を受けるコンピュータ上のSICAT Endoの使用を中止し、SICATサポートまでお問い合わせください。

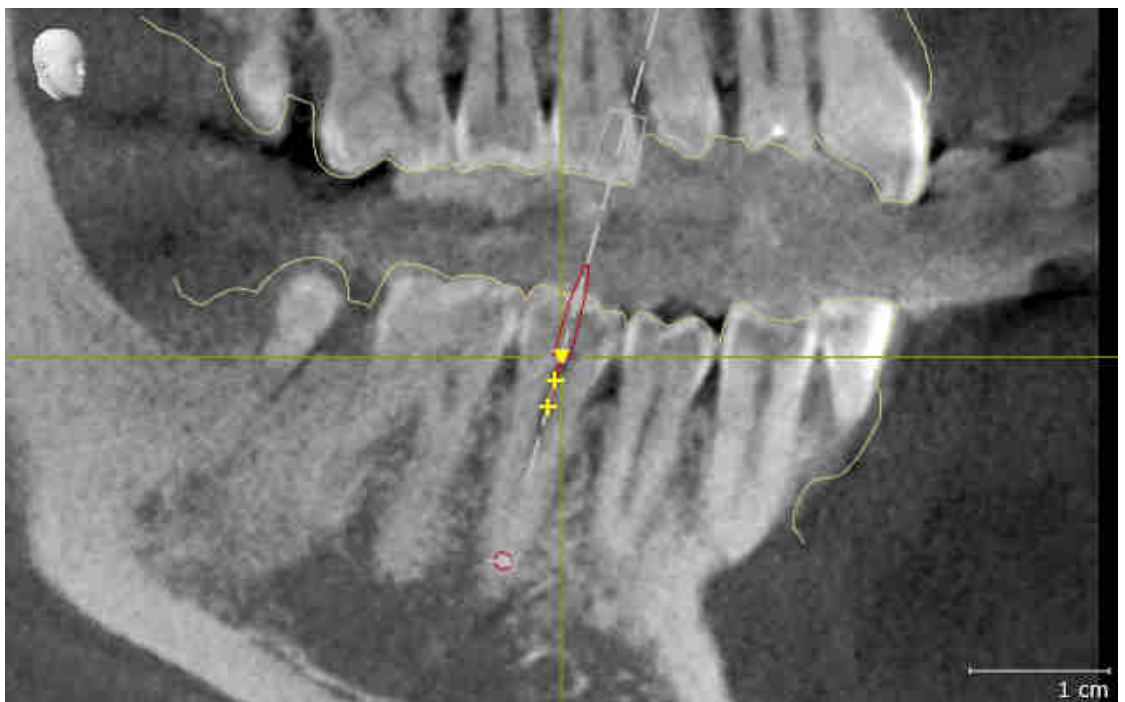
準備

1. 意図しない変更が行われていないことを確認するために、患者「Patient Axx」を削除してください。
2. ファイル「SICASuite_ReferenceDataset_1.4.zip」から基準データセットをインポートしてください。データセットはSICATスイートのインストールメディアにあります。
3. 基準データセット「Patient Axx」をSICAT Endoで開いてください。

ENDOLINE

1. FDI-歯型図が有効になっていることを確認してください。これに関する情報は、**一般設定の使用** [▶ ページ 198 - SIDEXIS XG]をご参照ください。
2. パノラマ-作業領域が有効になっていることを確認してください。
3. ビューを標準値に戻してください。
4. オブジェクトブラウザにおいて、グループ「歯 45」を開いてください。
5. オブジェクトブラウザで、エレメント「15.24mm歯45番」を選択し、それに焦点を合わせてください。

6. 縦ビューを次のスクリーンショットと比較してください。



7. オブジェクトブラウザにおいて、グループ「歯 25」を開いてください。
8. オブジェクトブラウザで、エレメント「13.63 mm歯25番」を選択し、それに焦点を合わせてください。
9. 横断ビューを次のスクリーンショットと比較してください。



10 SICAT SUITEの更新、修復

SICAT SUITEの更新

SICAT Suiteを更新するときは、SICAT Suiteのインストールプログラムを起動して、**更新する**のボタンをクリックしてください。更新にあたって、インストールプログラムは、最初にSICAT Suiteの旧バージョンをアンインストールします。データと設定内容は、いずれももれなく保持されます。



SICAT Suiteのスタンドアロン版では、バージョンの更新にあたって、患者カルテフォルダの更新が必要です。新規バージョンの初回起動時や、更新前の患者ファイリングを開いた場合、SICAT Suiteでは、患者カルテフォルダの更新を希望するかどうかを尋ねてきます。尋ねるメッセージを確認したら、SICAT Suiteは、患者ファイルの更新を自動で行います。**注意！更新後の患者ファイルは、SICAT Suiteの旧バージョンで使用することができなくなります。**



SIDEXIS XGをSIDEXIS 4.1.3以降のバージョンに更新し、その後、SICAT Suiteを更新すると、SICAT Suiteのインストールプログラムは、SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして登録します。3D X線撮影画像を開くと、SICAT Suiteでは、その3D X線撮影画像に関する3D治療計画スタディがSIDEXIS XG内に存在するかどうかをチェックし、存在すれば、そのスタディをSIDEXIS XGからSIDEXIS 4へ適用します。

SICAT SUITEの修復

SICAT Suiteを修復するときは、SICAT Suiteのインストールプログラムを起動して、**修理する**のボタンをクリックしてください。データと設定内容は、いずれももれなく保持されます。

SICAT Suiteでは、更新と修復の両方で、SICAT Suiteのインストールプログラムを使用します。これに関する情報はSICAT Suiteのインストール [▶ ページ 18 - SIDEXIS XG]を参照してください。

11 このバージョンの特徴

SICAT Endo単独、または他のソフトウェアにリンクされた形で使用するによって、特定の領域に違いがあります。

SIDEXIS XGのプラグインとしてマニュアル操作により記録します

SICAT Suiteは、インストール中に自動で埋込が行われますが、さらに、SIDEXIS XGのプラグインとしてマニュアル操作により記録や削除を行うことができます。これに関する情報は *SIDEXIS XGのプラグインとしてSICAT Suiteを登録、削除する* [▶ ページ 34 - *SIDEXIS XG*]を参照してください。

プログラムの起動

SIDEXIS XGのプラグインとした場合、SICAT Suiteは、外部のアプリケーションとして起動します。SICAT SuiteをSIDEXIS XGのプラグインとして起動させる手順は、*SICAT Suite* をスタートする [▶ ページ 36 - *SIDEXIS XG*]の節をご覧ください。

患者データ、立体画像のデータ

SIDEXISに結合したバージョンのSICAT Endoでは、SIDEXISの患者データとボリュームデータを利用します。したがって、データのバックアップは、SIDEXIS向けで設定されている手順に沿って行われます。



患者データに加えて、SICATの各種アプリケーションのユーザー設定内容についても、バックアップ保存を行っておくのがよいでしょう。ユーザー設定内容は、各ユーザー別に2つのディレクトリに分割して保存されています。これら2つのディレクトリを開くときは、Windowsのエクスプローラで、アドレスバーに `%appdata%\SICAT GmbH & Co. KG` と `%localappdata%\SICAT GmbH & Co. KG` を入力してください。

設定

SIDEXISに結合したバージョンでは、SICAT Suiteで表示されるパラメータが、いくつかの設定内容のもののみ限定されますが、その理由は、SICAT Suiteで適用されるのがSIDEXISの設定内容であるためです。

ライセンス

スタンドアロン版と、別のソフトウェアに結合した、SICAT Suiteのバージョンは、いずれも共通のライセンスで使用できます。SICAT Suiteをインストールするときに、一つのバージョンに決定する必要はありません。

スタディで、書込権限のあるものとなないものを開く



SIDEXIS XGとSICAT Suiteが作動しているコンピューターが一つのネットワーク環境にあり、SIDEXIS XGとネットワーク構成がこれを可能にするなら、SIDEXIS XGはマルチワークステーションインストールの一部となることができます。これにより、別のワークステーションで開かれているデータセットを書き込み禁止のアモードのみで開けるようになります。

SICAT Endoのスタディで変更を行って、変更内容を保存できるようにするためには、以下の条件を満たしておく必要があります。

- SICAT Endoのフルバージョンライセンスのアクティベーションを完了しておくこと。
- SICAT Endoのスタディが所属する3D X線撮影画像を開いているワークステーションが他にないこと。

ライセンスのアクティベーションが完了していなければ、SICAT Endoのスタディでは、変更と変更内容の保存がいずれもできません。ビューアライセンスをアクティベーション済みの場合、3DX線撮影画像とSICAT Endoスタディを表示することができます。

以下の表には、ライセンスのアクティベーション状況に応じた、機能の利用可否を示します。

機能	フルバージョンライセンスがアクティベート済み	ビューアライセンスがアクティベート済み	ライセンスはアクティベーションが未完了
サポート領域	有	有	有
一般設定	有	有	有
変更を行う	有	無	無
変更内容を保存せず、データを確認する	無	有	無
ヘルプ	有	有	有

以下の場合にはビューアライセンスがなくてもSICAT Endoのスタディを参照することができます。

- SIDEXIS 4からSICAT Endoのスタディを外部にエクスポートし、他のコンピューター上のデータをSIDEXISにインポートします。SICAT Endo このコンピューター上にインストールされている必要があります。
- SIDEXIS 4から外部にSICAT Endoのスタディを含むWrap&Goパッケージを作成します。他のコンピューターにWrap&Goパッケージをインストールしてください。SICAT Endoの後にインストールしてください。

いずれの場合でも計画の変更も保存もできません。

アプリケーションのライセンスに対して、アクティベーションが完了していても、条件によっては、SICAT Endoのスタディで変更を行ったり、変更内容を保存したりが、いずれもできないときがあります。その原因として、例えば注文プロセス実行中の場合が考えられます。

詳細な情報は、[データを書き込み禁止で開く](#) [▶ ページ 210 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。

12 SICAT ENDOの標準ワークフロー



SICAT Suiteおよび付属のSICATアプリケーションを他の機器と一つのコンピューターネットワークまたはメモリーネットワーク内で供用すると、患者、ユーザー、その他の人に未知の危険が及ぶおそれがあります。

ネットワークに関連する危険を特定、分析、判断するため、各組織内で規則を作成してください。



SICATアプリケーションデータを信頼できないネットワークファイルシステムに保存すると、データの損失につながるおそれがあります。

ネットワーク管理者と共に、SICATアプリケーションデータを希望のネットワークファイルシステムに保存できるようにしてください。



ネットワーク環境を変更すると、新しい危険につながるおそれがあります。例えば、ネットワーク構成の変更、追加機器またはコンポーネントのネットワークへの接続、機器またはコンポーネントのネットワークからの分離、ネットワーク機器またはコンポーネントのアップデートまたはアップグレードなどです。

ネットワークを変更する度に、新たなネットワークリスク分析を実施してください。



サイバーセキュリティの問題は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

お手元のSICATアプリケーションにおいて、サイバーセキュリティにかかわるトラブルの疑いがあるときは、直ちにテクニカルサポートまで、ご連絡ください。



情報システムにあるセキュリティの脆弱性は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

1. 情報処理のシステム環境において、セキュリティ上の脅威を発見し、それらを回避するために、組織内部で指針を定めて周知するよう、徹底してください。
2. 最新のウィルススキャナをインストールし、ウィルススキャンを実行してください。
3. ウィルススキャナの定義ファイルを定期的に更新してください。

**注意**

ワークステーションへの不正なアクセスは、患者データの秘密情報およびインテグリティに関するリスクにつながるおそれがあります。

ワークステーションへのアクセスは資格のある人に限定してください。



SICAT Suiteを使った作業を始める前に、本取扱説明書および、特にすべての安全上の注意事項をよくお読みください。後で情報を調べる時のため、本取扱説明書は手元に置いてください。

インストール

SICAT Suiteをインストールする手順は、*SICAT Suite*のインストール [[▶ ページ 18 - SIDEXIS XG](#)]をご参照ください。

SIDEXIS XGのプラグインとしてSICAT Suiteを登録する手順は、*SIDEXIS XG*のプラグインとして*SICAT Suite*を登録、削除する [[▶ ページ 34 - SIDEXIS XG](#)]の節をご覧ください。

フルバージョンで使用可能にする

- SICAT Endoのライセンスが取得済みのときは、ライセンスのアクティベーションを行って、フルバージョンで使用できるようにします。これに関する情報はライセンス [[▶ ページ 42 - SIDEXIS XG](#)]を参照してください。



SICAT Endoのライセンスを取得していない場合は、3D X線撮影画像をビューアモードで個別に開いてください。ビューアモードに関する内容は、*データを書き込み禁止で開く* [[▶ ページ 210 - SIDEXIS XG](#)]の節をご覧ください。

設定

各種設定について、お好みの内容に変更するときは、**設定**のコーナーから行ってください。これに関する情報は、*設定* [[▶ ページ 197 - SIDEXIS XG](#)]をご参照ください。

データセット

SICAT Endo 3つの異なるファイルタイプを組み合わせます。

- 3D X線撮影画像。例として、Sirona GALILEOSによるものがあります。
- 例えば、Sirona XIOS XGによる口腔内撮影画像
- デジタル光学印象。例として、Sirona CERECによるものがあります。

データセットを収集する

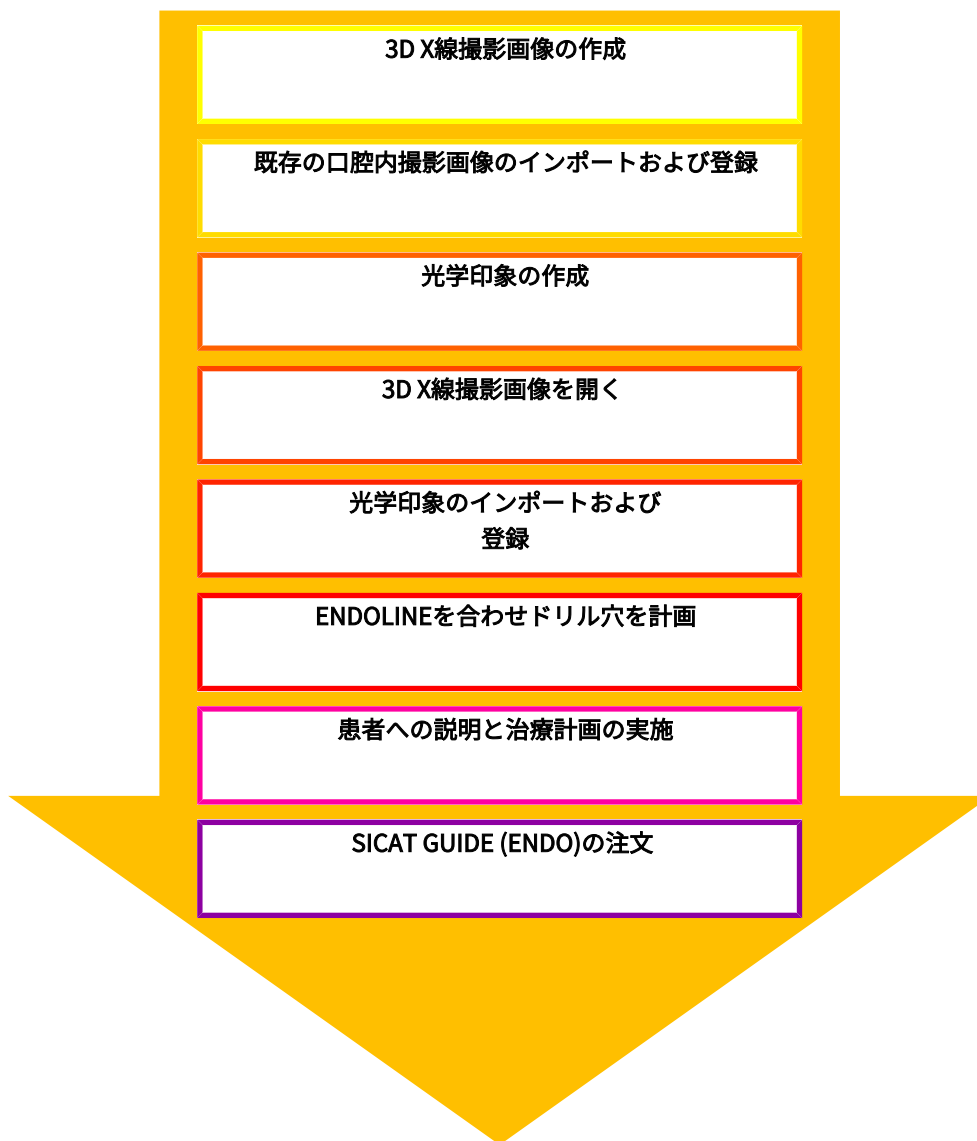
1. 必要に応じて、患者の口腔内撮影画像を作成してください。この手順に関する内容は、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

2. 患者の3D X線撮影画像を作成してください。この手順に関する内容は、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
3. 上顎骨または下顎骨のデジタル光学印象を作成します。この手順に関する内容は、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

データセットを開く

- SIDEXIS XGのデータを使って作業するために、SIDEXIS XGで3D X線撮影画像が含まれる検査を開き、SICAT Suiteをスタートします。これに関する情報はSICAT Suite をスタートする [▶ ページ 36 - SIDEXIS XG]を参照してください。

歯内治療における典型的なデジタルワークフロー



作業手順 SICAT ENDO

1. 必要に応じて、ボリュームの配置とパノラマエリアを調整してください。これに関する情報は、[ボリュームの配置およびパノラマエリア](#) [▶ ページ 96 - SIDEXIS XG]をご参照ください。
2. SICAT Endoで、既存の口腔内撮影画像をインポートして登録してください。これに関する情報は、[口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます](#) [▶ ページ 121 - SIDEXIS XG]および[口腔内撮影画像を登録する](#) [▶ ページ 128 - SIDEXIS XG]をご参照ください。
3. 3D X線撮影画像のデータとともに、光学印象をインポートして記録します。これに関する情報は、[光学印象をインポートし記録する](#) [▶ ページ 108 - SIDEXIS XG]をご参照ください。
4. EndoLinesを合わせ、ドリル穴を計画します。これに関する情報は、[歯の領域をプリアライメントする](#) [▶ ページ 146 - SIDEXIS XG]、[EndoLinesをセットする](#) [▶ ページ 148 - SIDEXIS XG]および[ドリル穴を計画する](#) [▶ ページ 158 - SIDEXIS XG]をご参照ください。
5. Endo計画オブジェクトを口腔内撮影画像ワークスペースで評価してください。これに関する情報は、[口腔内撮影画像ワークスペースの概要](#) [▶ ページ 70 - SIDEXIS XG]をご参照ください。
6. 患者教化を実行し、それに基づいて患者のハンドアウトを作成してください。これに関する情報は、[患者教化](#) [▶ ページ 170 - SIDEXIS XG]をご参照ください。
7. SICAT GUIDE (ENDO) 穿孔テンプレートをご注文ください。これに関する情報は、[注文プロセス](#) [▶ ページ 182 - SIDEXIS XG]をご参照ください。
8. 例えば、セカンドオピニオンを求める場合、データをエクスポートします。これに関する情報は、[データエクスポート](#) [▶ ページ 178 - SIDEXIS XG]をご参照ください。

データセットを使用する作業を終了する、中断する

- 作業を終了または中断する時は、SICAT Suiteを閉じて、これを保存してください。これに関する情報は[SICAT Suiteを閉じる](#) [▶ ページ 213 - SIDEXIS XG]を参照してください。

取扱説明書、サポート

取扱説明書は、**SICAT Suite ヘルプ**のウィンドウからご覧ください。これに関する情報は、[取扱説明書を開く](#) [▶ ページ 41 - SIDEXIS XG]をご参照ください。

それ以降のサポートは、**サポート**のページをご覧ください。これに関する情報は、[サポート](#) [▶ ページ 205 - SIDEXIS XG]をご参照ください。

13 SIDEXIS XGのプラグインとしてSICAT SUITEを登録、削除する



SICAT SuiteをSIDEXIS XGへインストールし、該当するチェックボックスにチェックマークを入れておくと、SICAT Suiteのインストールプログラムは、プラグインとしての登録を自動で行います。このインストールに関する内容は、*SICAT Suite*のインストール [▶ ページ 18 - SIDEXIS XG]の節をご覧ください。

「NGPLUGINMANAGER」ウィンドウを開く

1. Windowsのキーを押して、**SIDEXIS Manager**を入力し、**SIDEXIS Manager**アイコンをクリックします。
 - ▶ **SIDEXIS Manager** のウィンドウが開きます。
2. **SIDEXIS Manager** のウィンドウで、**NGPluginManager**のアイコンをクリックします。
3. 必要に応じて、Windowsのユーザーアカウント制御のメッセージが出力されますので、それを承諾します。
 - ▶ **プラグイン・マネジャー** のウィンドウが開きます。

SICAT SUITEを登録する

- SICAT Suiteを正常にインストールします。これに関する情報は*SICAT Suite*のインストール [▶ ページ 18 - SIDEXIS XG]を参照してください。
- プラグイン・マネジャー**ウィンドウはすでに開いています：
 1. **Add**のボタンをクリックします。
 - ▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。
 2. SICAT Suiteのインストールディレクトリに切り替えます。名称は、例えば、C:\Program Files\SICAT\SICAT Suiteになっています。
 3. Sicat.PlanAndTreat.XG.exeのファイルを選択します。
 4. **開く**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteは、SIDEXISのプラグインとして登録しておきます。

SICAT SUITEアイコンをセットする

1. ビューのメニューで、**設定**のアイテムをクリックします。
 - ▶ **設定**ウィンドウが開き、そこに**コマンド**のタブがあります。
2. **カテゴリ**で、**プラグイン・プログラム**項目をクリックします。
3. **設定**ウィンドウから、SIDEXIS XGアイコンバー内でご希望の位置まで、**SICAT Suite**のアイコンをドラッグします。

SICAT SUITEを削除する

- SICAT Suiteは、プラグインとしてSIDEXISに登録してある状態にしておきます。
 - プラグイン・マネジャー**ウィンドウはすでに開いています：
1. **SICAT Suite**項目を選択します。
 2. **Remove**のボタンをクリックします。
 3. SIDEXISを再起動します。
- ▶ 以上で、SICAT SuiteをSIDEXISのプラグインとして使用することは、できなくなります。

14 SICAT SUITE をスタートする



注意

患者名や3D X線撮影画像の突き合わせでミスがあると、結果として、患者を撮影した画像の取り違えを招くことになりかねません。

3D X線撮影ビューで、インポートしようとしているものや、すでにSICATのアプリケーションに読み込み済みのものがあれば、突き合わせる先の患者名が正しいこと、突き合わせる撮影画像に関する情報が正しいことをいずれもチェックしてください。



注意

不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。



注意

不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。

3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。

SICAT Endoを開始するには、まずSICAT Suiteを起動する必要があります。

SIDEXIS XGのプラグインとしたSICAT Suiteを起動させるときは、次の手順で行います。

- ☑ SICAT Suiteを正常にインストールします。これに関する情報はSICAT Suiteのインストール [▶ ページ 18 - SIDEXIS XG]を参照してください。
- ☑ SICAT Suiteは、SIDEXIS XGのプラグインとして登録を完了させておきます。これに関する情報はSIDEXIS XGのプラグインとしてSICAT Suiteを登録、削除する [▶ ページ 34 - SIDEXIS XG]を参照してください。SIDEXIS XGへSICAT Suiteをインストールすると、登録は、自動で行うことが可能です。
- ☑ SICAT Suiteボタンは、すでにSIDEXIS XGに作成されています。
- ☑ SIDEXIS XGで、3D X線撮影画像を開いておきます。

- SICAT Suiteのボタンをクリックします。

- ▶ SICAT Suiteにより、SICATのアプリケーションの1つでデータセットが開きます。



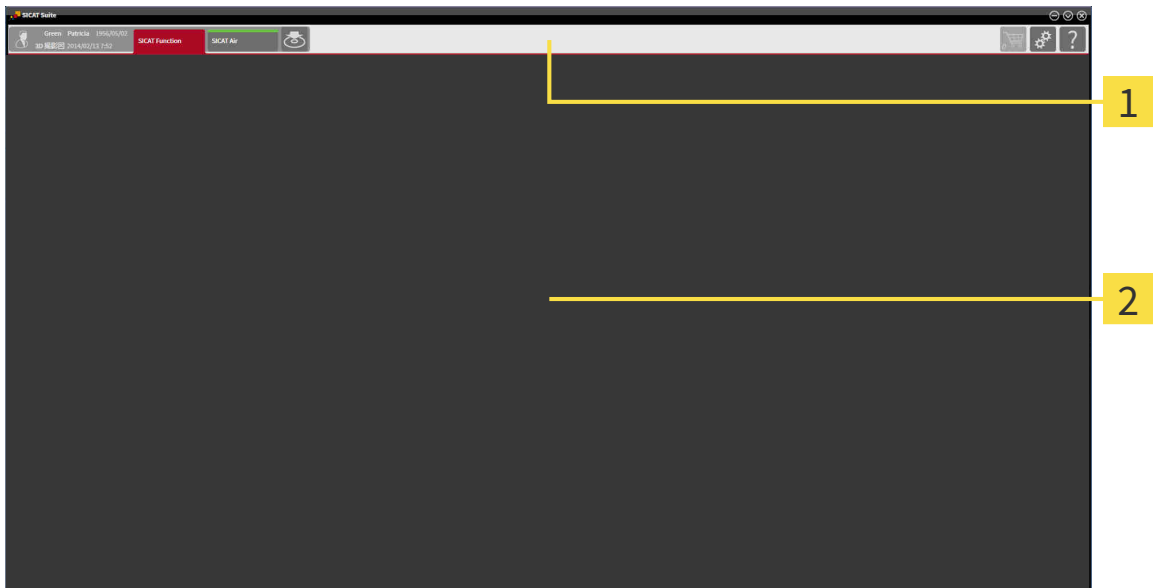
3D X線撮影画像を、それが関係するスタディなしに開き、かつ、ライセンスのアクティベーションを完了している、SICATのアプリケーションが1つのみのときは、そのSICATのアプリケーションが起動します。3D X線撮影画像を、それが関係する、複数のスタディとともに開き、かつ、ライセンスのアクティベーションを完了している、SICATのアプリケーションが複数あるときは、前回、スタディに変更を加えたアプリケーションが起動します。



次の2つの場合、データセットはビューアモードでしか開きません：ライセンスがアクティブになっていない場合、または別のSIDEXIS XGワークステーションがそのデータセットを使用している場合。ビューアモードに関する内容は、[データを書き込み禁止で開く](#) [▶ ページ 210 - SIDEXIS XG]の節をご覧ください。

15 SICAT SUITEのユーザーインターフェース

SICAT Suiteのユーザーインターフェースは、以下のアイテムから構成されています。



1 ナビゲーションバー

2 アプリケーション領域

- SICAT Suite 上端のナビゲーションバーは、各種ウインドウとアプリケーション間で切り替えるためのタブが表示されます。
- **アプリケーション領域**は、SICAT Suiteの上記以外の部分にあって、SICATのアプリケーションのうち、開いているもののユーザーインターフェースを表示します。

ナビゲーションバーは、2つの異なるエリアから構成されています。左側のエリアと右側のエリアは常に表示されています。

左側のエリアには次のタブがあります。



- **患者データ、ボリュームデータ** - 作業対象として選択している患者データとボリュームデータの属性で、SIDEXIS XGの設定内容に応じて異なります。

- **アプリケーション** - ボタンを利用すると、SICATの各種アプリケーションを相互に切り替えることができます。これに関する情報は *SICATのアプリケーションを相互に切り替える* [▶ ページ 40 - SIDEXIS XG] を参照してください。



- **データを共有する** - これに関する情報は *データエクスポート* [▶ ページ 178 - SIDEXIS XG] を参照してください。

右側のエリアには次のタブがあります。



- カート - これに関する情報は注文プロセス [▶ ページ 182 - SIDEXIS XG]を参照してください。



- 設定 - これに関する情報は設定 [▶ ページ 197 - SIDEXIS XG]を参照してください。



- サポート - これに関する情報はサポート [▶ ページ 205 - SIDEXIS XG]を参照してください。

16 SICATのアプリケーションを相互に切り替える

SICATアプリケーションを相互に切り替えるには、次のように行います。



- ナビゲーションバーから、SICATのアプリケーションで、切替をご希望のものが表示されている方のボタンをクリックしてください。
- ▶ SICAT Suiteは、選択したアプリケーションに切り替わります。

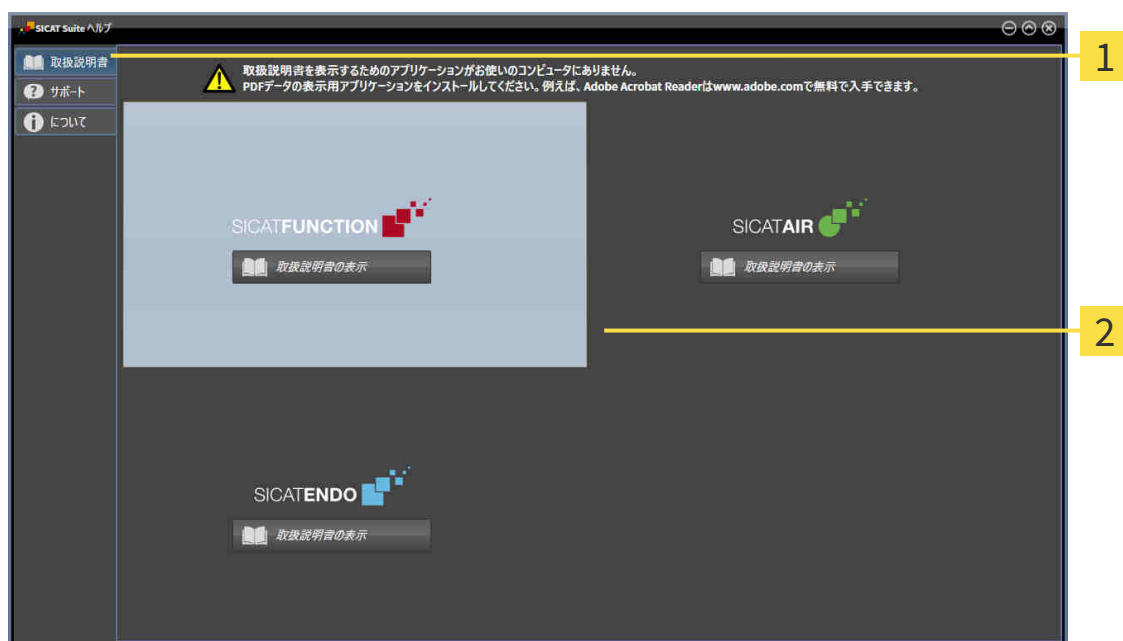
17 取扱説明書を開く

サポートウィンドウを経由することで、SICATアプリケーションの取扱説明書をPDFファイル形式で参照可能です。



サポートウィンドウは、ナビゲーションバーのサポートアイコンをクリックする、またはF1ボタンをクリックすることによって開くことができます。

サポートウィンドウは、以下に示す外観です。



1 タブ 取扱説明書

2 ウィンドウ 取扱説明書

希望するヘルプは、**取扱説明書を表示する**ボタンをクリックして開くことができます。

18 ライセンス

SICAT Suiteはライセンスがアクティベート済みのSICATアプリケーションのみ表示します。



SICAT SuiteのSIDEXISと接続されたバージョンではSICAT Endo治療計画も有効なSICAT Endoライセンスなしで表示することができます。

以下の種類のライセンスがあります。

- ビューアライセンスがあればアプリケーションをビューアモードで無期限使用することができます。
- デモライセンスでは一つまたは複数のSICATアプリケーションのフルバージョンに期間限定でアクセスすることができます。
- フルバージョンライセンスでは一つまたは複数のSICATアプリケーションのフルバージョンに無期限でアクセスすることができます。

SICATアプリケーションまたは各機能を有効にするには以下の手順が必要となります。

- その場で販売担当者にご連絡ください。
- バウチャーコードを受け取ることができます。
- SICATポータルでバウチャーコードからライセンスキーが生成されます (SICATホームページからアクセス可能)。
- SICATがお客様のアクティベーションキーにライセンスキーを追加します。
- アクティベーションキーでSICATアプリケーションまたはSICAT Suiteをインストールしたコンピュータ上の各機能を有効化します。

以下はライセンスの有効化および無効化に適用されます。

- お客様が受け取るSICATアプリケーションのライセンスキーはお使いの国で許可されているものだけです。
- コンピューター上でアクティベーションキーを有効化すると、含まれているSICATアプリケーションの各ライセンスまたは機能がコンピューターに結合されます。使用したライセンスは、もう別のコンピューターでのアクティベーションに使用することはできません。
- ライセンスは、各SICATアプリケーションまたは各機能用に無効化することができます。ライセンスを返却すると、そのライセンスをあらためてアクティベーションできるコンピュータは、同一または別の違いを問いません。
- SICATアプリケーションのフルバージョンライセンスを返却した場合、お使いの国で許可されている限り、自動的にビューアライセンスを受け取ります。
- フルバージョンライセンスを有効化すると、自動的にお使いの国で許可されている全てのアプリケーション用のビューアライセンスを受け取ります。

バウチャーコードをアクティベーションキーと交換する方法はバウチャーコードを使用する [▶ ページ 51 - SIDEXIS XG]をご覧ください。

お手元のコンピューターでアクティベーションが完了しているライセンスについては、**ライセンスの概要**のウィンドウで概要をご覧ください。デモライセンス使用時はSICAT Suiteは有効期限を表示します。これに関する情報は「**ライセンス一覧**」ウィンドウを開く [▶ ページ 44 - *SIDEXIS XG*]を参照してください。

ライセンスは次の二通りの方法で有効にすることができます。

- SICAT Suiteが作動しているコンピューターがインターネットに接続されている場合、ライセンスのアクティベーションは自動で行うことができます。これに関する情報はインターネット接続を使用してライセンスを有効にする [▶ ページ 45 - *SIDEXIS XG*]を参照してください。
- 希望に応じて、またはSICAT Suiteが作動しているコンピューターがインターネットに接続されていない場合、ライセンス要求ファイルを使用することにより、ライセンスのアクティベーションを手動で行うことができます。ライセンス要求ファイルをSICATのインターネットページにアップロードする必要があります。これで、ライセンスアクティベーションファイルを取得でき、これをSICAT Suiteで有効にしてください。これに関する情報はライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にする [▶ ページ 47 - *SIDEXIS XG*]を参照してください。

各アプリケーションまたは機能のライセンスを個別に無効にすることができます。ライセンスを無効にした後、同じ、または別のアクティベーションキーを入力することができます。返却されたライセンスは、同一または別のコンピューターでのアクティベーションに使用することができます。これに関する情報はライセンスをライセンスプールへ返却する [▶ ページ 49 - *SIDEXIS XG*]を参照してください。

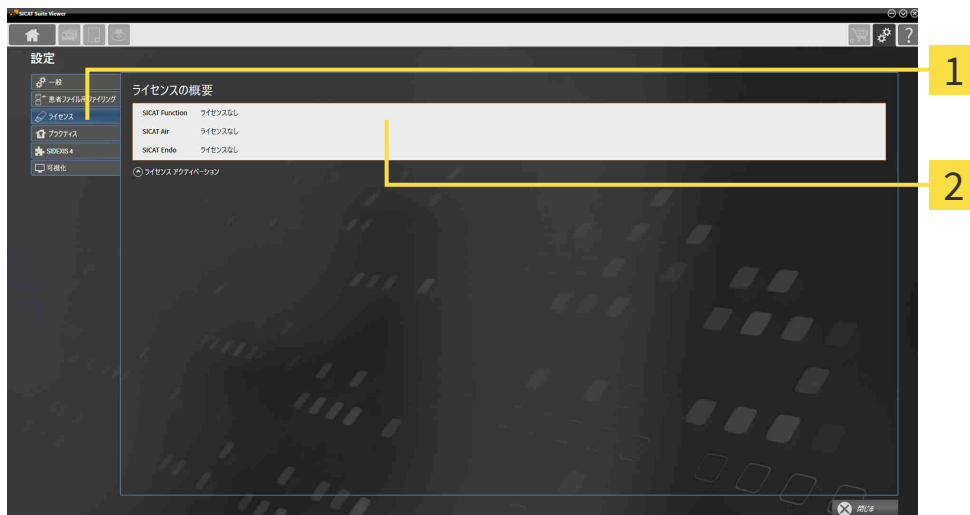
18.1 「ライセンス一覧」 ウィンドウを開く



1. ナビゲーションバーで、**設定**のアイコンをクリックします。
▶ **設定**のウィンドウが開きます。



2. **ライセンス**タブをクリックします。
▶ **ライセンスの概要**のウィンドウが開きます。



1 タブ **ライセンス**

2 ウィンドウ **ライセンスの概要**

以下の操作を続行します：

- インターネット接続を使用してライセンスを有効にする [▶ ページ 45 - *SIDEXIS XG*]
- ライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にする [▶ ページ 47 - *SIDEXIS XG*]
- ライセンスをライセンスプールへ返却する [▶ ページ 49 - *SIDEXIS XG*]

18.2 インターネット接続を使用してライセンスを有効にする

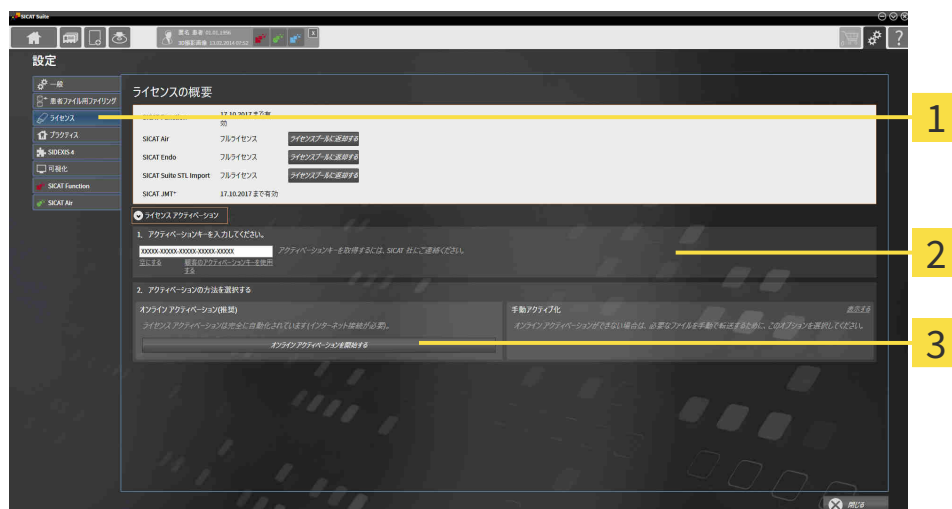
注記 カートが空になっている必要があります
ライセンスの変更を可能にする前にカートを空にしておく必要があります。

アクティベーションの手順を開始するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 少なくとも一つのSICATアプリケーションまたは個々の機能に有効なライセンスが欠けています。
- ☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。
- ☑ **ライセンスの概要** ウィンドウはすでに開いています：これに関する情報は「**ライセンス一覧**」ウィンドウを開く [▶ ページ 44 - SIDEXIS XG]を参照してください。

1. **ライセンスの概要** のウィンドウで、**ライセンス アクティベーション** のボタンをクリックします。

▶ **ライセンスの概要** エリアが開きます：



1 ボタン **ライセンス アクティベーション**

2 エリア

3 ボタン **オンライン アクティベーションを開始する**

2. 欄にアクティベーションキーを入力します。
3. **オンライン アクティベーションを開始する** のボタンをクリックします。

4. **Windows ファイヤーウォールのウィンドウが開いたら、SICAT Suiteをインターネットへ接続します。**
- ▶ 取得されてインストールされているアプリケーションまたは個々の機能のためのライセンスは、ライセンスプールから取り除かれ、使用中のコンピューター上のSICAT Suiteで有効になります。
- ▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます。**ライセンスは正常に有効化されました。**

再起動が必要

注記

ライセンス変更後、SICATアプリケーションのSIDEXISと接続されたバージョンが再起動を要する場合、SICAT Suiteが対応するメッセージウィンドウを表示します。



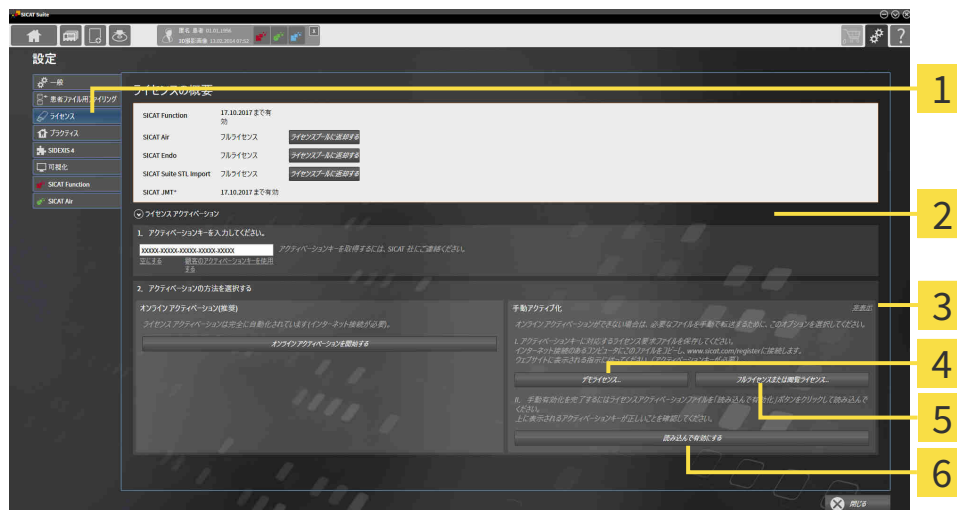
SICATアプリケーションのライセンスのアクティベーションをあらためて行うときは、エリアにあるボタン**顧客のアクティベーションキーを使用する**をクリックすると、アクティベーションキーが使用できるようになります。現時点のライセンスキーが入力されているボックスを空欄にするときは、ボタン**空にする**をクリックしてください。

18.3 ライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にする

注記 カートが空になっている必要があります
ライセンスの変更を可能にする前にカートを空にしておく必要があります。

ライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にするには、次のように行います。

- ☑ 少なくとも一つのSICATアプリケーションまたは個々の機能に有効なライセンスが欠けています。
 - ☑ **ライセンスの概要** ウィンドウはすでに開いています：これに関する情報は「**ライセンス一覧**」ウィンドウを開く [▶ ページ 44 - SIDEXIS XG]を参照してください。
1. **ライセンスの概要** ウィンドウの**ライセンス アクティベーション**をクリックします。
▶ **ライセンス アクティベーション**のコーナーがドロップダウンで展開します。
 2. **手動アクティブ化エリア**の**表示する**をクリックします。
▶ **手動アクティブ化エリア**が開きます：



1 ライセンス アクティベーション **4** ボタン デモライセンス

2 エリア

5 ボタン フルライセンスまたは閲覧ライセンス

3 表示する

6 ボタン 読み込んで有効にする

3. フルライセンスのアクティベーションをご希望のときは、**フルライセンスまたは閲覧ライセンス**のボタンをクリックします。
4. デモライセンスのアクティベーションをご希望のときは、**デモライセンス**のボタンをクリックします。

- ▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。
- 5. ライセンス要求用のファイルを保存する目的で、お好みのフォルダを選択したら、**OK**をクリックします。
 - ▶ ファイル拡張子を**WibuCmRaC**として、ライセンス要求用のファイルが作成され、選択しておいたフォルダに保存されます。
- 6. USBスティックなどの補助ツールを使用して、インターネットに接続しているコンピューターにライセンス要求ファイルをコピーします。
- 7. インターネットに接続されたコンピューター上でウェブブラウザを開き、インターネットページ<http://www.sicat.com/register>を開きます。
- 8. インターネットのアクティベーションページに表示される指示に従ってください。
 - ▶ インストールしたアプリケーションや個別の機能のために取得してあるライセンスが、お持ちのライセンスプールからピックアップされます。
 - ▶ SICATのライセンスサーバーは、ファイル拡張子を**WibuCmRaU**として、ライセンスのアクティベーション用ファイルを作成しますので、このファイルをお手元のコンピューターへダウンロードしてください。
- 9. ダウンロードしたライセンスアクティベーションファイルをSICAT Suiteが作動しているコンピューターにコピーします。
- 10. アクティベーションキーが正確に入力されていることをチェックします。
- 11. **ライセンスの概要**のウィンドウで、**読み込んで有効にする**のボタンをクリックします。
 - ▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。
- 12. ライセンスのアクティベーション用ファイルを探して見つかったら、そのファイルをハイライト表示にして、**OK**をクリックします。
 - ▶ ライセンスアクティベーションファイルのライセンスは、SICAT Suiteでは現在のコンピューターにインストールされます。
 - ▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます。**ライセンスは正常に有効化されました。**

再起動が必要

注記

ライセンス変更後、SICATアプリケーションのSIDEXISと接続されたバージョンが再起動を要する場合、SICAT Suiteが対応するメッセージウィンドウを表示します。

18.4 ライセンスをライセンスプールへ返却する

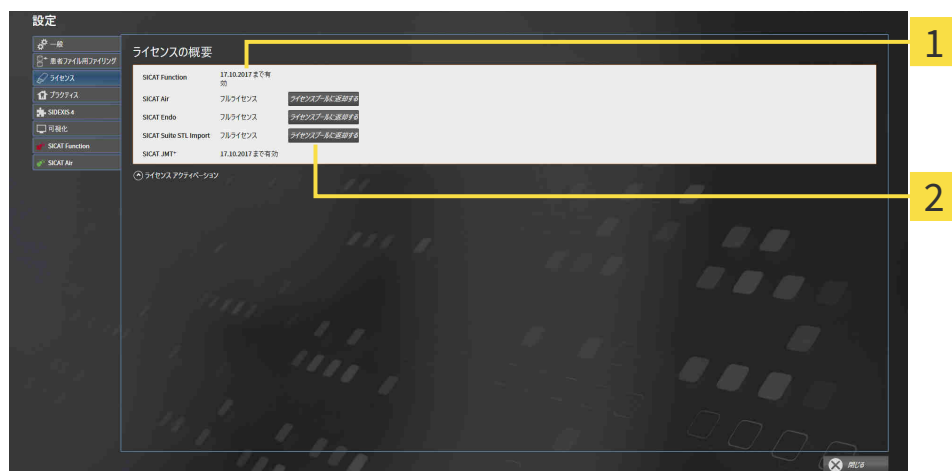
注記

カートが空になっている必要があります

ライセンスの変更を可能にする前にカートを空にしておく必要があります。

フルライセンスのアクティベーションを解除して、そのライセンスをライセンスプールへ返却するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- SICATアプリケーションのフルライセンスはすでに有効になっています。
- SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。
- ライセンスの概要**ウィンドウはすでに開いています：これに関する情報は「**ライセンス一覧**」ウィンドウを開く [▶ ページ 44 - *SIDEXIS XG*]を参照してください。



1 SICATアプリケーションおよび個々の機能のライセンスステータス

2 ボタン **ライセンスプールに返却する**

- **ライセンスの概要**のウィンドウから、SICATのアプリケーションで返却をご希望のものか、または、個別の機能の列にある**ライセンスプールに返却する**のボタンをクリックします。
- ▶ 選択したライセンスはライセンスプールに返却され、再びアクティベーションのために使用できる状態になります。
- ▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます。**ライセンスは正常にライセンスプールに返却されました。**
- ▶ ライセンスがない場合、アプリケーションはビューアモードでしか使用できません。全てのSICATアプリケーションのライセンスがライセンスプールに返却されると、SICAT Suiteは完全にビューアモードになります。

注記**再起動が必要**

ライセンス変更後、SICATアプリケーションのSIDEXISと接続されたバージョンが再起動を要する場合、SICAT Suiteが対応するメッセージウィンドウを表示します。



インターネット接続のないコンピュータでライセンスを無効化したい場合はSICATサポートまでお問い合わせください。

18.5 バウチャーコードを使用する

1. インターネットに接続されたコンピューター上でウェブブラウザを開き、インターネットページ<http://www.sicat.com>を開きます。
2. SICATポータルへのリンクをクリックします。
▶ SICATポータルが開きます。
3. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。
4. アカウントマネジャーに、ご自分のライセンスを管理するためのアイテムがありますので、それをクリックします。
5. ご自分のバウチャーコードを入力し、コードを確認します。
▶ SICATポータルがライセンスキーを生成し、ライセンスキーをお客様のアクティベーションキーに追加します。
6. SICAT Suiteを起動して、ライセンスのアクティベーションを行います。

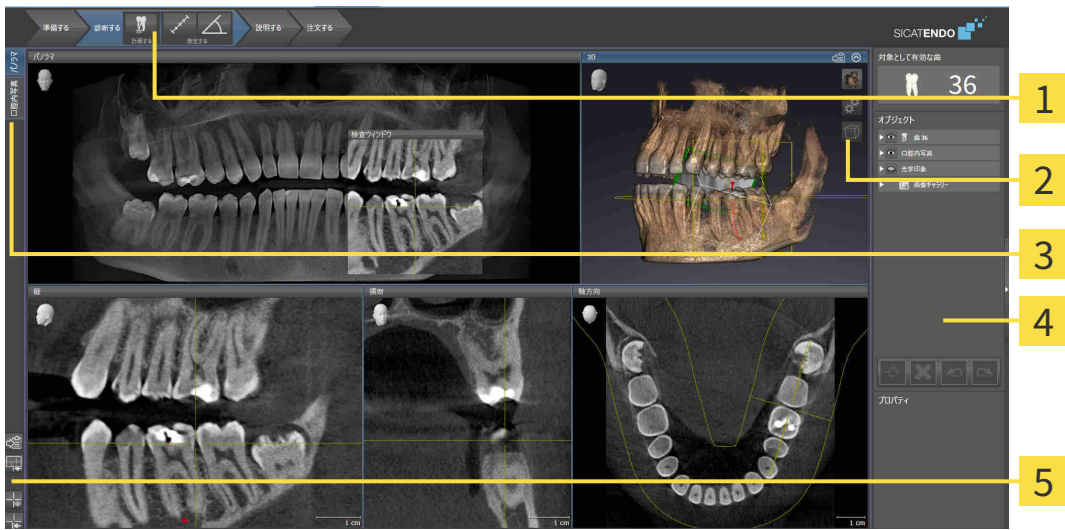
これに関する情報はインターネット接続を使用してライセンスを有効にする [▶ ページ 45 - *SIDEXIS XG*]と ライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にする [▶ ページ 47 - *SIDEXIS XG*]を参照してください。



詳細なヘルプは、SICATのポータルページにFAQ（よくあるご質問）がありますので、そちらをご覧ください。

19 SICAT ENDOのユーザーインターフェース

SICAT Endoのユーザーインターフェースは、以下のアイテムで構成されています。



1 ワークフローのツールバー

4 オブジェクトバー

2 画像のツールバー

5 ワークスペースのツールバー

3 ワークスペースの切替用ボタン

- **ワークフローのツールバー**は、複数のワークフロー・ステップから構成されますが、その中には、アプリケーションのワークフローで使用する主要ツールが用意されています。これには、診断オブジェクトおよび計画オブジェクトを追加およびインポートすることのできるツールが含まれます。これに関する情報は、**ワークフローのツールバー** [▶ ページ 54 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。
- **ワークスペースエリア**は、**ワークフローのツールバー**の下側にあって、ユーザーインターフェースの一部を構成します。この部分には、SICAT Endoで開いているワークスペースを表示します。各ワークスペースに特定のビュー構造が含まれています。これに関する情報は、**ワークスペース** [▶ ページ 67 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。
- 有効なビューにのみ**画像のツールバー**が表示されます。付属のビューの表示を調整するツールがあります。これに関する情報は、**ビューの調整** [▶ ページ 75 - *SIDEXIS XG*]および**3Dビューの調整** [▶ ページ 89 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。
- **オブジェクトバー**には、診断や治療計画のそれぞれで対象とするもの(オブジェクト)を管理するための各種ツールが用意されています。これに関する情報は、**オブジェクトバー** [▶ ページ 57 - *SIDEXIS XG*]および**SICAT Endoオブジェクト** [▶ ページ 63 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。
- **ワークスペースのツールバー**には、各種ツールが用意されていますが、これらのツールで、ワークスペースの一般的な各種設定や、含まれる画像のすべてに対して変更を加えたり、ワークスペースの内容を記録したりすることができます。これに関する情報は、**十字線およびフレームの移動、非表示、表示** [▶ ページ 84 - *SIDEXIS XG*]、**ビューをリセットする** [▶ ペー

ジ 87 - *SIDEXIS XG*], アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット [▶ ページ 72 - *SIDEXIS XG*]および ワークスペースのスクリーンショットを作成する [▶ ページ 73 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。

19.1 ワークフローのツールバー

SICAT Endoでは、ワークフローのツールバーは4つのワークフローステップで構成されています：

1. 準備
2. 診断する
3. 説明する
4. 注文する

ワークフローステップの開閉

以下の各アイコンをクリックすると、ワークフロー・ステップを展開させたり畳み込んだりすることができます。

1. ワークフローステップ「準備」



ワークフロー・ステップ「準備」では、以下のツールが使用できます。



- **ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整します** - これに関する情報は、[ボリュームの配置を調整する \[▶ ページ 98 - SIDEXIS XG\]](#)および[パノラマエリアを調整する \[▶ ページ 103 - SIDEXIS XG\]](#)をご参照ください。

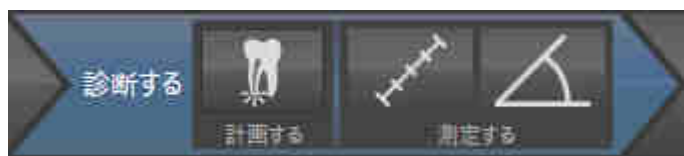


- **口腔内撮影画像の管理・登録中** - これに関する情報は、[口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます \[▶ ページ 121 - SIDEXIS XG\]](#)、[口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う \[▶ ページ 126 - SIDEXIS XG\]](#)および[口腔内撮影画像を登録する \[▶ ページ 128 - SIDEXIS XG\]](#)をご参照ください。



- **光学印象をインポートし記録する** - これに関する情報は、[光学印象をインポートし記録する \[▶ ページ 108 - SIDEXIS XG\]](#)をご参照ください。

2. ワークフローステップ「診断」



ワークフロー・ステップ「診断する」では、以下のツールが使用できます。



- EndoLineおよびドリル穴を利用して歯根治療を計画する - これに関する情報は、*歯の領域をプリアライメントする* [▶ ページ 146 - SIDEXIS XG]、*EndoLinesをセットする* [▶ ページ 148 - SIDEXIS XG]および*ドリル穴を計画する* [▶ ページ 158 - SIDEXIS XG]をご参照ください。



- 距離測定を追加する(D) - これに関する情報は、*距離測定を追加する* [▶ ページ 165 - SIDEXIS XG]をご参照ください。



- 角度測定を追加する(A) - これに関する情報は、*角度測定を追加する* [▶ ページ 166 - SIDEXIS XG]をご参照ください。

3. ワークフローステップ「患者への説明」



ワークフロー・ステップ「説明する」では、以下のツールが使用できます。



- 矢印を描く - これに関する情報は、*画像とスクリーンショットの作成* [▶ ページ 171 - SIDEXIS XG]をご参照ください。



- 円を描く - これに関する情報は、*画像とスクリーンショットの作成* [▶ ページ 171 - SIDEXIS XG]をご参照ください。



- レポートを作成する - これに関する情報は、*ハンドアウトの準備* [▶ ページ 175 - SIDEXIS XG]をご参照ください。

4. ワークフロー・ステップ「注文する」



ワークフロー・ステップ「**注文する**」では、以下のツールが使用できます。



- **SICAT GUIDE (ENDO)を注文する** - これに関する情報は、ドリルテンプレートをショッピングカートに入れる [[▶ ページ 183 - SIDEXIS XG](#)]をご参照ください。

19.2 オブジェクトバー



1 オブジェクトブラウザ

2 ボタンオブジェクトバーを非表示にするまたはボタンオブジェクトバーを表示する

3 オブジェクトツールバー

4 エリアプロパティ

オブジェクトバーには、以下のアイテムが用意されています。

- **オブジェクトブラウザ**には、診断や治療計画の対象（オブジェクト）として、現時点のスタディに追加したりインポートしたりしたものをもれなく、カテゴリ分類して列挙したリストを表示します。**オブジェクトブラウザ**は、複数のオブジェクトを自動でグループ分けします。例えば、**測定**のグループには、測定対象のオブジェクトがもれなく含まれています。オブジェクトグループを開閉する、オブジェクトおよびオブジェクトグループをアクティブに

する、オブジェクトおよびオブジェクトグループを非表示または表示にすることができます。これに関する情報は以下を参照してください [オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理](#) [▶ ページ 59 - *SIDEXIS XG*]。

- **オブジェクトツールバー**には、各種のツールが用意されていますが、これらのツールにより、オブジェクトに合焦すること、オブジェクトやオブジェクトグループを削除すること、オブジェクトまたはオブジェクトグループに対して行った操作を取り消して元に戻したり、再度、実行したりすることができます。これに関する情報は[オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理](#) [▶ ページ 61 - *SIDEXIS XG*]を参照してください。
- **プロパティ**のコーナーには、作業対象として選択しているオブジェクトについて、その詳細を表示します。

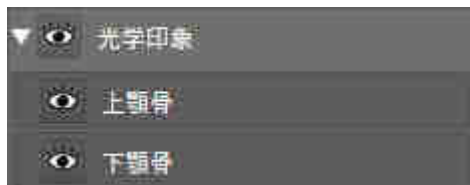
オブジェクトバーの視点をオブジェクトバーの右側の二つのボタンで変更することができます。
オブジェクトバーを非表示にする および **オブジェクトバーを表示する**

SICAT Endoで作業対象として選択可能なオブジェクトは、*SICAT Endo*オブジェクト [▶ ページ 63 - *SIDEXIS XG*]の節をご覧ください。

19.3 オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理

オブジェクトグループの開閉

オブジェクトグループを展開したり畳み込んだりするときは、以下の手順に沿って操作を行ってください。



☑ 現在、希望のオブジェクトグループが開いています。



1. 畳み込みたいオブジェクトグループの横にある **閉じる** のアイコンをクリックします。

▶ オブジェクトグループの畳み込みが行われます。



2. 畳み込みたいオブジェクトグループの横にある **開く** のアイコンをクリックします。

▶ オブジェクトグループが展開します。

オブジェクトおよびオブジェクトグループをアクティブにする

ツールによっては、作業対象として選択しているオブジェクトやオブジェクトグループ以外では、利用できないものが、いくらかあります。

オブジェクトまたはオブジェクトグループを有効にするには、次のように行います。

☑ 現在、希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループが無効になっています。

- 希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo は、それまで有効であったオブジェクトまたはオブジェクトグループを無効にします。
 - ▶ SICAT Endo は希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループを有効にします。
 - ▶ SICAT Endo は、**オブジェクトブラウザ**と画像のそれぞれで、オブジェクトやオブジェクトグループに色を付けてハイライト表示します。



オブジェクトをクリックすることによって、2Dビューで特定のオブジェクトも有効にすることができます。

オブジェクトおよびオブジェクトグループの表示/非表示



この機能は、特定のオブジェクトタイプを除いて利用できません。

オブジェクトやオブジェクトグループを非表示/表示にするには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 現在、希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループは表示されています。



1. お好みのオブジェクトまたはオブジェクトグループの横にある **表示** のアイコンか、または、**一部表示** のアイコンをクリックします。



- ▶ SICAT Endo はオブジェクトまたはオブジェクトグループを非表示にします。
- ▶ SICAT Endo では、オブジェクトまたはオブジェクトグループの横に アイコン**非表示** が表示されます。



2. お好みのオブジェクトまたはオブジェクトグループの横にある **非表示** のアイコンをクリックします。

- ▶ SICAT Endo はオブジェクトまたはオブジェクトグループを表示します。
- ▶ SICAT Endo では、オブジェクトまたはオブジェクトグループの横に アイコン**表示** が表示されます。

19.4 オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理



この機能は、特定のオブジェクトタイプを除いて利用できません。

オブジェクトに焦点を合わせる

この機能は、画像内でオブジェクトを探す目的で使用してください。

あるオブジェクトに焦点を合わせる時は、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望のオブジェクトはすでにアクティブになっています。これに関する情報は以下を参照してください [オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理](#) [▶ ページ 59 - *SIDEXIS XG*]。



- **アクティブ オブジェクトを合わせる(F)**のアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Endo は、ビューの焦点をアクティブなオブジェクトに移動させます。
- ▶ SICAT Endo には、ビュー内でアクティブなオブジェクトが表示されます。



オブジェクトへの合焦は、**オブジェクトブラウザ**からか、または、ビューで、オブジェクトをダブルクリックしても同様に可能です。ただし、**3D**画像を除きます。

オブジェクトおよびオブジェクトグループの除去

オブジェクトまたはオブジェクトグループを削除するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループは既にアクティブにしています。これに関する情報は以下を参照してください [オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理](#) [▶ ページ 59 - *SIDEXIS XG*]。



- **アクティブ オブジェクト/アクティブ グループを削除する(Del)**のアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Endo はオブジェクトまたはオブジェクトグループを除去します。

オブジェクトアクションを元に戻し、もう一度実行する

オブジェクトまたはオブジェクトグループに対して直前に行った操作を取り消して元に戻したり、再度、実行したりするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



1. **前回のオブジェクト アクションを元に戻す (Ctrl+Z)** のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo は、最後のオブジェクトアクションまたはグループアクションを元に戻します。



2. オブジェクト/グループアクションを再実行する (Ctrl+Y) のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Endo は、前回戻したオブジェクトアクションまたはグループアクションをもう一度実行します。



SICATアプリケーションで撮影結果を開いている間のみ、元に戻してもう一度実行することができます。

19.5 SICAT ENDOオブジェクト

SICAT Endoでは、**オブジェクトブラウザ**が、アプリケーション固有のオブジェクトグループとオブジェクトを次のようにグループに分類します。

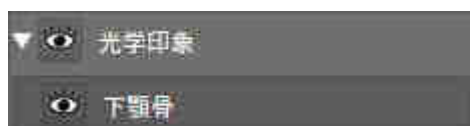
- 口腔内撮影画像
- 光学印象
- Endo計画オブジェクト
 - EndoLine
 - ドリル穴
- 画像ギャラリー
 - 画像
 - スクリーンショット

口腔内撮影画像オブジェクトグループ



口腔内撮影画像のインポートおよび登録を完了させた後、SICAT Endoは、**オブジェクトブラウザ**に、**口腔内撮影画像**オブジェクトグループを表示します。**口腔内撮影画像**オブジェクトグループには、常に少なくとも1つの口腔内撮影画像が含まれています。SICAT Endo 各口腔内撮影画像の撮影日と撮影時刻を表示します。

光学印象オブジェクトグループ



少なくとも1つの光学印象をインポート・登録した後、SICAT Endoは、**光学印象**オブジェクトグループを**オブジェクトブラウザ**に表示します。**光学印象**オブジェクトグループには、次のオブジェクトが含まれている可能性があります。

- 上顎骨
- 下顎骨

1つのオブジェクトに焦点を当てると、SICAT Endoは、選択されたオブジェクトのすべての2Dビューに焦点を合わせます。

上顎骨のオブジェクトや**下顎骨**のオブジェクトを削除すると、SICAT Endoは、既存の光学印象をすべてスタディから削除します。

ENDO計画オブジェクトグループ



EndoLineとドリル穴の計画が完了した後、SICAT Endoは**Endo計画対象グループ**を **オブジェクトブラウザ**に表示します。**Endo計画オブジェクト**は、常に歯と結びつけられており、EndoLineとドリル穴の形としてのEndoLineウィザードの結果です。**Endo計画オブジェクトグループ**には、EndoLineオブジェクトおよびサブオブジェクトとしてのドリル穴が含まれています。ドリル穴は、常にEndoLineと結びつけられています。ドリル穴のおかげで、歯内治療計画を立てることができます。

オブジェクトの1つまたはサブオブジェクトのいずれか1つにピントを合わせると、SICAT Endoでは、いずれの2Dビューでも、選択しているオブジェクトにピントが合います。

ギャラリーオブジェクトグループ



次の内容は、**画像ギャラリーオブジェクトグループ**に適用されます。



- マウスポインタを**画像ギャラリーオブジェクトグループ**の上に合わせると、SICAT Endoが歯車のアイコンを表示します。歯車のアイコンをクリックすると、SICAT Endoは**レポート作成**ウィンドウを開きます。
- 機能**アクティブ オブジェクト/アクティブ グループを削除する (Del)**を使用し、**画像ギャラリーオブジェクトグループ**を削除することができます。SICAT Endo すべての関連する**画像オブジェクト**および**スクリーンショットオブジェクト**を削除します。

画像オブジェクト



次は、**画像オブジェクト**に適用されます：

- **画像**-オブジェクトは、**画像ギャラリーオブジェクトグループ**の下部にあります。
- SICAT Endo 各2Dビュー用ワークスペースで1つの層のすべての描画オブジェクトをまとめ、**画像オブジェクト**を作成します。
- SICAT Endo 3Dビューのワークスペースで特定の目線と特定のズーム比のすべての描画オブジェクトをまとめ、**画像オブジェクト**を作成します。
- **画像オブジェクト**を作成および有効にした後、**オブジェクトブラウザ**は**プロパティエリア**に次のことを表示します：
 - オブジェクトの作成時点
 - オブジェクトのプレビュー
- 機能**前回のオブジェクトアクションを元に戻す (Ctrl+Z)** と**オブジェクト/グループアクションを再実行する (Ctrl+Y)** は、個々の注釈に使用することができます。
- 機能**アクティブ オブジェクト/アクティブ グループを削除する(Del)**を使用すれば、**画像オブジェクト**および含まれるすべての注釈を一度に削除できます。SICAT Endo **画像オブジェクト**を、**オブジェクトブラウザ**から、そして**レポート作成ウィンドウ**の両方から削除します。
- **画像オブジェクト**に焦点を合わせた場合、SICAT Endoは、含まれる最後の注釈が作成された時点に該当するビューを復元します。

スクリーンショットオブジェクト



次は、スクリーンショットオブジェクトに適用されます：

- スクリーンショット-オブジェクトは、**画像ギャラリーオブジェクトグループ**の下部にあります。
- SICAT Endo スクリーンショットオブジェクトをスクリーンショットごとに作成します。
- スクリーンショットオブジェクトを作成および有効にした後、**オブジェクトブラウザ**は**プロパティ**エリアに次のことを表示します：
 - オブジェクトの作成時点
 - オブジェクトのプレビュー
- 機能**アクティブ オブジェクト/アクティブ グループを削除する(Del)**を使用し、スクリーンショットオブジェクトを削除することができます。SICAT Endo スクリーンショットオブジェクトを、**オブジェクトブラウザ**から、そして**レポート作成**ウィンドウの両方から削除します。
- スクリーンショットオブジェクトに焦点を合わせた場合、SICAT Endoはオブジェクトを作成した時点で該当するビューを復元します。
- 表示および非表示機能は使用できません。

20 ワークスペース

SICATのアプリケーションでは、スタディを複数のビューで表示し、ワークスペースに画像をまとめて配置します。

SICAT Endoには、異なる2種類のワークスペースが用意されています。

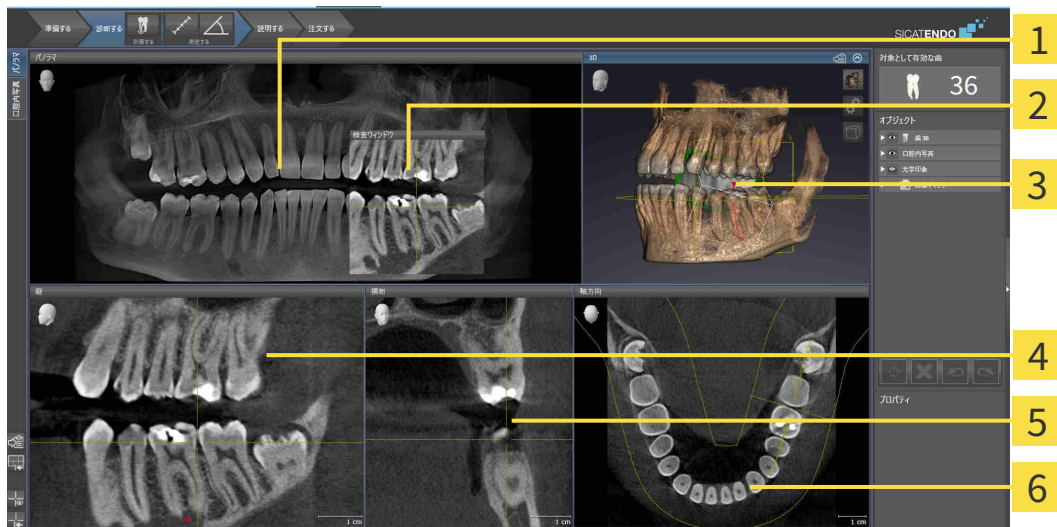


- **パノラマ-ワークステーション**- これに関する情報は、**パノラマワークスペースの概要** [▶ ページ 68 - *SIDEXIS XG*]の節をご覧ください。
- **口腔内画像ワークスペース** - これに関する情報は、**口腔内撮影画像ワークスペースの概要** [▶ ページ 70 - *SIDEXIS XG*]の節をご覧ください。

ワークスペースおよびそれに含まれるビュー用として、以下の操作を行うことができます。

- アクティブなワークスペースを切り替える。 [▶ ページ 71 - *SIDEXIS XG*].
- アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット [▶ ページ 72 - *SIDEXIS XG*].
- ビューの調整 [▶ ページ 75 - *SIDEXIS XG*].
- 3Dビューを調整することもできます。これに関する情報は**3Dビューの調整** [▶ ページ 89 - *SIDEXIS XG*]を参照してください。
- アクティブなワークスペースは、その内容を記録することができます。これに関する情報は**ワークスペースのスクリーンショットを作成する** [▶ ページ 73 - *SIDEXIS XG*]を参照してください。

20.1 パノラマワークスペースの概要



1 パノラマビュー

2 検査ウィンドウ

3 3Dビュー

4 縦ビュー

5 横断ビュー

6 軸方向ビュー

パノラマビュー

パノラマビューは、仮想的なオルソパントモグラフィ（OPG）に相当します。これは、正射影を特定の太さのパノラマ曲線上に表示します。パノラマ曲線および太さを両顎に調整することができます。この調整に関する内容は、[パノラマエリアを調整する \[▶ ページ 103 - SIDEXIS XG\]](#)の節をご覧ください。

検査ウィンドウ

検査ウィンドウは、パノラマビューに埋め込まれています。レイヤーをパノラマ曲線に対して平行にすることによって、パノラマビューに、3次元の画像が追加されることになります。検査ウィンドウは、表示/非表示することができます。この切替に関する内容は、[検査ウィンドウの移動、非表示、表示 \[▶ ページ 85 - SIDEXIS XG\]](#)の節をご覧ください。

3Dビュー

3Dビューには、開いている3D治療計画スタディの3Dビューを表示します。

縦ビュー

縦ビューには、パノラマ歯列弓に対して接線をなすレイヤーを表示します。

横断ビュー

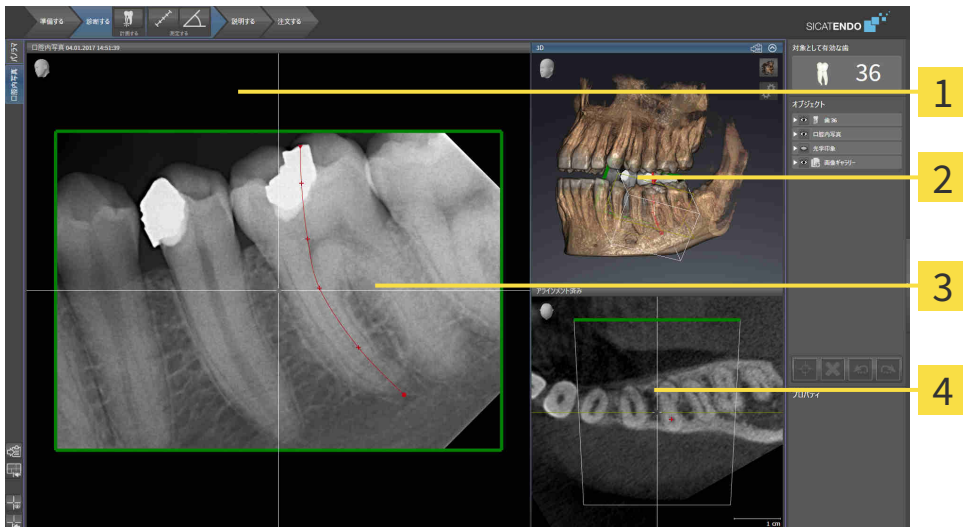
横断ビューには、パノラマ歯列弓に対して矢状断のレイヤーを表示します。

軸方向ビュー

デフォルトの**軸方向**ビューでは、上方からみたレイヤーを表示します。**軸方向**ビューでは、視線方向の切替が可能です。この切替に関する内容は、[可視化設定の変更](#) [▶ ページ 203 - *SIDEXIS XG*]の節をご覧ください。

ビューの機能に関しては、[ビューの調整](#) [▶ ページ 75 - *SIDEXIS XG*]および[3Dビューの調整](#) [▶ ページ 89 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。

20.2 口腔内撮影画像ワークスペースの概要



1 口腔内撮影画像-ビュー

3 検査ウィンドウ

2 3D-ビュー

4 アラインメント済み-ビュー

口腔内撮影画像-ビュー

口腔内撮影画像ビューは、オブジェクトブラウザで選択された口腔内撮影画像を示します。

検査ウィンドウ

検査ウィンドウは、口腔内撮影画像ビューに埋め込まれています。レイヤーを口腔内撮影画像に対して平行にすることによって、口腔内撮影画像ビューに、3Dの画像が追加されることとなります。検査ウィンドウは非表示にしたり、表示して登録の確認や根管の評価のために使用することができます。

3D-ビュー

3Dビューには、開いているスタディの3Dビューを表示します。

アラインメント済み-ビュー

デフォルトでは、アラインメント済みビューは、口腔内撮影画像の断面を表示しますが、これは、口腔内撮影画像ビューにおける十字線の位置によって定義されます。

20.3 アクティブなワークスペースを切り替える.

アクティブなワークスペースを切り替えるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



- ワークスペースエリアの左上の隅にある任意のワークスペースタブをクリックします。
- ▶ 選択したワークスペースが開きます。

20.4 アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット

アクティブなワークスペースのレイアウトを調整する

アクティブなワークスペースのレイアウトのレイアウトを調整するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを二つ以上のビューの間を境界線上に移動させます。
 - ▶ マウスポインタの形状が切り替わります。



2. マウスの左ボタンをクリックしたら、その左ボタンを押したままにします。
3. マウスを動かします。
 - ▶ 境界線の位置が変わります。
 - ▶ 境界線の全側面でビューの大きさが変わります。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Endo では、境界線の現在位置、および、ビューの現在のサイズが、境界線のすべての側で維持されます。

アクティブなワークスペースのレイアウトをリセットする

アクティブなワークスペースのレイアウトをデフォルトに復元するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



- ワークスペースのツールバーで、アクティブなワークスペースのレイアウトをリセットするのアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Endo は、アクティブなワークスペースを標準のレイアウトにリセットします。これは、ソフトウェアがすべてのビューを標準サイズに表示することを意味しています。

20.5 ワークスペースのスクリーンショットを作成する

ワークスペースのスクリーンショットは、Windowsのクリップボードにコピーして、文書を作成する目的で使用することができます。

ワークスペースのスクリーンショットをWINDOWSのクリップボードにコピーする

ワークスペースのスクリーンショットをWindowsのクリップボードに追加するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ ご希望のワークスペースはすでにアクティブです。これに関する情報はアクティブなワークスペースを切り替える。[▶ ページ 71 - SIDEXIS XG]を参照してください。



- ワークスペースのツールバーから、**アクティブなワークスペースのスクリーンショットをクリップボードにコピーする**のアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Endo では、ワークスペースのスクリーンショットがWindowsのクリップボードにコピーされます。



クリップボードからスクリーンショットを貼り付けることができるアプリケーションは、例えば、画像処理やワープロのソフトウェアなど多数あります。貼り付けのショートカットキーは、大半のアプリケーションで「Ctrl +V」を使用します。

21 ビュー

ビューはワークスペースに含まれています。ワークスペースとビューは、各種ありますが、その詳細は以下の節をご覧ください。ワークスペース [▶ ページ 67 - *SIDEXIS XG*].

ビューを調整することができます。これに関する情報はビューの調整 [▶ ページ 75 - *SIDEXIS XG*]と 3Dビューの調整 [▶ ページ 89 - *SIDEXIS XG*]を参照してください。

21.1 ビューの調整

ビューの調整に用いるツールの中には、アクティブなビュー以外では使用できないものもあります。ビューを有効にする手順は、次をご参照ください。 [アクティブなビューの切り替え](#) [▶ ページ 77 - *SIDEXIS XG*]。

アクティブなビューに含まれる要素：



- 1 タイトルバー
- 2 オリエンテーションヘッド
- 3 画像のツールバー
- 4 十字線
- 5 尺度

2Dレイヤービューには十字線が表示されます。十字線は別のレイヤービューとの交差線です。SICAT Endo すべてのレイヤービューを同期させます。これは、全ての十字線が3DX線データ内で同じ位置に表示されることを意味します。これにより、円弧構造をビュー超しに割り当てることができます。

3Dビューでは、フレームを表示して、2Dレイヤービューの現在位置を表示します。

ビューの調整には、次の操作が使用できます：

- アクティブなビューの切り替え [▶ ページ 77 - SIDEXIS XG]
- ビューの最大化および復元 [▶ ページ 79 - SIDEXIS XG]
- 2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット [▶ ページ 80 - SIDEXIS XG]
- ビューのズームおよび切り抜きの移動 [▶ ページ 82 - SIDEXIS XG]
- レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール [▶ ページ 83 - SIDEXIS XG]
- 十字線およびフレームの移動、非表示、表示 [▶ ページ 84 - SIDEXIS XG]
- 検査ウィンドウの移動、非表示、表示 [▶ ページ 85 - SIDEXIS XG]
- ビューをリセットする [▶ ページ 87 - SIDEXIS XG]

3Dビューを調整することもできます。これに関する情報は、[3Dビューの調整](#) [▶ ページ 89 - SIDEXIS XG]をご参照ください。

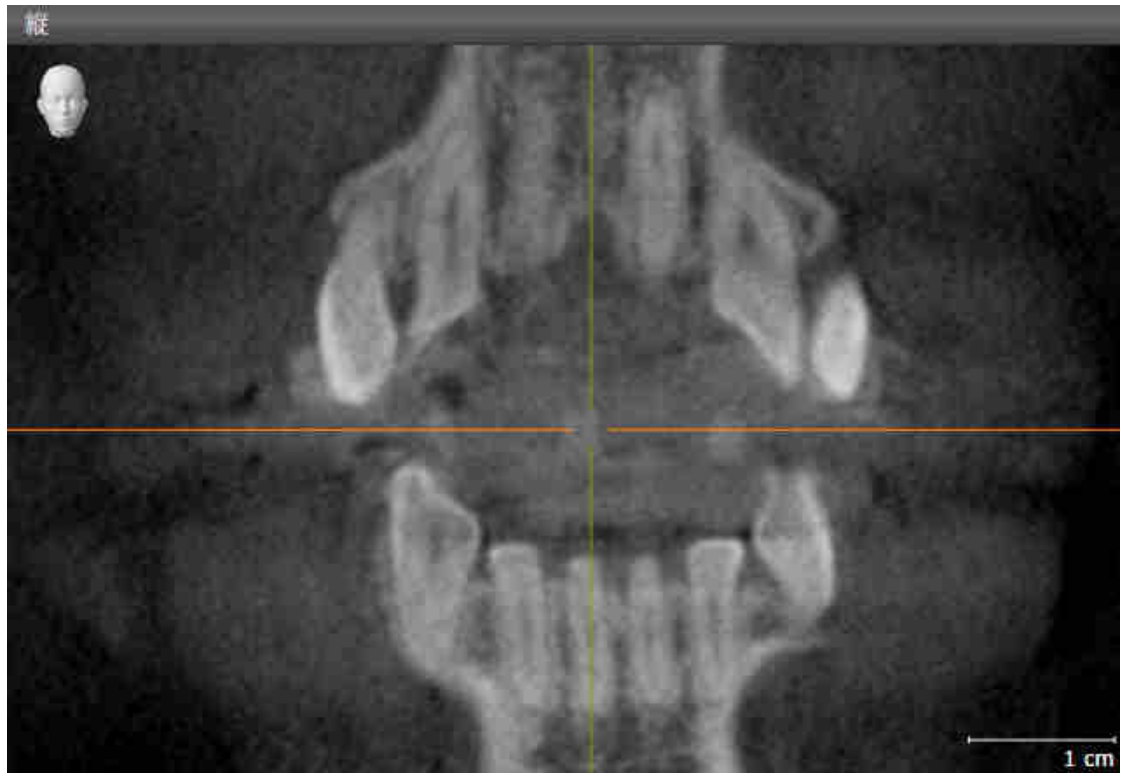
アクティブなビューの内容を記録することができます。これに関する情報は、[画像のスクリーンショットを作成する](#) [▶ ページ 88 - SIDEXIS XG]をご参照ください。

21.2 アクティブなビューの切り替え

画像のツールバーとタイトルバーが表示されるのは、アクティブなビューに限ります。

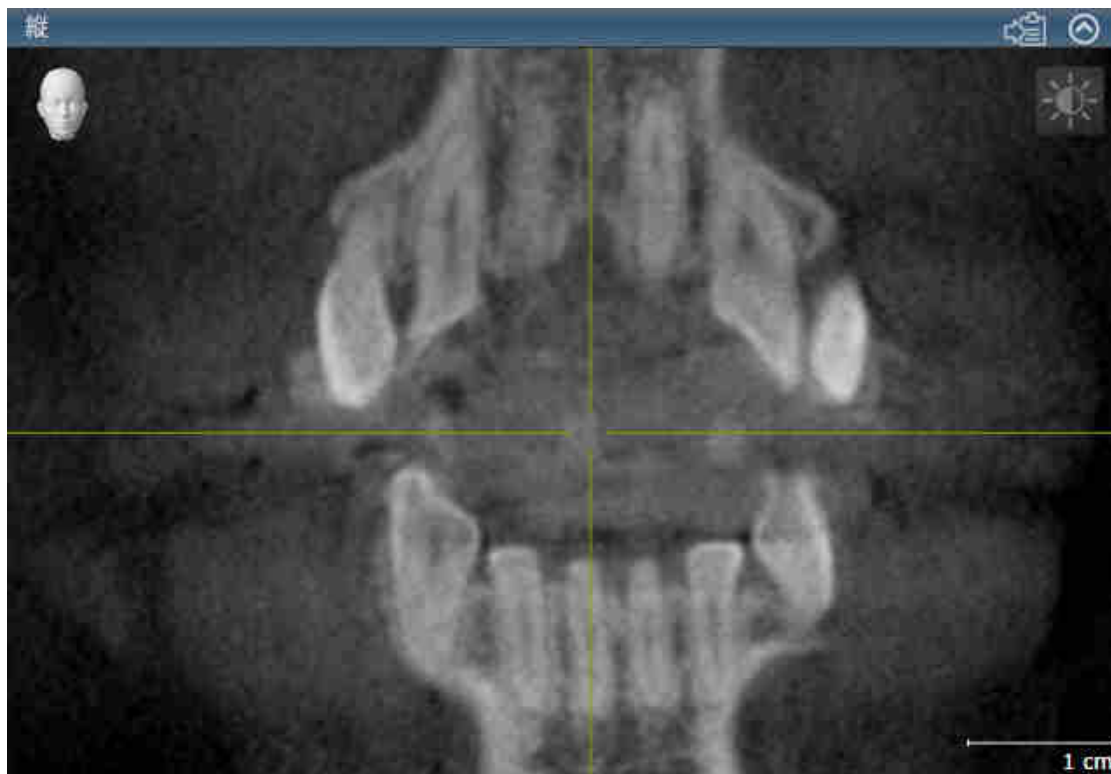
ビューをアクティブにするには、次のように行います。

1. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。



2. 希望のビューをクリックします。

▶ SICAT Endo がビューをアクティブにします。



アクティブなビューは、タイトルバーがオレンジ色になりますので、それとわかります。

21.3 ビューの最大化および復元

ビューの最大化および前回のサイズの復元は、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望のビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は以下を参照してください [アクティブなビューの切り替え](#) [▶ ページ 77 - *SIDEXIS XG*]。
- ☑ 希望のビューは最大化していません。



1. 希望のビューのタイトルバーにある**最大化する**のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo がビューを最大化します。



2. 最大化したビューのタイトルバーにある、**戻す**のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo では、ビューが元のサイズに戻ります。



ビューの最大化および前回のサイズの復元のために、次の代替操作を使用できます。

- ビューを最大化するために、希望のビューのタイトルバーをダブルクリックすることができます。
- ビューの前回のサイズを復元するために、最大化したビューのタイトルバーをダブルクリックすることができます。

21.4 2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット

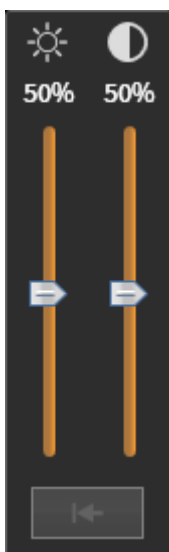
2Dビューで、明るさとコントラストを調整するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望の2Dビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は [アクティブなビューの切り替え](#) [▶ ページ 77 - *SIDEXIS XG*] を参照してください。



1. 2Dビューの**画像のツールバー**に**輝度およびコントラストの調整**のアイコンがありますので、それにマウスポインタを重ねます。

▶ **輝度およびコントラストの調整**の透明なウィンドウが開きます。



2. マウスポインタを**輝度**のスライダーに重ねます。
3. 左マウスボタンをクリックしたら、押したままにして、マウスポインタを上下方向に移動させます。

▶ SICAT Endo では、2Dビューを**輝度**のスライダー位置に応じた明るさに調整します。

4. マウスの左ボタンを放します。
▶ SICAT Endo は2Dビューの現在の輝度を保持します。



5. マウスポインタを**コントラスト**のスライダーに重ねます。
6. 左マウスボタンをクリックしたら、左マウスボタンを押したままにして、マウスポインタを上下方向に移動させます。

▶ SICAT Endo では、2Dビューを**コントラスト**のスライダー位置に応じたコントラストに調整します。

7. マウスの左ボタンを放します。
▶ SICAT Endo は2Dビューの現在のコントラストを保持します。

- マウスポインタを、**輝度およびコントラストの調整**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **輝度およびコントラストの調整**の透明なウィンドウが閉じます。

2Dビューの明るさとコントラストをデフォルトに復元するときは、**明るさとコントラストをリセットする**のアイコンをクリックしてください。



全2Dレイヤービューの輝度とコントラストは相互に関連しています。

21.5 ビューのズームおよび切り抜きの移動

ビューのズーム

ズーム機能は、ビューの内容を拡大または縮小します。

ビューをズームするときには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
2. マウスホイールを前に回します。
▶ ビューがズームインします。
3. マウスホイールを後ろに回します。
▶ ビューがズームアウトします。



上記の手順に代えて、マウスホイールをクリックして、マウスを上下方向に移動させても、ズームインやズームアウトができます。

ビューの切り抜きを移動する

トリミング部分を移動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
2. マウスの右ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
▶ マウスポインタの形が切り替わります。
3. マウスを動かします。
▶ ビューの切り抜きは、マウスポインタの動きに応じて移動します。
4. マウスの右ボタンを放します。
▶ SICAT Endo では、移動後のトリミング部分がそのまま維持されます。

21.6 レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール

2Dレイヤービューで、レイヤーをスクロールするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを希望の2Dレイヤービュー上に動かします。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
 - ▶ マウスポインタは双方向の矢印になります。
3. マウスを上下方向に移動させます。
 - ▶ **横断**のレイヤーを除き、レイヤーは、平行に移動します。
 - ▶ **横断**のレイヤーは、パノラマ歯列弓に沿って移動した状態が表示されます。
 - ▶ SICAT Endo は別のビューのレイヤーおよび十字線を現在の焦点に応じて調整します。
 - ▶ SICAT Endo では、**3D**ビューで、その時点の焦点でピントが合うようにフレームの調整が行われます。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Endo では、スクロールしてからのレイヤーが維持されます。

21.7 十字線およびフレームの移動、非表示、表示

十字線の移動

2Dレイヤービューで、十字線を移動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 現在、すべての十字線とフレームが表示されています。
- 1. マウスポインタを希望のビューで十字線の中心に動かします。
 - ▶ マウスポインタが下記の十字線に切り替わります。



- 2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
- 3. マウスを動かします。
 - ▶ ビューの十字線は、マウスポインタの動きに従います。
 - ▶ SICAT Endo は別のビューのレイヤーおよび十字線を現在の焦点に応じて調整します。
 - ▶ SICAT Endo では、3Dビューで、その時点の焦点でピントが合うようにフレームの調整が行われます。
- 4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Endo では、十字線が移動後の位置を維持します。



十字線をすぐにマウスポインタの位置へ移動させる場合、2Dビューでダブルクリックすることができます。

十字線およびフレームの非表示/表示

十字線およびフレームを非表示/表示にするには、次のように行います。

- ☑ 現在、すべての十字線とフレームが表示されています。



- 1. ワークスペースのツールバーで、**十字線とフレームを非表示にするのアイコン**をクリックします。
 - ▶ SICAT Endo では、すべての2Dレイヤービューで十字線が隠れます。
 - ▶ SICAT Endo では、3Dビューでフレームが隠れます。



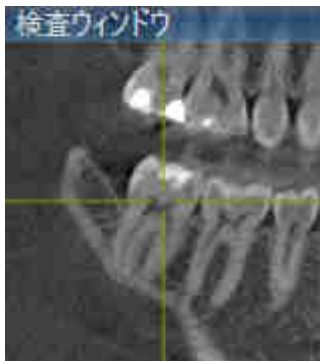
- 2. **十字線とフレームを表示するのアイコン**をクリックします。
 - ▶ SICAT Endo では、すべての2Dレイヤービューで十字線が表示されます。
 - ▶ SICAT Endo では、3Dビューでフレームが表示されます。

21.8 検査ウィンドウの移動、非表示、表示

検査ウィンドウの移動

検査ウィンドウを移動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ ワークスペースパノラマまたはワークスペース口腔内撮影画像はすでに開いています。これに関する情報は次を参照してください アクティブなワークスペースを切り替える。[▶ ページ 71 - SIDEXIS XG]。
- ☑ 検査ウィンドウは、隠さずに表示しておきます。



1. パノラマビュー、または口腔内撮影画像ビューでマウスポインタを検査ウィンドウのタイトルバーに合わせてください。
 - ▶ マウスポインタは手のマークになります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
3. マウスを動かします。
 - ▶ 検査ウィンドウは、マウスポインタの動きに追従します。
 - ▶ SICAT Endo 別のビューのレイヤーおよび十字線を現在の焦点に応じて調整します。
 - ▶ SICAT Endo 3Dビューで、その時点の焦点でピントが合うようにフレームの調整します。
4. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo 検査ウィンドウが移動後の位置を維持します。

検査ウィンドウの非表示/表示



検査ウィンドウの表示と隠すの別を表示するアイコンは、ステータス表示と切替用のアイコンとを同時に兼ねています。

検査ウィンドウを非表示にしたり、表示したりするためには、以下の手順に従って操作を行ってください。

- ☑ ワークスペースパノラマまたはワークスペース口腔内撮影画像はすでに開いています。これに関する情報は、[アクティブなワークスペースを切り替える](#)。[▶ ページ 71 - SIDEXIS XG]をご参照ください。
- ☑ 検査ウィンドウは、すでに表示されています。



1. 画像のツールバーのパノラマビューにおいてまたは口腔内撮影画像ビューにおいて、検査ウィンドウを非表示にするシンボルをクリックしてください。

▶ SICAT Endo 検査ウィンドウを非表示にします。



2. 画像のツールバーのパノラマビューにおいてまたは口腔内撮影画像ビューにおいて、検査ウィンドウを表示するシンボルをクリックしてください。

▶ SICAT Endo 検査ウィンドウを表示します。

21.9 ビューをリセットする

すべてのビューをリセットするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



- ワークスペースのツールバーで、**ビューをリセットする**のアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Endo では、すべてのビューで、**ズーム**、**トリミング部分の移動**、**スクロール**、**十字線の移動**、**検査ウィンドウの移動**のそれぞれがデフォルト値に復元されます。
- ▶ SICAT Endo では、**3Dビュー**で視線方向がデフォルト値に復元されます。

21.10 画像のスクリーンショットを作成する

画像のスクリーンショットを作成し、以下の手順で出力すると、文書作成を目的として使用することができます。

- SIDEXIS XGで現時点の診察ページにエクスポートする。
- Windowsのクリップボードにコピーする

ビューのスクリーンショットを、SIDEXISで現時点の診察ページにエクスポートする

ビューのスクリーンショットを、SIDEXISで現時点の診察ページにエクスポートするときは、次の手順で行います。

- ☑ 希望のビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報はアクティブなビューの切り替え [▶ ページ 77 - SIDEXIS XG]を参照してください。



- ビューのタイトルバーから、スクリーンショットをSIDEXISで現在の診察ページにエクスポートするのアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Endo ビューのスクリーンショットが、SIDEXISで現在の診察ページにエクスポートされます。

SICATアプリケーション内に作成したスクリーンショットをSIDEXIS XGから開く場合は対応するスタディでSICATアプリケーションを起動します。

画像のスクリーンショットをWINDOWSのクリップボードにコピーする

画像のスクリーンショットをWindowsのクリップボードに追加するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望のビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報はアクティブなビューの切り替え [▶ ページ 77 - SIDEXIS XG]を参照してください。



- ビューのタイトルバーから、スクリーンショットをクリップボードにコピーする (Ctrl+C) のアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Endo では、画像のスクリーンショットがWindowsのクリップボードにコピーされません。



クリップボードからスクリーンショットを貼り付けることができるアプリケーションは、例えば、画像処理やワープロのソフトウェアなど多数あります。貼り付けのショートカットキーは、大半のアプリケーションで「Ctrl+V」を使用します。

22 3Dビューの調整

3Dビューでは、随時、視線方向を変更することが可能です。これに関する情報は以下を参照してください [3Dビューの目線を変更する \[▶ ページ 90 - SIDEXIS XG\]](#)。

3D画像の構成設定を行うときは、以下の操作を行うことができます。

- [3Dビューの表示タイプを切り替える \[▶ ページ 92 - SIDEXIS XG\]](#)
- [3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する \[▶ ページ 93 - SIDEXIS XG\]](#)
- [3Dビューを回転させる \[▶ ページ 155 - SIDEXIS XG\]](#)

22.1 3Dビューの目線を変更する

3Dビューで視線方向を変更する手段は、2種類あります。

- インタラクティブ方式により変更を行う
- 標準目線を選択する

インタラクティブ方式により3Dビューの目線を変更する

3Dビューでインタラクティブ方式により視線方向を変更するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを **3D** 画像に重ねます。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
 - ▶ マウスポインタは手のマークになります。
3. マウスを動かします。
 - ▶ 目線はマウスの動きに合わせて変化します。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Endo では、**3D**ビューで変更後の視線方向をそのまま維持します。

標準目線を選択する

3Dビューで、デフォルトの視線方向を選択するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



1. **3D**ビューで左上隅にある、オリエンテーションヘッドのアイコンにマウスポインタを重ねます。
 - ▶ **目線**の透明なウィンドウが開きます。



- ▶ **目線**の透明なウィンドウ中央部で、オリエンテーションヘッドのハイライト表示されているものがありますが、それが現時点の視線方向です。
2. オリエンテーションヘッドのアイコンのうち、デフォルトにしたい視線方向を示しているものをクリックします。

- ▶ 3D画像の視線方向が、選択した視線方向に切り替わります。
3. マウスポインタを、**目線**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。
- ▶ **目線**の透明なウィンドウが閉じます。

22.2 3Dビューの表示タイプを切り替える



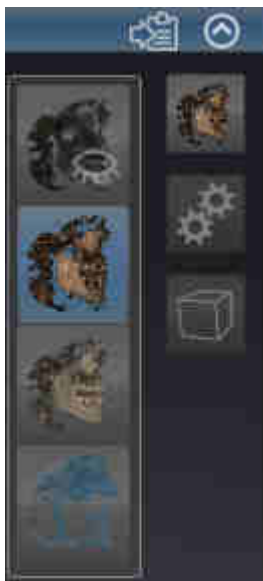
いずれの表示タイプも、すべてのワークスペースで使用できます。

3D画像の表示タイプを切り替えるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 3D画像を作業対象として選択しておきます。これに関する情報は以下を参照してください [アクティブなビューの切り替え](#) [▶ ページ 77 - *SIDEXIS XG*]。

1. 3Dビューの画像のツールバーで、**表示モードを切り替える**のアイコンにマウスポインタを重ねます。

▶ **表示モードを切り替える**の透明なウィンドウが開きます。



2. 任意の表示タイプのアイコンをクリックします。

▶ SICAT Endo は希望の表示タイプをアクティブにします。

3. マウスポインタを、**表示モードを切り替える**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **表示モードを切り替える**の透明なウィンドウが閉じます。

22.3 3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する



アクティブな表示モードを設定するのアイコンを表示する表示タイプは、構成設定が可能なものに限られています。アクティブな表示モードを設定するの透明なウィンドウで表示される設定内容は、選択した表示タイプに適用されるものに限られています。

3Dビューで選択している表示タイプについて、構成設定を行うときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 3D画像を作業対象として選択しておきます。これに関する情報はアクティブなビューの切り替え [▶ ページ 77 - SIDEXIS XG]を参照してください。
- ☑ 希望の表示タイプはすでにアクティブになっています。これに関する情報は3Dビューの表示タイプを切り替える [▶ ページ 92 - SIDEXIS XG]を参照してください。
- ☑ アクティブな表示タイプは設定可能です。



1. 3Dビューの画像のツールバーで、アクティブな表示モードを設定するのアイコンにマウスポインタを重ねます。

▶ アクティブな表示モードを設定するの透明なウィンドウが開きます。



2. 希望のスライダーを動かします。
 - ▶ SICAT Endo では、3D画像に対して、スライダーの位置に応じた調整が行われます。
3. 表示があれば、**詳細設定**の横にある矢印アイコンをクリックします。
 - ▶ **詳細設定**のコーナーがドロップダウンで展開します。
4. 使用できるチェックボックスをアクティブまたは無効にします。
 - ▶ SICAT Endo では、3D画像に対して、チェックボックス内のチェックマーク有無に応じた調整が行われます。
5. 希望のスライダーを動かします。
 - ▶ SICAT Endo では、3D画像に対して、スライダーの位置に応じた調整が行われます。

6. マウスポインタを、**アクティブな表示モードを設定する**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **アクティブな表示モードを設定する** の透明なウィンドウが閉じます。



現在の設定内容は、**現在の表示タイプの設定をデフォルト設定にリセットする**のボタンをクリックすると、変更前にプリセットしていた設定内容へ戻して復元することができます。



現在の設定内容は、**現在の表示タイプの設定をデフォルト設定として保存する**のボタンをクリックすると、プリセットの設定内容として保存できます。

22.4 3Dビューの切り抜きモードの切り替え

3Dビューの表示タイプを切り替えるには、次のように行います。

☑ 3D画像を作業対象として選択しておきます。これに関する情報は[アクティブなビューの切り替え](#) [▶ ページ 77 - *SIDEXIS XG*]を参照してください。

1. 3Dビューの画像のツールバーで、**切り抜きモードを切り替える**のアイコンにマウスポインタを重ねます。

▶ **切り抜きモードを切り替える**の透明なウィンドウが開きます。



2. 任意の切り抜きモードのアイコンをクリックします。

▶ SICAT Endo は任意の切り抜きモードを有効にします。

3. マウスポインタを、**切り抜きモードを切り替える**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **切り抜きモードを切り替える**の透明なウィンドウが閉じます。

23 ボリュームの配置およびパノラマエリア



ボリュームの配置の調整が必要な場合は、作業開始に3D X線ビューでこれを実行してください。ボリュームの配置を後で調整する場合は、診断または計画の一部の場合によっては繰り返す必要があります。

ボリュームの配置

すべてのビューのボリューム配置は、3本の主軸にボリュームを回して調整できます。これは、次のような場合に必要になることがあります。

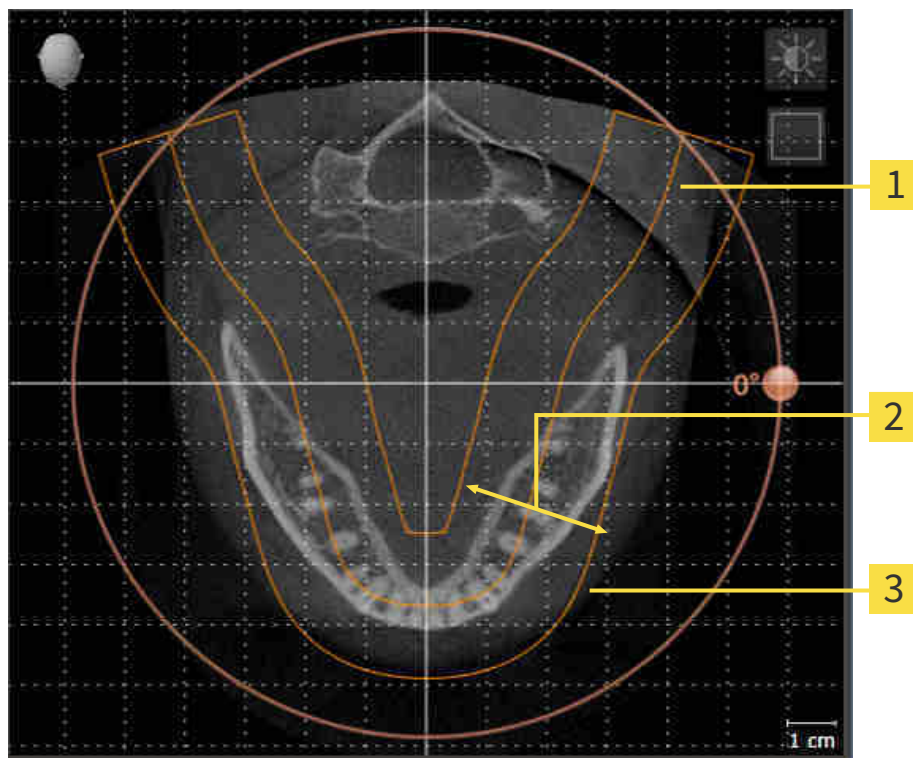
- 3D X線撮影の際に、患者の位置決めが最適ではなかった
- 軸方向レイヤーの配置がフランクフルト水平に平行または咬合平面に平行などの用途後の配置
- パノラマビューの最適化

SICAT Endoで、ボリュームの配置を調整すると、この調整した内容は、SICATの別アプリケーションすべてに適用されます。

ボリュームの配置を調整する手順は、[ボリュームの配置を調整する \[▶ ページ 98 - SIDEXIS XG\]](#)の節をご覧ください。

パノラマ エリア

SICAT Endo では、ボリュームとパノラマ エリアをベースとして計算を行い、パノラマ画像を出力します。パノラマビューを最適化するには、パノラマ エリアが患者の両顎と合致するように調整を行うとよいでしょう。これは、効果的かつ効率的な診断および治療計画のために重要となります。



1 パノラマ曲線

2 厚さ

3 パノラマエリア

パノラマ エリアは次の二つの要素によって確定されています。

- パノラマ歯列弓の形状と位置
- パノラマエリアの幅

最適な調整結果を得るために、パノラマ エリアは、以下の2項目の条件をいずれも満たしておいてください。

- パノラマ エリアは、全ての歯と両顎が完全に含まれていなくてはなりません。
- パノラマ エリアは、できるだけ薄くしてください。

SICAT Endo で、パノラマ エリアを調整すると、この調整した内容は、SICATの別アプリケーションのすべてに適用されます。

パノラマ エリアを調整する手順は、以下の節をご覧ください。パノラマ エリアを調整する [▶ ページ 103 - SIDEXIS XG].

23.1 ボリュームの配置を調整する

ボリュームの配置に関する一般的な情報はボリュームの配置およびパノラマエリア [▶ ページ 96 - *SIDEXIS XG*]に記載されています。

ボリュームの配置は、以下の手順で調整を行います。

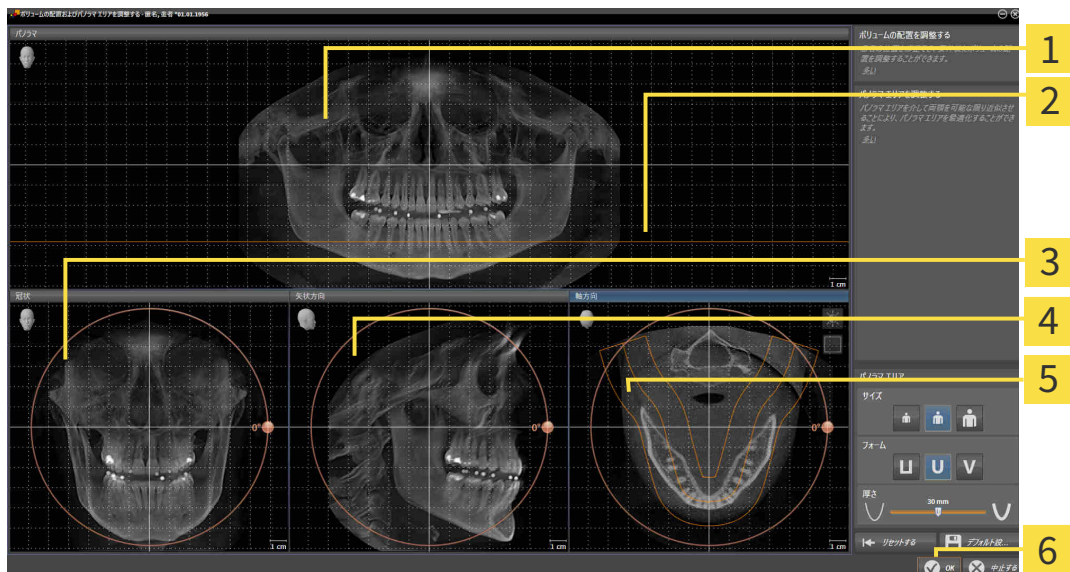
- ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整するのウィンドウを開く
- 冠状ビューでボリュームを回す
- 矢状方向ビューでボリュームを回す
- 軸方向ビューでボリュームを回す

「ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する」のウィンドウを開く

☑ ワークフロー・ステップの準備するは、展開させておきます。



- ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整しますのアイコンをクリックします。
- ▶ ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する のウィンドウが開きます。



1 パノラマ-ビュー

2 軸方向基準線

3 冠状ビューと回転スライダー

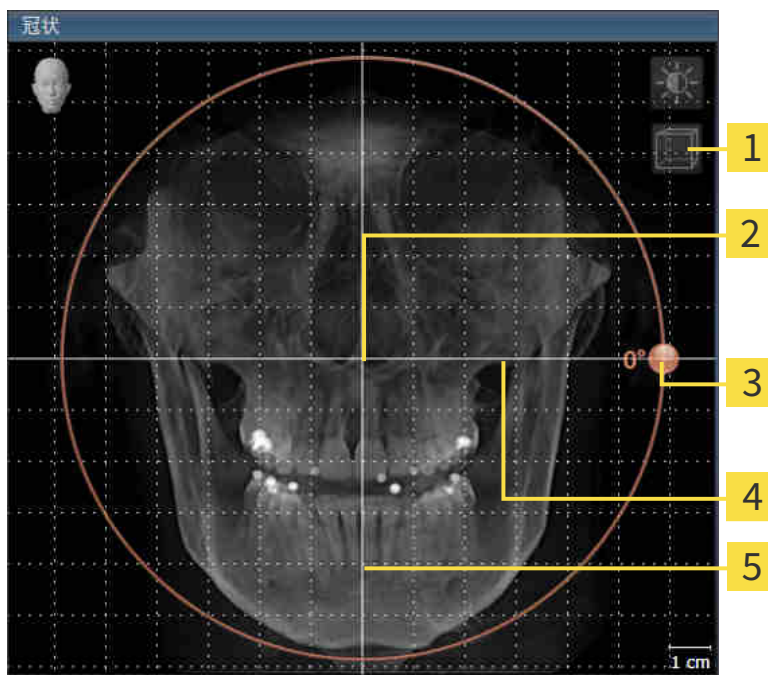
4 矢状方向ビューと回転スライダー

5 軸方向ビューと回転スライダー

6 ボタン OK

冠状ビューでボリウムを回す

1. 冠状ビューをアクティブにします。

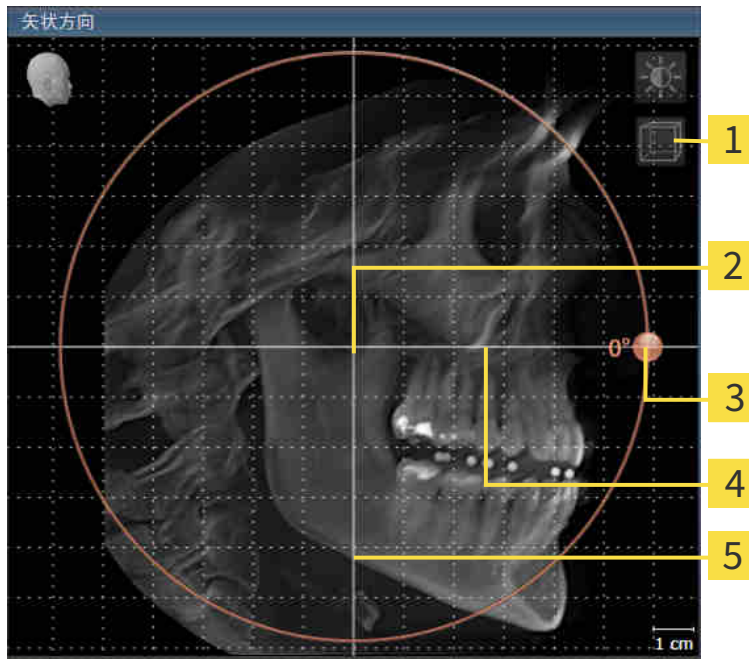


- アイコンレイヤーモードをアクティブにするまたはアイコン 投影モードをアクティブにする
- 1 アイコンレイヤーモードをアクティブにするまたはアイコン 投影モードをアクティブにする
- 2 回転中心
- 3 回転調整つまみ
- 4 水平基準線
- 5 垂直基準線

2. 投影モードがアクティブであることを確認してください。必要に応じて、**投影モードをアクティブにする**のアイコンをクリックします。
3. マウスポインタを**回転調整つまみ**に重ねます。
4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
5. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転調整つまみ**を移動させます。
 - ▶ SICAT Endo では、**冠状ビュー**で立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。
6. 希望するボリウムの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。水平基準線、垂直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。

矢状方向ビューでボリウムを回す

1. 矢状方向ビューをアクティブにします。

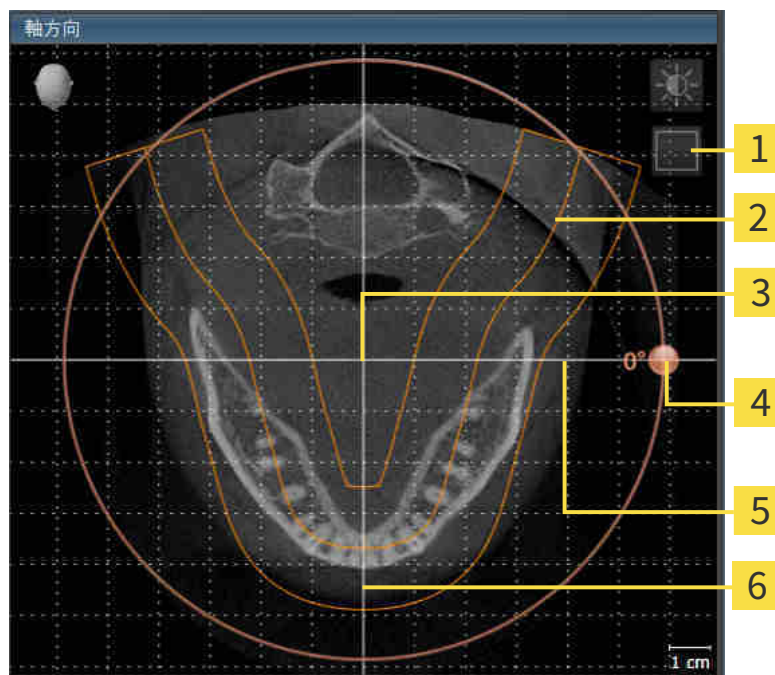


- | | |
|---|----------------|
| 1 アイコンレイヤーモードをアクティブにするまたはアイコン 投影モード をアクティブにする | 4 水平基準線 |
| 2 回転中心 | 5 垂直基準線 |
| 3 回転調整つまみ | |

2. 投影モードがアクティブであることを確認してください。必要に応じて、**投影モードをアクティブにする**のアイコンをクリックします。
3. マウスポインタを**回転調整つまみ**に重ねます。
4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
5. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転調整つまみ**を移動させます。
 - ▶ SICAT Endo では、**矢状方向ビュー**で立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。
6. 希望するボリウムの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。水平基準線、垂直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。

軸方向ビューでボリウムを回す

1. 軸方向ビューをアクティブにします。



- | | |
|--|------------------|
| 1 アイコン投影モードをアクティブにする
またはアイコンレイヤーモードをアクティブにする | 4 回転調整つまみ |
| 2 パノラマエリア | 5 水平基準線 |
| 3 回転中心 | 6 垂直基準線 |

2. レイヤーモードがアクティブであることを確認してください。必要に応じて、レイヤーモードをアクティブにするのアイコンをクリックします。
3. 例えば、パノラマビューで軸方向基準線をマウスの左ボタンをクリックし、左ボタンを押したままマウスを上下に動かして下顎骨/歯の根のレイヤーをスクロールします。
4. その必要があれば、パノラマエリアの移動は、軸方向ビューで行います。このときは、パノラマエリア上で左マウスボタンをクリックしたら、左マウスボタンを押したまま、マウスを移動させます。SICAT Endo では、パノラマエリアが移動すれば、それに応じて、回転中心、水平基準線、垂直基準線がいずれも移動します。
5. マウスポインタを回転調整つまみに重ねます。
6. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
7. 円形に沿って、お好みの方向へ回転調節つまみを移動させます。
 - ▶ SICAT Endo では、軸方向ビューで立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。

8. 希望するボリュームの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。パノラマエリア、水平基準線、垂直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。
9. 調整した後の内容を保存するときは、**OK**をクリックします。
 - ▶ ボリュームの配置を調整すると、それがSICATのアプリケーションに現在あるオブジェクトに影響する場合は、SICAT Endoで、通知ウィンドウが開き、影響の詳細についてお知らせします。
10. それでもなお、ボリュームの配置の調整を行いたいときは、通知ウィンドウに**調整する**のボタンがありますので、それをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo は調整されたボリュームの配置を保存し、配置に応じてボリュームをすべてのビューで表示します。

説明のある手順に加えて、**ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する**のウィンドウでは、以下の各操作が可能です。



- 2Dビューでは、明るさやコントラストを調整できます。このときは、希望のビューをアクティブにし、**輝度およびコントラストの調整**のアイコンをクリックしてください。これに関する情報は**2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット** [▶ ページ 80 - SIDEXIS XG]を参照してください。
- ビューでズームすることができます。SICAT Endo **軸方向**ビューの画像付のビュー間のズームを同期します。
- **リセットする**のボタンをクリックすると、ボリュームの配置やパノラマエリアをデフォルトに復元できます。
- **デフォルト設定を保存する**のボタンをクリックすると、立体画像の現時点の方向や現時点のパノラマエリアを、プリセットの設定内容として保存できます。
- 調整した後の内容を保存する必要がないときは、**中止する**をクリックしてください。

23.2 パノラマエリアを調整する

パノラマエリアに関する一般的な情報は、ボリユームの配置およびパノラマエリア [▶ ページ 96 - SIDEXIS XG] の節をご覧ください。

パノラマエリアの調整は、以下の手順で調整を行います。

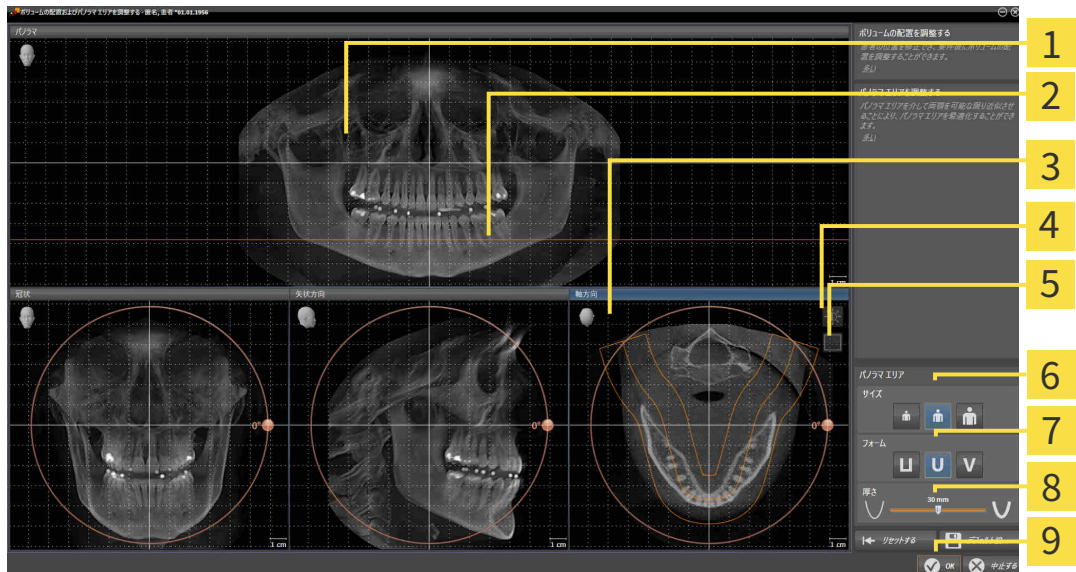
- ボリユームの配置およびパノラマエリアを調整するのウィンドウを開く
- 軸方向ビューのレイヤー位置を調整する
- パノラマエリアを移動する
- 軸方向ビューでボリユームを回す
- サイズ、フォーム、厚さのそれぞれのパノラマエリアを調整する

「ボリユームの配置およびパノラマエリアを調整する」のウィンドウを開く

- ワークフロー・ステップの準備するは、展開させておきます。



- ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整しますのアイコンをクリックします。
- ▶ ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する のウィンドウが開きます。



- | | |
|--|-------------------|
| 1 パノラマ-ビュー | 6 サイズ-ボタン |
| 2 軸方向基準線 | 7 フォーム-ボタン |
| 3 軸方向ビューと回転スライダー | 8 厚さ-スライダー |
| 4 アイコン 輝度およびコントラストの調整 | 9 ボタン OK |
| 5 アイコン 投影モードをアクティブにする
またはアイコン レイヤーモードをアクティブにする | |

軸方向ビューのレイヤー位置を調整する



1. 軸方向ビューで、レイヤーモードが選択されていることを確認します。必要に応じて、レイヤーモードをアクティブにするのアイコンをクリックします。
2. パノラマビューで、軸方向基準線にマウスポインタを重ねます。軸方向基準線は、軸方向ビューの現在のレイヤー位置を示しています。
3. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
4. マウスを上下方向に移動させます。
 - ▶ 軸方向画像のレイヤーは、パノラマビューで、水平断面の基準線がある位置に合わせて、調整が行われます。
5. 軸方向基準線が下顎骨/歯の根に来たら、マウスの左ボタンから指を放します。
 - ▶ 軸方向ビューでは、調整後のレイヤーが表示されて維持されます。

パノラマエリアを移動する

1. **軸方向ビュー**で、マウスポインタをパノラマエリアに重ねます。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
▶ マウスポインタの形が切り替わります。
3. マウスを動かします。
▶ SICAT Endo では、マウスポインタの位置に合わせて、パノラマエリアの調整が行われます。
4. パノラマエリアの中央の曲線が下顎骨/歯の根に来たら、マウスの左ボタンから指を放します。
▶ パノラマエリアは現在位置を保持します。

軸方向ビューでボリウムを回す

1. **軸方向ビュー**で、マウスポインタを**回転調整つまみ**に重ねます。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転調整つまみ**を移動させます。
▶ SICAT Endo では、**軸方向ビュー**で、**回転調整つまみ**に合わせて、立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。
4. 下顎骨/歯の根がパノラマエリアの中央の曲線に来たら、マウスの左ボタンから指を放します。

パノラマエリアのサイズ、フォームおよび厚さを調整する



1. パノラマエリアの**サイズ**は、患者の下顎骨と合致が最も良好なものを選択します。このときは、そのサイズに該当する、**サイズ**のボタンをクリックします。



2. パノラマエリアの**フォーム**は、患者の下顎骨と合致が最も良好なものを選択します。このときは、そのサイズに該当する、**フォーム**のボタンをクリックします。



3. **軸方向ビュー**で、**投影モード**が選択してあることを確認します。必要に応じて、**投影モードをアクティブにする**のアイコンをクリックします。



4. **厚さ**のスライダー位置を移動させて、パノラマエリアの**厚さ**を選択します。パノラマエリアに全ての歯と両顎が完全に含まれていることを確認します。厚さは、できるだけ薄くしてください。

5. 調整した後の内容を保存するときは、**OK**をクリックします。

▶ SICAT Endo では、ポリュームの配置とパノラマエリアについて、いずれも調整した後のものが保存され、パノラマ画像は、その調整後のデータにより表示されます。

説明のある手順に加えて、**ポリュームの配置およびパノラマエリアを調整する**のウィンドウでは、以下の各操作が可能です。



- 2Dビューでは、明るさやコントラストを調整できます。このときは、希望のビューをアクティブにし、**輝度およびコントラストの調整**のアイコンをクリックしてください。これに関する情報は**2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット** [▶ ページ 80 - SIDEXIS XG]を参照してください。
- ビューでズームすることができます。SICAT Endo **軸方向ビュー**の画像付のビュー間のズームを同期します。
- **リセットする**のボタンをクリックすると、ポリュームの配置やパノラマエリアをデフォルトに復元できます。
- **デフォルト設定を保存する**のボタンをクリックすると、立体画像の現時点の方向や現時点のパノラマエリアを、プリセットの設定内容として保存できます。
- 調整した後の内容を保存する必要がないときは、**中止する**をクリックしてください。

24 光学印象



光学印象は、Sirona 3D X線機器で作成したX線データにのみインポートおよび記録することができます。

SICAT Endo 同じ患者1名について、X線撮影画像と光学印象の対応が相互にとれていれば、その両者を同時に表示できます。表示の組み合わせは、分析および診断のための追加情報を提供します。さらに、治療の実施は光学印象をベースにしています。

光学印象を含むデータを SICAT Endo で使用するには、次の操作が必要となります。

- X線データへの光学印象の記録

SICAT Endo は、次の光学印象用ファイルフォーマットに対応しています。

- SIXDファイル（上顎骨の光学印象と下顎骨の光学印象が含まれます）
- SSIファイル（上顎骨の光学印象と下顎骨の光学印象が含まれます）
- 上顎または下顎の光学印象を含むSTLファイル (SICAT Suite STL インポートライセンスが必要です)

次のツールは光学印象に使用することができます。

- [光学印象をインポートし記録する \[▶ ページ 108 - SIDEXIS XG\]](#)
- [他のSICATアプリケーションからの光学印象を再使用する \[▶ ページ 116 - SIDEXIS XG\]](#)
- 光学印象のアクティベーション、非表示および表示に関する情報は[オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 59 - SIDEXIS XG\]](#)をご覧ください。
- 光学印象に焦点を当てること、および光学印象を削除することに関する情報は、[オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 61 - SIDEXIS XG\]](#)の節をご覧ください。

STL形式の光学印象はインポートの際に追加の操作が必要です。これに関する情報は[STLフォーマットの光学印象の場合の追加手順 \[▶ ページ 114 - SIDEXIS XG\]](#)を参照してください。

24.1 光学印象をインポートし記録する



3D X線撮影画像以外のデータを唯一の情報源として使用すると、結果として、診断や治療を誤ることになりかねません。

1. 診断や治療計画の立案にあたって利用する情報源としては、3D X線撮影画像を優先させてください。
2. 光学印象データなどの他のデータは、補助的な情報源としてのみ利用してください。



不適切な光学印象用機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず医療機器として承認されている機器の光学印象データを使用してください。



3D X線撮影画像の患者と日付が一致しない光学印象データを使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

患者データの患者と日付が、表示された3D X線撮影画像の患者および日付と一致していることを確認してください。



光学印象データのインテグリティまたは品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

インポートした光学印象データのインテグリティと品質を確認してください。



光学印象データの品質および正確性が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および正確性の光学印象データを利用してください。



過度なアーチファクト、不十分な解像度、または記録のための点の欠如は、光学印象の記録に失敗する原因になるおそれがあります。
例：3D X線撮影画像の過度なアーチファクトは、モーション/メタルアーチファクトです。

必ず正確な記録を可能にする光学印象と3D X線撮影画像のみを使用してください。



互いに一致しない光学印象の記録プロセスでマークを選択すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

光学印象データを記録する場合、3D X線撮影画像と光学印象に一致するマーキングで慎重に選択します。

**注意**

間違って記録された光学印象データおよび3D X線撮影画像を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

記録された光学印象が3D X線撮影画像に対して正確に配置されているか確認してください。



これにより、3DX線撮影画像と光学印象が互いに適合しているかどうか確認することができ、アシスタント**光学印象をインポートし記録する**が患者データを常時表示し、設定**匿名にする**を無視します。



光学印象がX線データに正確に配置されているか検査するには、**検査ウィンドウ**を使用することができます。**検査ウィンドウ**を移動し、**検査ウィンドウ**でレイヤーをスクロールすることができます。

光学印象に関する一般的な情報は、**光学印象** [▶ ページ 107 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。

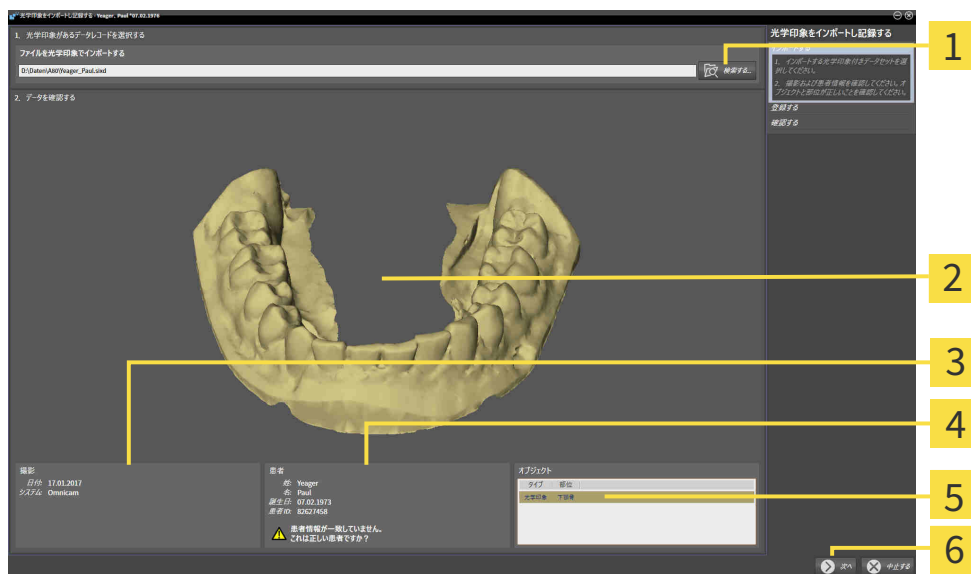
光学印象のインポートおよび登録は、次のように行います。

ワークフロー・ステップの**準備する**は、展開させておきます。



1. **光学印象をインポートし記録する**のアイコンをクリックしてください。
 - ▶ **インポートする**のステップで、**光学印象をインポートし記録する**ウィザードが開いています。
2. **検索する**のボタンをクリックしてください。
 - ▶ **ファイルを光学印象で開く**のウィンドウが開きます。
3. **ファイルを光学印象で開く** ウィンドウで、光学印象を含む任意のファイルに切り替え、ファイルを選択し、**開く**をクリックします。
 - ▶ **ファイルを光学印象で開く**ウインドウが閉じます。

▶ SICAT Endo 光学印象を含む選択されたファイルを開きます。



- | | |
|--------------------------------|--------------------|
| 1 エリア ファイルを光学印象でインポートする | 4 患者情報 |
| 2 3D-光学印象のビュー | 5 オブジェクトリスト |
| 3 撮影図情報 | 6 ボタン 次へ |

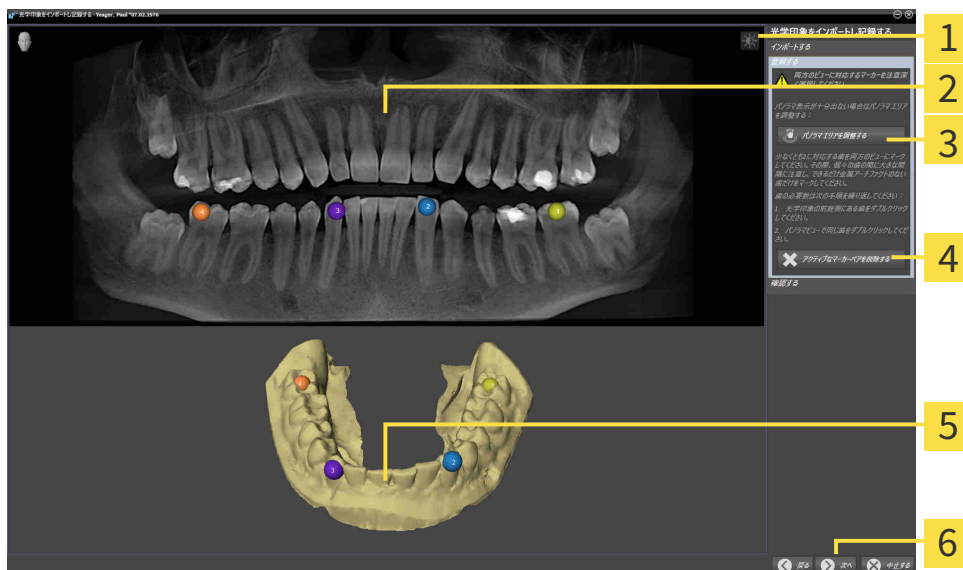
4. 撮影図情報と患者情報を確認してください。
5. オブジェクトと部位が正しいことを確認してください。オブジェクトリストの背景色は3Dビューでのオブジェクトの色に相当します。
6. 次へをクリックします。

- ▶ 3D X線撮影画像の患者データと光学印象のそれが異なる場合、SICAT Endoは、異なる患者情報ウィンドウを開きます。



- 患者情報を比較してください。光学印象が現在の患者と一致していることを確認できる場合は、はいボタンをクリックしてください。

- ▶ 登録するのステップが開きます。



- | | |
|------------------------------|--------------------------------|
| 1 シンボル 輝度およびコントラストの調整 | 4 ボタン アクティブなマーカーペアを削除する |
| 2 パノラマビュー | 5 3Dビュー(光学印象が表示されます) |
| 3 ボタン パノラマエリアを調整する | 6 ボタン 次へ |

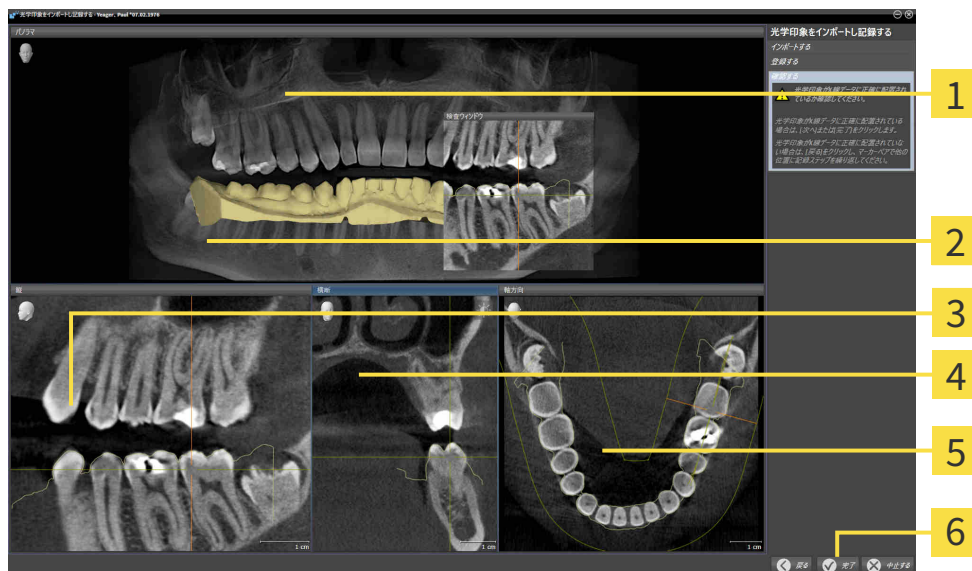
8. パノラマビューの光学印象および3Dビューの光学印象の前庭側の両方で、同じ歯をマウスの左ボタンでダブルクリックします。その際、個々の歯の間に大きな間隔に注意し、金属アーチファクトのない歯だけをマークしてください。両方のビューで一致する歯が2個以上識別表示されるまで、この手順を繰り返します。

▶ 両方のビューにある様々な色と番号のマークは、光学印象の割り当てられた歯を示しています。

9. 次へをクリックします。

▶ SICAT Endo X線データによる光学印象の記録を計算します。

▶ 確認するのステップが開きます。



1 パノラマ-ビュー

2 検査ウィンドウ

3 縦-ビュー

4 横断-ビュー

5 軸方向-ビュー

6 ボタン 完了

10. 光学印象がX線データに正確に配置されているか2Dレイヤービューを確認してください。レイヤーをスクロールし、表示されている輪郭をチェックしてください。

11. 光学印象がX線データに正確に配置されていない場合、戻る ボタンをクリックし、別の位置にあるマーカのペアで登録するのステップを繰り返してください。

12. 光学印象がX線データに正確に配置されている場合は、完了ボタンをクリックします。

▶ 光学印象をインポートし記録するウィザードが閉じます。

▶ SICAT Endo 選択した光学印象をオブジェクトブラウザに追加する

▶ SICAT Endo 記録されている光学印象を表示します。



記載されている手順に加え、以下の操作が**光学印象をインポートし記録する**で使用できます。

- アイコン**輝度およびコントラストの調整**をクリックして、2Dビューの輝度およびコントラストを調整することができます。これに関する情報は**2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット** [▶ ページ 80 - *SIDEXIS XG*]を参照してください。
- パノラマエリアは、**パノラマエリアを調整する**アイコンをクリックして調整することができます。これに関する情報は**パノラマエリアを調整する** [▶ ページ 103 - *SIDEXIS XG*]を参照してください。
- **登録する** で特定のマーカペアを削除する場合、ペアのマーカを選択し、**アクティブなマーカペアを削除する** ボタンをクリックします。
- 光学印象のインポートおよび記録を中断する場合、**中止する** をクリックします。

24.2 STLフォーマットの光学印象の場合の追加手順

STLファイルに光学印象の位置と向きに関する情報は含まれていません。そのため、位置と向きを必要に応じて調整する必要があります。

☑ SICAT Suite STL Importライセンスは既に有効化済みです。

1. STL形式のファイルから光学印象を開きます。これに関する情報は光学印象をインポートし記録するを参照してください。

▶ ウィンドウSTLインポートアシスタントが開きます。



1 顎の選択

3 内側と外側の交換

2 向きの変更

4 ボタン OK

2. 顎エリアで光学印象が上顎骨か下顎骨のいずれを含んでいるか、対応するアイコンをクリックして選択してください。



3. 大まかな事前配置のために、向きエリアで矢印アイコンまたは回転アイコンをクリックすることで、必要に応じて光学印象の向きを変更してください。

4. パラメータエリアで光学印象表示をクリックすることで、光学印象の内側と外側を必要に応じて交換してください。

5. OKのボタンをクリックします。

6. 必要に応じて二つ目のSTLファイルに同様の手順を行ってください。SICAT Endo 二つ目のSTFファイルをそれぞれ異なる顎に割り当てます。

▶ SICAT Endo にインポートした光学印象光学印象をインポートし記録するがアシスタントに表示されます。

7. 光学印象の登録に進みます。これに関する情報は光学印象をインポートし記録するを参照してください。

24.3 他のSICATアプリケーションからの光学印象を再使用する



注意

3D X線撮影画像以外のデータを唯一の情報源として使用すると、結果として、診断や治療を誤ることになりかねません。

1. 診断や治療計画の立案にあたって利用する情報源としては、3D X線撮影画像を優先させてください。
2. 光学印象データなどの他のデータは、補助的な情報源としてのみ利用してください。



注意

不適切な光学印象用機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず医療機器として承認されている機器の光学印象データを使用してください。



注意

3D X線撮影画像の患者と日付が一致しない光学印象データを使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

患者データの患者と日付が、表示された3D X線撮影画像の患者および日付と一致していることを確認してください。



注意

光学印象データのインテグリティまたは品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

インポートした光学印象データのインテグリティと品質を確認してください。



注意

光学印象データの品質および正確性が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および正確性の光学印象データを利用してください。



注意

間違って記録された光学印象データおよび3D X線撮影画像を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

記録された光学印象が3D X線撮影画像に対して正確に配置されているか確認してください。



これにより、3DX線撮影画像と光学印象が互いに適合しているかどうか確認することができ、アシスタント光学印象をインポートし記録するが患者データを常時表示し、設定匿名にするを無視します。

光学印象に関する一般的な情報は、以下の節をご覧ください。 [光学印象](#) [▶ ページ 107 - SIDEXIS XG]。

他のSICATアプリケーションからの光学印象を再使用するには、次のように行います：

- ☑ ワークフロー・ステップの**準備する**は、展開させておきます。
 - ☑ 開いているスタディのために、光学印象を他のSICATアプリケーションにすでにインポートしましたが、SICAT Endoでまだ使用していません。
1. **光学印象をインポートし記録する**のアイコンをクリックします。
 - ▶ **インポートする**のステップで、アシスタント機能**光学印象をインポートし記録する**が開いています。
 2. **他のSICATアプリケーションからの光学印象を再使用する**エリアで希望の光学印象のある行をクリックします。
 3. SICAT Endo に選択した光学印象が表示されます。
 4. 撮影図情報と患者情報を確認してください。オブジェクトと部位が正しいことを確認してください。オブジェクトリストの背景色は3Dビューでのオブジェクトの色に相当します。
 5. **完了**のボタンをクリックします。
 - ▶ アシスタント機能の **光学印象をインポートし記録する** が閉じます。
 - ▶ SICAT Endo 選択した光学印象を**オブジェクトブラウザ**に追加する
 - ▶ SICAT Endo に選択した光学印象が表示されます。
- 他のSICATアプリケーションからの光学印象の引き継ぎを中断する場合は、**中止する**をクリックします。

25 口腔内撮影画像



医療用製品として承認されていない口腔内撮影用デバイスは、間違った診断と治療結果につながるおそれがあります。

医療用製品として承認されている口腔内撮影用デバイスのみを使用するようにしてください。



口腔内撮影画像の完全性または品質が十分でない場合、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

インポートされた口腔内撮影画像の完全性と品質を確認してください。



3D X線撮影画像と一致しない口腔内撮影画像を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

口腔内撮影画像が3D X線撮影画像が正しく登録されていることを確認してください。



患者および3D X線撮影画像が一致しない、または撮影時期が3D X線撮影画像の撮影時期が離れている口腔内撮影画像を使用した場合、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

口腔内撮影画像の患者と3D X線画像の患者が一致しており、その撮影時期が3D X線撮影時期と離れていないことを確認してください。



口腔内撮影画像や3D X線撮影画像の品質が不十分な場合は、口腔内撮影画像の登録のためのメカニズムが失敗する可能性があります。

必ず正しい登録が可能な口腔内撮影画像と3D X線撮影画像のみを使用してください。



口腔内撮影画像の品質および精度が十分でない場合、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および精度の口腔内撮影画像を使用してください。



口腔内撮影画像の位置または向きが間違っていると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

登録後に、3D X線撮影画像の歯に対して口腔内撮影画像の位置と向きが正しくなっていることを確認してください。



注意

3D X線撮影画像に対して向きが間違っ口腔内撮影画像を使用すると、間違っ診断および治療につながるおそれがあります。

1. 登録された口腔内撮影画像が3D X線撮影画像に対して正しく配置されているか確認してください。
2. 必要に応じて、口腔内撮影画像を回し、正しく配置させてください。



注意

歯の番号の割り当てが間違っていると、間違っ診断および治療につながるおそれがあります。

選択された歯の番号と実際の歯の番号が一致していることを確認してください。

SICAT Endoを診断の準備および治療計画に口腔内撮影画像を使用することができます。口腔内撮影画像は、**X線撮影マネージャ**ウィンドウにおいてインポートおよび管理を行うことができます。

口腔内撮影画像を SICAT Endoで使用するには、次の操作が必要となります。

- 口腔内撮影画像を含むDICOMファイルのインポート
- 歯の番号の口腔内撮影画像への割り当て
- 口腔内撮影画像の登録

SICAT Endo 口腔内撮影画像の次のファイル形式をサポートします。

- シングルフレームファイルであるDICOMデータ

互換性のある撮影システムの一覧は、*互換性のある口腔内撮影用センサー* [▶ ページ 120 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。

口腔内撮影には次の操作が利用できます。

- 口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます [▶ ページ 121 - *SIDEXIS XG*]
- 口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う [▶ ページ 126 - *SIDEXIS XG*]
- 口腔内撮影画像を登録する [▶ ページ 128 - *SIDEXIS XG*]

25.1 互換性のある口腔内撮影用センサー

SICAT Endo 以下の口腔内撮影用センサーをサポートしています。

- XIOS XG Supreme、製造元:Sirona Dental Systems GmbH、ドイツ
- XIOS XG Select、製造元:Sirona Dental Systems GmbH、ドイツ
- XIOS Plus、製造元:Sirona Dental Systems GmbH、ドイツ
- Schick 33、製造元:Sirona Dental Inc.、米国
- Schick Elite、製造元:Sirona Dental Inc.、米国

25.2 口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます

口腔内撮影画像に関する一般的な情報は、[口腔内撮影画像](#) [▶ ページ 118 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。

以下の手順で、口腔内撮影画像をインポートし、1本または複数の歯を割り当てます。

- ☑ ワークフロー・ステップの**準備**は、展開させておきます。これに関する情報は、[ワークフローのツールバー](#) [▶ ページ 54 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。
- ☑ 口腔内撮影画像は、SICAT Endoにまだありません。口腔内撮影画像は1回のみインポートすることができます。
- ☑ 口腔内撮影画像は、シングルフレームフォーマットのDICOMファイルとして利用できます。
- ☑ 口腔内撮影画像は、互換性のある口腔内撮影装置を使用して作成されました。これに関する情報は、[互換性のある口腔内撮影用センサー](#) [▶ ページ 120 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。



1. **口腔内撮影画像の管理・登録中のアイコン**をクリックしてください。
 - ▶ **X線撮影マネージャ**のウィンドウが開きます。
2. **検索する**のボタンをクリックしてください。
 - ▶ **口腔内撮影画像を開く**のウィンドウが開きます。
3. **口腔内撮影画像を開く**ウィンドウの希望する口腔内撮影画像に移動し、ファイルを1つ以上選択してください。**Ctrl**キーを押しながら複数のファイルを続けて選択することで、複数のファイルを同時にインポートすることができます。
4. **開く**をクリックします。
 - ▶ **口腔内撮影画像を開く**ウィンドウが閉じます。

▶ SICAT Endo はインポートされた口腔内撮影画像を示します。



- 1 ボタン 検索する
- 2 エリア インポートされた口腔内撮影画像
- 3 エリア プレビュー
- 4 患者情報
- 5 撮影図情報
- 6 ボタン 登録中

5. インポートされた口腔内撮影画像を選択するには、画像のインポートされた口腔内撮影画像のエリアをクリックしてください。

▶ SICAT Endo はプレビューのエリアに選択された画像を表示します。

6. 患者に関する情報と、撮影画像に関する情報を確認してください。撮影画像と患者が一致しており、3D X線撮影画像と口腔内撮影画像の撮影日が90日以上離れていないことを確認してください。

7. 口腔内撮影画像が実際の歯の配置に対し正しい向きになっていることを確認してください。

8. インポートされた口腔内撮影画像が、実際の歯の配置に対し正しくアラインメントされていない場合は、撮影画像のインポートされた口腔内撮影画像エリアを右クリックし、コンテキストメニューから左右反転、垂直に反転させる、反時計回りに回転するもしくは時計回りに回転するのうちのいずれかの項目を選択してください。

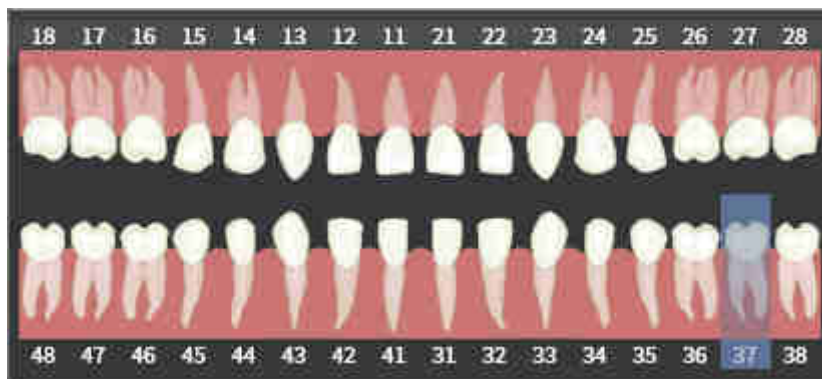
▶ SICAT Endo は撮影画像を水平または垂直方向に反転します。

▶ SICAT Endo は撮影画像を左または右に90度のステップで回転します。



9. 撮影画像のクエスチョンマークにマウスポインタを重ねます。

- ▶ **歯の番号**のウィンドウが開きます。



10. 実際の歯の配置に対し正しい歯の番号に続けてクリックすることにより、撮影画像を最大4つの歯の番号に割り当ててください。

11. **歯の番号**ウィンドウを閉じるには、ウィンドウの外側にマウスポインタを合わせてください。

- ▶ SICAT Endo は**歯の番号**ウィンドウを閉じます。
- ▶ SICAT Endo は口腔内撮影画像に関連した歯の番号を表示します。
- ▶ SICAT Endo X線撮影マネージャを閉じるときに変更内容を保存します。

コンテキストメニュー上の**インポートされた口腔内撮影画像**のエリアでは、次の機能呼び出すことができます。



- 左右反転
- 垂直に反転させる
- 反時計回りに回転する
- 時計回りに回転する
- 歯の番号
- 登録中
- 削除する



インポートされた口腔内撮影画像をインポートされた口腔内撮影画像エリアから削除するには、次の方法があります。

- 撮影画像で計画プロジェクトから口腔内撮影画像を削除するのアイコンをクリックしてください。
- 撮影画像上でマウスの右ボタンをクリックし、コンテキストメニューで削除するの項目を選択してください。
- インポートされた口腔内撮影画像エリア内で撮影画像をマーキングし、Delボタンを押してください。

インポートされた口腔内撮影画像を登録するには、次のセクションの手順に従ってください。

- 登録ウィザード [▶ ページ 125 - SIDEXIS XG]

26 登録ウィザード

登録ウィザードは、口腔内撮影画像の登録に必要な機能を提供します。

登録ウィザードを使用するには、口腔内撮影画像がすでにインポートされており、歯の番号が割り当てられている必要があります。これに関する情報は、[口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます](#) [▶ ページ 121 - SIDEXIS XG]をご参照ください。

登録ウィザードでの作業を開始する前に、登録したい口腔内撮影画像を選択する必要があります。

登録ウィザードでは、口腔内撮影画像をパノラマ曲線上にプリアラインメントできます。**3D投影ビュー**では、SICAT Endoが口腔内撮影画像を自動的に登録する前に、アラインメントの微調整を行えます。

登録ウィザードは、次のステップで構成されます。

- [口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う](#) [▶ ページ 126 - SIDEXIS XG]
- [口腔内撮影画像を登録する](#) [▶ ページ 128 - SIDEXIS XG]

パノラマビューにおけるプリポジショニングだけでは不十分な場合は、ステップ**口腔内撮影画像を登録する**において、アライメントを**横断ビュー**または**軸方向ビュー**でも調整することができます。これに関する情報は、[横方向および軸方向のプリアライメントを調整する](#) [▶ ページ 131 - SIDEXIS XG]をご参照ください。

口腔内撮影画像内に、登録の際に問題が発生する可能性があるエリアが含まれている場合には、ステップ**口腔内撮影画像を登録する**において、これらのエリアをマスクで着色することにより、登録の対象から除外することができます。これに関する情報は、[エリアをマスクングする](#) [▶ ページ 134 - SIDEXIS XG]をご参照ください。

26.1 口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う

登録ウィザードに関する一般的な情報は、登録ウィザード [▶ ページ 125 - SIDEXIS XG] をご参照ください。

ステップ**口腔内撮影画像のプリポジショニング**を行うにおいては、口腔内撮影画像をパノラマ曲線上にアラインメントして、3D X線撮影画像と口腔内撮影画像の間に可能な限り最適なオーバーレイを実現します。

- ☑ ワークフロー・ステップの**準備**は、展開させておきます。これに関する情報は、ワークフローのツールバー [▶ ページ 54 - SIDEXIS XG] をご参照ください。
- ☑ 少なくとも1つの口腔内撮影画像をインポートされ、少なくとも1つの歯の番号が割り当てられています。これに関する情報は、**口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます** [▶ ページ 121 - SIDEXIS XG] をご参照ください。

1. **口腔内撮影画像の管理・登録中**のアイコンをクリックしてください。

▶ X線撮影マネージャのウィンドウが開きます。

2. 口腔内撮影画像を登録のために選択するには、撮影画像の上に左マウスボタンをクリックしてください。

▶ SICAT Endo は撮影画像をマークします。

3. **登録中**のボタンをクリックしてください。

▶ **口腔内撮影画像のプリポジショニング**を行うのステップが開きます。



1 ウィンドウ パノラマ

3 ボタン 次へ

2 透明度スライダー

▶ SICAT Endo **パノラマ**ウィンドウにおいて、口腔内撮影画像をパノラマ曲線上に表示します。

4. 口腔内撮影画像を移動させるには、撮影画像にマウスポインタを合わせてください。

5. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。

6. 希望する位置に口腔内撮影画像を移動します。
7. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo 撮影画像の現在の位置を維持します。
8. 必要に応じて、口腔内撮影画像の向きを口腔内撮影画像のプリポジショニングを行うエリアにおいて、**左右反転ボタン**、**垂直に反転させるボタン**、**時計回りに回転するボタン**、もしくは**反時計回りに回転するボタン**で調整することができます。
9. 登録の次のステップに移動するには、**次へボタン**をクリックしてください。
 - ▶ **口腔内撮影画像を登録する**のステップが開きます。

口腔内撮影画像の登録を開始するための他の方法としては、次の手順に従うことができます。



- 口腔内撮影画像の**インポートされた口腔内撮影画像**のエリアをダブルクリックしてください。
- 口腔内撮影画像の**インポートされた口腔内撮影画像**のエリアをマーキングし、**Enter**キーを押してください。
- **インポートされた口腔内撮影画像**のエリアで口腔内撮影画像をマウスの右ボタンでクリックし、コンテキストメニューから**登録中**の項目を選択してください。



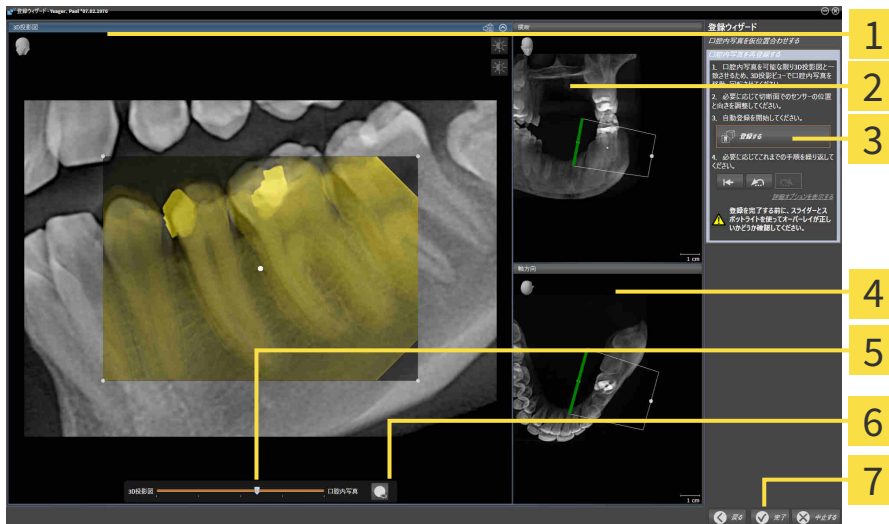
口腔内撮影画像とパノラマの正しいオーバーレイを確認するためには、**透明度**スライダーで画像の透明度を調整することができます。

口腔内撮影画像を登録する [▶ ページ 128 - *SIDEXIS XG*]を継続してください。

26.2 口腔内撮影画像を登録する

登録ウィザードに関する一般的な情報は、登録ウィザード [▶ ページ 125 - SIDEXIS XG] をご参照ください。

口腔内撮影画像を登録するステップにおいては、自動登録を実行する前に、口腔内撮影画像の初期位置の微調整を行うことができます。



1 3D投影-ビュー

2 横断-ビュー

3 ボタン 登録する

4 軸方向-ビュー

5 透明度スライダー

6 ボタン スポットライト

7 ボタン 完了

口腔内撮影画像のオーバーレイを3D投影ビューで調整するには、以下の手順に従って操作を行ってください。



1. **3D投影**ビューにおいて、マウスポインタを口腔内撮影画像に合わせてください。

▶ マウスポインタの形が切り替わります。

2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。

3. 希望する位置に口腔内撮影画像を移動します。

4. マウスの左ボタンを放してください。

▶ SICAT Endo は口腔内撮影画像の現在の回転位置を維持します。

▶ SICAT Endo **横断**ビューおよび**軸方向**を必要に応じて調整します。



5. 口腔内撮影画像を回転させるには、**3D投影**ビューにおいて、マウスポインタを撮影画像の角の確認箇所のいずれかに合わせてください。

▶ マウスポインタの形が切り替わります。

6. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
7. 口腔内撮影画像を希望する方向に回してください。
8. マウスの左ボタンを放してください。

- ▶ SICAT Endo 撮影画像の現在の位置を維持します。
- ▶ SICAT Endo **横断ビュー**および**軸方向**を必要に応じて調整します。

スポットライトをオンそしてオフにする

口腔内撮影画像と3D投影との正しいオーバーレイを確認するには、**3D投影**ビューにおいて、スポットライトを表示させることができます。



1. **スポットライト**ボタンをクリックしてください。
2. マウスポインタをの口腔内撮影画像に合わせてください。
 - ▶ SICAT Endo はスポットライトを示します。
3. 口腔内撮影画像の確認したい箇所にマウスポインタを移動してください。
4. 確認したいすべての箇所でこの手順を繰り返してください。



5. スポットライトを非表示にするには、再度**スポットライト**ボタンをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo はスポットライトを非表示にします。

横方向または軸方向のアライメントを調整する

もし**3D投影**ビューにおける口腔内撮影画像のアラインメントだけでは不十分な場合は、さらに**横断ビュー**、または**軸方向**ビューにおいてアラインメントを行うことができます。これに関する情報は、**横方向および軸方向のプリアライメントを調整する** [▶ ページ 131 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。

口腔内撮影画像のエリアをマスクします

もし口腔内撮影画像の特定のエリアを自動登録から除外したい場合は、そのエリアを着色によりマスクをかけることができます。SICAT Endo 自動登録の際にこれらのマスク領域を考慮に入れません。これに関する情報は、**エリアをマスクする** [▶ ページ 134 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。

自動登録を行う

- 自動登録を実行するには、**口腔内撮影画像を登録する**エリアで、**登録する**ボタンをクリックしてください。
- ▶ SICAT Endo 口腔内撮影画像の3D X線撮影画像との登録を行います。
- ▶ SICAT Endo は登録ウィザードを閉じます。
- ▶ SICAT Endo は登録の結果を**X線撮影マネージャ**ウィンドウに表示します。

登録を確認します

1. **3D投影ビュー**、**横断ビュー**および**軸方向ビュー**を使用して登録結果を確認してください。
2. 結果に満足できない場合は、マウスで口腔内撮影画像をドラッグアンドドロップで移動することで、口腔内撮影画像の位置を調整することができます。
3. 登録を完了するには、**完了**ボタンをクリックしてください。

▶ **登録ウィザード**が閉じます。

▶ **X線撮影マネージャ**のウィンドウが開きます。



▶ SICAT Endo 口腔内撮影画像を登録済みとして、**インポートされた口腔内撮影画像(X線撮影マネージャ内)**エリアに表示します。



口腔内撮影画像とパノラマの正しいオーバーレイを確認するためには、**透明度**スライダーで画像の透明度を調整することができます。



直前に行われた調整を取り消すには、**最後のステップを取り消す**ボタンをクリックしてください。実施されたすべての調整をリセットするには、**すべてのステップを取り消す**ボタンをクリックしてください。

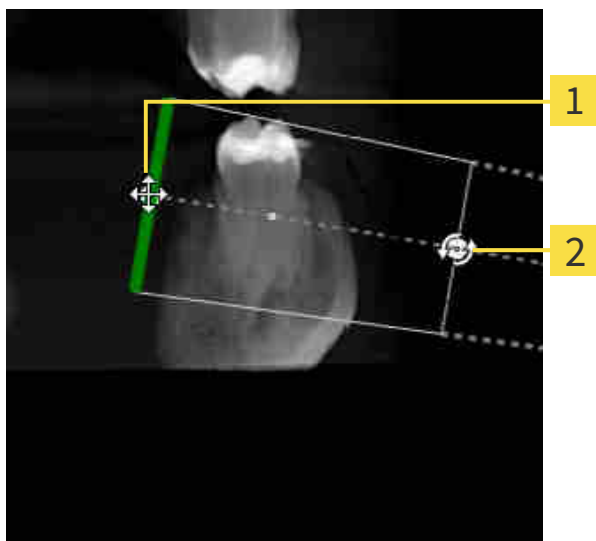
26.3 横方向および軸方向のプリアライメントを調整する

口腔内撮影画像の3D投影とのオーバーレイの調整に関する一般的な情報は、*口腔内撮影画像を登録する* [▶ ページ 128 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。

たとえば**3D投影**ビューにおいて口腔内撮影画像を実際の歯の配置に対して正しくアライメントできる場合でも、特定の撮影画像においては、SICAT Endoは、口腔内撮影画像を3D放射線撮影画像と自動登録できない可能性があります。

この場合には、口腔内撮影画像の位置を**横断**ビューまたは**軸方向**ビューで調整してください。

アライメントを横方向ビューで移動させる



1 確認箇所 1

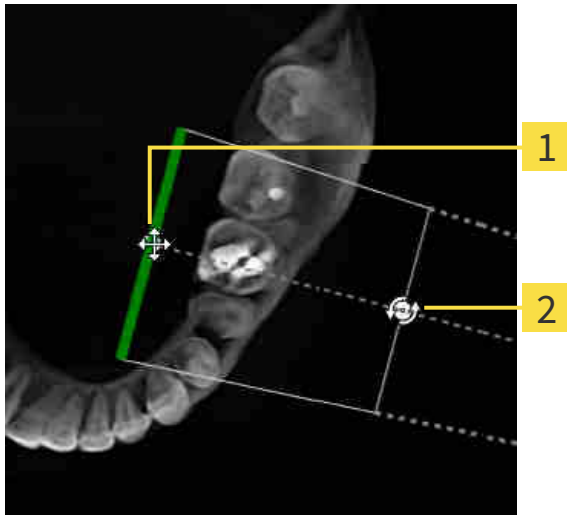
2 確認箇所 2

1. 撮影装置および3D X線撮影のセンサを移動させるのは、マウスポインタを**横断**ビューで確認箇所 1に合わせてください。
 - ▶ マウスポインタは4つの矢印が付いた十字に変わります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
3. アライメントを希望する方向に移動させてください。
4. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo 現在のアライメントを維持します。
 - ▶ SICAT Endo **3D投影**ビューおよび**軸方向**を必要に応じて調整します。

アラインメントを横方向ビューで回転させる

1. 撮影装置および3D X線撮影のセンサを回転させるには、マウスポインタを**横断**ビューで確認箇所2に合わせてください。
 - ▶ マウスポインタは、回転する2つの矢印を持つ円に変わります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
3. アラインメントを希望する方向に回転させてください。
4. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo 現在のアラインメントを維持します。
 - ▶ SICAT Endo **3D投影**ビューおよび**軸方向**を必要に応じて調整します。

アラインメントを軸方向ビューで移動させる



1 確認箇所 1

2 確認箇所 2

1. 撮影装置および3D X線撮影のセンサを移動させるのは、マウスポインタを**横断**ビューで確認箇所1に合わせてください。
 - ▶ マウスポインタは4つの矢印が付いた十字に変わります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
3. アラインメントを希望する方向に移動させてください。
4. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo 現在のアラインメントを維持します。
 - ▶ SICAT Endo **3D投影**ビューおよび**横断**を必要に応じて調整します。

アラインメントを軸方向ビューで回転させる

1. 撮影装置および3D X線撮影のセンサを回転させるには、マウスポインタを**軸方向ビュー**で確認箇所 2 に合わせてください。
 - ▶ マウスポインタは、回転する2つの矢印を持つ円に変わります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
3. アラインメントを希望する方向に回転させてください。
4. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo 現在のアラインメントを維持します。
 - ▶ SICAT Endo **3D投影**ビューおよび**横断**を必要に応じて調整します。

26.4 エリアをマスキングする

口腔内撮影画像には、自動登録の際に問題を引き起こす可能性のあるエリアが含まれていることがあります。例えば、

- 金属物体
- 反対側の顎の歯
- 撮影画像の一部でない口腔内撮影画像の周辺部

自動登録の際の問題を回避するために、それらのエリアにマスクをかけることができます。SICAT Endo マスキングされたすべてのエリアを自動登録の際に除外します。

口腔内撮影画像の個々のエリアにマスキングをするには、以下の手順に従って操作を行ってください。

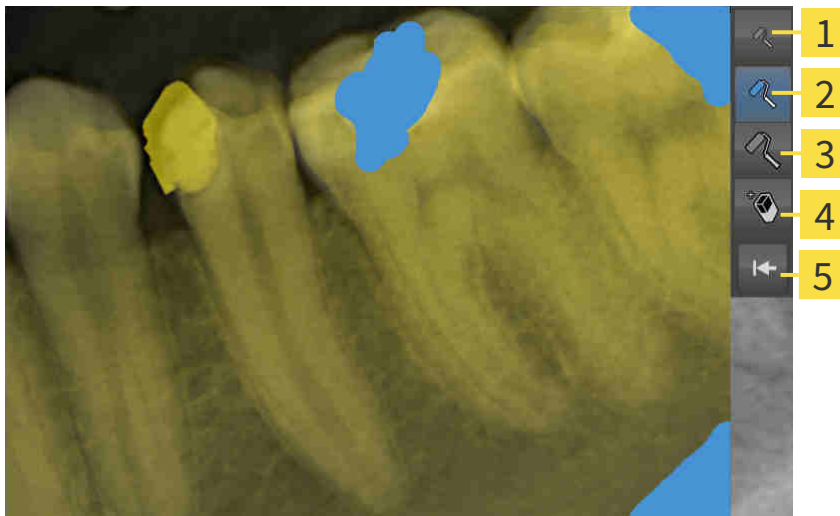
1. 口腔内撮影画像を登録するのエリアで、**詳細オプションを表示する**のボタンをクリックしてください。

▶ SICAT Endo マスクを編集するボタンを表示します。



2. **マスクを編集する**のボタンをクリックしてください。

▶ SICAT Endo 口腔内撮影画像の右端にマスクツールバーを表示します。



1 ボタン 小サイズのブラシを使用する

4 ボタン 消しゴムを使います

2 ボタン 中サイズのブラシを使用する

5 ボタン マスクをリセットする

3 ボタン 大サイズのブラシを使用する

3. エリアを着色するには、**小サイズのブラシを使用する**ボタン、**中サイズのブラシを使用する**ボタン、または**大サイズのブラシを使用する**ボタンをクリックしてください。

▶ マウスポインタは円形に変わります。

4. 口腔内撮影画像の着色したいエリアにマウスポインタを合わせてください。

5. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
6. 着色したいエリアにマウスポインタを移動してください。
7. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo マーキングされたエリアを青で表示します。
8. 必要に応じて、口腔内撮影画像の他の領域にマスクをかけるために、この手順を繰り返します。
9. 青でマーキングされたエリアを削除するには、**消しゴムを使います**ボタンをクリックしてください。
 - ▶ マウスポインタは消しゴムに変わります。
10. 削除したい、青でマーキングされたエリアをマウスの左ボタンでクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo 口腔内撮影画像からマーキングされたエリアを削除します。
11. 行われたすべてのマーキングを削除するには、**マスクをリセットする**ボタンをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo 口腔内撮影画像から青でマーキングされたエリアを削除します。
12. 行われた変更を適用するには、**口腔内撮影画像を登録する**エリアで、**編集を完了する**ボタンをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo **3D投影**ビューのマスクされたエリアを表示します。
 - ▶ SICAT Endo マスキングされたエリアを自動登録の際に除外します。



マスクを編集するボタンを再び非表示にするには、**口腔内撮影画像を登録する**エリアの**詳細オプション**を非表示にするボタンをクリックしてください。

27 ENDOLINEウィザード

EndoLineウィザードは、診断と治療計画のための機能を提供します。

EndoLineウィザードを使用する前に、次の作業をオプションとして実行できます。

- 口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます [▶ ページ 121 - SIDEXIS XG]。
- 口腔内撮影画像を登録する [▶ ページ 128 - SIDEXIS XG]
- 治療計画のための歯を選択する [▶ ページ 145 - SIDEXIS XG]

EndoLineウィザードでは、交差線を用いて治療を行いたいエリアを指定することができます。このエリアには、EndoLinesを根管に配置することができます。

EndoLinesは、治療する根管のマーキングおよび歯根尖部を見つけるために使用できる測定線です。EndoLinesは、ドリル穴の計画と配置のための基礎として役立ちます。

EndoLinesを表示するために、SICAT Endoは様々なビューを使用します。これに関する情報は、EndoLineウィザードの中のビュー [▶ ページ 137 - SIDEXIS XG]をご参照ください。

SICAT Endo 計画の際に作成されるすべてのオブジェクトを選択された歯に割り当てます。これらのオブジェクトは、EndoLineまたはドリル穴である場合があります。これらのオブジェクトは、パノラマワークスペースと口腔内撮影画像ワークスペースに表示し、オブジェクトブラウザで管理・加工することができます。

作成されたオブジェクトを表示するには、SICAT Endoにおいて、ワークスペースにおいて様々なビューおよびビューのコンパイルが利用できます。これに関する情報は、ワークスペース [▶ ページ 67 - SIDEXIS XG]をご参照ください。

EndoLineウィザードは、次のステップで構成されます。

- 歯の領域をプリアラインメントする [▶ ページ 146 - SIDEXIS XG]
- EndoLinesをセットする [▶ ページ 148 - SIDEXIS XG]
- ドリル穴を計画する [▶ ページ 158 - SIDEXIS XG]

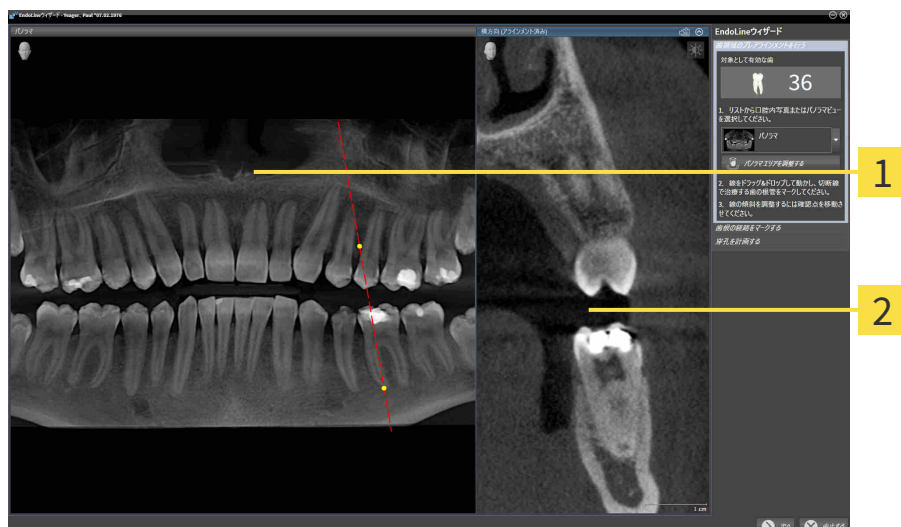
27.1 ENDOLINEウィザードの中のビュー

EndoLineウィザードには、ステップごとに様々なビューをご利用いただけます。

ビューのカスタマイズに関する一般的な情報は、[ビューの調整](#) [▶ ページ 75 - SIDEKIS XG]および[3Dビューの調整](#) [▶ ページ 89 - SIDEKIS XG]をご参照ください。

ステップ「歯の領域のプリアラインメント」

ステップ歯の領域をプリアラインメントするには、次のビューが用意されています。



1 パノラマ-ビューまたは口腔内撮影画像ビュー

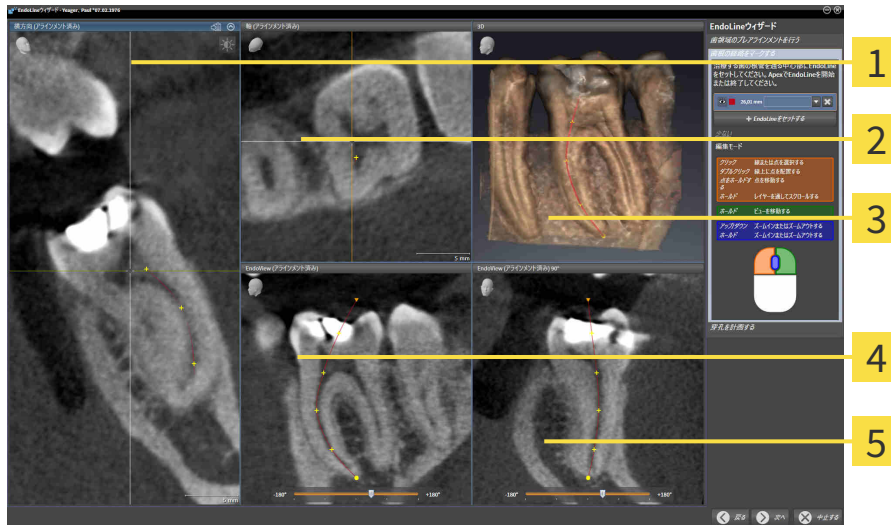
2 ビュー 横断 (アラインメント済み)

パノラマビューまたは口腔内撮影画像ビューでは、交差線を用いて治療を行う根管のビューをプリアラインメントすることができます。口腔内撮影画像ビューは、有効にされた歯に少なくとも1つの口腔内撮影画像を登録している場合にのみ使用可能です。有効にされた歯の選択に関する一般的な情報は、[治療計画のための歯を選択する](#) [▶ ページ 145 - SIDEKIS XG]をご参照ください。

横断 (アラインメント済み)ビューでは、パノラマビューまたは口腔内撮影画像ビューでマーキングされた歯が側面から、および設定された交差線にアラインメントされる形で表示されます。

ENDOLINESをセットする

ステップEndoLinesをセットするには、次のビューが用意されています。



1 ビュー 横断 (アラインメント済み)

4 ビュー EndoView (アラインメント済み)

2 ビュー 軸方向 (アラインメント済み)

5 ビュー EndoView (アラインメント済み) 90°

3 3D-ビュー

ステップEndoLinesをセットするの横断 (アラインメント済み) ビューは、ステップ歯の領域をブリアラインメントするの横断 (アラインメント済み) ビューに相当します。ここでは、ステップ歯の領域をブリアラインメントするでマーキングされた歯が対角に外側から内側に向けて、そして交差線とアラインメントされた形で表示されます。

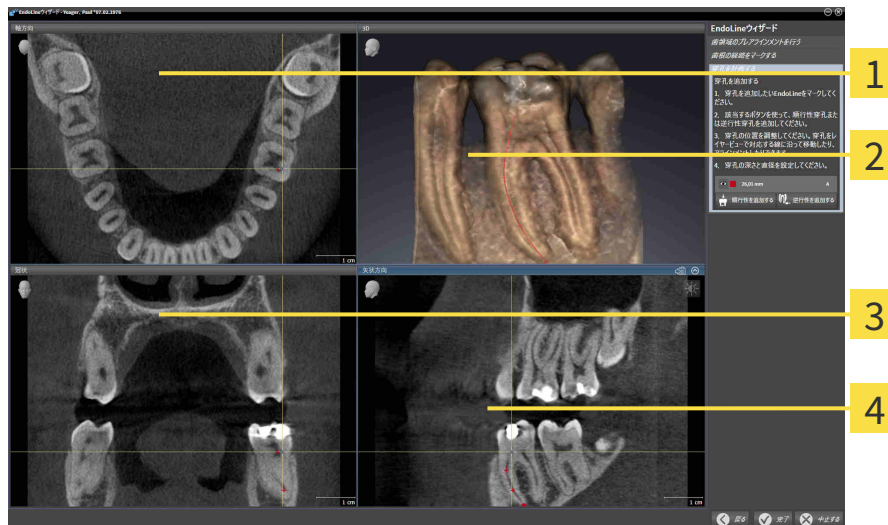
軸方向 (アラインメント済み) ビューは、ステップ歯の領域をブリアラインメントするにおいてマーキングされ、設定した交差線に対してアラインメントされた歯を上から見たところを表示します。

3Dビューは、3D X線撮影画像のEndoLineを表示します。3Dビューの調整に関する情報は、[3Dビューの調整](#) [▶ ページ 89 - SIDEXIS XG] をご参照ください。

EndoView (アラインメント済み) は、EndoLineに対してアラインメントされたビューで、選択されたEndoLineを2D面に投影して表示します。EndoView (アラインメント済み) 90°とは、90度回転されたEndoView (アラインメント済み) のことです。2つのビューは、すでにEndoLineが設定されている場合にのみ表示されます。EndoViewに関する情報は、[EndoView](#) [▶ ページ 142 - SIDEXIS XG] をご参照ください。

ステップ「ドリル穴の計画」

ステップドリル穴を計画するには、次のビューが用意されています。



1 軸方向-ビュー

3 冠状-ビュー

2 3D-ビュー

4 矢状方向-ビュー

軸方向ビューは、上からのEndoLine表示します。

3Dビューは、3D X線撮影画像のEndoLineを表示します。3Dビューの調整に関する情報は、[3Dビューの調整](#) [▶ ページ 89 - SIDEKIS XG]をご参照ください。

冠状ビューは、前からのEndoLineを表示します。

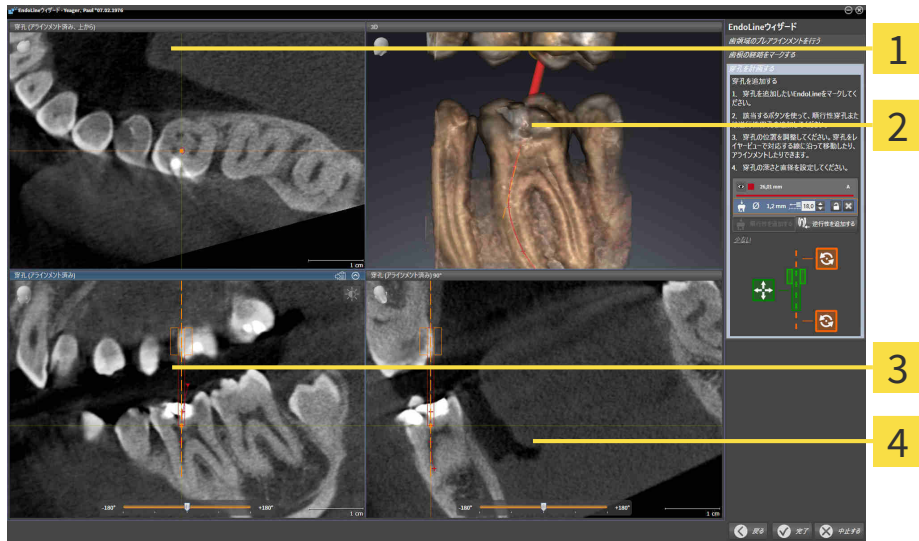
矢状方向ビューは、右からのEndoLineを表示します。



まだドリル穴が計画されていない場合、SICAT Endoは、ステップドリル穴を計画するが開かれる際、EndoLineウィザードにおいて、**軸方向ビュー**、**3Dビュー**、**冠状ビュー**および**矢状方向ビュー**を表示します。

オーソグレートドリル穴の計画におけるビュー

オーソグレートドリル穴を計画する際には、次のビューが用意されています。



1 ビュードリル穴(アラインメント済み、上から)

2 3D-ビュー

3 ビュードリル穴(アラインメント済み)

4 ビュードリル穴(アラインメント済み) 90°

ドリル穴(アラインメント済み、上から)ビューは、EndoLineにアラインメントされたドリル穴を上から表示します。

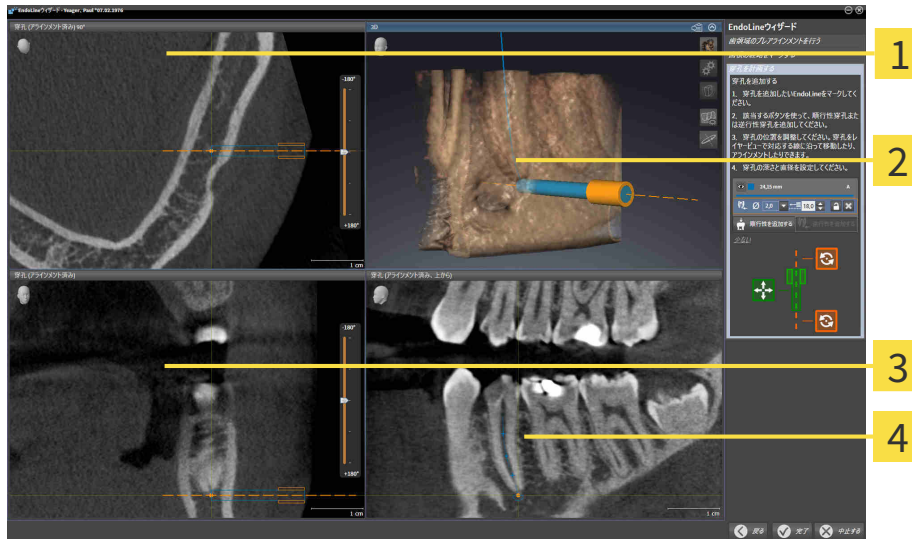
3Dビューは、3D X線撮影画像で設定されたドリル穴を表示します。3Dビューの調整に関する情報は、3Dビューの調整 [▶ ページ 89 - SIDEXIS XG]をご参照ください。

ドリル穴(アラインメント済み)ビューは、EndoLineにアラインメントされたドリル穴を前から表示します。

ドリル穴(アラインメント済み) 90°ビューは、EndoLineにアラインメントされたドリル穴を側面から表示します。

レトログレードドリル穴の計画におけるビュー

レトログレードドリル穴を計画する際には、次のビューが用意されています。



1 ビュー ドリル穴 (アラインメント済み) 90°

3 ビュー ドリル穴 (アラインメント済み)

2 3D-ビュー

4 ビュー ドリル穴 (アラインメント済み、上から)

ドリル穴 (アラインメント済み) 90°ビューは、EndoLineにアラインメントされたドリル穴を側面から表示します。

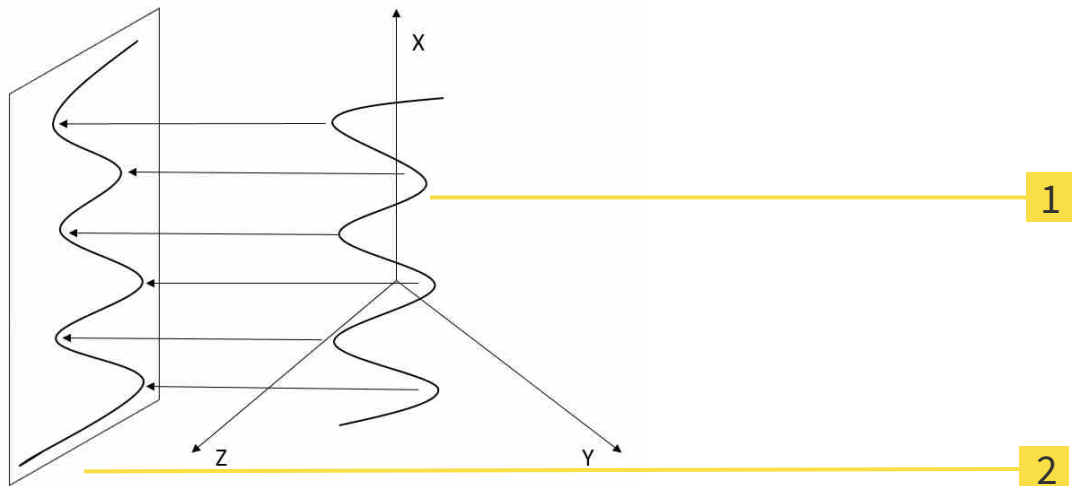
3Dビューは、3D X線撮影画像で設定されたドリル穴を表示します。3Dビューの調整に関する情報は、[3Dビューの調整](#) [▶ ページ 89 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。

ドリル穴 (アラインメント済み)ビューは、EndoLineにアラインメントされたドリル穴を前から表示します。

ドリル穴 (アラインメント済み、上から)ビューは、EndoLineにアラインメントされたドリル穴を上から表示します。

27.1.1 ENDOVIEW

SICAT EndoのEndoViewは、ソフトウェアが3D撮影の湾曲したEndoLineを2D面に投影して表示することで、患者における歯の複雑な構造をビジュアル化します。この技術は、Curved Planar Reformation(曲面多断面再構成、CPR)と呼ばれています。これにより、湾曲した構造を展開して表示することが可能となります。



1 3D撮影画像

2 2D面

EndoLineを2D面に表示することで、実際の歯の構造を詳細に確認することができ、異常を容易に識別することができます。同時に、EndoViewは、診断の精度を向上し、患者固有の治療計画の作成を容易にします。

27.1.2 ENDOVIEWを回転する

EndoViewに関する一般的な情報は、*EndoView* [▶ ページ 142 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。

EndoView (アラインメント済み)ビューおよび**EndoView (アラインメント済み) 90°**ビューでは、画像の一部を回転させるためにスライダを使用することができます。

- ☑ **EndoLines**をセットする手順はすでに開いています。これに関する情報は、*EndoLines*をセットする [▶ ページ 148 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。
- ☑ 少なくとも1つのEndoLineが設定されています。
- ☑ EndoLineが選択されました。

1. 希望するビューをクリックして、**EndoView (アラインメント済み)**ビュー**EndoView (アラインメント済み) 90°**ビューを有効にしてください。

▶ SICAT Endo はビューを有効にします。



2. マウスポインタをのスライダーに合わせてください。
3. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
4. 希望する位置にスライダーを移動させます。
5. マウスのボタンを放してください。

▶ SICAT Endo は画像の一部を回転させます。

▶ SICAT Endo **EndoView (アラインメント済み)**ビューおよび**EndoView (アラインメント済み) 90°**ビューを調整します。



それに代わる方法として、**EndoView (アラインメント済み)**または**EndoView (アラインメント済み) 90°**の任意の箇所をクリックすることで画像の一部を回転させることができます。マウスの左ボタン押し続け、画像の一部を希望する方向へ回転させます。



スライダーの範囲は、-180度から+180度の範囲で、90度ステップに分割されています。スライダーを使用して、ビューの回転角度を調整することができます。

27.2 治療計画のための歯を選択する

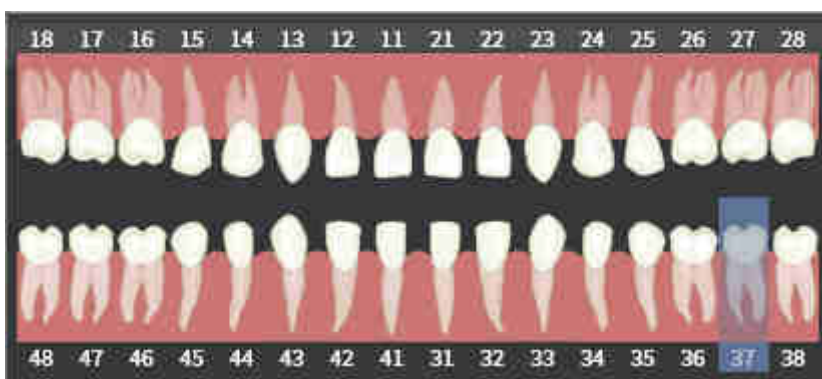
EndoLinesおよびドリル穴を計画するためには、治療を行う歯を選択する必要があります。

- ☑ 口腔内撮影画像ワークスペースまたはパノラマワークスペースを開きました。これに関する情報は、ワークスペース [▶ ページ 67 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。



1. オブジェクトバーにおいて**有効な歯**のエリアにマウスポインタを合わせてください。

▶ **歯の番号**のウィンドウが開きます。



2. 治療したい歯にマウスポインタを移動してください。

▶ SICAT Endo 歯の番号を強調表示します。

3. ハイライトされた歯を選択するには、マウスの左ボタンで歯をクリックしてください。

▶ SICAT Endo 歯を青でマーキングします。

▶ SICAT Endo **オブジェクトバーの有効な歯**において歯の番号を表示します。

4. **歯の番号**ウィンドウを閉じるには、マウスポインタを**有効な歯**のエリアの外へ移動させてください。

▶ SICAT Endo は**歯の番号**ウィンドウを閉じます。

27.3 歯の領域をプリアラインメントする

EndoLineウィザードに関する一般的な情報は、*EndoLineウィザード* [▶ ページ 136 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。

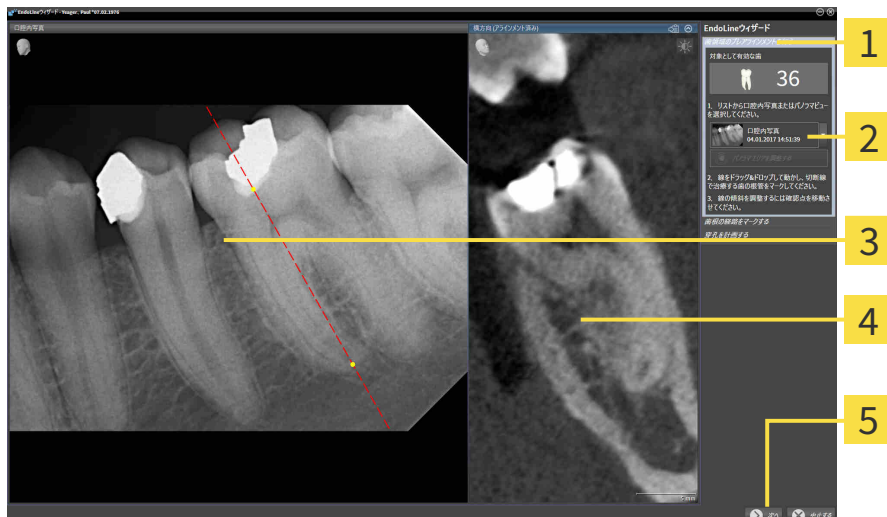
ステップ**歯の領域をプリアラインメントする**では、交差線を用いて、治療を行う歯と歯根が良く見えるようにビューを調整できます。

- ☑ 口腔内撮影画像ワークスペースまたはパノラマワークスペースにおいて、**歯の番号**スキームで、**オブジェクトバー**の治療する歯を選択済みです。これに関する情報は、**治療計画のための歯を選択する** [▶ ページ 145 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。
- ☑ ワークフロー・ステップの**診断する**は、展開させておきます。これに関する情報は、ワークフローのツールバー [▶ ページ 54 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。



1. EndoLineおよびドリル穴を利用して歯根治療を計画するのアイコンをクリックしてください。

▶ **歯の領域をプリアラインメントする**のステップが開きます。



- | | |
|--|---|
| <p>1 エリア 歯の領域をプリアラインメントする</p> <p>2 パノラマビューおよび口腔内撮影画像の一覧</p> <p>3 パノラマ-ビューまたは口腔内撮影画像ビュー</p> | <p>4 ビュー 横断 (アラインメント済み)</p> <p>5 ボタン 次へ</p> |
|--|---|

2. **歯の領域をプリアラインメントする**エリアにおいて、一覧から口腔内撮影画像またはパノラマを選択してください。

▶ SICAT Endo **口腔内撮影画像**ビューまたは**パノラマ**ビューにおいて交差線を2つの黄色の確認箇所を表示します。



3. 交差線を移動させるには、交差線にマウスポインタを合わせてください。

▶ マウスポインタの形が切り替わります。

4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。



5. 希望する位置に交差線を移動します。
6. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo は交差線の現在の位置を維持します。
 - ▶ SICAT Endo 交差線の変更された位置の**横断 (アラインメント済み)**ビューを表示します。
7. 交差線を回転させるには、2つの黄色の確認箇所の1つにカーソルを合わせてください。
 - ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
8. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
9. 交差線を希望する方向に回してください。
10. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo 交差線の現在の回転位置を維持します。
 - ▶ SICAT Endo 交差線の変更された位置の**横断 (アラインメント済み)**ビューを表示します。
11. 次へをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo はビューの調整を適用します。
 - ▶ **ステップEndoLinesをセットする**が開きます。

EndoLinesをセットする [▶ ページ 148 - SIDEXIS XG]を継続してください。



プリアライメントのために、口腔内撮影画像とパノラマビューの間から選択するためには、選択された歯に少なくとも1つの口腔内撮影画像を登録されている必要があります。



パノラマエリアは、**パノラマエリアを調整する**アイコンをクリックして調整することができます。これに関する情報は、**パノラマエリアを調整する** [▶ ページ 103 - SIDEXIS XG]をご参照ください。

27.4 ENDOLINESをセットする



測定と計画オブジェクトの表示に3Dビューを使用すると、間違った診断と治療につながるおそれがあります。

3Dビューは方向合わせおよび追加の情報源としてのみ使用してください。

EndoLineウィザードに関する一般情報は、*EndoLineウィザード* [▶ ページ 136 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。

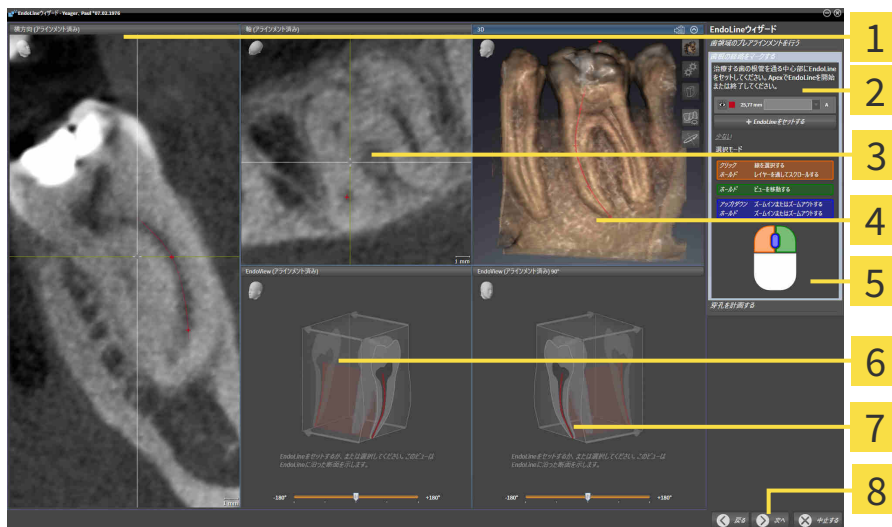
ステップ**EndoLinesをセットする**では、アラインメントされたビューにおいてEndoLineを用いて根管をマーキングすることができます。

SICAT Endo EndoLineを挿入する際に、始点と終点をマーキングし、始点は三角形で、終点は丸でそれぞれ表示します。

点の順序は、事前に選択された歯の番号と患者の顎における歯の位置に依存します。上顎では、始点は終点の下方に位置し、下顎では始点が終点の上に位置します。

☑ ステップ**歯の領域をプリアラインメントする**が完了しました。これに関する情報は、*歯の領域をプリアラインメントする* [▶ ページ 146 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。

☑ ステップ**EndoLinesをセットする**はすでに開いています。



1 ビュー 横断 (アラインメント済み)

5 インフォグラフィック

2 エリア EndoLinesをセットする

6 EndoView (アラインメント済み)

3 ビュー 軸方向 (アラインメント済み)

7 EndoView (アラインメント済み) 90°

4 3D-ビュー

8 ボタン 次へ



1. **EndoLinesをセットする**のエリアで、**EndoLineをセットする**のボタンをクリックしてください。

▶ SICAT Endo **横断 (アラインメント済み)**ビューおよび**軸方向 (アラインメント済み)**ビューを強調表示します。

- ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
- 2. **横断(アラインメント済み)**ビューまたは**軸方向(アラインメント済み)**ビューにマウスポインタを合わせます。
- 3. 歯尖部または始点を、マウスの左ボタンでクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo 確認箇所を設定します。
- 4. 歯根の経路をマーキングするためにさらなる確認箇所を追加してください。これには、根管に沿ってさらなる箇所をマウスの左ボタンでクリックしてください。
- 5. 根管のマーキングを完了するためには、歯尖部または始点をダブルクリックします。
 - ▶ SICAT Endo 確認箇所を設定します。
 - ▶ SICAT Endo すべての確認箇所ならびにそれらをつなぐ線をEndoLineとして表示します。
 - ▶ SICAT Endo **EndoView (アラインメント済み)**ビューおよび**EndoView (アラインメント済み) 90°**をEndoLineに合わせてアラインメントします。
- 6. 必要に応じて、これらの手順を繰り返し、さらに根管をマーキングしてください。
- 7. 設定されたEndoLinesを**EndoView (アラインメント済み)**ビューまたは**EndoView (アラインメント済み) 90°**ビューで確認してください。
- 8. 次へをクリックします。

▶ **ドリル穴を計画する**のステップが開きます。

ドリル穴を計画する [▶ ページ 158 - SIDEXIS XG]を継続してください。

EndoLineの説明や位置の色やテキストは編集することができます。これに関する情報は、色とテキストを調整する [▶ ページ 151 - SIDEXIS XG]をご参照ください。

確認箇所を移動、追加または削除することで、EndoLineを編集することができます。これに関する情報は、確認箇所を追加、移動および削除する [▶ ページ 152 - SIDEXIS XG]をご参照ください。

3Dビューでは、回転モードを使用することができます。これに関する情報は、3Dビューを回転する [▶ ページ 155 - SIDEXIS XG]をご参照ください。

3Dビューでは、光学印象のインポートおよび登録が行えます。これに関する情報は、光学印象を3Dビューで表示する [▶ ページ 156 - SIDEXIS XG]をご参照ください。

EndoLineを挿入する際、マウスボタンを用いて様々な機能を使用することができます。これに関する情報は、マウスボタンを使用する [▶ ページ 157 - SIDEXIS XG]をご参照ください。



EndoLineを選択するには、アラインメントされたビューにおいてマウスの左ボタンでラインをクリックするか、または**EndoLinesをセットする**のエリアでの選択を行います。



EndoLineを削除するには、**EndoLinesをセットする**エリアでEndoLineをマーキングし、選択されたEndoLineの行の端にある**EndoLineを削除する**ボタンをクリックしてください。



EndoView (アラインメント済み)または**EndoView (アラインメント済み) 90°**の表示を調整するには、これらのビューのスライダーを使用してください。スライダーを用いて、ビューを左または右に任意の角度で回転することができます。

27.5 色とテキストを調整する

色を調整する

EndoLineの色を変更するには、次の手順に従って行ってください。

1. EndoLineの行にある**色を変更する**ボタンをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo EndoLineの色を変更します。
2. 色が希望の色と一致しない場合は、SICAT Endoが希望の色になるまで、**色を変更する**ボタンを引き続きクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo EndoLineの新しい色を表示します。

説明または位置情報のテキストを調整する

EndLineの説明または位置情報のテキストを変更するには、次の手順に従って行ってください。

1. EndoLineの説明を入力するには、Endolineの行の**説明/位置**フィールドをクリックしてください。
 - ▶ マウスポインタは、入力位置で点滅します。
2. 希望するEndoLineの説明を入力してください。
 - ▶ SICAT Endo 説明を表示します。
3. EndoLineの位置情報テキストを選択するには、Endolineの行において**説明/位置**フィールドの矢印アイコンをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo 位置情報の一覧を表示します。
4. リストの中で希望する位置情報をクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo **説明/位置**フィールドに位置情報を表示します。
5. 変更を適用し、**説明/位置**フィールドを閉じるには、**説明/位置**フィールドの外側をマウスの左ボタンでクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo 新しい説明または位置情報を表示します。

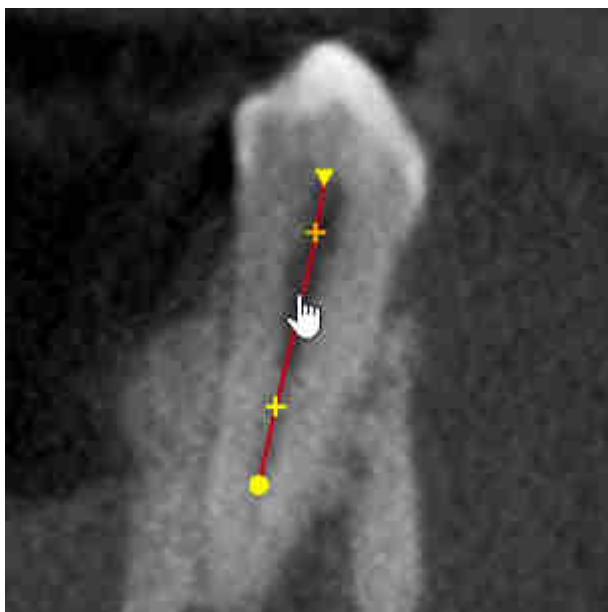


27.6 確認箇所を追加、移動および削除する

ENDOLINEに確認箇所を追加する

EndoLineに確認箇所を追加するには、次の手順に従って行ってください。

1. 確認箇所を追加したいEndoLineの位置にマウスポインタを合わせてください。

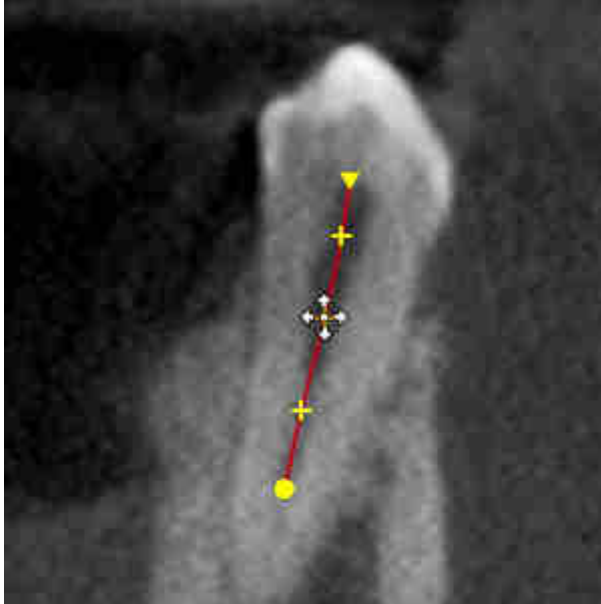


- ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
2. そこ位置をダブルクリックしてください。
- ▶ SICAT Endo 十字の形で確認箇所を追加します。

ENDOLINEを確認箇所を移動する

EndoLineの確認箇所を移動するには、次の手順に従って行ってください。

1. 移動したいEndoLineの確認箇所にマウスポインタを合わせてください。

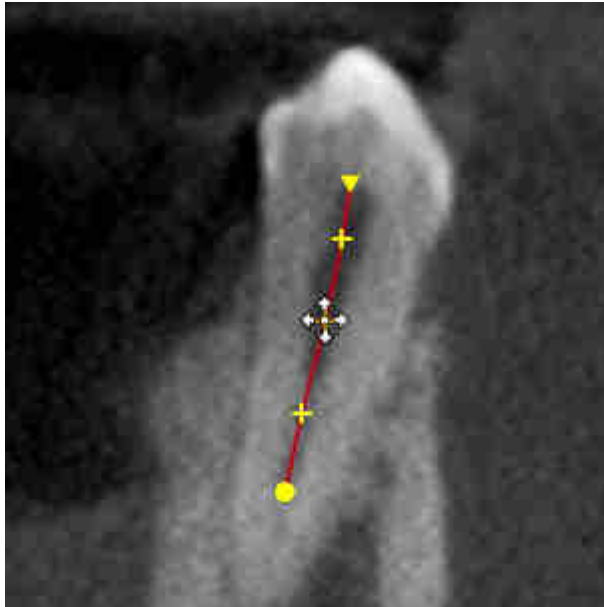


- ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
3. マウスを動かします。
 - ▶ 確認箇所はマウスポインタの動きを追従します。
 - ▶ SICAT Endo 確認箇所の新しい位置に応じてEndoLineを調整します。
4. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo 確認箇所の現在位置を維持します。
 - ▶ SICAT Endo EndoLineの新しい経路を表示します。

ENDOLINEから確認箇所を削除する

EndoLineから確認箇所を削除するには、次の手順に従って行ってください。

1. 削除したいEndoLineの確認箇所にマウスポインタを合わせてください。



- ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
2. マウスの左ボタンで確認箇所をクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo 確認箇所をマーキングします。
 3. **Del**ボタンを押します。
 - ▶ SICAT Endo 確認箇所を削除します。
 - ▶ SICAT Endo EndoLineを必要に応じて調整します。



最後から2番目の確認箇所を削除すると、EndoLineが完全に削除されますのでご注意ください。

27.7 3Dビューを回転する

3Dビューに関する一般的な情報は、*3Dビューの調整* [▶ ページ 89 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。

3Dビューを回転する機能によって、EndoLineウィザードにおいて3D X線撮影画像の回転モードをオンまたはオフにすることができます。回転モードがオンになっている場合は、SICAT Endoは、3D X線撮影画像を時計回りに回転します。

回転モードを使用するには、次の手順に従って操作を行ってください。

☑ **3Dビュー**はすでに有効になっています。これに関する情報は、*ビュー* [▶ ページ 74 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。

1. 希望する画像部分が表示されるように、3D X線撮影画像の表示を調整してください。
2. 希望する表示タイプが選択されていることを確認してください。これに関する情報は、*3Dビューの表示タイプを切り替える* [▶ ページ 92 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。
3. 希望する切り取りモードが選択されていることを確認してください。これに関する情報は、*3Dビューの切り抜きモードの切り替え* [▶ ページ 95 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。



4. **3Dビューを回転する**のボタンをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo 選択された画像部分の縦軸において3D X線撮影画像を反転させます。
5. 回転モードを終了するには、**3Dビューを回転する**ボタンを再度クリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo 3D X線撮影画像の回転を終了します。



3Dビューの任意の箇所をクリックして、回転モードを終了させることもできます。

27.8 光学印象を3Dビューで表示する

3Dビューに関する一般的な情報は、*3Dビューの調整* [▶ ページ 89 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。

既に光学印象をインポートおよび登録している場合には、3DビューのEndoLineウィザードで、光学印象の非表示・表示を切り替えられます。

光学印象の表示・非表示を切り替えるには、次の手順に従って行ってください。

- ☑ 3Dビューはすでに有効になっています。これに関する情報は、*ビュー* [▶ ページ 74 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。
- ☑ 少なくとも1つの光学印象をすでにインポート・登録済みです。これに関する情報は、*光学印象をインポートし記録する* [▶ ページ 108 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。



1. 光学印象を表示するには、**オブジェクトを表示する**ボタンをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo 光学印象を表示します。
 - ▶ SICAT Endo 3D X線撮影画像の表示を更新します。



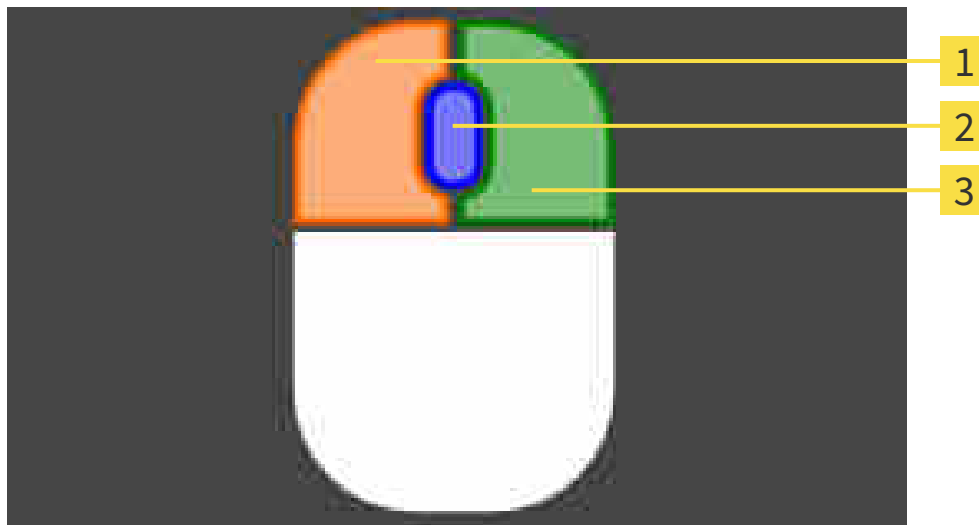
2. 光学印象を非表示にするには、**オブジェクトを非表示にする**ボタンをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo 光学印象を非表示にします。
 - ▶ SICAT Endo 3D X線撮影画像の表示を更新します。



光学印象をまだインポート・登録していない場合は、SICAT Endoは、**オブジェクトを表示する**ボタンを3Dビューに表示しません。

27.9 マウスボタンを使用する

SICAT Endo EndoLine設定時のマウスボタンの使用方法を説明する画像を表示します。



1 マウスの左ボタン

3 マウスの右ボタン

2 マウスホイール

マウスボタンを有効にすると、SICAT Endoがグラフィック内のマウスボタンを強調表示します。マウスボタンにリンクされている操作は、操作モードによって異なります。


SICAT Endo 次の操作モードがあります。

- 作成
- 編集
- 選択

操作モードによって、様々な操作が利用できます。利用可能な操作は、グラフィック上部にテーブルとして表示され、それぞれ対応するマウスボタンの色が付けられています。

グラフィックは、必要に応じて表示・非表示することができます。

27.10 ドリル穴を計画する



注意

ドリル深さが間違っていると、間違った治療につながるおそれがあります。

計画されたドリル深さと、選択されたドリルが対応していることを確認してください。

EndoLineウィザードに関する一般情報は、*EndoLineウィザード* [▶ ページ 136 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。

ステップドリル穴を計画するでは、オーソグレードおよびレトログレードドリル穴をEndoLineに追加・編集することができます。Pro EndoLineには、オーソグレードおよびレトログレードドリル穴をそれぞれ追加することができます。ドリル穴には、常にそれに対応するEndoLineと同じ色が付けられています。

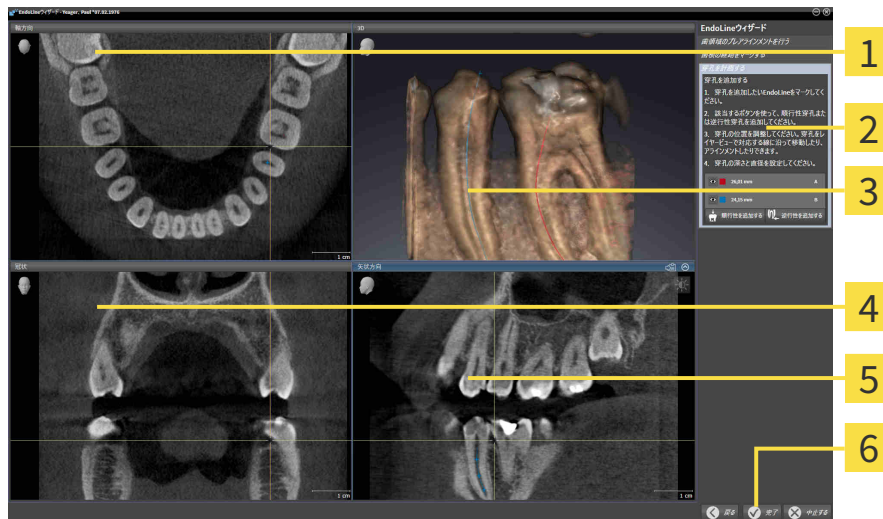
ステップ「ドリル穴を計画する」を開く

ステップEndoLinesをセットするが完了しました。これに関する情報は、*EndoLinesをセットする* [▶ ページ 148 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。

ステップEndoLinesをセットするは開いています。

- ステップ **EndoLinesをセットする** で、次へボタンをクリックしてください。

▶ **ドリル穴を計画する**のステップが開きます。



1 軸方向-ビュー

2 エリア ドリル穴を追加する

3 3D-ビュー

4 冠状-ビュー

5 矢状方向-ビュー

6 ボタン 完了

オーソグレードドリル穴を計画する

1. **ドリル穴を追加する**エリアにおいて、オーソグレードドリル穴を追加したいEndoLineを選択してください。

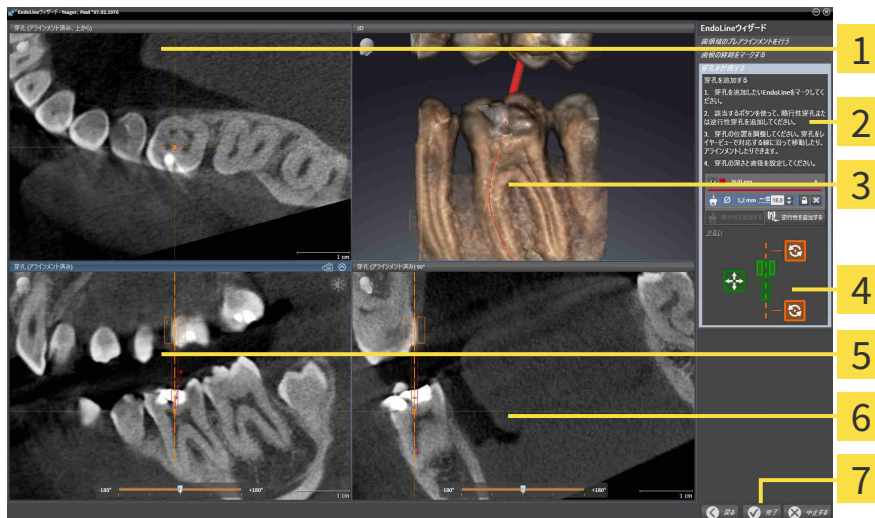
▶ SICAT Endo EndoLineをマーキングします。



2. **オーソグレードを追加する**のボタンをクリックしてください。

▶ SICAT Endo マーキングされたEndoLineにオーソグレードドリル穴を追加します。

▶ SICAT Endo 次のようにビューを調整します。



1 ビュードリル穴 (アラインメント済み、上から)

5 ビュードリル穴 (アラインメント済み)

2 エリアドリル穴を追加する

6 ビュードリル穴 (アラインメント済み) 90°

3 3D-ビュー

7 ボタン完了

4 インフォグラフィック



3. EndLineに沿ったドリル穴の位置を調整するには、**ドリル穴 (アラインメント済み)**ビューまたは**ドリル穴 (アラインメント済み) 90°**ビューにおいて、マウスポインタをドリル穴に合わせてください。

▶ マウスポインタの形が切り替わります。

4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。

5. 希望する位置にドリル穴を移動させてください。

6. マウスの左ボタンを放してください。

▶ SICAT Endo ドリル穴の現在位置を維持します。

▶ SICAT Endo ドリルチャンネルの変更された位置の他のビューを調整します。



7. ドリル穴の回転を調整するには、**ドリル穴 (アラインメント済み)**ビューまたは**ドリル穴 (アラインメント済み) 90°**ビューにおいて、マウスポインタをドリル穴以外で EndoLineに合わせてください。

- ▶ マウスポインタの形が切り替わります。

8. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。

9. EndoLineとドリル穴を希望する方向に回してください。

10. マウスの左ボタンを放してください。

- ▶ SICAT Endo EndoLineとドリル穴の現在の回転位置を維持します。

- ▶ SICAT Endo ドリルチャンネルの変更された位置の他のビューを調整します。



11. 必要に応じて、フィールド**深さ [mm]**の後ろの矢印キーをクリックし、ドリルスリーブの位置を調整することができます。

- ▶ SICAT Endo ドリルスリーブの新しい深さを示します。

12. ドリル穴の計画を完了するには、**完了**ボタンをクリックしてください。

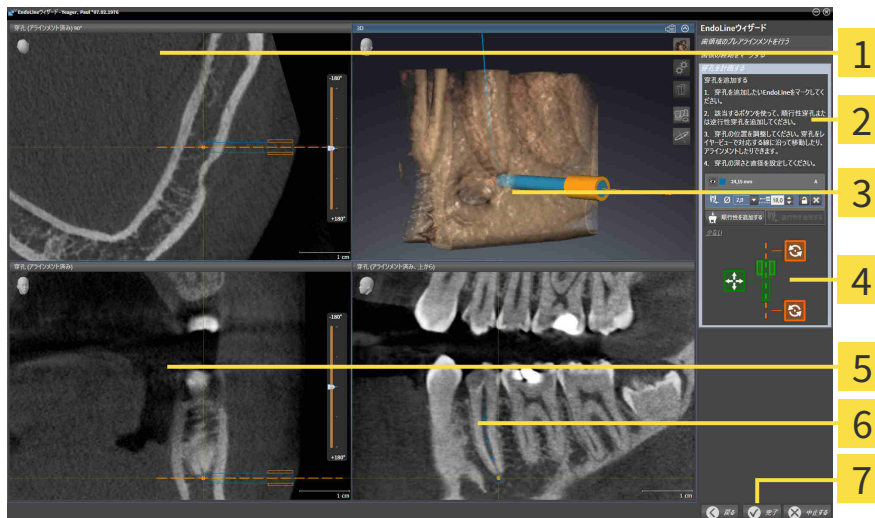
- ▶ EndoLineウィザードが閉じます。

- ▶ **口腔内撮影画像**ワークスペースが開きます。

- ▶ SICAT Endo 計画されたドリル穴を表示します。

レトログレードドリル穴を計画する

1. ドリル穴を追加するエリアにおいて、レトログレードドリル穴を追加したいEndoLineを選択してください。
 - ▶ SICAT Endo EndoLineをマーキングします。
2. レトログレードを追加するのボタンをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo マーキングされたEndoLineにレトログレードドリル穴を追加します。
 - ▶ SICAT Endo 次のようにビューを調整します。



- | | |
|--|--|
| <p>1 ビュー ドリル穴 (アラインメント済み) 90°</p> <p>2 エリア ドリル穴を追加する</p> <p>3 3D-ビュー</p> <p>4 インフォグラフィック</p> | <p>5 ビュー ドリル穴 (アラインメント済み)</p> <p>6 ビュー ドリル穴 (アラインメント済み、上から)</p> <p>7 ボタン 完了</p> |
|--|--|



3. EndLineに沿ったドリル穴の位置を調整するには、ドリル穴 (アラインメント済み) ビューまたはドリル穴 (アラインメント済み) 90°ビューにおいて、マウスポインタをドリル穴に合わせてください。
 - ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
5. 希望する位置にドリル穴を移動させてください。
6. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo ドリル穴の現在位置を維持します。
 - ▶ SICAT Endo ドリルチャンネルの変更された位置の他のビューを調整します。



7. ドリル穴の回転を調整するには、**ドリル穴 (アラインメント済み)**ビューまたは**ドリル穴 (アラインメント済み) 90°**ビューにおいて、マウスポインタをドリル穴以外で EndoLine に合わせてください。
 - ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
8. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
9. EndoLine とドリル穴を希望する方向に回してください。
10. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo EndoLine とドリル穴の現在の回転位置を維持します。
 - ▶ SICAT Endo ドリルチャンネルの変更された位置の他のビューを調整します。



11. 必要に応じて、フィールド **深さ [mm]** の後ろの矢印キーをクリックし、ドリルスリーブの位置を調整することができます。
 - ▶ SICAT Endo ドリルスリーブの新しい深さを示します。



12. 必要に応じて、**直径 [mm]** フィールドの後ろの矢印アイコンをクリックし、レトログレードドリル穴の直径を調整することができます。
 - ▶ SICAT Endo 利用可能な直径の一覧を表示します。
13. 希望する直径をクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo ドリル穴の新しい直径を表示します。
14. ドリル穴の計画を完了するには、**完了** ボタンをクリックしてください。
 - ▶ EndoLine ウィザードが閉じます。
 - ▶ **口腔内撮影画像** ワークスペースが開きます。
 - ▶ SICAT Endo 計画されたドリル穴を表示します。

ドリル穴をロックする

ドリル穴を変更から保護するために、この機能を使用してください。

ドリル穴をロックするには、次の手順に従って行ってください。

- ドリル穴はすでにマーキングされています。



- **オブジェクトをロックする** のアイコンをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo 加工のためにドリル穴をロックします。
 - ▶ SICAT Endo 対応する EndoLine をロックします。

ドリル穴のロックを解除する

ドリル穴のロックを解除するには、次の手順に従って行ってください。

- ☑ ドリル穴はロックされています。
- ☑ ドリル穴はすでに有効になっています。



- オブジェクトのロックを解除するのアイコンをクリックしてください。
- ▶ SICAT Endo ドリル穴のロックを解除します。
- ▶ SICAT Endo 対応するEndoLineのロックを解除します。

ドリル穴を削除する

ドリル穴を削除するには、次の手順に従って行ってください。

1. **ドリル穴を追加する**エリアで、削除したいドリル穴を含むEndo計画オブジェクトをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo Endo計画オブジェクトをマーキングします。
2. Endo計画オブジェクトにおいて削除したいドリル穴をクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo ドリル穴をマーキングします。
3. **ドリル穴を削除する**ボタンの行の端部をクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo ドリル穴を削除します。



ドリル穴の編集がロックされている場合には、対応するEndoLineの編集もできません。EndoLineを編集するためには、対応するドリル穴のロックを解除する必要があります。

28 距離/角度測定

SICAT Endoには2種類の測定タイプがあります：



- 距離測定



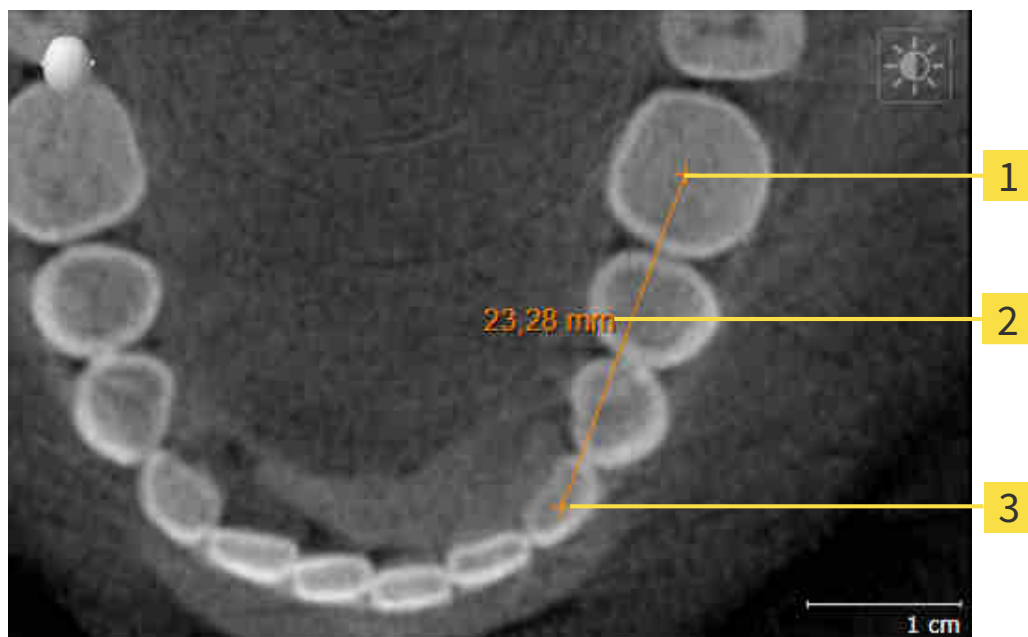
- 角度測定

測定を追加するツールは、ワークフローのツールバーの**診断する**に記載されています。すべての2Dレイヤービューに測定を追加することができます。測定を追加する度に、SICAT Endoはその測定を**測定**のグループオブジェクトブラウザにも追加します。

測定に使用できる操作：

- [距離測定を追加する](#) [▶ ページ 165 - SIDEXIS XG]
- [角度測定を追加する](#) [▶ ページ 166 - SIDEXIS XG]
- [測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する](#) [▶ ページ 168 - SIDEXIS XG]
- 測定のアクティベーション、非表示および表示に関する情報は**オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理** [▶ ページ 59 - SIDEXIS XG]をご覧ください。
- 測定に焦点を当てる、測定を削除する、測定操作を元に戻して再度実行する手順に関する情報は、**オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理** [▶ ページ 61 - SIDEXIS XG]の節をご覧ください。

28.1 距離測定を追加する



1 始点

2 測定値

3 終点

距離測定を追加するには、次の手順で行います。

ワークフロー・ステップの**診断する**は、展開させておきます。

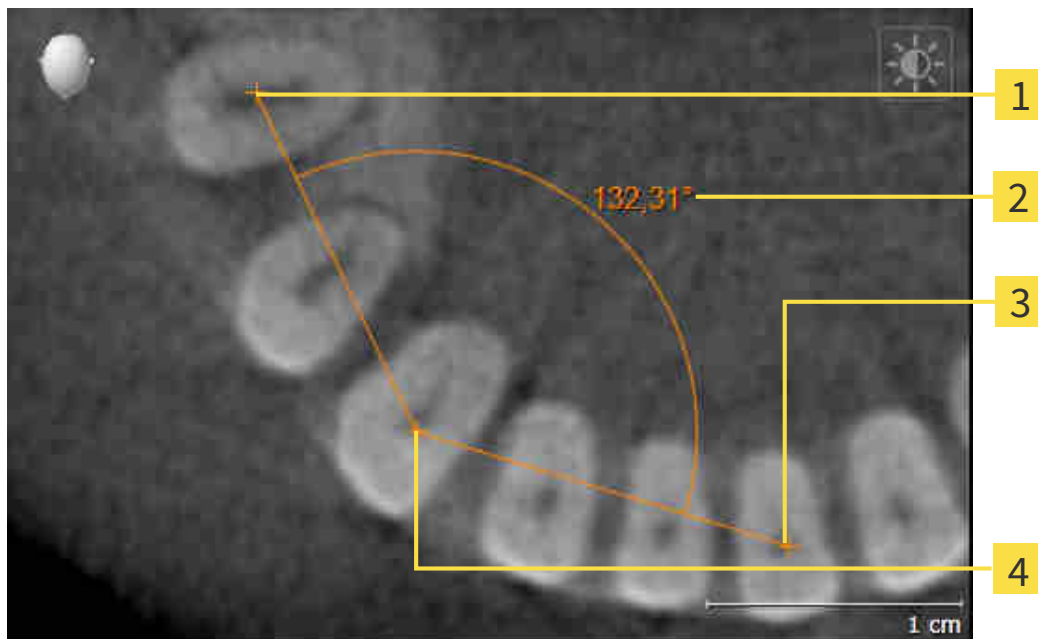


1. ワークフローステップ **診断する** で **距離測定を追加する(D)** アイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo 新しい距離測定を**オブジェクトブラウザ**に追加します。
2. マウスポインタを希望の2Dレイヤビュー上に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字になります。
3. 距離測定の始点をクリックします。
 - ▶ SICAT Endo は小さい十字で始点を表します。
 - ▶ SICAT Endo は始点とマウスポインタ間に距離線を表示します。
 - ▶ SICAT Endo 距離線の中央および **オブジェクトブラウザ**に始点とマウスポインタ間の現在の距離を表示します。
4. マウスポインタを距離測定の終点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo は小さい十字で終点を表します。



測定の追加は、**ESC**を押すことによっていつでも中断することができます。

28.2 角度測定を追加する



- 1** 始点
- 2** 測定値
- 3** 終点
- 4** 頂点

角度測定を追加するには、次の手順で行います。

☑ ワークフロー・ステップの**診断する**は、展開させておきます。



1. ワークフローステップ **診断する** で **角度測定を追加する(A)** アイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo 新しい角度測定を**オブジェクトブラウザ**に追加します。
2. マウスポインタを希望の2Dレイヤビュー上に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字になります。
3. 角度測定の始点をクリックします。
 - ▶ SICAT Endo は小さい十字で始点を表します。
 - ▶ SICAT Endo は、角度測定の1本目の辺を始点からマウスポインタまでの線で表します。
4. マウスポインタを角度測定の頂点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo は小さい十字で頂点を表します。
 - ▶ SICAT Endo は、角度測定の2本目の辺を頂点からマウスポインタまでの線で表します。
 - ▶ SICAT Endo 角度測定の2つの頂点の間および**オブジェクトブラウザ**に現在の角度を表示します。

5. マウスポインタを2本目の辺の終点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。

▶ SICAT Endo は小さい十字で終点を表します。



測定の追加は、**ESC**を押すことによっていつでも中断することができます。

28.3 測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する

測定を移動する

測定を移動させるには、次の手順で行います。

☑ SICAT Endo はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。これに関する情報は[オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 59 - SIDEXIS XG\]](#)と [オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 61 - SIDEXIS XG\]](#)を参照してください。

1. マウスポインタを測定の線上に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字になります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインタを任意の測定位置に動かします。
 - ▶ 測定はマウスポインタの動きに従います。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Endo は現在の測定ポイントを保持します。

個々の測定ポイントを移動する

個々の測定ポイントを移動するには、次の手順で行います。

☑ SICAT Endo はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。これに関する情報は[オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 59 - SIDEXIS XG\]](#)と [オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 61 - SIDEXIS XG\]](#)を参照してください。

1. マウスポインタを希望の測定ポイント上に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字になります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインタをご希望の測定ポイントの位置に動かします。
 - ▶ 測定ポイントはマウスポインタの動きに従います。
 - ▶ マウスを動かすと、測定値は変化します。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Endo は現在の測定ポイントの位置を保持します。

測定値を移動する

測定値を移動するには、次の手順で行います。

☑ SICAT Endo はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。これに関する情報は [オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 59 - SIDEXIS XG\]](#) と [オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 61 - SIDEXIS XG\]](#) を参照してください。

1. マウスポインタを希望の測定値上に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字になります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインタをご希望の測定値の位置に動かします。
 - ▶ 測定値はマウスポインタの動きに従います。
 - ▶ SICAT Endo は、測定値と付属の測定間に点線を表示します。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Endo は現在の測定値の位置を保持します。



1回の測定値を移動すると、SICAT Endoはその値を1つの絶対位置に設定します。その数値の位置を、そのときの測定ツールに対する相対位置に戻すときは、その数値をダブルクリックします。

29 患者教化



診断目的のためのハンドアウトの使用は、間違った診断および治療になるおそれがあります。

医療画像の認証と治療計画のためのソフトウェア ユーザーインターフェイスの医療画像には、表示機能のみ使用してください。

患者対応の表示で患者に診断について教化し、治療の効果を明確にすることができます。患者教化は二つのステップで実行されます。

1. 内での練習中に SICAT Endo
2. ハンドアウトによる患者情報を通じて

ハンドアウトの内容は説明の間にディスプレイでまとめることができます。

ソースは描画オブジェクトからなる画像とスクリーンショットです。

患者はハンドアウトで論じた結果をよく理解することができ、他の人員にも伝えることができます。

ハンドアウトの作成は次のステップで構成されています。

- 画像とスクリーンショットの作成 [▶ ページ 171 - SIDEXIS XG]
- ハンドアウトの準備 [▶ ページ 175 - SIDEXIS XG]
- ハンドアウトを生成する [▶ ページ 177 - SIDEXIS XG]

29.1 画像とスクリーンショットの作成

患者教化に関する一般的な情報は**患者教化** [▶ ページ 170 - *SIDEXIS XG*]に記載されています。

画像とスクリーンショットの管理に関する一般的な情報は**SICAT Endo**オブジェクト [▶ ページ 63 - *SIDEXIS XG*]に記載されています。

描画ツールは2種類あります。

- 矢印を描く
- 円を描く

矢印を描く

矢印を描くには、次のように行います。

- ☑ すでにボリュームを要件に応じて調整済みです。これに関する情報は**ボリュームの配置を調整する** [▶ ページ 98 - *SIDEXIS XG*]を参照してください。
- ☑ ワークフロー・ステップの**説明する**は、展開させておきます。これに関する情報はワークフローのツールバーを参照してください。

1. ワークフローステップ **説明する** で **矢印を描く** アイコンをクリックします。
2. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
 - ▶ マウスポインタはペンになります。
3. 矢印の先端の希望する位置をクリックし、マウスの左ボタンをそのまま押し続けます。
4. マウスを動かします。
 - ▶ SICAT Endo はビューに矢印を表示します。
 - ▶ これ以後、矢印終点はマウスポインタの位置に一致します。
5. マウスポインタを希望する矢印終点位置に移動し、マウスの左ボタンから指を放します。
 - ▶ SICAT Endo はビューに完成した矢印を表示します。
 - ▶ まだ存在しない場合は、SICAT Endoは**画像オブジェクト**に必要な構造を**オブジェクトブラウザ**に作成します。
 - ▶ 画像は**レポート作成**ウインドウにあります。
6. **矢印を描く**のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo は矢印の描画モードを終了します。

円を描く

円を描くには、次のように行います。

- ☑ すでにボリュームをフランクフルト水平などの要件に応じて調整済みです。これに関する情報は**ボリュームの配置を調整する** [▶ ページ 98 - *SIDEXIS XG*]を参照してください。
 - ☑ ワークフロー・ステップの**説明する**は、展開させておきます。これに関する情報はワークフローのツールバーを参照してください。
1. ワークフローステップ **説明する** で **円を描く** アイコンをクリックします。
 2. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
 - ▶ マウスポインタはペンになります。
 3. 円の中心の希望する位置をクリックし、マウスの左ボタンをそのまま押し続けます。
 4. マウスを動かします。
 - ▶ SICAT Endo はビューに円を表示します。
 - ▶ これ以後、円の半径は中心とマウスポインタの位置間の距離に一致します。
 5. マウスポインタを希望する半径に到達するまで移動し、マウスの左ボタンから指を放します。
 - ▶ SICAT Endo はビューに完成した円を表示します。
 - ▶ まだ存在しない場合は、SICAT Endoは**画像**オブジェクトに必要な構造を**オブジェクトブラウザ**に作成します。
 - ▶ 画像は**レポート作成**ウインドウにあります。
 6. **円を描く**のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo は円の描画モードを終了します。



描画ツール**矢印を描く**または描画ツール**円を描く**が有効な間は、複数の描画オブジェクトを続けて作成することができます。描画ツールの使用を中断するには、希望のビューの外位置をクリックまたは**ESC**ボタンを押します。

描画ツールの設定

描画ツール**矢印を描く**または描画ツール**円を描く**を個別に設定することができます。設定の変更は、その後作成した描画オブジェクトにのみ該当します。

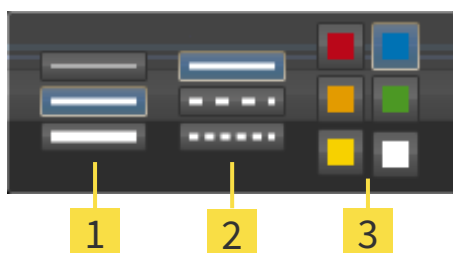
描画ツールを設定するには、次のように行います。

- ☑ ワークフロー・ステップの**説明する**は、展開させておきます。これに関する情報はワークフローのツールバーを参照してください。



1. ワークフローステップ**説明する**で**矢印を描く**アイコンまたは**円を描く**アイコンの隣にある**描画ツールの設定**アイコンをクリックします。

▶ **描画ツールの設定**の透明なウィンドウが開きます。



1 のアイコン **線の太さ**

2 のアイコン **線の種類**

3 のアイコン **線の色**

2. **線の太さ**、**線の種類**および描画ツールの**線の色**を作成するには、希望するアイコンをクリックしてください。

3. **描画ツールの設定**の透明なウィンドウ外側の任意のポイントをクリックします。

▶ SICAT Endo は**描画ツールの設定**の透明なウィンドウを閉じます。

▶ SICAT Endo は設定をユーザープロファイルに保存します。

▶ SICAT Endo は、新規設定を今作成した描画オブジェクトに適用します。

スクリーンショットを「ハンドアウトを作成する」ウィンドウに追加する

それぞれのビューにスクリーンショットをクリップボードにコピーする (Ctrl+C) アイコンが含まれている場合、各ビューのスクリーンショットを各ワークスペースやウィンドウに作成することができます。

スクリーンショットをハンドアウトに追加するには、次のように行います。



1. ビューのスクリーンショットを作成するには希望するビューの**画像のツールバー**内でスクリーンショットをクリップボードにコピーする (Ctrl+C) アイコンをクリックしてください。
 2. ワークスペース全体のスクリーンショットを作成するには**ワークスペースのツールバー**内でスクリーンショットをクリップボードにコピーする (Ctrl+C) アイコンをクリックしてください。
- ▶ SICAT Endo はスクリーンショットオブジェクトに必要な構造を**オブジェクトブラウザ**に作成し、オブジェクトを有効にします。
 - ▶ スクリーンショットは**レポート作成**ウィンドウにあります。
 - ▶ SICAT Endo はスクリーンショットをクリップボードにコピーします。

ハンドアウトの準備 [▶ ページ 175 - *SIDEXIS XG*]で先に進みます。

29.2 ハンドアウトの準備

患者教化に関する一般的な情報は患者教化 [▶ ページ 170 - SIDEXIS XG]に記載されています。

ハンドアウトの準備するために使用できる操作は以下の通りです。

- レポート作成のウィンドウを開く
- ハンドアウト設定の変更
- 要素を準備する

「レポート作成」のウィンドウを開く

- 少なくとも、画像オブジェクトまたはスクリーンショットオブジェクトを作成しました。
- ワークフロー・ステップの説明するは、展開させておきます。これに関する情報はワークフローのツールバーを参照してください。



- Create Patient Information Reportアイコンをクリックしてください。
- ▶ レポート作成のウィンドウが開きます。

ハンドアウト設定の変更

- レポート作成ウィンドウはすでに開いています。
1. 画像ギャラリー用設定エリアで希望する画像配置用のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo が選択した設定に対応する画像を表示します。
 2. グローバル設定エリアで希望の用紙サイズのボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo が選択した設定に対応して用紙サイズを変更します。
 3. 患者情報の匿名化のチェックボックスを有効または無効にします。
 - ▶ SICAT Endo が、選択した設定に応じて実際の患者情報または匿名化された患者情報をハンドアウト上に表示します。

ハンドアウトのための要素を準備する

レポート作成ウィンドウは画像オブジェクトからスクリーンショット、スクリーンショットオブジェクトからスクリーンショットを表示します。これに関する情報は画像とスクリーンショットの作成 [▶ ページ 171 - SIDEXIS XG]を参照してください。

ハンドアウト用の要素の準備は以下のように行います。

- レポート作成ウィンドウはすでに開いています。



1. ハンドアウト内の要素を非表示にしたい場合は、要素のチェックボックスを無効にします。
 - ▶ SICAT Endo がハンドアウト内の要素を非表示にします。



2. SICAT Endoで画像を個別に片側に表示したい場合は**それぞれのページに画像を表示アイコン**をクリックしてください。



3. 要素に説明を追加したい場合は、要素の**画像記述を編集するアイコン**をクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo は要素の拡大バージョンとテキスト入力欄を表示します。
4. テキスト入力欄にテキストを入力してください。
 - ▶ 既存のテキストブロックテキストの一部を入力した場合、SICAT Endoはテキストブロックのリストを表示します。
5. 希望のテキストブロックをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo がテキストブロックをテキスト入力欄に追加します。
6. 希望したテキストがテキストブロックとして存在しない場合は、新しいテキストを入力してください。
7. **OK**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo がテキストをスクリーンショットの説明として保存します。
 - ▶ 入力したテキストがテキストブロックとして存在しない場合は、SICAT Endoが説明を新しいテキストブロックとしてユーザープロフィールに保存します。
8. ハンドアウトの要素の順序を変更したい場合は、ドラッグ&ドロップで調整してください。



マウスポインタをテキストブロック上に動かすと、SICAT Endoが**テキストブロックをリストから削除するアイコン**を表示します。**テキストブロックをリストから削除するアイコン**をクリックすると、SICAT Endoがテキストブロックをユーザープロフィールから削除します。



次の**アイテム**ボタンと直前の**アイテム**ボタンをクリックすることにより、要素の拡大バージョンを示しているウィンドウで要素間の切り替えができます。

オブジェクトブラウザで要素をハンドアウトから完全に削除することができます。これに関する情報はオブジェクトツールバーを使用した**オブジェクトの管理** [▶ ページ 61 - *SIDEXIS XG*]を参照してください。

ハンドアウトを生成する [▶ ページ 177 - *SIDEXIS XG*]で先に進みます。



SICAT Endo は医療所ロゴおよび情報テキストを一般設定から引き継ぎます。この表示に関する内容は、**歯科医院情報の使用** [▶ ページ 202 - *SIDEXIS XG*]の節をご覧ください。

29.3 ハンドアウトを生成する

ハンドアウトを作成するために使用できる操作は以下の通りです。

- ハンドアウトをPDFファイルで保存する
- ハンドアウトをプリントする

ハンドアウトをPDFファイルで保存する

レポート作成ウィンドウはすでに開いています。



1. 出力のコーナーで、**PDFエクスポート**のボタンをクリックします。
 - ▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。
2. ハンドアウトを保存するディレクトリを変更してください。
3. **ファイル名欄**に名前を入力し、**保存**をクリックします。
 - ▶ Windowsファイルエクスプローラーウィンドウが閉じます。
 - ▶ SICAT Endo はハンドアウトをPDFファイルで保存します。

ハンドアウトをプリントする



適切な品質のハンドアウトには特定の要件を満たしたプリンターが必要です。システムの要件に関する内容は、[システム要件](#) [▶ ページ 8 - *SIDEXIS XG*]の節をご覧ください。



- レポート作成ウィンドウはすでに開いています。
1. **印刷する**のボタンをクリックします。
 - ▶ **印刷する**のウィンドウが開きます。
 2. 希望するプリンターを選択し、必要とあればプリンター設定を調整してください。
 3. **印刷する**をクリックします。
 - ▶ SICAT Endo はプリンターにハンドアウトを送信します。

30 データエクスポート

データをエクスポートすることができます。

患者データとボリュームデータは、いずれも現時点で開いているものをエクスポートできます。

このとき対象となるスタディは、SIDEXIS XGから開いたものになります。

注記

エクスポートしたデータの再インポート

SICAT SuiteをSIDEXIS XGのプラグインとしてインストールしたときは、SICAT Suiteから事前にエクスポートしたデータをインポートできる先は、SICAT Suiteのスタンドアロン版に限定されます。

SICAT Suiteは以下のデータをエクスポートすることができます。

- 患者ファイル (DICOM)
- 3Dスタディ
- 文書

エクスポートしたデータには次の要素が含まれています。

データタイプ	エクスポートフォーマット
3D撮影画像	DICOM
3Dスタディ	SICAT所有者
文書	PDF

SICAT Suiteでは、3D X線撮影画像とスタディのエクスポートにあたって、ZIP形式の圧縮ファイルか、または、DICOMディレクトリのいずれかを利用します。必要な場合、SICAT Suiteは患者ファイルをエクスポートのために匿名化することができます。

データをエクスポートするには、次の操作を規定の手順で実行します。

- **データを共有する** ウィンドウを開く。これに関する情報は「データの転送」ウィンドウを開く [▶ ページ 179 - SIDEXIS XG]を参照してください。
- 希望のデータをエクスポートします。これに関する情報はデータのエクスポート [▶ ページ 180 - SIDEXIS XG]を参照してください。

30.1 「データの転送」ウィンドウを開く

データをエクスポートするにはまず**データを共有する**ウィンドウを開く必要があります。

SICAT SuiteをSIDEXIS XGのプラグインとしてインストールした場合に、**データを共有する**ウィンドウを開くには、次の手順で行います。



- ナビゲーションバーで、**データを共有する**のアイコンをクリックします。

▶ **データを共有する**のウィンドウが開きます。



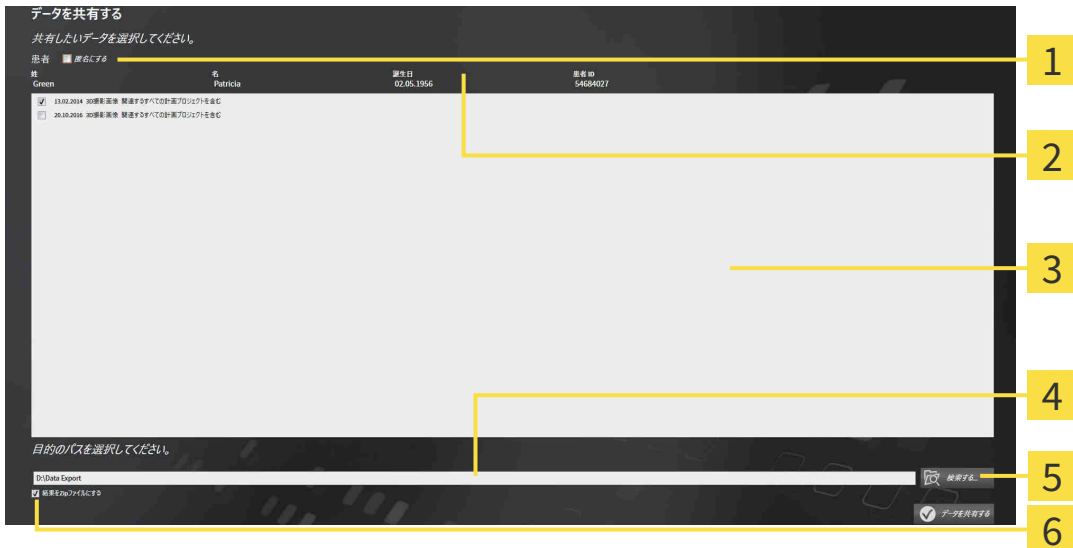
SICAT Suiteはアクティブな患者ファイルの選択した3D X線撮影画像と計画プロジェクトのみエクスポートします。

データのエクスポート [▶ ページ 180 - SIDEXIS XG]で続行してください。

30.2 データのエクスポート

スタディをエクスポートするには、次の手順で行います。

- ☑ **データを共有する** ウィンドウはすでに開いています：これに関する情報は「データの転送」ウィンドウを開く ▶ ページ 179 - *SIDEXIS XG* を参照してください。



1 チェックボックス **匿名にする**

2 患者ファイルの特性

3 3Dスタディのリスト

4 欄 **目的のパスを選択してください。**

5 ボタン **データを共有する**

6 チェックボックス **結果をZipファイルにする**

- 希望する場合、**データを共有する** ウィンドウで**匿名にする**のチェックボックスにチェックを入れます。
 - ▶ エクスポートした患者ファイルの特性は、**姓（患者）、名（匿名）、1月1日（誕生日が誕生年月）**に変わります。患者ファイリング内の患者ファイルの特性は変更されません。

- 希望の患者の任意の3Dスタディが選択されていることを確認してください。



- 検索する**のボタンをクリックします。

▶ **フォルダを検索する**のウィンドウが開きます。

- フォルダを検索する** ウィンドウでエクスポート先フォルダを選択し、**OK**をクリックします。

▶ **フォルダを検索する** ウィンドウが閉じ、SICAT Suiteが任意のフォルダへのパスを**目的のパスを選択してください。欄**に転記します。

- 結果をZipファイルにする**のチェックボックスをアクティブまたは無効にします。



6. データを共有するのボタンをクリックします。

- ▶ SICAT Suiteは選択したスタディをZIP形式の圧縮ファイルか、または、選択したフォルダにエクスポートします。

ZIP形式の圧縮ファイルとフォルダの両者いずれにおいても、それぞれで保存されるのは、DICOM形式の3D X線撮影画像、および、ファイル形式がプロプライエタリ・フォーマットの治療計画データです。3D X線撮影画像は、すべてのDICOMビューワで確認できますが、治療計画データは、SICATの各種アプリケーションのうち、そのデータが関係するものを使用します。

31 注文プロセス

希望の製品を注文するには、次の手順で行います。

- SICAT Endoで、サージカルガイドのための希望する計画データをショッピングカートに入れます。これに関する情報はドリルテンプレートをショッピングカートに入れる [▶ ページ 183 - *SIDEXIS XG*]を参照してください。
- ショッピングカートを確認し、注文を開始します。これに関する情報はカートをチェックして、注文プロセスを完了する [▶ ページ 188 - *SIDEXIS XG*]を参照してください。
- 注文は、SICAT Suiteが作動しているコンピューターで直接終了するか、インターネットに接続されている別のコンピューターで終了します。これに関する情報はインターネット接続を使用した注文の終了 [▶ ページ 189 - *SIDEXIS XG*]またはインターネット接続を使用しない注文の終了 [▶ ページ 193 - *SIDEXIS XG*]を参照してください。



同一の3D X線撮影画像に関係する注文であれば、複数の注文内容をカートに追加できます。SICAT Suite終了時にショッピングカートの内容が消失するため、注文は最後まで実行する必要があります。

31.1 ドリルテンプレートをショッピングカートに入れる



注文に誤ったデータがあると、誤った注文となる可能性があります。

注文をするときには、注文のための正しいデータの選択と転送を確認してください。



注文を誤ると誤った治療の原因となるおそれがあります。

1. 注文を送信する前にご注文内容をご確認ください。
2. 注文の適切な治療計画を確認してください。

注文プロセスに関する一般的な情報は、[注文プロセス](#) [▶ ページ 182 - SIDEXIS XG]をご参照ください。

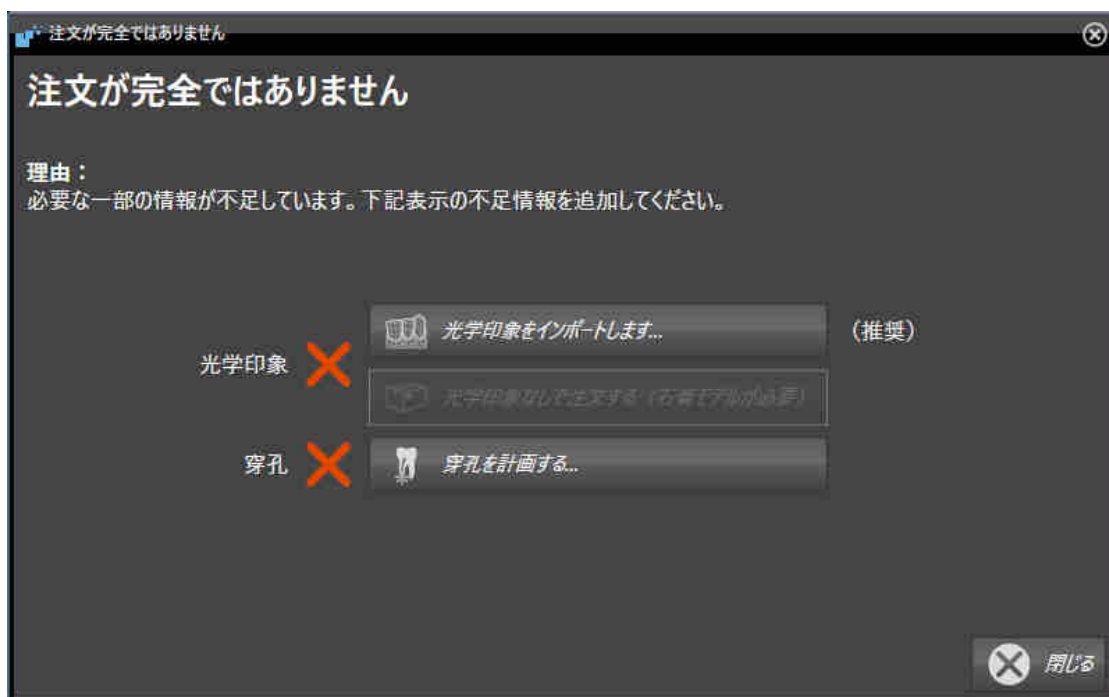
SICAT Endoで注文プロセスの最初のステップとして、**SICAT GUIDE (ENDO)**ドリルテンプレートをショッピングカートに入れてください。**SICAT GUIDE (ENDO)**をショッピングカートに入れるためには、特定の条件を満たす必要があります。すべての条件をまだ満たしていない場合は、SICAT Endoを参照してください。

充足されていない前提条件があるとき

- ☑ ワークフロー・ステップ**注文する**は、展開させておきます。これに関する情報は、ワークフローのツールバー [▶ ページ 54 - SIDEXIS XG]をご参照ください。



1. **SICAT GUIDE (ENDO)**を注文するのアイコンをクリックしてください。
▶ **注文が完全ではありません**のウィンドウが開きます。





2. 光学印象をまだ登録していない場合は、**光学印象をインポートします**ボタンをクリックし、3D X線撮影画像に合う適切な光学印象をインポートしてください。これに関する情報は、[光学印象](#) [▶ ページ 107 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。
3. ドリル穴をまだ計画していない場合は、**ドリル穴を計画する**ボタンをクリックし、ドリル穴を設定してください。これに関する情報は、[ドリル穴を計画する](#) [▶ ページ 158 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。



場合によっては、光学印象をインポートする前にボリュームの配置およびパノラマ曲線を調整する必要があります。**ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する**ウィンドウを**光学印象をインポートし記録する**ウィンドウからステップ **登録する**で直接呼び出すことができます。直接呼び出すにはボタン**パノラマエリアを調整する**をクリックします。これに関する情報は**パノラマエリアを調整する** [▶ ページ 103 - *SIDEXIS XG*]を参照してください。



光学印象の代わりにギブスをSICATに送信したい場合は、**注文が完全ではありません**ウィンドウの**光学印象なしで注文する (石膏モデルが必要)** ボタンをクリックし、ドリルテンプレートを光学印象なしでショッピングカートに入れることができます。その後、ステップ**ドリルテンプレートを注文する**は情報この注文には**光学印象は含まれていません**。該当する石膏モデルをSICATまでお送りください。のを示します。

前提条件がすべて充足されているとき

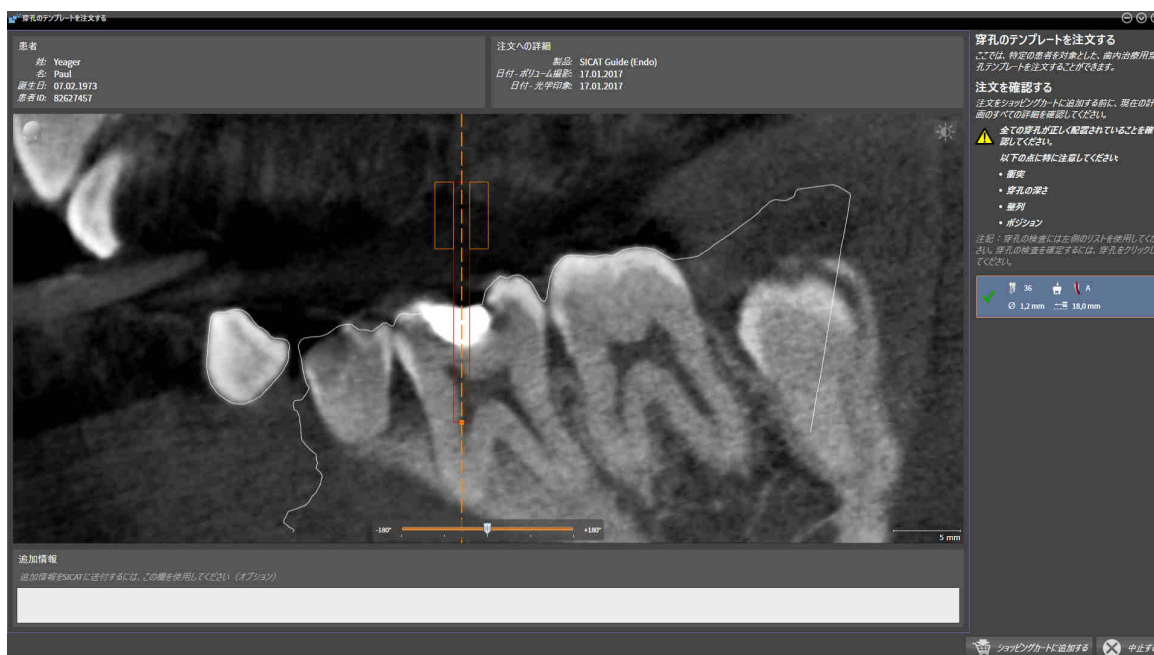
- ☑ 少なくとも1つの光学印象をすでにインポート済みです。
- ☑ EndoLinesをすでに設定済みです。
- ☑ ドリル穴をすでに設定済みです。
- ☑ ワークフロー・ステップの**注文する**は、展開させておきます。これに関する情報は、[ワークフローのツールバー](#) [▶ ページ 54 - *SIDEXIS XG*]をご参照ください。



- **SICAT GUIDE (ENDO)を注文する**のアイコンをクリックしてください。
- ▶ **ドリルテンプレートを注文する**のウィンドウが開きます。

ウィンドウで注文を確認してくださいドリルテンプレートを注文する

ドリルテンプレートを注文するウィンドウはすでに開いています：



1. 患者情報と撮影図情報が正しいかどうか**患者エリア**と**注文への詳細エリア**を確認してください。
2. すべてのドリル穴が正しく配置されていることを確認してください。
3. ドリル穴のテストを確認するには、**注文を確認する**エリアで対応するEndo計画オブジェクトをマーキングしてください。
 - ▶ SICAT Endo Endo計画オブジェクトをマーキングします。
4. チェックマークを入れてください。
 - ▶ SICAT Endo 緑色のチェックマークを表示します。
5. 注文に含まれているすべてのドリル穴で手順を繰り返してください。
6. 希望する場合、**追加情報欄**にSICATの追加情報を入力します。
7. ショッピングカートに**追加する**のボタンをクリックしてください。



- ▶ SICAT Endo **SICAT GUIDE (ENDO)**のための希望する治療計画データをSICAT Suiteのショッピングカートに入れます。
- ▶ **ドリルテンプレートを注文する**ウィンドウが閉じます。
- ▶ SICAT Endo SICAT Suiteのショッピングカートを開きます。



すべての計画されたドリル穴を点検し、各ドリル穴の点検を確認した場合、注文品をショッピングカートに入れることができます。



ドリル穴の点検においてエラーが見つかったにもかかわらず、既にチェックマークで点検を確認してしまった場合には、**中止する**ボタンをクリックし、その後、再び注文品点検のためのステップを実行してください。



注文がショッピングカート内にある間は、計画の光学印象、EndoLineおよびドリル穴を上書きすることはできません。これは、注文を終了するか削除した場合において初めて可能です。計画の光学印象、EndoLineおよびドリル穴を上書きまたは削除した場合は、同じドリルテンプレートを再度注文することはできません。



中止するをクリックすると、注文をキャンセルできます。

カートをチェックして、注文プロセスを完了する [▶ ページ 188 - SIDEXIS XG]を継続してください。

31.2 カートを開く



カートアイコンでは、カート内にあるアイテムの数量を示しています。

☑ カートには、製品を1個以上、入れておきます。



- ショッピングカートはまだ開いていない場合、ナビゲーションバーのカートボタンをクリックします。

▶ カートのウィンドウが開きます。

以下の操作で、処理を続けてください。

- カートをチェックして、注文プロセスを完了する [▶ ページ 188 - SIDEXIS XG]

31.3 カートをチェックして、注文プロセスを完了する

☑ カートウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は[カートを開く \[▶ ページ 187 - SIDEXIS XG\]](#)を参照してください。

1. カートウィンドウで、希望の製品が含まれてるか確認します。

2. **オーダーを完了する**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteは注文ステータスを**準備中**にし、さらに、SICAT WebConnector経由で、SICAT サーバーに接続します。

▶ インターネットに接続して注文した場合、注文の変更はSICATポータルでのみ可能です。

以下の操作を続行します：

- インターネット接続を使用した注文の終了 [[▶ ページ 189 - SIDEXIS XG](#)]
- インターネット接続を使用しない注文の終了 [[▶ ページ 193 - SIDEXIS XG](#)]

31.4 インターネット接続を使用した注文の終了



Windowsのバージョンによっては、注文プロセスを行うために、標準的なWebブラウザに設定しなければならない場合があります。

- ☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。
 - ☑ SICATポータルは自動的にブラウザで開かれました。
1. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。
 - ▶ 注文一覧が開き、含まれている製品および価格が患者毎にグループ分けして表示されません。
 2. SICATポータルでの注文手順 [▶ ページ 190 - SIDEXIS XG]以下の手順に従ってください。
 - ▶ SICAT Suiteはアップロード用の注文データを準備します。
 - ▶ 準備が完了すると、SICAT WebConnectorは注文データを暗号化された接続経由でSICATサーバーに転送します。
 - ▶ ショッピングカートの注文ステータスが**アップロードする**に変わります。



同一の3D X線撮影画像に関係する注文であれば、複数の注文内容をカートに追加できます。カートに入れた注文アイテムは、SICAT Endoを閉じて終了させるときに失われますので、アイテムを追加した後は、注文処理を完了させておくのがよいでしょう。



SIDEXIS XGを閉じて、再び開くと、SICAT Suiteでは、実際のステータスとは無関係に、注文内容のアップロードが完了した旨の表示が出力されます。実際のステータスは、SICAT WebConnectorでご覧ください。SICAT WebConnectorに関する内容は、*SICAT WebConnector* [▶ ページ 191 - SIDEXIS XG]の節をご覧ください。



アップロード中にWindowsをログオフすると、SICAT WebConnectorはアップロードを一時停止します。ソフトウェアは再度ログオン後に、自動的にアップロードを続行します。

31.5 SICATポータルでの注文手順

SICAT Suiteで注文プロセスを実行して完了したら、お手元の標準ブラウザでSICAT Portalのページが開きます。SICAT Portalでは、ご自分の注文内容をカスタマイズして、製作依頼先にする、有資格の歯科技工所を選択し、製品の価格を確認できます。

SICAT Portalで注文プロセスを実行するには、次の手順で行います。

1. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。
2. 希望の製品が含まれてるか確認します。
3. 必要に応じて、患者および付属の全製品を注文一覧から除去してください。注文を完了すると、SICAT Suiteでは、SICAT Portalで実施した変更内容が適用されます。
4. 請求書送付先と配送先住所が正しいか確認してください。正しくない場合修正してください。
5. 希望の配達方法を選択してください。
6. 一般条件を承認し、注文を提出してください。



患者を選択し、患者の削除のボタンをクリックすることにより、患者および全ての付属スプリントをSICATポータルから除去することができます。その後、ショッピングカートでは再び製品の構成にフルアクセスすることができます。

31.6 SICAT WEBCONNECTOR



SICAT WebConnectorはSICATサーバーとの通信用に特定のポートを必要とします。これに関する情報はシステム要件 [▶ ページ 8 - SIDEXIS XG]を参照してください。



Windowsのバージョンによっては、注文プロセスを行うために、標準的なWebブラウザに設定しなければならない場合があります。

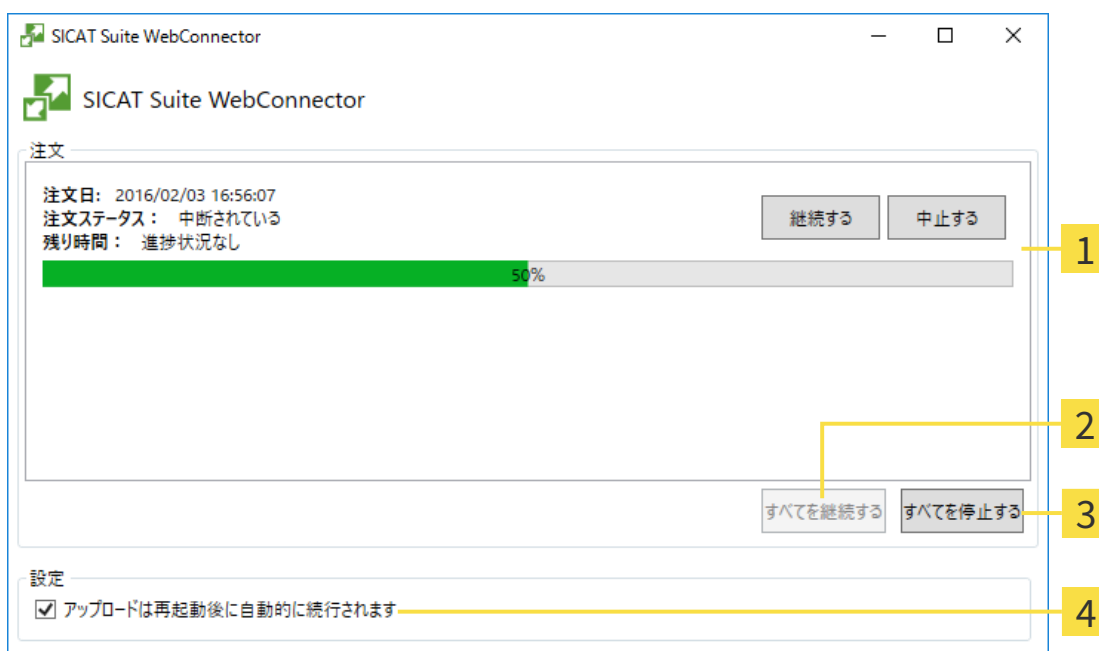
SICAT Suiteを実行させているコンピュータがインターネットに接続できるときは、SICAT Suiteで、ご自分の注文内容がバックグラウンドで暗号化され、WebConnector経由で送信されます。SICAT Endo 直接、カートから送信のステータスを表示しますので、SICAT WebConnectorを一時停止させることがあります。SICAT WebConnectorが送信を再開するのは、SICAT Suiteを閉じて終了させた後になります。ご希望に沿ってアップロードが行われませんが、そのときは、SICAT WebConnectorのユーザーインターフェースを開いてください。

「SICAT SUITE WEBCONNECTOR」のウィンドウを開く



- タスクバーの通知ウィンドウで、**SICAT Suite WebConnector**アイコンをクリックします。

▶ **SICAT Suite WebConnector** のウィンドウが開きます。



1 リスト 注文

3 ボタン すべてを停止する

2 ボタン すべてを再開する

4 チェックボックス 再起動後にアップロードを自動で再開する

注文 のリストには、処理待機中の注文内容が表示されます。

アップロードの中断および続行

アップロードの処理は、中断させることができます。この操作は、例えば、お使いのインターネット接続で負荷が過大なときに役立ちます。設定内容で制御する対象は、SICAT WebConnectorでのアップロード処理に限定されています。Webブラウザを利用するアップロード処理は、この操作の影響を受けません。

SICAT Suite WebConnectorウインドウはすでに開いています：

1. **すべて停止する**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT WebConnectorでは、すべての注文について、アップロードを中断します。
2. **すべて再開する**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT WebConnectorでは、すべての注文について、アップロードを再開します。

再起動後の自動アップロード再開をオフにする

Windowsを再起動しても、SICAT WebConnectorでアップロードが自動で再開することがないようにすることができます。

SICAT Suite WebConnectorウインドウはすでに開いています：

- **再起動後にアップロードを自動で再開する**のチェックボックスで、チェックマークを外します。
- ▶ お手元のコンピュータを再起動させても、SICAT WebConnectorでは、ご自分の注文のアップロードが自動で再開することは、なくなります。

31.7 インターネット接続を使用しない注文の終了

SICAT Suiteを起動しているコンピューターにSICATサーバーとの接続が確立できない場合、SICAT SuiteがウィンドウSICAT サーバーへの接続エラーを開きます。ウィンドウは問題に対する以下の原因を表示します。

- インターネット接続が利用できません。SICAT WebConnectorはSICATサーバーへの接続を確立できません。
- SICATポータルにアクセスできません。
- 「SICATWebConnector」 サービスがインストールされていません。
- 「SICATWebConnector」 サービスが起動していません。
- 未知のエラーが発生しました。SICAT WebConnectorはSICATサーバーへの接続を確立できません。

この章ではインターネット接続が使用できない場合のみを対象にスクリーンショットを示しています。

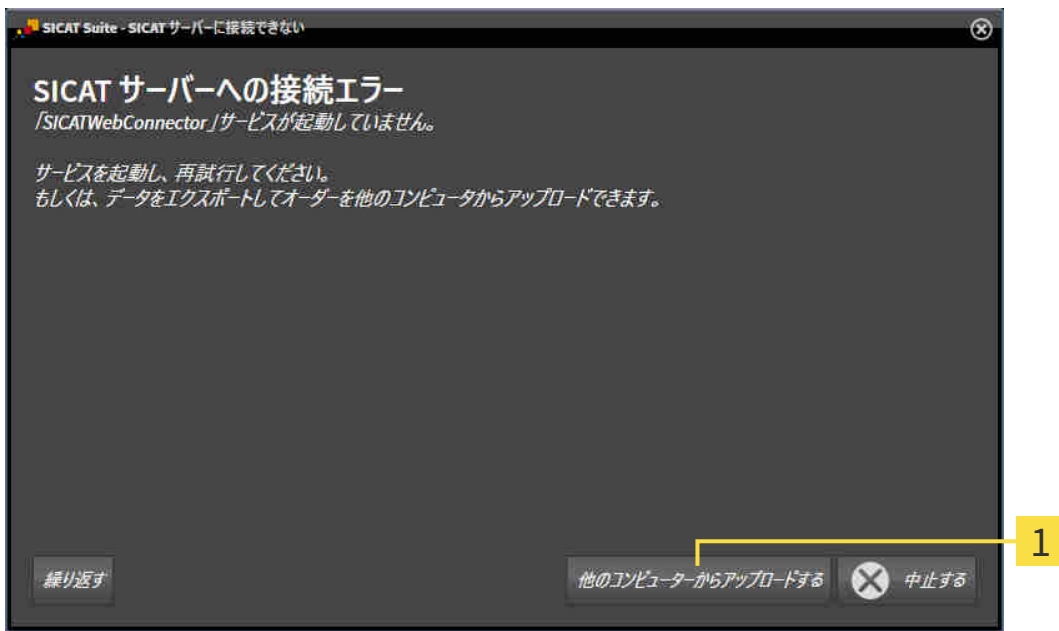
その原因の下で可能な問題を解決できる手順を発見します。

トラブルシューティングの代替手段として、注文をインターネット接続が有効な他のコンピューターのウェブブラウザからアップロードする方法があります。ウェブブラウザによる注文に対して、SICAT Suiteは一度に全ての製品をショッピングカートにエクスポートし、患者毎に一つのサブフォルダを作成します。各サブフォルダには注文情報付のXMLファイルと製造に必要なデータが付いているZIPアーカイブがあります。SICATポータルではXMLファイルとZIPアーカイブを連続してアップロードすることができます。この送信は、暗号化して行われます。

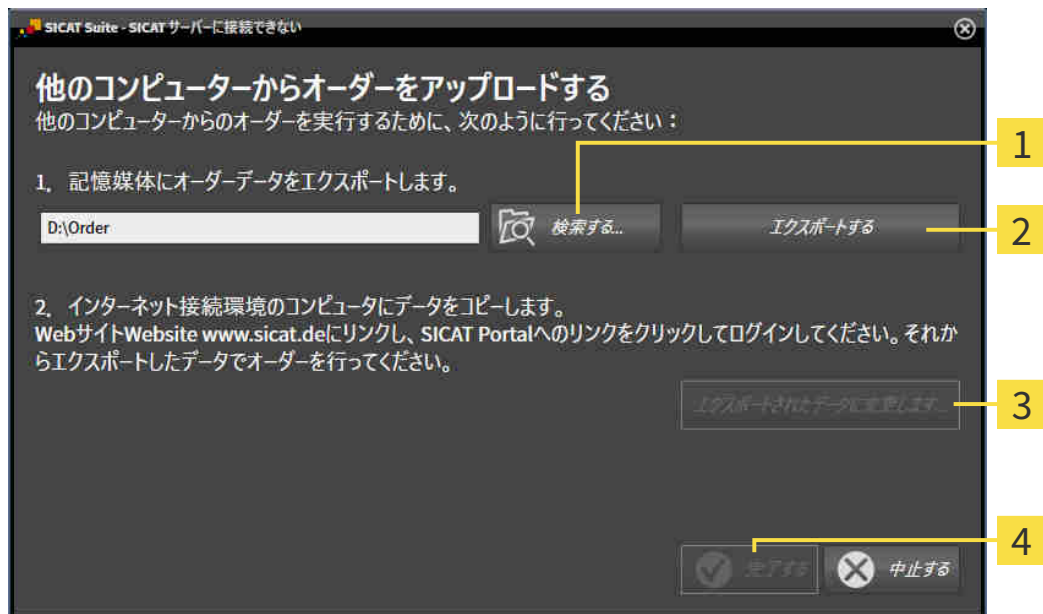
インターネット接続を利用しない注文プロセスを完了するには、次の手順で行います。

- SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されていません。

☑ ウインドウに表示されるメッセージ： SICAT サーバーへの接続エラー

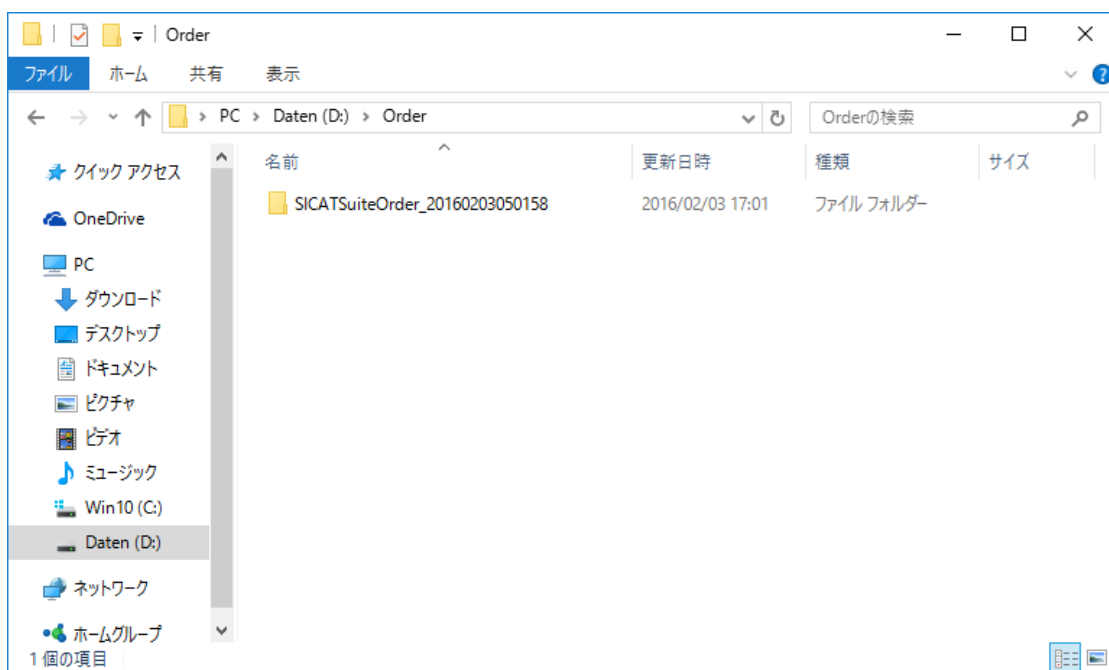
**1** ボタン 他のコンピューターからアップロードする

1. 他のコンピューターからアップロードするのボタンをクリックします。
▶ 他のコンピューターからオーダーをアップロードするのウィンドウが開きます。

**1** ボタン 検索する**3** ボタン エクスポートされたデータに変更します**2** ボタン エクスポートする**4** ボタン 完了する

2. 検索するのボタンをクリックします。
▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。

3. 既存のディレクトリを選択するか、新しいディレクトリを作成して、**OK**をクリックします。ディレクトリのパス名は、字数を160字以下にしておく必要がありますので、ご注意ください。
4. **エクスポートする**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteは、ショッピングカートの内容の注文に必要な全データを指定のフォルダにエクスポートします。この時、SICAT Suiteは患者毎に一つのサブフォルダを作成します。
5. **エクスポートされたデータに変更します**のボタンをクリックします。
 - ▶ Windowsファイルエクスプローラーウィンドウが開き、エクスポートしたデータのあるディレクトリが表示されます：



6. USBスティックなどの補助ツールを使用して、インターネットに接続しているコンピューターに希望のスプリントのデータが含まれるフォルダをコピーします。
7. **他のコンピューターからオーダーをアップロードする**ウィンドウの**完了する**をクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteは**他のコンピューターからオーダーをアップロードする**ウィンドウを閉じます。
 - ▶ SICAT Suiteは、注文に含まれる全ての製品をショッピングカートから除去します。
8. インターネットに接続されたコンピューター上でウェブブラウザを開き、インターネットページ<http://www.sicat.de>を開きます。
9. SICATポータルへのリンクをクリックします。
 - ▶ SICATポータルが開きます。

10. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。
11. 注文をアップロードするためのリンクをクリックします。
12. インターネットに接続したコンピューターで希望の注文を選択します。これは、ファイル名が**SICATSuiteOrder**で始まるXMLファイルです。
 - ▶ 注文一覧が開き、含まれている患者、付属の製品および価格が表示されます。
13. SICATポータルでの注文手順 [▶ ページ 190 - SIDEXIS XG]以下の手順に従ってください。
14. 製品の治療計画データをアップロードするためのリンクがありますので、それをクリックします。
15. インターネットに接続したコンピューターで適切な製品データを選択します。これは、以前アップロードしてXMLファイルと同じフォルダ内にあり、ファイル名が**SICATSuiteExport**で始まるZipアーカイブです。
 - ▶ 注文を実行した場合、ブラウザは製品データが含まれるアーカイブを暗号化された接続経路でSICATサーバーに転送します。



SICAT Suiteは、エクスポートしたデータを自動的に削除しません。注文プロセスが完了したら、セキュリティ上の理由により、エクスポートしたデータを手動で削除する必要があります。

32 設定



SICAT Suiteのバージョンのうち、SIDEXISと結合して、SIDEXISの設定内容の多くが適用されるものは、複数あります。こうして適用された設定内容のデータは、SICAT Endoで確認できますが、変更を加えることができるのは、SIDEXISの各種設定においてのみに限定されています。

設定ウィンドウで一般設定を変更または閲覧することができます。設定アイコンをクリックすると、設定ウィンドウの左側のページにあるオプションバーに次のタブが表示されます。

- **一般** - これに関する情報は **一般設定の使用** [▶ ページ 198 - SIDEXIS XG]を参照してください。
- **ライセンス** - これに関する情報は **ライセンス** [▶ ページ 42 - SIDEXIS XG]を参照してください。
- **プラクティス** - 施設のロゴおよび情報テキストを表示または変更します（例えば、プリントアウトして使用するため）。これに関する情報は **歯科医院情報の使用** [▶ ページ 202 - SIDEXIS XG]を参照してください。
- **可視化** - ビジュアル化に関連する、一般的な設定内容を変更します。これに関する情報は **可視化設定の変更** [▶ ページ 203 - SIDEXIS XG]を参照してください。

設定を変更した場合、SICAT Endoが変更をすぐに反映し、お客様のユーザープロフィールに設定を保存します。

32.1 一般設定の使用



SICAT Suiteのバージョンのうち、SIDEXISと結合して、SIDEXISの設定内容の多くが適用されるものは、複数あります。こうして適用された設定内容のデータは、SICAT Endoで確認できますが、変更を加えることができるのは、SIDEXISの各種設定においてのみに限定されています。

一般的な設定内容を開くには、次の手順で行います。



1. ナビゲーションバーで、**設定**のアイコンをクリックします。

▶ **設定**のウィンドウが開きます。



2. **一般**タブをクリックします。

▶ **一般**のウィンドウが開きます。



1 タブ 一般

4 エリア ツール

2 エリア 局所の設定

5 エリア ディレクトリ

3 エリア 患者

SICAT Endo では、SIDEXISの各種設定のうち、以下に挙げる内容が適用されますが、これらは、このページで確認できます。

- **局所の設定**エリアでは、**言語**リストからユーザーインターフェースの言語を閲覧することができます。
- **局所の設定**エリアでは、**歯式**で現在の歯型図を閲覧できます。
- **患者**エリアでは、**患者情報を匿名で表示する**のチェックボックスのステータスを閲覧できます。このチェックボックスにチェックマークがあれば、SICAT Endoでは、SIDEXISで匿名化した患者データを引き継ぎます。

変更が可能な設定内容は、以下のとおりです。

- ディレクトリエリアでは、**テンポラリ エクスポート ディレクトリ**欄にSICAT Suiteが注文データを保存するフォルダを指定することができます。このフォルダには、フルアクセスできなくてはなりません。

一般設定の表示または変更の他に、SMPTEテスト画像を開いて、モニターをキャリブレーションすることもできます。

- **ツール、モニターキャリブレーションでSMPTE テストパターンを表示するボタン**をクリックして、モニターをキャリブレーションします。これに関する情報は**SMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーション** [▶ ページ 200 - SIDEXIS XG]を参照してください。



SICAT Endoがサポートしていない言語を、SIDEXISで選択すると、SICAT Endoでは、ユーザーインターフェースのテキストを英語で表示します。



SIDEXIS XGで表示言語を変更したら、SICAT Suiteを再起動して、変更内容をアクティブにしてください。



対応している歯型図はFDIとADAです。

32.2 SMPTEテスト画像によるモニターのカリブレーション



注意

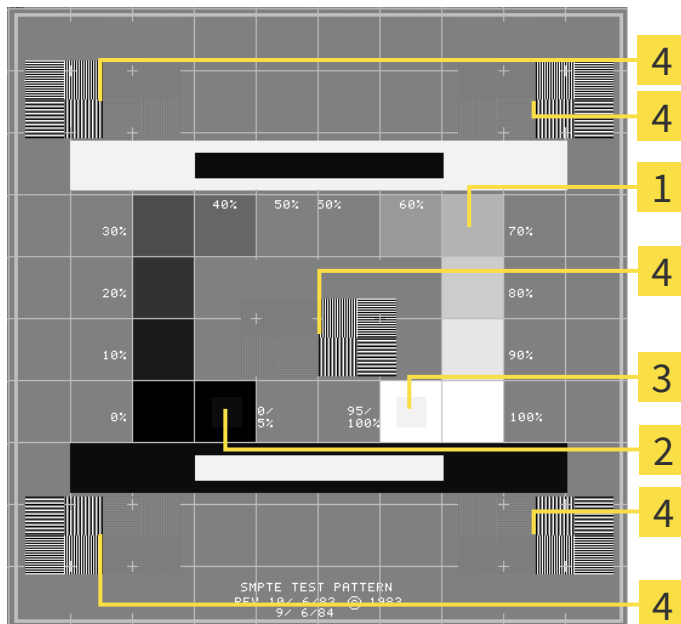
環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

4個のメインプロパティが、SICATアプリケーションのデータを表示させるモニターの特性を決定します。

- 輝度
- コントラスト
- 空間分解能（直線性）
- ひずみ（エイリアシング）

SMPTEテスト画像は参照画像であり、モニターのプロパティをチェックする際に使用します。



1 グレースケールスクエア

3 100%スクエア

2 0%スクエア

4 高コントラストのバーパターンが含まれるスクエア

輝度およびコントラストの点検

SMPTEテスト画像の中央では、一連のスクエアが黒（輝度0%）～白（輝度100%）のグレースケールを示しています。

- 0%スクエアには、0%～5%間の輝度の違いを示す小さ方のスクエアが含まれます。
- 100%スクエアには、95%～100%間の輝度の違いを示す小さ方のスクエアが含まれます。

モニターを点検または設定するには、次のように行います。

- SMPTEテスト画像はすでに開いています。
- 0%スクエアおよび100%スクエアで、内側のスクエアと外側のスクエア間に視覚的違いが見えるか点検してください。必要に応じて、モニターの設定を変更してください。



多くのモニターは、100%スクエア内の輝度の相違のみ表示され、0%スクエア内には表示されません。0%スクエア内の様々な輝度レベルの相違を改善するために、アンビエントライトを減らすことができます。

空間分解能およびひずみの点検

SMPTEテスト画像の角および中央では、6個のスクエアに高コントラストのバーパターンが表示されます。空間分解能およびひずみについては、様々な幅の、黒と白で切り替わる、垂直の線で区別できる必要があります。

- 幅が広い～狭い（6ピクセル、4ピクセル、2ピクセル）
- 水平および垂直

モニターを点検または設定するには、次のように行います。

- 高コントラストのバーパターンが表示される6個のスクエアで、全ての線が区別できるかどうか点検します。必要に応じて、モニターの設定を変更してください。

SMPTEテスト画像を閉じる

SMPTEテスト画像を閉じるには、次の手順で行います。

- ESCボタンを押します。
- ▶ SMPTEテスト画像が閉じます。

32.3 歯科医院情報の使用

SIDEXISと結合しているSICAT Suiteのバージョンには施設ロゴとSIDEXISの情報テキストが適用されています。そのため、SICAT Suiteの設定でこれらの設定の値しか閲覧できません。これらの設定内容は、SIDEXISからご希望の変更を加えるようにしてください。

SICAT Suiteの各種アプリケーションでは、このページで表示する説明文を利用して、印刷物やPDFファイルをカスタマイズします。

歯科クリニックの説明文を開くには、次の手順で行います。



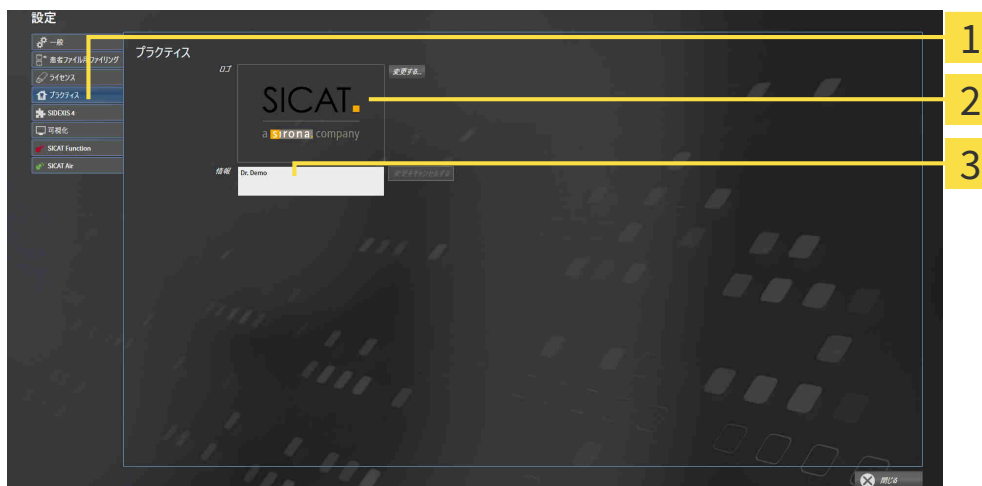
1. ナビゲーションバーで、**設定**のアイコンをクリックします。

▶ **設定**のウィンドウが開きます。



2. **プラクティスタブ**をクリックします。

▶ **プラクティス**のウィンドウが開きます。



1 タブ **プラクティス**

2 エリア **ロゴ**

3 エリア **情報**

以下の設定を閲覧することができます。

- **ロゴ**エリアでは、施設ロゴを閲覧することができます。
- **情報**エリアでは、施設を識別するテキスト（名前、住所など）を閲覧することができます。

32.4 可視化設定の変更



表示品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

SICATアプリケーションを使用する前に、表示品質が十分であるか確認してください（例えば、SMPTEテストビューで）。



環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

可視化設定は、すべてのSICATアプリケーションのボリューム、診断オブジェクト、計画オブジェクトの可視化を決定します。

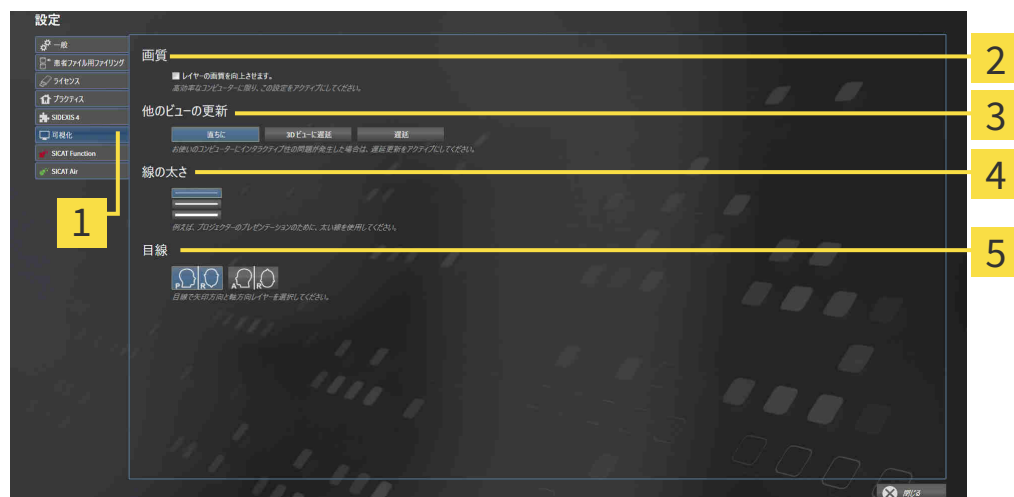
可視化 ウィンドウを開くには、次の手順で行います。



1. 設定のアイコンをクリックします。
 - ▶ 設定のウィンドウが開きます。



2. 可視化タブをクリックします。
 - ▶ 可視化のウィンドウが開きます。



1 タブ 可視化

2 エリア 画質

3 エリア 他のビューの更新

4 エリア 線の太さ

5 エリア 目線

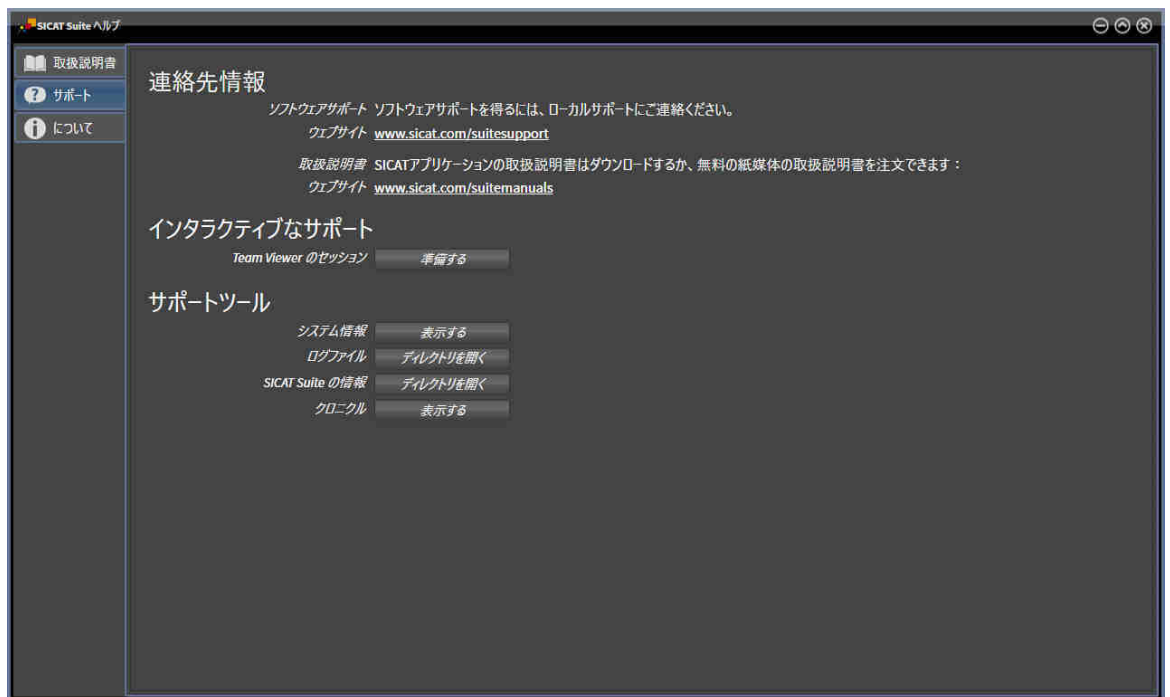
設定：

- **レイヤーの画質を向上させます。** - ソフトウェアが隣接するレイヤーを検知することにより、レイヤーの表示品質を改善します。高効率なコンピューターに限り、この設定をアクティブにしてください。
- **他のビューの更新** - 遅延更新は、別のレイヤーの遅延更新を犠牲にして作業に使用しているビューのインタラクティブ性を向上させます。遅延更新は、コンピューターにインタラクティブ性の不具合が確認された場合のみアクティブにします。
- **線の太さ** - 線の太さを変更します。太めの線は、プロジェクターでのプレゼンテーションに使用します。
- **目線** - 軸方向レイヤービューと矢状方向レイヤービューの目線を切り替えます。

33 サポート

SICATでご利用いただけるサポート態勢を以下に挙げます。

- PDFドキュメント
 - 連絡先情報
 - SICAT SuiteやSICATの各種アプリケーションで、インストール済みのものに関するご案内
- 以下の操作で、処理を続けてください。
- サポート態勢のページを開く [▶ ページ 206 - SIDEXIS XG]



33.1 サポート態勢のページを開く



サポートウィンドウは、ナビゲーションバーのサポートアイコンをクリックする、またはF1 ボタンをクリックすることによって開くことができます。

SICAT Suiteサポートウィンドウは次のタブで構成されます。



- **取扱説明書** - これに関する情報は**取扱説明書を開く** [▶ ページ 41 - *SIDEXIS XG*]を参照してください。



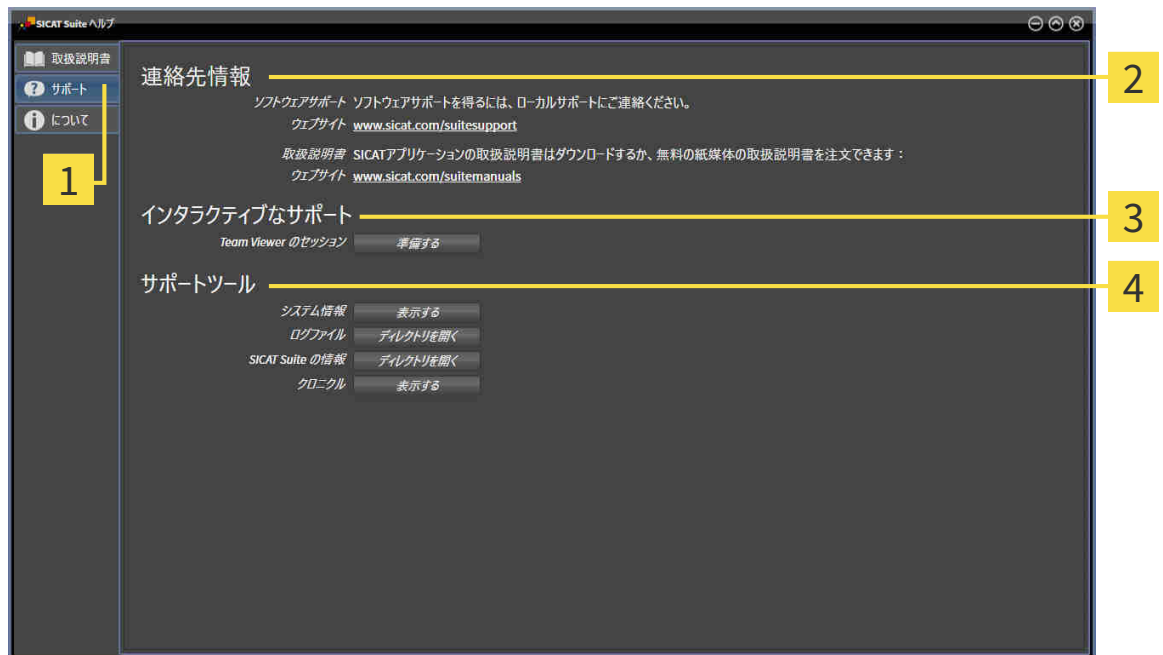
- **サポート** - これに関する情報は**連絡先情報およびサポートツール** [▶ ページ 207 - *SIDEXIS XG*]を参照してください。



- **インフォメーション** - これに関する情報は**インフォメーション** [▶ ページ 209 - *SIDEXIS XG*]を参照してください。

33.2 連絡先情報およびサポートツール

サポートウィンドウには、SICATサポートの補助をうけられるように、関連する全ての情報およびツールが含まれています。



1 タブ サポート

3 エリア インタラクティブなサポート

2 エリア 連絡先情報

4 エリア サポートツール

各種の取扱説明書を入手するときのお問い合わせ先は、**連絡先情報**エリアをご覧ください。

次のツールは**インタラクティブなサポート**エリアで使用することができます。

- SICAT Endo では、**Team Viewer のセッション**エリアで、**準備する**のボタンをクリックすると、TeamViewerセッションが開きます。

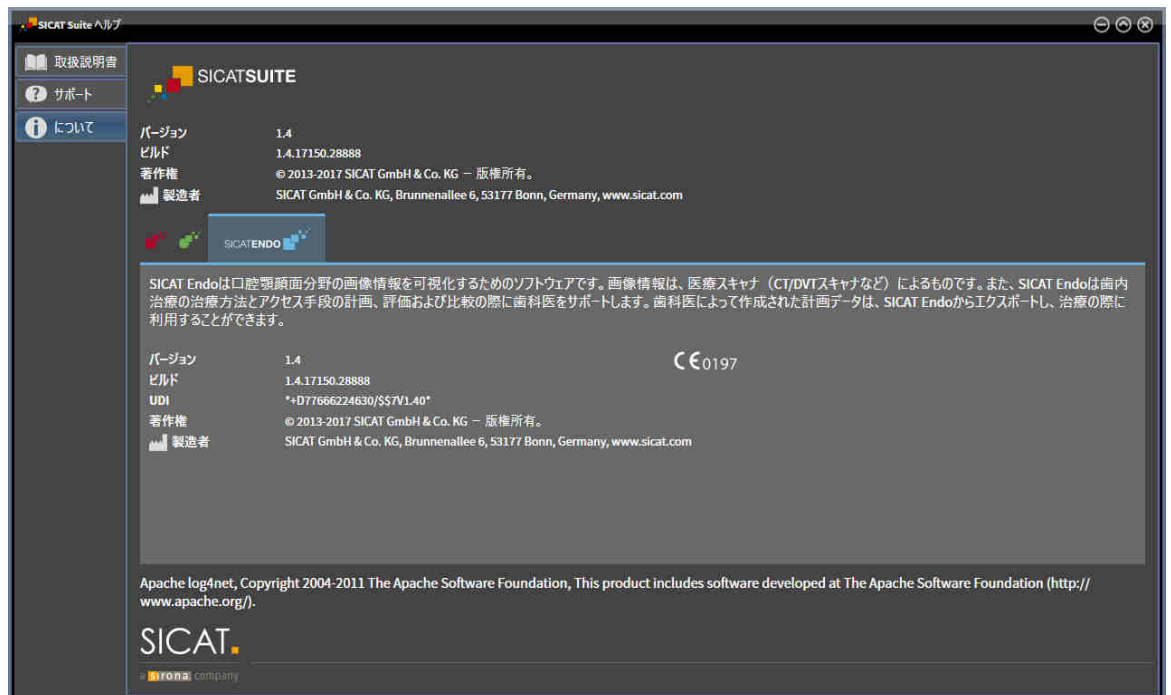
TeamViewerは、マウス/キーボードのコマンドを遠隔操作し、コンピューターの画面に表示されている内容をインターネット接続経由で転送することのできるソフトウェアです。TeamViewerは、明確な承認がある場合のみ接続を確立します。その際、SICATサポートにTeamViewer IDとパスワードを通知します。これにより、SICATサポートは現地で直接補助できるようになります。

次のツールは**サポートツール**エリアで使用することができます。

- SICAT Endo では、**システム情報**エリアで、**表示する**ボタンをクリックすると、OSのシステムに関する情報が開きます。
- SICAT Endoでは、**ログファイル**エリアで、**ディレクトリを開く**ボタンをクリックすると、Windowsエクスプローラのウィンドウで、SICAT Suiteのログディレクトリが開きます。
- SICAT Endo では、**SICAT Suite の情報**エリアで、**ディレクトリを開く**ボタンをクリックすると、現時点でのインストール状況に関する情報をテキストファイルとしてエクスポートします。
- **SICAT Suite の情報**エリアでボタン**通知を表示する**をクリックするとSICAT Endoが通知ウィンドウを表示します。

33.3 インフォメーション

インフォメーションウィンドウでは、複数のタブにSICAT Suiteおよびインストールされている全SICATアプリケーション経由で情報が表示されます。



34 データを書き込み禁止で開く

データを書き込み禁止で開くことができます。

SIDEXIS XGのプラグインとしてインストールしたSICAT Endoでは、データのうち、確認は可能で、変更を加えたり保存したりが不可能なものは、ライセンスのステータスと、現時点の3D X線撮影画像を利用するかどうかに応じて異なります。

SICAT ENDOライセンスの種類	SIDEXIS XGのワークステーションのうち、3D X線撮影画像を使用しているものが別にある	変更せずに参照することはできますか？
なし	無関係	無
ビューア	無関係	有
フルバージョン	有	有
フルバージョン	無	無

以下の場合にはビューアライセンスがなくてもSICAT Endoのスタディを参照することができます。

- SIDEXIS 4からSICAT Endoのスタディを外部にエクスポートし、他のコンピューター上のデータをSIDEXISにインポートします。SICAT Endoのコンピューター上にインストールされている必要があります。
- SIDEXIS 4から外部にSICAT Endoのスタディを含むWrap&Goパッケージを作成します。他のコンピューターにWrap&Goパッケージをインストールしてください。SICAT Endoの後にインストールしてください。

いずれの場合でも計画の変更も保存もできません。



SIDEXIS XGのマルチワークステーションサポートに関する詳細な情報については、SIDEXIS XG取扱説明書に記載されています。

変更や保存が不可能な状態でデータを開くには、次の手順で行います。

1. SICAT Suiteを3D X線撮影画像と一緒にSirona SIDEXIS XGから起動します。これに関する情報はSICAT Suiteをスタートする [▶ ページ 36 - SIDEXIS XG]を参照してください。
 - ▶ SICAT Suiteは3D X線撮影画像および計画プロジェクトを現在のSIDEXIS XG検査からビューアモードで開きます。
 - ▶ 別のSIDEXIS XGワークステーションが現在の3D X線撮影画像を使用すると、ウィンドウが開き、というメッセージが表示されます：**患者ファイルは他のユーザーによって編集されているため、読み取り専用モードのみで開くことができます。**

2. メッセージウインドウの読み取りモードで開くボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteは3D X線撮影画像および計画プロジェクトを現在のSIDEXIS XG検査からビューアモードで開きます。



ボリュームの配置とパノラマ曲線を調整するには以下の条件を満たしている必要があります。

- 3DX線撮影画像またはSICAT Endoスタディを開くことができるライセンスを有効化済みです。これに関する情報はライセンス [▶ ページ 42 - SIDEXIS XG]を参照してください。
- SICAT機能による、または他のSICATアプリケーションに関する3DX線撮影画像用の読み取り専用スタディ内にも、ボリュームの配置またはパノラマ曲線の変更による影響を受けるオブジェクトはありません。

条件が満たされていない場合、SICAT Endoがウィンドウ**ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する**内でボリュームの配置やパノラマ曲線の変更に使用できるボタンと制御素子を無効化します。

35 SICAT ENDOを閉じる

SICAT Endoを閉じるには、次の手順に従って行ってください。



- アクティブな患者ファイルのエリアで**閉じる**ボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteはアクティブな患者ファイルを保存します。
 - ▶ SICAT SuiteはすべてのSICATアプリケーションを閉じます。
 - ▶ SICAT Suiteはアクティブな患者ファイルを閉じます。

36 SICAT SUITEを閉じる



- SICAT Endoの右上の隅にある閉じるボタンをクリックします。
- ▶ すべてのSICATアプリケーションが閉じます。
- ▶ SIDEXISは、すべてのSICATアプリケーションの変更された計画プロジェクトを保存します。これらはフルバージョンで作動します。

37 ショートカットキー



マウスポインタを特定の機能上に動かすと、SICAT Endoは機能の名称に加えて括弧内にショートカットキーを表示します。

次のショートカットキーはすべてのSICATアプリケーションで使用できます。

ショートカットキー	説明
A	角度測定を追加する
D	距離測定を追加する
F	アクティブなオブジェクトに焦点を合わせる
Ctrl + C	アクティブなビューの内容をクリップボードにコピーする
Ctrl + Z	前回のオブジェクト アクションを元に戻す
Ctrl + Y	前回戻したオブジェクト アクションをもう一度実行する
Del	アクティブなオブジェクトまたはオブジェクトグループを削除する
ESC	現在の操作を中断する（測定の追加など）
F1	有効なSICATアプリケーションで取扱説明書が開いている場合、ウィンドウ サポート が開きます。

38 SICAT SUITEのアンインストール



SICAT Suiteアンインストールプログラムは、コンピューターに有効なライセンスを保持します。そのため、SICAT Suiteインストールプログラムはアンインストール前に、ライセンスを自動的に削除しないように警告します。SICAT Suiteを特定のコンピューターで使用するのをやめる場合、アンインストールする前にライセンスを無効にしてください。これに関する情報はライセンスをライセンスプールへ返却する [▶ ページ 49 - SIDEXIS XG] に記載されています。



アンインストールプログラムは、SICAT WebConnectorを自動的に閉じてしまうため、SICAT Suiteをアンインストールする前に、SICAT WebConnectorがすべての注文を完全にアップロードしているかを確認してください。SICAT WebConnectorに関する内容は、*SICAT WebConnector* [▶ ページ 191 - SIDEXIS XG]の節をご覧ください。

SICAT Suiteをアンインストールするには、次のように行います。

- ☑ SICAT WebConnector はすべての注文を正常にアップロードしました。
- 1. Windowsコントロールパネルで**プログラムおよび機能**をクリックします。
 - ▶ **プログラムおよび機能**のウィンドウが開きます。
- 2. リストから、SICAT Suiteのバージョンが含まれる**SICAT Suite**を選択します。
- 3. **アンインストール**のボタンをクリックします。

- ▶ アンインストールプログラムが起動し、**進捗状況**ウィンドウが開きます。



- ▶ アンインストールが終了すると、**確認**ウィンドウが開きます。



4. **終了する**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteアンインストールプログラムが閉じます。



SICAT Suiteアンインストールプログラムを開くために、SICAT-SuiteインストールプログラムをSICAT Suiteがすでにインストールされているコンピューター上で起動することができます。



SICAT Suiteアンインストールプログラムは、SICAT Suiteと一緒にインストールされたいくつかの前提ソフトウェアのアンインストールプログラムを呼び出します。別のアプリケーションが引き続き前提ソフトウェアを必要としている場合、これらは保持されます。

39 安全に関する注意事項

3D X線撮影画像



注意

不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。



注意

不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。

3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。



注意

DICOMに適合していないX線機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、DICOM規格に適合することが証明されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。



注意

3D X線撮影画像以外のデータを、測定に基づく治療計画のための情報源として使用すると、誤った診断および治療結果につながるおそれがあります。

測定機能を使用する場合には、診断と計画には3D X線撮影画像を使用してください。

口腔内撮影画像



注意

口腔内撮影画像の登録に不適切な3D X線撮影画像を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

1. アーチファクトをほんの少しまたは全く含まない3D X線撮影画像のみを使用してください。
2. 解像度が十分に高い3D X線撮影画像のみを使用してください。



注意

患者および3D X線撮影画像が一致しない、または撮影時期が3D X線撮影画像の撮影時期が離れている口腔内撮影画像を使用した場合には、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

口腔内撮影画像の患者と3D X線画像の患者が一致しており、その撮影時期が3D X線撮影時期と離れていないことを確認してください。



3D X線撮影画像に対して向きが間違っ口腔内撮影画像を使用すると、間違っ診断および治療につながるおそれがあります。

1. 登録された口腔内撮影画像が3D X線撮影画像に対して正しく配置されているか確認してください。
2. 必要に応じて、口腔内撮影画像を回し、正しく配置させてください。



3D X線撮影画像と一致しない口腔内撮影画像を使用すると、間違っ診断および治療につながるおそれがあります。

口腔内撮影画像が3D X線撮影画像が正しく登録されていることを確認してください。



医療用製品として承認されていない口腔内撮影用デバイスは、間違っ診断と治療結果につながるおそれがあります。

医療用製品として承認されている口腔内撮影用デバイスのみを使用するようにしてください。



口腔内撮影画像の完全性または品質が十分でない場合、間違っ診断および治療につながるおそれがあります。

インポートされた口腔内撮影画像の完全性と品質を確認してください。



口腔内撮影画像や3D X線撮影画像の品質が不十分な場合は、口腔内撮影画像の登録のためのメカニズムが失敗する可能性があります。

必ず正しい登録が可能な口腔内撮影画像と3D X線撮影画像のみを使用してください。



口腔内撮影画像の品質および精度が十分でない場合、間違っ診断および治療につながるおそれがあります。

必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および精度の口腔内撮影画像を使用してください。



口腔内撮影画像の位置または向きが間違っていると、間違っ診断および治療につながるおそれがあります。

登録後に、3D X線撮影画像の歯に対して口腔内撮影画像の位置と向きが正しくなっていることを確認してください。

表示条件



注意

表示品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

SICATアプリケーションを使用する前に、表示品質が十分であるか確認してください（例えば、SMPTEテストビューで）。



注意

環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

データ管理



注意

患者名や3D X線撮影画像の突き合わせでミスがあると、結果として、患者を撮影した画像の取り違えを招くことになりかねません。

3D X線撮影ビューで、インポートしようとしているものや、すでにSICATのアプリケーションに読み込み済みのものがあれば、突き合わせる先の患者名が正しいこと、突き合わせる撮影画像に関する情報が正しいことをいずれもチェックしてください。



注意

オリジナルデータを削除すると、データを消失するおそれがあります。

インポートした後にオリジナルデータを削除しないでください。



注意

患者ファイリングのデータバックアップシステムが故障すると、患者データが完全に消失するおそれがあります。

定期的に全ての患者ファイリングのデータバックアップを取ってください。



注意

患者ファイルを削除すると、それに含まれる3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルも全て削除されます。

患者ファイルの削除は、それに含まれる3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルが全て再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。



削除した患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトは元に戻すことができません。

患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトの削除は、これらのデータが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。



3D X線撮影画像を削除すると、それに依存する計画プロジェクトも全て削除されます。

3D X線撮影画像の削除は、それに依存する全計画プロジェクトが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

オペレーターの資格



資格のない者が本ソフトウェアを使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

ソフトウェアの使用は、必ず専門の知識のある有資格者が行ってください。

安全性



情報システムにあるセキュリティの脆弱性は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

1. 情報処理のシステム環境において、セキュリティ上の脅威を発見し、それらを回避するために、組織内部で指針を定めて周知するよう、徹底してください。
2. 最新のウイルススキャナをインストールし、ウイルススキャンを実行してください。
3. ウィルススキャナの定義ファイルを定期的に更新してください。



ワークステーションへの不正なアクセスは、患者データの秘密情報およびインテグリティに関するリスクにつながるおそれがあります。

ワークステーションへのアクセスは資格のある人に限定してください。



注意

サイバーセキュリティの問題は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

お手元のSICATアプリケーションにおいて、サイバーセキュリティにかかわるトラブルの疑いがあるときは、直ちにテクニカルサポートまで、ご連絡ください。

ソフトウェアインストール



注意

ソフトウェアに改変を加えると、結果として、このソフトウェアが起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。

1. ソフトウェアのインストールに変更を加えないでください。
2. ソフトウェアのインストールディレクトリにあるコンポーネントを削除または変更しないでください。



注意

インストールメディアが損傷すると、インストールに失敗する可能性があります。

インストールメディアは慎重に取り扱い、適切に保管してください。



注意

お手元のシステムがシステム要件を満たしていない場合は、結果として、このソフトウェアが起動しなくなったり、または正常に機能しない可能性があります。

ソフトウェアをインストールする前に、ご使用のシステムが最小ソフトウェア/ハードウェア要件を満たしているか確認してください。



注意

不十分な承認は、ソフトウェアインストールまたはソフトウェアアップデートが失敗する原因になる場合があります。

ソフトウェアをインストールまたはアップデートする場合、使用するシステムに十分な承認があることを確認してください。



OSに改変を加えると、結果として、SICATアプリケーションが起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。

1. SICATアプリケーションを起動する前に、必ずお手元のコンピュータのオペレーションシステムが前回SICATアプリケーションを使用してからアップデートやセキュリティアップデートをインストールしたかを確認してください。
2. お手元のコンピュータのオペレーションシステムに更新プログラムまたは背級レティアアップデートがインストールされている場合、取扱説明書に記載されている必要手順でSICATアプリケーションのチェックを実行してください。
3. SICATアプリケーションの動作が取扱説明書に記載されている動作と異なる場合、ソフトウェアをそれ以上使用せず、直ちにSICATサポートまでお問い合わせください。

注文



注文に誤ったデータがあると、誤った注文となる可能性があります。

注文をするときには、注文のための正しいデータの選択と転送を確認してください。



注文を誤ると誤った治療の原因となるおそれがあります。

1. 注文を送信する前にご注文内容をご確認ください。
2. 注文の適切な治療計画を確認してください。

光学印象



3D X線撮影画像以外のデータを唯一の情報源として使用すると、結果として、診断や治療を誤ることになりかねません。

1. 診断や治療計画の立案にあたって利用する情報源としては、3D X線撮影画像を優先させてください。
2. 光学印象データなどの他のデータは、補助的な情報源としてのみ利用してください。



不適切な光学印象用機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず医療機器として承認されている機器の光学印象データを使用してください。



3D X線撮影画像の患者と日付が一致しない光学印象データを使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

患者データの患者と日付が、表示された3D X線撮影画像の患者および日付と一致していることを確認してください。



光学印象データのインテグリティまたは品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

インポートした光学印象データのインテグリティと品質を確認してください。



光学印象データの品質および正確性が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および正確性の光学印象データを利用してください。



過度なアーチファクト、不十分な解像度、または記録のための点の欠如は、光学印象の記録に失敗する原因になるおそれがあります。
例：3D X線撮影画像の過度なアーチファクトは、モーション/メタルアーチファクトです。

必ず正確な記録を可能にする光学印象と3D X線撮影画像のみを使用してください。



互いに一致しない光学印象の記録プロセスでマークを選択すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

光学印象データを記録する場合、3D X線撮影画像と光学印象に一致するマーキングで慎重に選択します。



間違って記録された光学印象データおよび3D X線撮影画像を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

記録された光学印象が3D X線撮影画像に対して正確に配置されているか確認してください。

ネットワーク



SICATアプリケーションデータを信頼できないネットワークファイルシステムに保存すると、データの損失につながるおそれがあります。

ネットワーク管理者と共に、SICATアプリケーションデータを希望のネットワークファイルシステムに保存できるようにしてください。



SICAT Suiteおよび付属のSICATアプリケーションを他の機器と一つのコンピューターネットワークまたはメモリーネットワーク内で供用すると、患者、ユーザー、その他の人に未知の危険が及ぶおそれがあります。

ネットワークに関連する危険を特定、分析、判断するため、各組織内で規則を作成してください。



ネットワーク環境を変更すると、新しい危険につながるおそれがあります。例えば、ネットワーク構成の変更、追加機器またはコンポーネントのネットワークへの接続、機器またはコンポーネントのネットワークからの分離、ネットワーク機器またはコンポーネントのアップデートまたはアップグレードなどです。

ネットワークを変更する度に、新たなネットワークリスク分析を実施してください。

歯式



歯の番号の割り当てが間違っていると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

選択された歯の番号と実際の歯の番号が一致していることを確認してください。

ドリル深さ



ドリル深さが間違っていると、間違った治療につながるおそれがあります。

計画されたドリル深さと、選択されたドリルが対応していることを確認してください。

計画オブジェクト



測定と計画オブジェクトの表示に3Dビューを使用すると、間違った診断と治療につながるおそれがあります。

3Dビューは方向合わせおよび追加の情報源としてのみ使用してください。

40 精度

次の表はすべてのSICATアプリケーションの精度を示しています。

距離測定の精度	< 100 μm
角度測定の精度	< 1度
表示精度	< 20 μm

用語集

ADA

American Dental Association (米国歯科医師会)

CPR

3D X線撮影画像からの2D画像再構成を行う Curved Planar Reformation (曲面多断面再構成) は、複雑な構造を簡略化して表示する際に使用されます。

EndoLine

EndoLineは、治療を行う根管のマーキング、そして根尖位置の特定に利用される多機能測定線です。

FDI

Fédération Dentaire Internationale (国際歯科連盟)

SICATポータル

SICATポータルは、SICATにプリントを注文することのできるインターネットページです。

SIXD

光学印象を交換するためのファイルフォーマット。

SMPTE

Society of Motion Picture and Television Engineers (映画テレビ技術者協会)

SSI

光学印象を交換するためのファイルフォーマット。

STL

Surface Tessellation Language、メッシュデータを交換するための標準ファイルフォーマット (例えば、光学印象を含む)。

アプリケーション

SICATの各種アプリケーションは、いずれも SICAT Suiteに付属するプログラムです。

スポットライト

口腔内撮影画像の登録における、円形の口腔内撮影画像の登録に口腔内撮影画像および3D投影のオーバーレイを検証するための円形に強調された画像の一部。

ドリル穴

ソフトウェアでビジュアルに表現され、編集することができる、EndoLineをの基礎として計画されたドリル経路。

ナビゲーションバー

SICAT Suiteの上部にあるナビゲーションバーには、SICAT Suiteの最も重要なアイコンが含まれます。患者ファイルがアクティブになっている場合、ナビゲーションバーを使用して患者ファイルと各種アプリケーション間で切り替えることができます。

フレーム

3Dビューでは、フレームに2Dレイヤービューの位置が表示されます。

記録

空間配置

光学印象

光学印象は、歯、印象材または石膏モデルの3D表面撮影の結果です。

口腔内撮影画像

口腔内撮影画像は、個々の歯の2D X線撮影画像で、口の外側にあるX線源の歯の背後にある歯科用フィルムによって撮影され、詳細の高い正確性がその特徴です。

十字線

十字線は別のレイヤービューとの交差線です。

通知ウィンドウ

通知ウィンドウとは、完了した手順に関するメッセージを、モニター画面の右下端に表示するものをいいます。

索引

アイコン

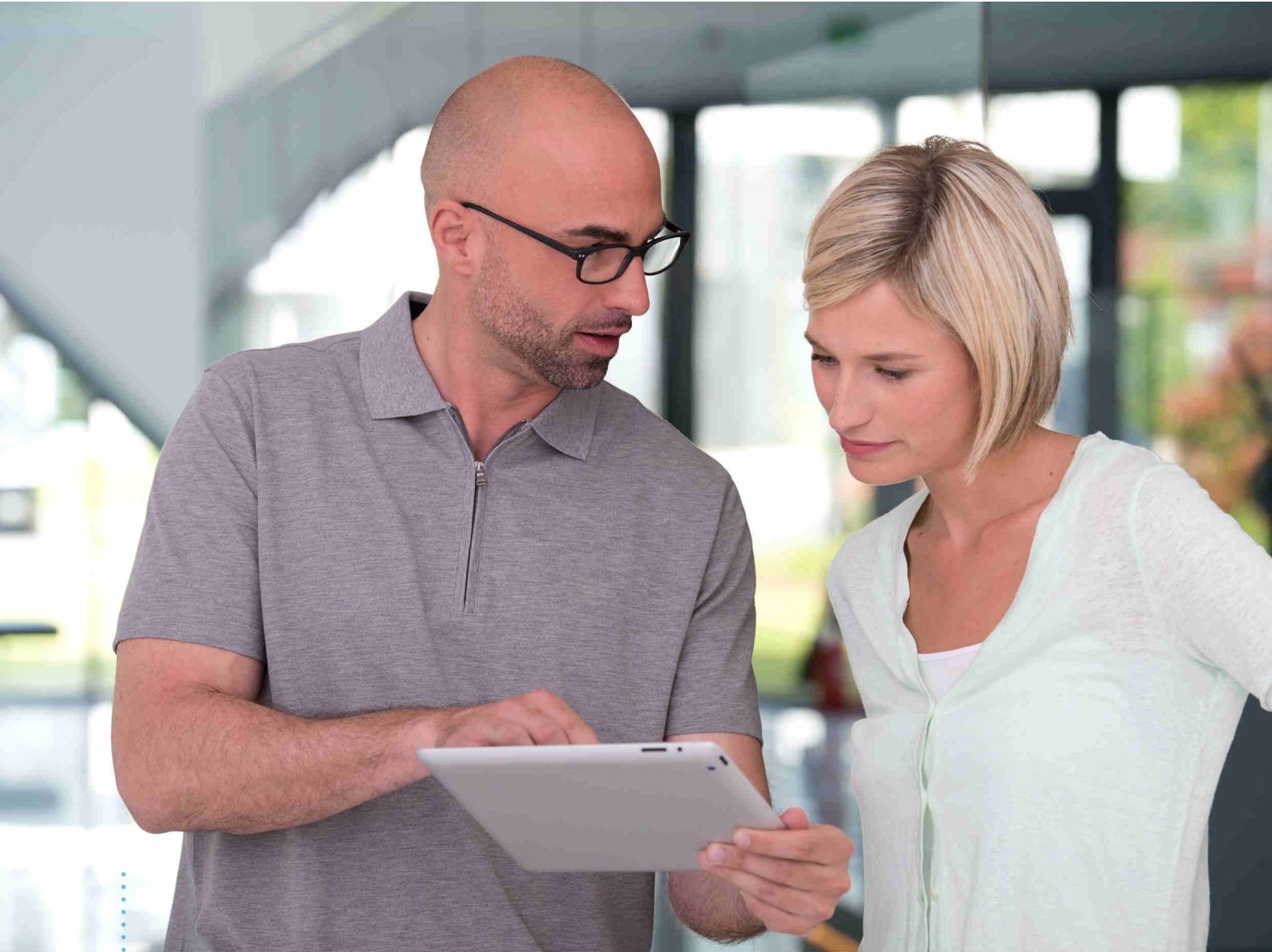
ビュー	74	描画ツールの設定	173
画像のツールバー	75	ドリル穴を計画する	158
トリミング部分を移動させる	82	ドリル穴	
EndoLineウィザード	137	ロックを解除する	158
EndoView	142	削除	158
十字線、フレーム	84	ロックする	158
輝度およびコントラスト	80	データを書き込み禁止で開く	210
最大化と復元	79	データエクスポート	178
スクリーンショットの作成	88	データのエクスポート	180
スクロール	83	「データの転送」ウィンドウを開く	179
切替	77	アンインストール	215
検査ウィンドウの非表示/表示	86	設定	197
検査ウィンドウの移動	85	一般的な設定内容を確認する、変更する	198
ズームング	82	Praxis情報を表示または変更する	202
リセットする	87	可視化設定の変更	203
アプリケーションを切り替える	40	EndoLine	
ワークスペース	67	編集する	148
調整する	72	色とテキストを調整する	151
口腔内撮影画像	70	確認箇所を追加する	152
パノラマ	69	確認箇所を削除する	152
スクリーンショットの作成	73	確認箇所を移動する	152
切り替える	71	EndoLineウィザード	136
リセットする	72	ビュー	137
ユーザーインターフェース		ドリル穴を計画する	158
SICAT Endo	52	ドリル穴	136
SICAT Suite	38	EndoLine	136
エリアをマスキングする	134	EndoLinesをセットする	148
このバージョンの特徴	27	EndoView	142
注文	182	歯を選択する	145
再起動後の自動アップロード	192	歯の領域をプリアラインメントする	146
ドリルテンプレートをショッピングカートに入 れる	183	EndoLinesをセットする	148
データを別のコンピュータから送信する	193	マウスボタンを使用する	148
バックグラウンドでのデータ送信	189	EndoView	142
アップロードの中断および続行	192	調整する	148
SICATポータル	190	回転	143
カートをチェックする	188	最初のステップ	31
用途	6	取扱説明書	
ハンドアウト用の画像やスクリーンショット		オンラインヘルプとして開く	41
円を描く	172	記号、スタイル	14
矢印を描く	171	概要	15
スクリーンショットの作成	174	ハンドアウト	
		作成する	177
		スクリーンショットの作成	174
		準備する	175

インポートする		光学印象	107
口腔内撮影画像	121	他のSICATアプリケーションから再使用する	117
適応症	6	インポートおよび登録	109
インストール	18	STLインポート	114
アンインストール	215	パノラマエリア	97
口腔内撮影画像を登録する	128	調整する	103
エリアをマスキングする	134	患者教化	170
プリアライメントを調整する	131	プラグインを登録、削除する	
口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う	126	SIDEXIS XG	34
口腔内撮影画像ワークスペース		登録ウィザード	125
一般的なお知らせ	70	エリアをマスキングする	134
口腔内撮影画像	119	口腔内撮影画像を登録する	128
インポートする	121	口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う	126
互換性のある口腔内撮影用センサー	120	閉じる	213
歯を割り当てる	121	スクリーンショット	
歯の番号	121	ハンドアウト用に作成する	174
口腔内撮影画像		ビューで作成する	88
登録する	128	ワークスペースを使って作成する	73
登録ウィザード	125	SICAT Endo	
プリポジショニング	126	ユーザーインターフェース	52
互換性のある口腔内撮影用センサー	120	SICAT Endoを閉じる	212
ライセンス	42	SICATポータル	190
表示する	44	SICAT Suite	
自動アクティベート	45	ユーザーインターフェース	38
ライセンスプールに返却する	49	閉じる	213
手動でアクティブ化する	47	開始する	36
バウチャーコードを使用する	51	SICAT WebConnector	191
測定		安全に関する情報	11
距離測定を追加する	165	危険レベル	12
測定点を移動する	168	オペレーターの資格	13
測定値を移動する	169	SIDEXIS XG	
概要	164	プラグインを登録、削除する	34
移動	168	SMPTEテストパターン	200
角度測定を追加する	166	言語	16
モニターキャリブレーション	200	STLインポート	114
オブジェクト		サポート	205
削除する	61	ヘルプを開く	41
焦点を合わせる	61	連絡先情報	207
オブジェクトおよびオブジェクトグループをア		サポートウィンドウを開く	206
クティブにする	59	製品情報	209
オブジェクトおよびオブジェクトグループの表		ツール	207
示/非表示	60	システム要件	8
オブジェクトグループの開閉	59	ショートカットキー	214
オブジェクトバー	57	SICAT Suiteの概要	16
オブジェクトツールバー	61	切替	
元に戻し、もう一度実行する	61	アプリケーション	40
SICAT Endoオブジェクト	63	検査ウィンドウ	68

バージョン	
相違点	27
ボリュームの配置	96
調整する	98
バウチャーコードを使用する	51
カート	
開く	187
ワークフローのツールバー	54
ワークフロー	31
歯を選択する	145
歯の領域をプリアラインメントする	146

数字

3Dビュー	89
切り抜きモードを切り替える	95
視線方向を変更する	90
表示モードを切り替える	92
構成設定を行う	93



SICAT ENDO バージョン1.4

取扱説明書 | 日本語 | Standalone

目次 - Standalone

1	意図された用途および適応症.....	7
2	バージョン履歴	8
3	システム要件	9
4	安全に関する情報.....	12
4.1	危険レベルの定義	13
4.2	オペレーターの資格	14
5	使用するアイコンおよび強調.....	15
6	取扱説明書の概要.....	16
7	SICAT Suiteの概要	17
8	SICAT Suiteのインストール	19
9	オペレーティングシステムのアップデートのためのテスト手順を実行します	25
10	SICAT Suiteの更新、修復.....	27
11	このバージョンの特徴.....	28
12	SICAT Endoの標準ワークフロー	31
13	SICAT Suite をスタートする	35
14	SICAT SuiteでのSICAT Endoスタディ	36
15	SICAT Suiteのユーザーインターフェース.....	39
15.1	「SICAT Suiteホーム」 ウィンドウの概要.....	41
16	SICATのアプリケーションを相互に切り替える	43
17	取扱説明書を開く	44
18	ライセンス.....	45
18.1	「ライセンス一覧」 ウィンドウを開く	47
18.2	インターネット接続を使用してライセンスを有効にする	48
18.3	ライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にする	50
18.4	ライセンスをライセンスプールへ返却する	52
18.5	バウチャーコードを使用する	54
19	患者ファイリング.....	55
19.1	「患者ファイリング」 ウィンドウを開く	58
19.2	患者ファイリングを追加する	59
19.3	別の患者ファイリングをアクティブにする	61
19.4	患者ファイリングを除去する	63

20 データインポート	64
20.1 対応しているDICOMフォーマット	67
20.2 インポートするデータを選択する	68
20.3 インポートオプションの選択	70
20.4 データインポートによる新しい患者ファイルの作成	71
20.5 既存の患者ファイルにデータを割り当てる	72
21 患者ファイル	75
21.1 「患者ファイル概要」ウインドウを開く	76
21.2 患者ファイリング内での患者ファイルの検索および並べ替え	77
21.3 患者ファイルをアクティブにする	79
21.4 アクティブな患者ファイルを使用した作業	80
21.5 患者ファイルの特性を変更する	82
21.6 患者ファイル概要から3D X線撮影画像または計画プロジェクトを開く	83
21.7 SICAT SuiteでのSICAT Endoスタディ	85
21.8 アクティブな患者ファイルを閉じ、それに含まれる計画プロジェクトを保存する	88
21.9 患者ファイリングからの患者ファイルの削除	89
21.10 患者ファイルからの3D X線撮影画像または計画プロジェクトの削除	91
22 SICAT Endoのユーザーインターフェース	93
22.1 ワークフローのツールバー	95
22.2 オブジェクトバー	98
22.3 オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理	100
22.4 オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理	102
22.5 SICAT Endoオブジェクト	104
23 ワークスペース	108
23.1 パノラマワークスペースの概要	109
23.2 口腔内撮影画像ワークスペースの概要	111
23.3 アクティブなワークスペースを切り替える	112
23.4 アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット	113
23.5 ワークスペースのスクリーンショットを作成する	114
24 ビュー	115
24.1 ビューの調整	116
24.2 アクティブなビューの切り替え	118
24.3 ビューの最大化および復元	120
24.4 2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット	121
24.5 ビューのズームおよび切り抜きの移動	123
24.6 レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール	124

24.7	十字線およびフレームの移動、非表示、表示.....	125
24.8	検査ウィンドウの移動、非表示、表示.....	126
24.9	ビューをリセットする.....	128
24.10	画像のスクリーンショットを作成する.....	129
25	3Dビューの調整.....	130
25.1	3Dビューの目線を変更する.....	131
25.2	3Dビューの表示タイプを切り替える.....	133
25.3	3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する.....	134
25.4	3Dビューの切り抜きモードの切り替え.....	136
26	グレースケール値.....	137
26.1	グレースケール値を調整する.....	139
27	ポリュームの配置およびパノラマエリア.....	141
27.1	ポリュームの配置を調整する.....	143
27.2	パノラマエリアを調整する.....	148
28	光学印象.....	152
28.1	光学印象をインポートし記録する.....	153
28.2	STLフォーマットの光学印象の場合の追加手順.....	159
28.3	他のSICATアプリケーションからの光学印象を再使用する.....	161
29	口腔内撮影画像.....	163
29.1	互換性のある口腔内撮影用センサー.....	165
29.2	口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます.....	166
30	登録ウィザード.....	170
30.1	口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う.....	171
30.2	口腔内撮影画像を登録する.....	173
30.3	横方向および軸方向のプリアライメントを調整する.....	176
30.4	エリアをマスキングする.....	179
31	EndoLineウィザード.....	181
31.1	EndoLineウィザードの中のビュー.....	182
31.1.1	EndoView.....	187
31.1.2	EndoViewを回転する.....	188
31.2	治療計画のための歯を選択する.....	190
31.3	歯の領域をプリアラインメントする.....	191
31.4	EndoLinesをセットする.....	193
31.5	色とテキストを調整する.....	196
31.6	確認箇所を追加、移動および削除する.....	197
31.7	3Dビューを回転する.....	200

31.8 光学印象を3Dビューで表示する.....	201
31.9 マウスボタンを使用する	202
31.10ドリル穴を計画する	203
32 距離/角度測定.....	209
32.1 距離測定を追加する	210
32.2 角度測定を追加する	211
32.3 測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する	213
33 患者教化	215
33.1 画像とスクリーンショットの作成.....	216
33.2 ハンドアウトの準備	220
33.3 ハンドアウトを生成する	222
34 データエクスポート	223
34.1 「データの転送」ウィンドウを開く	224
34.2 データのエクスポート.....	225
35 注文プロセス.....	227
35.1 ドリルテンプレートをショッピングカートに入れる	228
35.2 カートを開く	232
35.3 カートをチェックして、注文プロセスを完了する.....	233
35.4 インターネット接続を使用した注文の終了	234
35.5 SICATポータルでの注文手順.....	235
35.6 SICAT WebConnector	236
35.7 インターネット接続を使用しない注文の終了.....	238
36 設定	242
36.1 一般設定の使用.....	243
36.2 SMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーション	245
36.3 歯科医院情報の使用	247
36.4 可視化設定の変更	248
37 サポート	250
37.1 サポート態勢のページを開く	251
37.2 連絡先情報およびサポートツール.....	252
37.3 インフォメーション	254
38 データを書き込み禁止で開く	255
39 SICAT Endoを閉じる	257
40 SICAT Suiteを閉じる	258

41 ショートカットキー	259
42 SICAT Suiteのアンインストール.....	260
43 安全に関する注意事項.....	263
44 精度	271
用語集.....	272
索引	274
記号の説明.....	277

1 意図された用途および適応症

SICAT Endo 口腔・顎顔面領域の画像情報をビジュアル化するためのソフトウェアです。画像情報は、医療スキャナ(CT/DVTスキャナなど)によるものです。また、SICAT Endoは、治療の選択肢と歯内治療のためのアクセスルートの計画、評価および比較において歯科医をサポートします。歯科医によって作成された計画データは、SICAT Endoからエクスポートして、治療の実施において使用することができます。

適応症

SICAT Endo 次の目的のためのソフトウェアです。

- 口腔・顎顔面領域診断のサポート
- さまざまな治療の選択肢を比較する際のサポート
- 歯内治療計画におけるサポート
- 歯内穿孔テンプレートを用いた治療計画におけるサポート

2 バージョン履歴

VERSION 1.4

- 初版発行

3 システム要件



注意

お手元のシステムがシステム要件を満たしていない場合は、結果として、このソフトウェアが起動しなくなったり、または正常に機能しない可能性があります。

ソフトウェアをインストールする前に、ご使用のシステムが最小ソフトウェア/ハードウェア要件を満たしているか確認してください。

プロセッサ	クワッドコア：2.3 GHz
メインメモリ	8 GB
グラフィックカード	専用* DirectX 11以上 ビデオメモリ：2 GB 現行のドライバで、ウィンドウズ・ディスプレイ・ドライバ・メモリWDDM1.0以降のバージョンを使用できること。
ディスプレイ	画面解像度：画素密度が100%～125%のとき、1920×1080ドット以上** 画面解像度：画素密度が100%～200%のとき、3840×2160ドット以下**
ハードディスクの空き容量	20 GB、その他、データセット用の補助メモリ容量が必要
記憶媒体	インストールファイルが保存された外部記憶媒体へのアクセス
入力装置	キーボード、マウス
ネットワーク	Ethernetで、100 Mbpsまたは1000 Mbpsを推奨
患者教化用プリンター	300 dpi以上 紙形式はDIN A4またはUSレターサイズ
オペレーティングシステム	Windows 7 SP1 (64ビット版)、更新ファイルKB2670838を適用済みであること Windows 8 (64ビット版、デスクトップ) Windows 8.1 (64ビット版、デスクトップ) Windows 10 (64ビット版、デスクトップ)

ウェブブラウザ	Microsoft Internet Explorer 11以降のバージョン Mozilla Firefox 39以降のバージョン Google Chrome 44以降のバージョン JavaScriptが有効になっていること。 標準のブラウザに設定しておいてください。
PDFビューア	例えば、Adobe Reader DC以降のバージョン
SICAT Suiteをプラグインとして、SIDEKIS XGにインストール	バージョン2.6.1 (64ビット版)
SICAT Suiteをモジュールとして、SIDEKIS 4にインストール	バージョン4.2 SiPlanAPI V4
SICAT Suiteをプラグインとして、SIDEKIS 4にインストール	バージョン4.1.2 (64ビット版)



*SICAT Suiteでご使用いただけるグラフィックカードは、パフォーマンスレベルがNVIDIA GeForce 960 GTXと同等か、または、それを上回る専用のものに限りです。統合グラフィックカードには対応していません。

**画面を低解像度にして画素密度を大きくすると、それが原因で、ユーザーインターフェースのある一部で、ソフトウェアの表示が不完全になることがあります。

ディスプレイは、SMPTEテスト画像が正確に表示されるように調整する必要があります。この調整に関する内容は、*SMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーション* [▶ ページ 245 - Standalone]をご覧ください。

前提ソフトウェア

SICAT Suiteは、以下のソフトウェア・コンポーネントを必要としますが、これらコンポーネントが未インストールのときは、SICAT Suiteがインストールを行います。

- Microsoft .NET Framework 4.5
- CodeMeterライセンス管理ソフト6.30d
- SQL Server Compact Edition 4.0
- SICAT WebConnector

SICAT WebConnectorはSICATサーバーとの通信用に特定のポートを必要とします。このポートはファイアウォール内でも有効にされている必要があります。

プロトコル	接続方向	ポート
HTTP	送信	80
HTTPS	送信	443
FTPS管理	送信	21
FTPSデータ転送	送信	49152~65534



SICAT WebConnectorがなくても注文を実行することができます。これに関する情報は注文プロセス [▶ ページ 227 - Standalone]を参照してください。

4 安全に関する情報

安全関連の章節を以下に挙げますが、お読みいただくことが大切です。

- 危険レベルの定義 [▶ ページ 13 - Standalone]
- オペレーターの資格 [▶ ページ 14 - Standalone]
- 安全に関する注意事項 [▶ ページ 263 - Standalone]

4.1 危険レベルの定義

この取扱説明書では、オペレータ要員の皆様や患者様が負傷しないようにすること、および、物的損害を予防することの両者を目的として、安全にかかわる識別表示として以下のものを使用しています。



注意

この表示は、回避しなかった場合に、比較的、軽度の負傷を招く原因になりうる、危険な状況であることを示します。

注記

重要であるが、安全に関連していると思われ見なされない情報を示しています。

4.2 オペレーターの資格



注意

資格のない者が本ソフトウェアを使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

ソフトウェアの使用は、必ず専門の知識のある有資格者が行ってください。

このソフトウェアを使用する要員の皆様は、スキルを有する熟練者の方か、または、正規の教育訓練を修了された方のいずれかに限定してください。

教育またはトレーニングを終了する、または本ソフトウェアを一般的なトレーニングの枠内で使用する場合、必ず有資格者が常時監視している状態で使用してください。

本ソフトウェアを使用するための前提条件：

- 本取扱説明書を読んでいること。
- ソフトウェアの基本構造および機能に習熟していること。
- ソフトウェアの故障を認識し、必要に応じて、適切な手順を実行することができること。

5 使用するアイコンおよび強調

アイコン

この取扱説明書では、以下の記号を使用しています。



この注意アイコンは、例えば代替手順のような追加情報を示しています。

強調

SICAT Suiteに表示される要素のテキストおよび記号は、**太字**で強調されています。これに含まれるユーザーインターフェースのオブジェクト：

- 範囲の記号
- ボタンの記号
- アイコンの記号
- 画面に表示される注意およびメッセージのテキスト

取扱説明

取扱説明は番号付きリストで記載されています。

☑ 前提条件にはこのアイコンが付けられています。

1. 手順には番号が付けられています。
 - ▶ 中間結果はこのアイコンが付けられ、挿入されています。
2. 中間結果の後、それ以降の手順が続きます。
 - ▶ 最終条件にはこのアイコンが付けられています。
 - 一つの手順のみで構成される指示にはこのアイコンが付けられています。

6 取扱説明書の概要

SICAT Endo は、他の各種アプリケーションとともに、SICAT Suiteの一部を構成します。

SICAT Suiteは、SICATの各種アプリケーションを実行させる環境を提供します。したがって、各種アプリケーションのインストールは、SICAT Suiteにより行います。これに関する情報は*SICAT Suite*のインストール [▶ ページ 19 - *Standalone*]を参照してください。

現在、SICAT Suiteとしてお使いいただけるバージョンは、3種類あります。バージョンによって、操作手順の異なるものがいくらかあります。そのため、この取扱説明書では、バージョンごとに以下のように独立させています。

- SIDEXIS 4のモジュールを追加
- SIDEXIS XGのプラグイン
- スタンドアロン版

SICAT Suiteをインストールするときは、いずれか1バージョンを選択する操作は不要です。

各種アプリケーションのアンインストールも同様に、SICAT Suiteにより行います。これに関する情報は*SICAT Suite*のアンインストール [▶ ページ 260 - *Standalone*]を参照してください。

7 SICAT SUITEの概要

SICAT Suiteは、以下のコンポーネントより構成されています。

- SICAT Function - SICAT Functionの用途については、SICAT Functionの取扱説明書をご参照ください。
- SICAT Air - SICAT Airの用途については、SICAT Airの取扱説明書をご参照ください。
- SICAT Endo - SICAT Endoの用途については、SICAT Endoの取扱説明書をご参照ください。

言語

SICAT Suiteのユーザーインターフェースは以下の言語に対応しています。

- 英語
- ドイツ語
- フランス語
- 日本語
- スペイン語
- イタリア語
- オランダ語
- ポルトガル語
- ロシア語

ライセンス認証

SICATアプリケーションまたは各機能を有効にするには以下の手順が必要となります。

- その場で販売担当者にご連絡ください。
- バウチャーコードを受け取ることができます。
- SICATポータルでバウチャーコードからライセンスキーが生成されます (SICATホームページからアクセス可能)。
- SICATがお客様のアクティベーションキーにライセンスキーを追加します。
- アクティベーションキーでSICATアプリケーションまたはSICAT Suiteをインストールしたコンピュータ上の各機能を有効化します。

フルバージョンおよびビューアモード

SICAT Suiteは2種類のモードでスタートすることができます。

- 最低一つのSICATアプリケーションのビューアライセンスが有効な場合、SICAT Suiteがビューアモードで起動します。
- 少なくとも一つのSICATアプリケーションのフルバージョンライセンスを有効にしている場合、SICAT Suiteはフルバージョンで起動します。

原則として以下のルールを適用しています。

- 有効なフルバージョンライセンスのあるアプリケーションはフルバージョンでスタートします。
- 有効なビューアライセンスのあるアプリケーションはビューアモードでスタートします。
- 有効なライセンスのないアプリケーションはスタートしません。
- SICAT Suiteをインストールするときに、一つのモードに決定する必要はありません。

8 SICAT SUITEのインストール



ソフトウェアに改変を加えると、結果として、このソフトウェアが起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。

1. ソフトウェアのインストールに変更を加えないでください。
2. ソフトウェアのインストールディレクトリにあるコンポーネントを削除または変更しないでください。



インストールメディアが損傷すると、インストールに失敗する可能性があります。

インストールメディアは慎重に取り扱い、適切に保管してください。



お手元のシステムがシステム要件を満たしていない場合は、結果として、このソフトウェアが起動しなくなったり、または正常に機能しない可能性があります。

ソフトウェアをインストールする前に、ご使用のシステムが最小ソフトウェア/ハードウェア要件を満たしているか確認してください。



不十分な承認は、ソフトウェアインストールまたはソフトウェアアップデートが失敗する原因になる場合があります。

ソフトウェアをインストールまたはアップデートする場合、使用するシステムに十分な承認があることを確認してください。



お手元のコンピュータでは、Windowsの **オートスタート** 機能がオフに設定されていることがあります。この場合、光媒体をWindowsファイルエクスプローラーで開き、ファイル名にSICAT Suiteのバージョンが含まれる **SICATSuiteSetup.exe** ファイルを手動でスタートすることができます。

SICAT Suiteをインストールするには、次のように行います。

- ☑ お手元のコンピュータでは、システムの要件が満たされているようにしておいてください。これに関する情報は**システム要件** [▶ ページ9 - Standalone]を参照してください。

1. SICAT Suiteインストールメディアをコンピューターの光学ドライブに挿入します。

▶ オートスタートのウィンドウが開きます。



2. オートスタートのウィンドウで、**SICATSuiteSetup.exe** を実行するのオプションを選択します。このとき、ファイル名には、SICAT Suiteのバージョン番号が含まれています。

▶ ソフトウェアがコンピューター上で使用できない場合、前提ソフトウェアをインストールします。

- ▶ SICAT Suiteのインストールプログラムが起動し、はじめにのウィンドウが開きます。



3. SICAT Suiteのインストールプログラムで使用する言語は、お好みのものを、はじめにのウィンドウの右上隅から選択したら、次へをクリックします。

- ▶ 使用許諾契約書のウィンドウが開きます。



4. エンドユーザー使用許諾契約書をもれなく通読し、**使用許諾契約書に同意します。** のチェックボックスにチェックマークを入れたら、**次へ**をクリックします。

- ▶ オプションのウィンドウが開きます。



5. SICAT Suiteのインストールプログラムにより、SICAT Suiteをインストールする先のフォルダが、ハードディスク上にありますが、このフォルダを変更するときは、**検索する**のボタンをクリックします。

- ▶ **フォルダを選択する**のウィンドウが開きます。

6. SICAT Suiteインストールプログラムに「SICAT Suite」ディレクトリを作成させたいフォルダを参照し、**OK**をクリックしてください。

- ▶ フォルダを選択すると、SICAT Suiteのインストールプログラムが、そのフォルダへのパスを **ソフトウェアをどこにインストールしますか?** のボックス内に貼り付けます。

7. お手元のコンピュータにSIDEXIS XGか、または、SIDEXIS 4がインストールしてある場合、**SIDEXIS 搭載の SICAT Suite を使用したい**のチェックボックスは、入力が可能です。SICAT Suiteの登録は、インストール中でも可能ですが、後ほど、SIDEXIS XGのプラグインか、または、SIDEXIS 4のモジュールとして、マニュアル操作によっても結構です。

- ▶ **SIDEXIS 搭載の SICAT Suite を使用したい**のチェックボックスにチェックマークを入れた場合、**デスクトップにショートカットを作成します**のチェックボックスは、グレースアウト表示で入力できません。

8. 入力可能な場合は、**デスクトップにショートカットを作成します**のチェックボックスにチェックマークを入れるか外すかのいずれかを行います。

9. **インストールする**のボタンをクリックします。

- ▶ **進捗状況** のウィンドウが開きます。



- ▶ SICAT Suiteと残りの前提ソフトウェアをインストールします。
- ▶ インストールが完了すると、**確認** のウィンドウが開きます。



10. **終了する**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteインストールプログラムが閉じます。

9 オペレーティングシステムのアップデートの ためのテスト手順を実行します



注意

OSに改変を加えると、結果として、SICATアプリケーションが起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。

1. SICATアプリケーションを起動する前に、必ずお手元のコンピュータのオペレーションシステムが前回SICATアプリケーションを使用してからアップデートやセキュリティアップデートをインストールしたかを確認してください。
2. お手元のコンピュータのオペレーションシステムに更新プログラムまたは背級レティアアップデートがインストールされている場合、取扱説明書に記載されている必要手順でSICATアプリケーションのチェックを実行してください。
3. SICATアプリケーションの動作が取扱説明書に記載されている動作と異なる場合、ソフトウェアをそれ以上使用せず、直ちにSICATサポートまでお問い合わせください。

お使いのコンピュータのオペレーションシステムに更新プログラムがインストールされている場合、SICAT Endoが正常に動作しているか確認します。以下の点検手順を実行してください。点検中に異常を発見した場合は影響を受けるコンピュータ上のSICAT Endoの使用を中止し、SICATサポートまでお問い合わせください。

準備

1. 意図しない変更が行われていないことを確認するために、患者「Patient Axx」を削除してください。
2. ファイル「SICASuite_ReferenceDataset_1.4.zip」から基準データセットをインポートしてください。データセットはSICATスイートのインストールメディアにあります。
3. 基準データセット「Patient Axx」をSICAT Endoで開いてください。

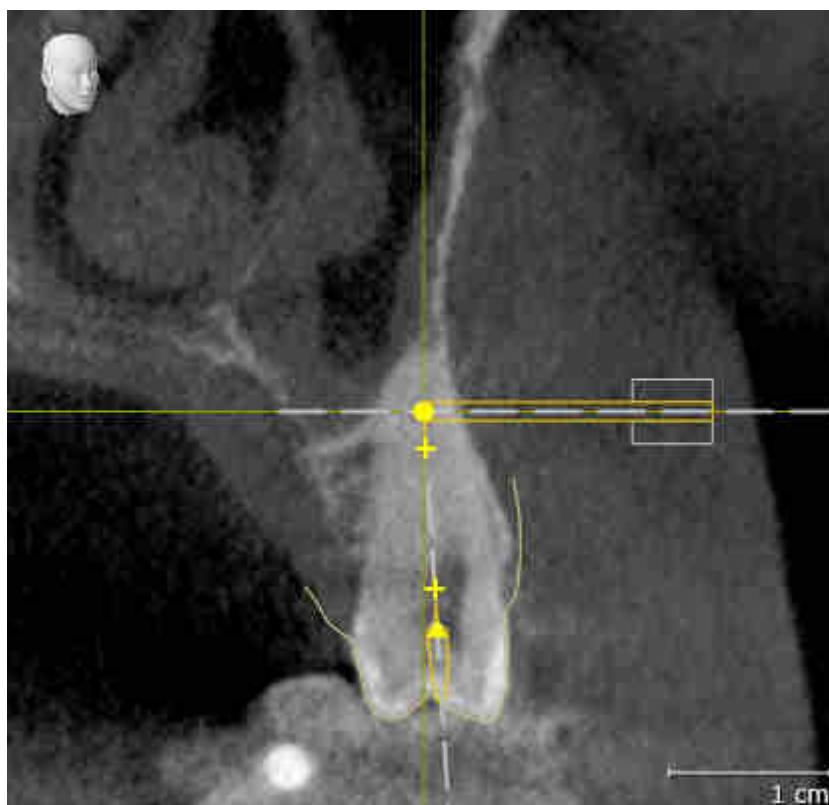
ENDOLINE

1. FDI-歯型図が有効になっていることを確認してください。これに関する情報は、[一般設定の使用 \[▶ ページ 243 - Standalone\]](#)をご参照ください。
2. パノラマ-作業領域が有効になっていることを確認してください。
3. ビューを標準値に戻してください。
4. オブジェクトブラウザにおいて、グループ「歯 45」を開いてください。
5. オブジェクトブラウザで、エレメント「15.24mm歯45番」を選択し、それに焦点を合わせてください。

6. 縦ビューを次のスクリーンショットと比較してください。



7. オブジェクトブラウザにおいて、グループ「歯 25」を開いてください。
8. オブジェクトブラウザで、エレメント「13.63 mm歯25番」を選択し、それに焦点を合わせてください。
9. 横断ビューを次のスクリーンショットと比較してください。



10 SICAT SUITEの更新、修復

SICAT SUITEの更新

SICAT Suiteを更新するときは、SICAT Suiteのインストールプログラムを起動して、**更新する**のボタンをクリックしてください。更新にあたって、インストールプログラムは、最初にSICAT Suiteの旧バージョンをアンインストールします。データと設定内容は、いずれももれなく保持されます。



SICAT Suiteのスタンドアロン版では、バージョンの更新にあたって、患者カルテフォルダの更新が必要です。新規バージョンの初回起動時や、更新前の患者ファイリングを開いた場合、SICAT Suiteでは、患者カルテフォルダの更新を希望するかどうかを尋ねてきます。尋ねるメッセージを確認したら、SICAT Suiteは、患者ファイルの更新を自動で行います。**注意！更新後の患者ファイルは、SICAT Suiteの旧バージョンで使用することができなくなります。**



SIDEXIS XGをSIDEXIS 4.1.3以降のバージョンに更新し、その後、SICAT Suiteを更新すると、SICAT Suiteのインストールプログラムは、SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして登録します。3D X線撮影画像を開くと、SICAT Suiteでは、その3D X線撮影画像に関する3D治療計画スタディがSIDEXIS XG内に存在するかどうかをチェックし、存在すれば、そのスタディをSIDEXIS XGからSIDEXIS 4へ適用します。

SICAT SUITEの修復

SICAT Suiteを修復するときは、SICAT Suiteのインストールプログラムを起動して、**修理する**のボタンをクリックしてください。データと設定内容は、いずれももれなく保持されます。

SICAT Suiteでは、更新と修復の両方で、SICAT Suiteのインストールプログラムを使用します。これに関する情報はSICAT Suiteのインストール [▶ ページ 19 - Standalone]を参照してください。

11 このバージョンの特徴

SICAT Endo単独、または他のソフトウェアにリンクされた形で使用するによって、特定の領域に違いがあります。

患者データ、立体画像のデータ

SICAT Suiteのスタンドアロンバージョンには、ポリウムデータおよび患者の固有の中央管理が含まれます。SICAT Suiteのスタンドアロンバージョンの患者ファイルのコンセプトは、標準的な患者ファイルに例えることができます。

- 患者ファイルは、書類整理庫に例えることのできる患者ファイリングに保存されます。
- 患者ファイルをアクティブにすることは、患者ファイルを書類保管庫から取り出してテーブルに置くことに例えることができます。
- 患者ファイルからの患者データをSICATアプリケーションで開くことは、患者ファイルから書類を取り出すことに例えることができます。
- 3D X線撮影画像を患者ファイルに追加することは、標準的な患者ファイルの2D X線撮影画像を追加することに例えることができます。
- 3D X線撮影画像は、複数のプロジェクトの基礎となり得ます。プロジェクトは患者ファイルの一部でもあります。
- 付属のプロジェクトを含む3D X線撮影画像はスタディと呼ばれます。

患者ファイルフォルダーの管理に関する内容は、[患者ファイリング](#) [▶ ページ 55 - *Standalone*]の節をご覧ください。患者ファイルの管理に関する内容は、[患者ファイル](#) [▶ ページ 75 - *Standalone*]の節をご覧ください。



患者データに加えて、SICATの各種アプリケーションのユーザー設定内容についても、バックアップ保存を行っておくのがよいでしょう。ユーザー設定内容は、各ユーザー別に2つのディレクトリに分割して保存されています。これら2つのディレクトリを開くときは、Windowsのエクスプローラで、アドレスバーに `%appdata%\SICAT GmbH & Co. KG` と `%localappdata%\SICAT GmbH & Co. KG` を入力してください。

設定

スタンドアロン版では、SICAT Suite自体が設定内容のすべてを管理します。これに関する情報は[設定](#) [▶ ページ 242 - *Standalone*]を参照してください。

ライセンス

スタンドアロン版と、別のソフトウェアに結合した、SICAT Suiteのバージョンは、いずれも共通のライセンスで使用できます。SICAT Suiteをインストールするときに、一つのバージョンに決定する必要はありません。

スタディの書込権限のあるものとなないものを開く

SICAT Endoの3D治療計画スタディに対して変更を行い、その変更内容を保存するときは、以下の各条件を満たしておいてください。

- SICAT Endoのフルバージョンライセンスのアクティベーションを完了しておく必要があります。
- 患者ファイリングを開いておくこと。

ライセンスのアクティベーションが完了していなければ、SICAT Endoの3D治療計画スタディでは、変更と変更内容の保存がいずれもできません。SICAT Endoビューアライセンスがすでに有効にされている場合、3D X線撮影とSICAT Endoスタディを閲覧することができます。

以下の表には、SICATアプリケーション用ライセンスのアクティベーションを完了し、かつ、開いている患者ファイルフォルダーがあるときに、利用できる機能が示されます。

機能	アプリケーションのフルバージョンライセンスのアクティベーションを完了し、かつ、患者ファイルフォルダーが開いています	アプリケーションのビューアライセンスのアクティベーションを完了していますが、患者ファイルフォルダーが開いていません	アプリケーションでライセンスのアクティベーションが未完了で、患者ファイルフォルダーが開いていません
サポート領域	有	有	有
一般設定	有	有	有
データエクスポート	有	無	無
患者ファイリングの管理	有	無	無
患者ファイルの管理	有	無	無
データインポート	有	無	無
ヘルプ	有	有	有

以下の表には、SICAT Endoについてライセンスのアクティベーションを完了し、開いている患者ファイルフォルダーがあるときに、利用できる機能を示します。

機能	SICAT ENDO-フルバージョン・ライセンスのアクティベーションを完了し、かつ、患者ファイルフォルダーが開いている	SICAT ENDO-ビューア・ライセンスのアクティベーションを完了し、かつ、患者ファイルフォルダーが開いている	SICAT ENDOアプリケーションでライセンスのアクティベーションが未完了であるが、患者ファイルフォルダーが開いてある
SICAT Endoのスタディに変更を加える	有	無	無
データをビューアモードで開く	無	有	無

アプリケーションのライセンスに対して、アクティベーションが完了していても、条件によっては、SICAT Endoのスタディで変更を行ったり、変更内容を保存したりが、いずれもできない場合があります。その原因として、例えば注文プロセス実行中の場合が考えられます。

スタンドアロンバージョンでは、ライセンスステータスは **SICAT Suite**ホームウインドウで使用できる機能にも影響します。これに関する情報は「*SICAT Suite*ホーム」ウインドウの概要 [▶ ページ 41 - Standalone]を参照してください。

詳細な情報は、**データを書き込み禁止で開く** [▶ ページ 255 - Standalone]をご参照ください。

12 SICAT ENDOの標準ワークフロー



注意

SICAT Suiteおよび付属のSICATアプリケーションを他の機器と一つのコンピューターネットワークまたはメモリーネットワーク内で併用すると、患者、ユーザー、その他の人に未知の危険が及ぶおそれがあります。

ネットワークに関連する危険を特定、分析、判断するため、各組織内で規則を作成してください。



注意

SICATアプリケーションデータを信頼できないネットワークファイルシステムに保存すると、データの損失につながるおそれがあります。

ネットワーク管理者と共に、SICATアプリケーションデータを希望のネットワークファイルシステムに保存できるようにしてください。



注意

ネットワーク環境を変更すると、新しい危険につながるおそれがあります。例えば、ネットワーク構成の変更、追加機器またはコンポーネントのネットワークへの接続、機器またはコンポーネントのネットワークからの分離、ネットワーク機器またはコンポーネントのアップデートまたはアップグレードなどです。

ネットワークを変更する度に、新たなネットワークリスク分析を実施してください。



SICAT Suiteを使った作業を始める前に、本取扱説明書および、特にすべての安全上の注意事項をよくお読みください。後で情報を調べる時のため、本取扱説明書は手元に置いてください。

インストール

SICAT Suiteをインストールする手順は、*SICAT Suite*のインストール [▶ ページ 19 - Standalone] をご参照ください。

フルバージョンで使用可能にする

1. SICAT Endoのライセンスが取得済みのときは、ライセンスのアクティベーションを行って、フルバージョンで使用できるようにします。これに関する情報は *ライセンス* [▶ ページ 45 - Standalone] を参照してください。
2. データを保存できるため、少なくとも一つの患者ファイリングを登録し、これをアクティブにします。これに関する情報は *患者ファイリング* [▶ ページ 55 - Standalone] を参照してください。



SICAT Endoのライセンスを取得していない場合は、3D X線撮影画像をビューアーモードで個別に開いてください。ビューアーモードに関する内容は、[データを書き込み禁止で開く \[▶ ページ 255 - Standalone\]](#)の節をご覧ください。



SICAT Suiteが作動しているコンピューターが一つのネットワーク環境にあり、ネットワーク構成がこれを可能にする場合、患者ファイリングおよび含まれている患者ファイルをネットワークファイルシステムに保存することができます。通常、ネットワークファイルシステムはそのためNFSプロトコルまたはSMBプロトコルに対応している必要があります。この表示に関する内容は、[患者ファイリング \[▶ ページ 55 - Standalone\]](#)の節をご覧ください。

開始

SICAT Suiteの起動手順は、[SICAT Suite をスタートする \[▶ ページ 35 - Standalone\]](#)の節をご覧ください。

設定

各種設定について、お好みの内容に変更するときは、**設定**のコーナーから行ってください。これに関する情報は、[設定 \[▶ ページ 242 - Standalone\]](#)をご参照ください。

データセット

SICAT Endo 3つの異なるファイルタイプを組み合わせます。

- 3D X線撮影画像。例として、Sirona GALILEOSによるものがあります。
- 例えば、Sirona XIOS XGによる口腔内撮影画像
- デジタル光学印象。例として、Sirona CERECによるものがあります。

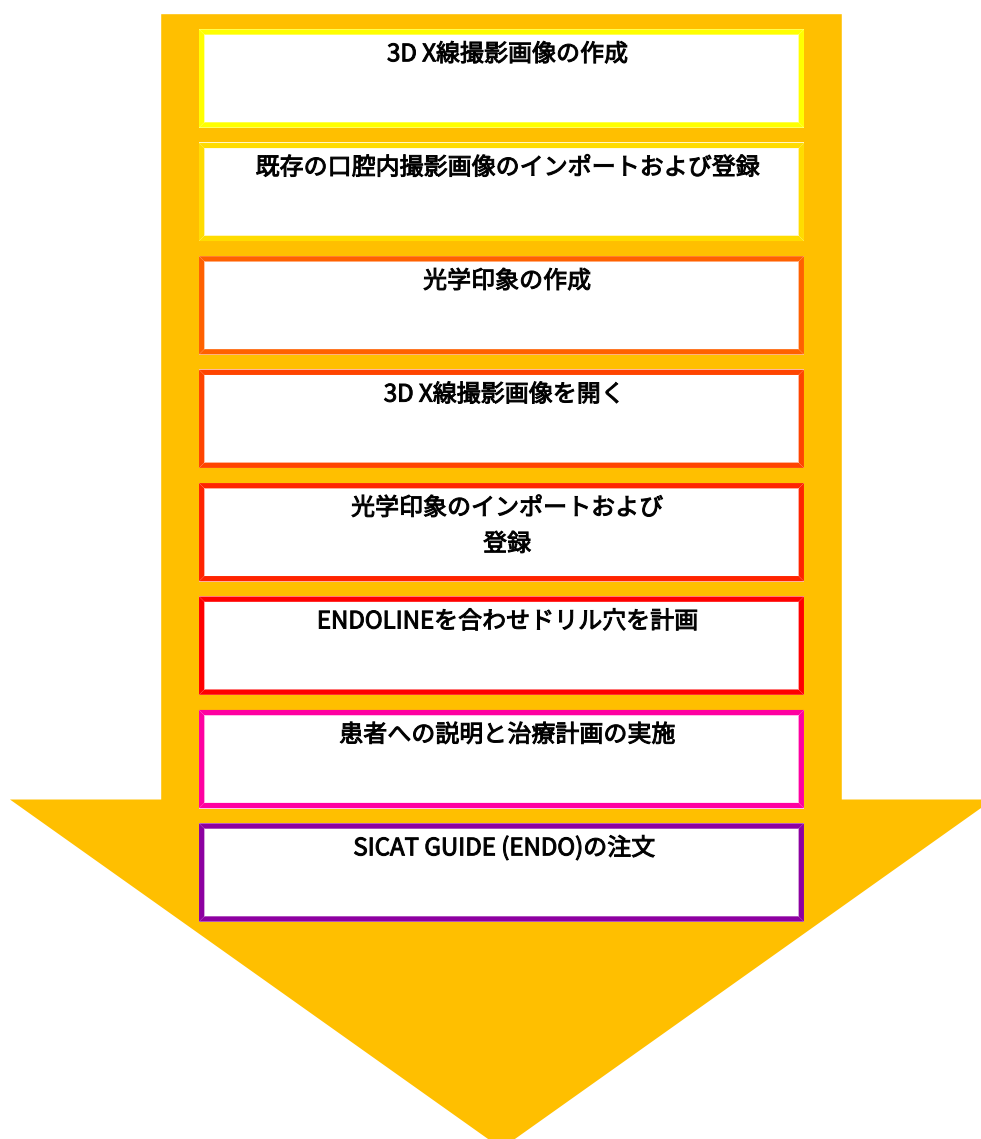
データセットを収集する

1. 必要に応じて、患者の口腔内撮影画像を作成してください。この手順に関する内容は、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
2. 患者の3D X線撮影画像を作成してください。この手順に関する内容は、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
3. 上顎骨または下顎骨のデジタル光学印象を作成します。この手順に関する内容は、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

データセットを開く

1. 3D X線撮影画像を患者ファイリングにインポートします。これに関する情報はデータインポート [▶ ページ 64 - Standalone]を参照してください。
2. 患者ファイルを検索し、インポートしたデータを管理する手順は、患者ファイル [▶ ページ 75 - Standalone]の節に記載の手順に従ってください。
3. 患者ファイルのデータで作業するには、SICAT Endoで、患者ファイルを開きます。これに関する情報は患者ファイル概要から3D X線撮影画像または計画プロジェクトを開く [▶ ページ 83 - Standalone]を参照してください。

歯内治療における典型的なデジタルワークフロー



作業手順 SICAT ENDO

1. 必要に応じて、ボリュームの配置とパノラマエリアを調整してください。これに関する情報は、[ボリュームの配置およびパノラマエリア](#) [▶ ページ 141 - Standalone]をご参照ください。
2. SICAT Endoで、既存の口腔内撮影画像をインポートして登録してください。これに関する情報は、[口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます](#) [▶ ページ 166 - Standalone]および[口腔内撮影画像を登録する](#) [▶ ページ 173 - Standalone]をご参照ください。
3. 3D X線撮影画像のデータとともに、光学印象をインポートして記録します。これに関する情報は、[光学印象をインポートし記録する](#) [▶ ページ 153 - Standalone]をご参照ください。
4. EndoLinesを合わせ、ドリル穴を計画します。これに関する情報は、[歯の領域をプリアライメントする](#) [▶ ページ 191 - Standalone]、[EndoLinesをセットする](#) [▶ ページ 193 - Standalone]および[ドリル穴を計画する](#) [▶ ページ 203 - Standalone]をご参照ください。
5. Endo計画オブジェクトを口腔内撮影画像ワークスペースで評価してください。これに関する情報は、[口腔内撮影画像ワークスペースの概要](#) [▶ ページ 111 - Standalone]をご参照ください。
6. 患者教化を実行し、それに基づいて患者のハンドアウトを作成してください。これに関する情報は、[患者教化](#) [▶ ページ 215 - Standalone]をご参照ください。
7. SICAT GUIDE (ENDO) 穿孔テンプレートをご注文ください。これに関する情報は、[注文プロセス](#) [▶ ページ 227 - Standalone]をご参照ください。
8. 例えば、セカンドオピニオンを求める場合、データをエクスポートします。これに関する情報は、[データエクスポート](#) [▶ ページ 223 - Standalone]をご参照ください。

データセットを使用する作業を終了する、中断する

- 作業を終了または中断する時は、アクティブな患者ファイルを閉じて、これを保存してください。これに関する情報は[SICAT Suiteを閉じる](#) [▶ ページ 258 - Standalone]を参照してください。

取扱説明書、サポート

取扱説明書は、[SICAT Suite ヘルプ](#)のウィンドウからご覧ください。これに関する情報は、[取扱説明書を開く](#) [▶ ページ 44 - Standalone]をご参照ください。

それ以降のサポートは、[サポート](#)のページをご覧ください。これに関する情報は、[サポート](#) [▶ ページ 250 - Standalone]をご参照ください。

13 SICAT SUITE をスタートする

SICAT Endoを開始するには、まずSICAT Suiteを起動する必要があります。

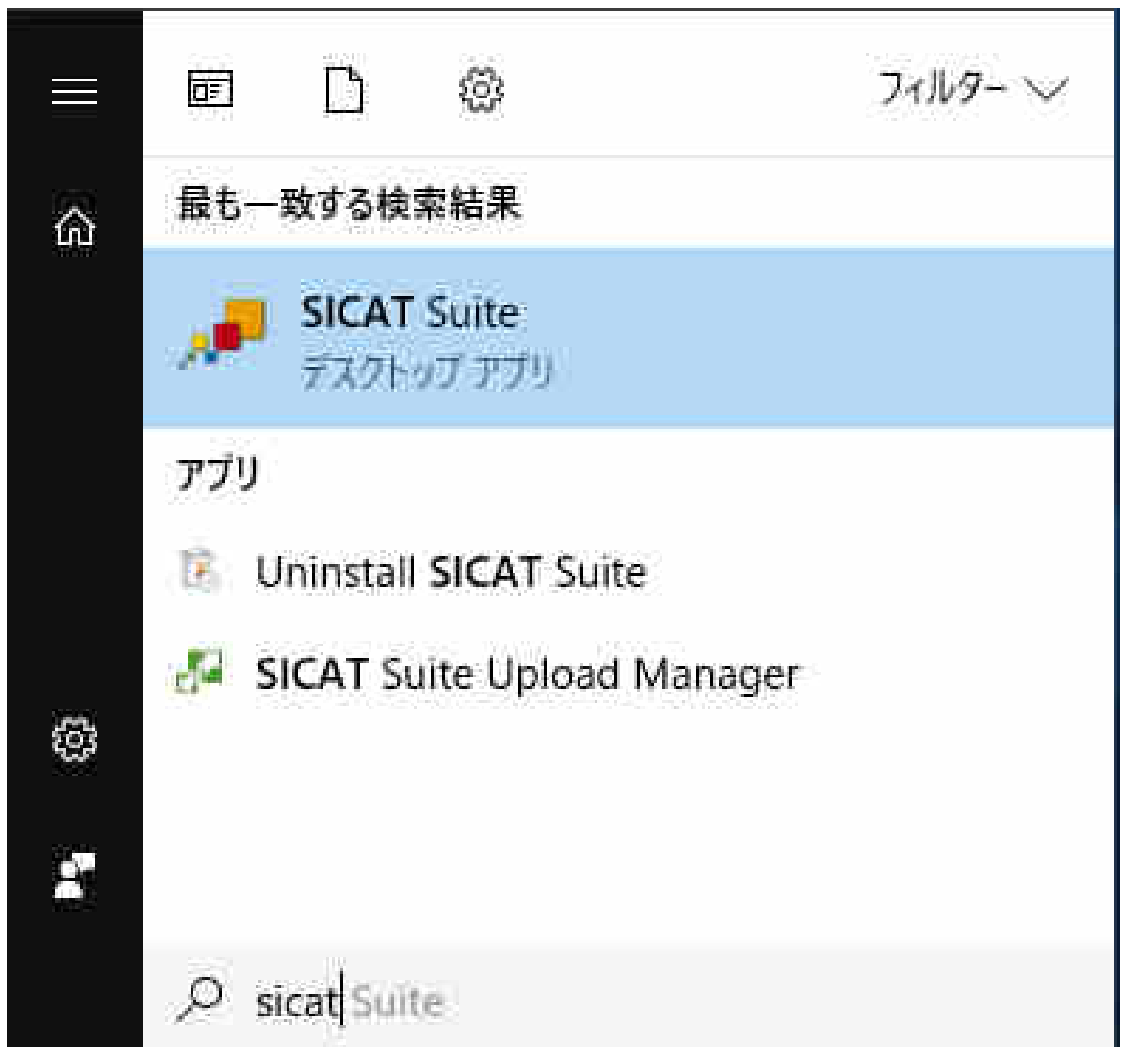
SICAT Suiteを起動するには、次の手順で行います。

- ☑ SICAT Suiteを正常にインストールします。これに関する情報はSICAT Suiteのインストール [▶ ページ 19 - Standalone]を参照してください。



- インストール時にデスクトップアイコンを作成した場合、WindowsのデスクトップにあるアイコンSICAT Suiteをクリックします。
- ▶ SICAT Suiteがスタートし、SICAT Suiteホームウィンドウが開きます。これに関する情報は「SICAT Suiteホーム」ウィンドウの概要 [▶ ページ 41 - Standalone]を参照してください。

Windowsボタンを押し、SICAT Suite と入力して、SICAT SuiteアイコンをクリックすることによってSICAT Suiteをスタートすることもできます。



14 SICAT SUITEでのSICAT ENDOスタディ



注意

DICOMに適合していないX線機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、DICOM規格に適合することが証明されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。



注意

不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。

3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。



注意

不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。



注意

表示品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

SICATアプリケーションを使用する前に、表示品質が十分であるか確認してください（例えば、SMPTEテストビューで）。



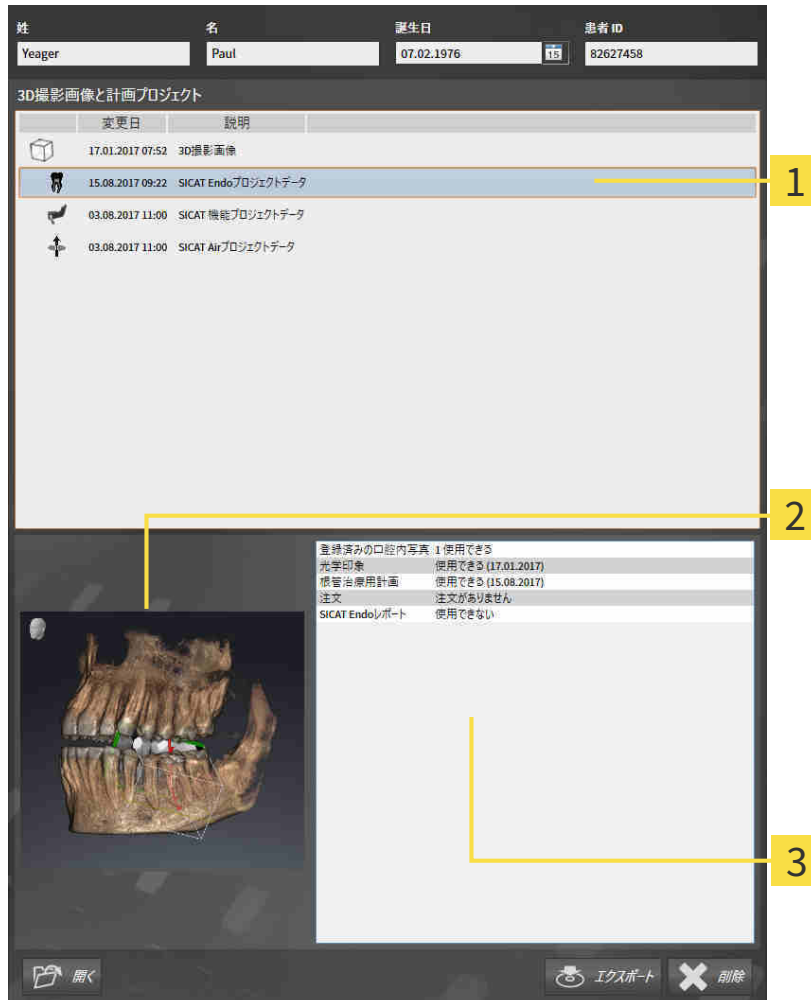
注意

環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

以下の条件が満たされた場合、**患者ファイルの概要**は、SICAT Endoスタディの情報を表示します。

- SICAT Suiteをスタンドアロンバージョンとして使用します。
- 3D撮影図と計画プロジェクトのエリアからSICAT Endoスタディを選択しました。

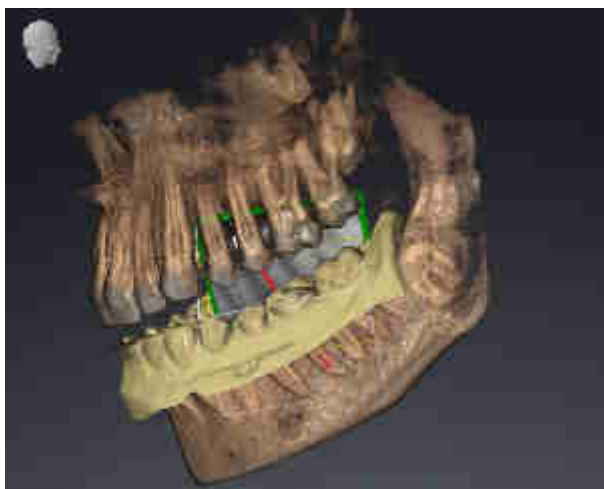


1 選択されたSICAT Endoスタディ

2 エリア 概要

3 エリア 詳細

概要のエリアは3Dビューを表示します。



詳細エリアに次の情報が表示されます：

- 利用可能な登録済み口腔内撮影画像
- 利用可能な光学印象
- 利用可能な根管治療計画
- 利用可能なステータスと日付を含む注文
- 利用可能なレポート

15 SICAT SUITEのユーザーインターフェース

SICAT Suiteのユーザーインターフェースは、以下のアイテムから構成されています。



1 ナビゲーションバー

2 アプリケーション領域

- SICAT Suite 上端のナビゲーションバーは、各種ウインドウとアプリケーション間で切り替えるためのタブが表示されます。
- **アプリケーション領域**は、SICAT Suiteの上記以外の部分にあって、SICATのアプリケーションのうち、開いているもののユーザーインターフェースを表示します。

ナビゲーションバーは3つのエリアで構成されています。左側のエリアと右側のエリアは常に表示されています。SICAT Suiteでは、一つの患者ファイルがアクティブになっている場合のみ、そのエリアが中央に表示されます。

左側のエリアには次のタブがあります。



- **SICAT Suiteホーム** - これに関する情報は「SICAT Suiteホーム」ウインドウの概要 [▶ ページ 41 - Standalone]を参照してください。



- **患者ファイル** - これに関する情報は患者ファイル [▶ ページ 75 - Standalone]を参照してください。



- **新規データを追加する** - これに関する情報はデータインポート [▶ ページ 64 - Standalone]を参照してください。



- **データを共有する** - これに関する情報はデータエクスポート [▶ ページ 223 - Standalone]を参照してください。

中央のエリアには次のタブがあります。



- **有効な患者ファイル** - これに関する情報はアクティブな患者ファイルを使用した作業 [▶ ページ 80 - Standalone]を参照してください。

- **アプリケーション** - これに関する情報はSICATのアプリケーションを相互に切り替える [▶ ページ 43 - Standalone]を参照してください。



右側のエリアには次のタブがあります。



- **カート** - これに関する情報は注文プロセス [▶ ページ 227 - Standalone]を参照してください。



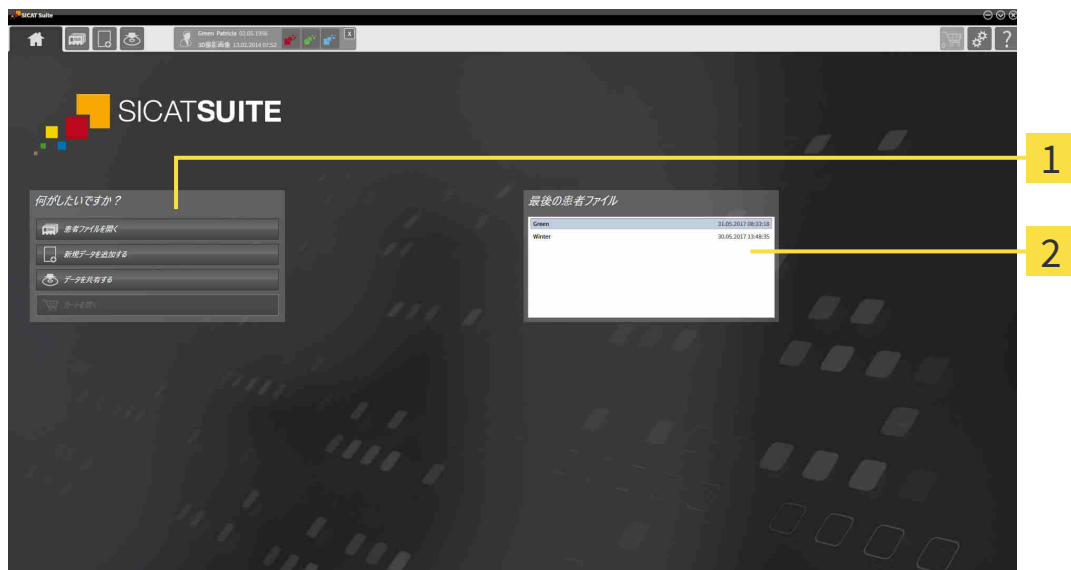
- **設定** - これに関する情報は設定 [▶ ページ 242 - Standalone]を参照してください。



- **サポート** - これに関する情報はサポート [▶ ページ 250 - Standalone]を参照してください。

15.1 「SICAT SUITEホーム」 ウィンドウの概要

SICAT Suiteのスタンドアロンバージョンをスタートすると、SICAT Suiteホームウィンドウが表示されます。



1 エリア 何がしたいですか？

2 エリア 最後の患者ファイル



SICAT Suiteホームアイコンをクリックすると、いつでもこのウィンドウに戻ることができます。SICAT Suiteホームウィンドウの内容は、以下のパラメーターによって異なります。

- アクティベーションの状態とライセンスの種類
- 患者ファイルフォルダの状態

アクティベート済みのライセンスがない場合、SICAT Suiteホームメッセージとボタンだけのライセンスを有効にするウィンドウが表示されます。

最低一つのSICATアプリケーションのビューアライセンスが有効で、SICATアプリケーションのフルバージョンライセンスがない場合はSICAT Suiteがビューアモードで起動します。このモードでは、患者ファイリングへの接続、患者ファイリングの作成ができず、患者データをインポート、編集、保存する機能が使用できません。そのため、SICAT Suiteホームボタンと新規データを見るボタンしかライセンスを有効にするウィンドウに表示されません。

フルバージョンライセンスはアクティブになっているが、SICAT Suiteで患者ファイリングが作成され、アクティブになっていない場合、患者ファイリングを作成することはできますが、患者データをインポート、編集、保存する機能は使用できません。そのため、SICAT Suiteホームボタンと新規データを見るボタンしか患者ファイリングを設定するウィンドウに表示されません。

フルバージョンライセンスがアクティブで、SICAT Suiteで患者ファイリングが作成され、アクティブになっている場合、**SICAT Suiteホーム** ウィンドウの**何がしたいですか？**エリアに次のボタンが表示されます。



- **開く** - これに関する情報は**患者ファイル** [[▶ ページ 75 - Standalone](#)]を参照してください。



- **新規データを追加する** - これに関する情報は**データインポート** [[▶ ページ 64 - Standalone](#)]を参照してください。



- **データを共有する** - これに関する情報は**データエクスポート** [[▶ ページ 223 - Standalone](#)]を参照してください。



- **カート** - これに関する情報は**注文プロセス** [[▶ ページ 227 - Standalone](#)]を参照してください。

- さらに、**最後の患者ファイル**エリアに、直近に開いた患者ファイルのリストが表示されます。これらの患者ファイルは、ダブルクリックすると開くことができます。



患者情報を匿名で表示するがアクティブになっている場合、**SICAT Suiteホーム**ウィンドウに**最後の患者ファイル**エリアが表示されます。

16 SICATのアプリケーションを相互に切り替える

SICATアプリケーションを相互に切り替えるには、次のように行います。



- ナビゲーションバーから、SICATのアプリケーションで、切替をご希望のものが表示されている方のボタンをクリックしてください。
- ▶ SICAT Suiteは、選択したアプリケーションに切り替わります。

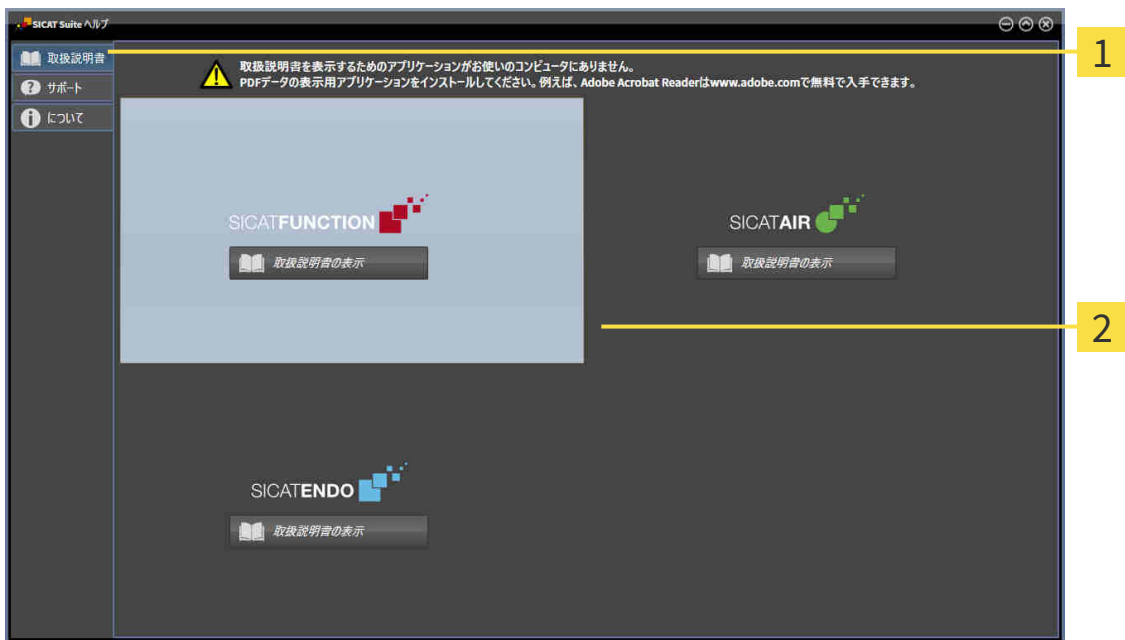
17 取扱説明書を開く

サポートウィンドウを経由することで、SICATアプリケーションの取扱説明書をPDFファイル形式で参照可能です。



サポートウィンドウは、ナビゲーションバーのサポートアイコンをクリックする、またはF1 ボタンをクリックすることによって開くことができます。

サポートウィンドウは、以下に示す外観です。



1 タブ 取扱説明書

2 ウィンドウ 取扱説明書

希望するヘルプは、**取扱説明書を表示するボタン**をクリックして開くことができます。

18 ライセンス

SICAT Suiteはライセンスがアクティベート済みのSICATアプリケーションのみ表示します。



SICAT Suiteで機能 **新規データを追加する** または **新規データを見る** が有効なライセンスに基づき使用できる場合、以前エクスポートしたデータセットを有効なSICAT Endoライセンスなしで表示することができます。

以下の種類のライセンスがあります。

- ビューアライセンスがあればアプリケーションをビューアモードで無期限使用することができます。
- デモライセンスでは一つまたは複数のSICATアプリケーションのフルバージョンに期間限定でアクセスすることができます。
- フルバージョンライセンスでは一つまたは複数のSICATアプリケーションのフルバージョンに無期限でアクセスすることができます。

SICATアプリケーションまたは各機能を有効にするには以下の手順が必要となります。

- その場で販売担当者にご連絡ください。
- バウチャーコードを受け取ることができます。
- SICATポータルでバウチャーコードからライセンスキーが生成されます (SICATホームページからアクセス可能)。
- SICATがお客様のアクティベーションキーにライセンスキーを追加します。
- アクティベーションキーでSICATアプリケーションまたはSICAT Suiteをインストールしたコンピュータ上の各機能を有効化します。

以下はライセンスの有効化および無効化に適用されます。

- お客様が受け取るSICATアプリケーションのライセンスキーはお使いの国で許可されているものだけです。
- コンピューター上でアクティベーションキーを有効化すると、含まれているSICATアプリケーションの各ライセンスまたは機能がコンピューターに結合されます。使用したライセンスは、もう別のコンピューターでのアクティベーションに使用することはできません。
- ライセンスは、各SICATアプリケーションまたは各機能用に無効化することができます。ライセンスを返却すると、そのライセンスをあらためてアクティベーションできるコンピュータは、同一または別の違いを問いません。
- SICATアプリケーションのフルバージョンライセンスを返却した場合、お使いの国で許可されている限り、自動的にビューアライセンスを受け取ります。
- フルバージョンライセンスを有効化すると、自動的にお使いの国で許可されている全てのアプリケーション用のビューアライセンスを受け取ります。

バウチャーコードをアクティベーションキーと交換する方法は**バウチャーコードを使用する** [▶ ページ 54 - Standalone]をご覧ください。

お手元のコンピューターでアクティベーションが完了しているライセンスについては、**ライセンスの概要**のウィンドウで概要をご覧ください。デモライセンス使用時はSICAT Suiteは有効期限を表示します。これに関する情報は「**ライセンス一覧**」ウィンドウを開く [▶ ページ 47 - *Standalone*]を参照してください。

ライセンスは次の二通りの方法で有効にすることができます。

- SICAT Suiteが作動しているコンピューターがインターネットに接続されている場合、ライセンスのアクティベーションは自動で行うことができます。これに関する情報はインターネット接続を使用してライセンスを有効にする [▶ ページ 48 - *Standalone*]を参照してください。
- 希望に応じて、またはSICAT Suiteが作動しているコンピューターがインターネットに接続されていない場合、ライセンス要求ファイルを使用することにより、ライセンスのアクティベーションを手動で行うことができます。ライセンス要求ファイルをSICATのインターネットページにアップロードする必要があります。これで、ライセンスアクティベーションファイルを取得でき、これをSICAT Suiteで有効にしてください。これに関する情報はライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にする [▶ ページ 50 - *Standalone*]を参照してください。

各アプリケーションまたは機能のライセンスを個別に無効にすることができます。ライセンスを無効にした後、同じ、または別のアクティベーションキーを入力することができます。返却されたライセンスは、同一または別のコンピューターでのアクティベーションに使用することができます。これに関する情報はライセンスをライセンスプールへ返却する [▶ ページ 52 - *Standalone*]を参照してください。

18.1 「ライセンス一覧」 ウィンドウを開く



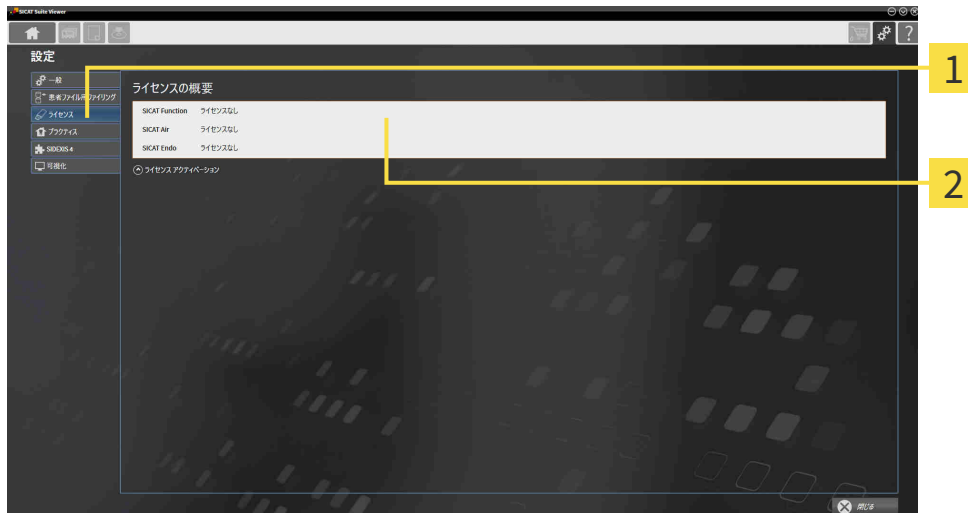
1. ナビゲーションバーで、**設定**のアイコンをクリックします。

▶ **設定**のウィンドウが開きます。



2. **ライセンス**タブをクリックします。

▶ **ライセンスの概要**のウィンドウが開きます。



1 タブ **ライセンス**

2 ウィンドウ **ライセンスの概要**

以下の操作を続行します：

- インターネット接続を使用してライセンスを有効にする [▶ ページ 48 - Standalone]
- ライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にする [▶ ページ 50 - Standalone]
- ライセンスをライセンスプールへ返却する [▶ ページ 52 - Standalone]

18.2 インターネット接続を使用してライセンスを有効にする

注記

患者ファイルが閉じている必要があります

ライセンスで変更を加えるときは、開いている患者ファイルを事前に閉じてください。

注記

カートが空になっている必要があります

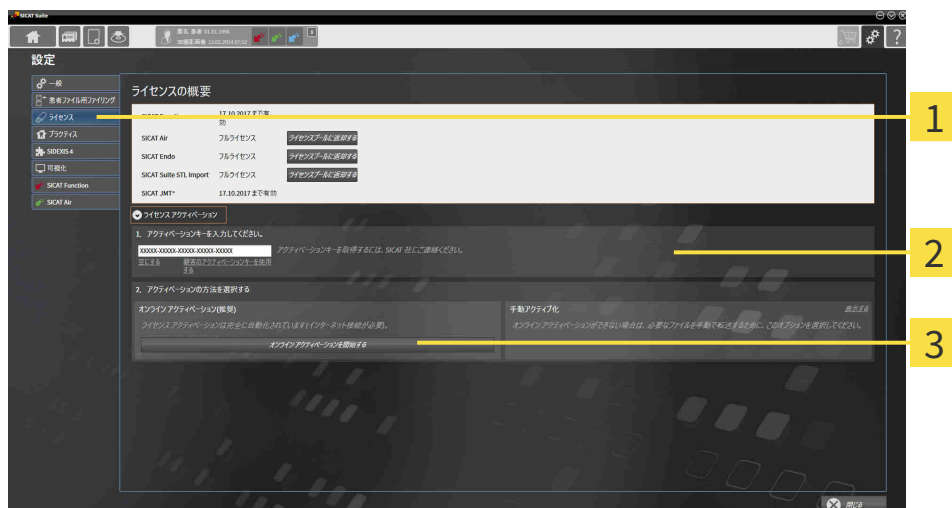
ライセンスの変更を可能にする前にカートを空にしておく必要があります。

アクティベーションの手順を開始するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 少なくとも一つのSICATアプリケーションまたは個々の機能に有効なライセンスが欠けています。
- ☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。
- ☑ **ライセンスの概要**ウィンドウはすでに開いています：これに関する情報は「**ライセンス一覧**」ウィンドウを開く [▶ ページ 47 - Standalone]を参照してください。

1. **ライセンスの概要**のウィンドウで、**ライセンス アクティベーション**のボタンをクリックします。

▶ **ライセンスの概要**エリアが開きます：



- 1 ボタン **ライセンス アクティベーション**
- 2 エリア
- 3 ボタン **オンライン アクティベーションを開始する**

2. 欄にアクティベーションキーを入力します。
3. **オンライン アクティベーションを開始する**のボタンをクリックします。

4. **Windows ファイヤーウォールのウィンドウが開いたら、SICAT Suiteをインターネットへ接続します。**
- ▶ 取得されてインストールされているアプリケーションまたは個々の機能のためのライセンスは、ライセンスプールから取り除かれ、使用中のコンピューター上のSICAT Suiteで有効になります。
- ▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます。**ライセンスは正常に有効化されました。**



SICATアプリケーションのライセンスのアクティベーションをあらためて行うときは、エリアにあるボタン**顧客のアクティベーションキーを使用する**をクリックすると、アクティベーションキーが使用できるようになります。現時点のライセンスキーが入力されているボックスを空欄にするときは、ボタン**空にする**をクリックしてください。

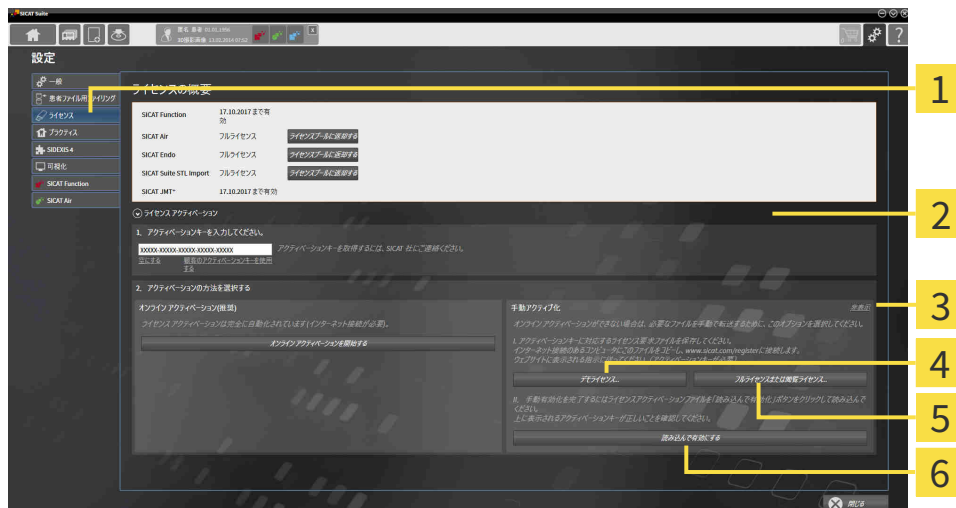
18.3 ライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にする

注記 患者ファイルが閉じている必要があります
ライセンスで変更を加えるときは、開いている患者ファイルを事前に閉じてください。

注記 カートが空になっている必要があります
ライセンスの変更を可能にする前にカートを空にしておく必要があります。

ライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にするには、次のように行います。

- ☑ 少なくとも一つのSICATアプリケーションまたは個々の機能に有効なライセンスが欠けています。
 - ☑ **ライセンスの概要**ウィンドウはすでに開いています：これに関する情報は「**ライセンス一覧**」ウィンドウを開く [▶ ページ 47 - Standalone]を参照してください。
1. **ライセンスの概要**ウィンドウの**ライセンス アクティベーション**をクリックします。
▶ **ライセンス アクティベーション**のコーナーがドロップダウンで展開します。
 2. **手動アクティブ化エリア**の**表示する**をクリックします。
▶ **手動アクティブ化エリア**が開きます：



- 1** ライセンス アクティベーション
- 2** エリア
- 3** 表示する
- 4** ボタン デモライセンス
- 5** ボタン フルライセンスまたは閲覧ライセンス
- 6** ボタン 読み込んで有効にする

3. フルライセンスのアクティベーションをご希望のときは、**フルライセンスまたは閲覧ライセンス**のボタンをクリックします。
4. デモライセンスのアクティベーションをご希望のときは、**デモライセンス**のボタンをクリックします。
 - ▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。
5. ライセンス要求用のファイルを保存する目的で、お好みのフォルダを選択したら、**OK**をクリックします。
 - ▶ ファイル拡張子を**WibuCmRaC**として、ライセンス要求用のファイルが作成され、選択しておいたフォルダに保存されます。
6. USBスティックなどの補助ツールを使用して、インターネットに接続しているコンピュータにライセンス要求ファイルをコピーします。
7. インターネットに接続されたコンピュータ上でウェブブラウザを開き、インターネットページ<http://www.sicat.com/register>を開きます。
8. インターネットのアクティベーションページに表示される指示に従ってください。
 - ▶ インストールしたアプリケーションや個別の機能のために取得してあるライセンスが、お持ちのライセンスプールからピックアップされます。
 - ▶ SICATのライセンスサーバーは、ファイル拡張子を**WibuCmRaU**として、ライセンスのアクティベーション用ファイルを作成しますので、このファイルをお手元のコンピュータへダウンロードしてください。
9. ダウンロードしたライセンスアクティベーションファイルをSICAT Suiteが作動しているコンピュータにコピーします。
10. アクティベーションキーが正確に入力されていることをチェックします。
11. **ライセンスの概要**のウィンドウで、**読み込んで有効にする**のボタンをクリックします。
 - ▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。
12. ライセンスのアクティベーション用ファイルを探して見つかったら、そのファイルをハイライト表示にして、**OK**をクリックします。
 - ▶ ライセンスアクティベーションファイルのライセンスは、SICAT Suiteでは現在のコンピュータにインストールされます。
 - ▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます。**ライセンスは正常に有効化されました。**

18.4 ライセンスをライセンスプールへ返却する

注記

患者ファイルが閉じている必要があります

ライセンスで変更を加えるときは、開いている患者ファイルを事前に閉じてください。

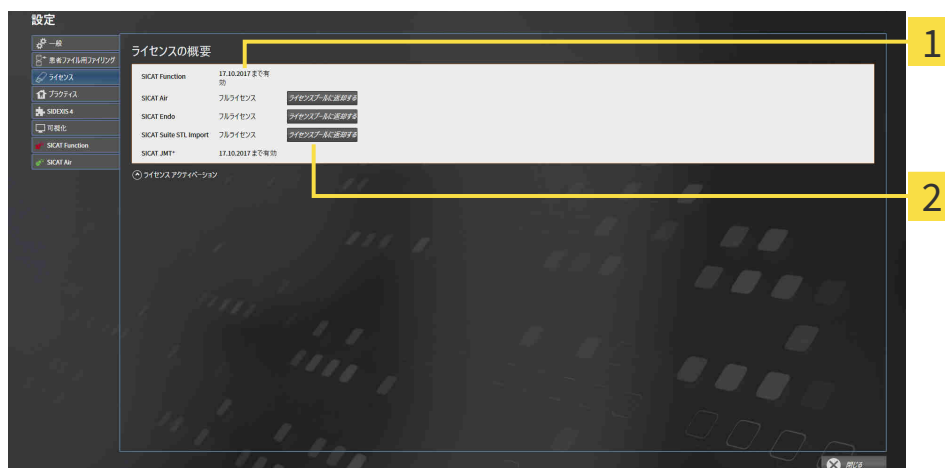
注記

カートが空になっている必要があります

ライセンスの変更を可能にする前にカートを空にしておく必要があります。

フルライセンスのアクティベーションを解除して、そのライセンスをライセンスプールに返却するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ SICATアプリケーションのフルライセンスはすでに有効になっています。
- ☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。
- ☑ **ライセンスの概要** ウィンドウはすでに開いています：これに関する情報は「**ライセンス一覧**」ウィンドウを開く [▶ ページ 47 - Standalone] を参照してください。



1 SICATアプリケーションおよび個々の機能のライセンスステータス

2 ボタン ライセンスプールに返却する

- **ライセンスの概要**のウィンドウから、SICATのアプリケーションで返却をご希望のものか、または、個別の機能の列にある**ライセンスプールに返却する**のボタンをクリックします。
- ▶ 選択したライセンスはライセンスプールに返却され、再びアクティベーションのために使用できる状態になります。
- ▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます。**ライセンスは正常にライセンスプールに返却されました。**
- ▶ ライセンスがない場合、アプリケーションはビューアモードでしか使用できません。全てのSICATアプリケーションのライセンスがライセンスプールに返却されると、SICAT Suiteは完全にビューアモードになります。



インターネット接続のないコンピュータでライセンスを無効化したい場合はSICATサポートまでお問い合わせください。

18.5 バウチャーコードを使用する

1. インターネットに接続されたコンピューター上でウェブブラウザを開き、インターネットページ<http://www.sicat.com>を開きます。
2. SICATポータルへのリンクをクリックします。
 - ▶ SICATポータルが開きます。
3. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。
4. アカウントマネジャーに、ご自分のライセンスを管理するためのアイテムがありますので、それをクリックします。
5. ご自分のバウチャーコードを入力し、コードを確認します。
 - ▶ SICATポータルがライセンスキーを生成し、ライセンスキーをお客様のアクティベーションキーに追加します。
6. SICAT Suiteを起動して、ライセンスのアクティベーションを行います。

これに関する情報はインターネット接続を使用してライセンスを有効にする [▶ ページ 48 - Standalone] と ライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にする [▶ ページ 50 - Standalone] を参照してください。



詳細なヘルプは、SICATのポータルページにFAQ（よくあるご質問）がありますので、そちらをご覧ください。

19 患者ファイリング

ヒューズ



注意

患者ファイリングのデータバックアップシステムが故障すると、患者データが完全に消失するおそれがあります。

定期的に全ての患者ファイリングのデータバックアップを取ってください。

患者ファイルフォルダーにある患者データにつきましては、ご自分自身の責任でバックアップファイルを作成してください。患者ファイルフォルダーの保存場所は、患者ファイル用ファイリングの各種設定で確認できます。患者ファイルフォルダーを患者ファイル用ファイリングのリストから削除してあるときは、適切なデータ保存媒体にその患者ファイルフォルダーが保存してあっても、SICAT Suiteでは、該当する患者ファイルフォルダーを表示しません。



患者データに加えて、SICATの各種アプリケーションのユーザー設定内容についても、バックアップ保存を行っておくのがよいでしょう。ユーザー設定内容は、各ユーザー別に2つのディレクトリに分割して保存されています。これら2つのディレクトリを開くときは、Windowsのエクスプローラで、アドレスバーに %appdata%\SICAT GmbH & Co. KGと %localappdata%\SICAT GmbH & Co. KG を入力してください。

データのセキュリティ



注意

SICATアプリケーションデータを信頼できないネットワークファイルシステムに保存すると、データの損失につながるおそれがあります。

ネットワーク管理者と共に、SICATアプリケーションデータを希望のネットワークファイルシステムに保存できるようにしてください。



注意

SICAT Suiteおよび付属のSICATアプリケーションを他の機器と一つのコンピューターネットワークまたはメモリーネットワーク内で供用すると、患者、ユーザー、その他の人に未知の危険が及ぶおそれがあります。

ネットワークに関連する危険を特定、分析、判断するため、各組織内で規則を作成してください。



注意

ネットワーク環境を変更すると、新しい危険につながるおそれがあります。例えば、ネットワーク構成の変更、追加機器またはコンポーネントのネットワークへの接続、機器またはコンポーネントのネットワークからの分離、ネットワーク機器またはコンポーネントのアップデートまたはアップグレードなどです。

ネットワークを変更する度に、新たなネットワークリスク分析を実施してください。

一般的なお知らせ



患者ファイリングの管理機能は、SICAT Suiteでアプリケーションのライセンスがアクティブになっている場合のみ使用することができます。



SICAT Suiteのスタンドアロン版では、バージョンの更新にあたって、患者カルテフォルダの更新が必要です。新規バージョンの初回起動時や、更新前の患者ファイリングを開いた場合、SICAT Suiteでは、患者カルテフォルダの更新を希望するかどうかを尋ねてきます。尋ねるメッセージを確認したら、SICAT Suiteは、患者ファイルの更新を自動で行います。**注意！更新後の患者ファイルは、SICAT Suiteの旧バージョンで使用することができなくなります。**

SICAT Suiteは患者データを次のように管理します。

- 一人の患者の全3D撮影画像と付属する全ての計画プロジェクトが患者ファイルに整理されています。
- 患者ファイルが患者ファイリングに保存されます。
- 患者ファイリングはローカルファイルシステムまたはネットワークファイルシステム上のフォルダに保存されます。

SICAT Suiteをフルバージョンで作動させるには、少なくとも一つの患者ファイリングが必要です。複数の患者ファイリングを管理することができます。ただし、ある時点で同時にアクティブにできる患者ファイリングは、常に一つだけです。ローカルファイルシステムでもネットワークファイルシステムでも、患者ファイリングに同時にアクセスできるSICAT Suiteは一つだけです。使用中の患者ファイリングの患者ファイルのみ編集および保存することができます。



ネットワークファイルシステム上の患者ファイリングには、特定の最小帯域幅のネットワーク接続が必要です。システムの要件に関する内容は、システム要件 [▶ ページ 9 - Standalone]の節をご覧ください。

患者ファイリングを管理するために使用できる操作：

- 「患者ファイリング」 ウィンドウを開く [▶ ページ 58 - Standalone]
- 患者ファイリングを追加する [▶ ページ 59 - Standalone]
- 別の患者ファイリングをアクティブにする [▶ ページ 61 - Standalone]
- 患者ファイリングを除去する [▶ ページ 63 - Standalone]

19.1 「患者ファイリング」ウィンドウを開く

患者ファイル用ファイリング ウィンドウを開くには、次の手順で行います。



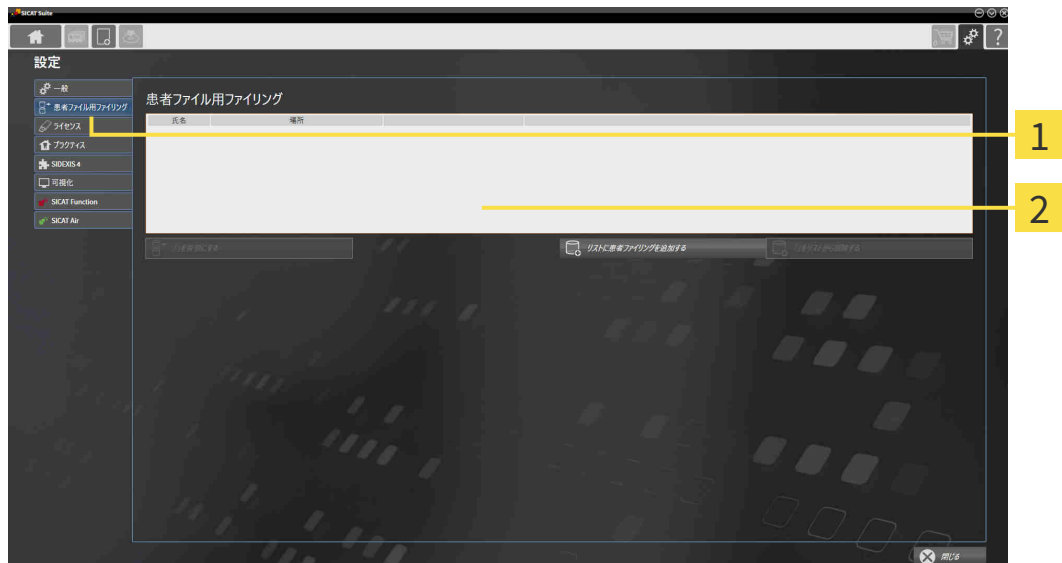
1. ナビゲーションバーで、**設定**のアイコンをクリックします。

▶ **設定**のウィンドウが開きます。



2. **患者ファイル用ファイリング**タブをクリックします。

▶ **患者ファイル用ファイリング**のウィンドウが開きます。



1 タブ 患者ファイル用ファイリング

2 ウィンドウ 患者ファイル用ファイリング

以下の操作を続行します：

- 患者ファイリングを追加する [▶ ページ 59 - Standalone]
- 別の患者ファイリングをアクティブにする [▶ ページ 61 - Standalone]
- 患者ファイリングを除去する [▶ ページ 63 - Standalone]

19.2 患者ファイリングを追加する



注意

患者ファイリングのデータバックアップシステムが故障すると、患者データが完全に消失するおそれがあります。

定期的に全ての患者ファイリングのデータバックアップを取ってください。



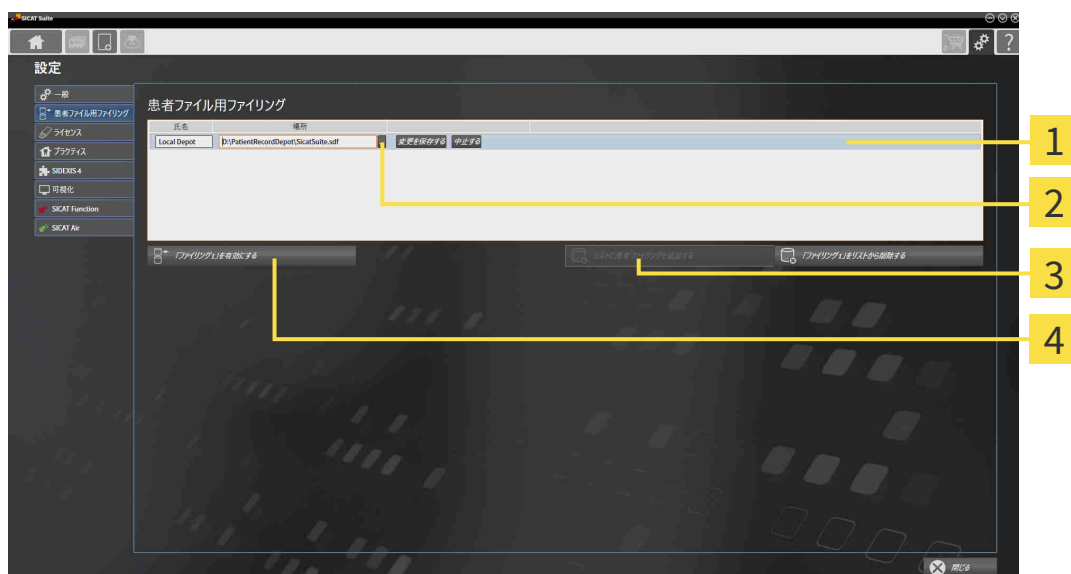
SICAT Suiteは、患者ファイリングをファイルシステムに保存します。患者ファイリングは、各フォルダに一つしか保存できません。そのため、新しい患者ファイリングを保存するフォルダは空でなくてはなりません。



以下の条件に該当する場合、SICAT Suiteは既存の患者ファイリングを追加します。選択したフォルダには、すでに一つの患者ファイリングが入っていますが、患者ファイリングのリストには記載されていません。

新しい患者ファイリングを作成、または既存の患者ファイリングを追加するには、次の手順で行います。

- ☑ **患者ファイル用ファイリング** のウィンドウを開いておきます。この表示に関する内容は、「患者ファイリング」 ウィンドウを開く [▶ ページ 58 - Standalone]の節をご覧ください。



1 新しい患者ファイリングの行

2 ボタン **検索する**

3 ボタン **リストに患者ファイリングを追加する**

4 選択した患者ファイリングをアクティブにするボタン



1. **患者ファイル用ファイリング** のウィンドウで、**リストに患者ファイリングを追加する**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteは、**患者ファイル用ファイリング**のリストに新しい患者ファイリングのために新しい行を追加します。
2. 新しい患者ファイリングの行にある**検索する**ボタンをクリックします。

- ▶ **検索する** のウィンドウが開きます。
- 3. **検索する** ウィンドウで任意のフォルダを選択し、**OK**をクリックします。
 - ▶ **検索する** ウィンドウは閉じ、SICAT Suiteは任意のフォルダへのパスを新しい患者ファイリングの行に追加します。
- 4. 新しい患者ファイリングの行にある**氏名**欄をクリックし、新しい患者ファイリングに対して覚えやすい名前を入力します。
- 5. 新しい患者ファイリングがなおも選択されている場合は、**変更を保存する**をクリックします。
 - ▶ 患者ファイルがアクティブになっている場合、確認メッセージが表示されます。
- 6. 確認メッセージにある**患者ファイリングを変更する(患者ファイルが閉じます)**ボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteは新しい患者ファイリングをアクティブにします。これに付属する行の書式は太字に変わります。
 - ▶ SICAT Suiteは、それまでアクティブになっていた患者ファイリングを無効にします。これに付属する行の書式は標準に変わります。



中止するをクリックして、患者ファイリングの追加を中断することができます。



作成した患者ファイリングは、各フォルダ内に一つのSDFファイルであることから識別することができます。

19.3 別の患者ファイリングをアクティブにする

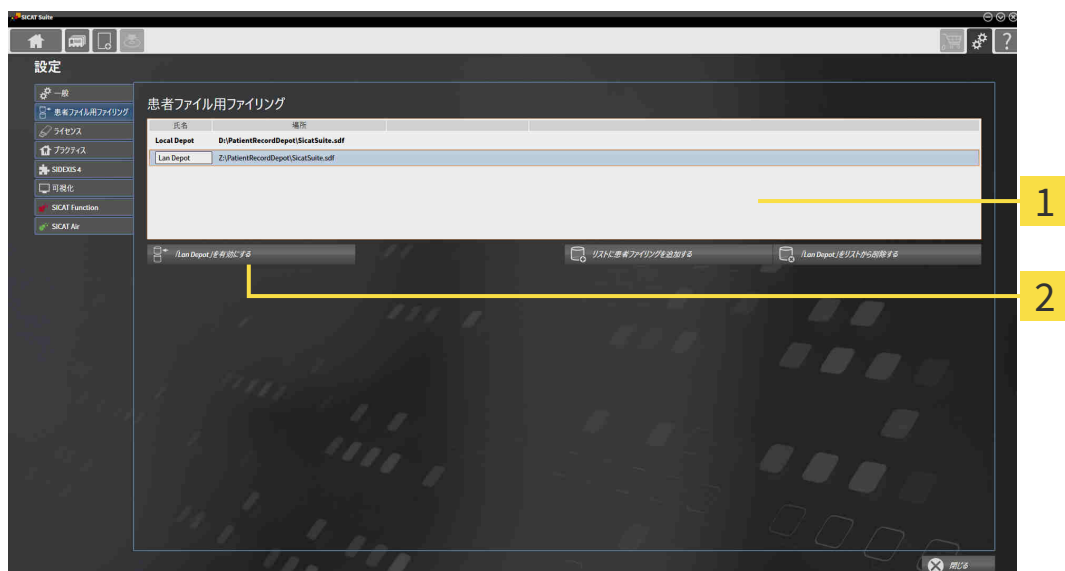
アクティブな患者ファイリングの変更は、次のようなケースに役立つことがあります。



- 施設のネットワークファイルシステム上にある患者ファイリングとノートPC上の患者ファイリング間で切り替えたいとします。
- 別の患者ファイリングに匿名で保存されている患者データを、例えば、研修などの目的で公開したいとします。

別の患者ファイルフォルダを開くときは、次の手順で行います。

- ☑ アクティブになっている患者ファイルはありません。患者ファイルがアクティブになっている場合、SICAT Suiteによって自動的に閉じられます。
- ☑ アクティブにしたい患者ファイリングは、別のコンピューターのSICAT Suiteで開かれていません。
- ☑ **患者ファイル用ファイリング**ウィンドウはすでに開いています：これに関する情報は「患者ファイリング」ウィンドウを開く [▶ ページ 58 - Standalone] を参照してください。



1 リスト 患者ファイル用ファイリング

2 選択した患者ファイリングをアクティブにするボタン

1. 患者ファイル用ファイリングウィンドウで患者ファイル用ファイリングのリストから希望の患者ファイリングをクリックします。



2. 選択した患者ファイリングをアクティブにするボタンをクリックします。

▶ 患者ファイルがアクティブになっている場合、確認メッセージが表示されます。

3. 確認メッセージにある**患者ファイリングを変更する(患者ファイルが閉じます)**ボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteは選択した患者ファイリングをアクティブにします。



SICAT Suiteのスタンドアロン版では、バージョンの更新にあたって、患者カルテフォルダの更新が必要です。新規バージョンの初回起動時や、更新前の患者ファイリングを開いた場合、SICAT Suiteでは、患者カルテフォルダの更新を希望するかどうかを尋ねてきます。尋ねるメッセージを確認したら、SICAT Suiteは、患者ファイルの更新を自動で行います。**注意！更新後の患者ファイルは、SICAT Suiteの旧バージョンで使用することができなくなります。**

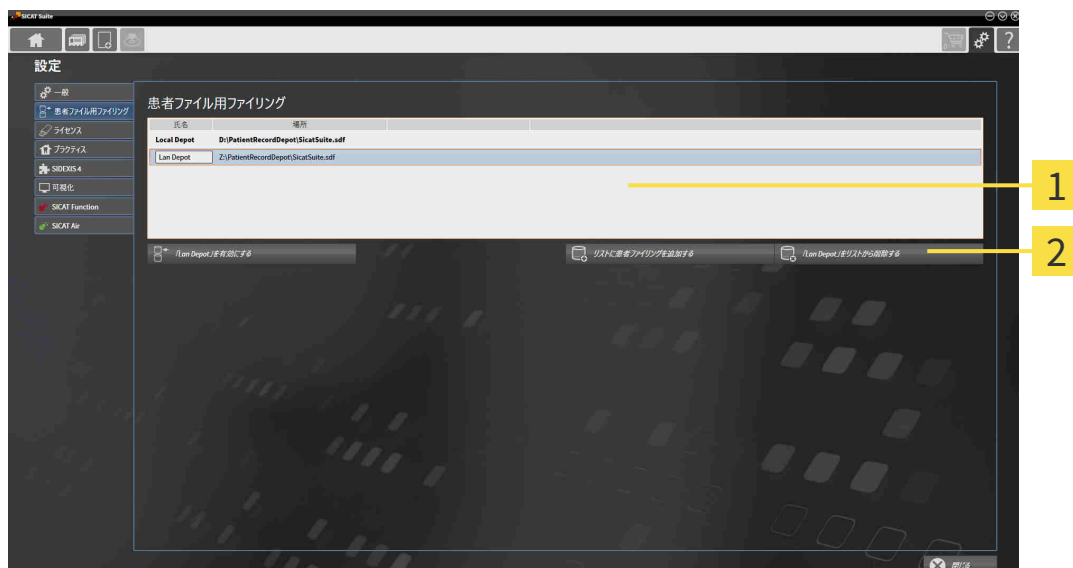
19.4 患者ファイリングを除去する



SICAT Suiteは患者ファイリングを**患者ファイル用ファイリング**のリストから除去するだけです。患者ファイリングをファイルシステムから削除することはありません。**患者ファイル用ファイリング**のリストから除去された既存の患者ファイリングは、改めて追加することができます。この表示に関する内容は、**患者ファイリングを追加する** [▶ ページ 59 - Standalone]の節をご覧ください。

患者ファイリングを**患者ファイル用ファイリング**のリストから除去するには、次のように行います。

- ☑ 開いている患者ファイルはありません。
- ☑ **患者ファイル用ファイリング**のウィンドウを開いておきます。この表示に関する内容は、「**患者ファイリング**」ウィンドウを開く [▶ ページ 58 - Standalone]の節をご覧ください。



1 のリスト **患者ファイル用ファイリング**

2 選択した患者ファイリングを除去するボタン

1. **患者ファイル用ファイリング**ウィンドウで**患者ファイル用ファイリング**のリストから希望の患者ファイリングをクリックします。



2. 選択した患者ファイリングを除去するボタンをクリックします。

- ▶ SICAT Suiteは選択した患者ファイリングを**患者ファイル用ファイリング**のリストから除去します。

20 データインポート



不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。

3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。



オリジナルデータを削除すると、データを消失するおそれがあります。

インポートした後にオリジナルデータを削除しないでください。



データインポートは、ライセンスがアクティブで、患者ファイリングが作成され、アクティブになっている場合のみ実行可能です。ライセンスまたは患者ファイリングがない場合は、ビューアモードでしかデータを開くことができません。ビューアモードに関する内容は、[データを書き込み禁止で開く](#) [▶ ページ 255 - Standalone]の節をご覧ください。

SICAT Suiteは、以下のデータフォーマットの3D X線撮影画像をインポートすることができます。

- SICAT Suite DICOMデータ
- 3D X線撮影画像（DICOM形式、DICOMに関する内容は、[対応しているDICOMフォーマット](#) [▶ ページ 67 - Standalone]の節をご覧ください）
- SICATインプラントデータ
- SICATドリルテンプレート注文データ
- GALILEOS Wrap&Goデータ

次の二つの設定で、SICAT Suite 3D X線撮影画像を使用中の患者ファイリングにインポートする方法を規定します。

- インポート設定は、SICAT Suiteが3D X線撮影画像をインポートするか、インポートしないか、既存の3D X線撮影画像に上書きするか、コピーを作成するか規定します。
- 割り当て設定は、SICAT Suiteがインポートした3D X線撮影画像を割り当てる患者ファイルを規定します。

1件のデータセットに、SICATのアプリケーションで作成した3D治療計画スタディが複数、含まれているときは、SICAT Suiteでは、3D治療計画スタディを、それら含まれる3D X線撮影画像と併せてインポートを行います。

3D X線撮影画像のインポートに適用する設定内容

アクティブな患者ファイリングに患者ファイルが含まれている場合、3D X線撮影画像用に異なるインポート設定を選択することができます。使用可能なインポート設定は、インポートするデータのIDがアクティブな患者ファイリング内の患者ファイルのIDと一致するかどうかによって異なります。

各3D X線撮影画像に対して、それぞれインポート設定を選択することができます。

データタイプ	IDが一致する	IDが一致しない	常に使用可能
SICAT Suite DICOMデータ SICATインプラントデータ SICATドリルテンプレート注文データ	既存に上書きする – SICAT Suiteは3D X線撮影画像をインポートし、同じIDを持つ既存のデータセットに上書きします。	追加する – SICAT Suiteは3D X線撮影画像を新規データセットとしてインポートします。	追加しないでください – SICAT Suiteは3D X線撮影画像をインポートしません。
第三者のDICOMデータ Galileos Wrap&Goデータ	さらに追加する – SICAT Suiteは3D X線撮影画像を既存のデータセットのコピーとしてインポートします。	追加する – SICAT Suiteは3D X線撮影画像を新規データセットとしてインポートします。	追加しないでください – SICAT Suiteは3D X線撮影画像をインポートしません。

患者ファイル割り当て用の特性比較

SICAT Suiteはインポートするデータの様々な特性を分析します。特性の種類：

- 姓
- 名
- 誕生日
- 患者ID、社会保険番号、施設の内部患者IDなど

患者ファイル割り当て用の設定

次のリストは、SICAT Suiteが特性比較に基づいて提案するインポートオプションを示しています。

- インポートするデータの全特性がアクティブな患者ファイリングにある患者ファイルの特性と一致しています。SICAT Suiteは**既存の患者ファイルに追加する**および対応する患者ファイルを提案します。
- インポートするデータの特性の一部がアクティブな患者ファイリングにある患者ファイルの特性と一致しています。SICAT Suiteは**新規患者ファイルを作成する**を提案します。

どちらの場合も、データを手動で別の患者ファイルに割り当てることができます。

データをインポートするには、次の操作を規定の手順で実行します。

- インポートするデータを選択する [[▶ ページ 68 - Standalone](#)]
- インポートオプションの選択 [[▶ ページ 70 - Standalone](#)]
- 既存の患者ファイルにデータを割り当てる [[▶ ページ 72 - Standalone](#)]

あるいは

- データインポートによる新しい患者ファイルの作成 [[▶ ページ 71 - Standalone](#)]

20.1 対応しているDICOMフォーマット

DICOMデータセットをインポートする場合、SICAT Suiteは次の基準を満たしているデータセットに対応しています。

- データセットのフォーマットがDICOM 3.0である。
- データセットにパラレルレイヤーしか含まれない。
- データセットが圧縮されていない、JPEG形式またはJPEG 2000形式で圧縮されている。
- データセットが次のリストの対応しているタイプのいずれかと一致する。

対応しているデータセットタイプ：

- CT画像
- デジタルX線画像
- デジタル口内X線画像
- X線3D頭蓋顔面画像
- セカンダリーキャプチャー画像（グレースケール）（モダリティCT用のみ）
- マルチフレームグレースケールワードセカンダリーキャプチャー画像（モダリティCT用のみ）

その他の基準については、DICOM適合性宣言を参照してください。この宣言書は、ご要望に応じてSICATからご提供させていただきます。お問い合わせ先が必要のときは、裏面をご覧ください。

20.2 インポートするデータを選択する



不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。



DICOMに適合していないX線機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

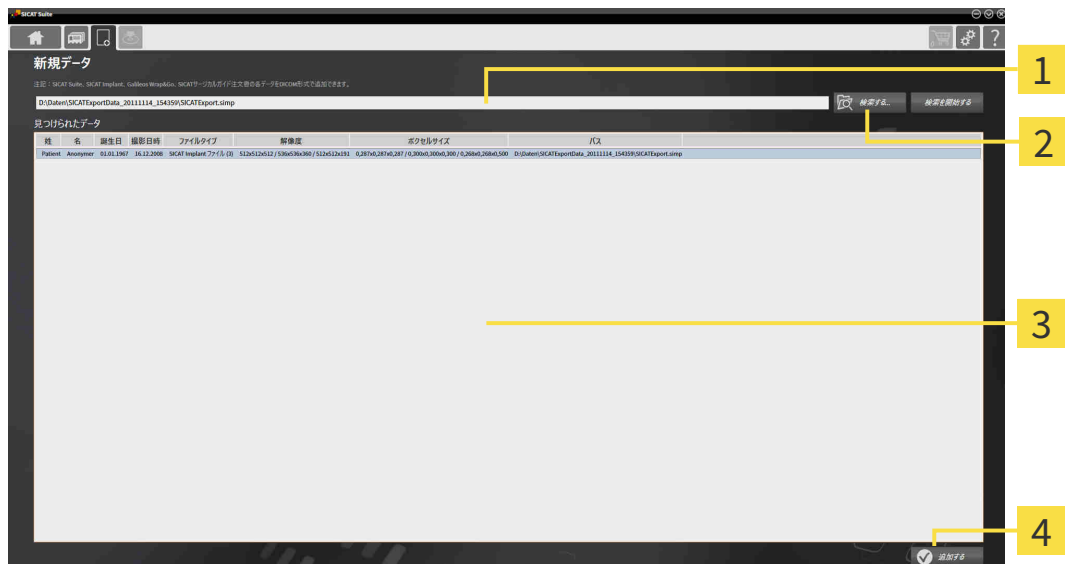
利用する3D X線撮影画像は、DICOM規格に適合することが証明されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。

アクティブな患者ファイリングのデータをインポートするには、次の手順で行います。



1. ナビゲーションバーで、**新規データ**のアイコンをクリックします。

▶ **新規データ**のウィンドウが開きます。



1 欄 データはどこにあるのですか？

3 のリスト 見つめられたデータ

2 ボタン 検索する

4 ボタン 追加する



2. **検索する**のボタンをクリックします。

▶ **ファイルまたはディレクトリを選択する**のウィンドウが開きます。

3. **ファイルまたはディレクトリを選択する** ウィンドウで任意のファイルまたはフォルダを選択し、**OK**をクリックします。
- ▶ SICAT Suiteは**ファイルまたはディレクトリを選択する**のウィンドウが閉じ、ファイルかフォルダで選択したもののパスを**データはどこにあるのですか？**欄に転記します。
 - ▶ SICAT Suiteは、検索したフォルダのいずれかに含まれている互換性のあるファイルを見つけられたデータリストにファイルの内容を表示します。
 - ▶ フォルダを選択した場合、SICAT Suiteはそのフォルダおよび全てのサブフォルダを検索します。SICAT Suiteは、検索したフォルダのいずれかに含まれている互換性のあるファイルを見つけられたデータリストに表示します。



SICAT Suiteにデータをインポートする際に、ドラッグ&ドロップを利用することもできます。



説明されている手順を利用する場合、検索は自動で開始します。検索は、**検索を停止する**ボタンをクリックして中断することができます。ファイルまたはフォルダへのパスを手動で**データはどこにあるのですか？**欄に入力する場合、**検索を開始する**ボタンをクリックします。フォルダの内容が変わった、または誤って検索を終了した場合、検索を新たに開始するには、これが役に立つこともあります。



互換性があるにもかかわらず、SICAT Suiteが特定のファイルを検出しない場合、そのファイルへのパスが長過ぎることが原因の可能性があります。それらのファイルをファイルシステムの一つ上の階層にコピーし、改めて検索を開始してください。

以降の操作は、**インポートオプションの選択** [▶ ページ 70 - Standalone]の節に沿って、進めてください。

20.3 インポートオプションの選択

各スタディのインポートオプションを選択するには、次の手順で行います。



1. 見つめられたデータリストから希望のスタディを選択し、**追加する**ボタンをクリックします。

▶ **追加する** のウィンドウが開きます。



1 列 アクション

2. **追加する** ウィンドウで **アクション** 列から各スタディ用に以下のエントリを選択します。**追加しないでください**、**さらに追加する**、**追加する** または **既存に上書きする**。オプションに関する詳細な説明は、**データインポート** [▶ ページ 64 - Standalone] の節をご覧ください。

▶ これらをインポートするかどうかについては、全てのスタディに対して個別に設定します。

以下の操作を続行します：

- 既存の患者ファイルにデータを割り当てる [▶ ページ 72 - Standalone]
- データインポートによる新しい患者ファイルの作成 [▶ ページ 71 - Standalone]

20.4 データインポートによる新しい患者ファイルの作成



アクティブな患者ファイリングに同じ特性の組み合わせを持つ患者ファイルがない場合、データインポートによって新しい患者ファイルを作成することができます。



1 オプション **新規患者ファイルを作成する**

2 ボタン **続行する**

インポートするデータを新しい患者ファイルに割り当てるには、次の手順で行います。

- **患者リストへの割り当てエリアで新規患者ファイルを作成するオプションを選択し、続行するボタンをクリックします。**
- ▶ SICAT Suiteは、選択したデータの特性を持つ新しい患者ファイルを作成します。
- ▶ SICAT Suiteは、選択したデータをインポートし、これらを新しい患者ファイルに割り当てます。
- ▶ **患者ファイルの概要**ウインドウが開き、SICAT Suiteでインポートされた患者ファイルが**患者ファイルリスト**内で強調されます。この表示に関する内容は、**患者ファイル** [▶ ページ 75 - Standalone]の節をご覧ください。

20.5 既存の患者ファイルにデータを割り当てる



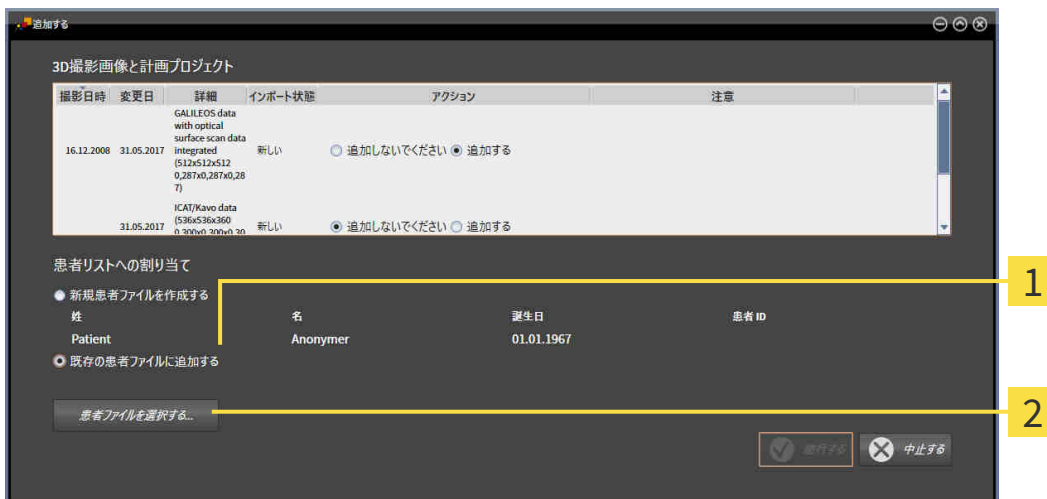
注意

患者名や3D X線撮影画像の突き合わせでミスがあると、結果として、患者を撮影した画像の取り違えを招くことになりかねません。

3D X線撮影ビューで、インポートしようとしているものや、すでにSICATのアプリケーションに読み込みのものがあれば、突き合わせる先の患者名が正しいこと、突き合わせる撮影画像に関する情報が正しいことをいずれもチェックしてください。



次の条件に該当する場合、SICAT Suiteは**既存の患者ファイルに追加する**オプションを付属の患者ファイルによって自動的に選択します：インポートするデータの全特性がアクティブな患者ファイリングにある患者ファイルの特性と一致しています。



1 オプション **既存の患者ファイルに追加する**

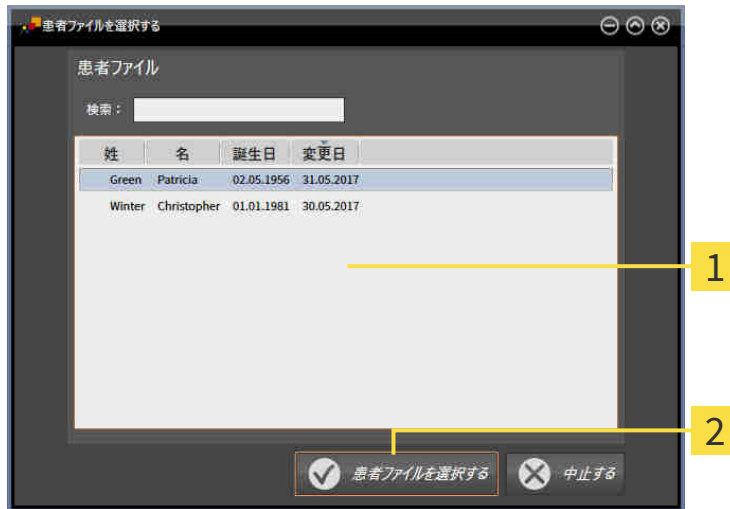
2 ボタン **患者ファイルを選択する**

インポートするデータを既存の患者ファイルに手動で割り当てるには、次の手順で行います。

☑ アクティブな患者ファイリングには、最低一つの患者ファイルが含まれます。

1. 患者リストへの割り当てエリアで**既存の患者ファイルに追加する**オプションを選択し、**患者ファイルを選択する**ボタンをクリックします。

- ▶ **患者ファイルを選択する**のウィンドウが開き、既存の患者ファイルのリストが表示されます。



1 のリスト 患者ファイル

2 ボタン 患者ファイルを選択する

- 希望する患者ファイルをクリックし、**患者ファイルを選択する**のボタンをクリックします。

- ▶ **患者ファイルを選択する**のウィンドウが閉じます。
- ▶ **追加する**のウィンドウに選択した患者ファイルの特性が表示されます。

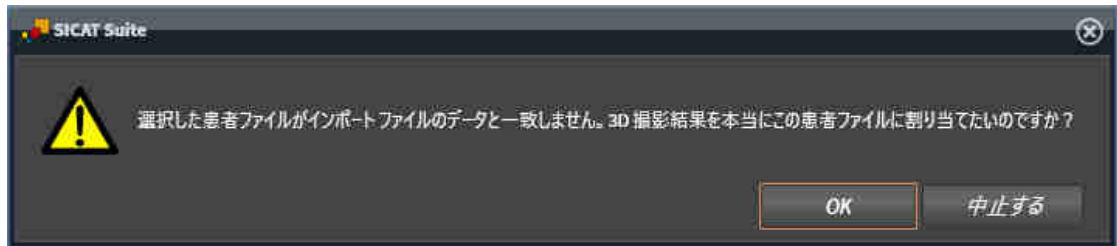


1 選択した患者ファイルの特性

2 ボタン 続行する

- 追加する**のウィンドウで、**続行する**のボタンをクリックします。

- インポートするデータの特性が選択した患者ファイルの特性と一致しない場合、次の警告メッセージが表示されます。



- それでもデータをインポートする場合、**OK**をクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteは、選択したデータをインポートし、これらを既存の患者ファイルに割り当てます。
 - ▶ **患者ファイルの概要**ウインドウが開き、SICAT Suiteでインポートされた患者ファイルが**患者ファイルリスト**内で強調されます。この表示に関する内容は、**患者ファイル** [▶ ページ 75 - Standalone]の節をご覧ください。

21 患者ファイル

患者ファイルには複数の3Dスタディが含まれる可能性があります。スタディは3D X線撮影画像と付属の計画プロジェクトで構成されています。さらに、患者ファイルには計画中に作成された文書が含まれる場合があります。

患者ファイルを管理するために使用できる操作：

- 「患者ファイル概要」 ウィンドウを開く [▶ ページ 76 - Standalone]
- 患者ファイリング内での患者ファイルの検索および並べ替え [▶ ページ 77 - Standalone]
- 患者ファイルをアクティブにする [▶ ページ 79 - Standalone]
- 患者ファイル概要から3D X線撮影画像または計画プロジェクトを開く [▶ ページ 83 - Standalone]
- アクティブな患者ファイルを使用した作業 [▶ ページ 80 - Standalone]
- 患者ファイルの特性を変更する [▶ ページ 82 - Standalone]
- 患者ファイリングからの患者ファイルの削除 [▶ ページ 89 - Standalone]
- 患者ファイルからの3D X線撮影画像または計画プロジェクトの削除 [▶ ページ 91 - Standalone]

さらに、患者ファイルへのデータのインポートおよび患者ファイルからのデータのエクスポートを行うことができます。

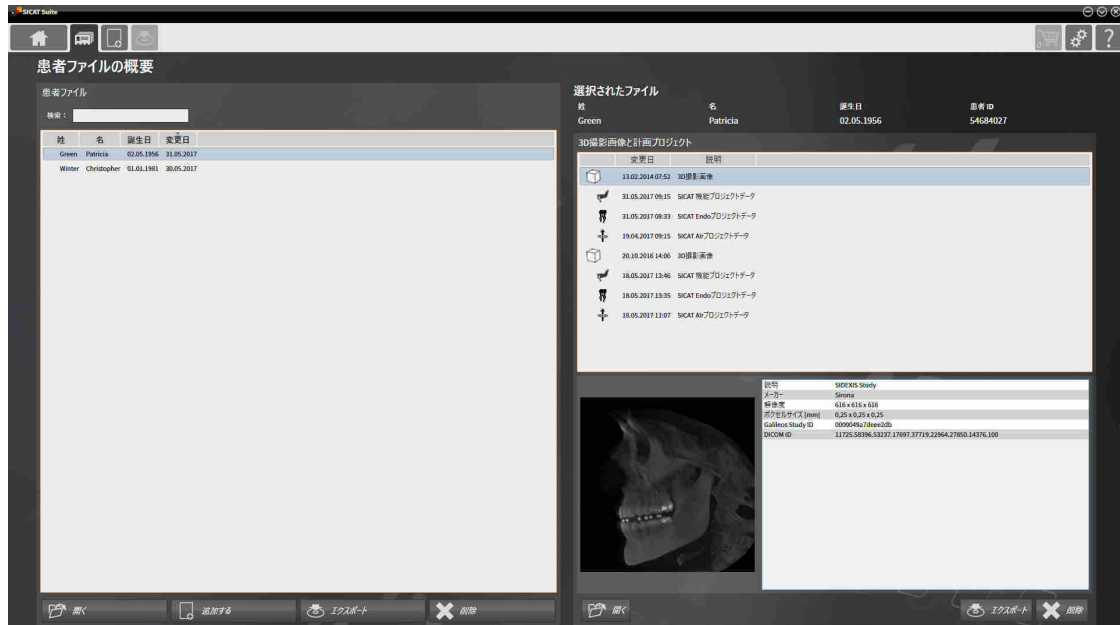
- データインポート [▶ ページ 64 - Standalone]
- データエクスポート [▶ ページ 223 - Standalone]

21.1 「患者ファイル概要」ウィンドウを開く

患者ファイルの概要ウィンドウを開くには、次の手順で行います。



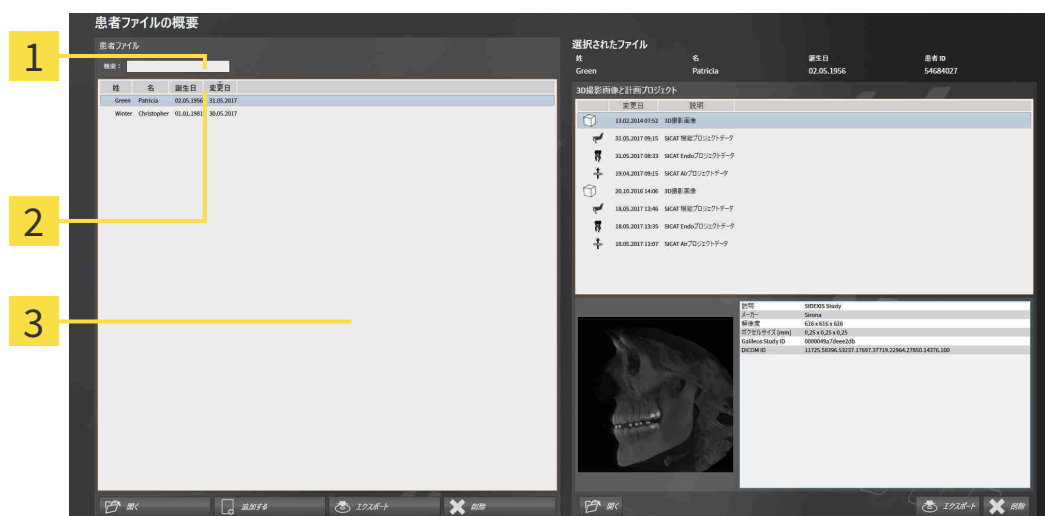
- ナビゲーションバーで、患者ファイルのアイコンをクリックします。
- ▶ 患者ファイルの概要のウィンドウが開きます。



以下の操作を続行します：

- 患者ファイリング内での患者ファイルの検索および並べ替え [▶ ページ 77 - Standalone]
- 患者ファイルをアクティブにする [▶ ページ 79 - Standalone]
- 患者ファイル概要から3D X線撮影画像または計画プロジェクトを開く [▶ ページ 83 - Standalone]
- アクティブな患者ファイルを使用した作業 [▶ ページ 80 - Standalone]
- 患者ファイルの特性を変更する [▶ ページ 82 - Standalone]
- 患者ファイリングからの患者ファイルの削除 [▶ ページ 89 - Standalone]
- 患者ファイルからの3D X線撮影画像または計画プロジェクトの削除 [▶ ページ 91 - Standalone]

21.2 患者ファイリング内での患者ファイルの検索および並べ替え



- 1 欄 検索：
- 2 列のタイトル（特性を含む）
- 3 のリスト 患者ファイル

患者ファイルの検索

SICAT Suiteは、入力した検索テキストに従って全ての患者ファイルの特性を検索します。

患者ファイルを検索するには、次のように行います。

- ☑ **患者ファイルの概要** のウィンドウを開いておきます。この表示に関する内容は、「患者ファイル概要」ウィンドウを開く [▶ ページ 76 - Standalone]の節をご覧ください。

- **検索：** 欄に希望の検索テキストを入力します。

- ▶ **患者ファイルリスト**に、入力した検索テキストが特性に含まれる全患者ファイルが表示されます。

SICAT Suiteは、入力を始めると直ちに検索を開始します。

特性に基づく患者ファイルの並べ替え

以下の特性に基づいて、患者ファイルを並べ替えることができます。

- 姓
- 名
- 誕生日
- 変更日

患者ファイルを特性に基づいて並べ替えるには、次のように行います。

- ☑ **患者ファイルの概要** のウィンドウを開いておきます。この表示に関する内容は、「患者ファイル概要」 ウィンドウを開く [▶ ページ 76 - Standalone] の節をご覧ください。



1. **患者ファイルリスト**で希望の特性の列のタイトルをクリックします。
▶ SICAT Suiteは、**患者ファイルリスト**を希望の特性で順番に並べ替えます。
2. **患者ファイルリスト**で希望の特性の列のタイトルをもう一度クリックします。
▶ SICAT Suiteは、**患者ファイルリスト**を希望の特性で逆の順序に並べ替えます。

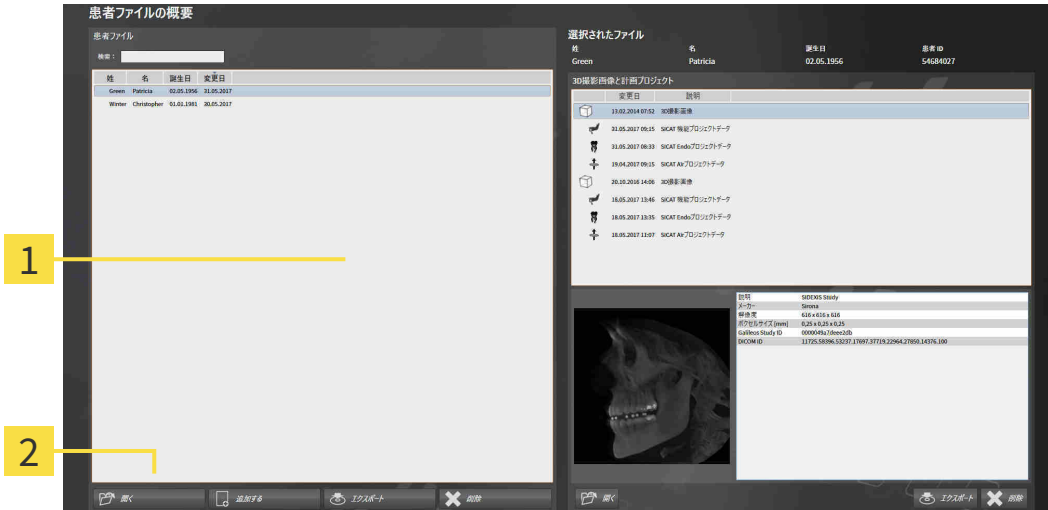


通常、患者ファイルは変更日の降順に並べ替えられています。

21.3 患者ファイルをアクティブにする

患者ファイルを使用して作業するために、これを次のようにアクティブにします。

- ☑ **患者ファイルの概要** のウィンドウを開いておきます。この表示に関する内容は、「**患者ファイル概要**」ウィンドウを開く [▶ ページ 76 - Standalone] の節をご覧ください。



1 のリスト **患者ファイル**

2 選択した患者ファイルをアクティブにするボタン

1. **患者ファイル**リストから希望の患者ファイルを選択します。
2. 選択した患者ファイルをアクティブにするボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteは選択した患者ファイルをアクティブにします。

以降の操作は、**アクティブな患者ファイルを使用した作業** [▶ ページ 80 - Standalone] の節に沿って、行ってください。

21.4 アクティブな患者ファイルを使用した作業



注意

削除した患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトは元に戻すことができません。

患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトの削除は、これらのデータが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。



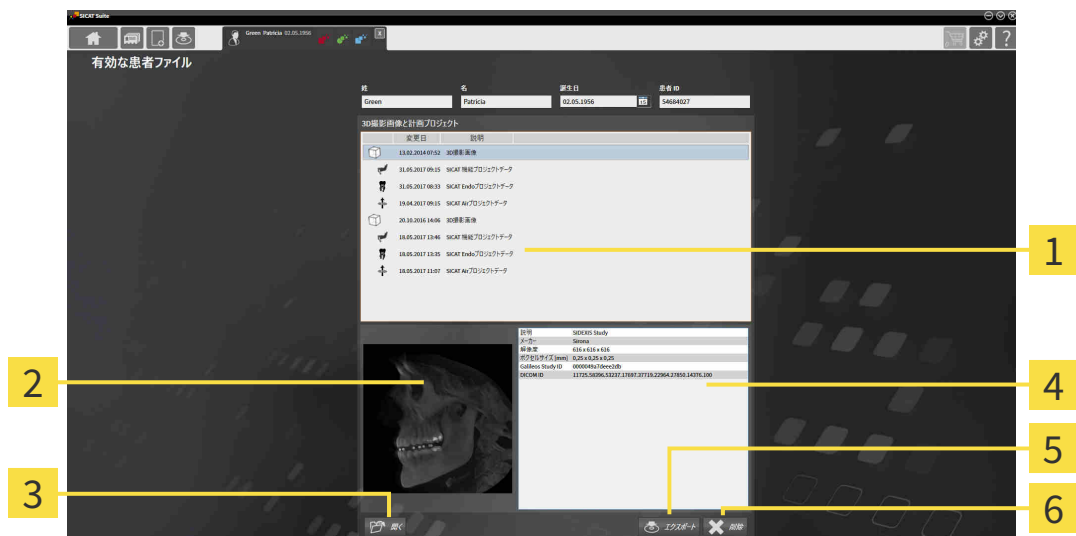
注意

3D X線撮影画像を削除すると、それに依存する計画プロジェクトも全て削除されます。

3D X線撮影画像の削除は、それに依存する全計画プロジェクトが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

開いた患者ファイルで作業するには、次の手順で行います。

- ☑ 患者ファイルがすでにアクティブです。これに関する情報は患者ファイルをアクティブにする [▶ ページ 79 - Standalone] を参照してください。



1 リスト 3D撮影図と計画プロジェクト

4 エリア 詳細

2 エリア 概要

5 ボタン エクスポート

3 ボタン 開く

6 ボタン 削除

1. アクティブな患者ファイルウィンドウで3D撮影図と計画プロジェクトリストから希望の3D X線撮影画像または希望の計画プロジェクトまたは希望の計画プロジェクトを選択します。
 - ▶ 概要エリアに、選択した3D X線撮影画像または選択した計画プロジェクトのプレビューが表示されます。
 - ▶ 詳細エリアに、選択した3D X線撮影画像または選択した計画プロジェクトの詳細（DICOMメタデータなど）が表示されます。



2. SICATアプリケーションの選択した3D X線撮影画像、または付属のSICATアプリケーションの選択した計画プロジェクトを開くには、**開く** ボタンをクリックします。
3. 選択した文書を標準のPDFビューアで開くには、**開く** ボタンをクリックします。
4. 選択したスタディをアクティブな患者ファイルからエクスポートするには、**エクスポート** ボタンをクリックします。これに関する情報はデータエクスポート [▶ ページ 223 - *Standalone*]を参照してください。
5. 選択した3D X線撮影画像または計画プロジェクトをアクティブな患者ファイルから削除するには、**削除** ボタンをクリックします。これに関する情報は患者ファイルからの3D X線撮影画像または計画プロジェクトの削除 [▶ ページ 91 - *Standalone*]を参照してください。
6. アクティブな患者ファイルの特性の変更手順は、*患者ファイルの特性を変更する* [▶ ページ 82 - *Standalone*]の節をご覧ください。



3D X線撮影画像を、それが関係するスタディなしに開き、かつ、ライセンスのアクティベーションを完了している、SICATのアプリケーションが1つのみのときは、そのSICATのアプリケーションが起動します。3D X線撮影画像を、それが関係する、複数のスタディとともに開き、かつ、ライセンスのアクティベーションを完了している、SICATのアプリケーションが複数あるときは、前回、スタディに変更を加えたアプリケーションが起動します。

21.5 患者ファイルの特性を変更する



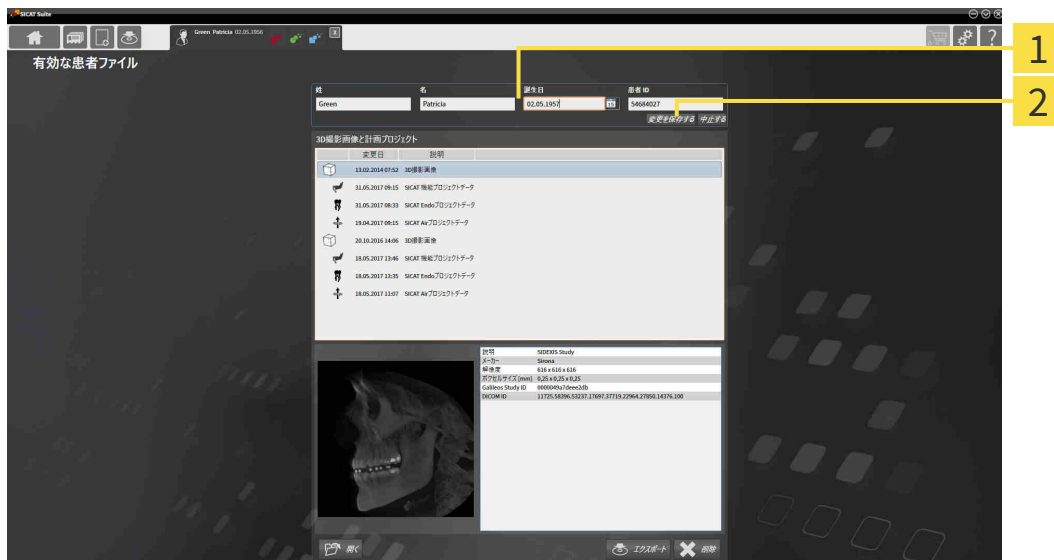
アクティブな患者ファイリング内にある各患者ファイルの特性の組み合わせは明確でなくてはなりません。

患者ファイルの以下の特性を変更することができます。

- 姓
- 名
- 誕生日
- 患者ID

患者ファイルの特性を変更するには、次の手順で行います。

- ☑ 患者ファイルがすでにアクティブです。これに関する情報は患者ファイルをアクティブにする [▶ ページ 79 - Standalone] を参照してください。



1 特性欄

2 ボタン 変更を保存する

1. アクティブな患者ファイルウィンドウで特性欄に希望の値を入力します。
2. 変更を保存するのボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteが変更内容を保存します。



患者IDはDICOM IDと一致しません。任意の各IDを患者IDとして入力することができます（社会保険番号、施設の内部患者IDなど）。

21.6 患者ファイル概要から3D X線撮影画像または計画プロジェクトを開く



患者名や3D X線撮影画像の突き合わせでミスがあると、結果として、患者を撮影した画像の取り違えを招くことになりかねません。3D X線撮影ビューで、インポートしようとしているものや、すでにSICATのアプリケーションに読み込み済みのものがあれば、突き合わせる先の患者名が正しいこと、突き合わせる撮影画像に関する情報が正しいことをいずれもチェックしてください。



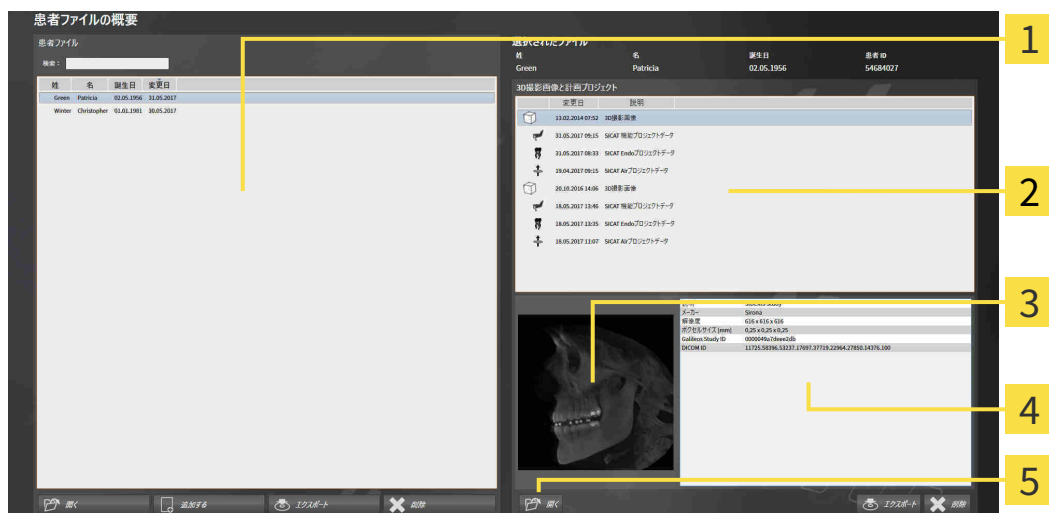
不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。



不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。

3D X線撮影画像または計画プロジェクトを患者ファイルの概要から開くには、次の手順で行います。

- ☑ **患者ファイルの概要** のウィンドウを開いておきます。この表示に関する内容は、「患者ファイル概要」ウィンドウを開く [▶ ページ 76 - Standalone] の節をご覧ください。



1 のリスト 患者ファイル

4 エリア 詳細

2 のリスト 3D撮影図と計画プロジェクト

5 ボタン 開く

3 エリア 概要

1. 患者ファイルの概要ウィンドウで患者ファイルリストから希望の患者ファイルを選択します。
 - ▶ 選択されたファイルエリアで3D撮影図と計画プロジェクトリストに選択した患者ファイルの全ての3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルが表示されます。
2. 3D撮影図と計画プロジェクトリストから任意のデータセットまたは文書を選択します。
 - ▶ 概要エリアと詳細エリアに、選択したデータセットまたは文書に関する情報が表示されます。



3. 開く のボタンをクリックします。

- ▶ データセットを選択すると、これはSICATアプリケーションで開かれます。



- ▶ 文書を選択すると、これは標準のPDFビューアで開かれます。



3D X線撮影画像を、それが関係するスタディなしに開き、かつ、ライセンスのアクティベーションを完了している、SICATのアプリケーションが1つのみのときは、そのSICATのアプリケーションが起動します。3D X線撮影画像を、それが関係する、複数のスタディとともに開き、かつ、ライセンスのアクティベーションを完了している、SICATのアプリケーションが複数あるときは、前回、スタディに変更を加えたアプリケーションが起動します。

21.7 SICAT SUITEでのSICAT ENDOスタディ



DICOMに適合していないX線機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、DICOM規格に適合することが証明されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。



不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。

3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。



不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。



表示品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

SICATアプリケーションを使用する前に、表示品質が十分であるか確認してください（例えば、SMPTEテストビューで）。

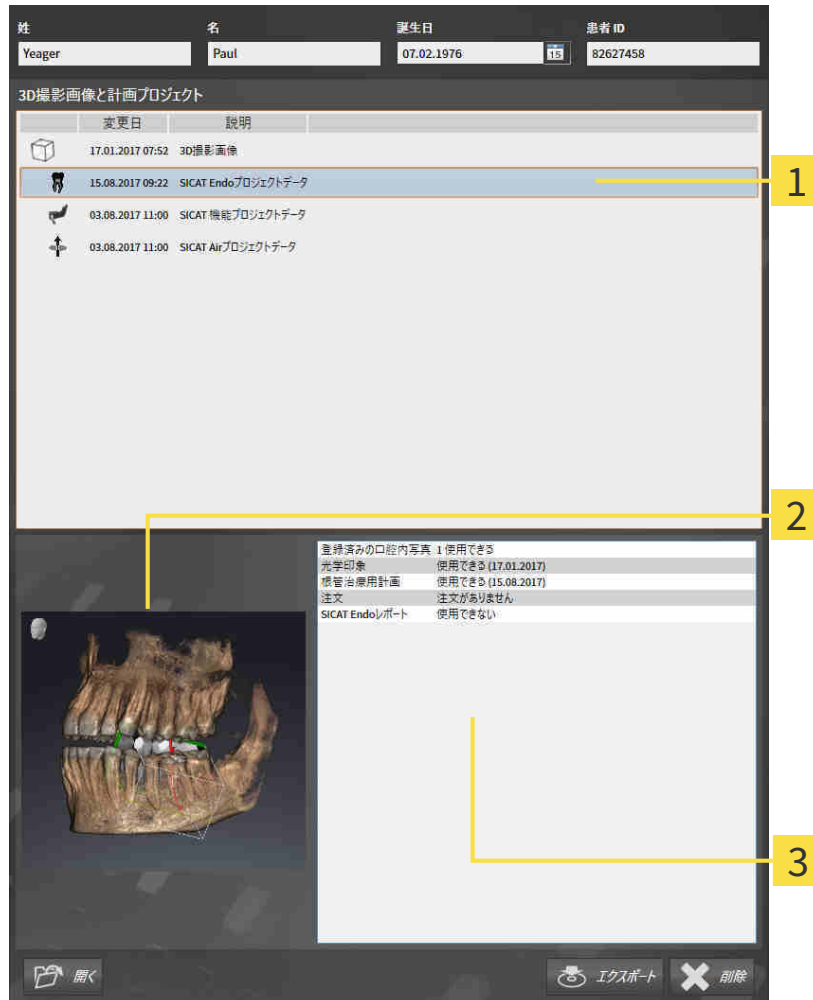


環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

以下の条件が満たされた場合、**患者ファイルの概要**は、SICAT Endoスタディの情報を表示しません。

- SICAT Suiteをスタンドアロンバージョンとして使用します。
- 3D撮影図と計画プロジェクトのエリアからSICAT Endoスタディを選択しました。

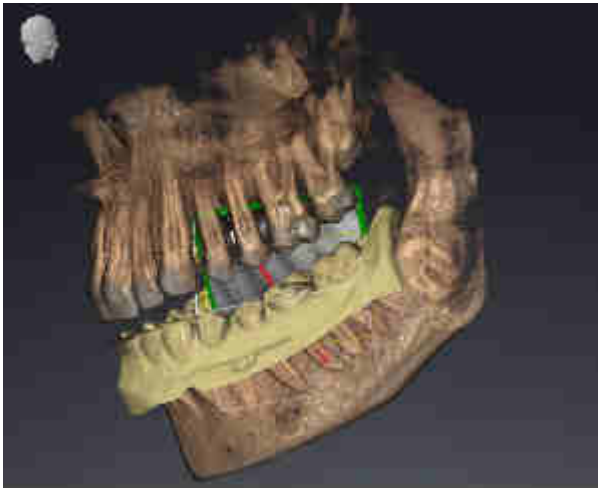


1 選択されたSICAT Endoスタディ

2 エリア 概要

3 エリア 詳細

概要のエリアは3Dビューを表示します。



詳細エリアに次の情報が表示されます：

- 利用可能な登録済み口腔内撮影画像
- 利用可能な光学印象
- 利用可能な根管治療計画
- 利用可能なステータスと日付を含む注文
- 利用可能なレポート

21.8 アクティブな患者ファイルを閉じ、それに含まれる計画プロジェクトを保存する



アクティブな患者ファイルを閉じるために、それに含まれる計画プロジェクトを保存するには、次のように行います。

- アクティブな患者ファイルのエリアで**閉じる**ボタンをクリックします。
- ▶ SICAT Suiteはアクティブな患者ファイルを閉じ、計画プロジェクトで実行した変更内容を保存します。

21.9 患者ファイリングからの患者ファイルの削除

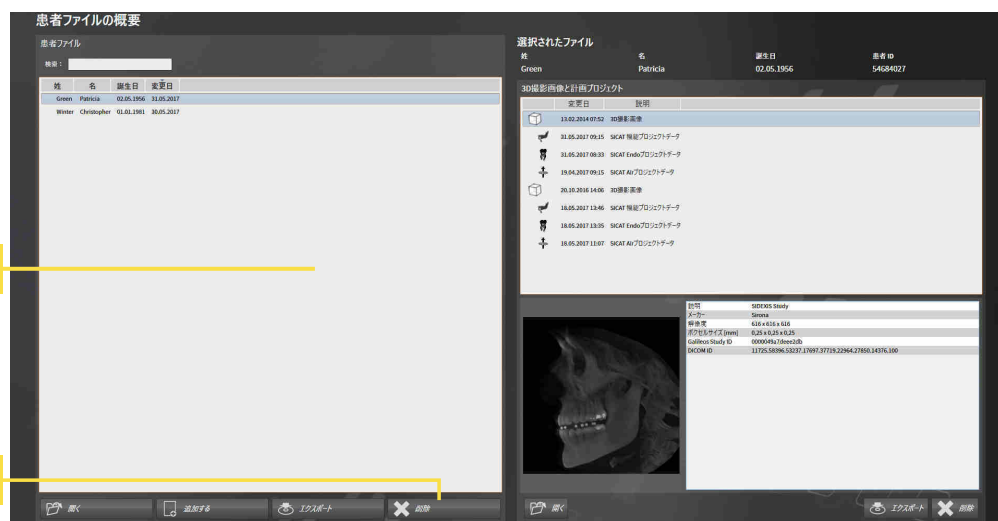


患者ファイルを削除すると、それに含まれる3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルも全て削除されます。

患者ファイルの削除は、それに含まれる3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルが全て再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

患者ファイルおよびそれに含まれる全ての3D X線撮影画像および計画プロジェクトを削除するには、次の手順で行います。

- ☑ **患者ファイルの概要**のウィンドウを開いておきます。この表示に関する内容は、「患者ファイル概要」ウィンドウを開く [▶ ページ 76 - Standalone]の節をご覧ください。



1 のリスト 患者ファイル

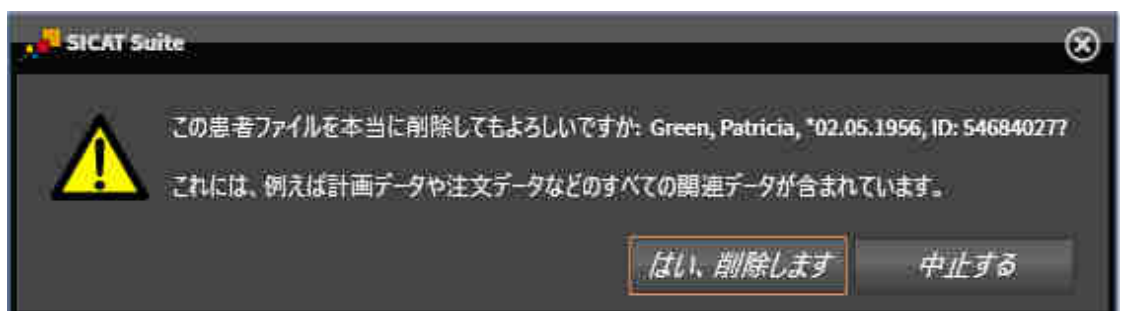
2 選択した患者ファイルを削除するボタン

1. **患者ファイルの概要**ウィンドウで**患者ファイル**リストから希望の患者ファイルを選択します。



2. 選択した患者ファイルを削除するボタンをクリックします。

▶ 確認メッセージが開きます。



3. 選択したデータを削除する場合、確認メッセージの**はい、削除します**をクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteは選択した患者ファイル、それに含まれる全ての3D X線撮影画像および計画プロジェクトをアクティブな患者ファイリングから削除し、**患者ファイル**のリストから除去します。

21.10 患者ファイルからの3D X線撮影画像または計画プロジェクトの削除



削除した患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトは元に戻すことができません。

患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトの削除は、これらのデータが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

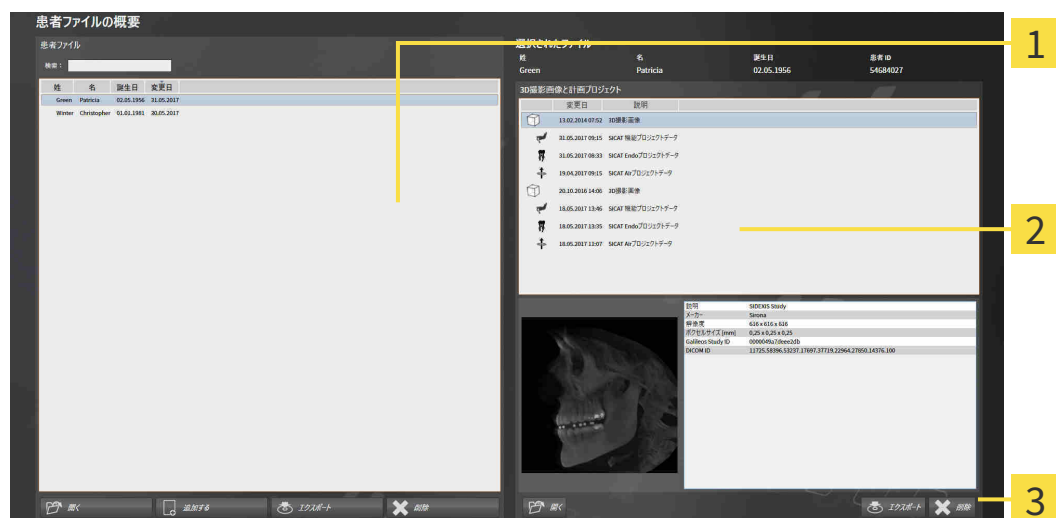


3D X線撮影画像を削除すると、それに依存する計画プロジェクトも全て削除されます。

3D X線撮影画像の削除は、それに依存する全計画プロジェクトが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

3D X線撮影画像および計画プロジェクトを患者ファイルから削除するには、次の手順で行います。

- ☑ **患者ファイルの概要** のウィンドウを開いておきます。この表示に関する内容は、「**患者ファイル概要**」ウィンドウを開く [▶ ページ 76 - Standalone] の節をご覧ください。



1 のリスト 患者ファイル

2 のリスト 3D撮影図と計画プロジェクト

3 ボタン 削除

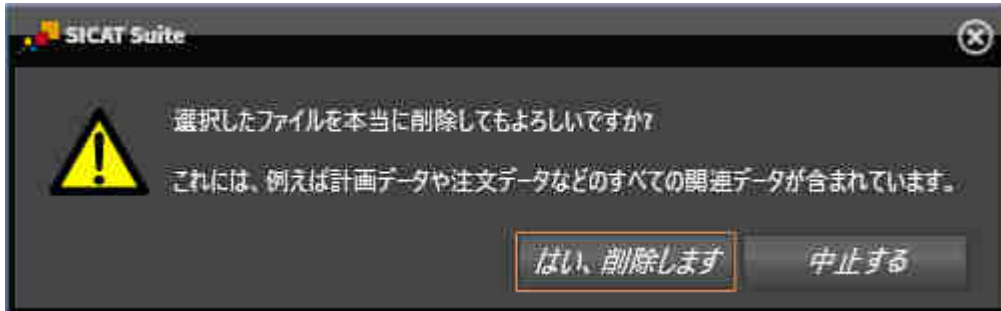
1. **患者ファイルの概要** ウィンドウで**患者ファイル**リストから希望の患者ファイルを選択します。
 - ▶ **選択されたファイル** エリアで**3D撮影図と計画プロジェクト**リストに選択した患者ファイルの全ての3D X線撮影画像と計画プロジェクトが表示されます。

2. 3D撮影図と計画プロジェクトリストから希望の3D X線撮影画像または希望の計画プロジェクトまたは希望の計画プロジェクトを選択します。



3. 削除のボタンをクリックします。

▶ 確認メッセージが開きます。



4. 選択したデータを削除する場合、確認メッセージのはい、削除します をクリックします。

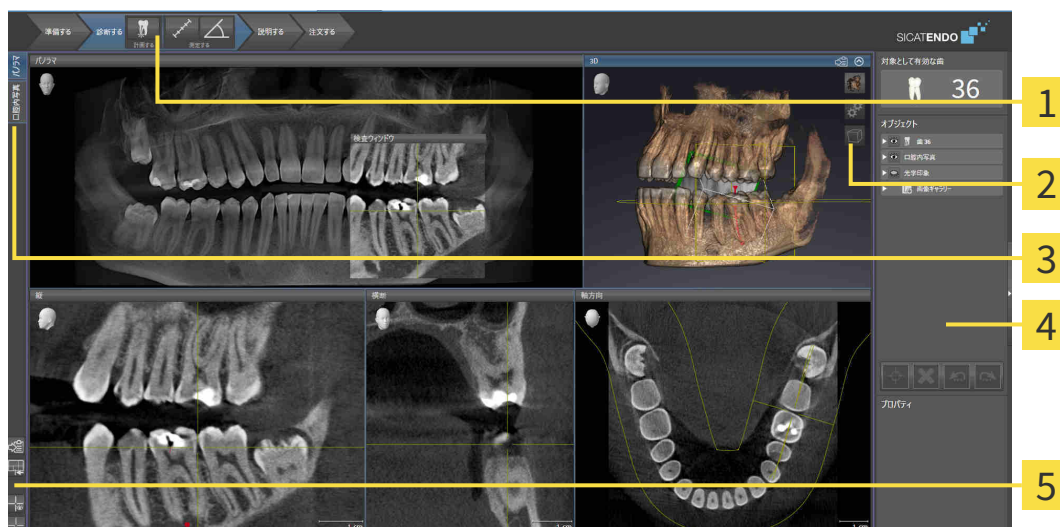
▶ SICAT Suiteは、選択した3D X線撮影画像または計画プロジェクトを患者ファイルおよび3D撮影図と計画プロジェクトリストから削除します。



3D X線撮影画像または計画プロジェクトを **アクティブな患者ファイル** ウィンドウで患者ファイルから削除することもできます。この表示に関する内容は、**アクティブな患者ファイルを使用した作業** [▶ ページ 80 - Standalone] の節をご覧ください。

22 SICAT ENDOのユーザーインターフェース

SICAT Endoのユーザーインターフェースは、以下のアイテムで構成されています。



1 ワークフローのツールバー

4 オブジェクトバー

2 画像のツールバー

5 ワークスペースのツールバー

3 ワークスペースの切替用ボタン

- **ワークフローのツールバー**は、複数のワークフロー・ステップから構成されますが、その中には、アプリケーションのワークフローで使用する主要ツールが用意されています。これには、診断オブジェクトおよび計画オブジェクトを追加およびインポートすることのできるツールが含まれます。これに関する情報は、**ワークフローのツールバー** [▶ ページ 95 - Standalone]をご参照ください。
- **ワークスペースエリア**は、**ワークフローのツールバー**の下側にあって、ユーザーインターフェースの一部を構成します。この部分には、SICAT Endoで開いているワークスペースを表示します。各ワークスペースに特定のビュー構造が含まれています。これに関する情報は、**ワークスペース** [▶ ページ 108 - Standalone]をご参照ください。
- 有効なビューにのみ**画像のツールバー**が表示されます。付属のビューの表示を調整するツールがあります。これに関する情報は、**ビューの調整** [▶ ページ 116 - Standalone]および**3Dビューの調整** [▶ ページ 130 - Standalone]をご参照ください。
- **オブジェクトバー**には、診断や治療計画のそれぞれで対象とするもの(オブジェクト)を管理するための各種ツールが用意されています。これに関する情報は、**オブジェクトバー** [▶ ページ 98 - Standalone]および**SICAT Endoオブジェクト** [▶ ページ 104 - Standalone]をご参照ください。
- **ワークスペースのツールバー**には、各種ツールが用意されていますが、これらのツールで、ワークスペースの一般的な各種設定や、含まれる画像のすべてに対して変更を加えたり、ワークスペースの内容を記録したりすることができます。これに関する情報は、**十字線およびフレームの移動、非表示、表示** [▶ ページ 125 - Standalone]、**ビューをリセットする** [▶ ページ 126 - Standalone]をご参照ください。

ジ 128 - Standalone], アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット [▶ ページ 113 - Standalone]および ワークスペースのスクリーンショットを作成する [▶ ページ 114 - Standalone]をご参照ください。

22.1 ワークフローのツールバー

SICAT Endoでは、ワークフローのツールバーは4つのワークフローステップで構成されています：

1. 準備
2. 診断する
3. 説明する
4. 注文する

ワークフローステップの開閉

以下の各アイコンをクリックすると、ワークフロー・ステップを展開させたり畳み込んだりすることができます。

1. ワークフローステップ「準備」



ワークフロー・ステップ「準備」では、以下のツールが使用できます。



- **グレースケール値を調整する** - これに関する情報はグレースケール値を調整する [▶ ページ 139 - Standalone]を参照してください。このツールが使用でき、また、必要になるのは、シロナ社製以外の機器で表示するボリュームに限ります。



- **ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整します** - これに関する情報は、ボリュームの配置を調整する [▶ ページ 143 - Standalone]およびパノラマエリアを調整する [▶ ページ 148 - Standalone]をご参照ください。



- **口腔内撮影画像の管理・登録中** - これに関する情報は、口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます [▶ ページ 166 - Standalone]、口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う [▶ ページ 171 - Standalone]および口腔内撮影画像を登録する [▶ ページ 173 - Standalone]をご参照ください。



- **光学印象をインポートし記録する** - これに関する情報は、光学印象をインポートし記録する [▶ ページ 153 - Standalone]をご参照ください。

2. ワークフローステップ「診断」



ワークフロー・ステップ「診断する」では、以下のツールが使用できます。



- **EndoLineおよびドリル穴を利用して歯根治療を計画する** - これに関する情報は、*歯の領域をプリアライメントする* [▶ ページ 191 - Standalone]、*EndoLinesをセットする* [▶ ページ 193 - Standalone]および*ドリル穴を計画する* [▶ ページ 203 - Standalone]をご参照ください。



- **距離測定を追加する(D)** - これに関する情報は、*距離測定を追加する* [▶ ページ 210 - Standalone]をご参照ください。



- **角度測定を追加する(A)** - これに関する情報は、*角度測定を追加する* [▶ ページ 211 - Standalone]をご参照ください。

3. ワークフローステップ「患者への説明」



ワークフロー・ステップ「説明する」では、以下のツールが使用できます。



- **矢印を描く** - これに関する情報は、*画像とスクリーンショットの作成* [▶ ページ 216 - Standalone]をご参照ください。



- **円を描く** - これに関する情報は、*画像とスクリーンショットの作成* [▶ ページ 216 - Standalone]をご参照ください。



- **レポートを作成する** - これに関する情報は、*ハンドアウトの準備* [▶ ページ 220 - Standalone]をご参照ください。

4. ワークフロー・ステップ「注文する」

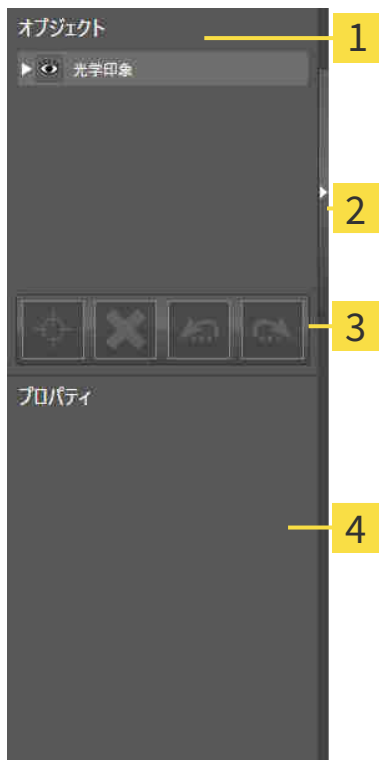


ワークフロー・ステップ「注文する」では、以下のツールが使用できます。



- SICAT GUIDE (ENDO)を注文する - これに関する情報は、ドリルテンプレートをショッピングカートに入れる [▶ ページ 228 - Standalone]をご参照ください。

22.2 オブジェクトバー



- 1** オブジェクトブラウザ
- 2** ボタンオブジェクトバーを非表示にするまたはボタン オブジェクトバーを表示する
- 3** オブジェクトツールバー
- 4** エリア プロパティ

オブジェクトバーには、以下のアイテムが用意されています。

- **オブジェクトブラウザ**には、診断や治療計画の対象（オブジェクト）として、現時点のスタディに追加したりインポートしたりしたものをもれなく、カテゴリ分類して列挙したリストを表示します。**オブジェクトブラウザ**は、複数のオブジェクトを自動でグループ分けします。例えば、**測定**のグループには、測定対象のオブジェクトがもれなく含まれています。オブジェクトグループを開閉する、オブジェクトおよびオブジェクトグループをアクティブに

する、オブジェクトおよびオブジェクトグループを非表示または表示にすることができます。これに関する情報は以下を参照してください [オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理](#) [▶ ページ 100 - Standalone]。

- **オブジェクトツールバー**には、各種のツールが用意されていますが、これらのツールにより、オブジェクトに合焦すること、オブジェクトやオブジェクトグループを削除すること、オブジェクトまたはオブジェクトグループに対して行った操作を取り消して元に戻したり、再度、実行したりすることができます。これに関する情報は[オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理](#) [▶ ページ 102 - Standalone]を参照してください。
- **プロパティ**のコーナーには、作業対象として選択しているオブジェクトについて、その詳細を表示します。

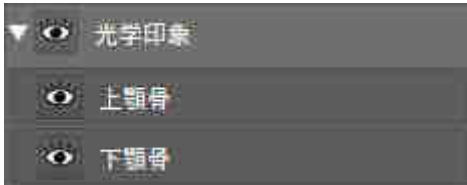
オブジェクトバーの視点をオブジェクトバーの右側の二つのボタンで変更することができます。
オブジェクトバーを非表示にする および **オブジェクトバーを表示する**

SICAT Endoで作業対象として選択可能なオブジェクトは、[SICAT Endoオブジェクト](#) [▶ ページ 104 - Standalone]の節をご覧ください。

22.3 オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理

オブジェクトグループの開閉

オブジェクトグループを展開したり畳み込んだりするときは、以下の手順に沿って操作を行ってください。



☑ 現在、希望のオブジェクトグループが開いています。



1. 畳み込みたいオブジェクトグループの横にある **閉じる** のアイコンをクリックします。

▶ オブジェクトグループの畳み込みが行われます。



2. 畳み込みたいオブジェクトグループの横にある **開く** のアイコンをクリックします。

▶ オブジェクトグループが展開します。

オブジェクトおよびオブジェクトグループをアクティブにする

ツールによっては、作業対象として選択しているオブジェクトやオブジェクトグループ以外では、利用できないものが、いくらかあります。

オブジェクトまたはオブジェクトグループを有効にするには、次のように行います。

☑ 現在、希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループが無効になっています。

■ 希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループをクリックします。

▶ SICAT Endo は、それまで有効であったオブジェクトまたはオブジェクトグループを無効にします。

▶ SICAT Endo は希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループを有効にします。

▶ SICAT Endo は、**オブジェクトブラウザ**と画像のそれぞれで、オブジェクトやオブジェクトグループに色を付けてハイライト表示します。



オブジェクトをクリックすることによって、2Dビューで特定のオブジェクトも有効にすることができます。

オブジェクトおよびオブジェクトグループの表示/非表示



この機能は、特定のオブジェクトタイプを除いて利用できません。

オブジェクトやオブジェクトグループを非表示/表示にするには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

現在、希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループは表示されています。



1. お好みのオブジェクトまたはオブジェクトグループの横にある **表示** のアイコンか、または、**一部表示** のアイコンをクリックします。



- ▶ SICAT Endo はオブジェクトまたはオブジェクトグループを非表示にします。
- ▶ SICAT Endo では、オブジェクトまたはオブジェクトグループの横に **アイコン非表示** が表示されます。



2. お好みのオブジェクトまたはオブジェクトグループの横にある **非表示** のアイコンをクリックします。

- ▶ SICAT Endo はオブジェクトまたはオブジェクトグループを表示します。
- ▶ SICAT Endo では、オブジェクトまたはオブジェクトグループの横に **アイコン表示** が表示されます。

22.4 オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理



この機能は、特定のオブジェクトタイプを除いて利用できません。

オブジェクトに焦点を合わせる

この機能は、画像内でオブジェクトを探す目的で使用してください。

あるオブジェクトに焦点を合わせるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望のオブジェクトはすでにアクティブになっています。これに関する情報は以下を参照してください [オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理](#) [▶ ページ 100 - Standalone]。



- **アクティブ オブジェクトを合わせる(F)**のアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Endo は、ビューの焦点をアクティブなオブジェクトに移動させます。
- ▶ SICAT Endo には、ビュー内でアクティブなオブジェクトが表示されます。



オブジェクトへの合焦は、**オブジェクトブラウザ**からか、または、ビューで、オブジェクトをダブルクリックしても同様に可能です。ただし、**3D**画像を除きます。

オブジェクトおよびオブジェクトグループの除去

オブジェクトまたはオブジェクトグループを削除するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループは既にアクティブにしています。これに関する情報は以下を参照してください [オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理](#) [▶ ページ 100 - Standalone]。



- **アクティブ オブジェクト/アクティブグループを削除する(Del)**のアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Endo はオブジェクトまたはオブジェクトグループを除去します。

オブジェクトアクションを元に戻し、もう一度実行する

オブジェクトまたはオブジェクトグループに対して直前に行った操作を取り消して元に戻したり、再度、実行したりするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



1. **前回のオブジェクトアクションを元に戻す (Ctrl+Z)** のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo は、最後のオブジェクトアクションまたはグループアクションを元に戻します。



2. オブジェクト/グループアクションを再実行する (Ctrl+Y) のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Endo は、前回戻したオブジェクトアクションまたはグループアクションをもう一度実行します。



SICATアプリケーションで撮影結果を開いている間のみ、元に戻してもう一度実行することができます。

22.5 SICAT ENDOオブジェクト

SICAT Endoでは、**オブジェクトブラウザ**が、アプリケーション固有のオブジェクトグループとオブジェクトを次のようにグループに分類します。

- 口腔内撮影画像
- 光学印象
- Endo計画オブジェクト
 - EndoLine
 - ドリル穴
- 画像ギャラリー
 - 画像
 - スクリーンショット

口腔内撮影画像オブジェクトグループ



口腔内撮影画像のインポートおよび登録を完了させた後、SICAT Endoは、**オブジェクトブラウザ**に、**口腔内撮影画像**オブジェクトグループを表示します。**口腔内撮影画像**オブジェクトグループには、常に少なくとも1つの口腔内撮影画像が含まれています。SICAT Endo 各口腔内撮影画像の撮影日と撮影時刻を表示します。

光学印象オブジェクトグループ



少なくとも1つの光学印象をインポート・登録した後、SICAT Endoは、**光学印象**オブジェクトグループを**オブジェクトブラウザ**に表示します。**光学印象**オブジェクトグループには、次のオブジェクトが含まれている可能性があります。

- 上顎骨
- 下顎骨

1つのオブジェクトに焦点を当てると、SICAT Endoは、選択されたオブジェクトのすべての2Dビューに焦点を合わせます。

上顎骨のオブジェクトや**下顎骨**のオブジェクトを削除すると、SICAT Endoは、既存の光学印象をすべてスタディから削除します。

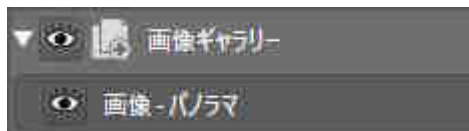
ENDO計画オブジェクトグループ



EndoLineとドリル穴の計画が完了した後、SICAT Endoは**Endo計画対象グループ**を **オブジェクトブラウザ**に表示します。**Endo計画オブジェクト**は、常に歯と結びつけられており、EndoLineとドリル穴の形としてのEndoLineウィザードの結果です。**Endo計画オブジェクトグループ**には、EndoLineオブジェクトおよびサブオブジェクトとしてのドリル穴が含まれています。ドリル穴は、常にEndoLineと結びつけられています。ドリル穴のおかげで、歯内治療計画を立てることができます。

オブジェクトの1つまたはサブオブジェクトのいずれか1つにピントを合わせると、SICAT Endoでは、いずれの2Dビューでも、選択しているオブジェクトにピントが合います。

ギャラリーオブジェクトグループ



次の内容は、**画像ギャラリーオブジェクトグループ**に適用されます。



- マウスポインタを**画像ギャラリーオブジェクトグループ**の上に合わせると、SICAT Endoが歯車のアイコンを表示します。歯車のアイコンをクリックすると、SICAT Endoは**レポート作成**ウィンドウを開きます。
- 機能**アクティブ オブジェクト/アクティブ グループを削除する(Del)**を使用し、**画像ギャラリーオブジェクトグループ**を削除することができます。SICAT Endo すべての関連する**画像オブジェクト**および**スクリーンショットオブジェクト**を削除します。

画像オブジェクト



次は、**画像オブジェクト**に適用されます：

- **画像**-オブジェクトは、**画像ギャラリー**オブジェクトグループの下部にあります。
- SICAT Endo 各2Dビュー用ワークスペースで1つの層のすべての描画オブジェクトをまとめ、**画像**オブジェクトを作成します。
- SICAT Endo 3Dビューのワークスペースで特定の目線と特定のズーム比のすべての描画オブジェクトをまとめ、**画像**オブジェクトを作成します。
- **画像**オブジェクトを作成および有効にした後、**オブジェクトブラウザ**は**プロパティ**エリアに次のことを表示します：
 - オブジェクトの作成時点
 - オブジェクトのプレビュー
- 機能**前回のオブジェクトアクションを元に戻す (Ctrl+Z)** と**オブジェクト/グループアクションを再実行する (Ctrl+Y)** は、個々の注釈に使用することができます。
- 機能**アクティブ オブジェクト/アクティブ グループを削除する (Del)**を使用すれば、**画像**オブジェクトおよび含まれるすべての注釈を一度に削除できます。SICAT Endo **画像**オブジェクトを、**オブジェクトブラウザ**から、そして**レポート作成**ウィンドウの両方から削除します。
- **画像**オブジェクトに焦点を合わせた場合、SICAT Endoは、含まれる最後の注釈が作成された時点に該当するビューを復元します。

スクリーンショットオブジェクト



次は、スクリーンショットオブジェクトに適用されます：

- スクリーンショット-オブジェクトは、**画像ギャラリーオブジェクトグループ**の下部にあります。
- SICAT Endo スクリーンショットオブジェクトをスクリーンショットごとに作成します。
- スクリーンショットオブジェクトを作成および有効にした後、**オブジェクトブラウザ**は**プロパティ**エリアに次のことを表示します：
 - オブジェクトの作成時点
 - オブジェクトのプレビュー
- 機能**アクティブ オブジェクト/アクティブ グループを削除する(Del)**を使用し、スクリーンショットオブジェクトを削除することができます。SICAT Endo スクリーンショットオブジェクトを、**オブジェクトブラウザ**から、そして**レポート作成**ウィンドウの両方から削除します。
- スクリーンショットオブジェクトに焦点を合わせた場合、SICAT Endoはオブジェクトを作成した時点で該当するビューを復元します。
- 表示および非表示機能は使用できません。

23 ワークスペース

SICATのアプリケーションでは、スタディを複数のビューで表示し、ワークスペースに画像をまとめて配置します。

SICAT Endoには、異なる2種類のワークスペースが用意されています。

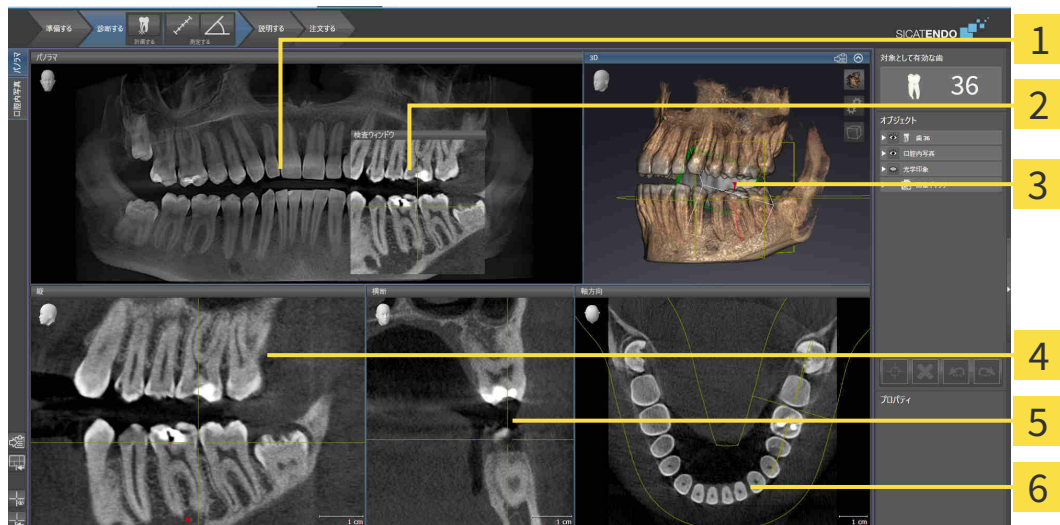


- **パノラマ-ワークステーション**- これに関する情報は、**パノラマワークスペースの概要** [▶ ページ 109 - Standalone]の節をご覧ください。
- **口腔内画像ワークスペース**- これに関する情報は、**口腔内撮影画像ワークスペースの概要** [▶ ページ 111 - Standalone]の節をご覧ください。

ワークスペースおよびそれに含まれるビュー用として、以下の操作を行うことができます。

- アクティブなワークスペースを切り替える。 [▶ ページ 112 - Standalone].
- アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット [▶ ページ 113 - Standalone].
- ビューの調整 [▶ ページ 116 - Standalone].
- 3Dビューを調整することもできます。これに関する情報は**3Dビューの調整** [▶ ページ 130 - Standalone]を参照してください。
- アクティブなワークスペースは、その内容を記録することができます。これに関する情報は**ワークスペースのスクリーンショットを作成する** [▶ ページ 114 - Standalone]を参照してください。

23.1 パノラマワークスペースの概要



1 パノラマビュー

2 検査ウィンドウ

3 3Dビュー

4 縦ビュー

5 横断ビュー

6 軸方向ビュー

パノラマビュー

パノラマビューは、仮想的なオルソパントモグラフィ（OPG）に相当します。これは、正射影を特定の太さのパノラマ曲線上に表示します。パノラマ曲線および太さを両顎に調整することができます。この調整に関する内容は、[パノラマエリアを調整する](#) [▶ ページ 148 - Standalone]の節をご覧ください。

検査ウィンドウ

検査ウィンドウは、パノラマビューに埋め込まれています。レイヤーをパノラマ曲線に対して平行にすることによって、パノラマビューに、3次元の画像が追加されることになります。検査ウィンドウは、表示/非表示することができます。この切替に関する内容は、[検査ウィンドウの移動、非表示、表示](#) [▶ ページ 126 - Standalone]の節をご覧ください。

3Dビュー

3Dビューには、開いている3D治療計画スタディの3Dビューを表示します。

縦ビュー

縦ビューには、パノラマ歯列弓に対して接線をなすレイヤーを表示します。

横断ビュー

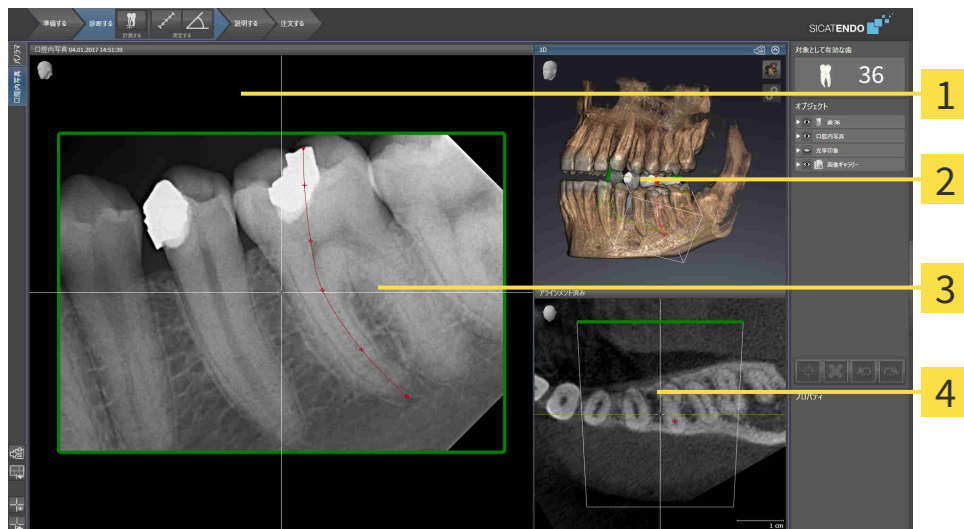
横断ビューには、パノラマ歯列弓に対して矢状断のレイヤーを表示します。

軸方向ビュー

デフォルトの軸方向ビューでは、上方からみたレイヤーを表示します。軸方向ビューでは、視線方向の切替が可能です。この切替に関する内容は、[可視化設定の変更](#) [▶ ページ 248 - Standalone]の節をご覧ください。

ビューの機能に関しては、[ビューの調整](#) [▶ ページ 116 - Standalone]および[3Dビューの調整](#) [▶ ページ 130 - Standalone]をご参照ください。

23.2 口腔内撮影画像ワークスペースの概要



1 口腔内撮影画像-ビュー

3 検査ウィンドウ

2 3D-ビュー

4 アラインメント済み-ビュー

口腔内撮影画像-ビュー

口腔内撮影画像ビューは、オブジェクトブラウザで選択された口腔内撮影画像を示します。

検査ウィンドウ

検査ウィンドウは、口腔内撮影画像ビューに埋め込まれています。レイヤーを口腔内撮影画像に対して平行にすることによって、口腔内撮影画像ビューに、3Dの画像が追加されることとなります。検査ウィンドウは非表示にしたり、表示して登録の確認や根管の評価のために使用することができます。

3D-ビュー

3Dビューには、開いているスタディの3Dビューを表示します。

アラインメント済み-ビュー

デフォルトでは、アラインメント済みビューは、口腔内撮影画像の断面を表示しますが、これは、口腔内撮影画像ビューにおける十字線の位置によって定義されます。

23.3 アクティブなワークスペースを切り替える.

アクティブなワークスペースを切り替えるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



- ワークスペースエリアの左上の隅にある任意のワークスペースタブをクリックします。
- ▶ 選択したワークスペースが開きます。

23.4 アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット

アクティブなワークスペースのレイアウトを調整する

アクティブなワークスペースのレイアウトのレイアウトを調整するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを二つ以上のビューの間を境界線上に移動させます。
 - ▶ マウスポインタの形状が切り替わります。



2. マウスの左ボタンをクリックしたら、その左ボタンを押したままにします。
3. マウスを動かします。
 - ▶ 境界線の位置が変わります。
 - ▶ 境界線の全側面でビューの大きさが変わります。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Endo では、境界線の現在位置、および、ビューの現在のサイズが、境界線のすべての側で維持されます。

アクティブなワークスペースのレイアウトをリセットする

アクティブなワークスペースのレイアウトをデフォルトに復元するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



- ワークスペースのツールバーで、アクティブなワークスペースのレイアウトをリセットするのアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Endo は、アクティブなワークスペースを標準のレイアウトにリセットします。これは、ソフトウェアがすべてのビューを標準サイズに表示することを意味しています。

23.5 ワークスペースのスクリーンショットを作成する

ワークスペースのスクリーンショットは、Windowsのクリップボードにコピーして、文書を作成する目的で使用することができます。

ワークスペースのスクリーンショットをWINDOWSのクリップボードにコピーする

ワークスペースのスクリーンショットをWindowsのクリップボードに追加するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ ご希望のワークスペースはすでにアクティブです。これに関する情報はアクティブなワークスペースを切り替える。[▶ ページ 112 - Standalone]を参照してください。



- ワークスペースのツールバーから、**アクティブなワークスペースのスクリーンショットをクリップボードにコピーする**のアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Endo では、ワークスペースのスクリーンショットがWindowsのクリップボードにコピーされます。



クリップボードからスクリーンショットを貼り付けることができるアプリケーションは、例えば、画像処理やワープロのソフトウェアなど多数あります。貼り付けのショートカットキーは、大半のアプリケーションで「Ctrl +V」を使用します。

24 ビュー

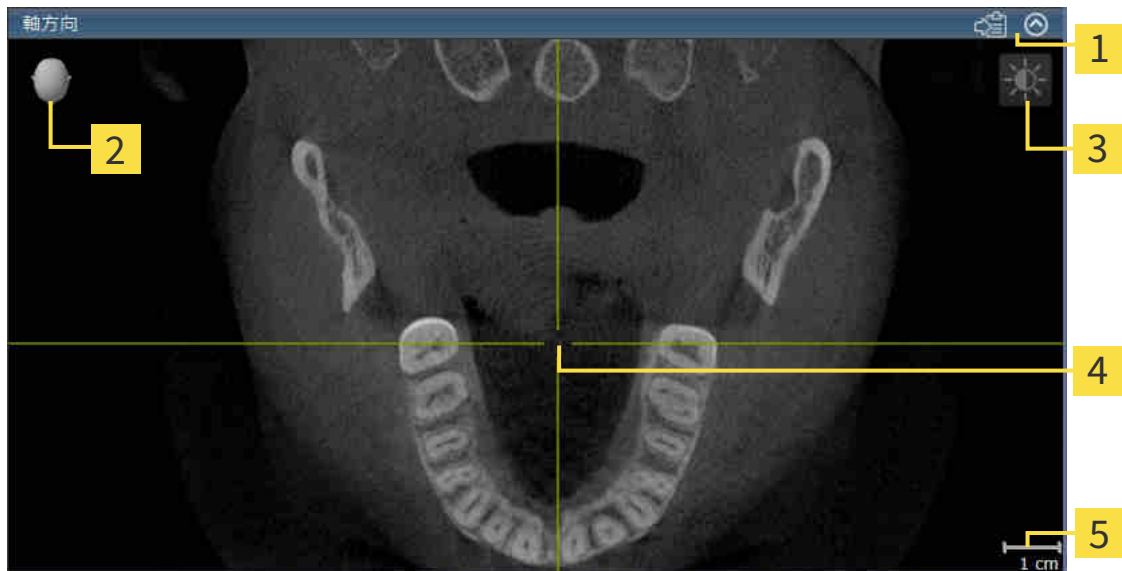
ビューはワークスペースに含まれています。ワークスペースとビューは、各種ありますが、その詳細は以下の節をご覧ください。 [ワークスペース](#) [▶ ページ 108 - Standalone].

ビューを調整することができます。これに関する情報は[ビューの調整](#) [▶ ページ 116 - Standalone]と [3Dビューの調整](#) [▶ ページ 130 - Standalone]を参照してください。

24.1 ビューの調整

ビューの調整に用いるツールの中には、アクティブなビュー以外では使用できないものもあります。ビューを有効にする手順は、次をご参照ください。 [アクティブなビューの切り替え](#) [▶ ページ 118 - Standalone]。

アクティブなビューに含まれる要素：



- 1 タイトルバー
- 2 オリエンテーションヘッド
- 3 画像のツールバー
- 4 十字線
- 5 尺度

2Dレイヤービューには十字線が表示されます。十字線は別のレイヤービューとの交差線です。SICAT Endo すべてのレイヤービューを同期させます。これは、全ての十字線が3D X線データ内で同じ位置に表示されることを意味します。これにより、円弧構造をビュー超しに割り当てることができます。

3Dビューでは、フレームを表示して、2Dレイヤービューの現在位置を表示します。

ビューの調整には、次の操作が使用できます：

- アクティブなビューの切り替え [▶ ページ 118 - Standalone]
- ビューの最大化および復元 [▶ ページ 120 - Standalone]
- 2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット [▶ ページ 121 - Standalone]
- ビューのズームおよび切り抜きの移動 [▶ ページ 123 - Standalone]
- レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール [▶ ページ 124 - Standalone]
- 十字線およびフレームの移動、非表示、表示 [▶ ページ 125 - Standalone]
- 検査ウィンドウの移動、非表示、表示 [▶ ページ 126 - Standalone]
- ビューをリセットする [▶ ページ 128 - Standalone]

3Dビューを調整することもできます。これに関する情報は、[3Dビューの調整](#) [▶ ページ 130 - Standalone]をご参照ください。

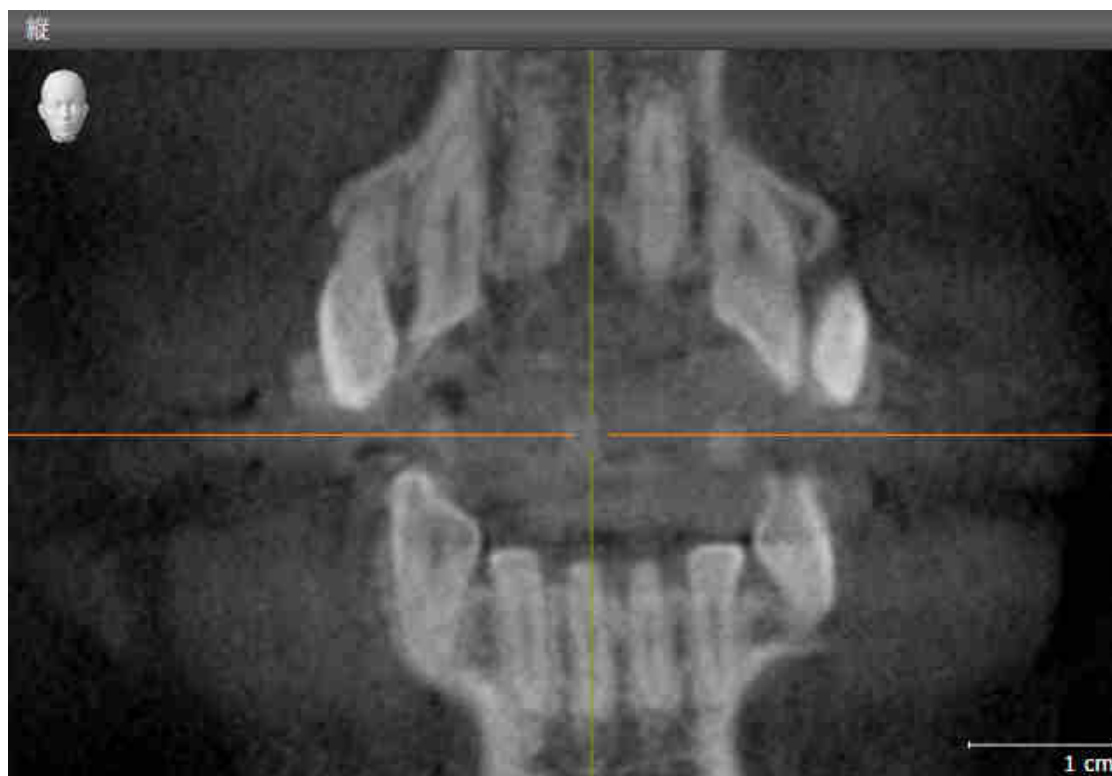
アクティブなビューの内容を記録することができます。これに関する情報は、[画像のスクリーンショットを作成する](#) [▶ ページ 129 - Standalone]をご参照ください。

24.2 アクティブなビューの切り替え

画像のツールバーとタイトルバーが表示されるのは、アクティブなビューに限ります。

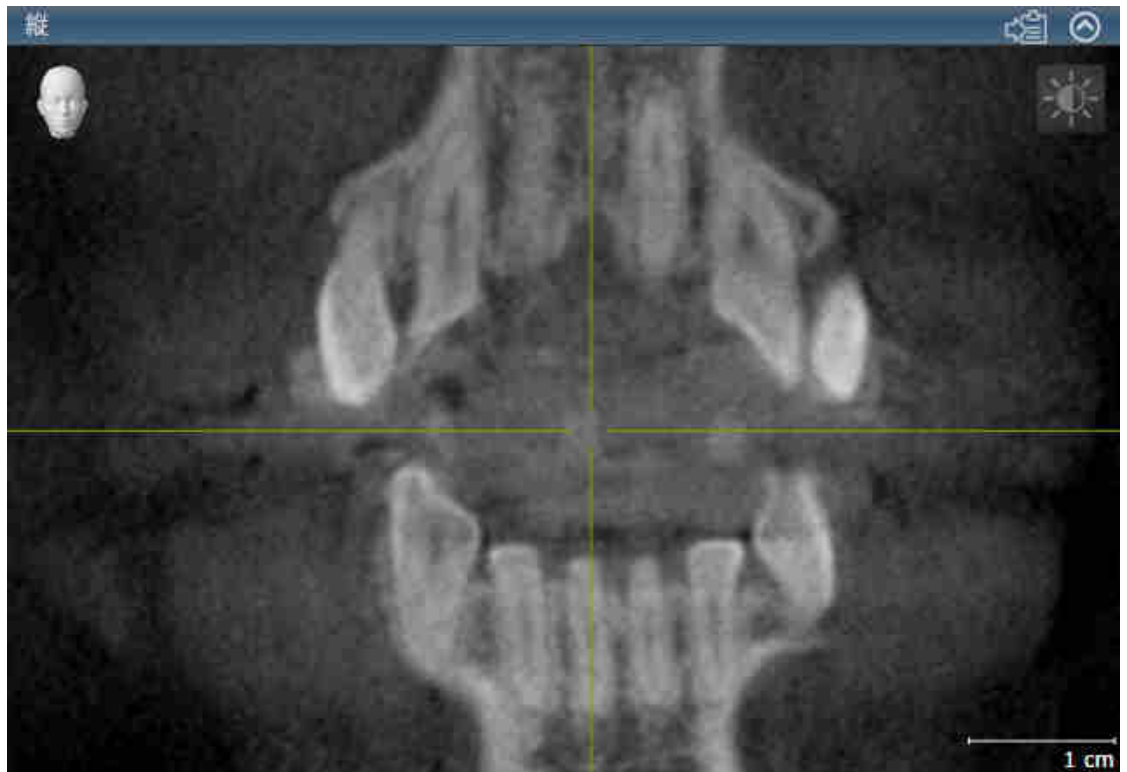
ビューをアクティブにするには、次のように行います。

1. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。



2. 希望のビューをクリックします。

▶ SICAT Endo がビューをアクティブにします。



アクティブなビューは、タイトルバーがオレンジ色になりますので、それとわかります。

24.3 ビューの最大化および復元

ビューの最大化および前回のサイズの復元は、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望のビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は以下を参照してください [アクティブなビューの切り替え](#) [▶ ページ 118 - Standalone]。
- ☑ 希望のビューは最大化していません。



1. 希望のビューのタイトルバーにある**最大化する**のアイコンをクリックします。
▶ SICAT Endo がビューを最大化します。



2. 最大化したビューのタイトルバーにある、**戻す**のアイコンをクリックします。
▶ SICAT Endo では、ビューが元のサイズに戻ります。



ビューの最大化および前回のサイズの復元のために、次の代替操作を使用できます。

- ビューを最大化するために、希望のビューのタイトルバーをダブルクリックすることができます。
- ビューの前回のサイズを復元するために、最大化したビューのタイトルバーをダブルクリックすることができます。

24.4 2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット

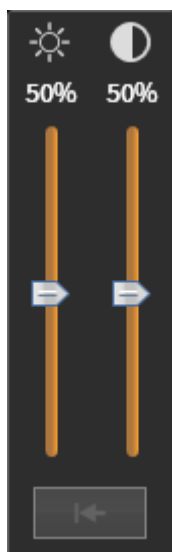
2Dビューで、明るさとコントラストを調整するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望の2Dビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報はアクティブなビューの切り替え [▶ ページ 118 - Standalone]を参照してください。



1. 2Dビューの画像のツールバーに**輝度およびコントラストの調整**のアイコンがありますので、それにマウスポインタを重ねます。

▶ **輝度およびコントラストの調整**の透明なウィンドウが開きます。



2. マウスポインタを**輝度**のスライダーに重ねます。
3. 左マウスボタンをクリックしたら、押したままにして、マウスポインタを上下方向に移動させます。

▶ SICAT Endo では、2Dビューを**輝度**のスライダー位置に応じた明るさに調整します。

4. マウスの左ボタンを放します。
- ▶ SICAT Endo は2Dビューの現在の輝度を保持します。



5. マウスポインタを**コントラスト**のスライダーに重ねます。
6. 左マウスボタンをクリックしたら、左マウスボタンを押したままにして、マウスポインタを上下方向に移動させます。

▶ SICAT Endo では、2Dビューを**コントラスト**のスライダー位置に応じたコントラストに調整します。

7. マウスの左ボタンを放します。
- ▶ SICAT Endo は2Dビューの現在のコントラストを保持します。

8. マウスポインタを、**輝度およびコントラストの調整**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **輝度およびコントラストの調整**の透明なウィンドウが閉じます。

2Dビューの明るさとコントラストをデフォルトに復元するときは、**明るさとコントラストをリセットする**のアイコンをクリックしてください。



全2Dレイヤービューの輝度とコントラストは相互に関連しています。

24.5 ビューのズームおよび切り抜きの移動

ビューのズーム

ズーム機能は、ビューの内容を拡大または縮小します。

ビューをズームするときには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
2. マウスホイールを前に回します。
▶ ビューがズームインします。
3. マウスホイールを後ろに回します。
▶ ビューがズームアウトします。



上記の手順に代えて、マウスホイールをクリックして、マウスを上下方向に移動させても、ズームインやズームアウトができます。

ビューの切り抜きを移動する

トリミング部分を移動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
2. マウスの右ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
▶ マウスポインタの形が切り替わります。
3. マウスを動かします。
▶ ビューの切り抜きは、マウスポインタの動きに応じて移動します。
4. マウスの右ボタンを放します。
▶ SICAT Endo では、移動後のトリミング部分がそのまま維持されます。

24.6 レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール

2Dレイヤービューで、レイヤーをスクロールするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを希望の2Dレイヤビュー上に動かします。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
 - ▶ マウスポインタは双方向の矢印になります。
3. マウスを上下方向に移動させます。
 - ▶ **横断**のレイヤーを除き、レイヤーは、平行に移動します。
 - ▶ **横断**のレイヤーは、パノラマ歯列弓に沿って移動した状態が表示されます。
 - ▶ SICAT Endo は別のビューのレイヤーおよび十字線を現在の焦点に応じて調整します。
 - ▶ SICAT Endo では、3Dビューで、その時点の焦点でピントが合うようにフレームの調整が行われます。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Endo では、スクロールしてからのレイヤーが維持されます。

24.7 十字線およびフレームの移動、非表示、表示

十字線の移動

2Dレイヤービューで、十字線を移動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 現在、すべての字線とフレームが表示されています。
- 1. マウスポインタを希望のビューで十字線の中心に動かします。
 - ▶ マウスポインタが下記の十字線に切り替わります。



- 2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
- 3. マウスを動かします。
 - ▶ ビューの十字線は、マウスポインタの動きに従います。
 - ▶ SICAT Endo は別のビューのレイヤーおよび十字線を現在の焦点に応じて調整します。
 - ▶ SICAT Endo では、3Dビューで、その時点の焦点でピントが合うようにフレームの調整が行われます。
- 4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Endo では、十字線が移動後の位置を維持します。



十字線をすぐにマウスポインタの位置へ移動させる場合、2Dビューでダブルクリックすることができます。

十字線およびフレームの非表示/表示

十字線およびフレームを非表示/表示にするには、次のように行います。

- ☑ 現在、すべての字線とフレームが表示されています。



- 1. ワークスペースのツールバーで、**十字線とフレームを非表示にする**のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo では、すべての2Dレイヤービューで十字線が隠れます。
 - ▶ SICAT Endo では、3Dビューでフレームが隠れます。



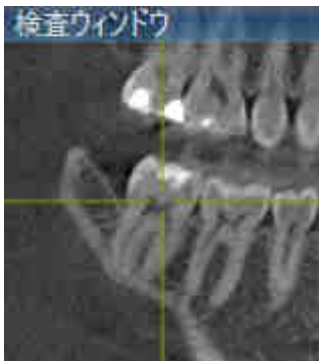
- 2. **十字線とフレームを表示する**のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo では、すべての2Dレイヤービューで十字線が表示されます。
 - ▶ SICAT Endo では、3Dビューでフレームが表示されます。

24.8 検査ウィンドウの移動、非表示、表示

検査ウィンドウの移動

検査ウィンドウを移動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ ワークスペースパノラマまたはワークスペース口腔内撮影画像はすでに開いています。これに関する情報は次を参照してください [アクティブなワークスペースを切り替える.](#) [▶ ページ 112 - Standalone]。
- ☑ 検査ウィンドウは、隠さずに表示しておきます。



1. パノラマビュー、または口腔内撮影画像ビューでマウスポインタを検査ウィンドウのタイトルバーに合わせてください。
 - ▶ マウスポインタは手のマークになります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
3. マウスを動かします。
 - ▶ 検査ウィンドウは、マウスポインタの動きに追従します。
 - ▶ SICAT Endo 別のビューのレイヤーおよび十字線を現在の焦点に応じて調整します。
 - ▶ SICAT Endo 3Dビューで、その時点の焦点でピントが合うようにフレームの調整します。
4. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo 検査ウィンドウが移動後の位置を維持します。

検査ウィンドウの非表示/表示



検査ウィンドウの表示と隠すの別を表示するアイコンは、ステータス表示と切替用のアイコンとを同時に兼ねています。

検査ウィンドウを非表示にしたり、表示したりするためには、以下の手順に従って操作を行ってください。

- ☑ ワークスペースパノラマまたはワークスペース口腔内撮影画像はすでに開いています。これに関する情報は、アクティブなワークスペースを切り替える。[▶ ページ 112 - Standalone]をご参照ください。
- ☑ 検査ウィンドウは、すでに表示されています。



1. 画像のツールバーのパノラマビューにおいてまたは口腔内撮影画像ビューにおいて、**検査ウィンドウを非表示にする**シンボルをクリックしてください。

▶ SICAT Endo **検査ウィンドウ**を非表示にします。



2. 画像のツールバーのパノラマビューにおいてまたは口腔内撮影画像ビューにおいて、**検査ウィンドウを表示する**シンボルをクリックしてください。

▶ SICAT Endo **検査ウィンドウ**を表示します。

24.9 ビューをリセットする

すべてのビューをリセットするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



- ワークスペースのツールバーで、**ビューをリセットする**のアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Endo では、すべてのビューで、ズームング、トリミング部分の移動、スクロール、十字線の移動、**検査ウィンドウ**の移動のそれぞれがデフォルト値に復元されます。
- ▶ SICAT Endo では、**3D**ビューで視線方向がデフォルト値に復元されます。

24.10 画像のスクリーンショットを作成する

画像のスクリーンショットを作成し、以下の手順で出力すると、文書作成を目的として使用することができます。

- Windowsのクリップボードにコピーする

画像のスクリーンショットをWINDOWSのクリップボードにコピーする

画像のスクリーンショットをWindowsのクリップボードに追加するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望のビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は[アクティブなビューの切り替え \[▶ ページ 118 - Standalone\]](#)を参照してください。



- ビューのタイトルバーから、**スクリーンショットをクリップボードにコピーする (Ctrl+C)** のアイコンをクリックします。

- ▶ SICAT Endo では、画像のスクリーンショットがWindowsのクリップボードにコピーされます。



クリップボードからスクリーンショットを貼り付けることができるアプリケーションは、例えば、画像処理やワープロのソフトウェアなど多数あります。貼り付けのショートカットキーは、大半のアプリケーションで「Ctrl+V」を使用します。

25 3Dビューの調整

3Dビューでは、随時、視線方向を変更することが可能です。これに関する情報は以下を参照してください [3Dビューの目線を変更する \[▶ ページ 131 - Standalone\]](#)。

3D画像の構成設定を行うときは、以下の操作を行うことができます。

- [3Dビューの表示タイプを切り替える \[▶ ページ 133 - Standalone\]](#)
- [3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する \[▶ ページ 134 - Standalone\]](#)
- [3Dビューを回転させる \[▶ ページ 200 - Standalone\]](#)

25.1 3Dビューの目線を変更する

3Dビューで視線方向を変更する手段は、2種類あります。

- インタラクティブ方式により変更を行う
- 標準目線を選択する

インタラクティブ方式により3Dビューの目線を変更する

3Dビューでインタラクティブ方式により視線方向を変更するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを 3D 画像に重ねます。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
 - ▶ マウスポインタは手のマークになります。
3. マウスを動かします。
 - ▶ 目線はマウスの動きに合わせて変化します。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Endo では、3Dビューで変更後の視線方向をそのまま維持します。

標準目線を選択する

3Dビューで、デフォルトの視線方向を選択するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



1. 3Dビューで左上隅にある、オリエンテーションヘッドのアイコンにマウスポインタを重ねます。
 - ▶ 目線の透明なウィンドウが開きます。



- ▶ 目線の透明なウィンドウ中央部で、オリエンテーションヘッドのハイライト表示されているものがありますが、それが現時点の視線方向です。
2. オリエンテーションヘッドのアイコンのうち、デフォルトにしたい視線方向を示しているものをクリックします。

- ▶ 3D画像の視線方向が、選択した視線方向に切り替わります。
3. マウスポインタを、目線の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。
- ▶ 目線の透明なウィンドウが閉じます。

25.2 3Dビューの表示タイプを切り替える



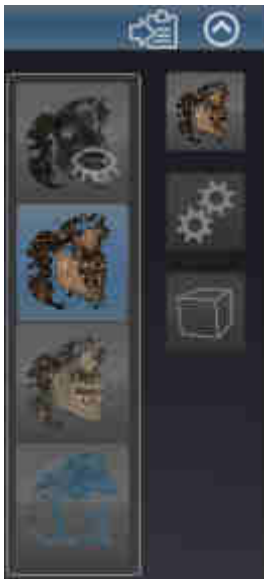
いずれの表示タイプも、すべてのワークスペースで使用できます。

3D画像の表示タイプを切り替えるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 3D画像を作業対象として選択しておきます。これに関する情報は以下を参照してください [アクティブなビューの切り替え](#) [▶ ページ 118 - Standalone]。

1. 3Dビューの画像のツールバーで、**表示モードを切り替える**のアイコンにマウスポインタを重ねます。

▶ **表示モードを切り替える**の透明なウィンドウが開きます。



2. 任意の表示タイプのアイコンをクリックします。

▶ SICAT Endo は希望の表示タイプをアクティブにします。

3. マウスポインタを、**表示モードを切り替える**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **表示モードを切り替える**の透明なウィンドウが閉じます。

25.3 3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する



アクティブな表示モードを設定するのアイコンを表示する表示タイプは、構成設定が可能なものに限られています。アクティブな表示モードを設定するの透明なウィンドウで表示される設定内容は、選択した表示タイプに適用されるものに限られています。

3Dビューで選択している表示タイプについて、構成設定を行うときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 3D画像を作業対象として選択しておきます。これに関する情報はアクティブなビューの切り替え [▶ ページ 118 - Standalone]を参照してください。
- ☑ 希望の表示タイプはすでにアクティブになっています。これに関する情報は3Dビューの表示タイプを切り替える [▶ ページ 133 - Standalone]を参照してください。
- ☑ アクティブな表示タイプは設定可能です。



1. 3Dビューの画像のツールバーで、アクティブな表示モードを設定するのアイコンにマウスポインタを重ねます。

▶ アクティブな表示モードを設定するの透明なウィンドウが開きます。



2. 希望のスライダーを動かします。
 - ▶ SICAT Endo では、3D画像に対して、スライダーの位置に応じた調整が行われます。
3. 表示があれば、詳細設定の横にある矢印アイコンをクリックします。
 - ▶ 詳細設定のコーナーがドロップダウンで展開します。
4. 使用できるチェックボックスをアクティブまたは無効にします。
 - ▶ SICAT Endo では、3D画像に対して、チェックボックス内のチェックマーク有無に応じた調整が行われます。
5. 希望のスライダーを動かします。
 - ▶ SICAT Endo では、3D画像に対して、スライダーの位置に応じた調整が行われます。

6. マウスポインタを、**アクティブな表示モードを設定する**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **アクティブな表示モードを設定する** の透明なウィンドウが閉じます。



現在の設定内容は、**現在の表示タイプの設定をデフォルト設定にリセットする**のボタンをクリックすると、変更前にプリセットしていた設定内容へ戻して復元することができます。



現在の設定内容は、**現在の表示タイプの設定をデフォルト設定として保存する**のボタンをクリックすると、プリセットの設定内容として保存できます。

25.4 3Dビューの切り抜きモードの切り替え

3Dビューの表示タイプを切り替えるには、次のように行います。

☑ **3D画像**を作業対象として選択しておきます。これに関する情報は**アクティブなビューの切り替え** [▶ ページ 118 - Standalone]を参照してください。

1. 3Dビューの**画像のツールバー**で、**切り抜きモードを切り替える**のアイコンにマウスポインタを重ねます。

▶ **切り抜きモードを切り替える**の透明なウィンドウが開きます。



2. 任意の切り抜きモードのアイコンをクリックします。

▶ SICAT Endo は任意の切り抜きモードを有効にします。

3. マウスポインタを、**切り抜きモードを切り替える**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

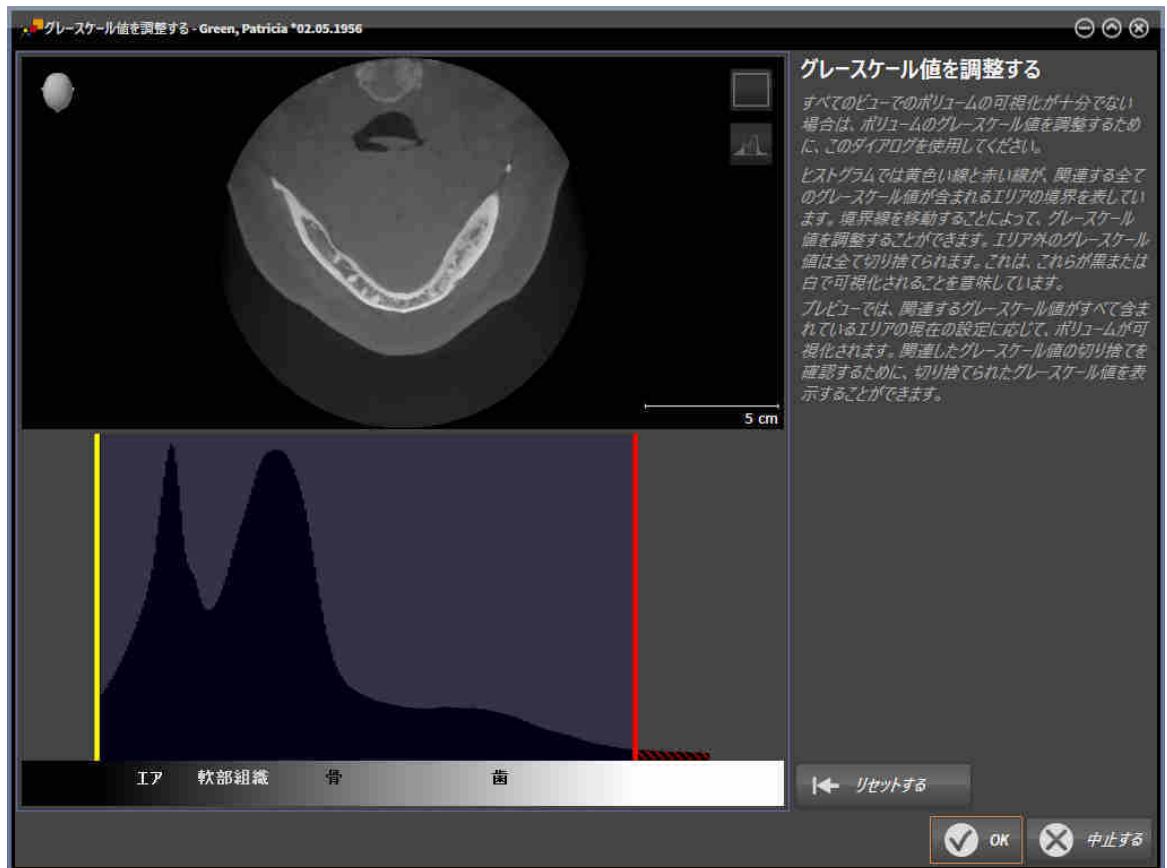
▶ **切り抜きモードを切り替える**の透明なウィンドウが閉じます。

26 グレースケール値



グレースケール値を他社製3D X線機器によって作成されたボリューム用としてのみ調整することができます。

ボリュームの表示が不十分な場合、ボリュームのグレースケール値をグレースケール値を調整するウィンドウで調整することができます。



グレースケール値を調整するウィンドウは二つの部分で構成されています。

- 上側は軸方向レイヤービューまたは冠状投影ビューを示しています。
- 下側は、グレースケール値の度数分布を含むヒストラムを示しています。

ヒストグラムでは黄色い線と赤い線が、関連する全てのグレースケール値が含まれるエリアの境界を表しています。境界を移動することによって、グレースケール値を調整することができます。SICAT Endo エリア外のグレースケール値を全て切り捨てます。これは、ソフトウェアがこれらを黒または白で表示することを意味しています。

SICAT Endo ボリュームを軸方向レイヤービューまたは冠状投影ビューで、関連する全てのグレースケール値が含まれるエリアに応じて表示します。SICAT Endoに関連するビュー情報が隠れていないことを確認するために、ソフトウェアは切り捨てたグレースケール値を表示することができます。

軸方向レイヤービューでは、レイヤーをスクロールし、これらを個別に切り捨てたグレースケール値でチェックすることができます。

冠状投影ビューでは、全てのレイヤーを一度に切り捨てたグレースケール値でチェックすることができます。

グレースケール値の調整は、全てのビューでボリュームの表示が不十分な場合にのみ行います。これに関する情報は**グレースケール値を調整する** [[▶ ページ 139 - Standalone](#)]を参照してください。

例えば、特定の解剖学的組織をハイライト表示するときは、2Dビューの明るさやコントラストを調整して、一時的に変更することができます。これに関する情報は**2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット** [[▶ ページ 121 - Standalone](#)]を参照してください。

その他、**3Dビュー**の表示を調整することができます。これに関する情報は**3Dビューの表示タイプを切り替える** [[▶ ページ 133 - Standalone](#)]、**3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する** [[▶ ページ 134 - Standalone](#)]と**3Dビューの切り抜きモードの切り替え** [[▶ ページ 136 - Standalone](#)]を参照してください。

26.1 グレースケール値を調整する

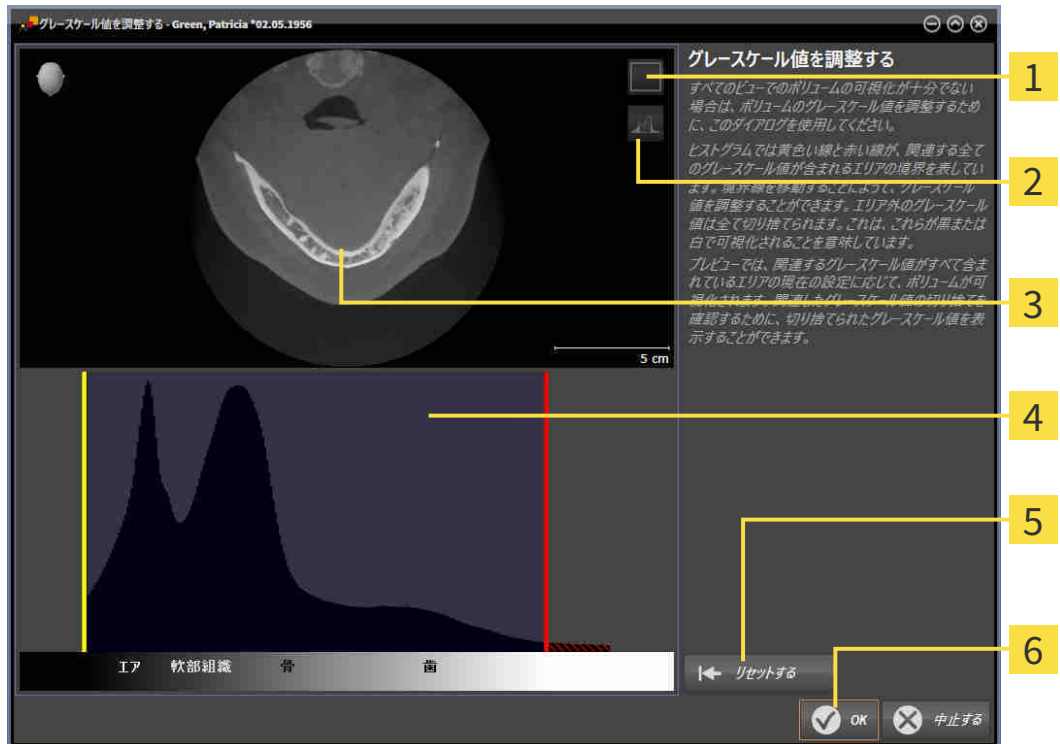
グレースケール値に関する一般的な情報は、[グレースケール値 \[▶ ページ 137 - Standalone\]](#)の節をご覧ください。

ボリュームのグレースケール値を調整するには、次の手順で行います。

- ☑ ワークフロー・ステップの**準備する**は、展開させておきます。



1. **グレースケール値を調整する**のアイコンをクリックします。
▶ **グレースケール値を調整する**のウィンドウが開きます。



- 1 アイコン**冠状の投影モード**をアクティブにするまたはアイコン **軸方向レイヤーモード**をアクティブにする
 - 2 アイコン切り捨てた**グレースケール値**を表示しないまたはアイコン **切り捨てたグレースケール値**を表示する
 - 3 **軸方向レイヤービュー**または**冠状投影ビュー**
 - 4 **ヒストグラム**
 - 5 ボタン**リセットする**
 - 6 ボタン**OK**
2. 軸方向レイヤーモードがアクティブであることを確認してください。必要に応じて、**軸方向レイヤーモード**をアクティブにするのアイコンをクリックします。
 3. 関連する全てのグレースケール値が含まれるエリアの下限を調整するには、**黄色い線**を移動させます。

- ▶ SICAT Endo は**軸方向**レイヤービューで全てのグレースケール値を適度に調整します。
 - ▶ SICAT Endo は関連する最低グレースケール値より低い全てのグレースケール値を黄色で表示します。
4. 軸方向レイヤーをスクロールします。関連する全てのグレースケール値が黄色で表示されていないことを確認します。必要に応じて、黄色い線をもう一度移動させます。
 5. 関連する全てのグレースケール値が含まれるエリアの上限を調整するには、赤色の線を移動させます。
 - ▶ SICAT Endo は**軸方向**レイヤービューで全てのグレースケール値を適度に調整します。
 - ▶ SICAT Endo は関連する最高グレースケール値より高い全てのグレースケール値を赤色で表示します。
 6. 軸方向レイヤーをスクロールします。関連する全てのグレースケール値が赤色で表示されていないことを確認します。必要に応じて、赤色の線をもう一度移動させます。
 7. **OK**をクリックします。
- ▶ **グレースケール値を調整する**ウィンドウが閉じ、SICAT Endoが調整されたグレースケール値に応じてすべてのビューでボリュームを表示します。

記載されている手順に加え、以下の操作が**グレースケール値を調整する**ウィンドウで使用できます：



- **冠状の投影モードをアクティブにする**アイコンをクリックして、すべてのレイヤーを一度に判断することもできます。**軸方向レイヤーモードをアクティブにする**アイコンをクリックすることにより、**軸方向レイヤービュー**を再び切り替えることができます。
- 両方の境界を一度に移動させるには、関連する全てのグレースケール値が含まれるエリアをクリックして移動させます。
- 関連する全てのグレースケール値が含まれるエリアを標準設定にリセットするには、**リセットする**ボタンをクリックします。
- 切り捨てられたグレースケール値を表示したくない場合、**切り捨てたグレースケール値を表示しない**アイコンをクリックします。
- 変更内容を保存しない場合、**中止する**をクリックします。

27 ボリュームの配置およびパノラマエリア



ボリュームの配置の調整が必要な場合は、作業開始に3D X線ビューでこれを実行してください。ボリュームの配置を後で調整する場合は、診断または計画の一部の場合によっては繰り返す必要があります。

ボリュームの配置

すべてのビューのボリューム配置は、3本の主軸にボリュームを回して調整できます。これは、次のような場合に必要になることがあります。

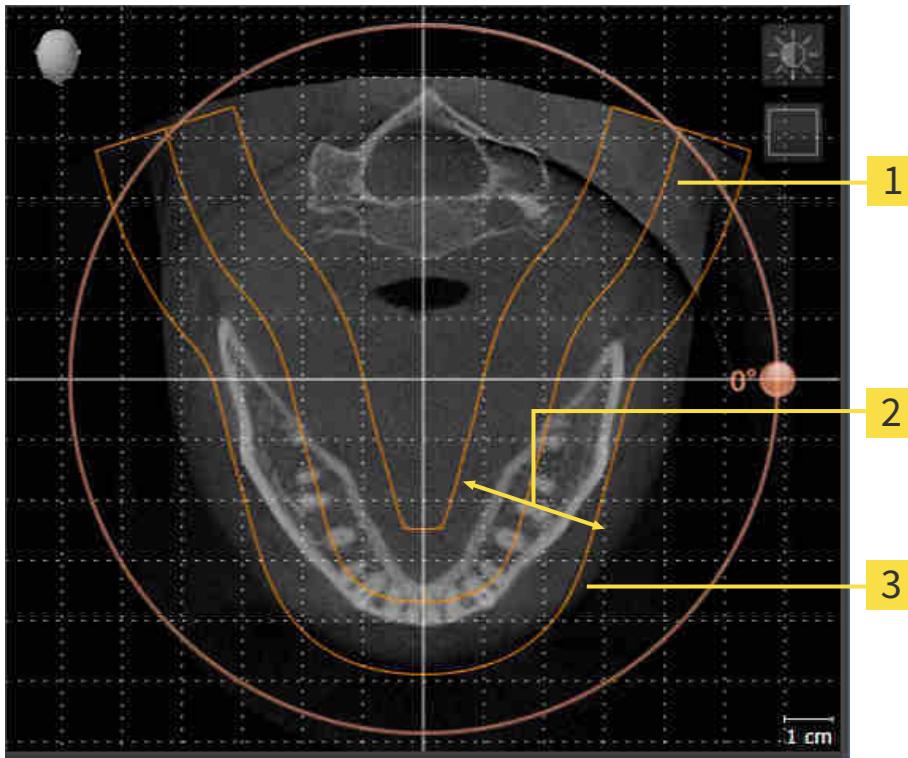
- 3D X線撮影の際に、患者の位置決めが最適ではなかった
- 軸方向レイヤーの配置がフランクフルト水平に平行または咬合平面に平行などの用途後の配置
- パノラマビューの最適化

SICAT Endoで、ボリュームの配置を調整すると、この調整した内容は、SICATの別アプリケーションすべてに適用されます。

ボリュームの配置を調整する手順は、[ボリュームの配置を調整する \[▶ ページ 143 - Standalone\]](#)の節をご覧ください。

パノラマエリア

SICAT Endo では、ボリュームとパノラマ エリアをベースとして計算を行い、パノラマ画像を出力します。パノラマビューを最適化するには、パノラマ エリアが患者の両顎と合致するように調整を行うとよいでしょう。これは、効果的かつ効率的な診断および治療計画のために重要となります。



1 パノラマ曲線

2 厚さ

3 パノラマエリア

パノラマ エリアは次の二つの要素によって確定されています。

- パノラマ歯列弓の形状と位置
- パノラマ エリアの幅

最適な調整結果を得るために、パノラマ エリアは、以下の2項目の条件をいずれも満たしておいてください。

- パノラマ エリアは、全ての歯と両顎が完全に含まれていなくてはなりません。
- パノラマ エリアは、できるだけ薄くしてください。

SICAT Endo で、パノラマ エリアを調整すると、この調整した内容は、SICATの別アプリケーションのすべてに適用されます。

パノラマ エリアを調整する手順は、以下の節をご覧ください。 [パノラマエリアを調整する](#) [▶ ページ 148 - Standalone].

27.1 ボリウムの配置を調整する

ボリウムの配置に関する一般的な情報はボリウムの配置およびパノラマエリア [▶ ページ 141 - Standalone] に記載されています。

ボリウムの配置は、以下の手順で調整を行います。

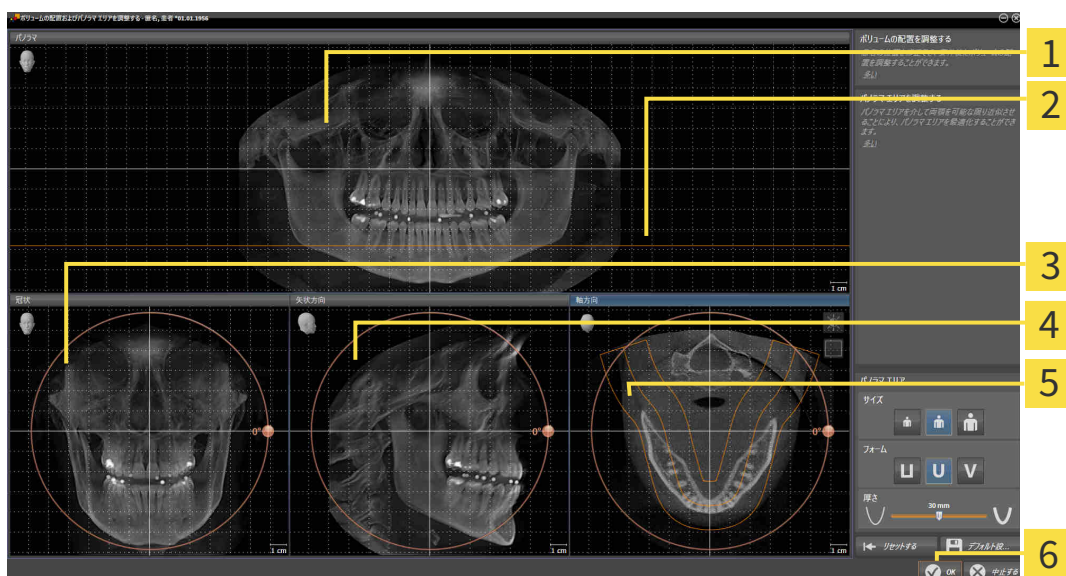
- ボリウムの配置およびパノラマエリアを調整するのウィンドウを開く
- 冠状ビューでボリウムを回す
- 矢状方向ビューでボリウムを回す
- 軸方向ビューでボリウムを回す

「ボリウムの配置およびパノラマエリアを調整する」のウィンドウを開く

ワークフロー・ステップの準備するは、展開させておきます。



- ボリウムの配置およびパノラマエリアを調整しますのアイコンをクリックします。
- ▶ ボリウムの配置およびパノラマエリアを調整するのウィンドウが開きます。



1 パノラマ-ビュー

2 軸方向基準線

3 冠状ビューと回転スライダー

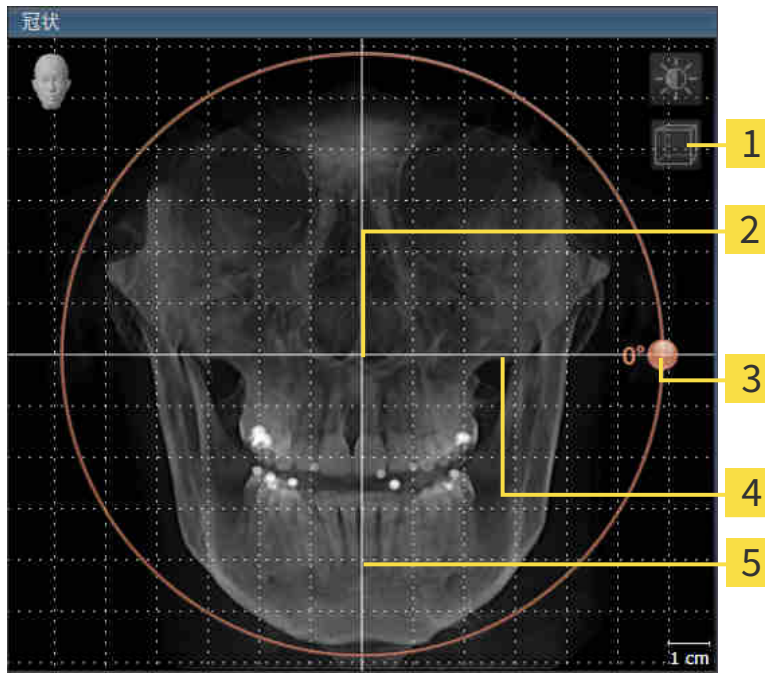
4 矢状方向ビューと回転スライダー

5 軸方向ビューと回転スライダー

6 ボタン OK

冠状ビューでボリウムを回す

1. 冠状ビューをアクティブにします。

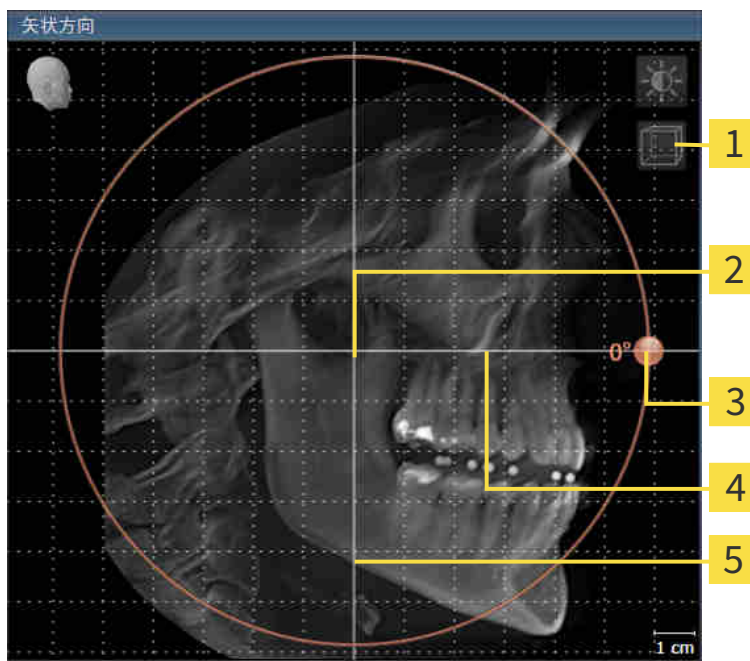


- アイコンレイヤーモードをアクティブにするまたはアイコン 投影モードをアクティブにする
- 1 アイコンレイヤーモードをアクティブにするまたはアイコン 投影モードをアクティブにする
- 2 回転中心
- 3 回転調整つまみ
- 4 水平基準線
- 5 垂直基準線

2. 投影モードがアクティブであることを確認してください。必要に応じて、**投影モードをアクティブにする**のアイコンをクリックします。
3. マウスポインタを**回転調整つまみ**に重ねます。
4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
5. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転調整つまみ**を移動させます。
 - ▶ SICAT Endo では、**冠状ビュー**で立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。
6. 希望するボリウムの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。水平基準線、垂直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。

矢状方向ビューでボリユームを回す

1. 矢状方向ビューをアクティブにします。

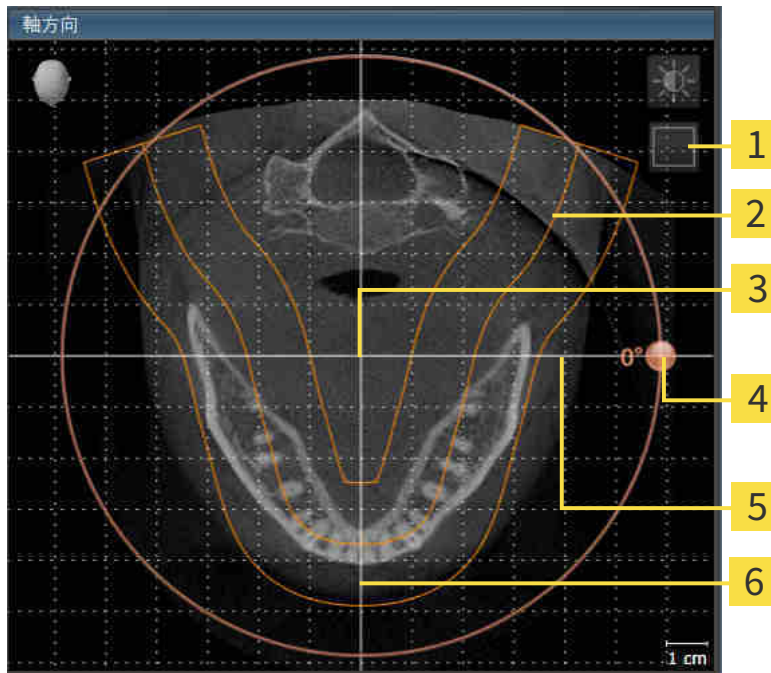


- アイコンレイヤーモードをアクティブにするまたはアイコン 投影モードをアクティブにする
- 1 アイコンレイヤーモードをアクティブにするまたはアイコン 投影モードをアクティブにする
- 2 回転中心
- 3 回転調整つまみ
- 4 水平基準線
- 5 垂直基準線

2. 投影モードがアクティブであることを確認してください。必要に応じて、**投影モードをアクティブにする**のアイコンをクリックします。
3. マウスポインタを**回転調整つまみ**に重ねます。
4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
5. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転調整つまみ**を移動させます。
 - ▶ SICAT Endo では、**矢状方向ビュー**で立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。
6. 希望するボリユームの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。水平基準線、垂直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。

軸方向ビューでボリウムを回す

1. 軸方向ビューをアクティブにします。



アイコン投影モードをアクティブにする

- | | |
|----------------------------------|------------------|
| 1 またはアイコンレイヤーモードをアクティブにする | 4 回転調整つまみ |
| 2 パノラマエリア | 5 水平基準線 |
| 3 回転中心 | 6 垂直基準線 |

2. レイヤーモードがアクティブであることを確認してください。必要に応じて、**レイヤーモードをアクティブにする**のアイコンをクリックします。
3. 例えば、パノラマビューで軸方向基準線をマウスの左ボタンをクリックし、左ボタンを押したままマウスを上下に動かして下顎骨/歯の根のレイヤーをスクロールします。
4. その必要があれば、パノラマエリアの移動は、**軸方向ビュー**で行います。このときは、パノラマエリア上で左マウスボタンをクリックしたら、左マウスボタンを押したまま、マウスを移動させます。SICAT Endo では、パノラマエリアが移動すれば、それに応じて、回転中心、水平基準線、垂直基準線がいずれも移動します。
5. マウスポインタを**回転調整つまみ**に重ねます。
6. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
7. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転調整つまみ**を移動させます。
 - ▶ SICAT Endo では、**軸方向ビュー**で立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。

8. 希望するボリュームの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。パノラマエリア、水平基準線、垂直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。
9. 調整した後の内容を保存するときは、**OK**をクリックします。
 - ▶ ボリュームの配置を調整すると、それがSICATのアプリケーションに現在あるオブジェクトに影響する場合は、SICAT Endoで、通知ウィンドウが開き、影響の詳細に関してお知らせします。
10. それでもなお、ボリュームの配置の調整を行いたいときは、通知ウィンドウに**調整する**のボタンがありますので、それをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo は調整されたボリュームの配置を保存し、配置に応じてボリュームをすべてのビューで表示します。

説明のある手順に加えて、**ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する**のウィンドウでは、以下の各操作が可能です。



- 2Dビューでは、明るさやコントラストを調整できます。このときは、希望のビューをアクティブにし、**輝度およびコントラストの調整**のアイコンをクリックしてください。これに関する情報は**2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット** [▶ ページ 121 - Standalone]を参照してください。
- ビューでズームすることができます。SICAT Endo **軸方向**ビューの画像付のビュー間のズームを同期します。
- **リセットする**のボタンをクリックすると、ボリュームの配置やパノラマエリアをデフォルトに復元できます。
- **デフォルト設定を保存する**のボタンをクリックすると、立体画像の現時点の方向や現時点のパノラマエリアを、プリセットの設定内容として保存できます。
- 調整した後の内容を保存する必要がないときは、**中止する**をクリックしてください。

27.2 パノラマエリアを調整する

パノラマエリアに関する一般的な情報は、[ボリユームの配置およびパノラマエリア](#) [[▶ ページ 141 - Standalone](#)]の節をご覧ください。

パノラマエリアの調整は、以下の手順で調整を行います。

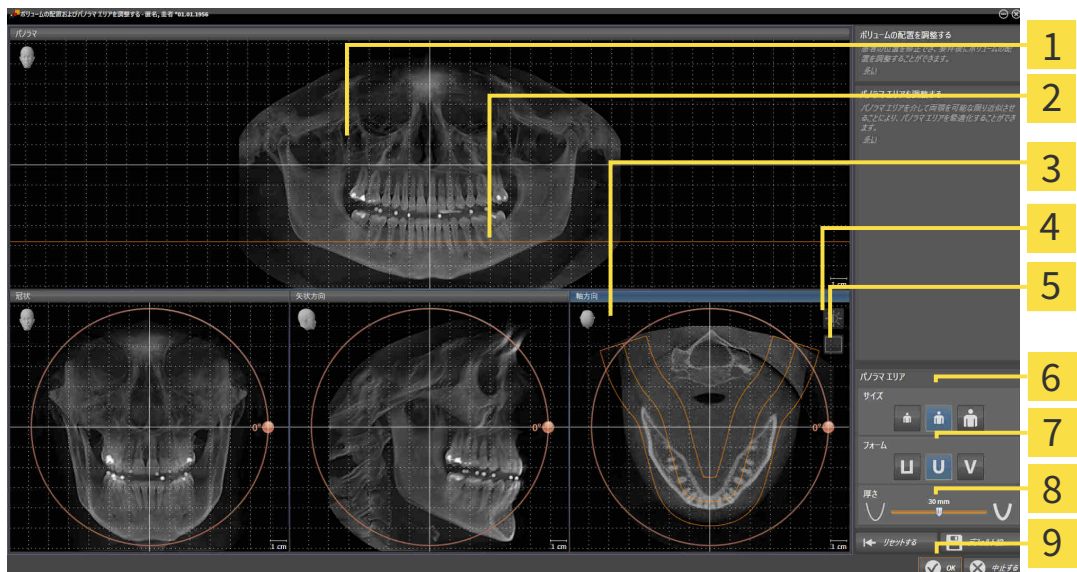
- **ボリユームの配置およびパノラマエリアを調整する**のウィンドウを開く
- 軸方向ビューのレイヤー位置を調整する
- パノラマエリアを移動する
- 軸方向ビューでボリユームを回す
- サイズ、フォーム、厚さのそれぞれのパノラマエリアを調整する

「ボリユームの配置およびパノラマエリアを調整する」のウィンドウを開く

ワークフロー・ステップの**準備する**は、展開させておきます。



- ボリウムの配置およびパノラマエリアを調整しますのアイコンをクリックします。
- ▶ ボリウムの配置およびパノラマエリアを調整する のウィンドウが開きます。



- | | |
|------------------------------|-------------------|
| 1 パノラマ-ビュー | 6 サイズ-ボタン |
| 2 軸方向基準線 | 7 フォーム-ボタン |
| 3 軸方向ビューと回転スライダー | 8 厚さ-スライダー |
| 4 アイコン 輝度およびコントラストの調整 | 9 ボタン OK |
- 5** アイコン 投影モードをアクティブにする
またはアイコン レイヤーモードをアクティブにする

軸方向ビューのレイヤー位置を調整する



1. 軸方向ビューで、レイヤーモードが選択されていることを確認します。必要に応じて、**レイヤーモードをアクティブにする**のアイコンをクリックします。
2. パノラマビューで、軸方向基準線にマウスポインタを重ねます。軸方向基準線は、**軸方向ビュー**の現在のレイヤー位置を示しています。
3. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
4. マウスを上下方向に移動させます。
 - ▶ **軸方向画像**のレイヤーは、**パノラマビュー**で、水平断面の基準線がある位置に合わせて、調整が行われます。
5. 軸方向基準線が下顎骨/歯の根に来たら、マウスの左ボタンから指を放します。
 - ▶ **軸方向ビュー**では、調整後のレイヤーが表示されて維持されます。

パノラマエリアを移動する

1. **軸方向ビュー**で、マウスポインタをパノラマエリアに重ねます。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
 - ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
3. マウスを動かします。
 - ▶ SICAT Endo では、マウスポインタの位置に合わせて、パノラマエリアの調整が行われません。
4. パノラマエリアの中央の曲線が下顎骨/歯の根に来たら、マウスの左ボタンから指を放しません。
 - ▶ パノラマエリアは現在位置を保持します。

軸方向ビューでボリウムを回す

1. **軸方向ビュー**で、マウスポインタを**回転調整つまみ**に重ねます。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転調整つまみ**を移動させます。
 - ▶ SICAT Endo では、**軸方向ビュー**で、**回転調整つまみ**に合わせて、立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。
4. 下顎骨/歯の根がパノラマエリアの中央の曲線に来たら、マウスの左ボタンから指を放しません。

パノラマエリアのサイズ、フォームおよび厚さを調整する



1. パノラマエリアの**サイズ**は、患者の下顎骨と合致が最も良好なものを選択します。このときは、そのサイズに該当する、**サイズ**のボタンをクリックします。



2. パノラマエリアの**フォーム**は、患者の下顎骨と合致が最も良好なものを選択します。このときは、そのサイズに該当する、**フォーム**のボタンをクリックします。



3. **軸方向ビュー**で、投影モードが選択してあることを確認します。必要に応じて、**投影モードをアクティブにする**のアイコンをクリックします。



4. **厚さ**のスライダー位置を移動させて、パノラマエリアの**厚さ**を選択します。パノラマエリアに全ての歯と両顎が完全に含まれていることを確認します。厚さは、できるだけ薄くしてください。

5. 調整した後の内容を保存するときは、**OK**をクリックします。

▶ SICAT Endo では、ボリュームの配置とパノラマエリアについて、いずれも調整した後のものが保存され、パノラマ画像は、その調整後のデータにより表示されます。

説明のある手順に加えて、**ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する**のウィンドウでは、以下の各操作が可能です。



- 2Dビューでは、明るさやコントラストを調整できます。このときは、希望のビューをアクティブにし、**輝度およびコントラストの調整**のアイコンをクリックしてください。これに関する情報は**2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット** [▶ ページ 121 - Standalone]を参照してください。
- ビューでズームINGすることができます。SICAT Endo **軸方向**ビューの画像付のビュー間のズームINGを同期します。
- **リセットする**のボタンをクリックすると、ボリュームの配置やパノラマエリアをデフォルトに復元できます。
- **デフォルト設定を保存する**のボタンをクリックすると、立体画像の現時点の方向や現時点のパノラマエリアを、プリセットの設定内容として保存できます。
- 調整した後の内容を保存する必要がないときは、**中止する**をクリックしてください。

28 光学印象



光学印象は、Sirona 3D X線機器で作成したX線データにのみインポートおよび記録することができます。

SICAT Endo 同じ患者1名について、X線撮影画像と光学印象の対応が相互にとれていれば、その両者を同時に表示できます。表示の組み合わせは、分析および診断のための追加情報を提供します。さらに、治療の実施は光学印象をベースにしています。

光学印象を含むデータを SICAT Endo で使用するには、次の操作が必要となります。

- X線データへの光学印象の記録

SICAT Endo は、次の光学印象用ファイルフォーマットに対応しています。

- SIXDファイル（上顎骨の光学印象と下顎骨の光学印象が含まれます）
- SSIファイル（上顎骨の光学印象と下顎骨の光学印象が含まれます）
- 上顎または下顎の光学印象を含むSTLファイル (SICAT Suite STL インポートライセンスが必要です)

次のツールは光学印象に使用することができます。

- 光学印象をインポートし記録する [▶ ページ 153 - Standalone]
- 他のSICATアプリケーションからの光学印象を再使用する [▶ ページ 161 - Standalone]
- 光学印象のアクティベーション、非表示および表示に関する情報はオブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ ページ 100 - Standalone]をご覧ください。
- 光学印象に焦点を当てること、および光学印象を削除することに関する情報は、オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ ページ 102 - Standalone]の節をご覧ください。

STL形式の光学印象はインポートの際に追加の操作が必要です。これに関する情報はSTLフォーマットの光学印象の場合の追加手順 [▶ ページ 159 - Standalone]を参照してください。

28.1 光学印象をインポートし記録する



注意

3D X線撮影画像以外のデータを唯一の情報源として使用すると、結果として、診断や治療を誤ることになりかねません。

1. 診断や治療計画の立案にあたって利用する情報源としては、3D X線撮影画像を優先させてください。
2. 光学印象データなどの他のデータは、補助的な情報源としてのみ利用してください。



注意

不適切な光学印象用機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず医療機器として承認されている機器の光学印象データを使用してください。



注意

3D X線撮影画像の患者と日付が一致しない光学印象データを使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

患者データの患者と日付が、表示された3D X線撮影画像の患者および日付と一致していることを確認してください。



注意

光学印象データのインテグリティまたは品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

インポートした光学印象データのインテグリティと品質を確認してください。



注意

光学印象データの品質および正確性が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および正確性の光学印象データを利用してください。



注意

過度なアーチファクト、不十分な解像度、または記録のための点の欠如は、光学印象の記録に失敗する原因になるおそれがあります。
例：3D X線撮影画像の過度なアーチファクトは、モーション/メタルアーチファクトです。

必ず正確な記録を可能にする光学印象と3D X線撮影画像のみを使用してください。



注意

互いに一致しない光学印象の記録プロセスでマークを選択すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

光学印象データを記録する場合、3D X線撮影画像と光学印象に一致するマーキングで慎重に選択します。

**注意**

間違って記録された光学印象データおよび3D X線撮影画像を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

記録された光学印象が3D X線撮影画像に対して正確に配置されているか確認してください。



これにより、3DX線撮影画像と光学印象が互いに適合しているかどうか確認することができ、アシスタント**光学印象をインポートし記録する**が患者データを常時表示し、設定**匿名にする**を無視します。



光学印象がX線データに正確に配置されているか検査するには、**検査ウィンドウ**を使用することができます。**検査ウィンドウ**を移動し、**検査ウィンドウ**でレイヤーをスクロールすることができます。

光学印象に関する一般的な情報は、**光学印象** [▶ ページ 152 - Standalone]をご参照ください。

光学印象のインポートおよび登録は、次のように行います。

☑ ワークフロー・ステップの**準備する**は、展開させておきます。



1. **光学印象をインポートし記録する**のアイコンをクリックしてください。

▶ **インポートする**のステップで、**光学印象をインポートし記録する**ウィザードが開いています。

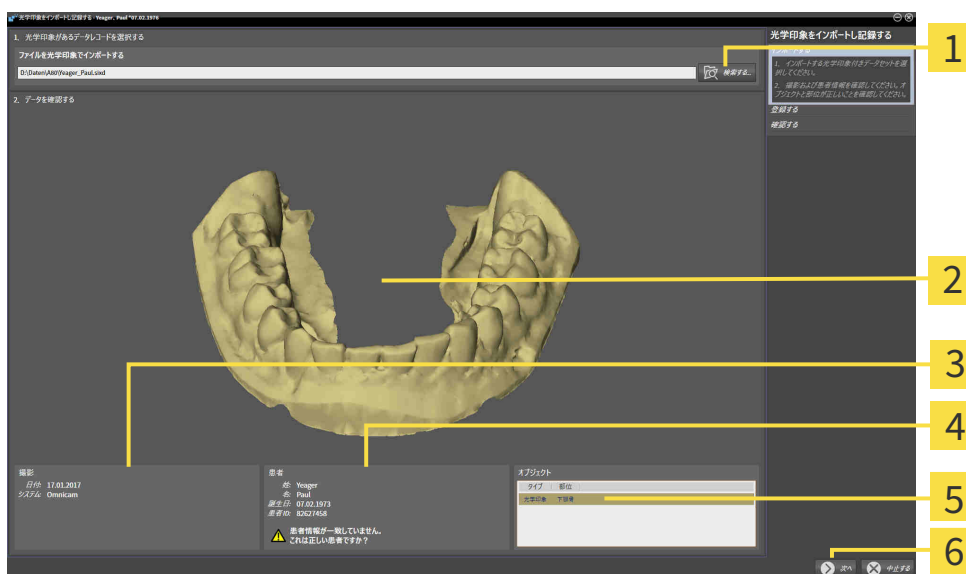
2. **検索する**のボタンをクリックしてください。

▶ **ファイルを光学印象で開く**のウィンドウが開きます。

3. **ファイルを光学印象で開く** ウィンドウで、光学印象を含む任意のファイルに切り替え、ファイルを選択し、**開く**をクリックします。

▶ **ファイルを光学印象で開く**ウインドウが閉じます。

▶ SICAT Endo 光学印象を含む選択されたファイルを開きます。



1 エリア ファイルを光学印象でインポートする

4 患者情報

2 3D-光学印象のビュー

5 オブジェクトリスト

3 撮影図情報

6 ボタン 次へ

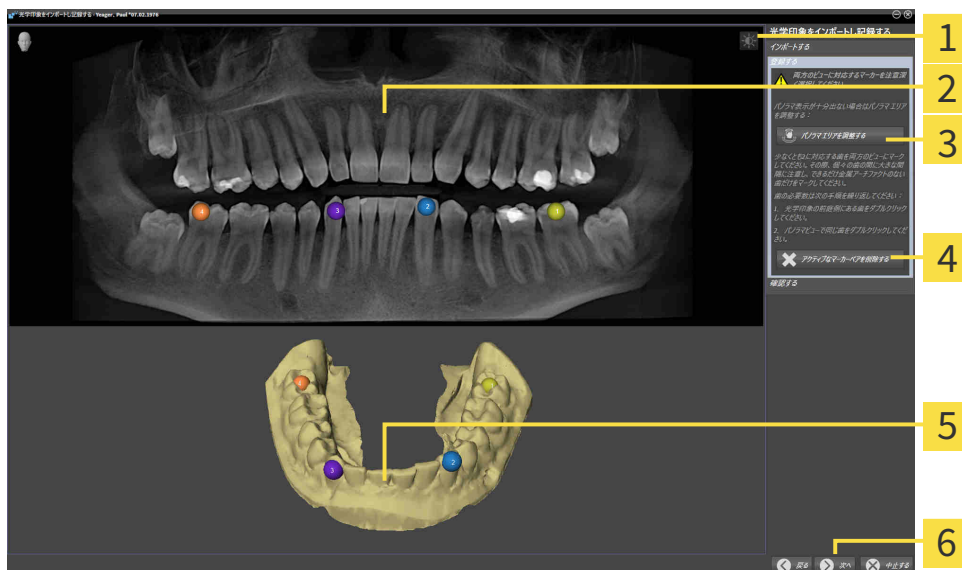
4. 撮影図情報と患者情報を確認してください。
5. オブジェクトと部位が正しいことを確認してください。オブジェクトリストの背景色は3Dビューでのオブジェクトの色に相当します。
6. 次へをクリックします。

- ▶ 3D X線撮影画像の患者データと光学印象のそれが異なる場合、SICAT Endoは、異なる患者情報ウィンドウを開きます。



7. 患者情報を比較してください。光学印象が現在の患者と一致していることを確認できる場合は、はいボタンをクリックしてください。

- ▶ 登録するのステップが開きます。



- | | |
|------------------------------|--------------------------------|
| 1 シンボル 輝度およびコントラストの調整 | 4 ボタン アクティブなマーカーパーを削除する |
| 2 パノラマビュー | 5 3Dビュー(光学印象が表示されます) |
| 3 ボタン パノラマエリアを調整する | 6 ボタン 次へ |

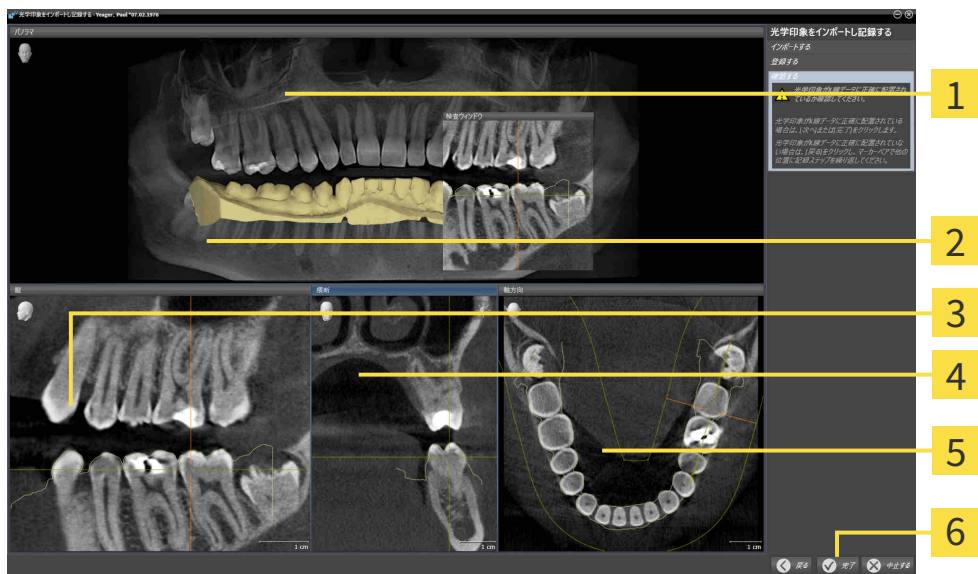
8. パノラマビューの光学印象および3Dビューの光学印象の前庭側の両方で、同じ歯をマウスの左ボタンでダブルクリックします。その際、個々の歯の間に大きな間隔に注意し、金属アーチファクトのない歯だけをマークしてください。両方のビューで一致する歯が2個以上識別表示されるまで、この手順を繰り返します。

- ▶ 両方のビューにある様々な色と番号のマークは、光学印象の割り当てられた歯を示しています。

9. 次へをクリックします。

- ▶ SICAT Endo X線データによる光学印象の記録を計算します。

- ▶ 確認するのステップが開きます。



- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 パノラマ-ビュー 2 検査ウィンドウ 3 縦-ビュー | <ol style="list-style-type: none"> 4 横断-ビュー 5 軸方向-ビュー 6 ボタン 完了 |
|--|---|

10. 光学印象がX線データに正確に配置されているか2Dレイヤービューを確認してください。レイヤーをスクロールし、表示されている輪郭をチェックしてください。

11. 光学印象がX線データに正確に配置されていない場合、戻る ボタンをクリックし、別の位置にあるマーカーのペアで登録するのステップを繰り返してください。

12. 光学印象がX線データに正確に配置されている場合は、完了ボタンをクリックします。

- ▶ 光学印象をインポートし記録するウィザードが閉じます。

- ▶ SICAT Endo 選択した光学印象をオブジェクトブラウザに追加する

- ▶ SICAT Endo 記録されている光学印象を表示します。



記載されている手順に加え、以下の操作が**光学印象をインポートし記録する**で使用できます。

- アイコン**輝度およびコントラストの調整**をクリックして、2Dビューの輝度およびコントラストを調整することができます。これに関する情報は**2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット** [▶ ページ 121 - Standalone]を参照してください。
- パノラマエリアは、**パノラマエリアを調整する**アイコンをクリックして調整することができます。これに関する情報は**パノラマエリアを調整する** [▶ ページ 148 - Standalone]を参照してください。
- **登録する** で特定のマーカーペアを削除する場合、ペアのマーカーを選択し、**アクティブなマーカーペアを削除する**ボタンをクリックします。
- 光学印象のインポートおよび記録を中断する場合、**中止する**をクリックします。

28.2 STLフォーマットの光学印象の場合の追加手順

STLファイルに光学印象の位置と向きに関する情報は含まれていません。そのため、位置と向きを必要に応じて調整する必要があります。

☑ SICAT Suite STL Importライセンスは既に有効化済みです。

1. STL形式のファイルから光学印象を開きます。これに関する情報は光学印象をインポートし記録するを参照してください。

▶ ウィンドウSTLインポートアシスタントが開きます。



1 顎の選択

3 内側と外側の交換

2 向きの変更

4 ボタン OK

2. 顎エリアで光学印象が上顎骨か下顎骨のいずれを含んでいるか、対応するアイコンをクリックして選択してください。



3. 大まかな事前配置のために、向きエリアで矢印アイコンまたは回転アイコンをクリックすることで、必要に応じて光学印象の向きを変更してください。

4. パラメータエリアで光学印象表示をクリックすることで、光学印象の内側と外側を必要に応じて交換してください。

5. OKのボタンをクリックします。

6. 必要に応じて二つ目のSTLファイルに同様の手順を行ってください。SICAT Endo 二つ目のSTFファイルをそれぞれ異なる顎に割り当てます。

▶ SICAT Endo にインポートした光学印象が光学印象をインポートし記録するがアシスタントに表示されます。

7. 光学印象の登録に進みます。これに関する情報は光学印象をインポートし記録するを参照してください。

28.3 他のSICATアプリケーションからの光学印象を再使用する



注意

3D X線撮影画像以外のデータを唯一の情報源として使用すると、結果として、診断や治療を誤ることになりかねません。

1. 診断や治療計画の立案にあたって利用する情報源としては、3D X線撮影画像を優先させてください。
2. 光学印象データなどの他のデータは、補助的な情報源としてのみ利用してください。



注意

不適切な光学印象用機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず医療機器として承認されている機器の光学印象データを使用してください。



注意

3D X線撮影画像の患者と日付が一致しない光学印象データを使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

患者データの患者と日付が、表示された3D X線撮影画像の患者および日付と一致していることを確認してください。



注意

光学印象データのインテグリティまたは品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

インポートした光学印象データのインテグリティと品質を確認してください。



注意

光学印象データの品質および正確性が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および正確性の光学印象データを利用してください。



注意

間違って記録された光学印象データおよび3D X線撮影画像を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

記録された光学印象が3D X線撮影画像に対して正確に配置されているか確認してください。



これにより、3DX線撮影画像と光学印象が互いに適合しているかどうか確認することができ、アシスタント光学印象をインポートし記録するが患者データを常時表示し、設定匿名にするを無視します。

光学印象に関する一般的な情報は、以下の節をご覧ください。 [光学印象](#) [▶ ページ 152 - Standalone].

他のSICATアプリケーションからの光学印象を再使用するには、次のように行います：

- ☑ ワークフロー・ステップの**準備する**は、展開させておきます。
- ☑ 開いているスタディのために、光学印象を他のSICATアプリケーションにすでにインポートしましたが、SICAT Endoでまだ使用していません。

1. **光学印象をインポートし記録する**のアイコンをクリックします。

- ▶ **インポートする**のステップで、アシスタント機能**光学印象をインポートし記録する**が開いています。

2. **他のSICATアプリケーションからの光学印象を再使用する**エリアで希望の光学印象のある行をクリックします。

3. SICAT Endo に選択した光学印象が表示されます。

4. 撮影図情報と患者情報を確認してください。オブジェクトと部位が正しいことを確認してください。オブジェクトリストの背景色は3Dビューでのオブジェクトの色に相当します。

5. **完了**のボタンをクリックします。

- ▶ アシスタント機能の **光学印象をインポートし記録する** が閉じます。

- ▶ SICAT Endo 選択した光学印象を**オブジェクトブラウザ**に追加する

- ▶ SICAT Endo に選択した光学印象が表示されます。

他のSICATアプリケーションからの光学印象の引き継ぎを中断する場合は、**中止する**をクリックします。

29 口腔内撮影画像



注意

医療用製品として承認されていない口腔内撮影用デバイスは、間違った診断と治療結果につながるおそれがあります。

医療用製品として承認されている口腔内撮影用デバイスのみを使用するようにしてください。



注意

口腔内撮影画像の完全性または品質が十分でない場合、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

インポートされた口腔内撮影画像の完全性と品質を確認してください。



注意

3D X線撮影画像と一致しない口腔内撮影画像を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

口腔内撮影画像が3D X線撮影画像が正しく登録されていることを確認してください。



注意

患者および3D X線撮影画像が一致しない、または撮影時期が3D X線撮影画像の撮影時期が離れている口腔内撮影画像を使用した場合には、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

口腔内撮影画像の患者と3D X線画像画像の患者が一致しており、その撮影時期が3D X線撮影時期と離れていないことを確認してください。



注意

口腔内撮影画像や3D X線撮影画像の品質が不十分な場合は、口腔内撮影画像の登録のためのメカニズムが失敗する可能性があります。

必ず正しい登録が可能な口腔内撮影画像と3D X線撮影画像のみを使用してください。



注意

口腔内撮影画像の品質および精度が十分でない場合、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および精度の口腔内撮影画像を使用してください。



注意

口腔内撮影画像の位置または向きが間違っていると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

登録後に、3D X線撮影画像の歯に対して口腔内撮影画像の位置と向きが正しくなっていることを確認してください。



注意

3D X線撮影画像に対して向きが間違っただ口腔内撮影画像を使用すると、間違っただ診断および治療につながるおそれがあります。

1. 登録された口腔内撮影画像が3D X線撮影画像に対して正しく配置されているか確認してください。
2. 必要に応じて、口腔内撮影画像を回し、正しく配置させてください。



注意

歯の番号の割り当てが間違っていると、間違っただ診断および治療につながるおそれがあります。

選択された歯の番号と実際の歯の番号が一致していることを確認してください。

SICAT Endoを診断の準備および治療計画に口腔内撮影画像を使用することができます。口腔内撮影画像は、**X線撮影マネージャ**ウィンドウにおいてインポートおよび管理を行うことができます。

口腔内撮影画像を SICAT Endoで使用するには、次の操作が必要となります。

- 口腔内撮影画像を含むDICOMファイルのインポート
- 歯の番号の口腔内撮影画像への割り当て
- 口腔内撮影画像の登録

SICAT Endo 口腔内撮影画像の次のファイル形式をサポートします。

- シングルフレームファイルであるDICOMデータ

互換性のある撮影システムの一覧は、*互換性のある口腔内撮影用センサー* [▶ ページ 165 - Standalone]をご参照ください。

口腔内撮影には次の操作が利用できます。

- 口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます [▶ ページ 166 - Standalone]
- 口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う [▶ ページ 171 - Standalone]
- 口腔内撮影画像を登録する [▶ ページ 173 - Standalone]

29.1 互換性のある口腔内撮影用センサー

SICAT Endo 以下の口腔内撮影用センサーをサポートしています。

- XIOS XG Supreme、製造元:Sirona Dental Systems GmbH、ドイツ
- XIOS XG Select、製造元:Sirona Dental Systems GmbH、ドイツ
- XIOS Plus、製造元:Sirona Dental Systems GmbH、ドイツ
- Schick 33、製造元:Sirona Dental Inc.、米国
- Schick Elite、製造元:Sirona Dental Inc.、米国

29.2 口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます

口腔内撮影画像に関する一般的な情報は、[口腔内撮影画像](#) [[▶ ページ 163 - Standalone](#)]をご参照ください。

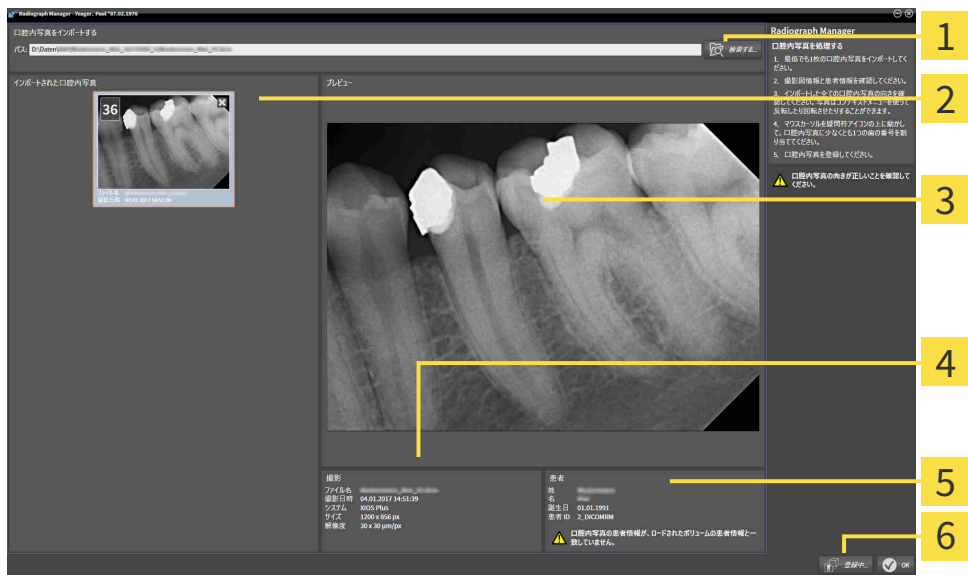
以下の手順で、口腔内撮影画像をインポートし、1本または複数の歯を割り当てます。

- ☑ ワークフロー・ステップの準備は、展開させておきます。これに関する情報は、[ワークフローのツールバー](#) [[▶ ページ 95 - Standalone](#)]をご参照ください。
- ☑ 口腔内撮影画像は、SICAT Endoにまだありません。口腔内撮影画像は1回のみインポートすることができます。
- ☑ 口腔内撮影画像は、シングルフレームフォーマットのDICOMファイルとして利用できます。
- ☑ 口腔内撮影画像は、互換性のある口腔内撮影装置を使用して作成されました。これに関する情報は、[互換性のある口腔内撮影用センサー](#) [[▶ ページ 165 - Standalone](#)]をご参照ください。



1. **口腔内撮影画像の管理・登録中のアイコンをクリックしてください。**
 - ▶ **X線撮影マネージャ** のウィンドウが開きます。
2. **検索するのボタンをクリックしてください。**
 - ▶ **口腔内撮影画像を開く** のウィンドウが開きます。
3. **口腔内撮影画像を開く** ウィンドウの希望する口腔内撮影画像に移動し、ファイルを1つ以上選択してください。Ctrlキーを押しながら複数のファイルを続けて選択することで、複数のファイルを同時にインポートすることができます。
4. **開く** をクリックします。
 - ▶ **口腔内撮影画像を開く** ウィンドウが閉じます。

▶ SICAT Endo はインポートされた口腔内撮影画像を示します。



1 ボタン 検索する

4 患者情報

2 エリア インポートされた口腔内撮影画像

5 撮影図情報

3 エリア プレビュー

6 ボタン 登録中

5. インポートされた口腔内撮影画像を選択するには、画像のインポートされた口腔内撮影画像のエリアをクリックしてください。

▶ SICAT Endo はプレビューのエリアに選択された画像を表示します。

6. 患者に関する情報と、撮影画像に関する情報を確認してください。撮影画像と患者が一致しており、3D X線撮影画像と口腔内撮影画像の撮影日が90日以上離れていないことを確認してください。

7. 口腔内撮影画像が実際の歯の配置に対し正しい向きになっていることを確認してください。

8. インポートされた口腔内撮影画像が、実際の歯の配置に対し正しくアラインメントされていない場合は、撮影画像のインポートされた口腔内撮影画像エリアを右クリックし、コンテキストメニューから左右反転、垂直に反転させる、反時計回りに回転するもしくは時計回りに回転するのうちのいずれかの項目を選択してください。

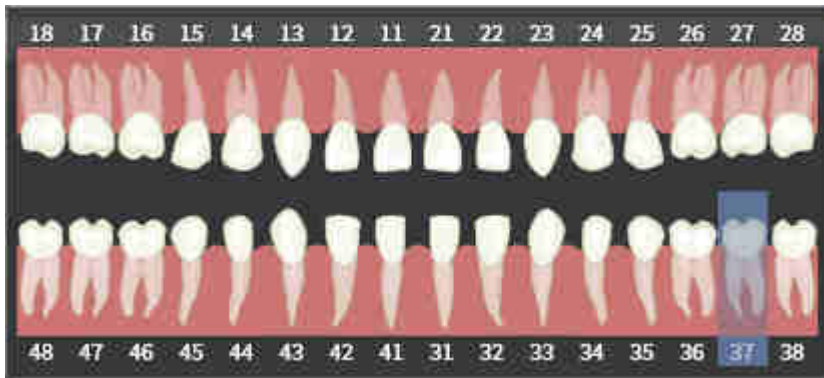
▶ SICAT Endo は撮影画像を水平または垂直方向に反転します。

▶ SICAT Endo は撮影画像を左または右に90度のステップで回転します。



9. 撮影画像のクエスチョンマークにマウスポインタを重ねます。

▶ **歯の番号** のウィンドウが開きます。



10. 実際の歯の配置に対し正しい歯の番号に続けてクリックすることにより、撮影画像を最大4つの歯の番号に割り当ててください。

11. **歯の番号** ウィンドウを閉じるには、ウィンドウの外側にマウスポインタを合わせてください。

▶ SICAT Endo は**歯の番号** ウィンドウを閉じます。

▶ SICAT Endo は口腔内撮影画像に関連した歯の番号を表示します。

▶ SICAT Endo X線撮影マネージャを閉じるときに変更内容を保存します。

コンテキストメニュー上のインポートされた口腔内撮影画像のエリアでは、次の機能呼び出すことができます。



- 左右反転
- 垂直に反転させる
- 反時計回りに回転する
- 時計回りに回転する
- 歯の番号
- 登録中
- 削除する



インポートされた口腔内撮影画像をインポートされた口腔内撮影画像エリアから削除するには、次の方法があります。

- 撮影画像で計画プロジェクトから口腔内撮影画像を削除するのアイコンをクリックしてください。
- 撮影画像上でマウスの右ボタンをクリックし、コンテキストメニューで削除するの項目を選択してください。
- インポートされた口腔内撮影画像エリア内で撮影画像をマーキングし、Delボタンを押してください。

インポートされた口腔内撮影画像を登録するには、次のセクションの手順に従ってください。

- 登録ウィザード [▶ ページ 170 - Standalone]

30 登録ウィザード

登録ウィザードは、口腔内撮影画像の登録に必要な機能を提供します。

登録ウィザードを使用するには、口腔内撮影画像がすでにインポートされており、歯の番号が割り当てられている必要があります。これに関する情報は、[口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます](#) [▶ ページ 166 - Standalone]をご参照ください。

登録ウィザードでの作業を開始する前に、登録したい口腔内撮影画像を選択する必要があります。

登録ウィザードでは、口腔内撮影画像をパノラマ曲線上にプリアラインメントできます。**3D投影ビュー**では、SICAT Endoが口腔内撮影画像を自動的に登録する前に、アラインメントの微調整を行えます。

登録ウィザードは、次のステップで構成されます。

- [口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う](#) [▶ ページ 171 - Standalone]
- [口腔内撮影画像を登録する](#) [▶ ページ 173 - Standalone]

パノラマビューにおけるプリポジショニングだけでは不十分な場合は、**ステップ口腔内撮影画像を登録する**において、アラインメントを**横断ビュー**または**軸方向ビュー**でも調整することができます。これに関する情報は、[横方向および軸方向のプリアラインメントを調整する](#) [▶ ページ 176 - Standalone]をご参照ください。

口腔内撮影画像内に、登録の際に問題が発生する可能性があるエリアが含まれている場合には、**ステップ口腔内撮影画像を登録する**において、これらのエリアをマスクで着色することにより、登録の対象から除外することができます。これに関する情報は、[エリアをマスキングする](#) [▶ ページ 179 - Standalone]をご参照ください。

30.1 口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う

登録ウィザードに関する一般的な情報は、登録ウィザード [▶ ページ 170 - Standalone] をご参照ください。

ステップ口腔内撮影画像のプリポジショニングを行うにおいては、口腔内撮影画像をパノラマ曲線上にアラインメントして、3D X線撮影画像と口腔内撮影画像の間に可能な限り最適なオーバーレイを実現します。

- ☑ ワークフロー・ステップの準備は、展開させておきます。これに関する情報は、ワークフローのツールバー [▶ ページ 95 - Standalone] をご参照ください。
- ☑ 少なくとも1つの口腔内撮影画像をインポートされ、少なくとも1つの歯の番号が割り当てられています。これに関する情報は、口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます [▶ ページ 166 - Standalone] をご参照ください。

1. 口腔内撮影画像の管理・登録中のアイコンをクリックしてください。
 - ▶ X線撮影マネージャのウィンドウが開きます。
2. 口腔内撮影画像を登録のために選択するには、撮影画像の上に左マウスボタンをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo は撮影画像をマークします。
3. 登録中のボタンをクリックしてください。
 - ▶ 口腔内撮影画像のプリポジショニングを行うのステップが開きます。



1 ウィンドウ パノラマ

3 ボタン 次へ

2 透明度スライダー

- ▶ SICAT Endo パノラマウィンドウにおいて、口腔内撮影画像をパノラマ曲線上に表示します。
4. 口腔内撮影画像を移動させるには、撮影画像にマウスポインタを合わせてください。
 5. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。

6. 希望する位置に口腔内撮影画像を移動します。
7. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo 撮影画像の現在の位置を維持します。
8. 必要に応じて、口腔内撮影画像の向きを**口腔内撮影画像のプリポジショニングを行うエリア**において、**左右反転ボタン**、**垂直に反転させるボタン**、**時計回りに回転するボタン**、もしくは**反時計回りに回転するボタン**で調整することができます。
9. 登録の次のステップに移動するには、**次へボタン**をクリックしてください。
 - ▶ **口腔内撮影画像を登録する**のステップが開きます。

口腔内撮影画像の登録を開始するための他の方法としては、次の手順に従うことができます。



- 口腔内撮影画像のインポートされた**口腔内撮影画像**のエリアをダブルクリックしてください。
- 口腔内撮影画像のインポートされた**口腔内撮影画像**のエリアをマーキングし、**Enter**キーを押してください。
- **インポートされた口腔内撮影画像**のエリアで口腔内撮影画像をマウスの右ボタンでクリックし、コンテキストメニューから**登録中**の項目を選択してください。



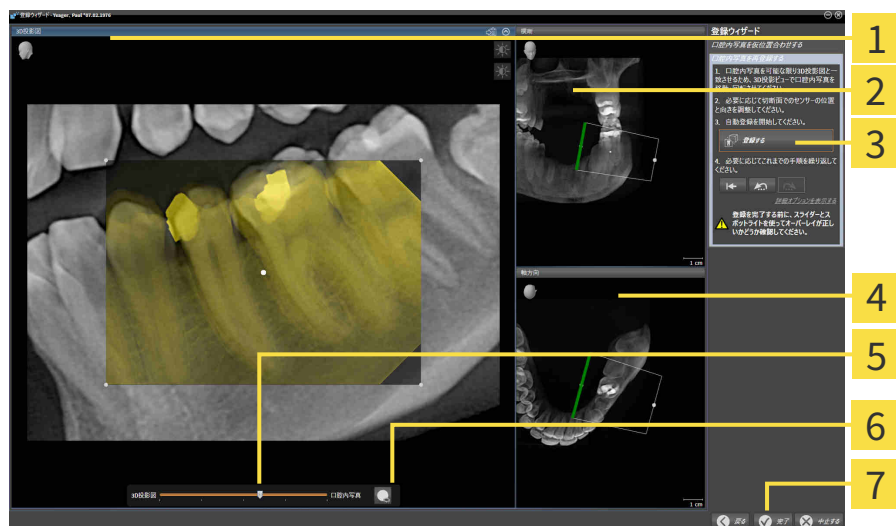
口腔内撮影画像とパノラマの正しいオーバーレイを確認するためには、**透明度**スライダーで画像の透明度を調整することができます。

口腔内撮影画像を登録する [▶ ページ 173 - Standalone]を継続してください。

30.2 口腔内撮影画像を登録する

登録ウィザードに関する一般的な情報は、登録ウィザード [▶ ページ 170 - Standalone] をご参照ください。

口腔内撮影画像を登録するステップにおいては、自動登録を実行する前に、口腔内撮影画像の初期位置の微調整を行うことができます。



1 3D投影-ビュー

2 横断-ビュー

3 ボタン 登録する

4 軸方向-ビュー

5 透明度スライダー

6 ボタン スポットライト

7 ボタン 完了

口腔内撮影画像のオーバーレイを**3D投影**ビューで調整するには、以下の手順に従って操作を行ってください。



1. **3D投影**ビューにおいて、マウスポインタを口腔内撮影画像に合わせてください。

▶ マウスポインタの形が切り替わります。

2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。

3. 希望する位置に口腔内撮影画像を移動します。

4. マウスの左ボタンを放してください。

▶ SICAT Endo は口腔内撮影画像の現在の回転位置を維持します。

▶ SICAT Endo **横断**ビューおよび**軸方向**を必要に応じて調整します。



5. 口腔内撮影画像を回転させるには、**3D投影**ビューにおいて、マウスポインタを撮影画像の角の確認箇所のいずれかに合わせてください。

▶ マウスポインタの形が切り替わります。

6. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
7. 口腔内撮影画像を希望する方向に回してください。
8. マウスの左ボタンを放してください。

▶ SICAT Endo 撮影画像の現在の位置を維持します。

▶ SICAT Endo **横断ビュー**および**軸方向**を必要に応じて調整します。

スポットライトをオンそしてオフにする

口腔内撮影画像と3D投影との正しいオーバーレイを確認するには、**3D投影ビュー**において、スポットライトを表示させることができます。



1. **スポットライト**ボタンをクリックしてください。
2. マウスポインタをの口腔内撮影画像に合わせてください。
 - ▶ SICAT Endo はスポットライトを示します。
3. 口腔内撮影画像の確認したい箇所にマウスポインタを移動してください。
4. 確認したいすべての箇所でこの手順を繰り返してください。



5. スポットライトを非表示にするには、再度**スポットライト**ボタンをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo はスポットライトを非表示にします。

横方向または軸方向のアライメントを調整する

もし**3D投影ビュー**における口腔内撮影画像のアラインメントだけでは不十分な場合は、さらに**横断ビュー**、または**軸方向ビュー**においてアラインメントを行うことができます。これに関する情報は、**横方向および軸方向のプリアライメントを調整する** [▶ ページ 176 - Standalone]をご参照ください。

口腔内撮影画像のエリアをマスクします

もし口腔内撮影画像の特定のエリアを自動登録から除外したい場合は、そのエリアを着色によりマスクをかけることができます。SICAT Endo 自動登録の際にこれらのマスク領域を考慮に入れません。これに関する情報は、**エリアをマスクする** [▶ ページ 179 - Standalone]をご参照ください。

自動登録を行う

- 自動登録を実行するには、**口腔内撮影画像を登録する**エリアで、**登録する**ボタンをクリックしてください。
- ▶ SICAT Endo 口腔内撮影画像の3D X線撮影画像との登録を行います。
- ▶ SICAT Endo は登録ウィザードを閉じます。
- ▶ SICAT Endo は登録の結果を**X線撮影マネージャ**ウィンドウに表示します。

登録を確認します

1. **3D投影ビュー**、**横断ビュー**および**軸方向ビュー**を使用して登録結果を確認してください。
2. 結果に満足できない場合は、マウスで口腔内撮影画像をドラッグアンドドロップで移動することで、口腔内撮影画像の位置を調整することができます。
3. 登録を完了するには、**完了**ボタンをクリックしてください。

- ▶ **登録ウィザード**が閉じます。
- ▶ **X線撮影マネージャ**のウィンドウが開きます。



- ▶ SICAT Endo 口腔内撮影画像を登録済みとして、**インポートされた口腔内撮影画像(X線撮影マネージャ内)**エリアに表示します。



口腔内撮影画像とパノラマの正しいオーバーレイを確認するためには、**透明度**スライダーで画像の透明度を調整することができます。



直前に行われた調整を取り消すには、**最後のステップを取り消す**ボタンをクリックしてください。実施されたすべての調整をリセットするには、**すべてのステップを取り消す**ボタンをクリックしてください。

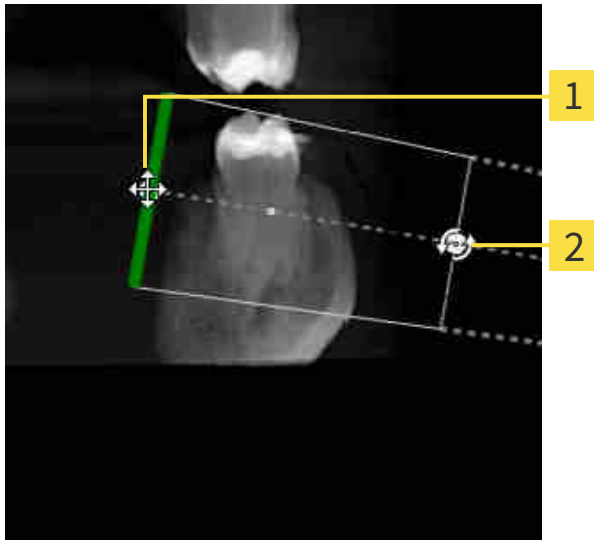
30.3 横方向および軸方向のプリアライメントを調整する

口腔内撮影画像の3D投影とのオーバーレイの調整に関する一般的な情報は、[口腔内撮影画像を登録する](#) [▶ ページ 173 - Standalone]をご参照ください。

たとえ3D投影ビューにおいて口腔内撮影画像を実際の歯の配置に対して正しくアライメントできる場合でも、特定の撮影画像においては、SICAT Endoは、口腔内撮影画像を3D放射線撮影画像と自動登録できない可能性があります。

この場合には、口腔内撮影画像の位置を**横断**ビューまたは**軸方向**ビューで調整してください。

アライメントを横方向ビューで移動させる



1 確認箇所 1

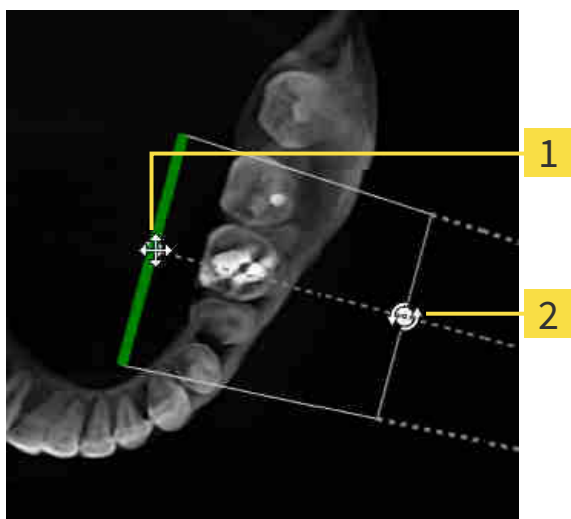
2 確認箇所 2

1. 撮影装置および3D X線撮影のセンサを移動させるのは、マウスポインタを**横断**ビューで確認箇所 1に合わせてください。
 - ▶ マウスポインタは4つの矢印が付いた十字に変わります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
3. アライメントを希望する方向に移動させてください。
4. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo 現在のアライメントを維持します。
 - ▶ SICAT Endo **3D投影**ビューおよび**軸方向**を必要に応じて調整します。

アラインメントを横方向ビューで回転させる

1. 撮影装置および3D X線撮影のセンサを回転させるには、マウスポインタを**横断**ビューで確認箇所2に合わせてください。
 - ▶ マウスポインタは、回転する2つの矢印を持つ円に変わります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
3. アラインメントを希望する方向に回転させてください。
4. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo 現在のアラインメントを維持します。
 - ▶ SICAT Endo **3D投影**ビューおよび**軸方向**を必要に応じて調整します。

アラインメントを軸方向ビューで移動させる



1 確認箇所 1

2 確認箇所 2

1. 撮影装置および3D X線撮影のセンサを移動させるのは、マウスポインタを**横断**ビューで確認箇所1に合わせてください。
 - ▶ マウスポインタは4つの矢印が付いた十字に変わります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
3. アラインメントを希望する方向に移動させてください。
4. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo 現在のアラインメントを維持します。
 - ▶ SICAT Endo **3D投影**ビューおよび**横断**を必要に応じて調整します。

アライメントを軸方向ビューで回転させる

1. 撮影装置および3D X線撮影のセンサを回転させるには、マウスポインタを**軸方向ビュー**で確認箇所 2に合わせてください。
 - ▶ マウスポインタは、回転する2つの矢印を持つ円に変わります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
3. アライメントを希望する方向に回転させてください。
4. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo 現在のアライメントを維持します。
 - ▶ SICAT Endo **3D投影**ビューおよび**横断**を必要に応じて調整します。

30.4 エリアをマスキングする

口腔内撮影画像には、自動登録の際に問題を引き起こす可能性のあるエリアが含まれていることがあります。例えば、

- 金属物体
- 反対側の顎の歯
- 撮影画像の一部でない口腔内撮影画像の周辺部

自動登録の際の問題を回避するために、それらのエリアにマスクをかけることができます。SICAT Endo マスキングされたすべてのエリアを自動登録の際に除外します。

口腔内撮影画像の個々のエリアにマスキングをするには、以下の手順に従って操作を行ってください。

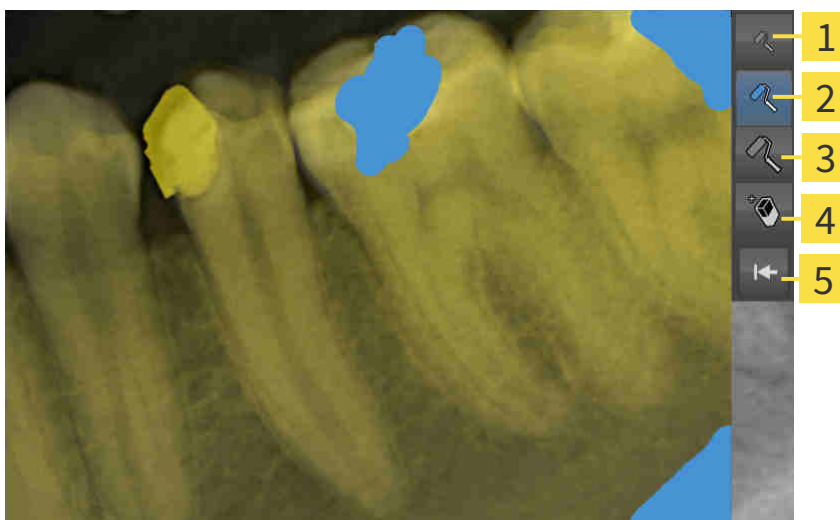
1. 口腔内撮影画像を登録するのエリアで、**詳細オプションを表示する**のボタンをクリックしてください。

▶ SICAT Endo **マスクを編集する**ボタンを表示します。



2. **マスクを編集する**のボタンをクリックしてください。

▶ SICAT Endo 口腔内撮影画像の右端にマスクツールバーを表示します。



1 ボタン 小サイズのブラシを使用する

4 ボタン 消しゴムを使います

2 ボタン 中サイズのブラシを使用する

5 ボタン マスクをリセットする

3 ボタン 大サイズのブラシを使用する

3. エリアを着色するには、**小サイズのブラシを使用する**ボタン、**中サイズのブラシを使用する**ボタン、または**大サイズのブラシを使用する**ボタンをクリックしてください。

▶ マウスポインタは円形に変わります。

4. 口腔内撮影画像の着色したいエリアにマウスポインタを合わせてください。

5. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
6. 着色したいエリアにマウスポインタを移動してください。
7. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo マーキングされたエリアを青で表示します。
8. 必要に応じて、口腔内撮影画像の他の領域にマスクをかけるために、この手順を繰り返します。
9. 青でマーキングされたエリアを削除するには、**消しゴムを使います**ボタンをクリックしてください。
 - ▶ マウスポインタは消しゴムに変わります。
10. 削除したい、青でマーキングされたエリアをマウスの左ボタンでクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo 口腔内撮影画像からマーキングされたエリアを削除します。
11. 行われたすべてのマーキングを削除するには、**マスクをリセットする**ボタンをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo 口腔内撮影画像から青でマーキングされたエリアを削除します。
12. 行われた変更を適用するには、**口腔内撮影画像を登録する**エリアで、**編集を完了する**ボタンをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo **3D投影**ビューのマスクされたエリアを表示します。
 - ▶ SICAT Endo マスキングされたエリアを自動登録の際に除外します。



マスクを編集するボタンを再び非表示にするには、**口腔内撮影画像を登録する**エリアの**詳細オプション**を非表示にするボタンをクリックしてください。

31 ENDOLINEウィザード

EndoLineウィザードは、診断と治療計画のための機能を提供します。

EndoLineウィザードを使用する前に、次の作業をオプションとして実行できます。

- 口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます [▶ ページ 166 - Standalone]
- 口腔内撮影画像を登録する [▶ ページ 173 - Standalone]
- 治療計画のための歯を選択する [▶ ページ 190 - Standalone]

EndoLineウィザードでは、交差線を用いて治療を行いたいエリアを指定することができます。このエリアには、EndoLinesを根管に配置することができます。

EndoLinesは、治療する根管のマーキングおよび歯根尖部を見つけるために使用できる測定線です。EndoLinesは、ドリル穴の計画と配置のための基礎として役立ちます。

EndoLinesを表示するために、SICAT Endoは様々なビューを使用します。これに関する情報は、*EndoLineウィザードの中のビュー* [▶ ページ 182 - Standalone]をご参照ください。

SICAT Endo 計画の際に作成されるすべてのオブジェクトを選択された歯に割り当てます。これらのオブジェクトは、EndoLineまたはドリル穴である場合があります。これらのオブジェクトは、**パノラマワークスペース**と**口腔内撮影画像ワークスペース**に表示し、**オブジェクトブラウザ**で管理・加工することができます。

作成されたオブジェクトを表示するには、SICAT Endoにおいて、ワークスペースにおいて様々なビューおよびビューのコンパイルが利用できます。これに関する情報は、*ワークスペース* [▶ ページ 108 - Standalone]をご参照ください。

EndoLineウィザードは、次のステップで構成されます。

- 歯の領域をブリアラインメントする [▶ ページ 191 - Standalone]
- EndoLinesをセットする [▶ ページ 193 - Standalone]
- ドリル穴を計画する [▶ ページ 203 - Standalone]

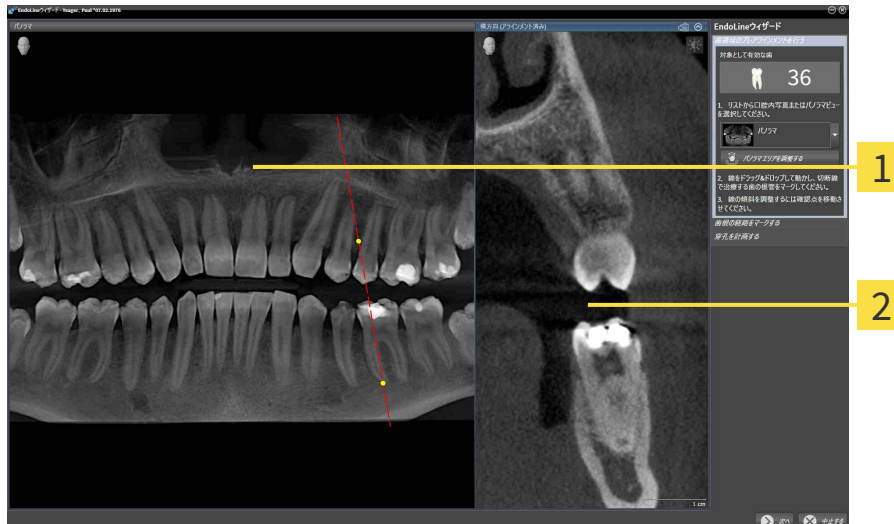
31.1 ENDOLINEウィザードの中のビュー

EndoLineウィザードには、ステップごとに様々なビューをご利用いただけます。

ビューのカスタマイズに関する一般的な情報は、[ビューの調整](#) [▶ ページ 116 - Standalone] および [3Dビューの調整](#) [▶ ページ 130 - Standalone] をご参照ください。

ステップ「歯の領域のプリアラインメント」

ステップ歯の領域をプリアラインメントするには、次のビューが用意されています。



1 パノラマビューまたは口腔内撮影画像ビュー

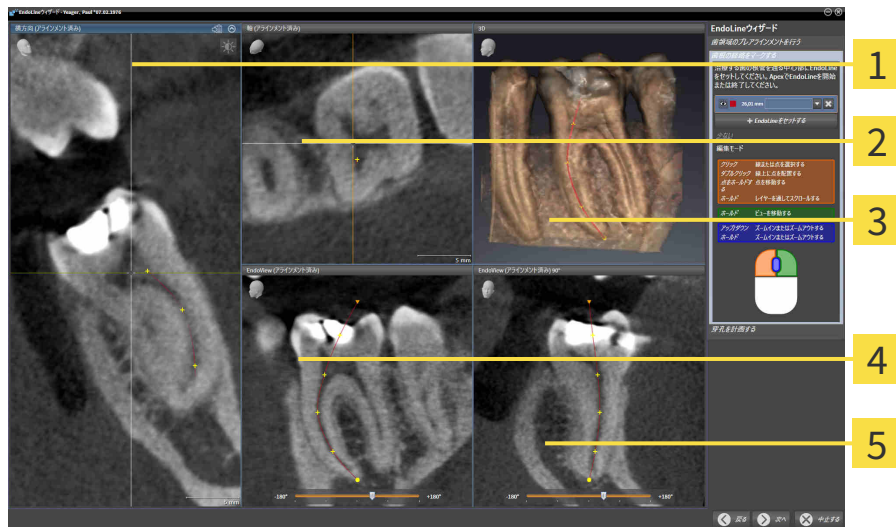
2 ビュー 横断(アラインメント済み)

パノラマビューまたは口腔内撮影画像ビューでは、交差線を用いて治療を行う根管のビューをプリアラインメントすることができます。口腔内撮影画像ビューは、有効にされた歯に少なくとも1つの口腔内撮影画像を登録している場合にのみ使用可能です。有効にされた歯の選択に関する一般的な情報は、[治療計画のための歯を選択する](#) [▶ ページ 190 - Standalone] をご参照ください。

横断(アラインメント済み)ビューでは、パノラマビューまたは口腔内撮影画像ビューでマーキングされた歯が側面から、および設定された交差線にアラインメントされる形で表示されます。

ENDOLINESをセットする

ステップEndoLinesをセットするには、次のビューが用意されています。



1 ビュー 横断 (アラインメント済み)

2 ビュー 軸方向 (アラインメント済み)

3 3D-ビュー

4 ビュー EndoView (アラインメント済み)

5 ビュー EndoView (アラインメント済み)
90°

ステップEndoLinesをセットするの横断 (アラインメント済み)ビューは、ステップ歯の領域をブリアラインメントするの横断 (アラインメント済み)ビューに相当します。ここでは、ステップ歯の領域をブリアラインメントするでマーキングされた歯が対角に外側から内側に向けて、そして交差線とアラインメントされた形で表示されます。

軸方向 (アラインメント済み)ビューは、ステップ歯の領域をブリアラインメントするにおいてマーキングされ、設定した交差線に対してアラインメントされた歯を上から見たところを表示します。

3Dビューは、3D X線撮影画像のEndoLineを表示します。3Dビューの調整に関する情報は、[3Dビューの調整](#) [▶ ページ 130 - Standalone]をご参照ください。

EndoView (アラインメント済み)は、EndoLineに対してアラインメントされたビューで、選択されたEndoLineを2D面に投影して表示します。EndoView (アラインメント済み) 90°とは、90度回転されたEndoView (アラインメント済み)のことです。2つのビューは、すでにEndoLineが設定されている場合にのみ表示されます。EndoViewに関する情報は、[EndoView](#) [▶ ページ 187 - Standalone]をご参照ください。

ステップ「ドリル穴の計画」

ステップドリル穴を計画するには、次のビューが用意されています。



1 軸方向-ビュー

3 冠状-ビュー

2 3D-ビュー

4 矢状方向-ビュー

軸方向ビューは、上からのEndoLine表示します。

3Dビューは、3D X線撮影画像のEndoLineを表示します。3Dビューの調整に関する情報は、[3Dビューの調整 \[▶ ページ 130 - Standalone\]](#)をご参照ください。

冠状ビューは、前からのEndoLineを表示します。

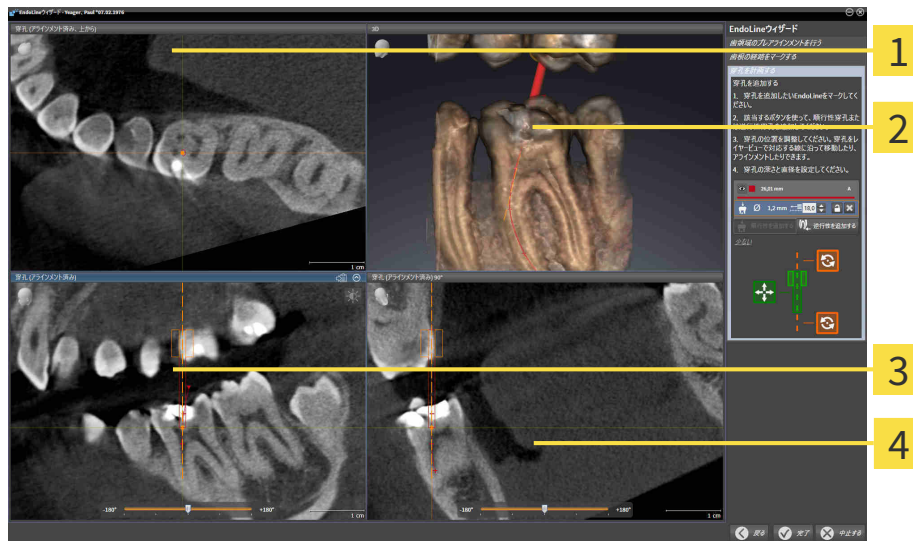
矢状方向ビューは、右からのEndoLineを表示します。



まだドリル穴が計画されていない場合、SICAT Endoは、ステップドリル穴を計画するが開かれる際、EndoLineウィザードにおいて、**軸方向ビュー**、**3Dビュー**、**冠状ビュー**および**矢状方向ビュー**を表示します。

オーソグレードドリル穴の計画におけるビュー

オーソグレードドリル穴を計画する際には、次のビューが用意されています。



1 ビュー ドリル穴 (アラインメント済み、上から)

2 3D-ビュー

3 ビュー ドリル穴 (アラインメント済み)

4 ビュー ドリル穴 (アラインメント済み) 90°

ドリル穴 (アラインメント済み、上から)ビューは、EndoLineにアラインメントされたドリル穴を上から表示します。

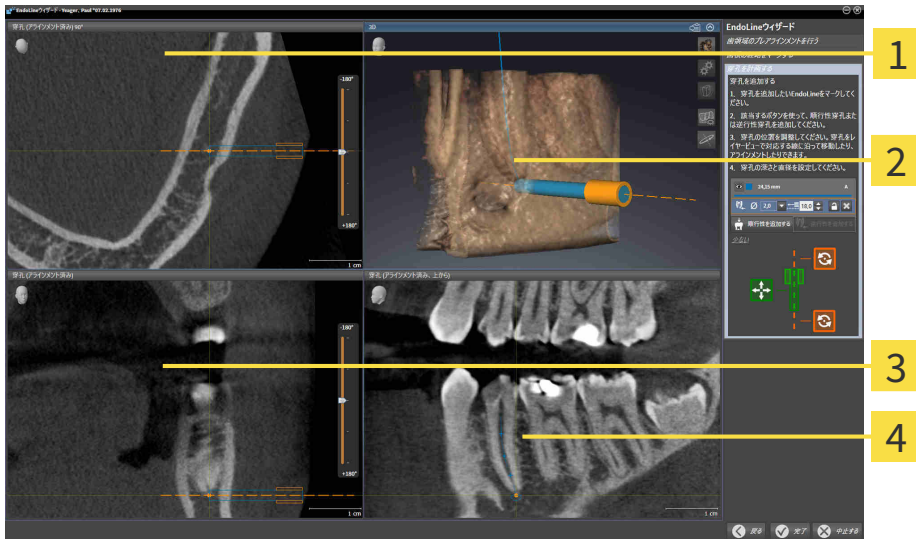
3Dビューは、3D X線撮影画像で設定されたドリル穴を表示します。3Dビューの調整に関する情報は、[3Dビューの調整](#) [▶ ページ 130 - Standalone]をご参照ください。

ドリル穴 (アラインメント済み)ビューは、EndoLineにアラインメントされたドリル穴を前から表示します。

ドリル穴 (アラインメント済み) 90°ビューは、EndoLineにアラインメントされたドリル穴を側面から表示します。

レトログレードドリル穴の計画におけるビュー

レトログレードドリル穴を計画する際には、次のビューが用意されています。



1 ビュー ドリル穴 (アラインメント済み) 90°

3 ビュー ドリル穴 (アラインメント済み)

2 3D-ビュー

4 ビュー ドリル穴 (アラインメント済み、上から)

ドリル穴 (アラインメント済み) 90°ビューは、EndoLineにアラインメントされたドリル穴を側面から表示します。

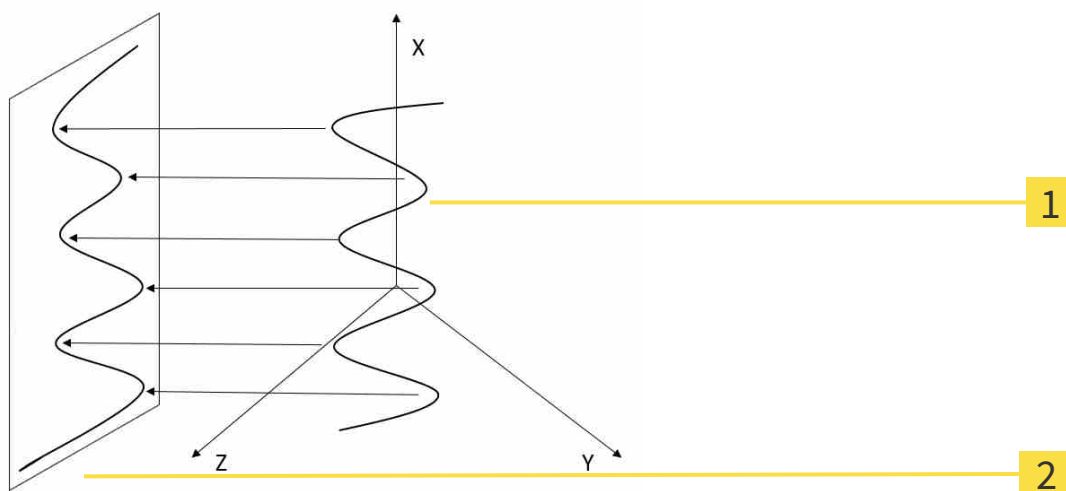
3Dビューは、3D X線撮影画像で設定されたドリル穴を表示します。3Dビューの調整に関する情報は、[3Dビューの調整 \[▶ ページ 130 - Standalone\]](#)をご参照ください。

ドリル穴 (アラインメント済み)ビューは、EndoLineにアラインメントされたドリル穴を前から表示します。

ドリル穴 (アラインメント済み、上から)ビューは、EndoLineにアラインメントされたドリル穴を上から表示します。

31.1.1 ENDOVIEW

SICAT EndoのEndoViewは、ソフトウェアが3D撮影の湾曲したEndoLineを2D面に投影して表示することで、患者における歯の複雑な構造をビジュアル化します。この技術は、Curved Planar Reformation(曲面多断面再構成、CPR)と呼ばれています。これにより、湾曲した構造を展開して表示することが可能となります。



1 3D撮影画像

2 2D面

EndoLineを2D面に表示することで、実際の歯の構造を詳細に確認することができ、異常を容易に識別することができます。同時に、EndoViewは、診断の精度を向上し、患者固有の治療計画の作成を容易にします。

31.1.2 ENDOVIEWを回転する

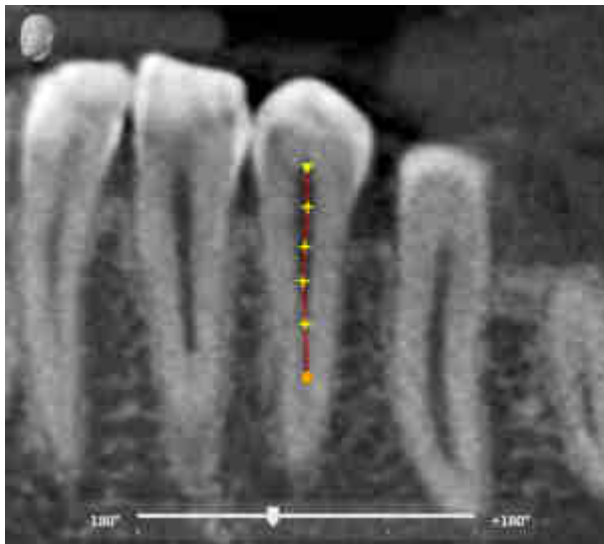
EndoViewに関する一般的な情報は、*EndoView* [▶ ページ 187 - Standalone]をご参照ください。

EndoView (アラインメント済み)ビューおよび**EndoView (アラインメント済み) 90°**ビューでは、画像の一部を回転させるためにスライダを使用することができます。

- ☑ **EndoLines**をセットする手順はすでに開いています。これに関する情報は、*EndoLines*をセットする [▶ ページ 193 - Standalone]をご参照ください。
- ☑ 少なくとも1つのEndoLineが設定されています。
- ☑ EndoLineが選択されました。

1. 希望するビューをクリックして、**EndoView (アラインメント済み)**ビュー**EndoView (アラインメント済み) 90°**ビューを有効にしてください。

▶ SICAT Endo はビューを有効にします。



2. マウスポインタをのスライダーに合わせてください。
3. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
4. 希望する位置にスライダーを移動させます。
5. マウスのボタンを放してください。

▶ SICAT Endo は画像の一部を回転させます。

▶ SICAT Endo **EndoView (アラインメント済み)**ビューおよび**EndoView (アラインメント済み) 90°**ビューを調整します。



それに代わる方法として、**EndoView (アラインメント済み)**または**EndoView (アラインメント済み) 90°**の任意の箇所をクリックすることで画像の一部を回転させることができます。マウスの左ボタン押し続け、画像の一部を希望する方向へ回転させます。



スライダーの範囲は、-180度から+180度の範囲で、90度ステップに分割されています。スライダーを使用して、ビューの回転角度を調整することができます。

31.2 治療計画のための歯を選択する

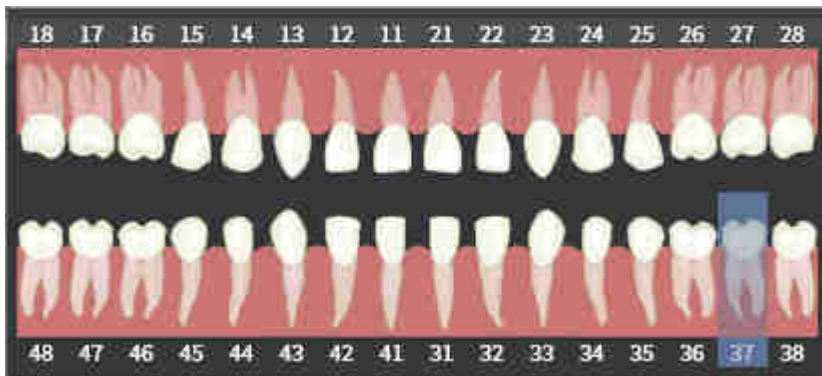
EndoLinesおよびドリル穴を計画するためには、治療を行う歯を選択する必要があります。

- ☑ 口腔内撮影画像ワークスペースまたはパノラマワークスペースを開きました。これに関する情報は、ワークスペース [▶ ページ 108 - Standalone] をご参照ください。



1. オブジェクトバーにおいて**有効な歯**のエリアにマウスポインタを合わせてください。

▶ 歯の番号のウィンドウが開きます。



2. 治療したい歯にマウスポインタを移動してください。

▶ SICAT Endo 歯の番号を強調表示します。

3. ハイライトされた歯を選択するには、マウスの左ボタンで歯をクリックしてください。

▶ SICAT Endo 歯を青でマーキングします。

▶ SICAT Endo オブジェクトバーの**有効な歯**において歯の番号を表示します。

4. 歯の番号ウィンドウを閉じるには、マウスポインタを**有効な歯**のエリアの外へ移動させてください。

▶ SICAT Endo は**歯の番号**ウィンドウを閉じます。

31.3 歯の領域をプリアラインメントする

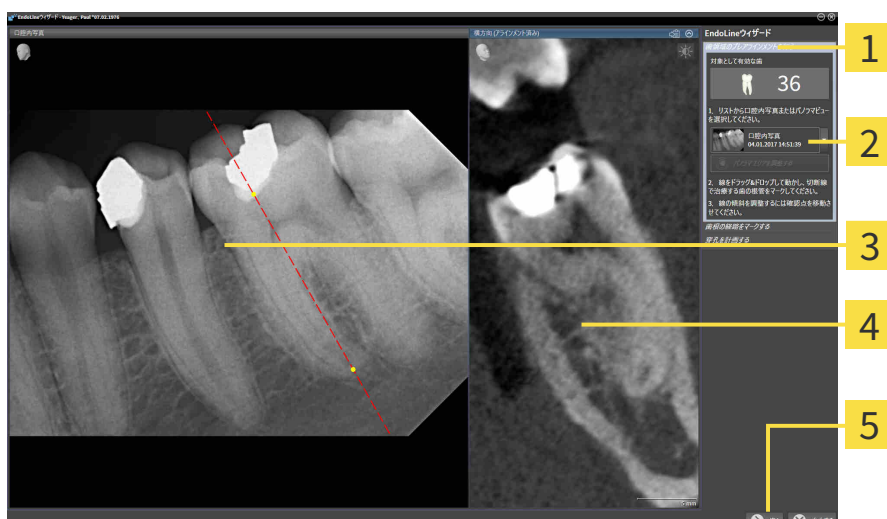
EndoLineウィザードに関する一般的な情報は、*EndoLineウィザード* [▶ ページ 181 - Standalone]をご参照ください。

ステップ歯の領域をプリアラインメントするでは、交差線を用いて、治療を行う歯と歯根が良く見えるようにビューを調整できます。

- ☑ 口腔内撮影画像ワークスペースまたはパノラマワークスペースにおいて、**歯の番号スキーム**で、**オブジェクトバー**の治療する歯を選択済みです。これに関する情報は、*治療計画のための歯を選択する* [▶ ページ 190 - Standalone]をご参照ください。
- ☑ ワークフロー・ステップの**診断する**は、展開させておきます。これに関する情報は、*ワークフローのツールバー* [▶ ページ 95 - Standalone]をご参照ください。



1. EndoLineおよびドリル穴を利用して歯根治療を計画するのアイコンをクリックしてください。
 - ▶ 歯の領域をプリアラインメントするのステップが開きます。




- | | |
|---|---|
| <p>1 エリア 歯の領域をプリアラインメントする</p> <p>2 パノラマビューおよび口腔内撮影画像の一覧</p> <p>3 パノラマ-ビューまたは口腔内撮影画像ビュー</p> | <p>4 ビュー 横断 (アラインメント済み)</p> <p>5 ボタン 次へ</p> |
|---|---|

2. 歯の領域をプリアラインメントするエリアにおいて、一覧から口腔内撮影画像またはパノラマを選択してください。
 - ▶ SICAT Endo 口腔内撮影画像ビューまたはパノラマビューにおいて交差線を2つの黄色の確認箇所を表示します。



3. 交差線を移動させるには、交差線にマウスポインタを合わせてください。
 - ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。

5. 希望する位置に交差線を移動します。
6. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo は交差線の現在の位置を維持します。
 - ▶ SICAT Endo 交差線の変更された位置の**横断 (アラインメント済み)**ビューを表示します。
-  7. 交差線を回転させるには、2つの黄色の確認箇所の1つにカーソルを合わせてください。
 - ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
8. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
9. 交差線を希望する方向に回してください。
10. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo 交差線の現在の回転位置を維持します。
 - ▶ SICAT Endo 交差線の変更された位置の**横断 (アラインメント済み)**ビューを表示します。
11. **次へ**をクリックします。
 - ▶ SICAT Endo はビューの調整を適用します。
 - ▶ ステップ**EndoLinesをセットする**が開きます。

*EndoLines*をセットする [▶ ページ 193 - Standalone]を継続してください。



プリアラインメントのために、口腔内撮影画像と**パノラマ**ビューの間から選択するためには、選択された歯に少なくとも1つの口腔内撮影画像を登録されている必要があります。



パノラマエリアは、**パノラマエリアを調整する**アイコンをクリックして調整することができます。これに関する情報は、**パノラマエリアを調整する** [▶ ページ 148 - Standalone]をご参照ください。

31.4 ENDOLINESをセットする



測定と計画オブジェクトの表示に3Dビューを使用すると、間違った診断と治療につながるおそれがあります。

3Dビューは方向合わせおよび追加の情報源としてのみ使用してください。

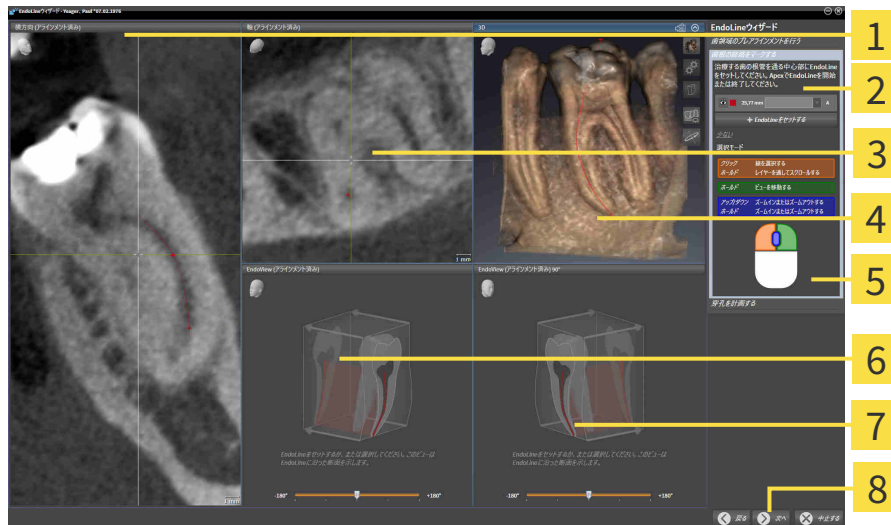
EndoLineウィザードに関する一般情報は、*EndoLine*ウィザード [▶ ページ 181 - Standalone]をご参照ください。

ステップ**EndoLinesをセットする**では、アラインメントされたビューにおいてEndoLineを用いて根管をマーキングすることができます。

SICAT Endo EndoLineを挿入する際に、始点と終点をマーキングし、始点は三角形で、終点は丸でそれぞれ表示します。

点の順序は、事前を選択された歯の番号と患者の顎における歯の位置に依存します。上顎では、始点は終点の下方に位置し、下顎では始点が終点の上に位置します。

- ☑ ステップ**歯の領域をプリアラインメントする**が完了しました。これに関する情報は、**歯の領域をプリアラインメントする** [▶ ページ 191 - Standalone]をご参照ください。
- ☑ ステップ**EndoLinesをセットする**はすでに開いています。



- | | |
|------------------------------|-----------------------------------|
| 1 ビュー 横断 (アラインメント済み) | 5 インフォグラフィック |
| 2 エリア EndoLinesをセットする | 6 EndoView (アラインメント済み) |
| 3 ビュー 軸方向 (アラインメント済み) | 7 EndoView (アラインメント済み) 90° |
| 4 3D-ビュー | 8 ボタン 次へ |



1. **EndoLinesをセットする**のエリアで、**EndoLineをセットする**のボタンをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo **横断 (アラインメント済み)**ビューおよび**軸方向 (アラインメント済み)**ビューを強調表示します。

- ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
- 2. **横断(アラインメント済み)**ビューまたは**軸方向(アラインメント済み)**ビューにマウスポインタを合わせます。
- 3. 歯尖部または始点を、マウスの左ボタンでクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo 確認箇所を設定します。
- 4. 歯根の経路をマーキングするためにさらなる確認箇所を追加してください。これには、根管に沿ってさらなる箇所をマウスの左ボタンでクリックしてください。
- 5. 根管のマーキングを完了するためには、歯尖部または始点をダブルクリックします。
 - ▶ SICAT Endo 確認箇所を設定します。
 - ▶ SICAT Endo すべての確認箇所ならびにそれらをつなぐ線をEndoLineとして表示します。
 - ▶ SICAT Endo EndoView (アラインメント済み)ビューおよびEndoView (アラインメント済み) 90°をEndoLineに合わせてアラインメントします。
- 6. 必要に応じて、これらの手順を繰り返し、さらに根管をマーキングしてください。
- 7. 設定されたEndoLinesを**EndoView (アラインメント済み)**ビューまたは**EndoView (アラインメント済み) 90°**ビューで確認してください。
- 8. **次へ**をクリックします。

- ▶ **ドリル穴を計画する**のステップが開きます。

ドリル穴を計画する [▶ ページ 203 - Standalone]を継続してください。

EndoLineの説明や位置の色やテキストは編集することができます。これに関する情報は、**色とテキストを調整する** [▶ ページ 196 - Standalone]をご参照ください。

確認箇所を移動、追加または削除することで、EndoLineを編集することができます。これに関する情報は、**確認箇所を追加、移動および削除する** [▶ ページ 197 - Standalone]をご参照ください。

3Dビューでは、回転モードを使用することができます。これに関する情報は、**3Dビューを回転する** [▶ ページ 200 - Standalone]をご参照ください。

3Dビューでは、光学印象のインポートおよび登録が行えます。これに関する情報は、**光学印象を3Dビューで表示する** [▶ ページ 201 - Standalone]をご参照ください。

EndoLineを挿入する際、マウスボタンを用いて様々な機能を使用することができます。これに関する情報は、**マウスボタンを使用する** [▶ ページ 202 - Standalone]をご参照ください。



EndoLineを選択するには、アラインメントされたビューにおいてマウスの左ボタンでラインをクリックするか、または**EndoLinesをセットする**のエリアでの選択を行います。



EndoLineを削除するには、**EndoLinesをセットする**エリアでEndoLineをマーキングし、選択されたEndoLineの行の端にある**EndoLineを削除する**ボタンをクリックしてください。



EndoView (アラインメント済み)または**EndoView (アラインメント済み) 90°**の表示を調整するには、これらのビューのスライダーを使用してください。スライダーを用いて、ビューを左または右に任意の角度で回転することができます。

31.5 色とテキストを調整する

色を調整する

EndoLineの色を変更するには、次の手順に従って行ってください。

1. EndoLineの行にある**色を変更する**ボタンをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo EndoLineの色を変更します。
2. 色が希望の色と一致しない場合は、SICAT Endoが希望の色になるまで、**色を変更する**ボタンを引き続きクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo EndoLineの新しい色を表示します。

説明または位置情報のテキストを調整する

EndoLineの説明または位置情報のテキストを変更するには、次の手順に従って行ってください。

1. EndoLineの説明を入力するには、Endolineの行の**説明/位置**フィールドをクリックしてください。
 - ▶ マウスポインタは、入力位置で点滅します。
2. 希望するEndoLineの説明を入力してください。
 - ▶ SICAT Endo 説明を表示します。
3. EndoLineの位置情報テキストを選択するには、Endolineの行において**説明/位置**フィールドの矢印アイコンをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo 位置情報の一覧を表示します。
4. リストの中で希望する位置情報をクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo **説明/位置**フィールドに位置情報を表示します。
5. 変更を適用し、**説明/位置**フィールドを閉じるには、**説明/位置**フィールドの外側をマウスの左ボタンでクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo 新しい説明または位置情報を表示します。

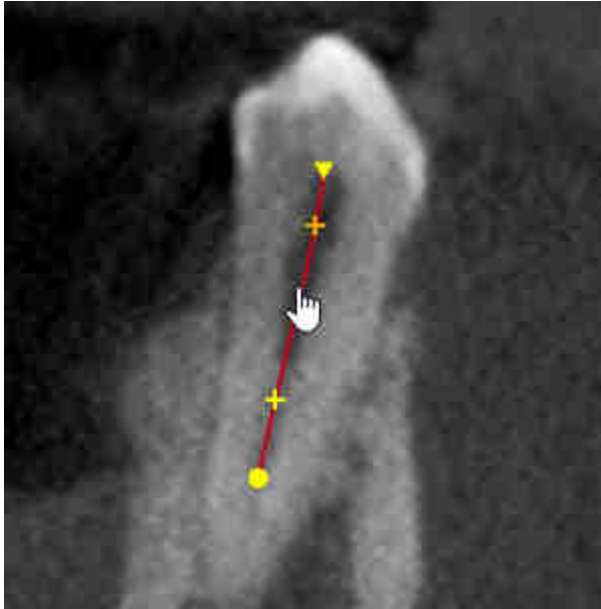


31.6 確認箇所を追加、移動および削除する

ENDOLINEに確認箇所を追加する

EndoLineに確認箇所を追加するには、次の手順に従って行ってください。

1. 確認箇所を追加したいEndoLineの位置にマウスポインタを合わせてください。

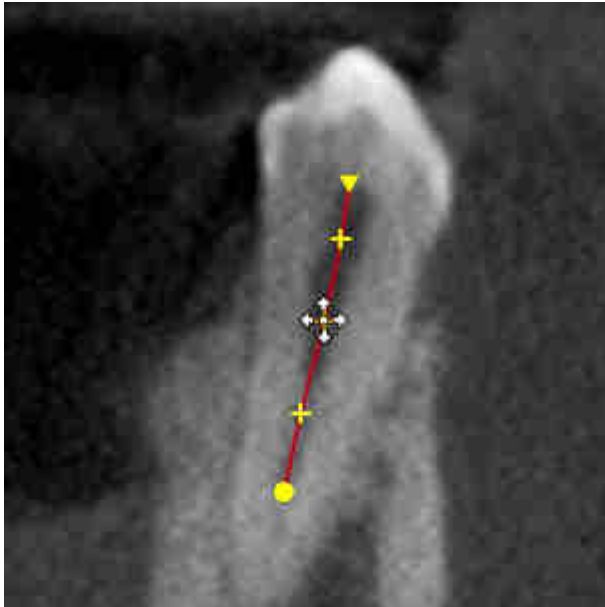


- ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
2. そこ位置をダブルクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo 十字の形で確認箇所を追加します。

ENDOLINEを確認箇所を移動する

EndoLineの確認箇所を移動するには、次の手順に従って行ってください。

1. 移動したいEndoLineの確認箇所にマウスポインタを合わせてください。

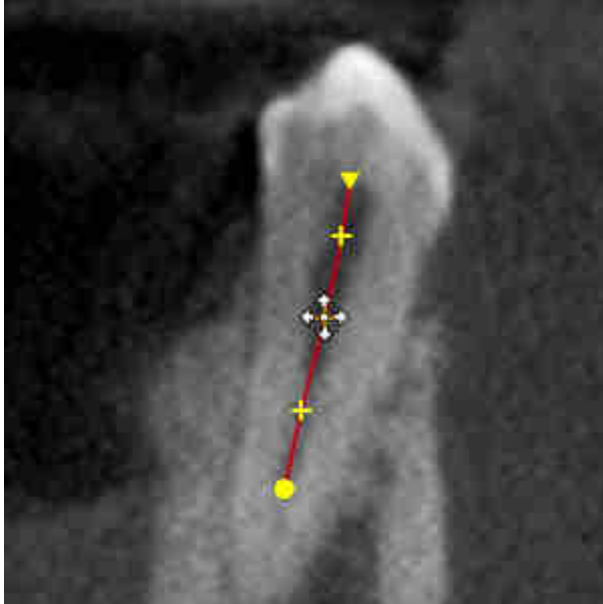


- ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
3. マウスを動かします。
 - ▶ 確認箇所はマウスポインタの動きを追従します。
 - ▶ SICAT Endo 確認箇所の新しい位置に応じてEndoLineを調整します。
4. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo 確認箇所の現在位置を維持します。
 - ▶ SICAT Endo EndoLineの新しい経路を表示します。

ENDOLINEから確認箇所を削除する

EndoLineから確認箇所を削除するには、次の手順に従って行ってください。

1. 削除したいEndoLineの確認箇所にマウスポインタを合わせてください。



▶ マウスポインタの形が切り替わります。

2. マウスの左ボタンで確認箇所をクリックしてください。

▶ SICAT Endo 確認箇所をマーキングします。

3. Delボタンを押します。

▶ SICAT Endo 確認箇所を削除します。

▶ SICAT Endo EndoLineを必要に応じて調整します。



最後から2番目の確認箇所を削除すると、EndoLineが完全に削除されます
のでご注意ください。

31.7 3Dビューを回転する

3Dビューに関する一般的な情報は、*3Dビューの調整* [▶ ページ 130 - Standalone]をご参照ください。

3Dビューを回転する機能によって、EndoLineウィザードにおいて3D X線撮影画像の回転モードをオンまたはオフにすることができます。回転モードがオンになっている場合は、SICAT Endoは、3D X線撮影画像を時計回りに回転します。

回転モードを使用するには、次の手順に従って操作を行ってください。

☑ **3Dビュー**はすでに有効になっています。これに関する情報は、*ビュー* [▶ ページ 115 - Standalone]をご参照ください。

1. 希望する画像部分が表示されるように、3D X線撮影画像の表示を調整してください。
2. 希望する表示タイプが選択されていることを確認してください。これに関する情報は、*3Dビューの表示タイプを切り替える* [▶ ページ 133 - Standalone]をご参照ください。
3. 希望する切り取りモードが選択されていることを確認してください。これに関する情報は、*3Dビューの切り抜きモードの切り替え* [▶ ページ 136 - Standalone]をご参照ください。



4. **3Dビューを回転する**のボタンをクリックしてください。
▶ SICAT Endo 選択された画像部分の縦軸において3D X線撮影画像を反転させます。
5. 回転モードを終了するには、**3Dビューを回転する**ボタンを再度クリックしてください。
▶ SICAT Endo 3D X線撮影画像の回転を終了します。



3Dビューの任意の箇所をクリックして、回転モードを終了させることもできます。

31.8 光学印象を3Dビューで表示する

3Dビューに関する一般的な情報は、*3Dビューの調整* [▶ ページ 130 - *Standalone*]をご参照ください。

既に光学印象をインポートおよび登録している場合には、3DビューのEndoLineウィザードで、光学印象の非表示・表示を切り替えられます。

光学印象の表示・非表示を切り替えるには、次の手順に従って行ってください。

- ☑ 3Dビューはすでに有効になっています。これに関する情報は、*ビュー* [▶ ページ 115 - *Standalone*]をご参照ください。
- ☑ 少なくとも1つの光学印象をすでにインポート・登録済みです。これに関する情報は、*光学印象をインポートし記録する* [▶ ページ 153 - *Standalone*]をご参照ください。



1. 光学印象を表示するには、**オブジェクトを表示する**ボタンをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo 光学印象を表示します。
 - ▶ SICAT Endo 3D X線撮影画像の表示を更新します。



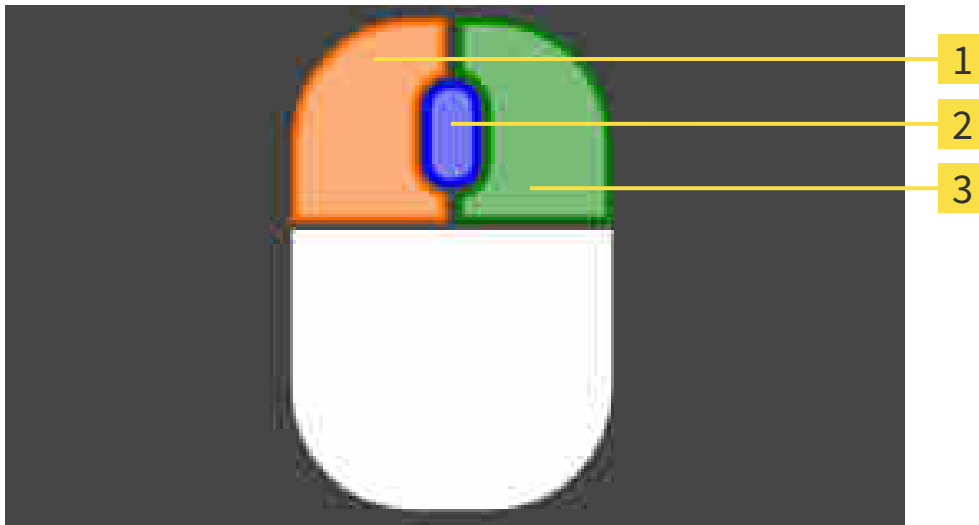
2. 光学印象を非表示にするには、**オブジェクトを非表示にする**ボタンをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo 光学印象を非表示にします。
 - ▶ SICAT Endo 3D X線撮影画像の表示を更新します。



光学印象をまだインポート・登録していない場合は、SICAT Endoは、**オブジェクトを表示する**ボタンを3Dビューに表示しません。

31.9 マウスボタンを使用する

SICAT Endo EndoLine設定時のマウスボタンの使用方法を説明する画像を表示します。



1 マウスの左ボタン

3 マウスの右ボタン

2 マウスホイール

マウスボタンを有効にすると、SICAT Endoがグラフィック内のマウスボタンを強調表示します。マウスボタンにリンクされている操作は、操作モードによって異なります。

SICAT Endo 次の操作モードがあります。

- 作成
- 編集
- 選択

操作モードによって、様々な操作が利用できます。利用可能な操作は、グラフィック上部にテーブルとして表示され、それぞれ対応するマウスボタンの色が付けられています。

グラフィックは、必要に応じて表示・非表示することができます。

31.10 ドリル穴を計画する



注意

ドリル深さが間違っていると、間違った治療につながるおそれがあります。

計画されたドリル深さと、選択されたドリルが対応していることを確認してください。

EndoLineウィザードに関する一般情報は、*EndoLine*ウィザード [▶ ページ 181 - Standalone] をご参照ください。

ステップドリル穴を計画するでは、オーソグレートおよびレトログレートドリル穴をEndoLineに追加・編集することができます。Pro EndoLineには、オーソグレートおよびレトログレートドリル穴をそれぞれ追加することができます。ドリル穴には、常にそれに対応するEndoLineと同じ色が付けられています。

ステップ「ドリル穴を計画する」を開く

ステップEndoLinesをセットするが完了しました。これに関する情報は、*EndoLines*をセットする [▶ ページ 193 - Standalone] をご参照ください。

ステップEndoLinesをセットするは開いています。

- ステップ **EndoLines**をセットする で、次へボタンをクリックしてください。

▶ ドリル穴を計画するのステップが開きます。



1 軸方向-ビュー

4 冠状-ビュー

2 エリア ドリル穴を追加する

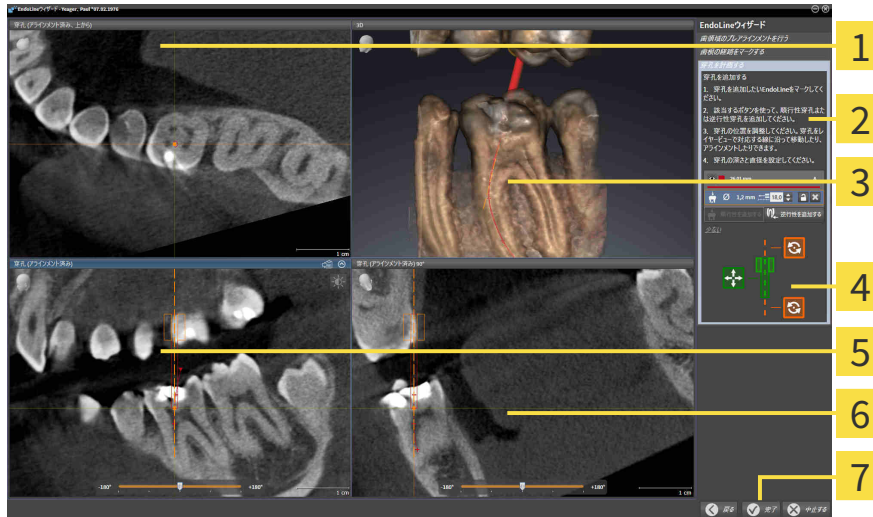
5 矢状方向-ビュー

3 3D-ビュー

6 ボタン 完了

オーソグレードドリル穴を計画する

1. **ドリル穴を追加するエリア**において、オーソグレードドリル穴を追加したいEndoLineを選択してください。
 - ▶ SICAT Endo EndoLineをマーキングします。
2. **オーソグレードを追加する**のボタンをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo マーキングされたEndoLineにオーソグレードドリル穴を追加します。
 - ▶ SICAT Endo 次のようにビューを調整します。



- | | |
|--|--|
| <p>1 ビュー ドリル穴 (アラインメント済み、上から)</p> <p>2 エリア ドリル穴を追加する</p> <p>3 3D-ビュー</p> <p>4 インフォグラフィック</p> | <p>5 ビュー ドリル穴 (アラインメント済み)</p> <p>6 ビュー ドリル穴 (アラインメント済み) 90°</p> <p>7 ボタン 完了</p> |
|--|--|



3. EndLineに沿ったドリル穴の位置を調整するには、**ドリル穴 (アラインメント済み)**ビューまたは**ドリル穴 (アラインメント済み) 90°**ビューにおいて、マウスポインタをドリル穴に合わせてください。
 - ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
5. 希望する位置にドリル穴を移動させてください。
6. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo ドリル穴の現在位置を維持します。
 - ▶ SICAT Endo ドリルチャンネルの変更された位置の他のビューを調整します。



7. ドリル穴の回転を調整するには、**ドリル穴 (アラインメント済み)**ビューまたは**ドリル穴 (アラインメント済み) 90°**ビューにおいて、マウスポインタをドリル穴以外で EndoLine に合わせてください。

- ▶ マウスポインタの形が切り替わります。

8. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。

9. EndoLine とドリル穴を希望する方向に回してください。

10. マウスの左ボタンを放してください。

- ▶ SICAT Endo EndoLine とドリル穴の現在の回転位置を維持します。

- ▶ SICAT Endo ドリルチャンネルの変更された位置の他のビューを調整します。



11. 必要に応じて、フィールド **深さ [mm]** の後ろの矢印キーをクリックし、ドリルスリーブの位置を調整することができます。

- ▶ SICAT Endo ドリルスリーブの新しい深さを示します。

12. ドリル穴の計画を完了するには、**完了**ボタンをクリックしてください。

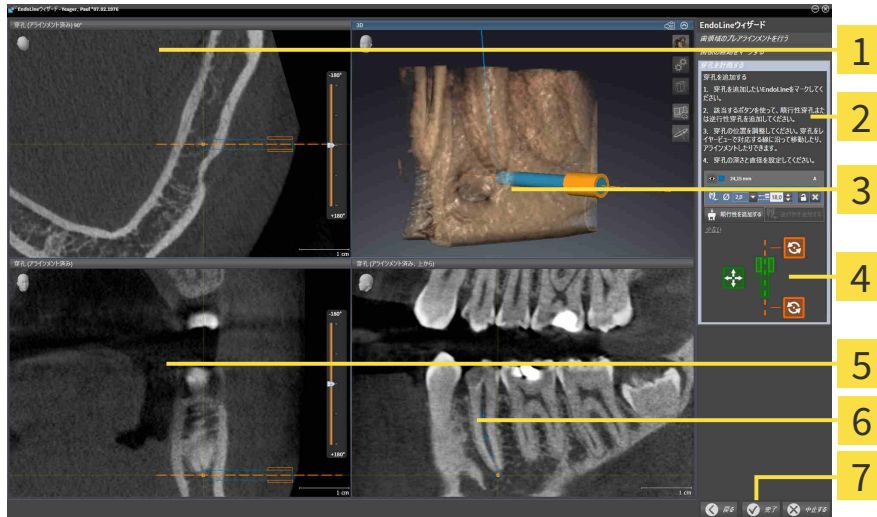
- ▶ EndoLine ウィザードが閉じます。

- ▶ **口腔内撮影画像**ワークスペースが開きます。

- ▶ SICAT Endo 計画されたドリル穴を表示します。

レトログレードドリル穴を計画する

1. **ドリル穴を追加するエリア**において、レトログレードドリル穴を追加したいEndoLineを選択してください。
 - ▶ SICAT Endo EndoLineをマーキングします。
2. **レトログレードを追加する**のボタンをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo マーキングされたEndoLineにレトログレードドリル穴を追加します。
 - ▶ SICAT Endo 次のようにビューを調整します。



- | | |
|--|--|
| <p>1 ビュー ドリル穴 (アラインメント済み) 90°</p> <p>2 エリア ドリル穴を追加する</p> <p>3 3D-ビュー</p> <p>4 インフォグラフィック</p> | <p>5 ビュー ドリル穴 (アラインメント済み)</p> <p>6 ビュー ドリル穴 (アラインメント済み、上から)</p> <p>7 ボタン 完了</p> |
|--|--|



3. EndLineに沿ったドリル穴の位置を調整するには、**ドリル穴 (アラインメント済み)**ビューまたは**ドリル穴 (アラインメント済み) 90°**ビューにおいて、マウスポインタをドリル穴に合わせてください。
 - ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
5. 希望する位置にドリル穴を移動させてください。
6. マウスの左ボタンを放してください。
 - ▶ SICAT Endo ドリル穴の現在位置を維持します。
 - ▶ SICAT Endo ドリルチャンネルの変更された位置の他のビューを調整します。



7. ドリル穴の回転を調整するには、**ドリル穴 (アラインメント済み)**ビューまたは**ドリル穴 (アラインメント済み) 90°**ビューにおいて、マウスポインタをドリル穴以外で EndoLine に合わせてください。

▶ マウスポインタの形が切り替わります。

8. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。

9. EndoLine とドリル穴を希望する方向に回してください。

10. マウスの左ボタンを放してください。

▶ SICAT Endo EndoLine とドリル穴の現在の回転位置を維持します。

▶ SICAT Endo ドリルチャンネルの変更された位置の他のビューを調整します。



11. 必要に応じて、フィールド**深さ [mm]**の後ろの矢印キーをクリックし、ドリルスリーブの位置を調整することができます。

▶ SICAT Endo ドリルスリーブの新しい深さを示します。



12. 必要に応じて、**直径 [mm]**フィールドの後ろの矢印アイコンをクリックし、レトログレードドリル穴の直径を調整することができます。

▶ SICAT Endo 利用可能な直径の一覧を表示します。

13. 希望する直径をクリックしてください。

▶ SICAT Endo ドリル穴の新しい直径を表示します。

14. ドリル穴の計画を完了するには、**完了**ボタンをクリックしてください。

▶ EndoLine ウィザードが閉じます。

▶ **口腔内撮影画像**ワークスペースが開きます。

▶ SICAT Endo 計画されたドリル穴を表示します。

ドリル穴をロックする

ドリル穴を変更から保護するために、この機能を使用してください。

ドリル穴をロックするには、次の手順に従って行ってください。

ドリル穴はすでにマーキングされています。



▪ **オブジェクトをロックする**のアイコンをクリックしてください。

▶ SICAT Endo 加工のためにドリル穴をロックします。

▶ SICAT Endo 対応する EndoLine をロックします。

ドリル穴のロックを解除する

ドリル穴のロックを解除するには、次の手順に従って行ってください。

- ☑ ドリル穴はロックされています。
- ☑ ドリル穴はすでに有効になっています。



- **オブジェクトのロックを解除するのアイコンをクリックしてください。**
- ▶ SICAT Endo ドリル穴のロックを解除します。
- ▶ SICAT Endo 対応するEndoLineのロックを解除します。

ドリル穴を削除する

ドリル穴を削除するには、次の手順に従って行ってください。

1. **ドリル穴を追加する**エリアで、削除したいドリル穴を含むEndo計画オブジェクトをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo Endo計画オブジェクトをマーキングします。
2. Endo計画オブジェクトにおいて削除したいドリル穴をクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo ドリル穴をマーキングします。
3. **ドリル穴を削除する**ボタンの行の端部をクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo ドリル穴を削除します。



ドリル穴の編集がロックされている場合には、対応するEndoLineの編集もできません。EndoLineを編集するためには、対応するドリル穴のロックを解除する必要があります。

32 距離/角度測定

SICAT Endoには2種類の測定タイプがあります：



- 距離測定



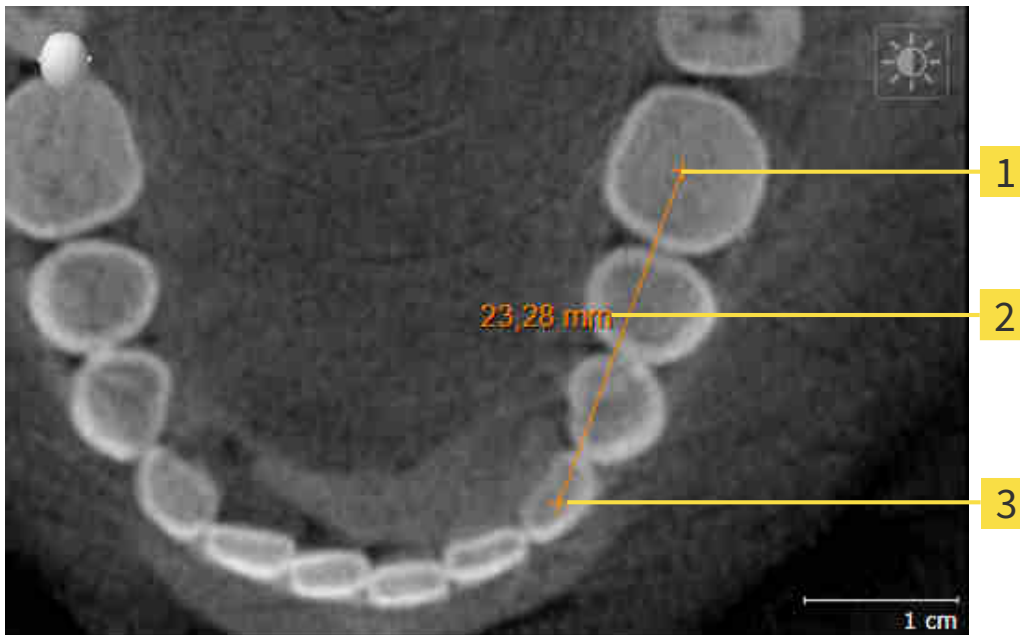
- 角度測定

測定を追加するツールは、ワークフローのツールバーの**診断する**に記載されています。すべての2Dレイヤービューに測定を追加することができます。測定を追加する度に、SICAT Endoはその測定を**測定**のグループオブジェクトブラウザにも追加します。

測定に使用できる操作：

- [距離測定を追加する \[▶ ページ 210 - Standalone\]](#)
- [角度測定を追加する \[▶ ページ 211 - Standalone\]](#)
- [測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する \[▶ ページ 213 - Standalone\]](#)
- 測定のアクティベーション、非表示および表示に関する情報は**オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ ページ 100 - Standalone]**をご覧ください。
- 測定に焦点を当てる、測定を削除する、測定操作を元に戻して再度実行する手順に関する情報は、**オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ ページ 102 - Standalone]**の節をご覧ください。

32.1 距離測定を追加する



1 始点

2 測定値

3 終点

距離測定を追加するには、次の手順で行います。

☑ ワークフロー・ステップの**診断する**は、展開させておきます。

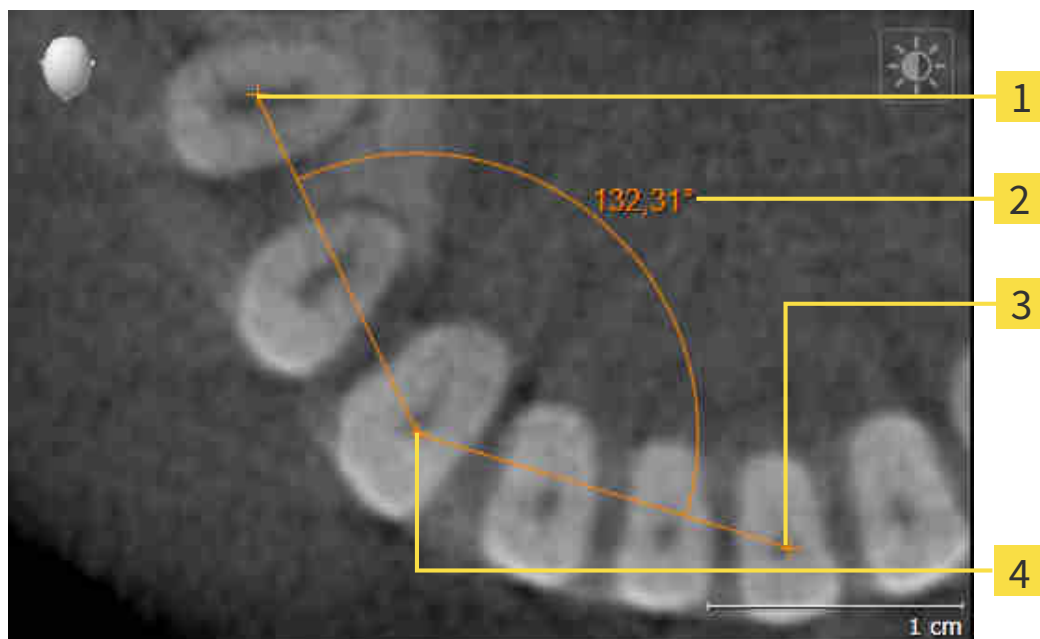


1. ワークフローステップ **診断する** で **距離測定を追加する(D)** アイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo 新しい距離測定を**オブジェクトブラウザ**に追加します。
2. マウスポインタを希望の2Dレイヤビュー上に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字になります。
3. 距離測定の始点をクリックします。
 - ▶ SICAT Endo は小さい十字で始点を表します。
 - ▶ SICAT Endo は始点とマウスポインタ間に距離線を表示します。
 - ▶ SICAT Endo 距離線の中央および **オブジェクトブラウザ**に始点とマウスポインタ間の現在の距離を表示します。
4. マウスポインタを距離測定の終点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo は小さい十字で終点を表します。



測定の追加は、**ESC**を押すことによっていつでも中断することができます。

32.2 角度測定を追加する



1 始点

2 測定値

3 終点

4 頂点

角度測定を追加するには、次の手順で行います。

☑ ワークフロー・ステップの**診断する**は、展開させておきます。



1. ワークフローステップ **診断する** で **角度測定を追加する(A)** アイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo 新しい角度測定を**オブジェクトブラウザ**に追加します。
2. マウスポインタを希望の2Dレイヤビュー上に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字になります。
3. 角度測定の始点をクリックします。
 - ▶ SICAT Endo は小さい十字で始点を表します。
 - ▶ SICAT Endo は、角度測定の1本目の辺を始点からマウスポインタまでの線で表します。
4. マウスポインタを角度測定の頂点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo は小さい十字で頂点を表します。
 - ▶ SICAT Endo は、角度測定の2本目の辺を頂点からマウスポインタまでの線で表します。
 - ▶ SICAT Endo 角度測定の2つの頂点の間および**オブジェクトブラウザ**に現在の角度を表示します。

5. マウスポインタを2本目の辺の終点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。

▶ SICAT Endo は小さい十字で終点を表します。



測定の追加は、**ESC**を押すことによっていつでも中断することができます。

32.3 測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する

測定を移動する

測定を移動させるには、次の手順で行います。

- ☑ SICAT Endo はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。これに関する情報は [オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 100 - Standalone\]](#) と [オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 102 - Standalone\]](#) を参照してください。

1. マウスポインタを測定の線上に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字になります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインタを任意の測定位置に動かします。
 - ▶ 測定はマウスポインタの動きに従います。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Endo は現在の測定ポイントを保持します。

個々の測定ポイントを移動する

個々の測定ポイントを移動するには、次の手順で行います。

- ☑ SICAT Endo はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。これに関する情報は [オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 100 - Standalone\]](#) と [オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 102 - Standalone\]](#) を参照してください。

1. マウスポインタを希望の測定ポイント上に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字になります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインタをご希望の測定ポイントの位置に動かします。
 - ▶ 測定ポイントはマウスポインタの動きに従います。
 - ▶ マウスを動かすと、測定値は変化します。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Endo は現在の測定ポイントの位置を保持します。

測定値を移動する

測定値を移動するには、次の手順で行います。

☑ SICAT Endo はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。これに関する情報は [オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 100 - Standalone\]](#) と [オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 102 - Standalone\]](#) を参照してください。

1. マウスポインタを希望の測定値上に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字になります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインタをご希望の測定値の位置に動かします。
 - ▶ 測定値はマウスポインタの動きに従います。
 - ▶ SICAT Endo は、測定値と付属の測定間に点線を表示します。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Endo は現在の測定値の位置を保持します。



1回の測定の値を移動すると、SICAT Endoはその値を1つの絶対位置に設定します。その数値の位置を、そのときの測定ツールに対する相対位置に戻すときは、その数値をダブルクリックします。

33 患者教化



注意

診断目的のためのハンドアウトの使用は、間違った診断および治療になるおそれがあります。

医療画像の認証と治療計画のためのソフトウェア ユーザーインターフェイスの医療画像には、表示機能のみ使用してください。

患者対応の表示で患者に診断について教化し、治療の効果を明確にすることができます。患者教化は二つのステップで実行されます。

1. 内での練習中に SICAT Endo
2. ハンドアウトによる患者情報を通じて

ハンドアウトの内容は説明の間にディスプレイでまとめることができます。

患者はハンドアウトで論じた結果をよく理解することができ、他の人員にも伝えることができます。

ハンドアウトの作成は次のステップで構成されています。

- 画像とスクリーンショットの作成 [[▶ ページ 216 - Standalone](#)]
- ハンドアウトの準備 [[▶ ページ 220 - Standalone](#)]
- ハンドアウトを生成する [[▶ ページ 222 - Standalone](#)]

33.1 画像とスクリーンショットの作成

患者教化に関する一般的な情報は患者教化 [▶ ページ 215 - Standalone]に記載されています。

画像とスクリーンショットの管理に関する一般的な情報はSICAT Endoオブジェクト [▶ ページ 104 - Standalone]に記載されています。

描画ツールは2種類あります。

- 矢印を描く
- 円を描く

矢印を描く

矢印を描くには、次のように行います。

- ☑ すでにボリュームを要件に応じて調整済みです。これに関する情報はボリュームの配置を調整する [▶ ページ 143 - Standalone]を参照してください。
- ☑ ワークフロー・ステップの**説明する**は、展開させておきます。これに関する情報はワークフローのツールバーを参照してください。

1. ワークフローステップ **説明する** で **矢印を描く** アイコンをクリックします。
2. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
 - ▶ マウスポインタはペンになります。
3. 矢印の先端の希望する位置をクリックし、マウスの左ボタンをそのまま押し続けます。
4. マウスを動かします。
 - ▶ SICAT Endo はビューに矢印を表示します。
 - ▶ これ以後、矢印終点はマウスポインタの位置に一致します。
5. マウスポインタを希望する矢印終点位置に移動し、マウスの左ボタンから指を放します。
 - ▶ SICAT Endo はビューに完成した矢印を表示します。
 - ▶ まだ存在しない場合は、SICAT Endoは**画像**オブジェクトに必要な構造を**オブジェクトブラウザ**に作成します。
 - ▶ 画像は**レポート作成**ウインドウにあります。
6. **矢印を描く**のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo は矢印の描画モードを終了します。

円を描く

円を描くには、次のように行います。

- ☑ すでにボリュームをフランクフルト水平などの要件に応じて調整済みです。これに関する情報は**ボリュームの配置を調整する** [▶ ページ 143 - Standalone]を参照してください。
 - ☑ ワークフロー・ステップの**説明する**は、展開させておきます。これに関する情報はワークフローのツールバーを参照してください。
1. ワークフローステップ **説明する** で **円を描く** アイコンをクリックします。
 2. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
 - ▶ マウスポインタはペンになります。
 3. 円の中心の希望する位置をクリックし、マウスの左ボタンをそのまま押し続けます。
 4. マウスを動かします。
 - ▶ SICAT Endo はビューに円を表示します。
 - ▶ これ以後、円の半径は中心とマウスポインタの位置間の距離に一致します。
 5. マウスポインタを希望する半径に到達するまで移動し、マウスの左ボタンから指を放します。
 - ▶ SICAT Endo はビューに完成した円を表示します。
 - ▶ まだ存在しない場合は、SICAT Endoは**画像オブジェクト**に必要な構造を**オブジェクトブラウザ**に作成します。
 - ▶ 画像は**レポート作成**ウインドウにあります。
 6. **円を描く**のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo は円の描画モードを終了します。



描画ツール**矢印を描く**または描画ツール**円を描く**が有効な間は、複数の描画オブジェクトを続けて作成することができます。描画ツールの使用を中断するには、希望のビューの外位置をクリックまたはESCボタンを押します。

描画ツールの設定

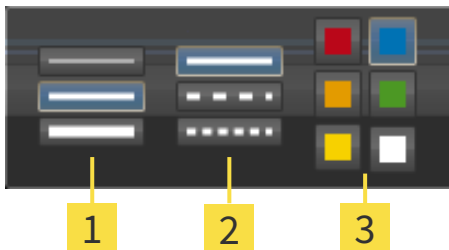
描画ツール**矢印を描く**または描画ツール**円を描く**を個別に設定することができます。設定の変更は、その後作成した描画オブジェクトにのみ該当します。

描画ツールを設定するには、次のように行います。

- ☑ ワークフロー・ステップの**説明する**は、展開させておきます。これに関する情報はワークフローのツールバーを参照してください。

1. ワークフローステップ**説明する**で**矢印を描く**アイコンまたは**円を描く**アイコンの隣にある**描画ツールの設定**アイコンをクリックします。

▶ **描画ツールの設定**の透明なウィンドウが開きます。



1 のアイコン **線の太さ**

2 のアイコン **線の種類**

3 のアイコン **線の色**

2. **線の太さ**、**線の種類**および描画ツールの**線の色**を作成するには、希望するアイコンをクリックしてください。

3. **描画ツールの設定**の透明なウィンドウ外側の任意のポイントをクリックします。

▶ SICAT Endo は**描画ツールの設定**の透明なウィンドウを閉じます。

▶ SICAT Endo は設定をユーザープロファイルに保存します。

▶ SICAT Endo は、新規設定を今作成した描画オブジェクトに適用します。

スクリーンショットを「ハンドアウトを作成する」ウィンドウに追加する

それぞれのビューにスクリーンショットをクリップボードにコピーする (Ctrl+C) アイコンが含まれている場合、各ビューのスクリーンショットを各ワークスペースやウィンドウに作成することができます。

スクリーンショットをハンドアウトに追加するには、次のように行います。



1. ビューのスクリーンショットを作成するには希望するビューの**画像のツールバー**内で**スクリーンショットをクリップボードにコピーする (Ctrl+C)** アイコンをクリックしてください。
2. ワークスペース全体のスクリーンショットを作成するには**ワークスペースのツールバー**内で**スクリーンショットをクリップボードにコピーする (Ctrl+C)** アイコンをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo はスクリーンショットオブジェクトに必要な構造を**オブジェクトブラウザ**に作成し、オブジェクトを有効にします。
 - ▶ スクリーンショットは**レポート作成**ウィンドウにあります。
 - ▶ SICAT Endo はスクリーンショットをクリップボードにコピーします。

ハンドアウトの準備 [▶ ページ 220 - Standalone]で先に進みます。

33.2 ハンドアウトの準備

患者教化に関する一般的な情報は**患者教化** [▶ ページ 215 - *Standalone*]に記載されています。

ハンドアウトの準備するために使用できる操作は以下の通りです。

- **レポート作成**のウィンドウを開く
- ハンドアウト設定の変更
- 要素を準備する

「レポート作成」のウィンドウを開く

- ☑ 少なくとも、**画像オブジェクト**または**スクリーンショットオブジェクト**を作成しました。
- ☑ ワークフロー・ステップの**説明する**は、展開させておきます。これに関する情報はワークフローのツールバーを参照してください。



- **Create Patient Information Report**アイコンをクリックしてください。
- ▶ **レポート作成**のウィンドウが開きます。

ハンドアウト設定の変更

- ☑ **レポート作成**ウィンドウはすでに開いています。
1. **画像ギャラリー用設定**エリアで希望する画像配置用のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo が選択した設定に対応する画像を表示します。
 2. **グローバル設定**エリアで希望の用紙サイズのボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo が選択した設定に対応して用紙サイズを変更します。
 3. **患者情報の匿名化**のチェックボックスを有効または無効にします。
 - ▶ SICAT Endo が、選択した設定に応じて実際の患者情報または匿名化された患者情報をハンドアウト上に表示します。

ハンドアウトのための要素を準備する

レポート作成ウィンドウは**画像オブジェクト**からスクリーンショット、**スクリーンショットオブジェクト**からスクリーンショットを表示します。これに関する情報は**画像とスクリーンショットの作成** [▶ ページ 216 - *Standalone*]を参照してください。

ハンドアウト用の要素の準備は以下のように行います。

- ☑ **レポート作成**ウィンドウはすでに開いています。



1. ハンドアウト内の要素を非表示にしたい場合は、要素のチェックボックスを無効にします。
 - ▶ SICAT Endo がハンドアウト内の要素を非表示にします。



2. SICAT Endoで画像を個別に片側に表示したい場合は**それぞれのページに画像を表示アイコン**をクリックしてください。



3. 要素に説明を追加したい場合は、要素の**画像記述を編集する**アイコンをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Endo は要素の拡大バージョンとテキスト入力欄を表示します。
4. テキスト入力欄にテキストを入力してください。
 - ▶ 既存のテキストブロックテキストの一部を入力した場合、SICAT Endoはテキストブロックのリストを表示します。
5. 希望のテキストブロックをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo がテキストブロックをテキスト入力欄に追加します。
6. 希望したテキストがテキストブロックとして存在しない場合は、新しいテキストを入力してください。
7. **OK**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Endo がテキストをスクリーンショットの説明として保存します。
 - ▶ 入力したテキストがテキストブロックとして存在しない場合は、SICAT Endoが説明を新しいテキストブロックとしてユーザープロファイルに保存します。
8. ハンドアウトの要素の順序を変更したい場合は、ドラッグ&ドロップで調整してください。



マウスポインタをテキストブロック上に動かすと、SICAT Endoが**テキストブロックをリストから削除する**アイコンを表示します。**テキストブロックをリストから削除する**アイコンをクリックすると、SICAT Endoがテキストブロックをユーザープロファイルから削除します。



次のアイテムボタンと直前のアイテムボタンをクリックすることにより、要素の拡大バージョンを示しているウインドウで要素間の切り替えができます。

オブジェクトブラウザで要素をハンドアウトから完全に削除することができます。これに関する情報はオブジェクトツールバーを使用した**オブジェクトの管理** [▶ ページ 102 - Standalone]を参照してください。

ハンドアウトを生成する [▶ ページ 222 - Standalone]で先に進みます。



SICAT Endo は医療所ロゴおよび情報テキストを一般設定から引き継ぎます。この表示に関する内容は、**歯科医院情報の使用** [▶ ページ 247 - Standalone]の節をご覧ください。

33.3 ハンドアウトを生成する

ハンドアウトを作成するために使用できる操作は以下の通りです。

- ハンドアウトをPDFファイルで保存する
- ハンドアウトをプリントする

ハンドアウトをPDFファイルで保存する

レポート作成ウインドウはすでに開いています。



1. 出力のコーナーで、PDFエクスポートのボタンをクリックします。
 - ▶ Windowsエクスプローラのウインドウが開きます。
2. ハンドアウトを保存するディレクトリを変更してください。
3. **ファイル名欄**に名前を入力し、**保存**をクリックします。
 - ▶ Windowsファイルエクスプローラーウインドウが閉じます。
 - ▶ SICAT Endo はハンドアウトをPDFファイルで保存します。



SICAT Endo はPDFファイルも患者ファイルに保存します。

ハンドアウトをプリントする



適切な品質のハンドアウトには特定の要件を満たしたプリンターが必要です。システムの要件に関する内容は、[システム要件 \[▶ ページ9-Standalone\]](#)の節をご覧ください。



- レポート作成ウインドウはすでに開いています。
1. **印刷する**のボタンをクリックします。
 - ▶ **印刷する**のウインドウが開きます。
 2. 希望するプリンターを選択し、必要とあればプリンター設定を調整してください。
 3. **印刷する**をクリックします。
 - ▶ SICAT Endo はプリンターにハンドアウトを送信します。

34 データエクスポート

データをエクスポートすることができます。

現在開いている患者ファイルのスタディをエクスポートすることができます。

SICAT Suiteは以下のデータをエクスポートすることができます。

- 患者ファイル (DICOM)
- 3Dスタディ
- 文書

エクスポートしたデータには次の要素が含まれています。

データタイプ	エクスポートフォーマット
3D撮影画像	DICOM
3Dスタディ	SICAT所有者
文書	PDF

SICAT Suiteでは、3D X線撮影画像とスタディのエクスポートにあたって、ZIP形式の圧縮ファイルか、または、DICOMディレクトリのいずれかを利用します。必要な場合、SICAT Suiteは患者ファイルをエクスポートのために匿名化することができます。



文書をエクスポートするには、**3D撮影図と計画プロジェクトエリア**の文書を選択し、**エクスポート**ボタンをクリックします。その後、Windows ファイルエクスプローラーウィンドウが開き、エクスポート先のディレクトリを選択することができます。

データをエクスポートするには、次の操作を規定の手順で実行します。

- **データを共有する**ウィンドウを開く。これに関する情報は「**データの転送**」ウィンドウを開く [▶ ページ 224 - Standalone]を参照してください。
- 希望のデータをエクスポートします。これに関する情報は**データのエクスポート** [▶ ページ 225 - Standalone]を参照してください。

34.1 「データの転送」ウィンドウを開く

データをエクスポートするにはまず**データを共有する**ウィンドウを開く必要があります。

SICAT Suiteのスタンドアロンバージョンで**データを共有する**ウィンドウを開くには、次の操作のうちいずれかを実行します：



- 患者ファイルが有効になっている場合、**ナビゲーションバー**で**データを共有する**アイコンをクリックします。
 - ▶ **データを共有する**のウィンドウが開きます。
- SICAT Suiteホームのウィンドウで、**データを共有する**のボタンをクリックします。
 - ▶ **データを共有する**のウィンドウが開きます。
- **アクティブな患者ファイル**ウィンドウで3D X線撮影図、スタディまたは計画プロジェクトを選択し、**データを共有する**ボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteは患者ファイルを有効にし、選択したデータに関する**データを共有する**ウィンドウが開きます。
- **患者ファイルの概要**ウィンドウで患者ファイルを選択し、選択した患者ファイルを転送するボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteは患者ファイルを有効にし、**データを共有する**ウィンドウが開きます。患者ファイルの全ての3D X線撮影図と計画プロジェクトをエクスポートするために選択します。
- **患者ファイルの概要**ウィンドウで3D X線撮影図または計画プロジェクトを選択し、**データを共有する**ボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteは患者ファイルを有効にし、**データを共有する**ウィンドウが開きます。



SICAT Suiteはアクティブな患者ファイルの選択した3D X線撮影画像と計画プロジェクトのみエクスポートします。

データのエクスポート [▶ ページ 225 - Standalone]で続行してください。

34.2 データのエクスポート

スタディをエクスポートするには、次の手順で行います。

- ☑ **データを共有する** ウィンドウはすでに開いています：これに関する情報は「データの転送」ウィンドウを開く [▶ ページ 224 - Standalone] を参照してください。



1 チェックボックス **匿名にする**

2 患者ファイルの特性

3 3Dスタディのリスト

4 欄 **目的のパス** を選択してください。

5 ボタン **データを共有する**

6 チェックボックス **結果をZipファイルにする**

1. 希望する場合、**データを共有する** ウィンドウで**匿名にする**のチェックボックスにチェックを入れます。
 - ▶ エクスポートした患者ファイルの特性は、**姓 (患者)**、**名 (匿名)**、**1月1日 (誕生日が誕生日年)** に変わります。患者ファイリング内の患者ファイルの特性は変更されません。

2. 希望の患者の任意の3Dスタディが選択されていることを確認してください。



3. **検索する** のボタンをクリックします。

▶ **フォルダを検索する** のウィンドウが開きます。

4. **フォルダを検索する** ウィンドウでエクスポート先フォルダを選択し、**OK** をクリックします。

▶ **フォルダを検索する** ウィンドウが閉じ、SICAT Suiteが任意のフォルダへのパスを**目的のパス**を選択してください。欄に転記します。

5. **結果をZipファイルにする** のチェックボックスをアクティブまたは無効にします。



6. データを共有するのボタンをクリックします。

- ▶ SICAT Suiteは選択したスタディをZIP形式の圧縮ファイルか、または、選択したフォルダにエクスポートします。

ZIP形式の圧縮ファイルとフォルダの両者いずれにおいても、それぞれで保存されるのは、DICOM形式の3D X線撮影画像、および、ファイル形式がプロプライエタリ・フォーマットの治療計画データです。3D X線撮影画像は、すべてのDICOMビューワで確認できますが、治療計画データは、SICATの各種アプリケーションのうち、そのデータが関係するものを使用します。

35 注文プロセス

希望の製品を注文するには、次の手順で行います。

- SICAT Endoで、サージカルガイドのための希望する計画データをショッピングカートに入れます。これに関する情報はドリルテンプレートをショッピングカートに入れる [▶ ページ 228 - Standalone]を参照してください。
- ショッピングカートを確認し、注文を開始します。これに関する情報はカートをチェックして、注文プロセスを完了する [▶ ページ 233 - Standalone]を参照してください。
- 注文は、SICAT Suiteが作動しているコンピューターで直接終了するか、インターネットに接続されている別のコンピューターで終了します。これに関する情報はインターネット接続を使用した注文の終了 [▶ ページ 234 - Standalone]またはインターネット接続を使用しない注文の終了 [▶ ページ 238 - Standalone]を参照してください。



様々な患者、3D X線撮影図およびアプリケーションに属する注文をショッピングカートに追加することができます。ショッピングカートの内容は、SICAT Suite終了時も保持されます。

35.1 ドリルテンプレートをショッピングカートに入れる



注文に誤ったデータがあると、誤った注文となる可能性があります。

注文をするときには、注文のための正しいデータの選択と転送を確認してください。



注文を誤ると誤った治療の原因となるおそれがあります。

1. 注文を送信する前にご注文内容をご確認ください。
2. 注文の適切な治療計画を確認してください。

注文プロセスに関する一般的な情報は、[注文プロセス](#) [▶ ページ 227 - Standalone]をご参照ください。

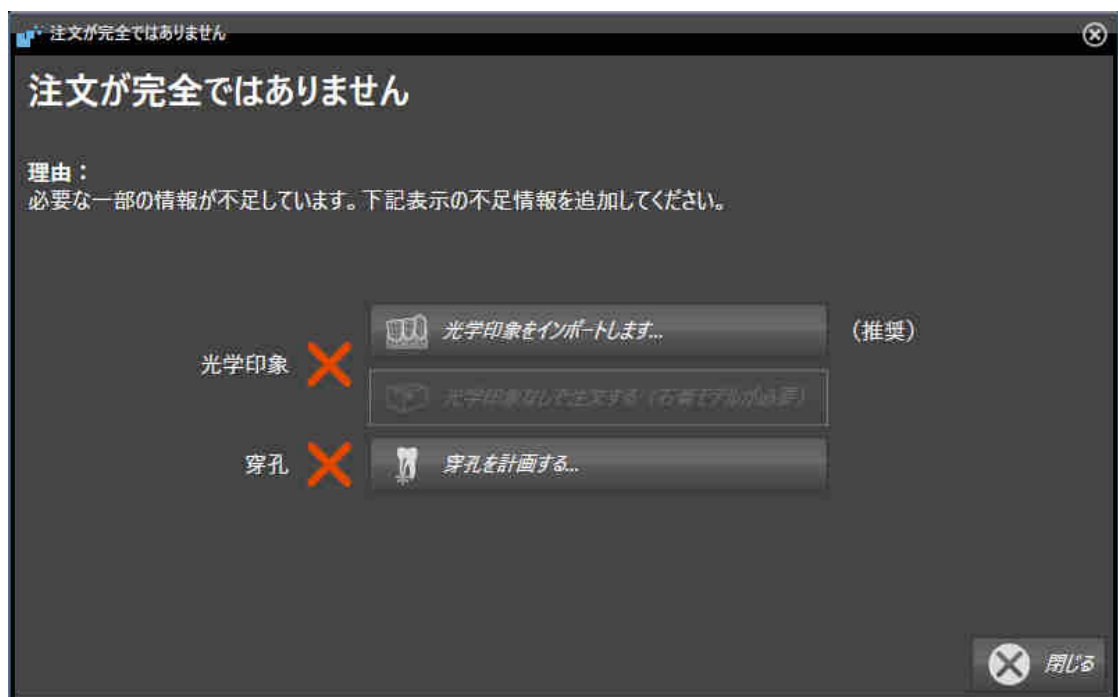
SICAT Endoで注文プロセスの最初のステップとして、**SICAT GUIDE (ENDO)**ドリルテンプレートをショッピングカートに入れてください。**SICAT GUIDE (ENDO)**をショッピングカートに入れるためには、特定の条件を満たす必要があります。すべての条件をまだ満たしていない場合は、SICAT Endoを参照してください。

充足されていない前提条件があるとき

☑ ワークフロー・ステップ**注文する**は、展開させておきます。これに関する情報は、ワークフローのツールバー [▶ ページ 95 - Standalone]をご参照ください。



1. **SICAT GUIDE (ENDO)**を注文するのアイコンをクリックしてください。
▶ **注文が完全ではありません**のウィンドウが開きます。





2. 光学印象をまだ登録していない場合は、**光学印象をインポートします**ボタンをクリックし、3D X線撮影画像に合う適切な光学印象をインポートしてください。これに関する情報は、**光学印象** [▶ ページ 152 - Standalone]をご参照ください。
3. ドリル穴をまだ計画していない場合は、**ドリル穴を計画する**ボタンをクリックし、ドリル穴を設定してください。これに関する情報は、**ドリル穴を計画する** [▶ ページ 203 - Standalone]をご参照ください。



場合によっては、光学印象をインポートする前にボリュームの配置およびパノラマ曲線を調整する必要があります。**ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する**ウィンドウを**光学印象をインポートし記録する**ウィンドウからステップ **登録する**で直接呼び出すことができます。直接呼び出すにはボタン**パノラマエリアを調整する**をクリックします。これに関する情報は**パノラマエリアを調整する** [▶ ページ 148 - Standalone]を参照してください。



光学印象の代わりにギブスをSICATに送信したい場合は、**注文が完全ではありません**ウィンドウの**光学印象なしで注文する (石膏モデルが必要)**ボタンをクリックし、ドリルテンプレートを光学印象なしでショッピングカートに入れることができます。その後、ステップ**ドリルテンプレートを注文する**は情報この注文には**光学印象は含まれていません**。該当する石膏モデルをSICATまでお送りください。のを示します。

前提条件がすべて充足されているとき

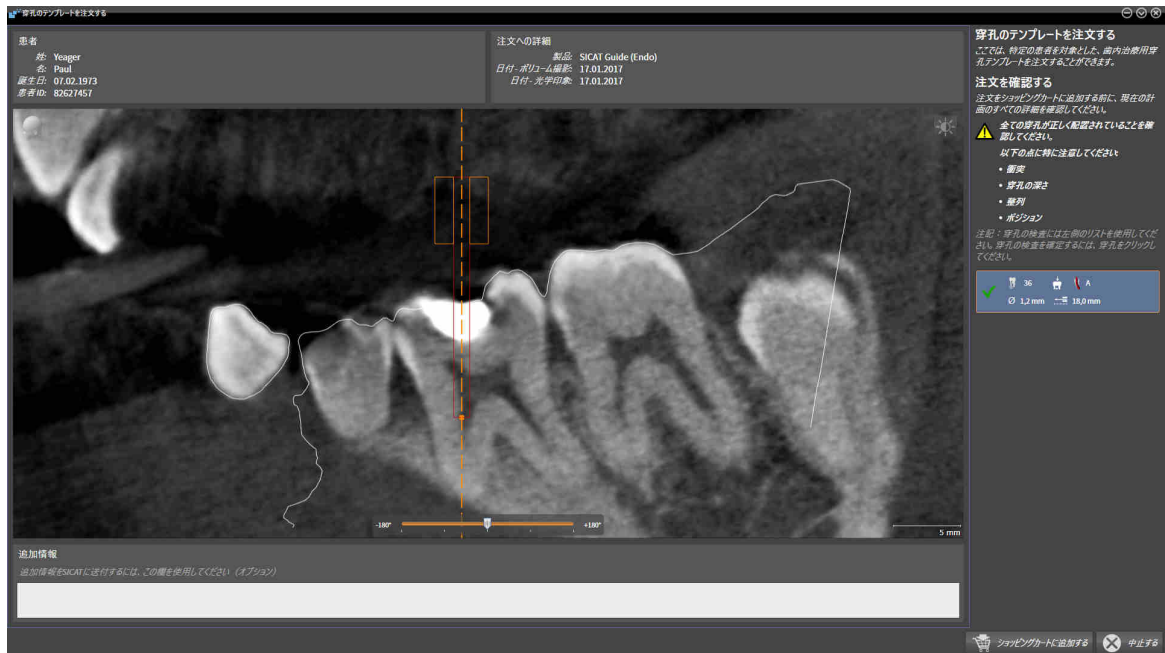
- 少なくとも1つの光学印象をすでにインポート済みです。
- EndoLinesをすでに設定済みです。
- ドリル穴をすでに設定済みです。
- ワークフロー・ステップの**注文する**は、展開させておきます。これに関する情報は、ワークフローのツールバー [▶ ページ 95 - Standalone]をご参照ください。



- **SICAT GUIDE (ENDO)を注文する**のアイコンをクリックしてください。
 - ▶ **ドリルテンプレートを注文する**のウィンドウが開きます。

ウィンドウで注文を確認してくださいドリルテンプレートを注文する

ドリルテンプレートを注文するウィンドウはすでに開いています：



1. 患者情報と撮影図情報が正しいかどうか**患者エリアと注文への詳細エリア**を確認してください。
2. すべてのドリル穴が正しく配置されていることを確認してください。
3. ドリル穴のテストを確認するには、**注文を確認する**エリアで対応するEndo計画オブジェクトをマーキングしてください。
 - ▶ SICAT Endo Endo計画オブジェクトをマーキングします。
4. チェックマークを入れてください。
 - ▶ SICAT Endo 緑色のチェックマークを表示します。
5. 注文に含まれているすべてのドリル穴で手順を繰り返してください。
6. 希望する場合、**追加情報欄**にSICATの追加情報を入力します。
7. **ショッピングカートに追加する**のボタンをクリックしてください。



- ▶ SICAT Endo **SICAT GUIDE (ENDO)**のための希望する治療計画データをSICAT Suiteのショッピングカートに入れます。
- ▶ **ドリルテンプレートを注文する**ウィンドウが閉じます。
- ▶ SICAT Endo SICAT Suiteのショッピングカートを開きます。



すべての計画されたドリル穴を点検し、各ドリル穴の点検を確認した場合、注文品をショッピングカートに入れることができます。



ドリル穴の点検においてエラーが見つかったにもかかわらず、既にチェックマークで点検を確認してしまった場合には、**中止する**ボタンをクリックし、その後、再び注文品点検のためのステップを実行してください。



注文がショッピングカート内にある間は、計画の光学印象、EndoLineおよびドリル穴を上書きすることはできません。これは、注文を終了するか削除した場合において初めて可能です。計画の光学印象、EndoLineおよびドリル穴を上書きまたは削除した場合は、同じドリルテンプレートを再度注文することはできません。



中止するをクリックすると、注文をキャンセルできます。

カートをチェックして、注文プロセスを完了する [▶ ページ 233 - Standalone] を継続してください。

35.2 カートを開く



カートアイコンでは、カート内にあるアイテムの数量を示しています。

☑ カートには、製品を1個以上、入れておきます。



- ショッピングカートはまだ開いていない場合、ナビゲーションバーのカートボタンをクリックします。

▶ カートのウィンドウが開きます。

以下の操作で、処理を続けてください。

- カートをチェックして、注文プロセスを完了する [▶ ページ 233 - Standalone]

35.3 カートをチェックして、注文プロセスを完了する

☑ カートウインドウはすでに開いています。これに関する情報は[カートを開く \[▶ ページ 232 - Standalone\]](#)を参照してください。

1. カートウインドウで、希望の製品が含まれてるか確認します。

2. **オーダーを完了する**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteは注文ステータスを**準備中**にし、さらに、SICAT WebConnector経由で、SICAT サーバーに接続します。

▶ インターネットに接続して注文した場合、注文の変更はSICATポータルでのみ可能です。

以下の操作を続行します：

- インターネット接続を使用した注文の終了 [[▶ ページ 234 - Standalone](#)]
- インターネット接続を使用しない注文の終了 [[▶ ページ 238 - Standalone](#)]

35.4 インターネット接続を使用した注文の終了



Windowsのバージョンによっては、注文プロセスを行うために、標準的なWebブラウザに設定しなければならない場合があります。

- ☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。
 - ☑ SICATポータルは自動的にブラウザで開かれました。
1. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。
 - ▶ 注文一覧が開き、含まれている製品および価格が患者毎にグループ分けして表示されません。
 2. SICATポータルでの注文手順 [▶ ページ 235 - Standalone] 以下の手順に従ってください。
 - ▶ SICAT Suiteはアップロード用の注文データを準備します。
 - ▶ 準備が完了すると、SICAT WebConnectorは注文データを暗号化された接続経路でSICATサーバーに転送します。
 - ▶ ショッピングカートの注文ステータスが**アップロードする**に変わります。



SICAT Suiteでは、アップロードが完了するまで、注文内容の表示を続けます。複数のコンピューターで、同じ患者ファイルフォルダーを開いているときは、注文をアップロードしているのが別のコンピューターであっても、すべてのコンピューターで、その注文内容が表示されます。注文内容のアップロードを開始したコンピューターであれば、そのコンピューターで、注文プロセスを一時停止する、再開する、キャンセルするの各操作を行うことができます。



アップロード中にWindowsをログオフすると、SICAT WebConnectorはアップロードを一時停止します。ソフトウェアは再度ログオン後に、自動的にアップロードを続行します。

35.5 SICATポータルでの注文手順

SICAT Suiteで注文プロセスを実行して完了したら、お手元の標準ブラウザでSICAT Portalのページが開きます。SICAT Portalでは、ご自分の注文内容をカスタマイズして、製作依頼先にする、有資格の歯科技工所を選択し、製品の価格を確認できます。

SICAT Portalで注文プロセスを実行するには、次の手順で行います。

1. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。
2. 希望の製品が含まれてるか確認します。
3. 必要に応じて、患者および付属の全製品を注文一覧から除去してください。注文を完了すると、SICAT Suiteでは、SICAT Portalで実施した変更内容が適用されます。
4. 請求書送付先と配送先住所が正しいか確認してください。正しくない場合修正してください。
5. 希望の配達方法を選択してください。
6. 一般条件を承認し、注文を提出してください。



患者を選択し、患者の削除のボタンをクリックすることにより、患者および全ての付属プリントをSICATポータルから除去することができます。その後、ショッピングカートでは再び製品の構成にフルアクセスすることができます。

35.6 SICAT WEBCONNECTOR



SICAT WebConnectorはSICATサーバーとの通信用に特定のポートを必要とします。これに関する情報はシステム要件 [▶ ページ 9 - Standalone]を参照してください。



Windowsのバージョンによっては、注文プロセスを行うために、標準的なWebブラウザに設定しなければならない場合があります。

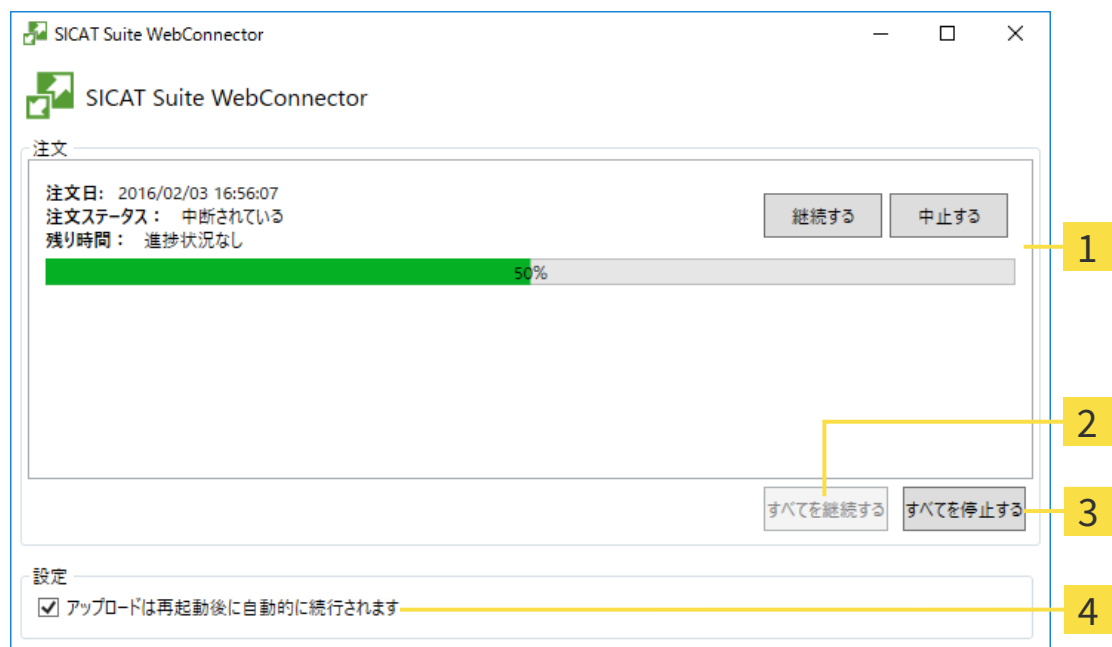
SICAT Suiteを実行させているコンピュータがインターネットに接続できるときは、SICAT Suiteで、ご自分の注文内容がバックグラウンドで暗号化され、WebConnector経由で送信されます。SICAT Endo 直接、カートから送信のステータスを表示しますので、SICAT WebConnectorを一時停止させることがあります。SICAT WebConnectorが送信を再開するのは、SICAT Suiteを閉じて終了させた後になります。ご希望に沿ってアップロードが行われませんが、そのときは、SICAT WebConnectorのユーザーインターフェースを開いてください。

「SICAT SUITE WEBCONNECTOR」のウィンドウを開く



- タスクバーの通知ウィンドウで、**SICAT Suite WebConnector**アイコンをクリックします。

▶ SICAT Suite WebConnector のウィンドウが開きます。



1 リスト 注文

2 ボタン すべて再開する

3 ボタン すべて停止する

4 チェックボックス 再起動後にアップロードを自動で再開する

注文 のリストには、処理待機中の注文内容が表示されます。

アップロードの中断および続行

アップロードの処理は、中断させることができます。この操作は、例えば、お使いのインターネット接続で負荷が過大なときに役立ちます。設定内容で制御する対象は、SICAT WebConnectorでのアップロード処理に限定されています。Webブラウザを利用するアップロード処理は、この操作の影響を受けません。

SICAT Suite WebConnectorウインドウはすでに開いています：

1. **すべて停止する**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT WebConnectorでは、すべての注文について、アップロードを中断します。
2. **すべて再開する**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT WebConnectorでは、すべての注文について、アップロードを再開します。

再起動後の自動アップロード再開をオフにする

Windowsを再起動しても、SICAT WebConnectorでアップロードが自動で再開することがないようにすることができます。

SICAT Suite WebConnectorウインドウはすでに開いています：

- **再起動後にアップロードを自動で再開する**のチェックボックスで、チェックマークを外します。
- ▶ お手元のコンピュータを再起動させても、SICAT WebConnectorでは、ご自分の注文のアップロードが自動で再開することは、なくなります。

35.7 インターネット接続を使用しない注文の終了

SICAT Suiteを起動しているコンピューターにSICATサーバーとの接続が確立できない場合、SICAT SuiteがウィンドウSICAT サーバーへの接続エラーを開きます。ウィンドウは問題に対する以下の原因を表示します。

- インターネット接続が利用できません。SICAT WebConnectorはSICATサーバーへの接続を確立できません。
- SICATポータルにアクセスできません。
- 「SICATWebConnector」サービスがインストールされていません。
- 「SICATWebConnector」サービスが起動していません。
- 未知のエラーが発生しました。SICAT WebConnectorはSICATサーバーへの接続を確立できません。

この章ではインターネット接続が使用できない場合のみを対象にスクリーンショットを示しています。

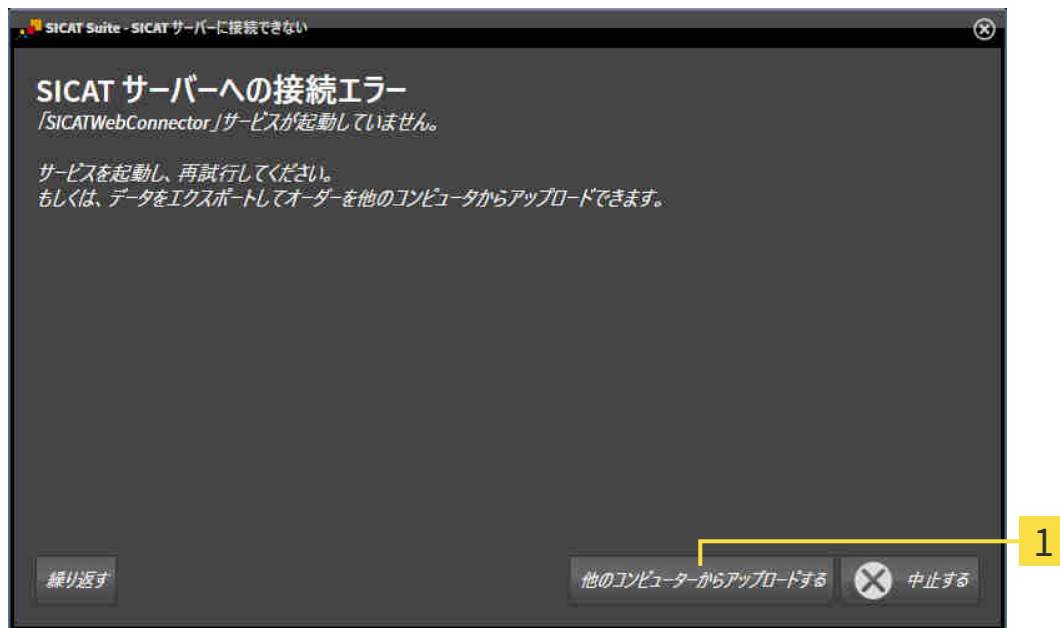
その原因の下で可能な問題を解決できる手順を発見します。

トラブルシューティングの代替手段として、注文をインターネット接続が有効な他のコンピューターのウェブブラウザからアップロードする方法があります。ウェブブラウザによる注文に対して、SICAT Suiteは一度に全ての製品をショッピングカートにエクスポートし、患者毎に一つのサブフォルダを作成します。各サブフォルダには注文情報付のXMLファイルと製造に必要なデータが付いているZIPアーカイブがあります。SICATポータルではXMLファイルとZIPアーカイブを連続してアップロードすることができます。この送信は、暗号化して行われます。

インターネット接続を利用しない注文プロセスを完了するには、次の手順で行います。

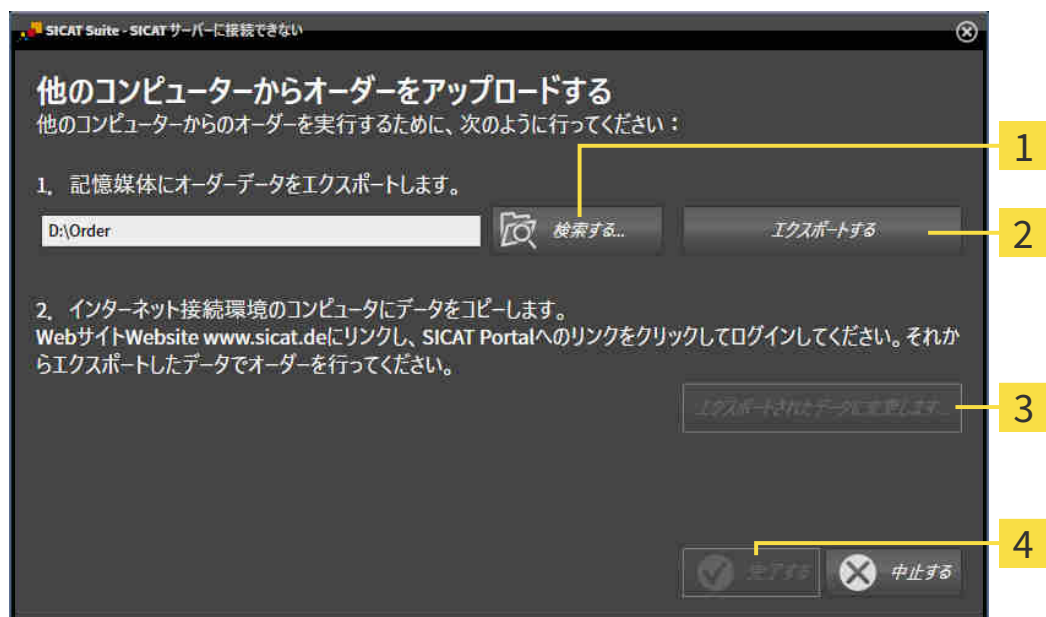
- ☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されていません。

☑ ウィンドウに表示されるメッセージ： SICAT サーバーへの接続エラー

**1** ボタン 他のコンピューターからアップロードする

1. 他のコンピューターからアップロードするのボタンをクリックします。

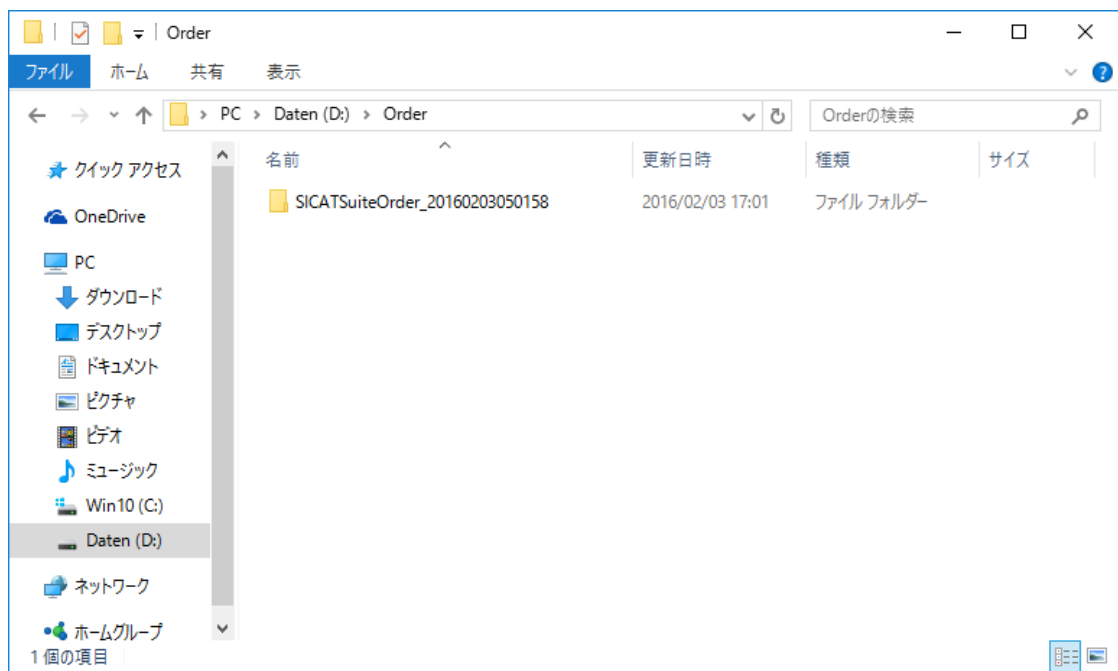
▶ 他のコンピューターからオーダーをアップロードする のウィンドウが開きます。

**1** ボタン 検索する**3** ボタン エクスポートされたデータに変更
します**2** ボタン エクスポートする**4** ボタン 完了する

2. 検索するのボタンをクリックします。

▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。

3. 既存のディレクトリを選択するか、新しいディレクトリを作成して、**OK**をクリックします。ディレクトリのパス名は、字数を160字以下にしておく必要がありますので、ご注意ください。
4. **エクスポートする**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteは、ショッピングカートの内容の注文に必要な全データを指定のフォルダにエクスポートします。この時、SICAT Suiteは患者毎に一つのサブフォルダを作成します。
5. **エクスポートされたデータに変更します**のボタンをクリックします。
 - ▶ Windowsファイルエクスプローラーウインドウが開き、エクスポートしたデータのあるディレクトリが表示されます：



6. USBスティックなどの補助ツールを使用して、インターネットに接続しているコンピューターに希望のスプリントのデータが含まれるフォルダをコピーします。
7. **他のコンピューターからオーダーをアップロードするウインドウの完了する**をクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteは**他のコンピューターからオーダーをアップロードするウインドウ**を閉じます。
 - ▶ SICAT Suiteは、注文に含まれる全ての製品をショッピングカートから除去します。
8. インターネットに接続されたコンピューター上でウェブブラウザを開き、インターネットページ<http://www.sicat.de>を開きます。
9. SICATポータルへのリンクをクリックします。
 - ▶ SICATポータルが開きます。

10. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。
11. 注文をアップロードするためのリンクをクリックします。
12. インターネットに接続したコンピューターで希望の注文を選択します。これは、ファイル名が**SICATSuiteOrder**で始まるXMLファイルです。
 - ▶ 注文一覧が開き、含まれている患者、付属の製品および価格が表示されます。
13. SICATポータルでの注文手順 [▶ ページ 235 - Standalone]以下の手順に従ってください。
14. 製品の治療計画データをアップロードするためのリンクがありますので、それをクリックします。
15. インターネットに接続したコンピューターで適切な製品データを選択します。これは、以前アップロードしてXMLファイルと同じフォルダ内にあり、ファイル名が**SICATSuiteExport**で始まるZipアーカイブです。
 - ▶ 注文を実行した場合、ブラウザは製品データが含まれるアーカイブを暗号化された接続経由でSICATサーバーに転送します。



SICAT Suiteは、エクスポートしたデータを自動的に削除しません。注文プロセスが完了したら、セキュリティ上の理由により、エクスポートしたデータを手動で削除する必要があります。

36 設定

設定ウィンドウで一般設定を変更または閲覧することができます。設定アイコンをクリックすると、設定ウィンドウの左側のページにあるオプションバーに次のタブが表示されます。

- **一般** - これに関する情報は **一般設定の使用** [▶ ページ 243 - *Standalone*] を参照してください。
- **患者ファイル用ファイリング** - SICAT Suiteのスタンドアロンバージョンでのみ使用可能。これに関する情報は **患者ファイリング** [▶ ページ 55 - *Standalone*] を参照してください。
- **ライセンス** - これに関する情報は **ライセンス** [▶ ページ 45 - *Standalone*] を参照してください。
- **プラクティス** - 施設のロゴおよび情報テキストを表示または変更します（例えば、プリントアウトして使用するため）。これに関する情報は **歯科医院情報の使用** [▶ ページ 247 - *Standalone*] を参照してください。
- **可視化** - ビジュアル化に関連する、一般的な設定内容を変更します。これに関する情報は **可視化設定の変更** [▶ ページ 248 - *Standalone*] を参照してください。

設定を変更した場合、SICAT Endoが変更をすぐに反映し、お客様のユーザープロフィールに設定を保存します。

36.1 一般設定の使用

一般的な設定内容を開くには、次の手順で行います。



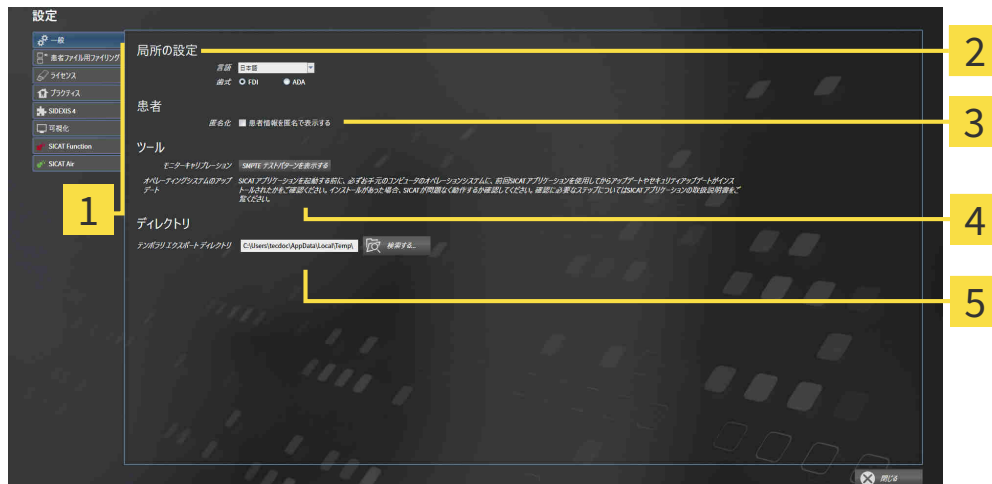
1. ナビゲーションバーで、設定のアイコンをクリックします。

▶ 設定のウィンドウが開きます。



2. 一般タブをクリックします。

▶ 一般のウィンドウが開きます。



1 タブ 一般

4 エリア ツール

2 エリア 局所の設定

5 エリア ディレクトリ

3 エリア 患者

以下の設定を変更することができます。

- **局所の設定**エリアでは、言語リストからユーザーインターフェースの言語を変更することができます。
- **局所の設定**エリアでは、**歯式**で現在の歯型図を変更できます。
- **患者**エリアでは、**患者情報を匿名で表示する**のチェックボックスのステータスを変更または閲覧できます。チェックボックスが選択されている場合、SICAT Suiteでは患者ファイルの特性はナビゲーションバーに**患者（姓）、匿名（名）、誕生年月で01.01.（誕生日）**と表示されます。SICAT Suiteホームウィンドウで、SICAT Suiteは**最後の患者ファイル**リストを表示しません。
- **ディレクトリ**エリアでは、**テンポラリ エクスポート ディレクトリ**欄にSICAT Suiteが注文データを保存するフォルダを指定することができます。このフォルダには、フルアクセスできなくてはなりません。

一般設定の表示または変更の他に、SMPTEテスト画像を開いて、モニターをキャリブレーションすることもできます。

- ツール、モニターキャリブレーションでSMPTEテストパターンを表示するボタンをクリックして、モニターをキャリブレーションします。これに関する情報はSMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーション [▶ ページ 245 - Standalone]を参照してください。



対応している歯型図はFDIとADAです。

36.2 SMPTEテスト画像によるモニターのカリブレーション



注意

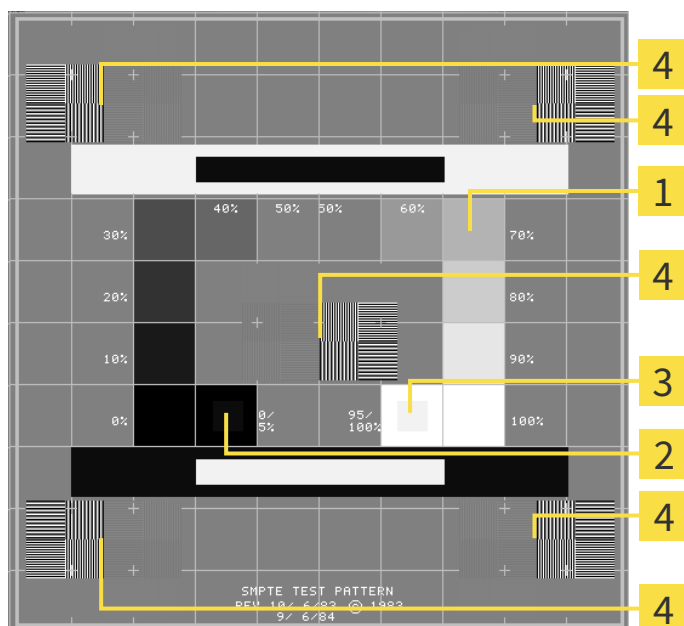
環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

4個のメインプロパティが、SICATアプリケーションのデータを表示させるモニターの特性を決定します。

- 輝度
- コントラスト
- 空間分解能（直線性）
- ひずみ（エイリアシング）

SMPTEテスト画像は参照画像であり、モニターのプロパティをチェックする際に使用します。



1 グレースケールスクエア

2 0%スクエア

3 100%スクエア

4 高コントラストのバーパターンが含まれるスクエア

輝度およびコントラストの点検

SMPTEテスト画像の中央では、一連のスクエアが黒（輝度0%）～白（輝度100%）のグレースケールを示しています。

- 0%スクエアには、0%～5%間の輝度の違いを示す小さ方のスクエアが含まれます。
- 100%スクエアには、95%～100%間の輝度の違いを示す小さ方のスクエアが含まれます。

モニターを点検または設定するには、次のように行います。

SMPTEテスト画像はすでに開いています。

- 0%スクエアおよび100%スクエアで、内側のスクエアと外側のスクエア間に視覚的違いが見えるか点検してください。必要に応じて、モニターの設定を変更してください。



多くのモニターは、100%スクエア内の輝度の相違のみ表示され、0%スクエア内には表示されません。0%スクエア内の様々な輝度レベルの相違を改善するために、アンビエントライトを減らすことができます。

空間分解能およびひずみの点検

SMPTEテスト画像の角および中央では、6個のスクエアに高コントラストのバーパターンが表示されます。空間分解能およびひずみについては、様々な幅の、黒と白で切り替わる、垂直の線で区別できる必要があります。

- 幅が広い～狭い（6ピクセル、4ピクセル、2ピクセル）
- 水平および垂直

モニターを点検または設定するには、次のように行います。

- 高コントラストのバーパターンが表示される6個のスクエアで、全ての線が区別できるかどうか点検します。必要に応じて、モニターの設定を変更してください。

SMPTEテスト画像を閉じる

SMPTEテスト画像を閉じるには、次の手順で行います。

- ESCボタンを押します。
- ▶ SMPTEテスト画像が閉じます。

36.3 歯科医院情報の使用

SICAT Suiteの各種アプリケーションでは、このページで表示する説明文を利用して、印刷物やPDFファイルをカスタマイズします。

歯科クリニックの説明文を開くには、次の手順で行います。



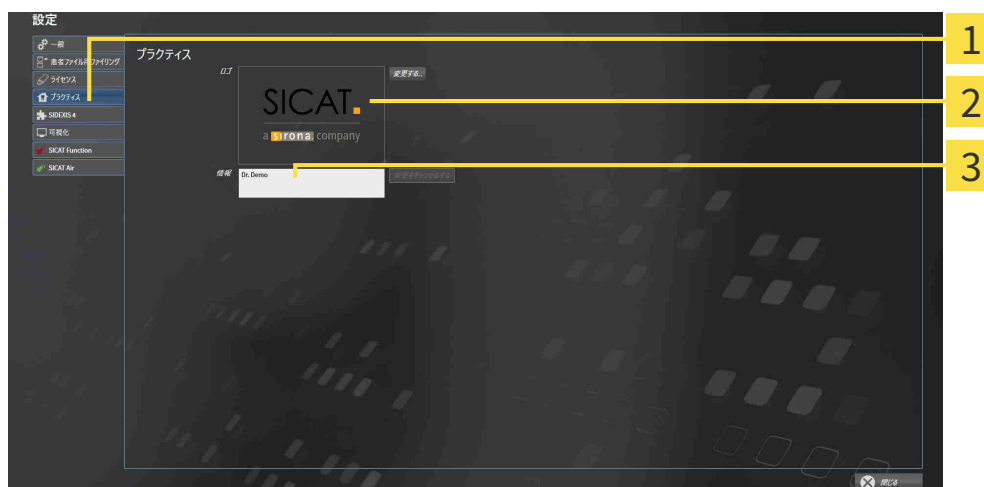
1. ナビゲーションバーで、**設定**のアイコンをクリックします。

▶ **設定**のウィンドウが開きます。



2. **プラクティスタブ**をクリックします。

▶ **プラクティス**のウィンドウが開きます。



1 タブ プラクティス


2 エリア ロゴ

3 エリア 情報


以下の設定を変更することができます。

- **ロゴ**エリアでは、歯科医院のロゴを設定することができます。**変更する**ボタンで歯科医院のロゴを選択することができます。SICAT Suiteは指定のファイルをSICAT Suiteユーザーディレクトリにコピーします。
- **情報**エリアでは、歯科医院を識別するテキスト（名前、住所など）を入力することができます。**Enter**ボタンを押して、行数を最大5行まで増やすことができます。**変更をキャンセルする**ボタンをクリックして、情報テキストの変更を元に戻すことができます。

36.4 可視化設定の変更

注意  表示品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

SICATアプリケーションを使用する前に、表示品質が十分であるか確認してください（例えば、SMPTEテストビューで）。

注意  環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

可視化設定は、すべてのSICATアプリケーションのボリューム、診断オブジェクト、計画オブジェクトの可視化を決定します。

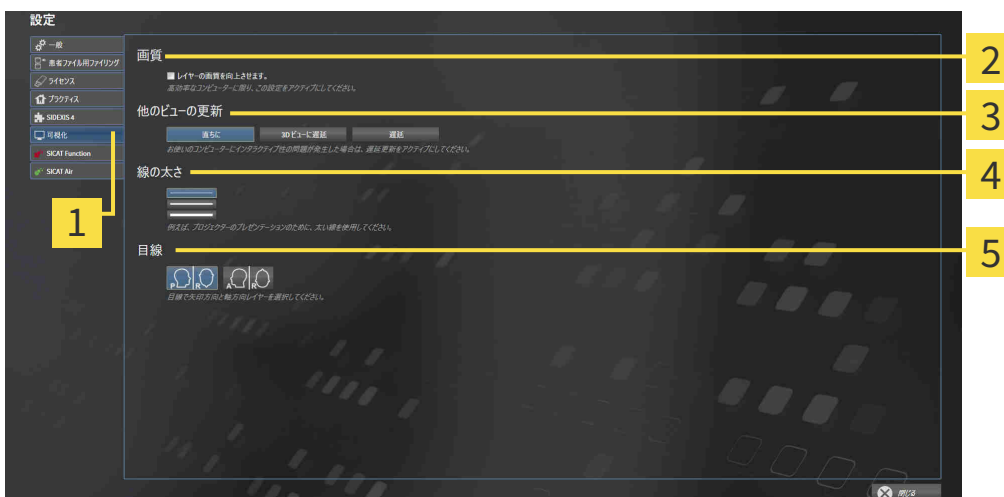
可視化ウィンドウを開くには、次の手順で行います。



1. 設定のアイコンをクリックします。
▶ 設定のウィンドウが開きます。



2. 可視化タブをクリックします。
▶ 可視化のウィンドウが開きます。



- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1 タブ 可視化 | 4 エリア 線の太さ |
| 2 エリア 画質 | 5 エリア 目線 |
| 3 エリア 他のビューの更新 | |

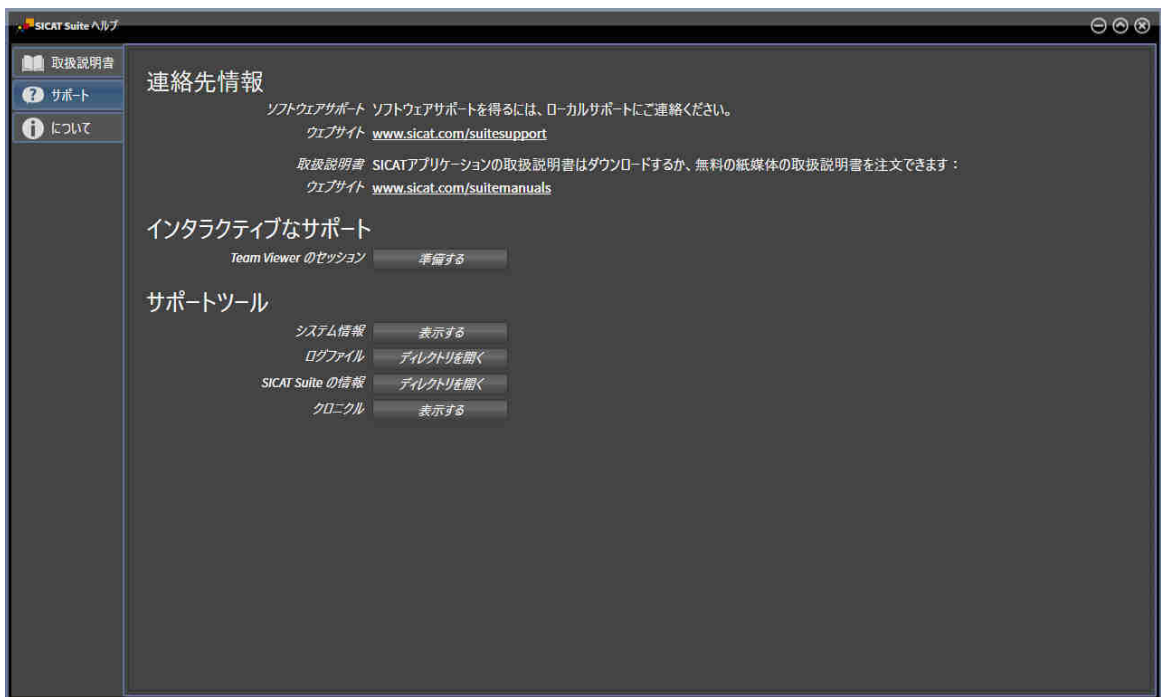
設定：

- **レイヤーの画質を向上させます。** - ソフトウェアが隣接するレイヤーを検知することにより、レイヤーの表示品質を改善します。高効率なコンピューターに限り、この設定をアクティブにしてください。
- **他のビューの更新** - 遅延更新は、別のレイヤーの遅延更新を犠牲にして作業に使用しているビューのインタラクティブ性を向上させます。遅延更新は、コンピューターにインタラクティブ性の不具合が確認された場合のみアクティブにします。
- **線の太さ** - 線の太さを変更します。太めの線は、プロジェクターでのプレゼンテーションに使用します。
- **目線** - 軸方向レイヤービューと矢状方向レイヤービューの目線を切り替えます。

37 サポート

SICATでご利用いただけるサポート態勢を以下に挙げます。

- PDFドキュメント
 - 連絡先情報
 - SICAT SuiteやSICATの各種アプリケーションで、インストール済みのものに関するご案内
- 以下の操作で、処理を続けてください。
- サポート態勢のページを開く [▶ ページ 251 - Standalone]



37.1 サポート態勢のページを開く



サポートウィンドウは、ナビゲーションバーのサポートアイコンをクリックする、またはF1ボタンをクリックすることによって開くことができます。

SICAT Suiteサポートウィンドウは次のタブで構成されます。



- **取扱説明書** - これに関する情報は**取扱説明書を開く** [▶ ページ 44 - *Standalone*]を参照してください。



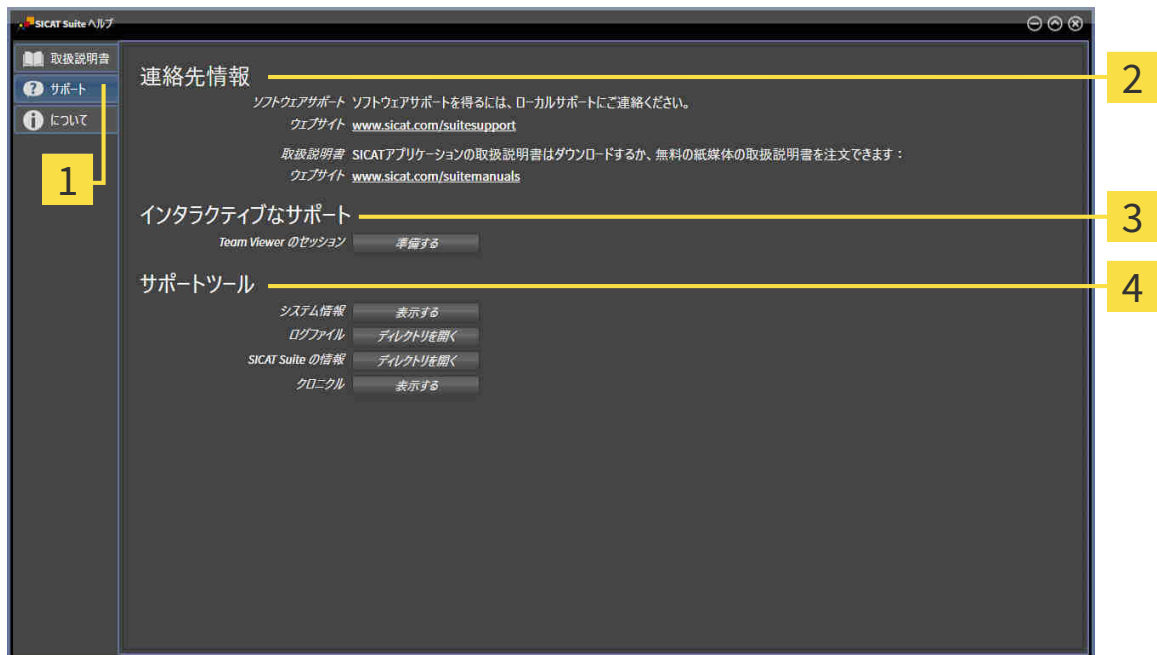
- **サポート** - これに関する情報は**連絡先情報およびサポートツール** [▶ ページ 252 - *Standalone*]を参照してください。



- **インフォメーション** - これに関する情報は**インフォメーション** [▶ ページ 254 - *Standalone*]を参照してください。

37.2 連絡先情報およびサポートツール

サポートウィンドウには、SICATサポートの補助をうけられるように、関連する全ての情報およびツールが含まれています。



1 タブ サポート

3 エリア インタラクティブなサポート

2 エリア 連絡先情報

4 エリア サポートツール

各種の取扱説明書を入手するときのお問い合わせ先は、**連絡先情報**エリアをご覧ください。

次のツールは**インタラクティブなサポート**エリアで使用することができます。

- SICAT Endo では、**Team Viewer のセッション**エリアで、**準備する**のボタンをクリックすると、TeamViewerセッションが開きます。

TeamViewerは、マウス/キーボードのコマンドを遠隔操作し、コンピューターの画面に表示されている内容をインターネット接続経由で転送することのできるソフトウェアです。TeamViewerは、明確な承認がある場合のみ接続を確立します。その際、SICATサポートにTeamViewer IDとパスワードを通知します。これにより、SICATサポートは現地で直接補助できるようになります。

次のツールは**サポートツール**エリアで使用することができます。

- SICAT Endo では、**システム情報**エリアで、**表示する**ボタンをクリックすると、OSのシステムに関する情報が開きます。
- SICAT Endoでは、**ログファイル**エリアで、**ディレクトリを開く**ボタンをクリックすると、Windowsエクスプローラのウィンドウで、SICAT Suiteのログディレクトリが開きます。
- SICAT Endo では、**SICAT Suite の情報**エリアで、**ディレクトリを開く**ボタンをクリックすると、現時点でのインストール状況に関する情報をテキストファイルとしてエクスポートします。
- **SICAT Suite の情報**エリアでボタン**通知を表示する**をクリックするとSICAT Endoが通知ウィンドウを表示します。

37.3 インフォメーション

インフォメーションウィンドウでは、複数のタブにSICAT Suiteおよびインストールされている全SICATアプリケーション経由で情報が表示されます。



38 データを書き込み禁止で開く

データを書き込み禁止で開くことができます。

スタンドアロンバージョンで変更を加えることなく、保存せずに閲覧ができるデータタイプは、患者ファイリングのライセンスステータスの有無によって異なります。

SICAT ENDOライセンスの種類	患者ファイリングはアクティブですか？	変更せずに参照することはできますか？
なし	無関係	無
ビューア	無関係	SICATデータ用
フルバージョン	無	有
フルバージョン	有	無

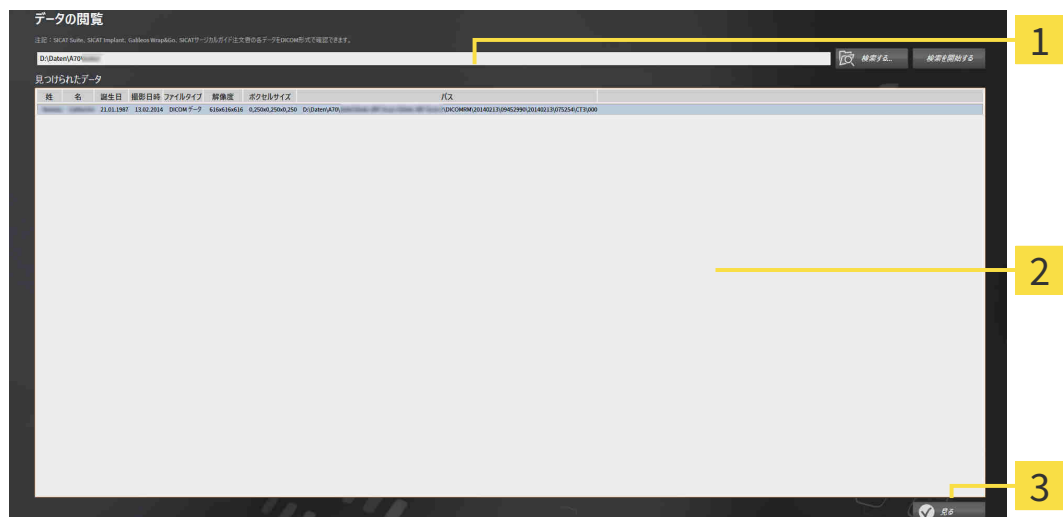
SICAT Endoのフルバージョンライセンスを有効化済みでアクティブな患者ファイリングがない場合は、DICOMデータは表示のみ可能です。

データを変更を加えることなく、保存せずに閲覧ができるようにするには、次のように行います。



1. ナビゲーションバーで、データの閲覧のアイコンをクリックします。

▶ データの閲覧のウィンドウが開きます。



1 欄 データはどこにあるのですか？

2 リスト 見つけれられたデータ

3 ボタン 見る



2. 検索するのボタンをクリックします。

▶ ファイルまたはディレクトリを選択するのウィンドウが開きます。

3. **ファイルまたはディレクトリを選択する** ウィンドウで、閲覧したいファイルまたはフォルダとファイルを選択し、**OK**をクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteは**ファイルまたはディレクトリを選択する**のウィンドウが閉じ、ファイルかフォルダで選択したもののパスを**データはどこにあるのですか？**欄に転記します。
 - ▶ SICAT Suiteは、検索したフォルダのいずれかに含まれている互換性のあるファイルを見つけれられたデータリストにファイルの内容を表示します。
 - ▶ フォルダを選択した場合、SICAT Suiteはそのフォルダおよび全てのサブフォルダを検索します。SICAT Suiteは、検索したフォルダのいずれかに含まれている互換性のあるファイルを見つけれられたデータリストに表示します。
4. **見つけれられたデータリストから希望の3D X線撮影図または計画プロジェクトを選択し、データの閲覧ボタン**をクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteは、3D X線撮影図と計画プロジェクトが含まれる一時的な患者ファイルを作成し、これを有効にします。
5. **アクティブな患者ファイルを使用した作業** [▶ ページ 80 - Standalone]で続行してください。

データを選択するために、互換性のあるファイルやフォルダを**データはどこにあるのですか？**欄にドラッグ&ドロップすることができます。



説明されている手順を利用する場合、検索は自動で開始します。検索は、**検索を停止する**ボタンをクリックして中断することができます。ファイルまたはフォルダへのパスを手動で**データはどこにあるのですか？**欄に入力する場合、**検索を開始する**ボタンをクリックします。フォルダの内容が変わった、または誤って検索を終了した場合、検索を新たに開始するには、これが役に立つこともあります。



ボリュームの配置とパノラマ曲線を調整するには以下の条件を満たしている必要があります。

- 3DX線撮影画像またはSICAT Endoスタディを開くことができるライセンスを有効化済みです。これに関する情報は**ライセンス** [▶ ページ 45 - Standalone]を参照してください。
- SICAT機能による、または他のSICATアプリケーションに関する3DX線撮影画像用の読み取り専用スタディ内にも、ボリュームの配置またはパノラマ曲線の変更による影響を受けるオブジェクトはありません。

条件が満たされていない場合、SICAT Endoがウィンドウ**ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する**内でボリュームの配置やパノラマ曲線の変更を使用できるボタンと制御素子を無効化します。

39 SICAT ENDOを閉じる

SICAT Endoを閉じるには、次の手順に従って行ってください。



- アクティブな患者ファイルのエリアで**閉じる**ボタンをクリックします。
- ▶ SICAT Suiteはアクティブな患者ファイルを保存します。
- ▶ SICAT SuiteはすべてのSICATアプリケーションを閉じます。
- ▶ SICAT Suiteはアクティブな患者ファイルを閉じます。

40 SICAT SUITEを閉じる



- SICAT Suiteの右上の隅にある閉じるボタンをクリックします。
- ▶ SICAT Suiteがフルバージョンで作動し、編集権限があり、スタディを開いている場合、全ての計画プロジェクトを保存します。
- ▶ SICAT Suiteが閉じます。

41 ショートカットキー



マウスポインタを特定の機能上に動かすと、SICAT Endoは機能の名称に加えて括弧内にショートカットキーを表示します。

次のショートカットキーはすべてのSICATアプリケーションで使用できます。

ショートカットキー	説明
A	角度測定を追加する
D	距離測定を追加する
F	アクティブなオブジェクトに焦点を合わせる
Ctrl + C	アクティブなビューの内容をクリップボードにコピーする
Ctrl + Z	前回のオブジェクト アクションを元に戻す
Ctrl + Y	前回戻したオブジェクト アクションをもう一度実行する
Del	アクティブなオブジェクトまたはオブジェクトグループを削除する
ESC	現在の操作を中断する（測定の追加など）
F1	有効なSICATアプリケーションで取扱説明書が開いている場合、ウィンドウ サポート が開きます。

42 SICAT SUITEのアンインストール



SICAT Suiteアンインストールプログラムは、コンピューターに有効なライセンスを保持します。そのため、SICAT Suiteインストールプログラムはアンインストール前に、ライセンスを自動的に削除しないように警告します。SICAT Suiteを特定のコンピューターで使用するのをやめる場合、アンインストールする前にライセンスを無効にしてください。これに関する情報はライセンスをライセンスプールへ返却する [▶ ページ 52 - Standalone] に記載されています。



アンインストールプログラムは、SICAT WebConnectorを自動的に閉じてしまうため、SICAT Suiteをアンインストールする前に、SICAT WebConnectorがすべての注文を完全にアップロードしているかを確認してください。SICAT WebConnectorに関する内容は、*SICAT WebConnector* [▶ ページ 236 - Standalone]の節をご覧ください。

SICAT Suiteをアンインストールするには、次のように行います。

- ☑ SICAT WebConnector はすべての注文を正常にアップロードしました。
- 1. Windowsコントロールパネルで**プログラムおよび機能**をクリックします。
 - ▶ **プログラムおよび機能**のウィンドウが開きます。
- 2. リストから、SICAT Suiteのバージョンが含まれる**SICAT Suite**を選択します。
- 3. **アンインストール**のボタンをクリックします。

- ▶ アンインストールプログラムが起動し、**進捗状況**ウィンドウが開きます。



- ▶ アンインストールが終了すると、**確認**ウィンドウが開きます。



4. **終了する**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteアンインストールプログラムが閉じます。



SICAT Suiteアンインストールプログラムを開くために、SICAT-SuiteインストールプログラムをSICAT Suiteがすでにインストールされているコンピューター上で起動することができます。



SICAT Suiteアンインストールプログラムは、SICAT Suiteと一緒にインストールされたいくつかの前提ソフトウェアのアンインストールプログラムを呼び出します。別のアプリケーションが引き続き前提ソフトウェアを必要としている場合、これらは保持されます。

43 安全に関する注意事項

3D X線撮影画像



注意

不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。



注意

不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。

3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。



注意

DICOMに適合していないX線機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、DICOM規格に適合することが証明されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。



注意

3D X線撮影画像以外のデータを、測定に基づく治療計画のための情報源として使用すると、誤った診断および治療結果につながるおそれがあります。

測定機能を使用する場合には、診断と計画には3D X線撮影画像を使用してください。

口腔内撮影画像



注意

口腔内撮影画像の登録に不適切な3D X線撮影画像を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

1. アーチファクトをほんの少しまたは全く含まない3D X線撮影画像のみを使用してください。
2. 解像度が十分に高い3D X線撮影画像のみを使用してください。



注意

患者および3D X線撮影画像が一致しない、または撮影時期が3D X線撮影画像の撮影時期が離れている口腔内撮影画像を使用した場合には、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

口腔内撮影画像の患者と3D X線画像の患者が一致しており、その撮影時期が3D X線撮影時期と離れていないことを確認してください。



3D X線撮影画像に対して向きが間違っ口腔内撮影画像を使用すると、間違っ診断および治療につながるおそれがあります。

1. 登録された口腔内撮影画像が3D X線撮影画像に対して正しく配置されているか確認してください。
2. 必要に応じて、口腔内撮影画像を回し、正しく配置させてください。



3D X線撮影画像と一致しない口腔内撮影画像を使用すると、間違っ診断および治療につながるおそれがあります。

口腔内撮影画像が3D X線撮影画像が正しく登録されていることを確認してください。



医療用製品として承認されていない口腔内撮影用デバイスは、間違っ診断と治療結果につながるおそれがあります。

医療用製品として承認されている口腔内撮影用デバイスのみを使用するようにしてください。



口腔内撮影画像の完全性または品質が十分でない場合、間違っ診断および治療につながるおそれがあります。

インポートされた口腔内撮影画像の完全性と品質を確認してください。



口腔内撮影画像や3D X線撮影画像の品質が不十分な場合は、口腔内撮影画像の登録のためのメカニズムが失敗する可能性があります。

必ず正しい登録が可能な口腔内撮影画像と3D X線撮影画像のみを使用してください。



口腔内撮影画像の品質および精度が十分でない場合、間違っ診断および治療につながるおそれがあります。

必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および精度の口腔内撮影画像を使用してください。



口腔内撮影画像の位置または向きが間違っていると、間違っ診断および治療につながるおそれがあります。

登録後に、3D X線撮影画像の歯に対して口腔内撮影画像の位置と向きが正しくなっていることを確認してください。

表示条件



注意

表示品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

SICATアプリケーションを使用する前に、表示品質が十分であるか確認してください（例えば、SMPTEテストビューで）。



注意

環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

データ管理



注意

患者名や3D X線撮影画像の突き合わせでミスがあると、結果として、患者を撮影した画像の取り違えを招くことになりかねません。

3D X線撮影ビューで、インポートしようとしているものや、すでにSICATのアプリケーションに読み込み済みのものがあれば、突き合わせる先の患者名が正しいこと、突き合わせる撮影画像に関する情報が正しいことをいずれもチェックしてください。



注意

オリジナルデータを削除すると、データを消失するおそれがあります。

インポートした後にオリジナルデータを削除しないでください。



注意

患者ファイリングのデータバックアップシステムが故障すると、患者データが完全に消失するおそれがあります。

定期的に全ての患者ファイリングのデータバックアップを取ってください。



注意

患者ファイルを削除すると、それに含まれる3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルも全て削除されます。

患者ファイルの削除は、それに含まれる3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルが全て再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。



削除した患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトは元に戻すことができません。

患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトの削除は、これらのデータが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。



3D X線撮影画像を削除すると、それに依存する計画プロジェクトも全て削除されます。

3D X線撮影画像の削除は、それに依存する全計画プロジェクトが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

オペレーターの資格



資格のない者が本ソフトウェアを使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

ソフトウェアの使用は、必ず専門の知識のある有資格者が行ってください。

安全性



情報システムにあるセキュリティの脆弱性は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

1. 情報処理のシステム環境において、セキュリティ上の脅威を発見し、それらを回避するために、組織内部で指針を定めて周知するよう、徹底してください。
2. 最新のウィルススキャナをインストールし、ウィルススキャンを実行してください。
3. ウィルススキャナの定義ファイルを定期的に更新してください。



ワークステーションへの不正なアクセスは、患者データの秘密情報およびインテグリティに関するリスクにつながるおそれがあります。

ワークステーションへのアクセスは資格のある人に限定してください。



注意

サイバーセキュリティの問題は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

お手元のSICATアプリケーションにおいて、サイバーセキュリティにかかわるトラブルの疑いがあるときは、直ちにテクニカルサポートまで、ご連絡ください。

ソフトウェアインストール



注意

ソフトウェアに改変を加えると、結果として、このソフトウェアが起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。

1. ソフトウェアのインストールに変更を加えないでください。
2. ソフトウェアのインストールディレクトリにあるコンポーネントを削除または変更しないでください。



注意

インストールメディアが損傷すると、インストールに失敗する可能性があります。

インストールメディアは慎重に取り扱い、適切に保管してください。



注意

お手元のシステムがシステム要件を満たしていない場合は、結果として、このソフトウェアが起動しなくなったり、または正常に機能しない可能性があります。

ソフトウェアをインストールする前に、ご使用のシステムが最小ソフトウェア/ハードウェア要件を満たしているか確認してください。



注意

不十分な承認は、ソフトウェアインストールまたはソフトウェアアップデートが失敗する原因になる場合があります。

ソフトウェアをインストールまたはアップデートする場合、使用するシステムに十分な承認があることを確認してください。



OSに改変を加えると、結果として、SICATアプリケーションが起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。

1. SICATアプリケーションを起動する前に、必ずお手元のコンピュータのオペレーションシステムが前回SICATアプリケーションを使用してからアップデートやセキュリティアップデートをインストールしたかを確認してください。
2. お手元のコンピュータのオペレーションシステムに更新プログラムまたは背級レティアアップデートがインストールされている場合、取扱説明書に記載されている必要手順でSICATアプリケーションのチェックを実行してください。
3. SICATアプリケーションの動作が取扱説明書に記載されている動作と異なる場合、ソフトウェアをそれ以上使用せず、直ちにSICATサポートまでお問い合わせください。

注文



注文に誤ったデータがあると、誤った注文となる可能性があります。

注文をするときには、注文のための正しいデータの選択と転送を確認してください。



注文を誤ると誤った治療の原因となるおそれがあります。

1. 注文を送信する前にご注文内容をご確認ください。
2. 注文の適切な治療計画を確認してください。

光学印象



3DX線撮影画像以外のデータを唯一の情報源として使用すると、結果として、診断や治療を誤ることになりかねません。

1. 診断や治療計画の立案にあたって利用する情報源としては、3DX線撮影画像を優先させてください。
2. 光学印象データなどの他のデータは、補助的な情報源としてのみ利用してください。



不適切な光学印象用機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず医療機器として承認されている機器の光学印象データを使用してください。



3D X線撮影画像の患者と日付が一致しない光学印象データを使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

患者データの患者と日付が、表示された3D X線撮影画像の患者および日付と一致していることを確認してください。



光学印象データのインテグリティまたは品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

インポートした光学印象データのインテグリティと品質を確認してください。



光学印象データの品質および正確性が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および正確性の光学印象データを利用してください。



過度なアーチファクト、不十分な解像度、または記録のための点の欠如は、光学印象の記録に失敗する原因になるおそれがあります。
例：3D X線撮影画像の過度なアーチファクトは、モーション/メタルアーチファクトです。

必ず正確な記録を可能にする光学印象と3D X線撮影画像のみを使用してください。



互いに一致しない光学印象の記録プロセスでマークを選択すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

光学印象データを記録する場合、3D X線撮影画像と光学印象に一致するマーキングで慎重に選択します。



間違って記録された光学印象データおよび3D X線撮影画像を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

記録された光学印象が3D X線撮影画像に対して正確に配置されているか確認してください。

ネットワーク



SICATアプリケーションデータを信頼できないネットワークファイルシステムに保存すると、データの損失につながるおそれがあります。

ネットワーク管理者と共に、SICATアプリケーションデータを希望のネットワークファイルシステムに保存できるようにしてください。



SICAT Suiteおよび付属のSICATアプリケーションを他の機器と一つのコンピューターネットワークまたはメモリーネットワーク内で供用すると、患者、ユーザー、その他の人に未知の危険が及ぶおそれがあります。

ネットワークに関連する危険を特定、分析、判断するため、各組織内で規則を作成してください。



ネットワーク環境を変更すると、新しい危険につながるおそれがあります。例えば、ネットワーク構成の変更、追加機器またはコンポーネントのネットワークへの接続、機器またはコンポーネントのネットワークからの分離、ネットワーク機器またはコンポーネントのアップデートまたはアップグレードなどです。

ネットワークを変更する度に、新たなネットワークリスク分析を実施してください。

歯式



歯の番号の割り当てが間違っていると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

選択された歯の番号と実際の歯の番号が一致していることを確認してください。

ドリル深さ



ドリル深さが間違っていると、間違った治療につながるおそれがあります。

計画されたドリル深さと、選択されたドリルが対応していることを確認してください。

計画オブジェクト



測定と計画オブジェクトの表示に3Dビューを使用すると、間違った診断と治療につながるおそれがあります。

3Dビューは方向合わせおよび追加の情報源としてのみ使用してください。

44 精度

次の表はすべてのSICATアプリケーションの精度を示しています。

距離測定の精度	< 100 μm
角度測定の精度	< 1度
表示精度	< 20 μm

用語集

3D X線撮影画像

3D X線撮影画像とは容積測定タイプのX線画像のことです。

ADA

American Dental Association（米国歯科医師会）

CPR

3D X線撮影画像からの2D画像再構成を行う Curved Planar Reformation (曲面多断面再構成) は、複雑な構造を簡略化して表示する際に使用されます。

EndoLine

EndoLineは、治療を行う根管のマーキング、そして根尖位置の特定に利用される多機能測定線です。

FDI

Fédération Dentaire Internationale（国際歯科連盟）

SICATポータル

SICATポータルは、SICATにプリントを注文することのできるインターネットページです。

SIXD

光学印象を交換するためのファイルフォーマット。

SMPTE

Society of Motion Picture and Television Engineers（映画テレビ技術者協会）

SSI

光学印象を交換するためのファイルフォーマット。

STL

Surface Tessellation Language、メッシュデータを交換するための標準ファイルフォーマット（例えば、光学印象を含む）。

アプリケーション

SICATの各種アプリケーションは、いずれも SICAT Suiteに付属するプログラムです。

スポットライト

口腔内撮影画像の登録における、円形の口腔内撮影画像の登録に口腔内撮影画像および3D投影のオーバーレイを検証するための円形に強調された画像の一部。

ドリル穴

ソフトウェアでビジュアルに表現され、編集することができる、EndoLineをの基礎として計画されたドリル経路。

ナビゲーションバー

SICAT Suiteの上部にあるナビゲーションバーには、SICAT Suiteの最も重要なアイコンが含まれます。患者ファイルがアクティブになっている場合、ナビゲーションバーを使用して患者ファイルと各種アプリケーション間で切り替えることができます。

フレーム

3Dビューでは、フレームに2Dレイヤービューの位置が表示されます。

患者ファイリング

患者ファイリングには患者ファイルが含まれています。SICAT Suiteは患者ファイリングをローカルファイルシステムまたはネットワークファイルシステム上のフォルダ内に保存します。

患者ファイル

患者ファイルには、特定の患者に属するすべての3D撮影画像および計画プロジェクトが含まれます。SICAT Suiteは、患者ファイルを患者ファイリングに保存します。

記録

空間配置

計画プロジェクト

計画プロジェクトは、SICATアプリケーションの3D X線撮影画像をベースにした計画データで構成されます。

光学印象

光学印象は、歯、印象材または石膏モデルの3D表面撮影の結果です。

口腔内撮影画像

口腔内撮影画像は、個々の歯の2D X線撮影画像で、口の外側にあるX線源の歯の背後にある歯科用フィルムによって撮影され、詳細の高い正確性がその特徴です。

撮影結果

3D治療計画スタディは、3D X線撮影画像と、それに関係する治療計画プロジェクトとで構成されます。

十字線

十字線は別のレイヤービューとの交差線です。

通知ウィンドウ

通知ウィンドウとは、完了した手順に関するメッセージを、モニター画面の右下端に表示するものをいいます。

索引

アイコン

ビュー	115	スクリーンショットの作成	219
画像のツールバー	116	描画ツールの設定	218
トリミング部分を移動させる	123	ドリル穴を計画する	203
EndoLineウィザード	182	ドリル穴	
EndoView	187	ロックを解除する	203
十字線、フレーム	125	削除	203
輝度およびコントラスト	121	ロックする	203
最大化と復元	120	データを書き込み禁止で開く	255
スクリーンショットの作成	129	データエクスポート	223
スクロール	124	データのエクスポート	225
切替	118	「データの転送」ウィンドウを開く	224
検査ウィンドウの非表示/表示	127	データインポート	64
検査ウィンドウの移動	126	データを選択する	68
ズームング	123	インポート関係の設定内容	70
リセットする	128	新規患者ファイルに帰属させる	71
アプリケーションを切り替える	43	既存の患者ファイルに追加する	72
ワークスペース	108	アンインストール	260
調整する	113	設定	242
口腔内撮影画像	111	一般的な設定内容を確認する、変更する	243
パノラマ	110	Praxis情報を表示または変更する	247
スクリーンショットの作成	114	可視化設定の変更	248
切り替える	112	EndoLine	
リセットする	113	編集する	193
ユーザーインターフェース		色とテキストを調整する	196
SICAT Endo	93	確認箇所を追加する	197
SICAT Suite	39	確認箇所を削除する	197
SICAT Suite Homeウィンドウ	41	確認箇所を移動する	197
エリアをマスキングする	179	EndoLineウィザード	181
このバージョンの特徴	28	ビュー	182
注文	227	ドリル穴を計画する	203
再起動後の自動アップロード	237	ドリル穴	181
ドリルテンプレートをショッピングカートに入 れる	228	EndoLine	181
データを別のコンピュータから送信する	238	EndoLinesをセットする	193
バックグラウンドでのデータ送信	234	EndoView	187
アップロードの中断および続行	237	歯を選択する	190
SICATポータル	235	歯の領域をプリアラインメントする	191
カートをチェックする	233	EndoLinesをセットする	193
用途	7	マウスボタンを使用する	193
ハンドアウト用の画像やスクリーンショット		EndoView	187
円を描く	217	調整する	193
矢印を描く	216	回転	188
		最初のステップ	32
		取扱説明書	
		オンラインヘルプとして開く	44

記号、スタイル	15	オブジェクトおよびオブジェクトグループをアクティブにする	100
概要	16	オブジェクトおよびオブジェクトグループの表示/非表示	101
グレースケール値	137	オブジェクトグループの開閉	100
調整する	139	オブジェクトバー	98
ハンドアウト		オブジェクトツールバー	102
作成する	222	元に戻し、もう一度実行する	102
スクリーンショットの作成	219	SICAT Endoオブジェクト	104
準備する	220	光学印象	152
インポートする		他のSICATアプリケーションから再使用する	162
口腔内撮影画像	166	インポートおよび登録	154
適応症	7	STLインポート	159
インストール	19	パノラマエリア	142
アンインストール	260	調整する	148
口腔内撮影画像を登録する	173	患者ファイリング	56
エリアをマスキングする	179	「患者ファイリング」ウィンドウを開く	58
プリアライメントを調整する	176	別の患者ファイリングをアクティブにする	61
口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う	171	削除する	63
口腔内撮影画像ワークスペース		追加する	59
一般的なお知らせ	111	患者ファイル	75
口腔内撮影画像	164	3D X線撮影画像および計画プロジェクトを削除する	91
インポートする	166	開く	79
互換性のある口腔内撮影用センサー	165	開いた患者ファイルを使用した作業	80
歯を割り当てる	166	属性を変更する	82
歯の番号	166	「患者ファイル概要」ウィンドウを開く	76
口腔内撮影画像		削除	89
登録する	173	患者ファイル概要から開く	83
登録ウィザード	170	並び替え分類を行う	77
プリポジショニング	171	検索	77
互換性のある口腔内撮影用センサー	165	患者教化	215
ライセンス	45	登録ウィザード	170
表示する	47	エリアをマスキングする	179
自動アクティベート	48	口腔内撮影画像を登録する	173
ライセンスプールに返却する	52	口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う	171
手動でアクティブ化する	50	閉じる	258
バウチャーコードを使用する	54	スクリーンショット	
測定		ハンドアウト用に作成する	219
距離測定を追加する	210	ビューで作成する	129
測定点を移動する	213	ワークスペースを使って作成する	114
測定値を移動する	214	SICAT Endo	
概要	209	ユーザーインターフェース	93
移動	213	SICAT Endoを閉じる	257
角度測定を追加する	211	SICAT Endoスタディ	
モニターキャリブレーション	245	スタンドアロン版	37, 86
オブジェクト		SICATポータル	235
削除する	102		
焦点を合わせる	102		

SICAT Suite	
ユーザーインターフェース	39
閉じる	258
開始する	35
SICAT Suite Homeウィンドウ	41
SICAT WebConnector	236
安全に関する情報	12
危険レベル	13
オペレーターの資格	14
SMPTEテストパターン	245
言語	17
スタンドアロン版	
SICAT Endoスタディ	37, 86
STLインポート	159
サポート	250
ヘルプを開く	44
連絡先情報	252
サポートウィンドウを開く	251
製品情報	254
ツール	252
システム要件	9
ショートカットキー	259
SICAT Suiteの概要	17
切替	
アプリケーション	43
検査ウィンドウ	109
バージョン	
相違点	28
ボリュームの配置	141
調整する	143
バウチャーコードを使用する	54
カート	
開く	232
ワークフローのツールバー	95
ワークフロー	32
歯を選択する	190
歯の領域をプリアラインメントする	191

数字

3Dビュー	130
切り抜きモードを切り替える	136
視線方向を変更する	131
表示モードを切り替える	133
構成設定を行う	134

記号の説明



- 注意！添付書類を参照してください。



- 取扱説明書を参照してください。



- メーカー



- バッチコード

バッチコードの例：

1020130921

1	2	3	4
---	---	---	---

1 ABフォーマットでの製造バージョン（10はV1.0を示します）

3 製造月

2 製造年

4 製造日

状態: 2017-12-19

お問い合わせ先



製造者

SICAT GMBH & CO. KG

BRUNNENALLEE 6

53177 BONN、ドイツ

WWW.SICAT.COM

CE0197

世界各地のサポート

WWW.SICAT.COM/SUITESUPPORT

電話番号: +49 6251 161670

全ての権利は当社に帰属します。この取扱説明書につきましては、翻訳を含め、全部または一部の別を問わず、複写をお断りいたします。ただし、SICAT社が書面により承諾している場合を除きます。

本取扱説明書に記載されている情報は発行当時のものであり、予告なしに変更される場合があります。

SICAT.

a **Sirona** company